資料①－１

「元職員が最低制限価格を知ったのはどういった方法が考えられるか」

元職員が最低制限価格等を知るための直接の情報入手方法については不明であるが、まず、その元職員に対する過去の談合疑義状況や元職員がおかれていた職場環境等について説明を行ったうえで、その可能性を検証する。

〇本市、元職員について

１．事件の対象となった工事発注時期における元職員の職歴等

氏名：福留啓二（技術職員・建築技術者）

平成 30 年 03 月 31 日	退職
平成 29 年 04 月 01 日	教育委員会 事務局 管理部 教育環境整備室 主任（再任用）
平成 29 年 03 月 31 日	定年退職
平成 28 年 04 月 01 日	財務部 総合契約検査室 工事監理課 課長代理
平成 26 年 04 月 01 日	財務部 総合契約検査室 課長代理（工事検査担当）

２．総合契約検査室の名称及び機構改革における部署再編について

～平成 27 年度　総合契約検査室として、契約担当と元職員が在職していた工事検査担当に区分し、ひとつの部署として業務を行っていた。執務室は施錠ができ、勤務時間外は部外者の入室はできないようになっている。

執務スペースについては、契約担当と工事検査担当に区分するようなパーテーション等の設置はなく、両担当間の往来は自由に行うことができる環境であった。

平成 28 年度　機構改革に伴い、これまで総合契約検査室内にあった契約担当と工事検査担当が、それぞれ課に変更され、総合契約検査室内に契約課と工事監理課が設置された。執務室の環境については、これまでと変更はなし。

夏ごろから、契約課で扱う入札関係の機密情報については、施錠ができるロッカーで保管するようにした。

平成 29 年度　これまでの談合疑義情報に対する入札監視員の意見を踏まえて、契約部署の独立性を高めるために、契約課と工事監理課の執務室を分けてそれぞれ別の執務室とした。

平成 30 年度　機構改革により、総合契約検査室が廃止され、契約課と工事監理課がそれぞれ独立した課となった。

〇元職員に対する市への談合疑義情報について

平成 27 年度及び平成 28 年度に本市、元職員に対する談合疑義情報について、匿名で情報提供があった。情報提供者については、匿名希望であるが、来庁されて情報の提供を行ったため、氏名・連絡先等は明らかになっている。また、登場する談合疑義がある事業者については、今回の事件で逮捕された「株式会社太平洋建設」ではなく、別の建設事業者である。

１．（平成 27 年度）

情報を受けた日時：平成 27 年 5 月 13 日
情報提供者：(匿名希望)
情報提供手段：来庁による情報提供
提供先：総合契約検査室（現 契約課）

（情報の主な内容）

◆「牧野生涯学習市民センター・図書館トイレ改造他工事」（平成 26 年 11 月 26 日開札）の入札前に逮捕された元職員から携帯電話に数回着信があり無視をしていたが、本工事の落札決定後に再度、携帯電話に着信があったので、折り返し電話したところ「入札金額を教えたろうと思ったのに。A 社が落としたなぁ」「Ｂ工事も同じ業者が落としたやろ」といった内容の話があった。暗にお金を請求されていると感じ、危険な話なので「そうですか。へえ。」といってやり過ごした。A 社にも同じように言っていると感じた。との内容の情報が寄せられた。

◆C 工事

検査に合格し、工事代金を請求したが、元職員から「手直しの件が済まないと総務課が会計の支払いを止めるって言うてるぞ、支払いが止まったら会社潰れるやろ」という電話があった。

◆D 工事

受注していた本工事の検査の際に、検査員である元職員から細かなところまで指摘されることがあり、市の施設整備室の監督職員が「他の工事ではこんなに細かく指摘されていない、お宅の会社だけやで」と 3 回も言われた。

◆E 工事

施工途中の遅れにより、市に迷惑かけたことに対して、元職員から「監督職員と市に頭を下げろ」「俺のところにもわびに来い」と言われた。

◆F 工事

本工事の入札執行後、落札候補者となった際、元職員から社長の携帯電話に連絡があり「こんな低い金額で取ってちゃんとできるのか」と言われた。また、低入ヒアリング時にも行政内部の書類名をあげて「知ってるか」と聞かれた。業者が知るはずのない書類名を出して、わざと引っ掛けようとしていると感じられた。

（市の対応）

【枚方市談合情報対応緊急会議の開催】（平成 27 年 5 月 13 日）

・「枚方市談合情報対応マニュアル」に基づき、手続きを進める。

・寄せられた情報の内容について、「談合疑義情報」として取り扱うかどうかについて、入札監視員への意見聴取を行うこととした。

【寄せられた情報に対する入札監視員への個別意見聴取】（平成 27 年 5 月 14 日）

本件については、情報の内容として、お金を要求しているような内容に思える。談合情報というよりは、公務員倫理の話になるのではないか。また、通報の内容を精査しないわけにはいかないので、「枚方市談合情報対応マニュアル」に基づき、談合疑義情報として取り扱って手続きを進めるべきであるとして、入札監視員からの個別意見を集約した。

【枚方市談合情報対応緊急会議の開催】（平成 27 年 5 月 14 日）

情報内容から入札前に職員から電話の着信があったことや、通報者への電話の内容から、A 社にも同様の電話をしているのではないかとの疑義があるので、調査することなく終えることはできない。入札監視委員の意見も踏まえ、関係者から事情聴取を行うなど、談合疑義情報として取り扱い「枚方市談合情報対応マニュアル」に沿った手続きを進めていくこととした。

・元職員への事情聴取

・A 社への事情聴取

・情報提供者から電話録音等の提出を求め、内容について精査

【元職員への事情聴取】（平成 27 年 5 月 15 日）

元職員に対して、職員倫理の観点も踏まえて、総務部において事情聴取を行った。

事情聴取に対し、元職員は「情報について心当たりはない。」「他者から誤解されるような行動は取ったことはない。」「自身の携帯電話から事業者と連絡をとることはあるが、話の内容は訳のわからない話や市に対する愚痴を聞くだけである。」とのことであり、談合疑義情報にあたる内容は全面的に否定していた。

なお、情報提供者から提出された電話の録音記録の内容を否定していることや、事実関係を確認できない部分があるため、元職員に対して、さらに具体的な情報を提示してヒアリングする必要があるが、情報提供者が自身を特定される情報の提示を望んでいないことから、これ以上の事実関係の確認はできなかったが、事情聴取を行った中では、明らかな守秘義務違反にあたるものは認められなかった。

【A 社への事情聴取】（平成 27 年 5 月 20 日）

事情聴取に対し「市職員との電話やメール等は請負工事に関すること以外はない。」「他の業者とは下請工事の話しかしない。」「情報のような内容はうわさでも聞いたことはない。」とのことであった。

【枚方市談合情報対応緊急会議の開催】（平成 27 年 7 月 23 日）

元職員、A 社への事情聴取を行った結果、談合の事実があったとは認められない。

また、本情報の調査・検証結果については入札監視員へも報告、意見聴取を行い、新たな対応が必要になった場合や、新たな情報や事実が判明した場合は、再度、本会議において対応を協議する。なお、調査・検証結果については、「枚方市談合情報対応マニュアル」に基づき公正取引委員会・警察へ報告することを緊急会議として集約を行った。

【枚方市談合情報対応緊急会議の審議内容に対する入札監視員への個別意見聴取】

（平成 27 年 7 月 27 日）

・本件については、職員及び事業者への事情聴取等から、談合の事実は認められない。「枚方市談合情報対応マニュアル」に沿って公正取引委員会・警察への報告を行う。
・通報者から、自身を特定されるので、これ以上の調査を望まないとの申し出があったとのことだが「通報者が明らかになっても調査をすることはできないのか。」「対象となる職員を守る意味でも事実を突きつけて、弁明する機会を与えるほうがいいのではないか。」との意見もあったが、内部通報者保護の観点から、これ以上の事実確認や調査が行えず、やむ得ないのであれば、本件情報について、新たな事実や情報提供者から改めて申し出があれば、再度、調査等を行ってもらいたい。
・落札決定後に職員が打合せ等で事業者に連絡することはあっても、落札決定前の段階で電話をすることは大問題であり、あってはならないことである。今後、こういった不適切な行為のないように対象職員のみならず、職場全体へ服務規律の周知・啓発を図ってもらいたい。

【枚方市談合情報対応緊急会議のまとめ】（平成 27 年 7 月 28 日）

本件情報について、対象職員及び事業者への事情聴取等の調査の結果、その内容のみでもって談合の事実があったとは認められなかったことから、本会議の審議及び入札監視員の意見を踏まえて「談合の事実があったとは認められない」と判断する。なお、本件情報について、情報提供者が自身を特定される情報の提示を望まないことから、これ以上の事実関係の確認はできなかったが、本件の情報について、新たな事実や情報提供者から改めて申し出があれば調査等を行うこととした。

また、今後の対応として、「本件の情報について、公正取引委員会、警察へ報告」「業務における服務規律の徹底について、職場全体へ周知・啓発を図る。」こととした。

２．（平成 28 年度）

情報を受けた日時：平成 28 年 10 月 18 日

情報提供者：（匿名希望）

情報提供手段：来庁による情報提供

提供先：契約課

（情報の主な内容）

◆市が発注する建築工事の入札で、平成 28 年度に同一業者が最低制限価格の 100％に近い金額で数回落札している。建築工事の発注では、積算上ほぼ不可能なことであり、金額が漏れているとしか考えられない。

◆この談合を疑われる業者については、複数の契約を受注しているが、配置できるような技術者を複数抱えていない

◆過去にも工事監理課職員から価格漏洩が疑われる内容の不審な電話があった。

◆同職員は工事の検査において、特定業者に対して恣意的に評価の水増しをしているのではないか。

（市の対応）

【枚方市談合情報対応緊急会議の開催】（平成 28 年 10 月 25 日）

・情報の内容からは直ちに談合があったとは認められない

・工事監理課職員に対する価格漏洩の疑いや対象事業者に対しては、平成 27 年度に本人への事情聴取を行っており、新たな事情聴取は必要ないものと考える。

【寄せられた情報に対する入札監視員への個別意見聴取】（平成 28 年 11 月 2 日）

・平成 27 年度の情報提供者と別の提供者からの情報であれば事情聴取等の対応は必要ないと考える。

・職員や事業者への事情聴取等を繰り返し行うことで、自省の機会を与え、抑止的な効果が得られると思う。

・国の通知にもあったと思うが、契約課と工事監理課と同一の執務室ではなく、契約担当課の独立性を持たせる意味でも、契約課と工事監理課の執務室を分ける等、環境整備が必要ではないかと思う。

・昨年度から疑いを持たれている職員が、まだ同じ部署に在籍していることは問題ではないかと思う。

【枚方市談合情報対応緊急会議の開催】（平成 28 年 11 月 25 日）

平成 27 年度の情報から新たな情報となるのは、平成 28 年度の入札結果だけである。それ以外の新たな情報がないのなら、対象職員及び事業者に同じ談合情報で、再度、事情聴取する必要はないと考えるが、情報提供者には、他に新たな情報があるのかヒアリングを行ったほうが良いと考える。

【情報提供者へのヒアリング】（平成 28 年 12 月 2 日）

情報提供者へヒアリングを行った。

他の新たな談合疑義情報はなかったが、下記の内容について意見があった。

・平成 27 年度、平成 28 年度の入札結果から、同一業者が最低制限価格に極めて近い金額で落札しているのは、建築工事ではほぼ不可能なことである。価格が漏れているとしか考えられない。
・昨年、不正を疑われた職員が、今も同じ職場にいるのはいかがなものかと思う。
・検査を受ける立場として今後のこともあるので、情報提供者として氏名の公表はためらわれている。
・具体的な情報がなければ処分できないというのであれば、設計図書で単価等を明示するなど、入札制度の見直しが必要ではないか。また、価格漏洩が疑われるような環境を変えるとか、人事異動をさせるとか、何かを変える必要があるのではないか。

【枚方市談合情報対応緊急会議のまとめ】（平成 28 年 12 月 20 日）

情報提供者への事情聴取で新たな情報は得られなかったので、職員、対象事業者へのヒアリングは行わない。なお、昨年度の談合疑義情報の追加報告という形で、公正取引委員会と警察へ報告を行うこととした。

○「元職員が最低制限価格を知ったのはどういった方法が考えられるか」

直接の情報入手方法については不明であるが、平成 26 年度から平成 28 年度にかけて行っていた契約課での情報管理の方法等は以下の通りであった。

１．執務スペースについて

・平成 26 年度から平成 28 年度までの執務スペースについては、総合契約検査室として施錠ができる執務室で業務を行っていたものの、契約担当（契約課）と工事検査担当（工事監理課）が同一スペースで業務を行っていたことから、総合契約検査室の職員であれば契約関係の機密資料の閲覧は可能であった。
・契約関係の機密資料の管理については、平成 28 年の夏以降は施錠付きロッカーで保管を行っているが、それまでは執務室内のテーブルの上や、施錠ができないロッカーに保管されてあったため、総合契約検査室の職員であれば容易に閲覧できる状態であった。

２．パソコン内の共有ドライブ（P ドライブ）について

契約担当（契約課）と工事検査担当（工事監理課）にそれぞれパソコン上で作成したデータや他部署からメール等で送られてきたデータを保存するために、共有ドライブ（以下、P ドライブという。）がパソコンのネットワーク上に作成されている。基本的には、各課毎で独立して管理が行われていることから、他の部署からは閲覧できない仕組みとなっている。

この P ドライブについては、平成 29 年度までは総合契約検査室が存在していたため、契約

担当（契約課）と工事検査担当（工事監理課）の間でお互いに共有がなされており、工事検査担当（工事監理課）から契約担当（契約課）のＰドライブに接続が可能となっていた。契約担当（契約課）のＰドライブには、工事発注課から送られてきた工事価格が記載されたデータや金入り設計書も含まれていることから、総合契約検査室職員であれば契約担当（契約課）のＰドライブに接続し、工事価格等の情報を閲覧できる状況であった。

３．財務会計システム（契約システム）について

契約手続きを行うために、本市では契約システムを導入し、予定価格調書や契約書の作成、データ管理等を行っている。このシステムを使用する際には、各職員の職員番号とパスワードが必要であるが、契約担当（契約課）の職員であれば、だれでも契約に関するすべての情報が閲覧可能となっている。

システムの職員番号は庁内のメールシステムにおいて知ることができ、また、契約課において、パスワードを職員番号と同じとしている職員が多いことが判明（平成 30 年度対策済み）したことから、契約担当（契約課）職員の職員番号さえわかれば、予定価格や最低制限価格の閲覧が可能であった。

資料①－２

【まなび舎整備室回答】

①契約関係の紙書類については、各担当者が自席の本棚や引出しに保管していたことから、休日などの勤務時間外に閲覧し、知り得たことが考えられる。

②電磁的記録については、室内の職員が誰でも見ることが出来る共有ドライブ（Pドライブ）に保存していたことから、そこで知り得たことが考えられる。

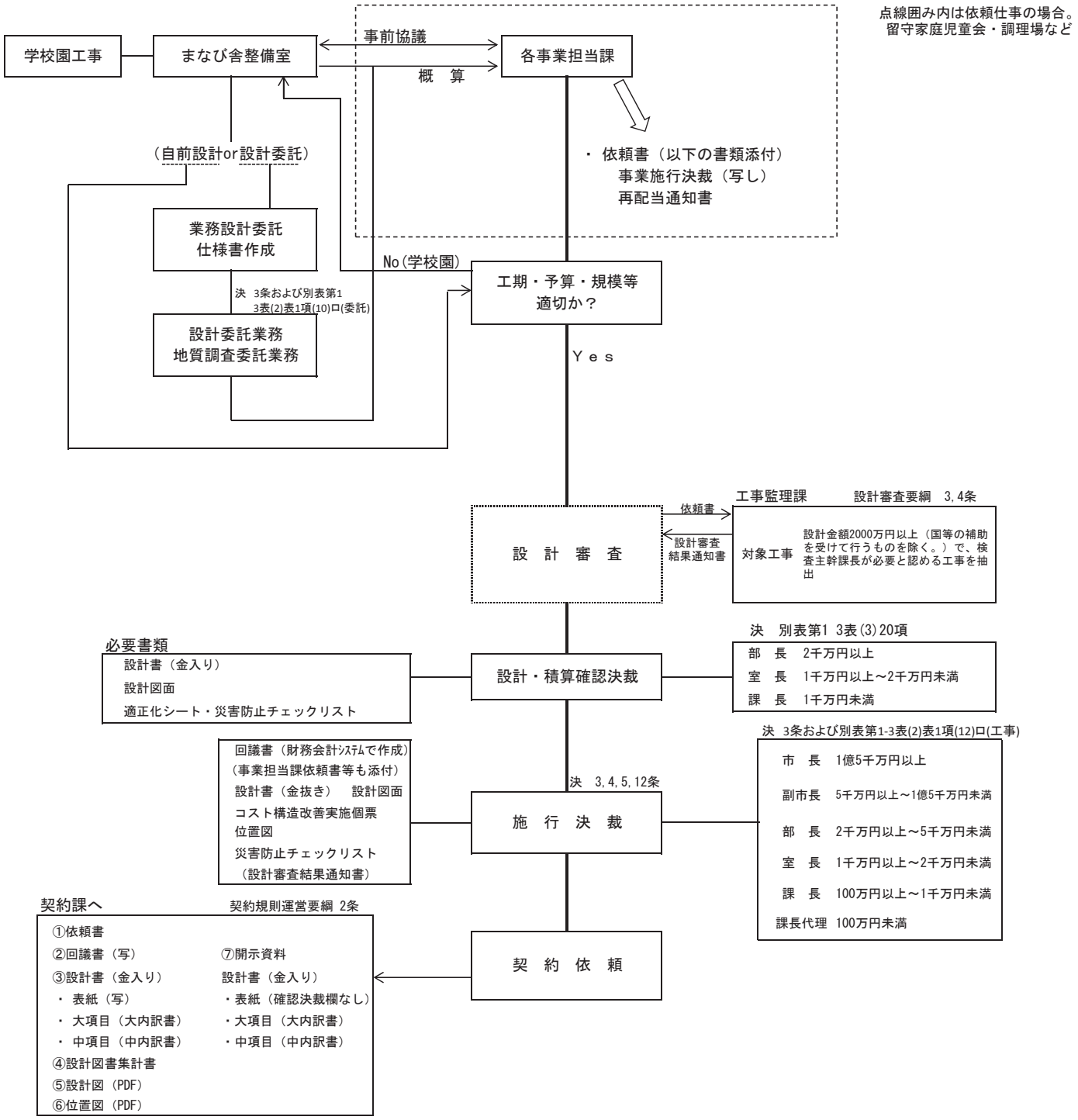
③同種の工事については、各担当者間において積算内容の共有を図っており、その共有化作業中に近づき聞き耳をたて、知り得たことが考えられる。

④先輩職員である立場で、後輩職員に対して工事内容等の確認やアドバイスなどをする中で設計金額についても知り得たことが考えられる。

⑤財務会計システムには、設計金額が入力されており、室内の全職員がアクセスできることから、そこで知り得たことが考えられる。

資料②－１

学校園工事契約依頼フロー



資料②－２

(担当部署)	（業務内容）	添付書類
工事担当課	設計作業	①
↓	↓	
↓	設計書確認決裁起案（工事担当課完結）	
↓	↓	
↓	工事施行決裁起案	
↓	↓	
各関係課	合議 工事検査課（安全性、経済性、合理性等を審査） 契約課（発注業種、入札方法、支払方法等確認） 財政課（予算確認） 関係課等（関係課所管事項確認） （回議書添付書類の設計書は、金抜き）	②
↓	↓	
工事担当課	工事施行決裁終了後、契約課へ契約締結依頼（金入り設計書等添付）	③
↓	↓	
契約課	契約締結依頼受理	
↓	↓	
↓	発注表作成	④発注表作成
↓	↓	
契約課	【入札監視員】	
工事担当課	予定価格が 10 億円を超える建設工事に係る入札の方法について、意見聴取	
↓		
契約課	発注表内容確認に係る課内供覧（工事担当から課長まで）	
↓		
契約課	請負業者資格審査等委員会開催、条件決定（工事検査課は、課長のみ出席）	
工事検査課		
↓	↓	
契約課	発注条件の決定等に係る決裁起案（工事検査課長合議。予定価格等の決定の決裁も兼ね	
工事検査課	ていたことから平成 29 年 9 月までは、予定価格、最低制限価格及び調査基準価格を記載した当該月発注案件全件一覧を関係書類として添付）	⑤予定価格、最低制限価格調書
↓	↓	
契約課	発注公告（予定価格、最低制限価格及び調査基準価格→事後公表）	
↓	↓	
契約課	質疑・回答（平成 28 年度途中までは、工事検査課に質疑・回答内容を確認）	
工事担当課		
↓	↓	
契約課	入札締切及び締切処理	
↓	↓	
↓	入札参加資格事前審査（指名停止、参加申告書の内容確認のみの簡易審査）	⑥
↓	↓	
↓	入札参加資格確認に係る課内供覧（工事担当から課長まで）	
↓	↓	
↓	開札・落札候補者決定 開札結果配布（現在は契約課のみ。平成 28 年度秋頃までは、工事監理課にも配布）	⑦
↓	↓	
契約課	【入札監視員】 予定価格が 10 億円を超える建設工事に係る入札執行状況について、意見聴取	
↓	↓	
契約課	落札候補者事後審査（元請工事実績、配置技術者等審査）	
工事担当課		
↓	↓	
契約課	落札者決定（予定価格、最低制限価格及び調査基準価格→公表）	
↓	↓	
↓	契約締結	

⑧HP公表　　⑨契約保証金種類　　⑩契約締結

添付書類①

（第二葉）

平野小学校管理棟外壁改修他工事　　予定価格積算内訳書

総合計	金	111,686,040	円
工事価格	金	103,413,000	円
消費税相当額	金	8,273,040	円

名 称　平野小学校管理棟外壁改修他工事　No. 1

	名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	直接工事費						
I	建築工事		1	式		76,844,635	
II	電気設備工事		1	式		4,136,418	
III	機械設備工事		1	式		1,360,895	
	直接工事費計					82,341,948	79,871,689
	共通費						
I	共通仮設費		1	式		3,791,904	3,412,713
II	現場管理費		1	式		7,887,021	7,098,318
III	一般管理費		1	式		9,392,684	5,165,976
	共通費計					21,071,609	
	合計					103,413,557	95,548,696 92%
	設計金額(工事価格)	千円未満切り捨て				103,413,000	93,071,~~700~~000
	消費税等相当額					8,273,040	
	総合計(工事費)					111,686,040	

名 称　　平野小学校管理棟外壁改修他工事　　No. 2

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
I	建築工事						
A1	管理棟・渡り廊下　外壁・屋上防水改修工事		1	式		20,287,594	
A2	教室棟　外壁・屋上防水改修工事		1	式		30,192,217	
A3	体育館　外壁・防水改修工事		1	式		10,412,882	
A4	理科室・理科準備室内装改修工事		1	式		6,149,574	
A5	家庭科室・家庭科準備室内装改修工事		1	式		9,802,368	
	合計					76,844,635	

名 称　　平野小学校管理棟外壁改修他工事　　No. 3

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
A 1	管理棟・渡り廊下　外壁・屋上防水改修工事						
1	直接仮設工事		1	式		4,867,311	
2	建具改修工事		1	式		360,404	
3	外壁改修工事		1	式		3,669,023	
4	防水改修工事		1	式		7,755,294	
5	塗装改修工事		1	式		767,674	
6	その他工事		1	式		1,694,608	
7	撤去・処分費		1	式		1,173,280	
	合計					20,287,594	

名 称　　平野小学校管理棟外壁改修他工事　　No. 4

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
A 2	教室棟　外壁・屋上防水改修工事						
1	直接仮設工事		1	式		9,337,370	
2	建具改修工事		1	式		864,068	
3	外壁改修工事		1	式		6,600,960	
4	防水改修工事		1	式		8,778,338	
5	塗装改修工事		1	式		680,704	
6	その他工事		1	式		1,521,876	
7	撤去・処分費		1	式		2,408,901	
	合計					30,192,217	

名 称　　平野小学校管理棟外壁改修他工事　　No. 5

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
A３	体育館　外壁・防水改修工事						
1	直接仮設工事		1	式		2,726,091	
2	建具改修工事		1	式		1,254,658	
3	外壁改修工事		1	式		2,021,090	
4	防水改修工事		1	式		2,087,995	
5	塗装改修工事		1	式		1,261,057	
6	その他工事		1	式		800,563	
7	撤去・処分費		1	式		261,428	
	合計					10,412,882	

名 称　　平野小学校管理棟外壁改修他工事　　No. 6

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
A 4	理科室・理科準備室内装改修工事						
1	直接仮設工事		1	式		222,693	
2	建具改修工事		1	式		303,712	
3	内装改修工事		1	式		236,590	
4	塗装改修工事		1	式		385,772	
5	その他工事		1	式		4,707,732	
6	撤去・処分費		1	式		293,075	
	合計					6,149,574	

名 称　平野小学校管理棟外壁改修他工事　No. 7

	名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
A 5	家庭科室・家庭科準備室内装改修工事						
1	直接仮設工事		1	式		224,839	
2	建具改修工事		1	式		1,428	
3	内装改修工事		1	式		540,043	
4	塗装改修工事		1	式		308,179	
5	その他工事		1	式		8,342,488	
6	撤去・処分費		1	式		385,391	
	合計					9,802,368	

名 称 平野小学校管理棟外壁改修他工事　　No. 1

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
①	電気設備工事						
1	管理棟・渡り廊下外壁改修工事		1	式		51,596	
2	管理棟　理科室・準備室改修工事		1	式		999,748	
3	管理棟　家庭科室・準備室改修工事		1	式		2,775,317	
4	管理棟　外壁改修工事		1	式		225,843	
5	体育館　外壁・陸屋根改修工事		1	式		83,914	
	合　　計					4,136,418	

名 称 平野小学校管理棟外壁改修他工事

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	管理棟・渡り廊下外壁改修工事						
1)	電灯設備		1	式		51,596	
	合　　計					51,596	

名 称 平野小学校管理棟外壁改修他工事

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
2	管理棟　理科室・準備室改修工事						
1)	電灯設備		1	式		416,290	
2)	コンセント設備		1	式		473,921	
3)	構内情報通信網設備		1	式		19,613	
4)	情報表示設備		1	式		10,101	
5)	拡声設備		1	式		24,985	
6)	テレビ共同受信設備		1	式		7,288	
7)	火災報知設備		1	式		13,050	
8)	機械警備設備		1	式		34,500	
	合　　計					999,748	

名 称 平野小学校管理棟外壁改修他工事

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3	管理棟　家庭科室・準備室改修工事						
1)	受変電設備		1	式		1,052,110	
2)	電灯幹線設備		1	式		665,200	
3)	電灯設備		1	式		392,808	
4)	コンセント設備		1	式		554,772	
5)	構内情報通信網設備		1	式		12,203	
6)	情報表示設備		1	式		10,101	
7)	拡声設備		1	式		24,985	
8)	テレビ共同受信設備		1	式		15,588	
9)	火災報知設備		1	式		13,050	
10)	機械警備設備		1	式		34,500	
	合　　計					2,775,317	

名 称　平野小学校管理棟外壁改修他工事　No. 1

	名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	直接工事費						
Ⅲ	機械設備工事		1	式		1,360,895	
	直接工事費計						

名 称　平野小学校管理棟外壁改修他工事　No. 2

	名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
Ⅲ	機械設備工事						
M1	理科室・理科準備室改修工事		1	式		704,845	
M2	家庭科室改修工事		1	式		656,050	
	合計					1,360,895	

名 称　平野小学校管理棟外壁改修他工事　No. 3

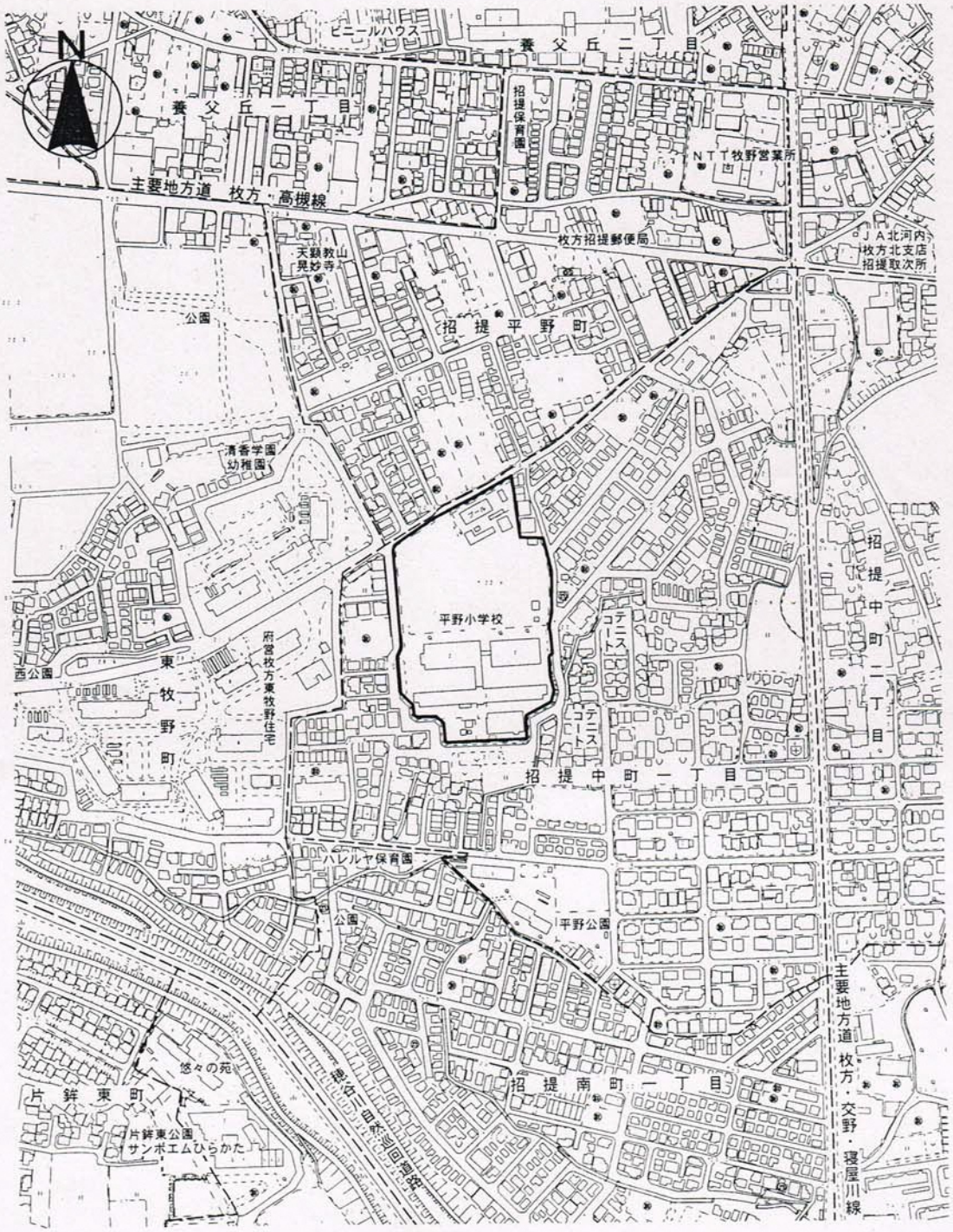
	名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
Ⅲ	機械設備工事						
M1	理科室・理科準備室改修工事						
1	給水設備工事		1	式		189,900	
2	排水設備工事		1	式		91,710	
3	給湯設備工事		1	式		34,400	
4	ガス設備工事		1	式		372,335	
5	撤去工事		1	式		16,500	
	合計					704,845	

名 称　平野小学校管理棟外壁改修他工事　No. 4

	名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
Ⅲ	機械設備工事						
M2	家庭科室改修工事						
1	給水設備工事		1	式		275,860	
2	排水設備工事		1	式		138,040	
3	給湯設備工事		1	式		34,400	
4	ガス設備工事		1	式		186,850	
5	撤去工事		1	式		20,900	
	合計					656,050	

工　事　場　所　位　置　図

工事件名　平野小学校管理棟外壁改修他工事



枚方市招提中町一丁目５３－１

（平成 28 年 4 月以降）

原本を総合契約検査室契約課に提出してください。

平成　29年 4月 3 日

確認	課　長	担当者

設 計 図 書 集 計 書

担当課：教育委員会管理部　教育環境整備室

（件　名）

平野小学校管理棟外壁改修他工事

電子配布用 PDF ファイル

設計図書サイズ	枚　数	内　訳　等
A　0		
A　1		
A　2	109	図面　109 枚
A　3		(24、23、18、15、12、17)
A　4	17	金入設計書（公表用）　17 枚
その他のサイズ （　　）		
記入例	80	金抜設計書 30 枚、金入設計書（公表用）30 枚、 標準仕様書、10 枚、特記仕様書 10 枚
合　　計	126	図面　109 枚、金入設計書（公表用）　17 枚

（単位：枚）

※ 工事手続依頼時に、本様式を使用して配布枚数の集計を報告してください。
データは PDF 形式でお願いします。また、電子入札システムへ添付が可能な最大容量は、１ファイルあたり３MB 以内ですので、出来る限り頁をまとめた上で、かつ、各ファイル３MB 以内としてください。（「１頁１ファイル等での提出」又は「１頁あたり３MB を超える容量での提出」はしないこと。）

※ 上記枚数には「工事場所位置図」は含めず集計してください。

※ 建設工事における金入設計書（公表用積算内訳）は、データにより契約締結日以降、総合契約検査室契約課ホームページ内で公表しますので、同設計書はデータにより提出してください。また、その際には、「入札時に電子入札システム上で公表する金抜設計書」と、「契約締結後にホームページ上で公表する金入設計書」との区別が明確になるよう、ファイル名は次のとおりとしてください。

・金抜設計書ファイル名　…　【金抜：入札時用】●●●●工事.pdf
・金入設計書ファイル名　…　【金入：契約後公表用】●●●●工事.pdf

添付書類②

回議書

教育委員会事務局　管理部　教育環境整備室　保全グループ

件名	平野小学校管理棟外壁改修他工事	起案	平成29年3月29日
		施行	平成　年　月　日
		決裁	平成29年3月31日

市長	長沢副市長	部長	参事兼次長兼室長	課長	統括課長代理	係長	起案者

合議			決裁根拠	文書分類	款	項	目	節	書類	電話10158211
副市長	会計管理者		事務決裁規程 第　条　項　号 ☑ 別表第1 □ 別表第2 3表(2)表1項(12)号ロ		205	120	130	100	0	文書審査
				保存期間	20・7・5・3・1年 常用(　)・永年・法定(　) 平成35年4月以降廃棄					

部長	室長	課長	統括課長代理	合議担当
総合政策部		企画課	課	12項1号
財務部	総合施設検証室	契約課	課	27項1号
部	室	工事監理課	課	27項1号
部	室	教育総務課	課	14項2号
部	室	課	課	37項1号
部	室	課	課	項号

書類名	維持補修関係書類	公印
取扱事項		

予算執行表

会計区分	一般会計	細節	工事請負費
款	教育費	現計予算額	707,000,000円(外壁) ~~657,042,000円(保全)~~
項	小学校費	予算現額	
目	小学校管理費	執行予定額	
節	工事請負費		外壁工事予算は 平成28年度繰越明許

伺い文　件名のことについて、下記のとおり取り扱ってよろしいですか。

記

1．起案理由

市有建築物保全計画に基づき工事を行うものです。

2．工事概要

【工事名称】　平野小学校管理棟外壁改修他工事

【工事概要】　管理棟外壁・屋上防水改修

理科室・理科準備室内装改修

家庭科室内装改修

教室棟外壁・屋上防水改修　、　体育館外壁・陸屋根防水改修

上記工事に伴う電気設備工事、機械設備工事

3．施工場所

枚方市招提中町一丁目５３－１

4．工期

契約日より　平成２９年　１０月　１３日まで

5．入札方法

制限付き一般競争入札（工事希望型）

6．業種

建築一式

7．支払方法

前払い　・　中間前払い　・　完成払い

8．建設リサイクル法

適用する

9．監督員

【所　　属】　教育委員会事務局　管理部　教育環境整備室

【総括監督員】　兼松　延好

【監　督　員】　望月　翔太、加藤　幸信、上田　憲

10．備考

以　上

添付書類②イメージ

件名	開成小学校管理棟他屋上防水改修工事、招提北中学校管理棟屋上防水改修工事の件
送信者	"柳井谷　拓也(個人庁内)" <20160521@imail.city.hirakata.osaka.jp>
宛先	"工事契約依頼用(総合契約検査室)" <iraikoke@imail.city.hirakata.osaka.jp>
送信日時	2018年07月05日(木) 13:17:17

添付ファイル 開成小学校管理棟他屋上防水改修工事.lzh 招提北中学校管理棟屋上防水改修工事.lzh

おつかれさまです。

「開成小学校管理棟他屋上防水改修工事」、「招提北中学校管理棟屋上防水改修工事」の契約に必要な書類を添付しますので、ご確認よろしくお願いします。

まなび舎整備室
柳井谷　拓也
内線　1015-8211

（平成30年4月以降）

事　務　連　絡
平成 30 年 7 月 4 日

財務部　契約課長

教育委員会　総合教育　部
まなび舎整備室　課長

工事契約手続依頼書

標記の件、別紙のとおり決裁が完了しましたので契約手続を依頼します。

1．入札方式	制限付き一般競争入札（工事希望型）	
2．工事名	開成小学校管理棟他屋上防水改修工事	
3．工事場所	枚方市香里ケ丘二丁目５	
4．設計額（税抜）	12,214,000 円	※市長部局発注分で、税込予定価格が1億5千万円以上は、議会の議決が必要となります。
5．業種	防水工事	特定建設業の許可：☐要　☑不要
6．工事概要 ※指名競争入札と2,000万円未満の随意契約は入力不要	・管理棟屋上防水改修 ・渡り廊下屋上防水改修 ・教室棟外廊下ガラスブロック改修	
7．工事難易度	☐特殊な工法又は技術等を必要とする工事　☑通常の工事　☐簡易な工事	
8．工期	契約締結日から　平成 31 年 1 月 15 日まで	
9．支払条件	前　払　☑有（40 ／ 100）☐無　部分払☐有　回 ☑無 中間前払　☑有（20 ／ 100）☐無　完成払 ※債務負担又は継続費等により、複数年度にわたる場合は、それぞれの出来高予定額及び支払限度額を別紙「債務負担等内訳書」に入力して提出してください。（紙面とメールで提出） ☐債務負担等有　☑債務負担等無	
10．建設リサイクル法	☐該当する　☑該当しない	
11．担当者	氏　名　兼松　延好　内　線　1015-8211	
※原則、水道管工事のみ	枚方市水道事業指定給水装置工事事業者の指定　☐要　☐不要	

【注1】
その他必要な添付書類は、「契約依頼時における必要書類等一覧（建設工事及び委託業務）」を参照してください。

【注2】
今回の依頼が初度発注案件ではない場合（再発注案件、また、工事名は同じだが設計見直し等により内容が変更となっている案件など）については、必ず契約課にその旨を伝えてください。

設　　計　　書

1.	工事名称	開成小学校管理棟他屋上防水改修工事
2.	施工場所	枚方市香里ケ丘二丁目5
3.	工　　期	契約締結日から　平成　31年　1月15日まで
4.	設計概要	・管理棟屋上防水改修 ・渡り廊下屋上防水改修 ・教室棟外廊下ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ改修

名 称　開成小学校管理棟他屋上防水改修工事　No. 1

	名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	直接工事費						
I	建築工事		1	式		8,398,687	
	直接工事費計					8,398,687	
	共通費						
I	共通仮設費		1	式		601,980	
II	現場管理費		1	式		1,505,711	
III	一般管理費		1	式		1,708,336	
	共通費計					3,816,027	
	合計					12,214,714	
	設計金額(工事価格)	千円未満切り捨て				12,214,000	
	消費税等相当額					977,120	
	総合計(工事費)					13,191,120	

開成小学校管理棟他屋上防水改修工事

図面リスト	
【 建築工事 】	
図面番号	図面名称
A－01	表紙・図面リスト
A－02	改修特記仕様書　1
A－03	改修特記仕様書　2
A－04	改修特記仕様書　3
A－05	配置図 兼 仮設計画図
A－06	屋根伏図（現況・撤去）
A－07	屋根伏図（改修）
A－08	矩計図1(現況・撤去・改修)
A－09	矩計図2(現況・撤去・改修)
A－10	部分詳細図 1(現況・撤去・改修)
A－11	部分詳細図 2(現況・撤去・改修)
A－12	トップライト詳細図（現況・撤去）
A－13	トップライト詳細図（改修）
A－14	ガラスブロック改修図（現況・撤去・改修）

開成小学校管理棟他屋上防水改修工事			No. A－01
表紙・図面リスト			
DATE	CHECKED BY.	DRAWN BY.	SCALE

枚方市教育委員会まなび舎整備室			

3. コンクリート打放し仕上げ外壁 / モルタル塗り仕上げ外壁 / タイル張り仕上げ外壁

□ 施工数量調査 (1.5.2)

(モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げの場合は、はく離のおそれがある浮き部分を全面に表示し、大規模の部分で浮きを表示する。また、アンカーピンニング等の位置をチョーク等で表示する)

調査報告書 2部 (ひび割れ、欠損、浮き等の詳細図を作成し、数量を図中にプロットすること)

工法		(4.1.4)
□ ひび割れ部改修工法	□ 樹脂注入工法	
	□ Uカットシール材充填工法	
	□ シール工法	
□ 欠損部改修工法	□ 充填工法	

工法		(4.1.4)
□ ひび割れ部改修工法	□ 樹脂注入工法	
	□ Uカットシール材充填工法	
	□ シール工法	
□ 欠損部改修工法	□ 充填工法	
	□ モルタル塗替え工法	
□ 浮き部改修工法	□ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	
	□ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	
	□ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	
	□ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	
	□ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	
	□ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	
	□ 充填工法	
	□ モルタル塗替え工法	

工法		(4.1.4)
□ ひび割れ部改修工法	□ 樹脂注入工法	
	□ Uカットシール材充填工法	
□ 欠損部改修工法	□ タイル部分張替え工法	
	□ タイル張替え工法	
□ 浮き部改修工法	□ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	
	□ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	
	□ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	
	□ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	
	□ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	
	□ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	
	□ タイル部分張替え工法	
	□ タイル張替え工法	
□ 目地改修工法	□ 目地ひび割れ部改修工法	
	□ 伸縮目地改修工法	

5. 外壁改修塗り仕上げ

仕上げ		(4.1.5)
□ 塗替えの既存仕上げ	□ 薄付け仕上塗材塗り	
	□ 厚付け仕上塗材塗り	
	□ 複層仕上塗材塗り	
	□ 可とう形改修用仕上塗材塗り	
	□ 仕上塗材塗り	
	□ マスチック塗材塗り	

6. 樹脂注入工法

工法	注入間隔 (mm)	注入量 (ml)	ひび割れ幅 (mm)
□ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	200～300	130	0.2以上1.0以下
□ 手動式エポキシ樹脂注入工法	50～100	40	0.2以上0.3以下
□ 機械式エポキシ樹脂注入工法	100～200	70	0.3以上0.5以下
	150～250	130	0.5以上1.0以下

エポキシ樹脂 JIS A 6024 (□ 高粘度形 □ 中粘度形)

コア抜取りによりひび割れ部の注入状況の確認 □ 行う (コア抜取り箇所)

7. Uカットシール材充填工法

シーリング材充填 (4.2.2) (4.3.5)

充填材料 1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材 □

シーリング材の上へのエポキシ樹脂モルタル充填 □ 行う □ 行わない

□ 可とう性エポキシ樹脂充填

8. シール工法

□ 可とう性エポキシ樹脂 □ パテ状エポキシ樹脂 (4.2.2) (4.3.6)

9. 充填工法

エポキシ樹脂モルタル □ ポリマーセメントモルタル (4.2.2) (4.3.7)

10. 浮き部改修工法

(4.4.10～15) (4.5.9～15)

工法	アンカーピン本数 (本/m²) 一般部分	アンカーピン本数 指定部分	注入口の箇所数 一般部分	注入口の箇所数 指定部分	挿入口1箇所当たり充填量 (ml)
□ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	16	25	□	□	25
□ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	13	20	12	20	25
□ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	13	20	12	20	50
□ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	9	16	□	□	25
□ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	9	16	9	16	25
□ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	9	16	9	16	50
□ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	9	16	9	16	25

アンカーピン SUS304 (呼び径4mm 全ネジ切り加工)

注入口付アンカーピン SUS304 (呼び径6mm)

11. タイル部分張替え工法 / 12. タイル張替え工法

張付材 ポリマーセメントモルタル □ 外装タイル張り用有機系接着剤 (4.2.2) (4.5.7)

張付けモルタル 既調合モルタル (□ 使用する □ 使用しない) (4.2.2) (4.5.8)

タイル張り工法 外装タイル □ 密着張り □ 改良積上げ張り □ 改良圧着張り

外装ユニットタイル (□ マスク張り □ モザイクタイル張り)

□ 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

目地 方向	外壁躯体に目地のない場合	外壁躯体に目地のある場合
垂直方向	柱の両側又は開口部上下及び中間3～4m程度	柱の両側又は中間3～4m程度
水平方向	各階ごとの打継ぎ目地の位置	

寸法	幅 (mm)	深さ (mm)
コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地	20以上	10以上
上記以外の目地	10以上	10以上

13. 仕上塗材の種類

既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.6.3)

□ サンダー工法 □ 高圧水洗工法 □ 塗膜剥離剤工法 □ 水洗い工法

下地調整 (4.6.4)

□ コンクリート、モルタル、プラスター、PCパネル、ALCパネル、押出成形セメント板面

工法 (4.2.2) (4.6.5)

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	材料	モルタル下地の仕上
薄付け仕上塗材	□ 外装薄塗材Si	□ 砂壁状 / □ ゆず肌状 / □ さざ波状	吹付け / ローラー		□金ごて / □木ごて
	□ 可とう形外装薄塗材E	□ 砂壁状 / □ ゆず肌状 / □ さざ波状	吹付け / ローラー		□金ごて
	□ 外装薄塗材E	□ 平たん状 / □ 凹凸状 / □ ゆず肌状 / □ さざ波状 / □ 着色骨材砂壁状	こて / ローラー / 吹付け		□金ごて / □木ごて
	□ 可とう形外装薄塗材E	□ 砂壁状 / □ ゆず肌状 / □ 平たん状 / □ 凹凸状	こて / ローラー		□金ごて
	□ 防水形外装薄塗材E	□ ゆず肌状 / □ さざ波状 / □ 凹凸状	ローラー		□金ごて
	□ 外装薄塗材S	□ 砂壁状	吹付け		□金ごて / □木ごて
厚付け仕上塗材	□ 外装厚塗材C	□ 吹放し / □ 凸部処理 / □ 平たん状 / □ 凹凸状 / □ ひき起し / □ 掻き落とし	吹付け / こて		□はけ引き / □木ごて
	□ 外装厚塗材Si / □ 外装厚塗材E	□ 吹放し / □ 凸部処理 / □ 平たん状 / □ 凹凸状 / □ ひき起し	吹付け / こて / ローラー		□はけ引き / □金ごて / □木ごて
複層仕上塗材	□ 複層塗材CE / □ 複層塗材Si / □ 複層塗材E / □ 複層塗材RE	□ 凸部処理 / □ 凹凸模様 / □ ゆず肌状	吹付け / ローラー	主材 / 上塗材	□はけ引き / □金ごて / □木ごて
	□ 可とう形複層塗材CE	□ 凸部処理 / □ 凹凸模様 / □ ゆず肌状	吹付け / ローラー		□金ごて
	□ 防水形複層塗材CE / □ 防水形複層塗材E / □ 防水形複層塗材RE / □ 防水形複層塗材RS	□ 凸部処理 / □ 凹凸模様 / □ ゆず肌状	吹付け / ローラー	外観 つやあり / つやなし / メタリック	□金ごて
可とう形改修用仕上塗材	□ 可とう形改修塗材E / □ 可とう形改修塗材RE / □ 可とう形改修塗材CE	□ 平たん状 / □ さざ波 / □ ゆず肌状	ローラー / 吹付け		

防火材料の指定 □ AV □ QL

5 建具改修工事

1. 改修工法

□ かぶせ工法 □ 撤去工法 □ 図示による (5.1.3)

2. アルミニウム製建具

外部に面する建具 (5.2.2)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	見込み (mm)	備考
□ A種	S-4	A-3	W-4	70	
□ B種	S-5			100 (扉)	
□ C種	S-6	A-4	W-5	100	

(注) 引違い・片引き・上げ下げ窓で複層ガラスを使用する場合

表面処理 外部 B-1種 (□ ブラウン系 □ ブラック □ ステンカラー) (5.2.4)

内部 C-1種 (□ ブラウン系 □ ブラック □ ステンカラー)

3. 樹脂製建具

外部に面する建具 (5.3.2)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	見込み (mm)	備考
□ A種	S-4		W-4		
□ B種	S-5	A-4	W-5	製造所による	
□ C種	S-6				

4. 鋼製建具

(5.4.2)

種別	耐風圧性	備考
□ A種	S-4	
□ B種	S-5	
□ C種	S-6	

5. 鋼製軽量建具 / 6. ステンレス製建具

(5.5.2) (5.6.2)

種別	耐風圧性	備考
□ A種	S-4	
□ B種	S-5	
□ C種	S-6	

ステンレス鋼板 SUS304 □ SUS430J1L □ SUS443J1 □ SUS430 (屋内) (5.6.3)

表面仕上げ HL仕上げ □ 鏡面仕上げ □ バフ仕上げ (番) (5.6.4)

7. 木製建具

(建仕16.7.2)

8. 建具用金物

材質 表5.7.1による (5.7.2～3)

錠類 □ 錠 (シリンダー錠) □ ドアクローザ □ フロアヒンジ

マスターキーの製作 □ 行う □ 行わない

既存マスターキー合わせ □ 行う □ 行わない (5.7.4)

9. 自動ドア開閉装置

□ 性能等 (5.8.2～4)

センサーの種類 □ マット □ 光線 (反射) □ 熱線 □ 音波 □ 光電 □ 電波 (5.8.3)

10. 自閉式上吊り引戸装置

□ 性能等 (5.9.2～4)

11. 重量シャッター

(5.10.2～5)

	耐風圧強度 (N/m²)	シャッターケース
□ 一般重量シャッター	□	□ 設ける □ 設けない
□ 外壁用防火シャッター	□	設ける
□ 屋内用防火シャッター		設ける
□ 防煙シャッター		設ける

開閉機能 □ 上部電動式 (手動併用) □ 上部手動式

電動式シャッターの開閉装置 リミットスイッチ+保護スイッチ □ 障害物感知装置

防火又は防煙シャッターの危害防止機構 障害物感知装置 (自動閉鎖型)

(平成17年12月1日国土交通省告示第1392号に適合すること)

12. 軽量シャッター

外部に面する軽量シャッターの耐風圧性能 □ 耐風圧強度 ( ) N/m² (5.11.2～5)

開閉形式 手動式 (巻上げ式) □ 上部電動式 (手動併用)

電動式シャッターの開閉装置 リミットスイッチ+保護スイッチ 障害物感知装置

スラットの形状 □ インターロッキング形 □ オーバーラッピング形 (5.11.4)

13. オーバーヘッドドア

(5.12.2～5)

セクション材	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
スチールタイプ	バランス式	□ スタンダード形	溶融亜鉛めっき鋼板
□ アルミニウムタイプ	□ チェーン式	□ ローヘッド形	□ ステンレス鋼板 (SUS304)
□ ファイバーグラスタイプ	□ 電動式	□ ハイリフト形	
		□ バーチカル形	

耐風圧強度区分 (JIS A 4716) □ 50 □ 75 □ 100 □ 125

電動式の場合の開閉装置 障害物感知装置

14. ガラス

ガラスの種類・品質・厚さ 図面による (5.13.2～4)

ガラス留め材

建具の種類	材料
アルミニウム製	シーリング材 □ ガスケット (FIX部はシーリング材)
樹脂及び鋼製建具	シーリング材
ステンレス製	シーリング材
木製	□ シーリング材 不乾燥系ガラスパテ □ 押縁

15. ガラス用フィルム

JIS A 5759

名称	種類	貼り面	性能等
□ ガラス飛散防止フィルム	耐久性	内貼り □ 外貼り	飛散防止性 D1
□ 室内側カットフィルム			

16. かぎ箱

□ 20個用 □ 30個用 □ 60個用 □ 120個用

6 内装改修工事

1. 既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の撤去 仕上げ材のみ (接着剤共) (6.2.2)

□ 下地モルタル共 (□ 厚さ□の範囲 □ 既存範囲全て)

2. 既存壁の撤去及び下地補修

(6.2.3)

3. 天井改修

既存天井の撤去 □ A種 □ B種 □ C種 (6.5.1) (6.5.2)

部位	天井の状態	A種	B種	その他
天井の主材及び下地材の撤去	汚れ・変色・傷・かびがある場合	上塗り (耐水形のみ)		(耐水形のみ)
	雨漏り・汚れの範囲が広い場合	中塗り		上塗り
不適切な施工の場合		中塗り		上塗り

4. 軽量鉄骨天井下地

(6.6.2～4)

野縁等の種類 屋外 (□ 25型 □ 19型) 屋内 (□ 19型 □ 25型)

既存の埋込インサート □ 使用する

あと施工アンカーの引抜き試験 □ 行う

5. 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナー等の種類 □ 50型 □ 65型 □ 90型 □ 100型 (6.7.2～4)

スタッドの高さが5mを超える場合の補強 図面による

6. ビニル床シート

(6.8.2) (6.8.3 (a)(b)) (6.8.4)

種類	JIS記号	厚さ (mm)	工法	接着剤	色柄	その他
□ 発泡層なし	FS	2.0	熱溶接	エポキシ系 / ウレタン系	□ 無地 □ マーブル柄	□ 一般用 / ノンスリップ
□ 発泡層あり	HS				□ 無地 □ 柄	

7. ビニル床タイル

(6.8.2) (6.8.3 (a)(b)) (6.8.4)

種類	JIS記号	厚さ (mm)
□ 単層ビニル床タイル	TT	2.0 □ 3.0
□ 複層ビニル床タイル	FT	2.0 □ 3.0
□ コンポジションビニル床タイル	KT	2.0 □ 3.0

8. ゴム床タイル

(6.8.2) (6.8.3 (a)(b)) (6.8.4)

種類	厚さ (mm)	色柄
□ 天然ゴム	□	□ プレーン
□ 合成ゴム	□	□

9. ビニル幅木

高さ (mm) □ 60 □ 75 □ 100 (6.8.2)

10. カーペット敷き

□ 織じゅうたん (6.9.2)

種類	パイル形状	防炎性
□ A種 □ B種 □ C種	□ カットパイル □ ループパイル / □ カット、ループパイル併用	人体帯電圧 3kV以下

□ タフテッドカーペット (6.9.2)

パイル形状	パイル長 (mm)	工法	帯電性
□ カットパイル □ ループパイル / □ レベルループパイル □ カット、ループ併用	□	グリッパー工法 / □ 全面接着工法	人体帯電圧 3kV以下

□ タイルカーペット (6.9.3)

パイル形状	種類	寸法 (mm)	総厚さ (mm)
□ カットパイル ループパイル / □ レベルループパイル □ カット、ループ併用	第1種 / □ 第2種	500×500	6.5

11. 合成樹脂塗床

□ 弾性塗床材 (6.10.2)

種類	工法及び仕上の種類	
□ 弾性ウレタン塗り床材	平滑仕上げ □ 防滑仕上げ □ つや消し仕上げ	
□ エポキシ樹脂塗り床材	□ 薄膜流し展べ工法 □ 厚膜流し展べ工法 / □ 樹脂モルタル工法	□ 平滑仕上げ / □ 防滑仕上げ

□ 無機質塗床材 (6.10.3)

種類	仕上の種類
エポキシ樹脂塗り床材	平滑仕上げ

12. フローリング張り

単層フローリング (6.11.2～5)

種類	樹種	寸法 (mm)	厚さ (mm)	工法
□ フローリングブロック	なら / □	303×303 / □	15 / □	□ 接着工法
□ フローリングボード	なら / □	幅 75以上 / 長さ 900以上	□	釘留め工法 / □ 根太張り工法 □ 直張り工法 / □ 接着工法
□ モザイクパーケット	□	□	□	□ 接着工法

複合フローリング (6.11.2～5)

種類	樹種	種別	寸法 (mm)	工法
□ 複合フローリング	なら / □	□ A種 / □ B種 / C種	75以上 / 900以上	□ 釘留め工法 / □ 根太張り工法 □ 直張り工法 / □ 接着工法

13. 畳敷き

(6.12.2)

下地の種類	畳の種類
□ 畳床 表6.5.8による種類	□ A種 B種 □ C種 □ D種
□ ポリスチレンフォーム畳下地	□ A種 □ B種 C種 □ D種

14. せっこうボード その他ボード

(6.13.2～3)

種類	JISの記号	規格・厚さ (mm) 等
□ 硬質木毛セメント板	HW	□ 15 □ 20 □ 25 □
□ 普通木毛セメント板	NW	□ 15 □ 20 □ 25 □
□ けい酸カルシウム板	0.8FK / 1.0FK	タイプ2 (無石綿) / □ 6 □ 8
□ 化粧けい酸カルシウム板		□ 8
□ ロックウール化粧吸音板	DR	フラットタイプ (厚9 (不燃) □ 12 □) / □ 凹凸タイプ (厚12 (不燃) □ 15 □)
□ ロックウール吸音ボード1号	RW-B	□ 25
□ グラスウール吸音ボード2号32K	GW-B	□ 25 (ガラスクロス包み)
□ せっこうボード	GB-R	□ 12.5 (不燃) □ 9.5 (準不燃)
□ 不燃積層せっこうボード	GB-NC	□ 9.5 (不燃) 化粧有 (下地張り用) / 化粧有 (トラバーチン模様)
□ シージングせっこうボード	GB-S	□ 12.5 (不燃)
□ 強化せっこうボード	GB-F	□ 12.5 (不燃) □ 15 (不燃)
□ せっこうラスボード	GB-L	□ 7
□ 化粧せっこうボード	GB-D	□ 12.5 (不燃) □ 9.5 (準不燃)
□ 化粧せっこうボード (エ形)	GB-D	□ 12.5 (不燃) 幅440程度
□ 耐水合板		類別 (□ 1類 □ 2類) 表面 (JAS 特類 2級 C-D) / □ 9 □ 12 □ 15 □
□ パーティクルボード		JIS K 6903による 厚□ 1.2 / □ 9 □ 12 □ 15 □
□ メラミン樹脂化粧板		
□ ミディアムデンシティファイバーボード	MDF	□ 5 □ 7 □ 9 □ 12 □
□ 構造用パーティクルボード		□ 耐水 □ 一般 / □ 10 □ 12 □ 15 □ 18 □
□ ハードボード (難燃)	HB	□ 耐水 □ 一般 / □ 10 □ 12 □ 15 □ 18 □
□ インシュレーションボード	IB	A級 (□ 天井 □ 内壁以上 □) / □ 9 □ 12 □ 15 □ 18 □

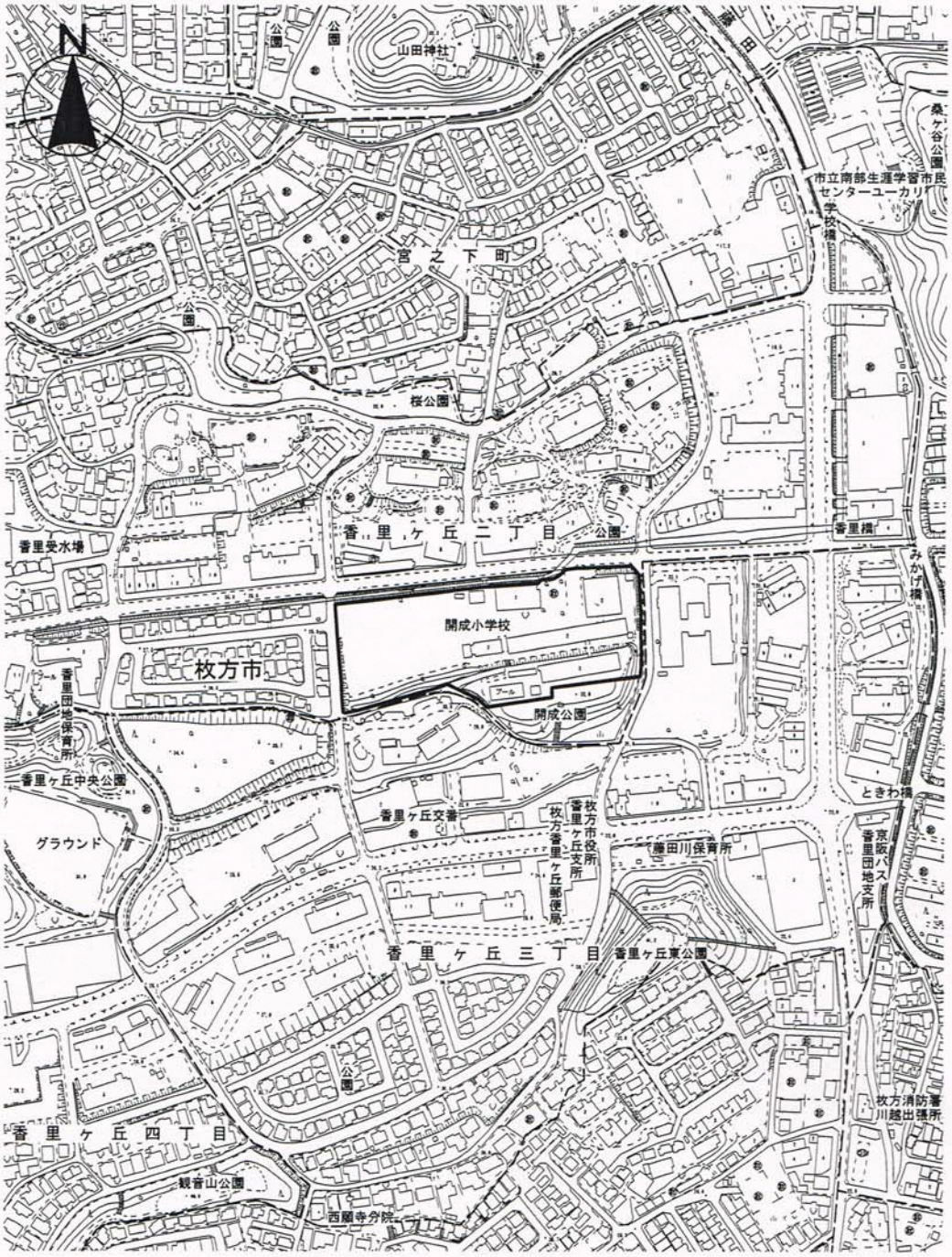
通気シール材 □ 適用する (□ アクリル系シーリング材 □ ウレタン系シーリング材 □ ジョイントコンパウンド)

H29.4 改訂

開成小学校管理棟他屋上防水改修工事			No. A－03
改修特記仕様書 2			
DATE	CHECKED BY.	DRAWN BY.	SCALE
枚方市教育委員会まなび舎整備室			

工　事　場　所　位　置　図

工事件名　開成小学校管理棟他屋上防水改修工事



枚方市香里ケ丘二丁目５

92.3% → 90.0%
93,071,000円

添付書類③

（平成28年4月以降）

29KB-4

請負審

事　務　連　絡
平成 29 年 4月 3日

財務部　総合契約検査室
契約課長

教育委員会管理部
教育環境整備室　課長

工事契約手続依頼書

29KB-4

標記の件、別紙のとおり決裁が完了しましたので契約手続を依頼します。

1．入札方式	制限付き一般競争入札（工事希望型）	
2．工事名	平野小学校管理棟外壁改修他工事	
3．工事場所	枚方市招提中町一丁目５３－１	
4．設計額（税抜）	103,413,000 円	※市長部局発注分で、税込予定価格が1億5千万円以上は、議会の議決が必要となります。
5．業種	建築一式工事	特定建設業の許可：☑要　☐不要
6．工事概要 ※指名競争入札と2,000万円未満の随意契約は入力不要	・管理棟外壁、屋上防水改修 ・理科室、理科準備室内装改修 ・家庭科室内装改修 ・教室棟外壁、屋上防水改修 ・体育館外壁、陸屋根防水改修 上記に伴う電気設備工事、機械設備工事	
7．工事難易度	☐特殊な工法又は技術等を必要とする工事　☑通常の工事　☐簡易な工事	
8．工期	契約締結日から　平成 29 年 10 月 13 日まで	
9．支払条件	前払　☑有（40／100）☐無　部分払☐有　回　☑無　完成払 中間前払　☑有（20／100）☐無	
	※債務負担又は継続費等により、複数年度にわたる場合は、それぞれの出来高予定額及び支払限度額を別紙「債務負担等内訳書」に入力して提出してください。（紙面とメールで提出） ☐債務負担等有　☑債務負担等無	
10．建設リサイクル法	☑該当する　☐該当しない	
11．担当者	氏名　望月　翔太　内線　1015-8211	
※原則、水道管工事のみ	枚方市水道事業指定給水装置工事事業者の指定　☐要　☑不要	

【注1】
その他必要な添付書類は、「契約依頼時における必要書類等一覧（建設工事及び委託業務）」を参照してください。

【注2】
今回の依頼が初度発注案件ではない場合（再発注案件、また、工事名は同じだが設計見直し等により内容が変更となっている案件など）については、必ず契約課・工事グループにその旨を伝えてください。

翌 伝 設

(仕) 設

回議書　　29 一般

決裁区分	副市長		部　長	部次長・	室　長	課　長	課長代理		担当	文書審査		
副市長専決												
	物品取扱員											
	合議											

業務区分	001　工事

下記のとおり執行を行ってよろしいか。

伝票名	伝票番号	起票日	決裁日	起票者		
執行伺	5000001001-00-01	平成29年 3月29日		部	40	教育管理部
				課	09	教育環境整
				係		
				氏名	島田 真帆	
						印

年度	平成29年度	予算区分	繰越明許	科目通番	43273
所　属	40090000	教育管理部　教育環境整			
会　計	01	一般			
大事業	I1	一般・教　育　費（小学校費）			
中事業	69	学校園施設改善事業経費			
小事業	03	施設改善維持補修経費			
款	09	教　育　費			
項	02	小学校費			
目	01	小学校管理費			
節	15	工請費			
細　節	01	工請費			
説　明	901	工事請負費			

今回執行伺額	111,686,040 円

配当予算現額	726,100,000 円
執行済額	469,590,654 円
執行可能額	256,509,346 円
更新後執行可能額	144,823,306 円
予定金額	111,686,040 円
債務負担行為額	0 円

工事名	平野小学校管理棟外壁改修他工事
施工場所	枚方市招提中町一丁目５３－１
概要 物品は購入理由	【起案理由】市有建築物保全計画による 【工事概要】管理棟外壁・屋上防水改修 理科室・理科準備室内装改修、家庭科室内装改修 教室棟外壁・屋上防水改修 体育館外壁・陸屋根防水改修 上記工事に伴う電気設備工事、機械設備工事
工期	至　平成29年10月13日

契約委任先	10040000　財務部　契約課

依頼締切日	平成29年 4月 3日
入札方法	204　制限付き一般競争入札（工事希望型）
業種	002　建築一式
詳細業種	
入札保証金	入札・見積り金額の ０／１００
契約保証金	契約金額の ０／１００
前払金	適用する
中間前払金	適用する
部分払	0回
建設リサイクル法	適用する
監督員所属	40090000　教育管理部　教育環境整
総括監督員	兼松　延好
監督員	米田　卓司
監督員	加藤　幸信
監督員	川田　聡

契約方法	総価契約
設計金額	103,413,000 円
消費税額	8,273,040 円
予定金額	111,686,040 円

決裁根拠	事務決裁規程 執行伺工：別表第１　３表(2)表1項(12)号ロ

A42950000010010001A

発注案件名称　：　平野小学校管理棟外壁改修他工事
発注番号　：　29KB-4
入札方式　：　制限付き一般競争入札（工事希望型）
入札書受付締切予定日時　：　平成29年5月9日　午後5時00分
開札予定日時　：　平成29年5月11日　午前10時00分
工期　：　契約締結日から平成29年10月13日まで
工事場所　：　枚方市招提中町1丁目53-1

予定価格及び最低制限価格

予定価格　：　事後公表
最低制限価格　：　事後公表

予 103,413,000

※上記価格には、消費税及び地方消費税を含まない。
なお、最低制限価格に1,000円未満の端数がある場合は切捨て。

工事概要

・管理棟外壁、屋上防水改修
・理科室、理科準備室内装改修
・家庭科室内装改修
・教室棟外壁、屋上防水改修
・体育館外壁、陸屋根防水改修
上記工事に伴う電気設備工事、機械設備工事

建設リサイクル法第9条第1項

該当する

発注区分

「建築」総合点数650点以上

支払条件

前払金（契約金額の40/100以内）、中間前払金（契約金額の20/100以内）、完成払

設計図書

電子入札システムからダウンロードすること。

質疑メール締切期限

平成29年4月24日　正午まで
メール送付先：keiyaku-kouji@city.hirakata.osaka.jp
質疑回答書様式：総合契約検査室ホームページ「様式ダウンロード」にあり

回答日時等

平成29年4月26日　総合契約検査室ホームページ「質疑回答公表」に掲載

発注条件

【地域区分】
市内業者
【登録業種】
建築一式
【当該業種に係る総合点数又は経営事項審査総合評定値（P点）】
総合点数650点以上
【特定建設業の許可】
必要（配置技術者は当該業種について監理技術者資格者証所持者であること。）
【施工実績】
過去15年以内に、建築工事で5,000万円以上の元請としての施工実績を有すること。
なお、JVとしての施工実績の場合は、出資比率で乗じた金額が上記条件を満たすこと。
【枚方市水道事業指定給水装置工事事業者の指定】
不要
【社会保険】

雇用保険法（昭和49年法律第116号）に基づく雇用保険、健康保険法（大正11年法律第70号）に基づく健康保険及び厚生年金保険法（昭和29年法律第115号）に基づく厚生年金保険に事業主として加入していること。ただし、各保険について法令で適用が除外されている場合を除く。

【受注制限】

1. 平成29年4月1日以降に本市（市立ひらかた病院、枚方市上下水道局及び消防組合からの発注を含む。）が発注する建設工事の制限付き一般競争入札において、開札執行日時までに合計5件を受注していないこと。

   なお、受注件数には現在入札申請中及び低入札審査中のものを含む。また、JVでの入札申請及び受注は1件とみなす。
2. 平成28年度施工優良者（契約金額が2,000万円以上の工事で平成28年度中に工事が完成し、工事成績評定結果が80点以上であった者）については、上記の受注制限を1件緩和する。
3. 受注（申請中のものを含む。）制限件数を超える入札があった場合は、同時期に申請のあったすべての入札を無効とする。

【その他の条件】

1. 配置技術者を本工事に専任で配置できること。（重複申請は認めない。）ただし、契約金額が3,500万円未満（建築一式工事は7,000万円未満）の場合は他の工事との兼任を認める。
2. 現場代理人を本工事に専任で配置できること。（重複申請は認めない。）ただし、契約金額が350万円未満の場合は他の工事との兼任を認める。
3. 入札締切日において、枚方市入札参加停止、指名停止等の措置に関する要綱に基づく入札参加（指名）停止措置を受けていないこと。
4. 入札締切日において、枚方市公共工事等暴力団排除措置要綱に基づく入札等除外措置を受けていないこと。
5. 入札締切日において、営業停止中でないこと。
6. 開札の結果、予定価格から最低制限価格の範囲内の価格の入札がない場合、再度の入札を行うことがある。ただし、最低入札額が予定価格の100分の130に相当する価格を上回る場合は、原則として再度入札を行なわない。

   また、最低制限価格を下回る価格で入札した者は再度入札に参加することができない。

   なお、再度の入札を行う場合は、対象者にFAXにより周知する。

開札後提出書類

1. 施工実績を証する書類（コリンズ登録内容確認書又は契約書原本とその写し、設計大要等）民間実績の場合は、工事契約調書（総合契約検査室ホームページにてダウンロード可。）及び 開発許可通知書の写し等元請を証する書類も併せて提出のこと。
2. 最新の経営規模等評価結果の総合評定値通知書の写し
3. 配置予定技術者等調書
4. 配置技術者（現場代理人を含む。）との雇用関係を確認するための書類

   所属建設業者の記載された監理技術者資格者証（表・裏）の写し、健康保険被保険者証の写し、住民税特別徴収税額（変更）通知書の写し、雇用保険者証の写し、のいずれか。

   ただし、技術者が現場代理人を兼務したときは、当該技術者のみとする。
5. 配置技術者の国家資格等を証する書類

   ＊発注条件において特定建設業を要する場合

   所属建設業者の記載された監理技術者資格者証（表・裏）の写し及び監理技術者講習修了証の写し

   ＊その他の場合

   資格証明書等の写し（国家資格を有する場合）又は経歴書（実務経験による技術者の場合）
6. ISO（9001、14001）認証取得業者は当該登録証の写し（該当者のみ）
7. 労働安全衛生マネジメントシステム（COHSMS又はOHSAS18001）認証取得業者は当該登録証の写し（該当者のみ）
8. 障害者等の雇用関係を証する書類（該当者のみ）
9. その他、本市が指定する書類（必要のある場合のみ）

発注条件において特定建設業の許可を求める工事を落札した場合の提出書類

発注条件において特定建設業の許可を求める工事を落札した場合は、完了検査時に下記の書類を総合契約検査室契約課へ提出すること。（複数年契約については年度終了毎にも提出。）

・労務者賃金支払い状況報告書（様式ダウンロード＞建設工事請負契約様式集＞様式29）

添付書類⑤

予定価格調書

平成29年 4月13日 作成

工事名	平野小学校管理棟外壁改修他工事	
予定価格 ※左は消費税抜き	¥103,413,000	¥111,686,040
最低制限価格 又は、調査基準価格 ※左は消費税抜き	¥93,071,000	¥100,516,680
設計金額 ※左は消費税抜き	¥103,413,000	¥111,686,040
入札<又は見積> 執行年月日	平成29年 5月11日 10時00分	

（1円未満の端数は切り捨てる。）

上記の通り予定価格を決定する。

平成29年 4月13日

財務部長　宮垣　純一　印

案件番号　0000000831

添付書類⑥

資格審査結果・指名情報

戻る　メニュー

・前画面へ戻るには、戻るボタンをクリックしてください。
・メニューへ戻るには、メニューボタンをクリックしてください。

発注案件番号　02100101010002017004 7
発注案件名称　平野小学校管理棟外壁改修他工事

業者名	資格	競争参加資格が無いと認めた理由
(株)昌栄工務店	有	
(株)古川工務店	有	
(株)ウェルテック	有	
(株)太平洋建設	有	

電子入札

添付書類⑦

「入札参加資格確認申請書」等一式書類確認票

審査結果	合 ・ 否

発注番号：29KB-4

業者名：（株）太平洋建設

件　名：平野小学校管理棟外壁改修他工事

入札金額：100,656,000 円（税込み）　93,200,000 円（税抜き）

発注区分	建築
点数	市内650点以上
特定許可	必要

提出書類の有無チェック（ 5 月 15 日）

✓	必須	配置予定技術者等調書　（様式1-1（請負金額7,000万円以上））
✓	必須	配置予定の監理技術者の資格及び監理技術者講習の受講を確認するための書類
		☑ 配置予定の監理技術者の資格者証の写し　☐ 配置予定の監理技術者の監理技術者講習終了証の写し
✓	必須	配置予定の技術者との雇用関係を確認するための書類（要3ヶ月以上の雇用）
✓	必須	配置予定の現場代理人との雇用関係を確認するための書類（要3ヶ月以上の雇用）
✓		施工実績を証する書類（又は契約書の写し）
		☐ 公共工事実績　☐ コリンズカルテ　☐ 契約書　（原本確認日：　月　日）
		☐ 民間工事実績　☐ 工事契約調書　☐ 通帳の写し等　☐ 開発許可書等
	必須	最新の経営事項審査結果通知書の写し　☐ 有効期限
		☐ 特定許可：（必要）　☐ 発注区分：（建築）　☐ 点数：（市内650点以上）
		☐ 雇用保険　☐ 健康保険　☐ 厚生年金保険　★ ☐ 左記書類で確認できない場合はその他書類
	—	ISO認証取得業者はISO登録証の写し★該当の場合のみ
	—	障害者等の雇用を証する書類（障害者手帳の写し及び健康保険被保険者証等）★該当の場合のみ

確認	No.	詳細	項目 具体的な確認方法又は内容
✓	1		**発注条件の確認**
			● 発注区分の確認
✓			・点数条件（経営事項審査結果通知書P評点、市内準市内は+ISO登録証・障害者雇用状況）
✓			☑ 650P ☑ 経審有効期限　☐ ISO有効期限　☐障害者雇用確認
✓			・特定建設業の許可確認（特定建設業の許可が必要な場合のみ）
✓			・地域要件（市内 ・ 準市内 ・ 地域要件なし）
✓			・社会保険
			☐　☐雇用保険　☐健康保険　☐厚生年金保険
✓	2		**技術者の確認**
			● 監理技術者・主任技術者の確認
✓			① 雇用関係の確認　☐ 3ヶ月以上の雇用
✓			② 監理技術者資格者証の確認【特定及び監理技術者で申請の場合】
			☐ 業種　☐ 会社名　☐ 有効期限
			③ 監理技術者講習終了証の確認【特定の場合】
—			④ 主任技術者の資格確認（主任技術者の国家資格を証する書類又は経歴書）
✓			⑤ コリンズ従事工事チェック（監理技術者のみ）
✓			●現場代理人の確認
✓			雇用関係の確認　☑ 3ヶ月以上の雇用
✓			● 技術者・現場代理人の重複確認（同時申請・施工中）
✓			● 営業所専任技術者との重複確認
✓	3		**工事実績の確認（契約書等）**
			● 同種又は類似工事の施工実績
✓			（施工実績条件）
			☑ 工事内容　（民間実績 ☐ 支払確認 ☐ 契約調書確認 ）
			☑ 過去１５年　5000万以上
	4		**その他の条件（製造等）**
			●

技術資料確認(担当課)

合 ・ 否

電子入札用必須添付資料様式

参加資格状況申告書（工事用）

（あて先）
枚方市長・枚方市上下水道事業管理者・枚方市病院事業管理者・枚方寝屋川消防組合管理者

商号　又は　名称	株式会社　太平洋建設		
住　　所	枚方市山之上西町 6－20		
電　　話	072－846－3100	ＦＡＸ	072－846－5881
業者登録（受付）番号	0000000151	担当者名	[redacted]

入札書提出日現在の参加資格状況について、下記のとおり事実と相違なく申告いたします。

記

1．受注件数に係る申告

●平成 29 年度中に枚方市・枚方市上下水道局・市立ひらかた病院・消防組合が発注した制限付き一般競争入札（標準型、公募型・工事希望型）で、受注した工事件数（JV 含む。総合評価制限付き一般競争入札、指名競争入札及び随意契約を除く。）を、下表に記入してください。

●受注した件数のうち低入札価格調査制度対象工事で受注した案件があるときは、その件数を、下表の低入札対象案件数欄に記入してください。

平成 29 年度中受注件数（受注がない場合は０）	うち、低入札対象案件数
0　件	0　件

2．総合点数及び総合評定値に係る申告

●**入札書提出日現在**の該当事項を全項目もれなく記入してください。

発注条件に記載する業種の最新の経営事項審査の総合評定値（P 点）		732 点
ISO14001・9001 認証を取得している場合は「有」を、取得していない場合は「無」を記入してください。	ISO14001	無
	ISO9001	無
労働安全衛生マネジメントシステム（COHSMS 又は OHSAS18001）認証を取得している場合は「有」を、取得していない場合は「無」を記入してください。	COHSMS	[redacted]
	OHSAS18001	[redacted]
障害者雇用の「有・無」を記入してください。		[redacted]

3．元請としての施工実績に係る申告

●発注条件で「元請実績」を求めている場合は、開札後の落札者決定事後審査に必要なため、必ず書類の提出が可能な実績を記入してください。

元請（JV は出資率記入）として受注した工事件名	工期	発注者
藤阪小学校管理棟外壁他改修工事 （JV 出資率　　%）	自　平成 28 年 6 月 22 日 至　平成 28 年 10 月 14 日	枚方市長

価　格　内　訳　書

（あて先）
枚方市長　殿

所　在　地　　大阪府枚方市山之上西町 6-20
商号又は名称　株式会社　太平洋建設
代表者職氏名　来馬　哲二

直接工事費	[redacted] 円
共通仮設費	[redacted] 円
現場管理費	[redacted] 円
一般管理費	[redacted] 円
工事価格 （合　計）	９３，２００，０００ 円

＜直接工事費欄の記入方法＞
　直接工事費の金額欄は、中内訳書の下段の合計金額と一致した金額（税抜）を記入すること。(異なる場合は、落札者としません。)

（注意）
　当該「価格内訳書」と一致した入札金額(税抜)で入札して下さい。(異なる場合は、落札者としません。)
　また、価格内訳書と中内訳書はワード又はエクセルで価格内訳書の次頁に中内訳書を作成してください。複数のファイルは、入札書の内訳書添付欄では最後に追加した１ファイルのみ添付されますので書類不備となる場合があります。

受付年月日　2016年10月18日
登録年月日　2016年10月18日
登録番号　4026709719
照会番号　S011231272

登録内容確認書
（工事実績）

（株）太平洋建設

御中

以下の内容は一般財団法人日本建設情報総合センターに工事実績として登録されていることを確認しました。

処理区分　竣工登録
履歴情報　受注登録　2016年07月01日
第1回変更登録　2016年10月03日
竣工登録　2016年10月18日

登録内容（値（右欄）が、「－－－－－」の項目は、任意項目または入力不要項目です。）

工事実績データ（契約データ）

登録番号	4026709719
変更事由発生年月日	西暦　2016年09月20日
自社が請け負った一体的先行契約工事のコリンズ登録番号	－－－－－
コリンズ登録義務の有無	有り
件名	藤阪小学校管理棟外壁他改修工事
対象水系・路線名称	－－－－－
請負金額	56,263,680　円
工期	西暦　2016年06月22日　～　西暦　2016年10月14日
発注機関情報	
発注機関名	大阪府枚方市教育委員会
郵便番号	573-1159
住所	大阪府枚方市車塚１丁目１－１輝きプラザきらら３階
電話番号	050-7105-8214
ＦＡＸ番号	072-851-1711
実績内容確認年月日	西暦　2016年10月17日
実績内容確認担当者所属部署名	管理部　教育環境整備室
実績内容確認担当者氏名	島田　真帆
実績内容確認担当者氏名（カナ）	シマダ　マホ
実績内容確認担当者メールアドレス	kyhozen@city.hirakata.osaka.jp
メール送付の承諾	有り
設計書コード	－－－－－
契約形態	一般競争入札方式
受注形態	単独

20161018095217

工事実績データ（契約データ）

受付年月日　2016年10月18日
登録年月日　2016年10月18日
登録番号　4026709719

契約特別事項	
ＶＥ	
対象工事か否か	VE対象工事ではない
方式・種別	－－－－－
提案の採否等	－－－－－
ＩＳＯ対象工事であるか否か	ISO対象工事ではない
請負者	
企業ＩＤ	K0-0147-3929
請負者名称	（株）太平洋建設
請負者名称(カナ)	タイヘイヨウケンセツ
建設業許可番号	大阪府知事許可 第 128496 号
事業所	
事業所名	（株）太平洋建設
郵便番号	573-0048
住所	大阪府枚方市山之上西町６－２０
電話番号	072-846-3100
ＦＡＸ番号	072-846-5881

工事実績データ（工事データ）

受付年月日　2016年10月18日
登録年月日　2016年10月18日
登録番号　4026709719

公共事業の分野	建築
本件登録工事の受注に対応した建設業許可業種	建築一式工事
本件登録工事の入札参加資格区分	建築工事
工種	建築一式工事
工法・型式	建築一式工
施工場所等	
起点	大阪府枚方市藤阪南町１丁目４０－１ から
終点	－－－－－ まで
施工場所規制等	
施工地域	その他地域
夜間工事の有無	無し
交通規制	
交通規制の有無	無し
交通規制道路の種別	－－－－－
規制道路の交通量	－－－－－
規制車線数	－－－－－
交通の確保手段	－－－－－
近接施工	
近接施工の有無	無し
近接する構造物	－－－－－
工事概要	外壁改修 理科室、準備室内装改修 家庭科室内装改修 上記に伴う電気設備工事、機械設備工事

工事実績データ（技術者データ）

受付年月日　2016年10月18日
登録年月日　2016年10月18日
登録番号　4026709719

技術者情報1 役割 所属企業の許可番号 所属企業名 建設実績技術者ＩＤ 氏名 氏名（カナ） 生年月日 監理技術者資格者証番号 従事期間	現場代理人 大阪府知事許可 第 128496 号 （株）太平洋建設 [redacted]
技術者情報2 役割 所属企業の許可番号 所属企業名 建設実績技術者ＩＤ 氏名 氏名（カナ） 生年月日 監理技術者資格者証番号 従事期間	主任技術者 大阪府知事許可 第 128496 号 （株）太平洋建設 [redacted]

工事実績データ（技術データ）

受付年月日　2016年10月18日
登録年月日　2016年10月18日
登録番号　4026709719

建築一式工事	―――――
建築一式工	―――――
工事種別	―――――
主要な構造種別	―――――
建物の用途種別	―――――
建物の用途種別	―――――
地上階数	―――――
地下階数	―――――
地上の高さ	―――――
延床面積	―――――
特殊構造種別	―――――
鉄骨総質量	―――――
鉄筋総質量	―――――
コンクリート量	―――――
コンクリート強度（最大）	―――――
最大スパン長	―――――
最大根切底深さ	―――――
新工法、新技術	―――――
新工法、新技術	―――――
新工法、新技術	―――――
新工法、新技術	―――――
新工法、新技術	―――――

受付年月日　2016年10月18日
登録年月日　2016年10月18日
登録番号　4026709719

発行年月日　2016年10月18日

一般財団法人日本建設情報総合センター

理事長　門松　武 [redacted]

20161018095217

経営規模等評価結果通知書
総合評定値通知書

経営規模等評価の結果
総合評定値　を通知します。

〒573－0048
大阪府枚方市
山之上西町6－20

（株）太平洋建設

来馬　哲二　殿

大阪府知事　許可　27 － 128496 号
審査基準日　平成 28 年 9 月 30 日

電話番号　072-846-3100
資本金額　20,000
完成工事高／売上高（%）　93.0
行政庁記入欄　30-290331

平成 29 年 4 月 20 日

大阪府知事　松井一郎

許可区分	建設工事の種類	総合評定値（P）	完成工事高 2年平均	完成工事高 評点（X1）	元請完成工事高及び技術職員数 元請完成工事高 2年平均	技術職員数 一級	技術職員数 (講習受講)	技術職員数 基幹	技術職員数 二級	技術職員数 その他	評点（Z）
特	土木一式	613	0	397	0	0	(0)	0	0	0	456
	プレストレストコンクリート構造物	613	0	397	0						456
特	建築一式	732	98,506	709	91,708	1	(0)	0	0	0	621
特	大工						( )				
特	左官						( )				
特	とび・土工・コンクリート						( )				
	法面処理										
特	石						( )				
	屋根						( )				
	電気						( )				
般	管	613	0	397	0	0	(0)	0	0	0	456
特	タイル・れんが・ブロック						( )				
特	鋼構造物						( )				
	鋼橋上部										
	鉄筋						( )				
特	舗装	613	0	397	0	0	(0)	0	0	0	456
	しゅんせつ						( )				
特	板金						( )				
	ガラス						( )				
特	塗装						( )				
特	防水	655	6,000	475	6,000	1	(0)	0	0	0	546
特	内装仕上						( )				
	機械器具設置						( )				
	熱絶縁						( )				
	電気通信						( )				
	造園						( )				
	さく井						( )				
特	建具						( )				
	水道施設						( )				
	消防施設						( )				
	清掃施設						( )				
	解体						( )				
	とび・土工・コンクリート・解体 経過措置						( )				
	その他		1,681		0						
	合計		106,187		97,708	1	(0)	0	0	0	

自己資本額及び利益額	数値	点数
自己資本額	74,698	693
利益額	10,439	626
評点（X2）		659

その他の審査項目（社会性等）	数値等	点数
雇用保険加入の有無	有	
健康保険加入の有無	有	
厚生年金保険加入の有無	有	
建設業退職金共済制度加入の有無	有	
退職一時金制度若しくは企業年金制度導入の有無	有	
法定外労働災害補償制度加入の有無	無	
労働福祉の状況		30
営業年数	41年	
民事再生法又は会社更生法の適用の有無	無	
建設業の営業継続の状況		60
防災協定の締結の有無	有	
防災活動への貢献の状況		15
営業停止処分の有無	無	
指示処分の有無	無	
法令遵守の状況		0
監査の受審状況	無	
公認会計士等の数	0	
二級登録経理試験合格者の数	0	
建設業の経理の状況		0
研究開発費	0	
研究開発の状況		0
建設機械の所有及びリース台数	0台	
建設機械の保有状況		0
ISO9001の登録の有無	無	
ISO14001の登録の有無	無	
国際標準化機構が定めた規格による登録の状況		0
若年技術職員の継続的な育成及び確保	非該当	
新規若年技術職員の育成及び確保	非該当	
若年の技術者及び技能労働者の育成及び確保の状況		0
評点（W）		997

（参考）

科目	単独決算	科目	単独決算	経営状況	単独決算	経営状況	単独決算
固定資産	38,829	売上高	156,078	純支払利息比率	0.000	自己資本対固定資産比率	192.377
流動負債	66,124	売上総利益	15,552	負債回転期間	5.111	自己資本比率	52.912
固定負債	350	受取利息配当金	0	総資本売上総利益率	13.293	営業キャッシュフロー	0.230
利益剰余金	54,698	支払利息	0	売上高経常利益率	1.583	利益剰余金	0.547
自己資本	74,698	経常利益	2,470	評点（Y）			757
総資本（当期）	141,173	営業キャッシュフロー（当期）	41,968				
総資本（前期）	92,819	営業キャッシュフロー（前期）	4,086				

［金額単位：千円］

●「自己資本額」の欄に「*」がある場合には、自己資本額数値の算出において2期平均を採用した場合の評点または数値。
●「行政庁記入欄」については、当該建設業者の営業に関する事項、経営状況に関する事項で、特記すべきことがあれば適宜記載するものとする。

入札・見積結果情報

発注案件番号	021001010100020170047
発注案件名称	平野小学校管理棟外壁改修他工事
入札執行回数	1 回
見積執行回数	0 回
予定価格	103,413,000円
最低制限価格	93,071,000円
開札執行日時	2017年05月11日 10時01分
判定結果	落札決定
理由	入札価格の最も高い者から上位3者については、予定価格超過。

番号	業者名称	金額	予定価格以下	最低制限価格以上	くじ入力値	くじ用入札秒	入札順	くじ値	くじ対象	くじ順	業者状況	入札書提出日時
1	(株)太平洋建設	93,200,000	○	○	968	34		-		-	落札決定	2017/05/09 12:10:34:761
2	(株)古川工務店	103,690,000	×	○	124	39		-		-		2017/05/08 15:25:39:743
3	(株)昌栄工務店	114,760,000	×	○	159	04		-		-		2017/05/08 10:29:04:302
4	(株)ウェルテック	108,108,000	×	○	715	27		-		-		2017/05/09 10:49:27:545

添付書類⑧

入札結果情報

戻る　メニュー

・前画面へ戻るには、戻るボタンをクリックしてください。
・メニューへ戻るには、メニューボタンをクリックしてください。

発注案件番号　02100101010002017004 7
発注案件名称　平野小学校管理棟外壁改修他工事
入札方式詳細　制限付き一般競争入札（工事希望型）
開札日　2017/05/11

入札結果　落札者決定

入札結果一覧（赤色で表示されているのは落札業者です。）

業者名	第１回	摘要
	金額	
(株)昌栄工務店	114,760,000	
(株)古川工務店	103,690,000	
(株)ウェルテック	108,108,000	
(株)太平洋建設	93,200,000	落札

備考

上記金額は、入札書に記載された金額で消費税及び地方消費税の額を含まない金額です。
入札記載金額　93,200,000　円で　(株)太平洋建設　に決定
・予定価格　103,413,000　円 ・最低制限価格　93,071,000　円

入札価格の最も高い者から上位３者については、予定価格超過。

契約情報

契約業者名　(株)太平洋建設
契約業者所在地　枚方市山之上西町６－２０
契約金額（税込み）　100,656,000　円
工期または履行期限　2017/05/25から2017/10/13まで

添付書類⑨

落札決定のお知らせ及び契約手続について

（株）太平洋建設 様

枚方市財務部　総合契約検査室　契約課

件名　平野小学校管理棟外壁改修他工事

上記の件名について、貴社に落札決定しましたのでお知らせします。
落札者決定通知書は、電子入札システムより入手してください。
なお、工期、契約金額は総合契約検査室のホームページの入札結果に掲載しています。

(契約手続きについて)

1. **契約日は、　平成29年5月25日です。**
2. 契約書等は、平成29年5月24日から契約保証金と引き換えでお渡しできますので、総合契約検査室契約課へお越し頂けるようお願いします。
3. 契約保証金の種類を下記の表に記載して早急に総合契約検査室契約課にＦＡＸで返送してください。(切取不要)

※契約保証金の率は契約金額(税込）の１０％以上です。
※なお、前払い保証事業者の保証や小切手等の場合、保証金額の記入をお願いいたします。

債権者名(被保険者名）は「枚方市市長　伏見　隆」でお願いします。
総合契約検査室契約課FAX：072-841-2015　TEL072-841-1345

☆☆ **※ 市長名、管理者名に間違いがないよう、お手続をお願いします。** ☆☆

枚方市財務部総合契約検査室契約課

会社名
担当者
ＴＥＬ

契約保証金の種類について、下記のとおり報告します。

1.件名
平野小学校管理棟外壁改修他工事

2.契約保証金の種類

□　履行保証保険
□　公共工事履行保証(履行ボンド)
□　前払い保証事業者の保証（金額　　円)
□　その他（種類：　　）(金額　　円)

落札決定のお知らせ及び契約手続について

（株）太平洋建設 ~~様~~

枚方市財務部　総合契約検査室　契約課　御中

件名　平野小学校管理棟外壁改修他工事

上記の件名について、貴社に落札決定しましたのでお知らせします。
落札者決定通知書は、電子入札システムより入手してください。
なお、工期、契約金額は総合契約検査室のホームページの入札結果に掲載しています。

（契約手続きについて）

1. 契約日は、　平成29年5月25日です。
2. 契約書等は、平成29年5月24日から契約保証金と引き換えでお渡しできますので、総合契約検査室契約課へお越し頂けるようお願いします。
3. 契約保証金の種類を下記の表に記載して早急に総合契約検査室契約課にＦＡＸで返送してください。（切取不要）

※契約保証金の率は契約金額（税込）の10%以上です。
※なお、前払い保証事業者の保証や小切手等の場合、保証金額の記入をお願いいたします。

債権者名（被保険者名）は「枚方市市長　伏見　隆」でお願いします。 総合契約検査室契約課FAX：072-841-2015　TEL072-841-1345

☆☆ **※ 市長名、管理者名に間違いがないよう、お手続をお願いします。** ☆☆

枚方市財務部総合契約検査室契約課

会社名　株式会社太平洋建設
担当者　[redacted]
ＴＥＬ　072-846-3100

契約保証金の種類について、下記のとおり報告します。

1. 件名
平野小学校管理棟外壁改修他工事

2. 契約保証金の種類

履行保証保険
☑ 公共工事履行保証（履行ボンド）
☐ 前払い保証事業者の保証（金額　　円）
☐ その他（種類：　　）（金額　　円）

(乙)4

添付書類⑩

契約締結回議書　　29 一般

決裁区分	部長	部次長	室長	課長	課長代理	係長	担当	文書審査				
部長専決												
	合議											
	会計管理者	会計課長										

公印 29.5.25

業務区分　001　工事

下記のとおり契約締結してよろしいか。

伝票名	伝票番号	起票日	決裁日	起票者		
契約	5600014798-00-00	平成29年 5月23日	平成29年 5月23日	部	10	財務部
				課	04	契約課
				係		
				氏名	福田 将也	印

年度	平成29年度	予算区分	繰越明許	科目通番	43273
所属	40090000	教育管理部　教育環境整			
会計	01	一般			
大事業	I1	一般・教　育　費（小学校費）			
中事業	69	学校園施設改善事業経費			
小事業	03	施設改善維持補修経費			
款	09	教　育　費			
項	02	小学校費			
目	01	小学校管理費			
節	15	工請費			
細節	01	工請費			
説明	901	工事請負費			

予定金額	111,686,040円
執行伺額	111,686,040円
総価税込金額	100,656,000円
今回支出予定額	100,656,000円
債務負担行為額	0円

契約金額	100,656,000円
地方自治法施行令第167条の2第1項	

工事名	平野小学校管理棟外壁改修他工事
施工場所	枚方市招提中町一丁目５３－１
概要 物品は購入理由	【起案理由】市有建築物保全計画による 【工事概要】管理棟外壁・屋上防水改修 理科室・理科準備室内装改修、家庭科室内装改修 教室棟外壁・屋上防水改修 体育館外壁・陸屋根防水改修 上記工事に伴う電気設備工事、機械設備工事
工期	自　平成29年 5月25日　～　至　平成29年10月13日
支出執行所属	40090000　教育管理部　教育環境整
業種	002　　建築一式
詳細業種	
契約方法	総価契約
業者 0000000151	（株）太平洋建設 代表取締役　来馬　哲二 枚方市山之上西町６－２０ ＴＥＬ　072-846-3100　　ＦＡＸ　072-846-5881
契約保証金	0円　　契約規則第43条第1項第２号により免除
前払金	適用する　　契約金額の 40／100 以内
中間前払金	適用する
部分払	適用しない
摘要	補足事項：本工事については、中間検査を実施する。

決裁根拠	事務決裁規程 市契約工事：別表第２　５表(4)表1項(1)号

A429560001479800000A

TOKIO MARINE NICHIDO

公共工事履行保証証券

保証契約日
平成　年　月　日
29．5．23

証券番号	4750560240
営業店	3953　関西営業2部2課
代理店／仲立人	2835　㈱アサヒファシリティズ大
契約者コード	DE702　太平洋建設

債権者（発注者）
住所
枚方市　大垣内町　2丁目　1番　20号

氏名
枚方市市長　伏見　隆　様

特約条項
瑕疵担保保証特約条項

債務者（保証委託者）	
〒 573 － 0048	☎ 市外 072 － 市内 846 － 番号 3100
住所	枚方市　山之上西町　6-20
氏名	株式会社　太平洋建設　代表取締役　来馬　哲二
連絡先	☎ 市外 － 市内 － 番号 （ 内線 ）
共同企業体	

保証期間		
履行保証期間	平成 29 年 5 月 25 日から	平成 29 年 10 月 26 日まで
瑕疵保証期間（瑕疵保証ありの場合にのみ記入）	平成 年 月 日から	平成 年 月 日まで

保証種類	保証金額
履行保証	10,066 000円
瑕疵保証	000円

（保証期間表示方法についてのご注意）
1. 瑕疵担保保証特約条項の付帯がある場合「履行保証期間」欄には、履行保証期間の始期および終期を表示し、「瑕疵保証期間」欄に瑕疵保証期間の始期および瑕疵保証期間の終期を個別に表示します。
2. 瑕疵担保保証特約条項の付帯がない場合「履行保証期間」欄にのみ、履行保証期間の始期および終期を表示し、「瑕疵保証期間」欄は空欄となります。

主契約の内容				
契約名（工事名）および契約の概要	平野小学校管理棟外壁改修他工事			
履行（工事）場所	大阪府枚方市招提中町1丁目53-1			
履行期間（工期）	平成 29 年 5 月 25 日から 平成 29 年 10 月 13 日まで	瑕疵担保期間 履行完了日から　月間		
契約締結日 平成 29 年 5 月 25 日	契約（請負）金額	100,656,000 円	契約書番号	
			前払金	有　無

保証人は、上記主契約につき、債権者に対し裏面記載の公共工事用保証契約基本約款、および特約条項その他この保証証券に記載したところに従い、上記のとおり保証債務を負担し、その証としてこの保証証券を発行します。

〈ご注意〉
① 役職印欄に役職印のないものは無効です。
② この保証証券記載内容の訂正箇所には、必ず役職印欄にある役職印を押捺します。押捺のない訂正は無効です。
③（保険会社が経営破綻した場合等の取扱いについて）引受保険会社の経営が破綻した場合等には、保険金、返れい金等の支払いが一定期間凍結されたり、金額が削減されることがあります。
なお、引受保険会社の経営が破綻し、ご契約者が個人、或いは、「小規模法人」（破綻時に常時使用する従業員等の数が 20 人以下の日本法人、外国法人（日本における営業所等が締結した契約に限る））またはマンション管理組合である場合には、この保険は「損害保険契約者保護機構」の補償対象となり、保険金、返れい金等は原則として 80%（破綻保険会社の支払い停止から３ヵ月間が経過するまでに発生した保険事故に係る保険金については 100%）まで補償されます。

保証人
[redacted]
東京都千代田区丸の内１丁目２番１号
東京海上日動火災保険株式会社
[redacted]
取締役社長　北沢利文

代理　関西営業第二部長　小森　政俊

証券作成地　大阪

作成日　平成 29 年 5 月 24 日

役職印欄
[redacted]

日本政府
[illegible]
[illegible]BA758

工事請負契約書



工事名　　平野小学校管理棟外壁改修他工事

施工場所　　枚方市招提中町一丁目５３－１

工期　　自　平成29年 5月25日
　　至　平成29年10月13日

契約金額　　100,656,000 円
うち取引に係る消費税及び地方消費税の額　　7,456,000 円

支払条件

前　払　金	適用する	契約金額の 40／100 以内
中間前払金	適用する	
部分払回数	適用せず	
	竣工払	

契約保証金　　契約規則第43条第1項第２号により免除

補足事項：本工事については、中間検査を実施する。

解体工事に要する費用等
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）第13条第1項の規定に基づき、1.分別解体等の方法、２.解体工事に要する費用、３.再資源化等をするための施設の名称及び所在地、４.再資源化等に要する費用については別紙書面に記載する。

上記の工事について、発注者と受注者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、別添の条項によって公正な請負を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

本契約の証として本書２通を作成し、当事者記名押印の上、各自１通を保有する。

平成29年 5月25日

発注者　　大阪府枚方市大垣内町２丁目１番２０号
　　枚方市 市長　伏見　隆

受注者　　住　所　　枚方市山之上西町６－２０
　　商号又は名称　（株）太平洋建設
　　代表者氏名　代表取締役　来馬　哲二

伝票番号　5600014798-00-00

工事請負契約書（案）

収入印紙

工事名　　平野小学校管理棟外壁改修他工事

施工場所　　枚方市招提中町一丁目５３－１

工期　　自　平成29年 5月25日
　　至　平成29年10月13日

契約金額　　100,656,000 円
　うち取引に係る消費税及び地方消費税の額　　7,456,000 円

支払条件

前　払　金	適用する	契約金額の 40／100 以内
中間前払金	適用する	
部分払回数	適用せず	
	竣工払	

契約保証金　　契約規則第43条第1項第２号により免除

補足事項：本工事については、中間検査を実施する。

解体工事に要する費用等
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）第13条第1項の規定に基づき、1.分別解体等の方法、２.解体工事に要する費用、３.再資源化等をするための施設の名称及び所在地、４.再資源化等に要する費用については別紙書面に記載する。

上記の工事について、発注者と受注者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、別添の条項によって公正な請負を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

本契約の証として本書２通を作成し、当事者記名押印の上、各自１通を保有する。

平成29年 5月25日

発注者　　大阪府枚方市大垣内町２丁目１番２０号
　　枚方市 市長　伏見　隆

受注者　　住所　　枚方市山之上西町６－２０
　　商号又は名称　（株）太平洋建設
　　代表者氏名　代表取締役　来馬　哲二　　印

伝票番号　5600014798-00-00

平成29年 5月25日

（株）太平洋建設　　様

枚方市 市長　伏見　隆

監督職員通知書

下記の契約日をもって請負契約を締結した次の工事について、工事請負契約書第９条１項の規定に基づき、下記のとおり監督職員を通知する。

記

件名	平野小学校管理棟外壁改修他工事
契約日	平成29年 5月25日
所属	管理部　教育環境整備室
総括監督員	兼松　延好
監督員	米田　卓司
監督員	加藤　幸信
監督員	川田　聡

伝票番号　5600014798-00-00

資料②－３

電子入札の仕組み

（１）対象

制限付き一般競争入札（標準型、公募型、工事希望型、業務希望型）及び指名競争入札の案件

（２）枚方市電子入札システムの特徴

入札参加者が、参加資格状況申告書と入札書を同時に送信する申請同時入札方式を採用しており、一度送信された情報は、入札締切日まで職員・入札者ともに知ることのできないよう、厳重にサーバ管理されている。

（３）電子入札の流れ

工事担当課　　契約依頼
↓　　↓
契約課　　案件登録（案件名称・開札日時・設計図書等入力）
↓　　↓
契約課　　発注案件の公告・公表
↓　　↓
事業者　　発注案件情報入手
↓　　↓
事業者　　質疑（Ｅメールにて）
↓　　↓
契約課　　工事担当課と調整の上、質疑回答公表（ＨＰにて）
↓　　↓
事業者　　入札締切日までに入札参加申請及び入札（参加資格状況申告書・価格内訳書を添付）
↓　　↓
契約課　　入札締切通知　**※参加者数及び参加事業者の確認可能**
↓　　↓
契約課　　入札参加資格事前審査（指名停止、参加申告書の内容確認のみの簡易審査）
↓　　↓
契約課　　入札参加資格審査結果通知及び公表
↓　　↓
契約課　　開札　**※予定価格及び最低制限価格の入力、入札金額の確認**
↓　　↓
契約課　　開札速報公表、落札候補者に対し落札決定に必要な書類提出依頼
↓　　↓
事業者　　落札決定に必要な書類提出（施行実績が確認出来る書類、配置予定技術者調書等）
↓　　↓
契約課　　落札候補者事後審査
工事担当課
↓　　↓
契約課　　落札者決定**（予定価格、最低制限価格及び調査基準価格→公表）**

資料③－１

３設計金額算定のルール（業者間の入札金額の乖離について）

【質問】

「一般的に、土木工事では数量発注で金抜き設計書を入札参加者に示し、建築工事では図面発注でおよその数量を入札参加者に示された図面で積算できるようになっていると認識していますが、５件の入札事案であまりにかい離があるものがあるので、理由を知りたい。」

【回答】

土木工事につきましては、設計積算の根拠となる個々の金額についての資料（物価資料等）が公表されているため、入札時に示された金抜き設計書に個々の金額を入力し、金額を積上げていくことで設計金額を積算することができます。

しかし、建築工事につきましては、金抜き設計書は提示せず、図面のみを提示し、その図面から事業者が積算に必要な材料や数量を拾い積算しています。市が示す図面を確認してから膨大な数の材料や数量を拾う為、どうしても事業者毎で誤差が生じ、ついては事業者の設計金額に差が生じます。また、土木工事のような積算単価等（物価資料等）が明確に公表されていないため、設計金額がさらにかい離するものと考えます。

※別紙設計図書（抜粋）参照

平野小学校管理棟外壁改修他工事

図　面　リ　ス　ト

【　建築工事　】						【　電気設備工事　】	
図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称
Ａ－０１	表紙・図面リスト	Ａ１－３４	教室棟⑦矩計詳細図（現況・撤去）	Ａ２－６６	理科室・理科準備室平面詳細図（改修）	Ｅ－０１	特記仕様書
Ａ－０２	改修特記仕様書　１	Ａ１－３５	教室棟⑦南立面図＜西側＞（改修）	Ａ２－６７	理科室展開図（改修）	Ｅ－０２	配置図
Ａ－０３	改修特記仕様書　２	Ａ１－３６	教室棟⑦南立面図＜東側＞（改修）	Ａ２－６８	理科準備室展開図（改修）	Ｅ１－０３	電気設備　屋外外壁改修立面図（１）
Ａ－０４	改修特記仕様書　３	Ａ１－３７	教室棟⑦北立面図＜東側＞（改修）	Ａ３－６９	理科室・理科準備室 天井伏図（改修）	Ｅ１－０４	電気設備　屋外外壁改修立面図（２）
Ａ－０５	付近見取図･配置図･仮設計画図	Ａ１－３８	教室棟⑦北立面図＜西側＞（改修）	管理棟　家庭科室・家庭科準備室改修工事		Ｅ１－０５	電気設備　屋外外壁改修立面図（３）
管理棟外壁改修他工事		Ａ１－３９	教室棟⑦東・西立面図（改修）	Ａ３－７０	家庭科室・家庭科準備室平面詳細図（現況・撤去）	Ｅ１－０６	電気設備　屋外外壁改修立面図（４）
Ａ１－０６	管理棟・渡り廊下１階平面図（現況・撤去・改修）	Ａ１－４０	教室棟⑦矩計詳細図（改修）	Ａ３－７１	家庭科室・家庭科準備室展開図（現況・撤去）	Ｅ１－０７	電気設備　屋外外壁改修立面図（５）
Ａ１－０７	管理棟・渡り廊下２階平面図（現況・撤去・改修）	Ａ１－４１	教室棟⑦各階見上図（現況・撤去・改修）	Ａ３－７２	家庭科室・家庭科準備室 天井伏図（現況・撤去）	Ｅ１－０８	電気設備　屋外外壁改修立面図（６）
Ａ１－０８	管理棟・渡り廊下Ｒ階平面図（現況・撤去・改修）	体育館外壁改修他工事		Ａ３－７３	家庭科室・家庭科準備室平面詳細図（改修）	Ｅ１－０９	電灯設備　渡り廊下平面図
Ａ１－０９	管理棟屋根伏図（現況・撤去・改修）	Ａ１－４２	体育館各階平面図（現況・撤去・改修）	Ａ３－７４	家庭科室・家庭科準備室展開図（改修）	Ｅ２－１０	照明設備　理科室・準備室平面詳細図
Ａ１－１０	管理棟南立面図（現況・撤去）	Ａ１－４３	体育館南立面図（現況・撤去）	Ａ４－７５	家庭科室・家庭科準備室 天井伏図（改修）	Ｅ２－１１	コンセント設備　理科室・準備室平面詳細図
Ａ１－１１	管理棟北立面図（現況・撤去）	Ａ１－４４	体育館北立面図（現況・撤去）	教室改修工事共通		Ｅ２－１２	弱電設備　理科室・準備室平面詳細図
Ａ１－１２	管理棟・渡り廊下東立面図（現況・撤去）	Ａ１－４５	体育館東立面図（現況・撤去）	Ａ４－７６	部分詳細図（現況・撤去・改修）	Ｅ３－１３	キュービクル改修結線図
Ａ１－１３	管理棟・渡り廊下西立面図（現況・撤去）	Ａ１－４６	体育館西立面図（現況・撤去）	Ａ４－７７	家具詳細図１	Ｅ３－１４	電灯分電盤結線図　姿図
Ａ１－１４	管理棟矩計詳細図（現況・撤去）	Ａ１－４７	体育館矩計詳細図（現況・撤去）	Ａ４－７８	家具詳細図２	Ｅ３－１５	照明設備　家庭科室平面詳細図
Ａ１－１５	渡り廊下矩計詳細図（現況・撤去）	Ａ１－４８	体育館南立面図（改修）	Ａ４－７９	家具詳細図３	Ｅ３－１６	コンセント設備　家庭科室平面詳細図
Ａ１－１６	管理棟南立面図（改修）	Ａ１－４９	体育館北立面図（改修）	Ａ２－８０	家具詳細図４	Ｅ３－１７	弱電設備　家庭科室平面詳細図
Ａ１－１７	管理棟北立面図（改修）	Ａ１－５０	体育館東立面図（改修）				
Ａ１－１８	管理棟・渡り廊下東立面図（改修）	Ａ１－５１	体育館西立面図（改修）				
Ａ１－１９	管理棟・渡り廊下西立面図（改修）	Ａ１－５２	体育館矩計詳細図（改修）			【　機械設備工事　】	
Ａ１－２０	管理棟矩計詳細図（改修）	Ａ１－５３	体育館各階見上図（現況・撤去・改修）			Ｍ－０１	機械設備　特記仕様書（１）
Ａ１－２１	渡り廊下矩計詳細図（改修）	外壁改修他工事共通				Ｍ－０２	機械設備　特記仕様書（２）
Ａ１－２２	管理棟屋外階段平面詳細図（現況・撤去・改修）	Ａ１－５４	建具表１			Ｍ－０３	機械設備　特記仕様書（３）
Ａ１－２３	管理棟屋外階段断面詳細図（現況・撤去・改修）	Ａ１－５５	建具表２			Ｍ－０４	管理棟２階平面図
Ａ１－２４	管理棟・渡り廊下見上図（現況・撤去・改修）	Ａ１－５６	建具表３			管理棟　理科室・理科準備室改修工事	
教室棟⑦外壁改修他工事		Ａ１－５７	改修詳細図１（鉄骨渡り廊下）			Ｍ１－０５	給排水設備　2階理科室・理科準備室平面詳細図（改修）
Ａ１－２５	教室棟⑦１・２階平面図（現況・撤去・改修）	Ａ１－５８	改修詳細図２（防球ネット）			Ｍ１－０６	給排水設備　2階理科室・理科準備室平面詳細図（撤去）
Ａ１－２６	教室棟⑦３・Ｒ・ＰＨ階平面図（現況・撤去・改修）	Ａ１－５９	改修詳細図３（その他）			Ｍ１－０７	ガス設備　2階理科室・理科準備室平面詳細図（改修）
Ａ１－２７	教室棟⑦西側屋根伏図（現況・撤去・改修）	Ａ１－６０	改修詳細図４（防水改修）			Ｍ１－０８	ガス設備　2階理科室・理科準備室平面詳細図（撤去）
Ａ１－２８	教室棟⑦東側屋根伏図（現況・撤去・改修）	Ａ１－６１	改修詳細図５（カバー工法）			管理棟　家庭科室・家庭科準備室改修工事	
Ａ１－２９	教室棟⑦南立面図＜西側＞（現況・撤去）	管理棟　理科室・理科準備室改修工事				Ｍ２－０９	給排水設備　2階家庭科教室平面詳細図（改修）
Ａ１－３０	教室棟⑦南立面図＜東側＞（現況・撤去）	Ａ２－６２	理科室・理科準備室平面詳細図（現況・撤去）			Ｍ２－１０	給排水設備　2階家庭科教室平面詳細図（撤去）
Ａ１－３１	教室棟⑦北立面図＜東側＞（現況・撤去）	Ａ２－６３	理科室展開図（現況・撤去）			Ｍ２－１１	ガス設備　2階家庭科教室平面詳細図（改修）
Ａ１－３２	教室棟⑦北立面図＜西側＞（現況・撤去）	Ａ２－６４	理科準備室展開図（現況・撤去）			Ｍ２－１２	ガス設備　2階家庭科教室平面詳細図（撤去）
Ａ１－３３	教室棟⑦東・西立面図（現況・撤去）	Ａ２－６５	理科室・理科準備室 天井伏図（現況・撤去）				

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. Ａ－０１
表紙・図面リスト			
ＤＡＴＥ	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
枚方市教育委員会教育環境整備室			

建 築 改 修 工 事 特 記 仕 様 書

Ⅰ 工 事 概 要

1.工事名称　　平野小学校管理棟外壁改修他工事

2.工事場所　　枚方市招提中町一丁目５３－１

3.工　　期　　契約締結日から平成　２９年　１０月　１３日まで
但し、各作業期間は下記による。
【 体育館外壁・陸屋根防水改修 】
平成２９年７月１日以降 ～ 平成２９年９月３日までとする。
※但し、鉄骨渡り廊下①及び西側足場は平成２９年８月２７日までに復旧撤去すること。

【 管理棟外壁・屋上防水改修 】
平成２９年７月１日以降 ～ 平成２９年９月２４日までとする。
※但し、鉄骨渡り廊下①及び東側足場は平成２９年８月２７日までに復旧撤去すること。

【 理科室・理科準備室・家庭科室内装改修 】
平成２９年７月２１日 ～ 平成２９年９月２９日まで（内部作業、ＶＯＣ測定結果含む）

【 教室棟及び渡り廊下外壁・屋上防水改修 】
平成２９年７月２１日 ～ 平成２９年９月２４日までとする。（屋上防水、外部足場）
平成２９年７月２１日 ～ 平成２９年８月２７日までとする。（外壁改修、渡り廊下防水）
※但し、鉄骨渡り廊下②及び南側足場一部は平成２９年８月２７日までに復旧撤去すること。
※但し、渡り廊下部の足場は平成２９年８月２７日までに撤去すること。

4.工事概要
・管理棟外壁、屋上防水改修
・理科室、理科準備室内装改修
・家庭科室内装改修
・教室棟外壁、屋上防水改修
・体育館外壁、陸屋根防水改修
上記工事に伴う電気設備工事、機械設備工事

5.その他
２学期開始日（８月２８日）からは児童が登校するため、現場作業に当たっては児童の安全に十分注意し、学校運営に影響のないよう配慮をすること。
※９月２４日までに全ての外部足場及び仮設材等を解体すること。

Ⅱ 工 事 仕 様

1．共通仕様　(1.1.1)
この特記仕様書は、本工事に適用する仕様を特記するものである。
図面及び特記仕様書に記載のない事項はすべて、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成２８年版」（以下「改修仕」という）、及び「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成２８年版」（以下「標仕」という）による。
本工事に、電気設備工事及び機械設備工事を含む場合は、それぞれの工事仕様書を適用する。
本工事は、本市工事請負契約約款に基づき施工されるものとする。
本工事は下記により施工し、相互間の内容に相違がある場合の優先順位は、記載の順序とする。
1．現場説明書（質疑回答書を含む）
2．特記仕様書（地業、鉄筋、コンクリート、鉄骨の各工事については、構造仕様書優先）
3．設計図面（地業、鉄筋、コンクリート、鉄骨の各工事については、構造図面優先）
4．改修標準仕様書（改修仕）及び、標準仕様書（標仕）

2．特記仕様
特記事項の適用については次による
イ．特記事項は□印を塗りつぶしたものを適用し、塗りつぶしの無い場合は※印をつけたものを適用する。
ロ．特記事項で□印を塗りつぶしたものと、㊟印をつけたものがある場合は、両方を適用する。
ハ．特記事項に記載の（　　）内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図、又は当該表を示す。
尚、（標仕　　）とあるものは標準仕様書の該当箇所を示す。
ニ．メーカー名又は製品名の記入がある場合は、そのメーカー及び仕様について同等品とする。

項目	特記事項
① 一般共通事項	
①適用基準等	※ 建築工事標準詳細図（平成２８年版） ※ 敷地調査共通仕様書（平成２７年版） ※ 建築構造設計基準（平成２５年版） ※ 建築物解体工事共通仕様書（平成２４年版）
②監督職員の指示など	監督職員の承諾、指示、協議等については書面によって行うこと。(1.1.2) 監督職員の検査を行った際、その結果が不合格となった場合は、工程に支障をきたさぬよう速やかに手直しを行い、監督職員の承諾を得た上で次工程に進捗すること。又、監督職員に検査を願い出る場合は、事前に受注者が検査を行うこと。
③官公署その他への届出手続等	工事の着手、施工、完成に当たり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行うこと。(1.1.3) また、届出内容はあらかじめ監督職員に報告すること。
④工事実績情報の登録	※ 工事請負代金が５００万円以上の場合は、工事実績情報（ＣＯＲＩＮＳ）の登録を行うこと。(1.1.4) 登録内容については、監督職員の確認を受けたのちに次に示す期間内に登録を行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出のこと。 ① 工事受注時　契約締結後１０日以内 ② 登録内容の変更時　変更契約締結後１０日以内 ③ 工事完成時　工事完成後１０日以内
⑤既設建物との取合い	※ 既設建物と今回工事の取合い部分、その他本工事の範囲外の部分に汚染・損傷を生じた場合は、監督職員の承諾を得た上で、原型と同仕上材で完全に補修するものとする。(1.3.13)
⑥施工条件	□ 土曜日及び日曜日、祝日に工事の施工を行わない。(1.3.5) ■ 作業時間の制限（ 監督員及び学校関係者との協議による　　）
⑦施工中の安全確保および環境保全	※ 監督職員および工事関係者と常時安全対策にかかる打合せをおこない、必要に応じて施工場所とその他の部分をバリケード等で区画し、事故の防止に努める。(1.3.7) ※ 労働者の安全衛生教育の徹底を図り、施工場所の安全パトロールの励行に努める。(1.3.11) ※ 建設機械器具・足場等、危害防止措置の徹底を行う。 ※ 第三者に災害を及ぼさないこと。また公害防止にも努めること。
⑧火気の取扱い	※ 火気の使用箇所付近は、防炎シート等による養生及び火花の飛散防止措置を講ずる。(1.3.8)
⑨発生材の処理	■ 工事に伴って発生したコンクリート塊等は「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、その処理責任については施工者にある。またその処理は産業廃棄物の処理及び運搬業の許可を有するものに限る。(1.3.12) なお施工者は廃棄物の処理方法を記載した施工計画書・許可書の写し及び処理証明書を提出すること。 ■ 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下、リサイクル法）の規定に基づき、適正に分別解体・再資源化を図るものとする。また本工事契約時までに下記事項を記載し所定書面を総合契約検査室へ提出すること。 1．分別解体の方法 2．解体工事に要する費用 3．特定建設資材廃棄物の再資源化等を行うための施設の名称及び所在地 4．特定建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用（費用については見積もり金額を記載） □ 発生材のうち発注者に引渡しを要するものと指定されたものは、監督職員の指示を受けた場所に整理の上、調書を作成して監督職員に提出する（発生材は図示による）。 ■ 上記以外のものはすべて構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令等によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督職員に報告する（リサイクル法適用の竣工時は、再資源化等報告書を提出のこと）。
⑩環境への配慮	※ 使用する材料は、国等による環境物品の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努めること。(1.4.1)
⑪材料の品質等	※ 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとする。その材料にJISまたはJASのマーク表示がある場合は、所定の品質及び性能を有するものとして扱い、それ以外のものについては、監督職員の承諾を受けること。(1.4.2) ※ 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するものまたは、これらと同等のものとする。同等のものとする場合は監督職員の承諾を受ける。 ※ 下記材料のホルムアルデヒド仕様は、日本農林規格（JAS）及び日本工業規格（JIS）のF☆☆☆☆とする。 合板・木質系フローリング、集成材、繊維板、パーティクルボード、壁紙、断熱材、塗料、接着剤、カーペット、家具
⑫特別な材料の工法	※ 改修仕、標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。
⑬施工計画調査	※ 工事の着手に先立ち、施工計画書作成のための調査を行う。(1.5.1) ※ 工事の着手に先立ち、アスベスト含有建材の調査を目視及び設計図書により製品名、製造所名、製造年等を確認することにより行う。 ※ 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議すること。
⑭化学物質の濃度測定	■ 行う (1.6.9) 測定箇所数： １箇所（ 対象室： 理科室 ） 測定物質：※ ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチレン 測定方法：※ 拡散方式（パッシブ方式）　□ 吸引方式（アクティブ方式） 測定後は、文部科学省が定める「学校環境衛生の基準」に定める濃度指針値以下であることを確認し、報告書を提出すること。
15.技能士	□ 本工事の施工に当たって下記に明記されたものについては、職業能力開発促進法による一級技能士又は単一等級の者を配置させること。その際、資格を証明する資料を監督職員に提出すること。(1.6.2)

適用工事種別	適用技能検定職種（作業）
鉄筋工事	□ 鉄筋施工（鉄筋工事作業）
コンクリート工事	□ 型枠施工（型枠工事作業） □ コンクリート圧送（コンクリート圧送工事作業）
鉄骨工事	□ とび（とび作業）
ブロック	□ ブロック建築（補強コンクリートブロック作業）
ALCパネル工事	□ ALCパネル施工（ALCパネル工事作業）
防水工事	□ 防水施工（□アスファルト防水工事作業　□合成ゴム系シート防水工事作業　□塗膜防水工事作業　□シーリング防水工事作業）
石工事	□ 石材施工（石張り作業）
タイル工事	□ タイル張り（タイル張り作業）
木工事	□ 建築大工（大工工事作業）
屋根およびとい工事	□ 建築板金（内外装板金作業） □ スレート施工（石綿スレート工事作業） □ かわらぶき（かわらぶき作業）
金属工事	□ 内装仕上げ施工（鋼製下地作業）
左官工事	□ 左官（左官作業）
建具工事	□ サッシ施工（ビル用サッシ施工作業）　□ ガラス施工（ガラス工事作業） □ 自動ドア施工（自動ドア施工作業）
カーテンウォール工事	□ カーテンウォール施工（□金属製カーテンウォール工事作業　□PCカーテンウォール工事作業）
塗装工事	□ 塗装（建築塗装作業）
内装工事	□ 内装仕上げ施工（□プラスチック系床仕上げ工事作業　□鋼製下地工事作業　□ボード仕上げ工事作業　□カーテン工事作業）
植栽工事	□ 造園（造園工事作業）

⑯立会いおよび検査
本工事の施工に当たって、下記に定める項目については監督職員の立会いを受けること。(1.4.4) (1.4.5) (1.6.7)
■ 指示された施工又は試験
□ 各法令に基づく諸官庁の検査
本工事の施工に当たって、下記に定める項目については監督職員の検査を受け、承諾を得ること。また、必要に応じて試験成績表等の提出をすること。
■ 指示された材料・製品及び機器の検査
■ 指示された工程完了時点での中間検査
■ 竣工検査（検査員による検査を除く）

17.関係法令に基づく検査
□ 開発手続き条例に基づく検査　□ 建築基準法に基づく検査
□ 消防法に基づく検査　□ 宅地造成法に基づく検査
□ その他（　　　　）

⑱完成時の提出書類
■ 工事完成時の提出書類は以下のものとする (1.8.2~3)

タイトル	内容	部数	備考
工事竣工引渡し書類	■ 工事保証書	２ 部	保証期間を明記し、受注者・施工業者連名とする
	■ 鍵引渡し書	２ 部	
	■ 各種取扱い説明書	２ 部	
	□ 工具引渡し書	２ 部	
	■ 清掃方法説明書	２ 部	
工事竣工引渡し備品	■ 鍵および鍵箱	１ 組	
	□ 工具および工具箱	１ 組	
	□ 予備材料	１ 組	
	□ その他資料・材料・器具類	１ 組	

各室の鍵は監督職員立会いの上鍵合わせを行い、鍵違い・不具合の有無を確認した後鍵箱に整理収納し、配置図・鍵目録を添付する。鍵はそれぞれ３個とし、いずれも整理札を取付ける。

□ 竣工写真の提出枚数、部数等は以下のものとする。

分類・規格	枚数×部数	原版サイズ	備考
□ キャビネ版（カラー）	各室×２部	60×90mm	文字入りアルバム
□ 四つ切（カラー）	３枚×２部	60×90mm	アルミパネル入り　専門業者の撮影による
□ 半切り（カラー）	３枚×２部	60×90mm	アルミパネル入り
□ ネガポジキャビネ版（カラー）	５枚×１部	60×90mm	マウント

キャビネ版は外部を３ヶ所、内部を異なる室ごと２面を原則とする。（撮影箇所については監督職員と協議のこと）

■ 完成図は下記のものを提出する（提出期限は、竣工後１ヶ月以内）

タイトル	内容	形態	提出部数	備考
竣工図	原設計・竣工図	□ 見開きＡ１版製本	部	工事完了後、CADデータを市より借入し、複製修正を行った上、製本等を行うこと。
	原設計・竣工図	■ 見開きＡ２版製本	１部	
	原設計・竣工図縮小版	■ 見開きＡ３版製本	１部	
	原設計・竣工図縮小版	□ マイクロ焼付けマイラー 黒表紙製本 綴じ方 ※紐綴じ □ネジ止め 表紙文字 ※ラベル □金文字印刷 サイズ ※Ａ３ □Ｂ４	部	
竣工図	JWW及びPDFの電子データ	■ ＣＤ又はＤＶＤ	１枚	
写真データ	JPEG形式等の電子データ	■ ＣＤ又はＤＶＤ	１枚	
施工図	施工図	■ 見開き製本（サイズ：原寸 ）	各 １部	

※ 工事関係書類保管ケース（プラスチック製 引出し式： 工事名称・契約期間・受注者名記入）を提出のこと。

⑲電気保安技術者
■ 適用する　□ 適用しない (1.3.3)

⑳事故（災害）報告
※ 工事中に事故が発生した場合は、人命の安全確保を優先するとともに、二次災害の防止に努めること。(1.3.10)
また、ただちに監督職員に通報すると共に、事故（災害）報告書を提出すること。

㉑設備工事との取合い
■ 施工範囲 ：図示による
■ 施工図 ：設備機器の位置、取合いなどの検討ができる施工図を提出して、監督職員の承諾を受けること。

㉒損害保険等
※ 建設工事保険及びその他第三者賠償責任損害を担保する「請負業者賠償責任保険」に加入し、工事にかかる事故及び第三者への損害等について、速やかに対処すること。
※ 保険の成立後、速やかにその写しを監督職員に提出すること。
※ 上記保険等について、被保険者は発注者・受注者及びその全下請負人を網羅すること。また、保険金額は請負代金全額（支給材料又は貸与品がある場合には、その全額を加えること）とし、保険期間は工事着手日から工事完了日に１４日を加えた期間（完了日を１日に数える）とすること。

㉓環境方針
※ 本市では「枚方市環境基本条例」を制定して良好な環境の保全と創造に取り組んでいるため、その基本方針（環境方針）を理解し、環境に配慮した工事の取組みを行うこと。

② 仮設工事

①工事用進入路
□ 指定しない　■ 指定する（図示による）

②仮囲い等
■ 設ける（位置および延長は図示による）
■ ガードフェンス（H=1,800）　□ 波形鉄板（H=　）　□ 単管シート（H=　）
□ 防音パネル（H=　）　■ カラーコーン
□ シートゲート（H=　・W=　・　ヶ所）
□ パネルゲート（H=　・W=　・　ヶ所）
□ 設けない

③交通誘導員
■ 配置する（　１２９人）（常時１名配備。外部足場組立・解体時等 状況に応じて、２名以上配備とすること。）

④監督員事務所
■ 設けない (2.4.1)
□ 設ける　□ 既存建物内の一部を使用する
□ 構内に設置する （規模　　㎡程度）
□ 据え付ける備品 （　　　）

⑤工事標識等
※ 公衆の目に付く場所に工事標識類の設置を行うこと

6.敷地の状況確認等
□ 敷地測量を行う　□ 平面測量　□ 水準測量 (標仕2.2.1~2)
□ 設計ＧＬ　□ 図示による　□ 現状地盤の平均高さとし、監督職員の指示による。
□ ＢＭ設置方法　□ コンクリート杭　□ 固定物（　　）

⑦既存部分の養生 (2.3.1)
家具の移動　■ 行う　□ 行わない
固定された備品、机、ロッカー等の移動　■ 行う　□ 行わない
養生方法　■ ビニールシート等による
□（　　　）
保管場所　（□　　　）

8.仮設間仕切り (2.3.2)
□ 設ける（設置場所は図示による）

種別	材質	仕上げ
□ Ａ種	両面（□ 石膏ボード □ 合板）張り（厚さ □ 9.5 □ ）	□ 片面塗装
□ Ｂ種	片面（□ 合板 □ 石膏ボード）張り（厚さ □ 9.0 □ 9.5 ）	
□ Ｃ種	シート張り	――

仮設扉（ □ 合板張り木製扉　※ アルミ扉 ）

⑨工事用水
構内既存の施設　■ 利用できる（□ 有償　■ 無償）　□ 利用できない

⑩工事用電力
構内既存の施設　■ 利用できる（□ 有償　■ 無償）　□ 利用できない
※ 電力量を記入した使用機器リストを着手に先立ちに提出すること。また、１００Ｖの使用は監督職員の指示によるコンセントとし、同時使用は１．５ｋｗ以下とする。２００Ｖの使用は認めない。

11.境界ポイントの固定化
□ 既存の境界ポイントの保護・移設を行い、測量を行った上、固定化する。

⑫足場その他 (2.2.1)
■ 内部足場
■ 外部足場　外部足場を設ける場合は、基本的に「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省平成２１年４月制定）」により、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等の基準」による、働きやすい安定感のある足場とすること（各段に二段手すりと幅木の機能を有する部材があらかじめ備えられた手すり先行専用足場型）。
■ 防護シート

13.指定仮設
□ 図示による

③ 防水改修工事

①基本要求品質 (3.1.2)
■ 防水工事の保証書の提出及び保証年限
保証年限　※ 引渡しの日より１０年以上　□ 引渡しの日より５年以上
保証書　※ 受注者、材料製造所、防水施工者による連帯保証のこと（各２通）
※ 防水施工者は防水材料製造所指定の施工者とし、監督職員の承諾を受けること

2.アスファルト防水
材料　□ アスファルト（※ 防水工事用アスファルト３種（JIS K 2207）　□　　） (3.3.2)
□ 押え金物（※ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製Ｌ－30×15×2.0 (mm)　□　　）
□ 断熱材（※ Ａ種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板3種b(ｽｷﾝあり)（JIS A 9511）　厚さ □ 25mm）

種別及び工程
□ 屋根露出防水 (3.1.4) (3.3.3.(b).(1)(2))

工法	仕様	新規防水層の種別
□ Ｍ４ＣＩ法	既存露出アスファルト防水層非撤去の上、露出防水密着工法	□C-1 ※C-2 □C-3 □C-4
□ Ｍ３ＤＩ法	既存露出アスファルト防水層撤去の上、露出防水絶縁工法	□D-1 ※D-2 □D-3 □D-4
□ ＰＯＤＩ法	既存保護層・防水層非撤去の上、露出防水絶縁工法	□D-1 ※D-2 □D-3 □D-4

既存防水層の立上り部等（ＰＯＤＩ法は保護層立上り部共）　※ 撤去する
Ｍ３ＤＩ法及びＰＯＤＩ法の脱気装置の種類及び設置数量　※ 製造所の指定通り　□
仕上塗料塗り　□行う（種類：　使用量：　）　□行わない
ＰＯＤＩ法の改修用ドレン　□ 設ける　□ 設けない (3.2.5.(c))
Ｍ４ＣＩ法の既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去　□ 行う　□ 行わない (3.2.6.(c).(2))

□ 屋根露出防水絶縁断熱工法 (3.1.4) (3.3.3.(c))

工法	仕様	新規防水層の種別
□ ＰＯＤＩＩ法	既存保護層・防水層非撤去の上、露出防水絶縁断熱工法	□ ＤＩ－１ ※ ＤＩ－２
□ Ｍ３ＤＩＩ法	既存露出アスファルト防水層撤去の上、露出防水絶縁断熱工法	□ ＤＩ－１ ※ ＤＩ－２
□ Ｍ４ＤＩＩ法	既存露出アスファルト防水層非撤去の上、露出防水絶縁断熱工法	□ ＤＩ－１ ※ ＤＩ－２

既存防水層の立上り部等（ＰＯＤＩＩ法は保護層立上り部共）　※ 撤去する
脱気装置の種類及び設置数量　※ 製造所の指定通り　□
仕上塗料塗り　□行う（種類：　使用量：　）　□行わない
ＰＯＤＩＩ法の改修用ドレン　□ 設ける　□ 設けない (3.2.5.(c))
Ｍ４ＤＩＩ法の既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去　□ 行う　□ 行わない (3.2.6.(c).(2))

□ 屋内防水 (3.1.4) (3.3.3.(d))

工法	仕様	新規防水層の種別
□ Ｐ１ＥＩ法	既存保護層・防水層撤去の上、屋内防水密着工法	□ Ｅ－１ ※ Ｅ－２
□ Ｐ２ＥＩ法	既存保護層撤去及び防水層非撤去の上、屋内防水密着工法	□ Ｅ－１ ※ Ｅ－２

既存防水層及び保護層（保護層がある場合）の立上り部等　※ 撤去する
保護層　□ 設ける (3.3.5)
立上り部の保護　□ 乾式保護材　□ れんが押え　□ モルタル押え（屋内）　□ コンクリート押え (3.3.5)
屋上排水溝　□ 適用する

③改質アスファルトシート防水
種別及び工程
□ 屋根露出防水密着工法 (3.1.4) (3.4.3.(1))

工法	仕様	新規防水層の種別
□ Ｍ４ＡＳ工法	既存露出アスファルト防水層非撤去	□ AS－T1 □ AS－T2 □ AS－J2

既存防水層の立上り部等　※ 撤去する
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去　□ 行う　□ 行わない (3.2.6.(c).(2))

■ 屋根露出防水絶縁工法 (3.1.4) (3.4.3.(2))

工法	仕様	新規防水層の種別
□ Ｍ３ＡＳ工法	既存露出アスファルト防水層撤去	□ AS－T3 ■ AS－T4 □ AS－J1
■ Ｍ４ＡＳ工法	既存露出アスファルト防水層非撤去	
□ ＰＯＡＳ工法	既存保護層・アスファルト防水層非撤去	□ AS－T3 □ AS－T4 □ AS－J1 □ AS－J3

既存防水層の立上り部等（ＰＯＡＳ工法は保護層立上り部共）　※ 撤去する
脱気装置の種類及び設置数量　※ 製造所の指定通り　□
ＰＯＡＳ工法の改修用ドレン　□ 設ける　□ 設けない (3.2.5.(c))

□ 屋根露出防水絶縁断熱工法 (3.1.4) (3.4.3.(3))

工法	仕様	新規防水層の種別
□ Ｍ３ＡＳＩ工法	既存露出アスファルト防水層撤去	□ ASI－T1 □ ASI－J1
□ Ｍ４ＡＳＩ工法	既存露出アスファルト防水層非撤去	□ ASI－T1 □ ASI－J1
□ ＰＯＡＳＩ工法	既存保護層・アスファルト防水層非撤去	□ ASI－T1 □ ASI－J1

既存防水層の立上り部等（ＰＯＡＳＩ工法は保護層立上り部共）　※ 撤去する
脱気装置の種類及び設置数量　※ 製造所の指定通り　□
ＰＯＡＳＩ工法の改修用ドレン　□ 設ける　□ 設けない (3.2.5.(c))
Ｍ３ＡＳＩ工法及びＭ４ＡＳＩ工法、ＰＯＡＳＩ工法の脱気装置　※ 設置する
Ｍ４ＡＳＩ工法の既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去　□ 行う　□ 行わない (3.2.6.(c).(2))

4.合成高分子系ルーフィングシート防水
種別及び工程
□ ルーフィングシート（JIS A 6008） (3.5.2)

種別	材料	厚さ（mm）
□ Ｓ－Ｆ１（ＳＩ－Ｆ１）	加硫ゴム系ルーフィングシート	※ １．２
□ Ｓ－Ｆ２（ＳＩ－Ｆ２）	塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート	※ ２．０
□ Ｓ－Ｍ１（ＳＩ－Ｍ１）	加硫ゴム系ルーフィングシート	※ １．５
□ Ｓ－Ｍ２（ＳＩ－Ｍ２）	塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート	※ １．５
□ Ｓ－Ｍ３	熱可塑性エラストマー系ルーフィングシート	※ １．２

□ 工法 (3.1.4) (3.2.6) (3.5.3)

工法	仕様	新規防水層の種別 接着工法	新規防水層の種別 機械的固定工法	既存防水層及び保護層の立上り部等
□ ＰＯＳ工法	既存保護層・防水層非撤去	□Ｓ－Ｆ１ □Ｓ－Ｆ２	□Ｓ－Ｍ１ □Ｓ－Ｍ２ □Ｓ－Ｍ３	※撤去する（接着）※シート製造所の仕様による（機械）
□ ＰＯＳＩ工法	既存保護層・防水層非撤去の上、断熱	□ＳＩ－Ｆ１ □ＳＩ－Ｆ２	□ＳＩ－Ｍ１ □ＳＩ－Ｍ２	
□ Ｓ４Ｓ工法	既存露出シート防水層非撤去	□Ｓ－Ｆ１ □Ｓ－Ｆ２	□Ｓ－Ｍ１ □Ｓ－Ｍ２ □Ｓ－Ｍ３	※撤去する（接着）※シート製造所の仕様による（機械）
□ Ｓ４ＳＩ工法	既存露出シート防水層非撤去の上、断熱	□ＳＩ－Ｆ１ □ＳＩ－Ｆ２	□ＳＩ－Ｍ１ □ＳＩ－Ｍ２	
□ Ｓ３Ｓ工法	既存露出シート防水層撤去	□Ｓ－Ｆ１ □Ｓ－Ｆ２		※撤去する
□ Ｓ３ＳＩ工法	既存露出シート防水層撤去の上、断熱	□ＳＩ－Ｆ１ □ＳＩ－Ｆ２		
□ Ｍ４Ｓ工法	既存露出アルファルト防水層非撤去		□Ｓ－Ｍ１ □Ｓ－Ｍ２ □Ｓ－Ｍ３	※シート製造所の仕様による
□ Ｍ４ＳＩ工法	既存露出アルファルト防水層非撤去の上、断熱		□ＳＩ－Ｍ１ □ＳＩ－Ｍ２	

脱気装置の種類及び設置数量　※ 製造所の指定通り　□
ＰＯＳ工法、ＰＯＳＩ工法の改修用ドレン　□ 設ける　□ 設けない (3.2.5.(c))

⑤塗膜防水
■ ウレタンゴム系塗膜防水（新設）　標仕(9.5.3)
□ Ｘ－１（絶縁工法）　■ Ｘ－２（密着工法）
Ｘ－１工法の脱気装置の種類及び設置数量　※ 図示　□
■ ウレタンゴム系塗膜防水（改修） (3.1.4) (3.6.3.(a))

工法	仕様	新規防水層の種別	既存防水層及び保護層の立上り部等
□ ＰＯＸ工法	既存保護層・防水層非撤去	※Ｘ－１ □Ｘ－２	※ 撤去する
■ Ｌ４Ｘ工法	既存ウレタン系塗膜防水層非撤去	□Ｘ－１ ※Ｘ－２	―

脱気装置の種類及び設置数量　※ 図示　□
ＰＯＸ工法の改修用ドレン　□ 設ける　□ 設けない (3.2.5.(c))
Ｌ４Ｘ工法の既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装の除去　□ 行う　■ 行わない (3.2.6.(c).(6))
□ ゴムアスファルト系塗膜防水（新設）
□ Ｙ－１　□ Ｙ－２
Ｙ－２工法の保護層の適用　□ 適用する　□ 適用しない
□ ゴムアスファルト系塗膜防水（改修） (3.1.4) (3.6.3.(b))

工法	仕様	新規防水層の種別	既存防水層及び保護層の立上り部等
□ Ｐ１Ｙ工法	既存保護層・防水層撤去	※ Ｙ－２	※ 撤去する
□ Ｐ２Ｙ工法	既存保護層撤去・防水層非撤去	※ Ｙ－２	※ 撤去する

保護層の適用　□ 適用する　□ 適用しない

⑥シーリング
シーリング材の種類及び施工箇所　※ 表3.7.1による（JIS A 5758） (3.7.2)
工法 (3.1.4) (3.7.4~7)
■ シーリング充填工法　■ シーリング再充填工法　□ 拡幅シーリング再充填工法　□ ブリッジ工法
シーリング材の試験 (3.7.8)
□ 行う（※ 簡易接着性試験　□ 引張接着性試験（JIS A 1439））　■ 行わない

⑦とい (3.8.2)
竪樋　□ 配管用鋼管　※ 硬質塩化ビニル管（ＶＰ）（■φ５０ ■φ６５ ■φ７５ ■φ１００）
軒樋　※ 硬質塩化ビニル製（□ Ｗ１５０　■ 前高型Ｗ１２０　）
掃除口　※ あり　□ なし
とい受け金物　※ ステンレス製　□ 溶融亜鉛めっき鋼板製　□ 既存のまま
防露材　□ 表3.8.4による（ホルムアルデヒド放散量　※ Ｆ☆☆☆☆）

8.アルミニウム製笠木
部材の種類（単位：mm） (3.9.2)

種類	製法	製品幅	最小呼称肉厚	表面処理	付属部品
□ ２５０形	※ 押出し	２５０、２４０	１．６以上	□ Ａ－１種	固定金具・ジョイント金具
□ ３００形		３００	１．８以上	□ Ｂ－１種	
□ ３５０形		３５０	２．０以上		
□ 板材折曲げ	※ 折曲げ		２．０		

H29.4 改訂

平野小学校管理棟外壁改修他工事	No. A－０２
改修特記仕様書 １	
D A T E / CHECKED BY. / DRAWIN BY.	SCALE ―――
枚方市教育委員会教育環境整備室	

④ 外壁改修工事

① 施工調査

■ 施工数量調査 (1.5.2)

調査範囲 ※ 外壁改修範囲 □ 図示の範囲

調査方法
- ※ ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する
- ※ ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を壁面に表示する
- ※ コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する
  （モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上の場合は、はく離のおそれがある浮き部分を壁面に表示し、欠損部の形状寸法等を明示する。また、アンカーピンニング等の位置をチョーク等で表示する）
- ※ 塗り仕上げの場合は、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する

調査報告書 ※ 2部（ひび割れ、欠損、浮き等の詳細図を作成し、数量を図中にプロットすること）

② コンクリート打放し仕上げ外壁

工法 (4.1.4)

■ ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 □ Uカットシール材充填工法 □ シール工法
■ 欠損部改修工法	※ 充填工法

3. モルタル塗り仕上げ外壁

工法 (4.1.4)

□ ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 □ Uカットシール材充填工法 □ シール工法
□ 欠損部改修工法	□ 充填工法 □ モルタル塗替え工法
□ 浮き部改修工法	□ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 □ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 □ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 □ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 □ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 □ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 □ 充填工法 □ モルタル塗替え工法

4. タイル張り仕上げ外壁

工法 (4.1.4)

□ ひび割れ部改修工法	□ 樹脂注入工法 □ Uカットシール材充填工法
□ 欠損部改修工法	□ タイル部分張替え工法 □ タイル張替え工法
□ 浮き部改修工法	□ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 □ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 □ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 □ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 □ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 □ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 □ タイル部分張替え工法 □ タイル張替え工法
□ 目地改修工法	□ 目地ひび割れ部改修工法 □ 伸縮目地改修工法

⑤ 外壁改修塗り仕上げ

仕上げ (4.1.5)

■ 改修後の新規仕上げ	■ 薄付け仕上塗材塗り □ 厚付け仕上塗材塗り □ 複層仕上塗材塗り □ 可とう形改修用仕上塗材塗り □ 各種塗料塗り □ マスチック塗材塗り

6. 樹脂注入工法

工法 (4.2.2) (4.3.4)

工法	注入間隔（mm）	注入量（ml）	ひび割れ幅（mm）
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	200～300	※130	0.2以上1.0未満
□ 手動式エポキシ樹脂注入工法	50～100	※ 40	0.2以上0.3未満
□ 機械式エポキシ樹脂注入工法	100～200	※ 70	0.3以上0.5未満
	150～250	※130	0.5以上1.0未満

エポキシ樹脂 ※ JIS A 6024（□ 低粘度形 □ 中粘度形）

コア抜取りによるひび割れ部の注入状況の検査 □ 行う（コア抜取り後の補修 ）

⑦ Uカットシール材充填工法 (4.2.2) (4.3.5)

※ シーリング材充填
充填材料 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材 □
シーリング材の上へのエポキシ樹脂モルタル充填 ※ 行う □ 行わない
□ 可とう性エポキシ樹脂充填

8. シール工法

□ 可とう性エポキシ樹脂 □ パテ状エポキシ樹脂 (4.2.2) (4.3.6)

⑨ 充填工法

※ エポキシ樹脂モルタル □ ポリマーセメントモルタル (4.2.2) (4.3.7)

10. 浮き部改修工法

工法 (4.4.10～15) (4.5.9～15)

工法	アンカーピン本数（本/㎡） 一般部分	指定部分	注入口の箇所数（箇所/㎡） 一般部分	指定部分	挿入口1箇所当たり充填量（ml）
□ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 □	※25 □	□	□	※25 □
□ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 □	※20 □	※12 □	※20 □	※25 □
□ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 □	※20 □	※12 □	※20 □	※50 □
□ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9 □	※16 □	□	□	※25 □
□ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9 □	※16 □	※9 □	※16 □	※25 □
□ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 □	※16 □	※9 □	※16 □	※50 □
□ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	□9 □	□16 □	□9 □	□16 □	※25 □

アンカーピン ※ SUS304（呼び径4mm 全ネジ切り加工） (4.2.2)
注入口付アンカーピン ※ SUS304（呼び径6mm）

11. タイル部分張替え工法

接着剤 ※ ポリマーセメントモルタル □ 外壁タイル接着剤張りの接着剤 (4.2.2) (4.5.7)

12. タイル張替え工法

張付けモルタル 既製調合モルタル（□ 使用する □ 使用しない） (4.2.2) (4.5.8)
タイル張り工法 外装タイル（※ 密着張り □ 改良積上げ張り □ 改良圧着張り ）
外装ユニットタイル（□ マスク張り □ モザイクタイル張り ）

□ 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

位置（方向＼形式）	外部側に柱形のない場合	外部側に柱形のある場合
垂直方向	※ 柱の両側又は開口端部上下及び中間3～4m程度	※ 柱の両端及び中間3～4m程度
水平方向	※ 各階ごと打継ぎ目地の位置	
寸法	幅（mm）	深さ（mm）
コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地	※ 20以上	※ 10以上
上記以外の箇所	※ 10以上	※ 10以上

⑬ 仕上塗材の種類

既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.6.3)
□ サンダー工法 □ 高圧水洗工法 □ 塗膜剥離剤工法 ■ 水洗い工法

下地調整 (4.6.4)
□ コンクリート、モルタル、プラスター、PCパネル、ALCパネル、押出成形セメント板面

工法 (4.2.2) (4.6.5)

種類	呼び名	仕上げの形状		材料	モルタル下地の仕上
薄付け仕上塗材	□ 外装薄塗材Si	□ 砂壁状 □ ゆず肌状 □ ゆず肌状 □ さざ波状	吹付け 吹付け ローラー ローラー		□金ごて □木ごて
	□ 可とう形外装薄塗材Si	□ 砂壁状 □ ゆず肌状 □ ゆず肌状 □ さざ波状	吹付け 吹付け ローラー ローラー		□金ごて
	■ 外装薄塗材E	■ 砂壁状 □ ゆず肌状 □ 平たん状 □ 凹凸状 □ ゆず肌状 □ さざ波状 □ 着色骨材砂壁状	吹付け 吹付け こて こて ローラー ローラー 吹付け／こて		□金ごて □木ごて
	□ 可とう形外装薄塗材E	□ 砂壁状 □ ゆず肌状 □ 平たん状 □ 凹凸状 □ ゆず肌状 □ さざ波状	吹付け 吹付け こて こて ローラー ローラー		□金ごて
	□ 防水形外装薄塗材E	□ ゆず肌状 □ さざ波状 □ 凹凸状	ローラー ローラー 吹付け		□金ごて
	□ 外装薄塗材S	□ 砂壁状	吹付け		□金ごて □木ごて
厚付け仕上塗材	□ 外装厚塗材C	□ 吹放し □ 凸部処理 □ 平たん状 □ 凹凸状 □ ひき起し □ 掻き落とし	吹付け 吹付け こて こて こて こて		□はけ引き □木ごて
	□ 外装厚塗材Si □ 外装厚塗材E	□ 吹放し □ 凸部処理 □ 平たん状 □ 凹凸状 □ ひき起し	吹付け 吹付け こて こて／ローラー ローラー		□はけ引き □金ごて □木ごて
複層仕上塗材	□ 複層塗材CE □ 複層塗材Si □ 複層塗材E □ 複層塗材RE	□ 凸部処理 □ 凹凸模様 □ ゆず肌状	吹付け 吹付け ローラー	耐候性 ※耐候形3種 □ 上塗材 溶媒 ※水系 □溶剤系 □弱溶剤系 樹脂 ※アクリル系 □シリカ系 □ポリウレタン系 □アクリルシリコン系 □ふっ素系 外観 ※つやあり □つやなし □メタリック	□はけ引き □金ごて □木ごて □金ごて
	□ 可とう形複層塗材CE	□ 凸部処理 □ 凹凸模様 □ ゆず肌状	吹付け 吹付け ローラー		□金ごて
	□ 防水形複層塗材CE □ 防水形複層塗装E □ 防水形複層塗材RE □ 防水形複層塗材RS	□ 凸部処理 □ 凹凸模様 □ ゆず肌状	吹付け 吹付け ローラー		□金ごて
可とう形改修用仕上塗材	□ 可とう形改修塗材E □ 可とう形改修塗材RE □ 可とう形改修塗材CE	□ 平たん状 □ さざ波 □ ゆず肌状	ローラー ローラー 吹付け		

防火材料の指定 □ あり □ なし

⑤ 建具改修工事

① 改修工法

□ かぶせ工法 □ 撤去工法 ■ 図示による (5.1.3)

② アルミニウム製建具

外部に面する建具 (5.2.2)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	備考
□ A種	S－4	A－3	W－4	※70	
■ B種	S－5			※100（注）	
□ C種	S－6	A－4	W－5	※100	

（注）引違い・片引き・上げ下げ窓で複層ガラスを使用する場合

表面処理 外部 ※ B－1種 □ B－2種（□ ブラウン系 □ ブラック □ ステンカラー） (5.2.4)
内部 ※ C－1種 □ C－2種（□ ブラウン系 □ ブラック □ ステンカラー）

製造所
網戸 防虫網 ※ 合成樹脂製 □ ガラス繊維入り合成樹脂製 □ ステンレス（SUS316）製 (5.2.3)

3. 樹脂製建具

外部に面する建具 (5.3.2)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	備考
□ A種	S－4	A－4	W－4	建具表による	
□ B種	S－5		W－5		
□ C種	S－6				

防音ドアセット・防音サッシの適用（□T-A種 □T-B種）
断熱ドアセット・断熱サッシの適用（□H-A種 □H-B種）
製造所
網戸 防虫網 ※ 合成樹脂製 □ ガラス繊維入り合成樹脂製 □ ステンレス（SUS316）製 (5.3.3)
表面色 ※標準色（白色） □特注色（ ） (5.3.4)

4. 鋼製建具

簡易気密型ドアセット（気密性：A－3 水密性：W－1）の適用 ※ 建具表による (5.4.2)

外部に面する鋼製建具の耐風圧性

種別	耐風圧性	備考
□ A種	S－4	
□ B種	S－5	
□ C種	S－6	

5. 鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセット（気密性：A－3）の適用 ※ 建具表による (5.5.2)

6. ステンレス製建具

簡易気密型ドアセット（気密性：A－3 水密性：W－1）の適用 ※ 建具表による (5.6.2)

外部に面するステンレス製建具の耐風圧性

種別	耐風圧性	備考
□ A種	S－4	
□ B種	S－5	
□ C種	S－6	

ステンレス鋼板 ※ SUS304 □ SUS430J1L □ SUS443J1 □ SUS430（屋内） (5.6.3)
表面仕上げ ※ HL仕上げ □ 鏡面仕上げ □ バフ仕上げ（ 番） (5.6.4)
ｽﾃﾝﾚｽ鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ □ 角出し曲げ（切込み後の板厚0.75mm以下の場合は補強共） (5.6.5)

⑦ 木製建具

かまち戸の樹種 かまち： 鏡板： (標仕16.7.2)
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆
ふすまの上張り □ 鳥の子、新鳥の子程度（押入等の裏面は雲花紙程度）

⑧ 建具用金物

材質 ※ 表5.7.1による (5.7.2～3)
種類 ■ 錠（シリンダー箱錠） ■ ドアクローザ □ フロアヒンジ
マスターキーの製作 □ 行う ■ 行わない (5.7.4)
既存マスターキー合わせ ※ 行う □ 行わない

9. 自動ドア開閉装置

□ 性能等 (5.8.2～4)
センサーの種類 □ マット □ 光線（反射） □ 熱線 □ 音波 □ 光電 □ 電波 (5.8.3)

10. 自閉式上吊り引戸装置

□ 性能等 (5.9.2～4)

11. 重量シャッター (5.10.2～5)

	耐風圧強度（N／㎡）	シャッターケース
□ 一般重量シャッター	□	□ 設ける □ 設けない
□ 外壁用防火シャッター	□	※ 設ける
□ 屋内用防火シャッター		※ 設ける
□ 防煙シャッター		※ 設ける

開閉機能 □ 上部電動式（手動併用） □ 上部手動式
電動式シャッターの保護装置 ※ リミットスイッチ＋保護スイッチ □ 障害物感知装置
防火又は防煙シャッターの危害防止機構 ※ 障害物感知装置（自動閉鎖型）
（平成17年12月1日国土交通省告示第1392号に適合すること）

12. 軽量シャッター

外部に面する軽量シャッターの耐風圧性能 □ 耐風圧強度（ ）N／㎡ (5.11.2～5)
開閉形式 ※ 手動式（施錠装置付） □ 上部電動式（手動併用）
電動式シャッターの保護装置 ※ リミットスイッチ＋保護スイッチ ※ 障害物感知装置
スラットの形状 □ インターロッキング形 □ オーバーラッピング形 (5.11.4)

13. オーバーヘッドドア (5.12.2～5)

セクション材	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※ スチールタイプ	※ バランス式	□ スタンダード形	※ 溶融亜鉛めっき鋼板
□ アルミニウムタイプ	□ チェーン式	□ ローヘッド形	□ ステンレス鋼板
□ ファイバーグラスタイプ	□ 電動式	□ ハイリフト形	（SUS304）
		□ バーチカル形	

耐風圧強度区分（JIS A 4715） □ 50 □ 75 □ 100 □ 125
電動式の場合の保護装置 ※ 障害物感知装置

⑭ ガラス

ガラスの種別・品種・厚さ ※ 建具表による (5.13.2～4)
ガラス留め材

建具の種類	材種
アルミニウム製	※ シーリング材 □ ガスケット（FIX部はシーリング材）
鋼製及び鋼製軽量	※ シーリング材
ステンレス製	※ シーリング材
木製	□ シーリング材 ※ 木製建具用ガラスパテ □ 押縁

15. ガラス用フィルム

JIS A 5759

名称	種類	張り面	性能値
□ ガラス飛散防止フィルム	第2種	※ 内張り □ 外張り	飛散防止率 D1
□ 紫外線カットフィルム			

16. かぎ箱

□ 20組用 □ 30組用 □ 60組用 □ 120組用

⑥ 内装改修工事

① 既存床の撤去並びに下地補修 (6.2.2)

ビニル床シート等の撤去 ※ 仕上げ材のみ（接着剤共）
■ 下地モルタルとも（※ 図示の範囲 □ 除去範囲全て）
合成樹脂塗り床材の除去工法 □ 機械的除去工法 □ 目荒し工法
改修後の床の清掃範囲 ※ 改修室内全体 □ 図示の範囲
集塵装置 ■ 使用する（木製床の場合は ※ ） □ 使用しない

② 既存壁の撤去並びに下地補修 (6.3.2)

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修
■ 図示による □ モルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の補強 □ 行う □ 行わない）
集塵装置 ■ 使用する □ 使用しない

③ 木下地等

見え掛り面の表面仕上げ □ A種 ※ B種 □ C種 (6.5.1)
木材の工事現場搬入時の含水率 ※ A種 □ B種 (6.5.2)
保存処理木材 □ 使用する（適用箇所 ）
造作材の品質の基準

使用箇所	部材名称	※ A種	□ その他
生地のまま又は透明塗料塗りの場合	枠、額縁、敷居、かもい、かまちの類	上小節（見え掛り面のみ）	無節（見え掛り面のみ）
	押入、戸棚等の内面造作の類	小節	上小節
不透明塗料塗りの場合		小節	上小節

床張り用合板等
□ 普通合板

施工箇所	厚さ	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	その他の処理
床	5.5		※ 1類 □ 2類	広葉樹 □ 1等 ※ 2等 針葉樹 ※ C－D	□ する □ しない	※ 難燃処理

□ 構造用合板

施工箇所	厚さ	表板の樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理
床	12	※ 針葉樹	※ 1類 □ 特類(注)	□ 1級 ※ 2級	※ C－D	□ する □ しない

（注）屋内の常時湿潤状態となる場所に使用する場合は特類とする

防腐・防蟻処理（表面処理用木材保存（防腐・防蟻）剤は監督職員の承諾するものとする） (6.5.5)
□ 薬剤の加圧注入による防腐防蟻処理 （適用部位： 性能区分： ）
□ 薬剤の塗布等による防腐防蟻処理
処理部分 1. 鉄筋コンクリート造、組積造等の最下階等における床束、大引受及び根太掛の各部材でコンクリート、ブロックの類に接する部分
2. 土間スラブの類及びその周辺のコンクリートに接する土台、転ばし大引及び転ばし根太等の各部材の全面
□ 防虫処理（※ ラワン材を使用する場合は、製材の日本農林規格、広葉樹製材の規格の保存処理K1の防虫処理を行う）

樹種 (6.5.6)

適用箇所		材種
鉄筋コンクリート造等の内部間仕切軸組及び床組	□ 間仕切軸組	※ 杉 ※ 松
	□ 床組	※ 杉 ※ 松
	□ 土間スラブの類の場合の土台、転ばし大引、転ばし根太	※ ひのき □ 保存処理木材

4. 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 屋外（※ 25型 □ 19型） 屋内（※ 19型 □ 25型） (6.6.2～4)
既存の埋込インサート □ 使用する
あと施工アンカーの引抜き試験 □ 行う

5. 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類 □ 50形 ※ 65形 □ 90形 □ 100形 □ UL工法 (6.7.2～4)
スタッドの高さが5mを超える場合の処置 ※ 図示による

⑥ ビニル床シート

(6.8.2) (6.8.3.(a)(b)) (6.8.4)

種類	JIS記号	厚さ（mm）	継目	接着剤	色柄	その他
■ 発泡層なし	※ FS	※ 2.0	※ 熱溶接 □ 突付け	※ エポキシ系 ※ ウレタン系	□ 無地 ■ マーブル柄 □ 象徴柄 （ 2色程度張り分け）	■ 一般用 □ ノンスリップ □ 超防汚（UV）
□ 発泡層あり	□ HS				□ 柄物 □ 無地 （ 色程度張り分け）	

7. ビニル床タイル

(6.8.2) (6.8.3.(a)(c)) (6.8.4)

種類	JIS記号	厚さ（mm）
※ 単層ビニル床タイル	TT	※ 2.0 □3.0
□ 複層ビニル床タイル	FT	※ 2.0 □3.0
□ コンポジションビニル床タイル	KT	※ 2.0 □3.0

8. ゴム床タイル

(6.8.2) (6.8.3.(a)(c)) (6.8.4)

種類	厚さ（mm）	色柄
□ 天然ゴム	□	□ プレーン
□ 合成ゴム	□	□

9. ビニル幅木

高さ（mm） □ 60 □ 75 □ 100 (6.8.2)

10. カーペット敷き

□ 織じゅうたん (6.9.3)

種別	パイル形状	帯電性
□ A種 □ B種 □ C種	□カットパイル □ループパイル □カット、ループパイル併用	人体帯電圧 □3kv以下

□ タフテッドカーペット (6.9.3)

パイル形状	パイル長（mm）	工法	帯電性
□カットパイル □ループパイル □レベルループパイル □カット、ループ併用	□	※グリッパー工法 □全面接着工法	人体帯電圧 □3kv以下

□ タイルカーペット (6.9.3)

パイル形状	種別	寸法（mm）	総厚さ（mm）
□カットパイル ※ループパイル □レベルループパイル □カット、ループ併用	※第1種 □第2種	※500×500	※6.5

11. 合成樹脂塗床

□ 厚膜型塗床材 (6.10.3)

種別	工法及び仕上の種類	
□ 弾性ウレタン塗り床材	※ 平滑仕上げ □ 防滑仕上げ □ つや消し仕上げ	
□ エポキシ樹脂塗り床材	□ 薄膜流し展べ工法 □ 厚膜流し展べ工法 □ 樹脂モルタル工法	□ 平滑仕上げ □ 防滑仕上げ

□ 薄膜型塗床材 (6.10.3)

種別	仕上の種類
※ エポキシ樹脂塗り床材	※ 平滑仕上げ

⑫ フローリング張り

単層フローリング (6.11.2～6)

種類	樹種	寸法（mm）	厚さ（mm）	工法
■ フローリングブロック	※ なら □	※ 303×303 □	※ 15 □	■ 接着工法
□ フローリングボード	※ なら □	板幅 ※ 75以上 □ 90以上	□	※ 釘留め工法 □ 根太張り工法 □直張り工法 □ 接着工法
□ モザイクパーケット	□	□	□	□ 接着工法

複合フローリング (6.11.2～5)

種類	樹種	種別	寸法（mm）	工法
□ 複合フローリング	※ なら □	□ A種 □ B種 ※ C種	板厚 以上 板幅 □ 75以上 ※ 90以上 板長さ 以上	□ 釘留め工法 □ 根太張り工法 □直張り工法 □ 接着工法 緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート

13. 畳敷き

(6.12.2)

下地の種類	畳の種別
□ 改修標仕 表6.5.8による床組	□ A種 ※ B種 □ C種 □ D種
□ ポリスチレンフォーム床下地	□ A種 □ B種 ※ C種 □ D種

⑭ せっこうボードその他ボード

(6.13.2～3)

種類	JISの記号	規格・厚さ（mm）等
□ 硬質木毛セメント板	HW	□ 15 □ 20 □ 25 □
□ 普通木毛セメント板	NW	□ 15 □ 20 □ 25 □
□ けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ2（無石綿） □ 6 □ 8
□ 化粧けい酸カルシウム板		□ 6
□ ロックウール化粧吸音板	DR	※ フラットタイプ（※9（不燃）□12 □ ） □ 凹凸タイプ（※12（不燃） □15 □ ）
□ ロックウール吸音ボード1号	RW－B	□ 25
□ グラスウール吸音ボード2号32K	GW－B	□ 25（ガラスクロス包み）
■ せっこうボード	GB－R	□ 12.5（不燃） ■ 9.5（準不燃）
□ 不燃積層せっこうボード	GB－NC	□ 9.5（不燃） 化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
□ シージングせっこうボード	GB－S	□ 12.5（不燃） □ 9.5（準不燃）
□ 強化せっこうボード	GB－F	□ 12.5（不燃） □ 15（不燃）
□ せっこうラスボード	GB－L	□ 7
■ 化粧せっこうボード	GB－D	□ 12.5（不燃） ■ 9.5（準不燃）
□ 化粧せっこうボード（木目）	GB－D	□ 12.5（不燃）幅440程度 模様（※柾目 □板目）専用下地材付き
□ 耐水合板		構造用合板（JAS 特類 2級 C－D） □ 9 □ 12 □ 15 □
□ メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による 厚さ□ 1.2
□ ミディアムデンシティファイバーボード	MDF	□ 3 □ 7 □ 9 □ 12 □
□ 単板張りパーティクルボード		□ 無研磨板 □ 研磨板 □ 10 □ 12 □ 15 □ 18 □
□ ハードボード（素地）	HB	□ 無研磨板 □ 研磨板 □ 10 □ 12 □ 15 □ 18 □
□ インシュレーションボード	IB	A級（□ 天井仕上 □ 内装仕上 □ ） □ 9 □ 12 □ 15 □ 18 □

遮音シール材 □適用する（※アクリル系シーリング材 □ウレタン系シーリング材 □ジョイントコンパウンド）

H29.4 改訂

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
改修特記仕様書2			A－03
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			———
枚方市教育委員会教育環境整備室			

⑦ 塗装改修工事（続き）

15.壁紙張り

(6.14.2)

施工箇所	紙	織維（織物）	プラスチック（ビニル）	無機質	その他	防火性能	備考
	・	・	・	・	・	※不燃 □準不燃 □難燃	中級品程度

⑯ モルタル塗り

吸水調整材の品質　※ 表4.2.2による　(6.15.3)
既製目地材　□ 使用する
床目地　□ 設ける（工法　※ 押し目地　□　）

17.タイル張り

タイルの種類　(6.16.2~4)

施工箇所	形状寸法(mm)	きじ I類	きじ II類	きじ III類	うわぐすり 施釉	うわぐすり 無釉	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	再生材の適用	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

役物　※ 標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　※ 行わない　□ 行う（※ 外壁タイル　□　）
タイルの試験張り　※ 行わない　□ 行う（※ 外壁タイル　□　）
内壁タイル張り　※ 接着剤張り　□ 積上げ張り

18.セルフレベリング材塗り

セルフレベリング材の品質　※ 表6.17.1による（□ せっこう系　□ セメント系）　(6.17.2)

① 材料

屋内の壁及び天井仕上げ材　※ 防火材料とする　(7.1.3)
建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　□
上塗り用の塗料　※ 少量の場合を除き原則として、製造所において指定された色及びつやに調合されたものとする

② 下地調整

RB種の既存塗膜除去範囲　※ 既存塗膜の30％　□　(7.2.1)
下地処理　(7.2.2~7)

	下地処理の種類 塗替え	新規	備考
■ 木部（不透明塗料塗りの場合）	※ RB種	※ RA種	
□ 木部（透明塗料塗りの場合）	※ RB種	※ RB種	※ 塗替えは既存塗膜全面除去
■ 鉄鋼面	※ RB種	※ RA種	
□ 亜鉛めっき鋼面	※ RB種	※ RA種	
■ モルタル面・プラスター面	※ RB種	□ RA種 □ RB種	
□ コンクリート面・ALCパネル面	※ RB種	※ RA種	
■ コンクリート面・押出成形セメント板面	□ RA種 □ RB種	※ RA種	
■ せっこうボード面・その他ボード面	※ RB種	□ RA種 □ RB種	

③ 錆止め塗料塗り

(7.3.2~3)

	仕上	塗装種別	錆止め塗料種別	錆止め塗料塗り工程
■ 鉄鋼面	EP－G以外	塗替え	※ A種	※ C種
		新規塗装（見え掛り）	※ A種	※ A種
		新規塗装（見え隠れ）	※ A種	※ B種
	EP－G（屋内）	塗替え	※ B種	※ C種
		新規塗装（見え掛り）	※ B種	※ A種
		新規塗装（見え隠れ）	※ B種	※ B種
□ 亜鉛めっき鋼面	EP－G以外	塗替え	※ A種	※ C種
		新規塗装	※ A種	※ A種 □ B種
		新規塗装（鋼製建具）	※ A種	※ A種
	EP－G（屋内）	塗替え	※ C種	※ C種
		新規塗装	※ C種	※ A種 □ B種

④ 合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）

(7.3.3~5)

		種別	備考
■ 木部	塗替え	□ A種 ※ B種 □ C種	
	新規塗装（外部）	※ A種 □ B種 □ C種	
	新規塗装（内部）	□ A種 ※ B種 □ C種	
■ 鉄鋼面	塗替え	□ A種 ※ B種 □ C種	
	新規塗装	□ A種 ※ B種	
□ 亜鉛めっき鋼面	塗替え（鋼製建具）	※ A種 □ B種 □ C種	
	塗替え（その他）	□ A種 ※ B種 □ C種	
	新規塗装	□ A種 ※ B種 □ C種	

5.クリヤラッカー塗り（CL）

(7.5.2)

		種別	備考
□ 木部	塗替え	□ A種 ※ B種	
	新規塗装	□ A種 ※ B種	

6.フタル酸樹脂エナメル塗り（FE）

(7.6.2~3)

		種別	備考
□ 木部（屋内）	塗替え	※ 表7.6.1による	
□ 鉄鋼面（屋内） □ 亜鉛めっき鋼面（屋内）	塗替え	※ 表7.6.2による	

7.アクリル樹脂系非水分散形塗料（NAD）

(7.7.2)

		種別	備考
□ コンクリート面（屋内）	塗替え	□ A種 ※ B種	
□ モルタル面（屋内）	新規塗装	□ A種 ※ B種	

⑧ 耐候性塗料塗り（DP）

■ 鉄鋼面・亜鉛めっき鋼面　(7.8.2~3)

	種別	上塗り塗料（JIS K 5659）の等級	備考
塗替え	□ A種 ※ B種 □ C種	□ 1級 フッ素系樹脂（2液形） □ 2級 シリコン系樹脂（2液形） ※ 3級 ポリウレタン系樹脂（2液形）	
新規塗装	※ A種		

□ コンクリート面・押出成形セメント板面　(7.8.4)

種別		上塗り塗料（JIS K 5658）の等級	備考
□ A－1種	□ A－2種	1級 フッ素系樹脂（2液形）	
□ B－1種	□ B－2種	2級 シリコン系樹脂（2液形）	
※ C－1種	□ C－2種	3級 ポリウレタン系樹脂（2液形）	

⑨ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP－G）

(7.9.2~5)

		種別	備考
□ コンクリート面 ■ モルタル面 □ プラスター面 □ せっこうボード面 □ その他ボード面 □ 鉄鋼面（屋内） □ 亜鉛めっき鋼面（屋内）	塗替え	□ A種 ※ B種 □ C種	
	新規塗装	□ A種 ※ B種	
□ 木部（屋内）	塗替え	□ A種 ※ B種 □ C種	
	新規塗装	※ A種 □ B種 □ C種	

⑩ 合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）

(7.10.2)

		種別	備考
□ コンクリート面（屋内） □ モルタル面（屋内） □ プラスター面（屋内）	塗替え	□ A種 ※ B種 □ C種 □ しみ止めシーラー	
■ せっこうボード面（屋内） □ その他ボード面（屋内）	新規塗装	□ A種 ※ B種	

11.合成樹脂エマルション模様塗料塗り（EP－T）

(7.11.2)

		種別	備考
□ コンクリート面（屋内） □ モルタル面（屋内）	塗替え	□ A種 ※ B種 □ C種	※ 下地調整がRB種の場合はA種 下地調整がRC種の場合はC種
□ プラスター面（屋内） □ せっこうボード面（屋内）	新規塗装	□ A種 ※ B種	

⑫ ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）

(7.12.2)

		種別	備考
■ 木部	塗替え・新規塗装	□ A種 ※ B種	※ フローリングはA種（3回塗）

13.ラッカーエナメル塗り（LE）

(7.13.2)

	種別	備考
□ 木部	□ A種 ※ B種	

14.オイルステイン塗り（OS）

(7.14.2)

		種別	備考
□ 木部	塗替え・新規塗装	※ 表7.14.1による	

15.木材保護塗料塗り（WP）

(7.15.2)

	種別	備考
□ 木部	□ A種 ※ B種	

8 環境配慮改修工事

1.一般事項

適用範囲　(9.1.1)
□ アスベスト含有吹付け材　□ アスベスト含有保温材等　□ アスベスト含有成形板

施工調査
※ 目視、設計図書等による確認を行うこと。
□ 分析によるアスベスト含有の調査　（□ 定性分析　□ 定量分析 ）
□ アスベスト粉じん濃度測定

2.除去工事 共通事項

※ アスベスト含有建材の除去を直接行う専門工事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する資料を監督職員に提出するとともに処理方法については施工計画書を提出すること。　(9.1.2)
※ アスベストの除去にあたっては、石綿障害予防規則に基づき石綿作業主任者の選定を行うこと。
※ アスベスト含有建材の有無の調査結果の概要等、建築物等の解体等の作業に関するお知らせを周知住民の見やすい場所に掲示すること。

3.アスベスト含有吹付け材の除去

□ 処理を行うアスベスト含有吹付け材の仕様等　(9.1.3)

材料名	撤去場所	処理を行う範囲
		※ 図示による

4.アスベスト含有保温材等の除去

□ 処理を行うアスベスト含有保温材等の仕様等　(9.1.4)

材料名	撤去場所	処理を行う範囲
		※ 図示による

5.アスベスト含有成形板の除去

□ 処理を行うアスベスト含有成形板の仕様等　(9.1.5)

材料名	撤去場所	処理を行う範囲

⑨ その他工事

1.土工事

埋戻し及び盛土　種別　□ A種（盛り土は真砂土とする）　※ B種　□ C種　□ D種　(標仕3.2.3)
残土処分　※ 構外搬出適切処理　□ 構内指示の場所に敷均し　□ 構内指示の場所に堆積　(標仕3.2.5)

2.地業工事

砂利地業　※ 再生クラッシャラン　□ 切込砂利及び切込砕石　(標仕4.6.2~3)
捨てコンクリート地業　(標仕4.6.4)
□ コンクリートの種類：　厚さ (mm)　□ 60　※ 50
床下防湿層　□ ポリエチレンフィルム　厚さ0.15mm以上　重ね幅縦横共250mm　(標仕4.6.5)

3.排水工事

排水管　(標仕21.2.1)（標仕21.3.3）
排水管用材料　□ 硬質塩化ビニル管（※ VP　□ VU）　□
排水桝及び蓋　(標仕21.2.2)
鋳鉄製マンホール蓋　□ 水封形　□ 密閉形（テーパ・パッキン式）　□ 簡易気密形（パッキン式）　□ 中蓋付密閉形
グレーチング蓋　□ 鋼製　□ ステンレス製

④ 屋根工事

□ 長尺金属板葺　(標仕13.2.2~3)
屋根葺形式　□ 横葺　□ 瓦棒葺　□ 平葺
長尺金属板の種類　※ ガルバリウム鋼板　□　板厚 (mm)　※ 0.4
■ 折板葺　(標仕13.3.2)
屋根葺形式　□ 重ね形　□ はぜ締め形
折板の種類　※ ガルバリウム鋼板　□　山高 ■ 図示による　厚さ ■ 図示による
□ 波板葺
波板の波の種類　ガルバリウム鋼板　※ 大波　厚さ　※ 0.4
■ 屋根工事の保証書の提出及び保証年限　(標仕13.1.2)
保証年限　※ 引渡しの日より10年以上
保証書　※ 受注者、材料製造所、屋根施工者による連帯保証のこと（各2通）
※ 屋根施工者は屋根材料製造所指定の施工者とし、監督職員の承諾を受けること

5.金属工事

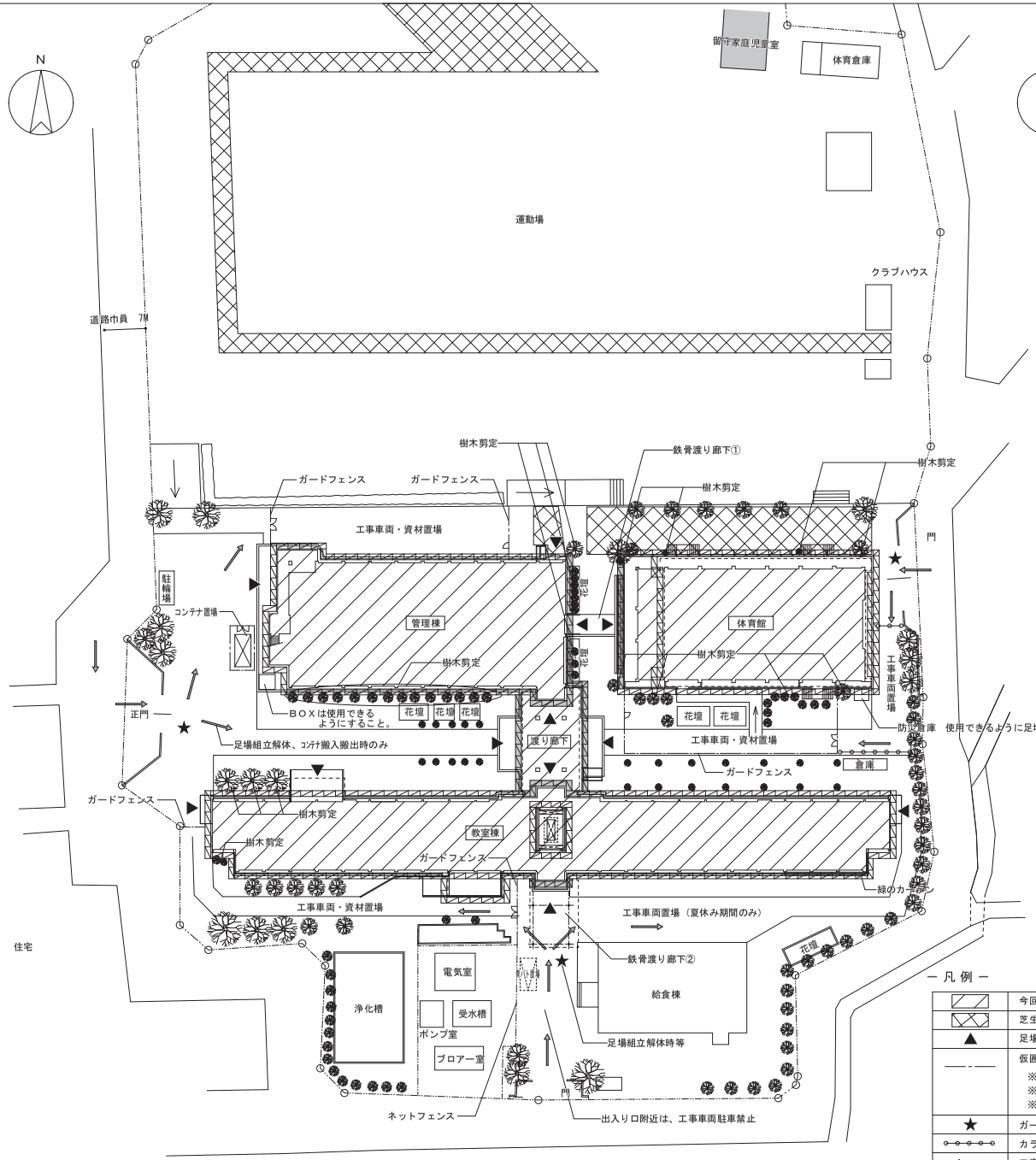
金属成形板張り　(標仕14.6.2~3)
□ 手すり　（□ アルミニウム製（φ40）　□ ステンレス製　□ スチール製 ）　(標仕14.8.2)
□ タラップ　（□ ステンレス製　□ スチール製 ）　(標仕14.8.3)
製造所：TOTO㈱、㈱LIXIL、ナカ工業㈱　同等品以上

⑥ ユニット及びその他工事

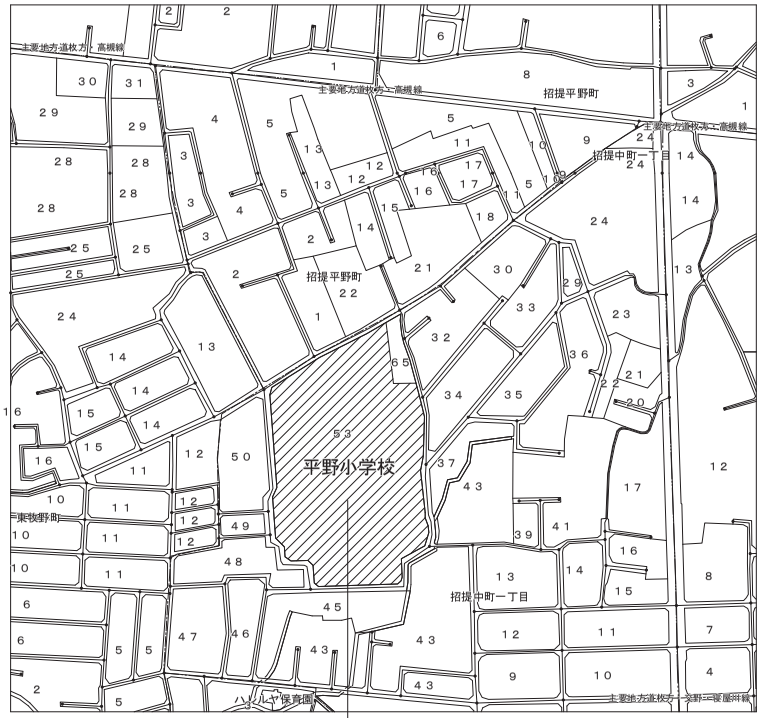
□ トイレブース　(標仕20.2.5)
脚部　※幅木タイプ　□サポートタイプ
製造所：小松ウォール工業㈱,コマニー㈱,文化シャッター㈱　同等品以上
□ 階段滑り止め（※ ステンレス製（ビニルタイヤ入り）　幅 ※ 35 ）　(標仕20.2.6)
フラットエンドの有無　※ 有り（□ ステンレス製　□ 樹脂製 ）　□ 無し
■ 黒板及びホワイトボード　□ アルミ枠ホーロー白板　(標仕20.2.8)
■ 鏡　寸法　×　mm　厚さ ※ 5　■ 図示　□　(標仕20.2.9)
製造所：TOTO㈱、㈱LIXIL　同等品以上
□ 室名札　（□ 可倒式　□ 平付式 ）　(標仕20.2.10)
製造所：
■ カーテン及びカーテンレール　(標仕20.2.14)
きれ地の品質：　ひだの種類：
形式　□ 片引き　□ 引分け　引分け装置　□ あり　□ なし
製造所：
□ カーテンボックス　（□ 木製　□ アルミニウム製　□ ステンレス製 ）
■ 回り縁　（※ 塩ビ製　□ アルミニウム製　□ ステンレス製 ）
■ 天井見切り縁　（※ 塩ビ製　□ アルミニウム製　□ ステンレス製 ）
■ 点検口　■ 天井用（※ アルミニウム製　※ 600×600 ）
■ 床用　（※ ステンレス製　□ 鋳鉄製　※ 600×600　□ φ600 ）
製造所：
□ 学校間仕切　枠見込み (mm)　80以上
製造所：
■ 実験台　（※ 教師用 H850　※ 生徒用 H750 ）
製造所：㈱西尾家具工芸社、橋工芸㈱、㈱石原木工　同等品以上
■ 調理台　（※ 教師用 H800　※ 生徒用 H750 ）
製造所：㈱西尾家具工芸社、橋工芸㈱、㈱石原木工　同等品以上
■ 掃除用具入れ　（製造所：㈱西尾家具工芸社、橋工芸㈱、㈱石原木工　同等品以上 ）
■ 流し台　（■ ステンレス製　□　厚さ □ 1.0 ※ 図示 ）
製造所：㈱西尾家具工芸社、橋工芸㈱、㈱石原木工　同等品以上
□ 消火器表示板　（H200×W250 ）

H29.4 改訂

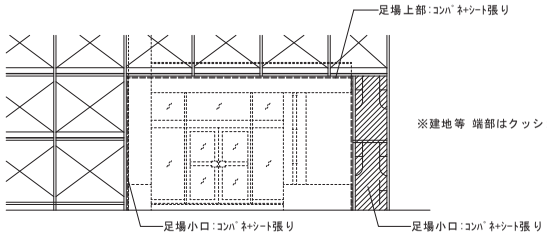
平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
改修特記仕様書3			A－04
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			―――
枚方市教育委員会教育環境整備室			



配置図・仮設計画図 １：５００



付近見取図 １：３０００



足場開口部参考図 1/100

－ 凡 例 －

	今回工事対象建物を示す。
	芝生範囲を示す。
▲	足場開口部の処置を施すこと。
―――――	仮囲い：バリケードフェンス(1800*1800) ※上部の網部分は、内部が見えないようにシート等で覆うこと。 ※下部の隙間部分は、巾木を設置すること。 ※扉には、錠を設置すること。
★	ガードマン（※作業状況に応じて、１日２名以上配備とする）
	カラーコーン
	工事関係車両ルートを示す。
	外部足場を示す。
	８月２７日までに撤去する外部足場を示す。

※ 敷地内を工事車両等が通行する場合は、通行人の安全を確認し誘導を行うこと。

※ 車両置場、廃材置場等については、監督員と協議の上決定すること。また、周囲にはガードフェンス(H1800)で仮囲いを設けること。

※ 足場設置に支障のある樹木は、枝払いを行うこと。

※ 夏休み期間中以外の足場の組立解体については、原則土日の作業とすること。

※ PFI事業の芝範囲は車両乗入れ禁止とする。

※ 7:50～8:30までは、工事車両の進入禁止。

※ 生徒の下校時間（14:00～16:30 程度）の工事車両等は控えること。

※ 外部足場解体について、一部の足場は8/27日までには解体すること。
また、9/24日までには全ての外部足場及び仮設材等を解体すること。

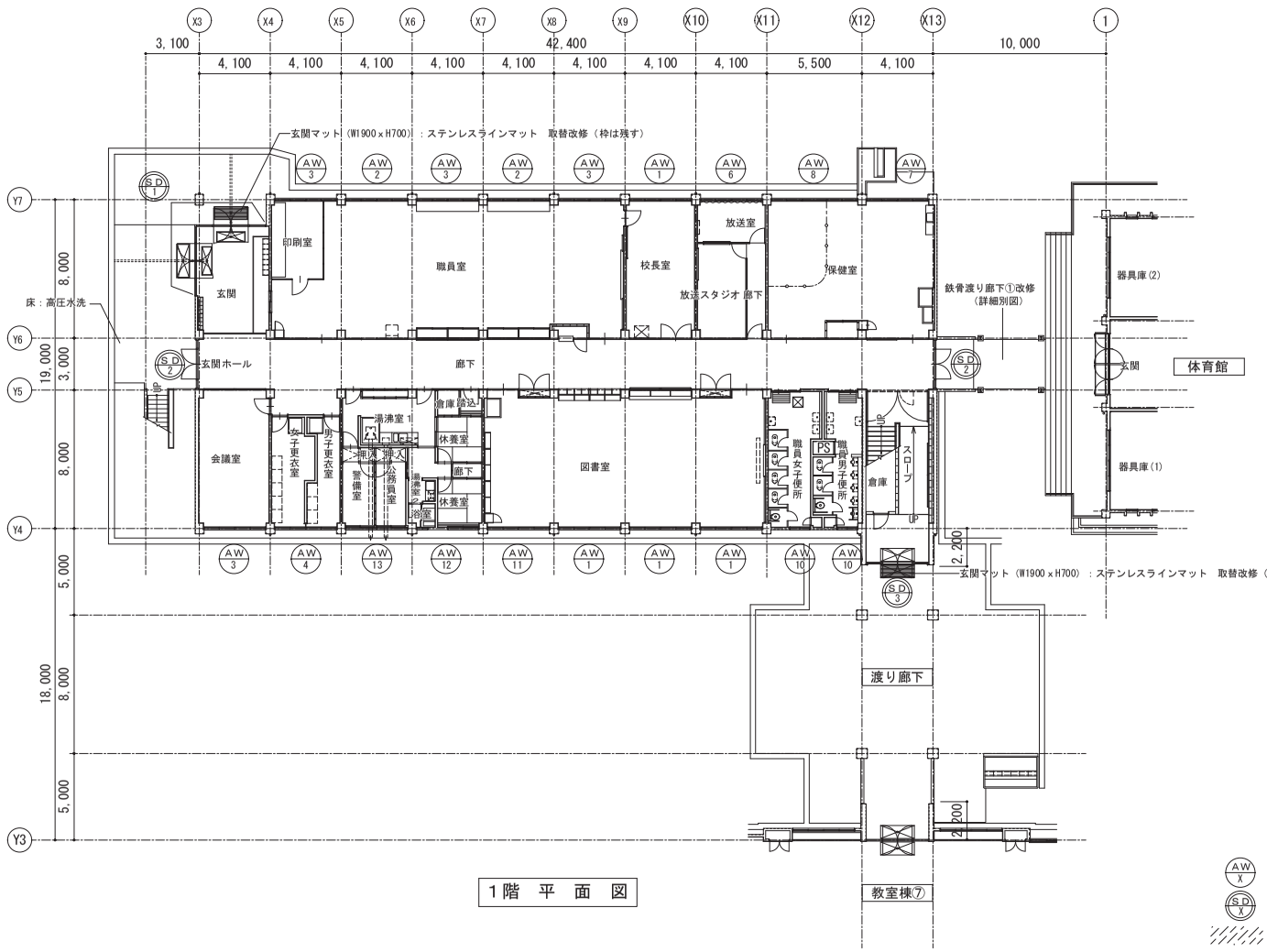
※ 鉄骨渡り廊下①、②については、8/27日までに復旧させること。

※ 外部足場設置時、架空線は養生等の処置を施すこと。

※ 車両乗り入れ範囲および仮設足場置場所は、工事終了後、整地しておくこと。

※ 仮囲位置等はあくまで予定であり、監督員及び学校と協議の上決定とすること。H29.4 改訂

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. Ａ－０５
付近見取図・配置図・仮設計画図			
ＤＡＴＥ	CHECKED BY.	DRAWN BY.	SCALE
			―――
枚方市教育委員会教育環境整備室			



1階　平　面　図

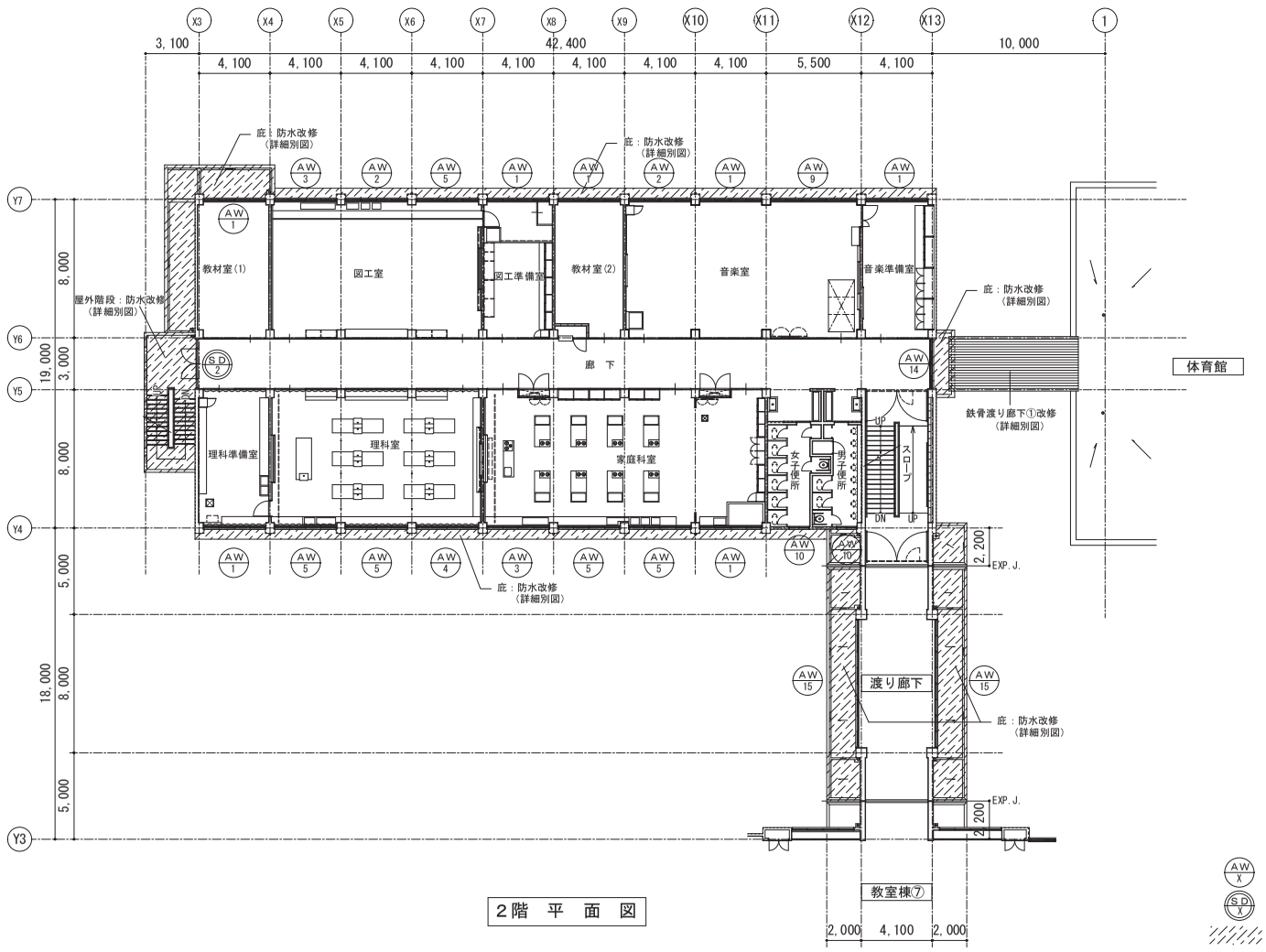
AW X　改修建具を示す（シーリング打替え・クリーニング）

SD X　改修対象建具を示す

防水改修対象範囲を示す

N

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A1－06
管理棟・渡り廊下1階平面図（現況・撤去・改修）			
DATE	CHECKED BY.	DRAWN BY.	SCALE
			1／200
枚方市教育委員会教育環境整備室			



2階 平面図

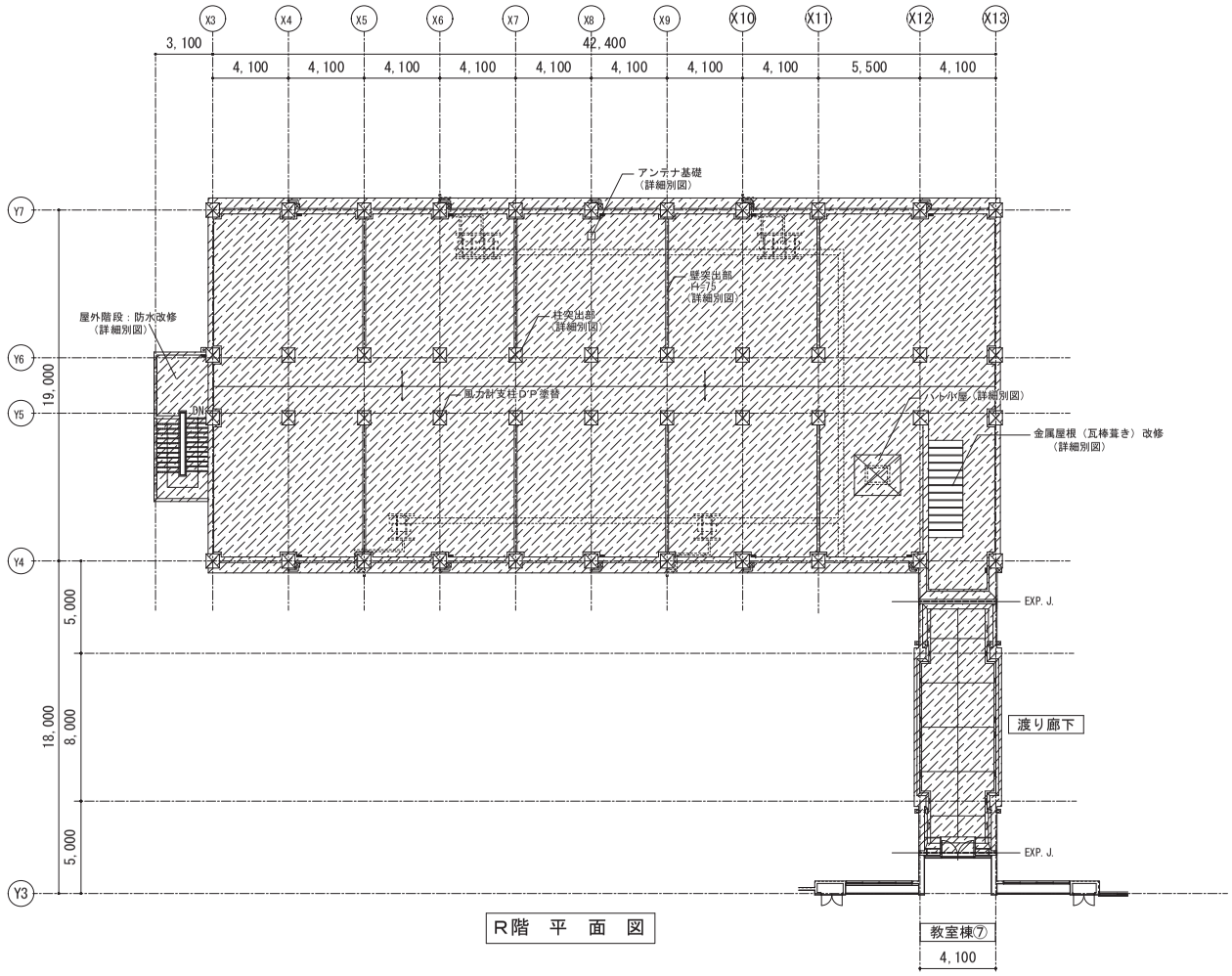
AW X　改修建具を示す（シーリング打替え・クリーニング）

SD X　改修対象建具を示す

防水改修対象範囲を示す

N

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A1－07
管理棟・渡り廊下２階平面図（現況・撤去・改修）			
DATE	CHECKED BY.	DRAWN BY.	SCALE
			1／200
枚方市教育委員会教育環境整備室			

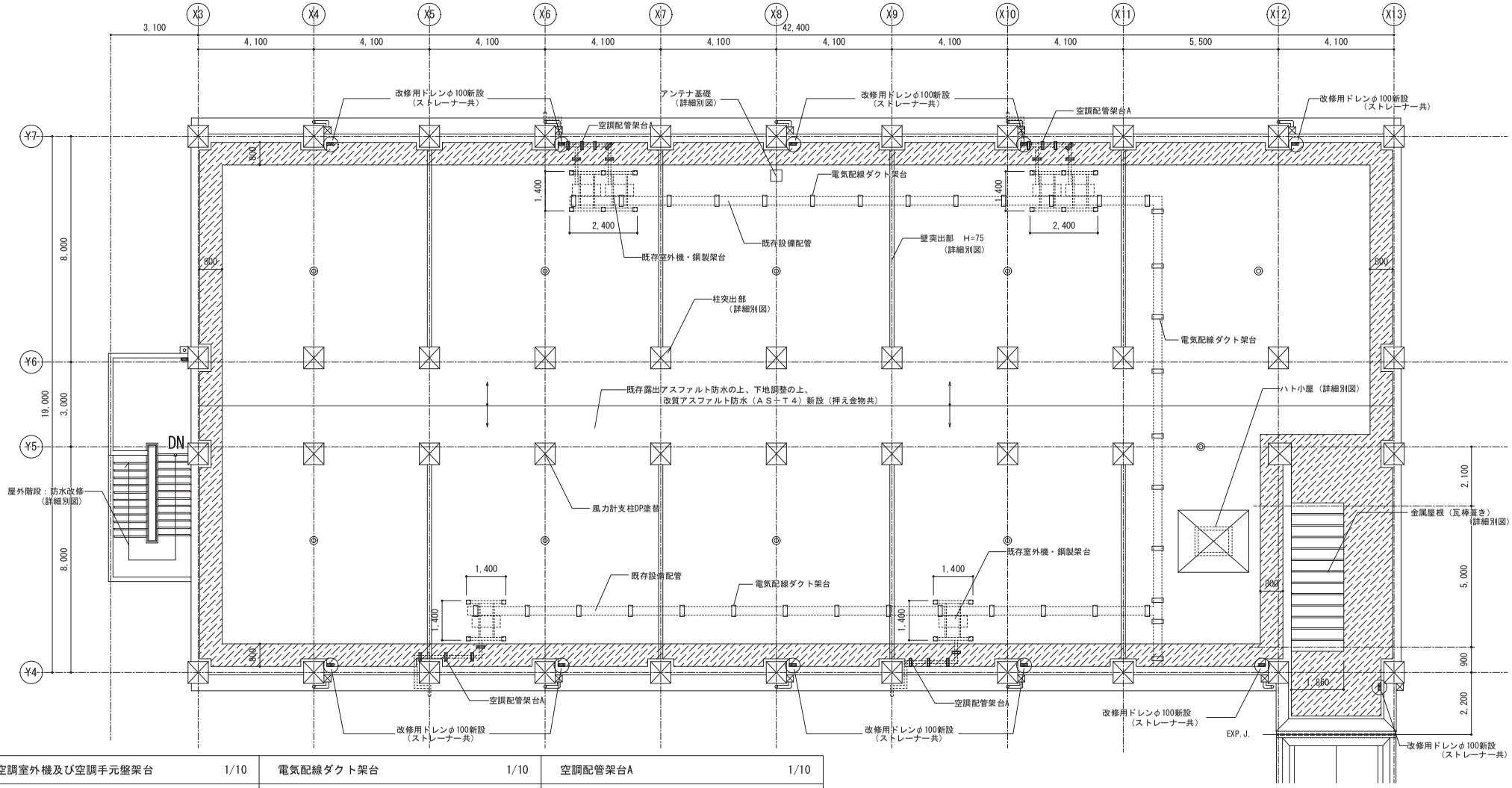


R階　平　面　図

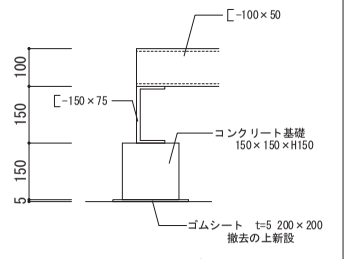
防水改修対象範囲を示す

N

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A1－08
管理棟・渡り廊下R階平面図（現況・撤去・改修）			
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／200
枚方市教育委員会教育環境整備室			

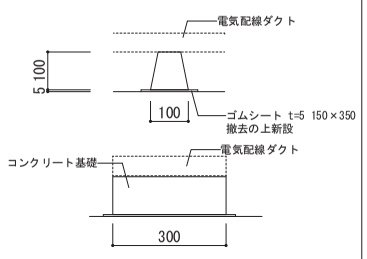


空調室外機及び空調手元盤架台　1/10



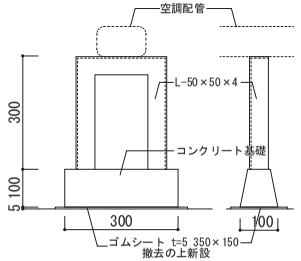
※ 防水施工時ジャッキアップを行う(20か所)

電気配線ダクト架台　1/10



※ 防水施工時ジャッキアップを行う(37か所)

空調配管架台A　1/10



※ 防水施工時ジャッキアップを行う(20か所)

－ 凡 例 －

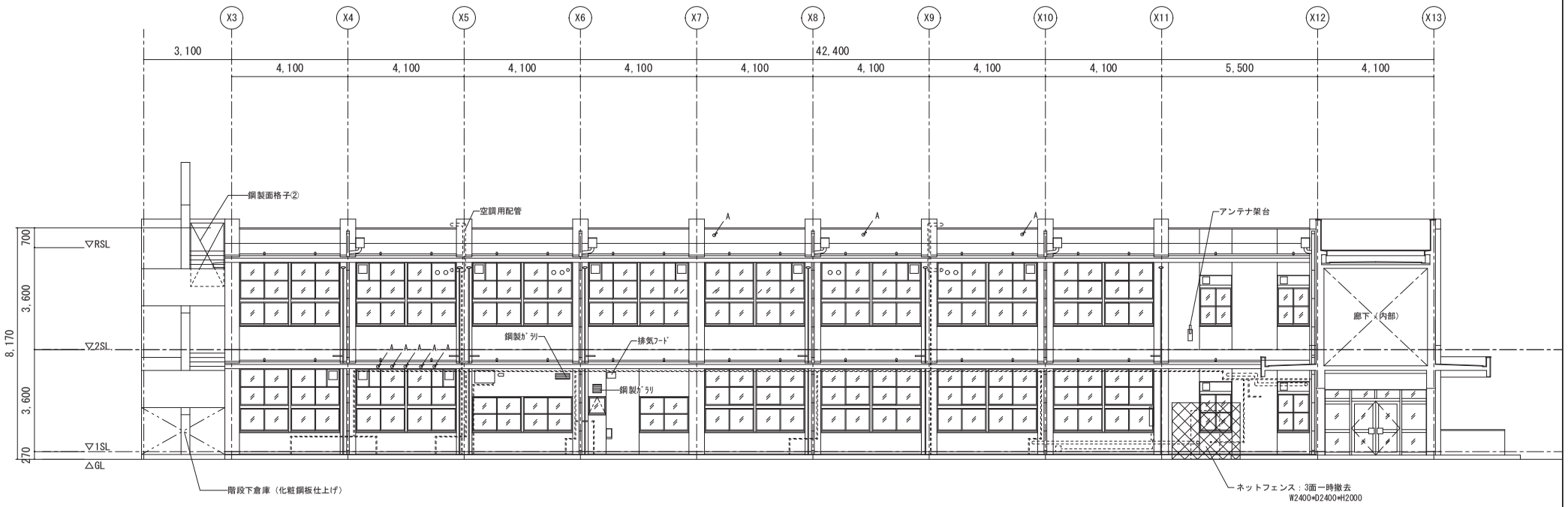
- 既存露出ｱｽﾌｧﾙﾄ防水撤去範囲を示す（立上りより800mmまで）
- ◎ ― ＳＵＳ製脱気筒（１０か所）を示す

－ 特 記 事 項 －

・平場は溶融ｱｽﾌｧﾙﾄ、ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ立上り部はﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄによる下地調整の上、改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水（AS-T4）新設すること。

・ドレン周囲に雨水がたまらないよう勾配に注意すること。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
管理棟　屋根伏図（現況・撤去・改修）			A1－09
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／100
枚方市教育委員会教育環境整備室			



管理棟　南面　立面図　S 1/100

外壁改修工程
（1）高圧水洗、清掃 （2）各補修範囲の確認（調査報告書作成） （3）各部補修 （a）クラック補修 1. Uカット（溝内清掃共） 2. プライマー塗布 3. シーリング材充填 4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上 （b）欠損・露筋部補修 1. はつり、下地処理（ケレン、清掃） 2. プライマー・錆止め塗布 3. エポキシ樹脂モルタル充填 （c）浮き部補修 1. 削孔、清掃 2. エポキシ樹脂注入 3. アンカーピン（SUS304）挿入 4. エポキシ樹脂充填 注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

外壁劣化数量表【管理棟・渡り廊下】

記号	名　　称	参考数量
———	クラック	47.7 m
Ⓐ	欠損（大100×300）	12 箇所
Ⓐ	欠損（中100×200）	2 箇所
A	欠損（小100×100）	35 箇所

	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾞｰｽﾄ)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製防球ﾈｯﾄ	SOP塗、ﾈｯﾄ・ﾎﾞﾙﾄ撤去　、枠存置	ﾈｯﾄ・ﾎﾞﾙﾄ取替え、枠は下地調整の上DP塗替
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝（上部ｱﾐ付）共）
排水管・臭気管	硬質塩化ﾋﾞ管φ75撤去（取付金物共）、　鋼管部：取付金物撤去	ｶﾗｰVPφ75新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝共）全数、　鋼管部：掴ﾐ金物新設、ＤＰ塗替
換気ﾊﾞｲﾌﾟ	塩ﾋﾞφ50	ﾊﾞｲﾌﾟ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ（MS-2）の上ＤＰ塗装、欠落部は新設（防虫網付）

－凡例－

——－——　鋼製設備配管を示す。

——---——　塩ビ管（黒管）を示す。

::::::::::　樹脂被覆設備配管を示す。

○　換気ﾊﾞｲﾌﾟを示す。

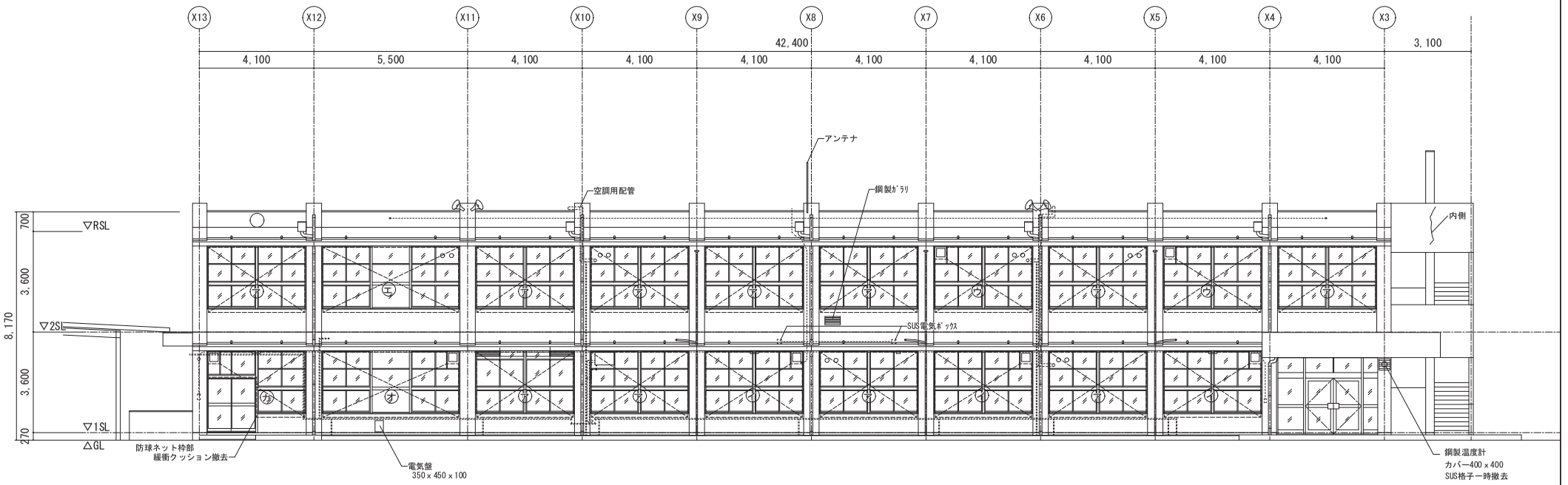
－注意事項－

・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝｽﾞﾘｰﾄﾞ） ・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系 ・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
管理棟　南立面図（現況・撤去）			A1－10
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／100
枚方市教育委員会教育環境整備室			



管理棟　北面　立面図　S 1/100

外壁改修工程
（1）高圧水洗、清掃
（2）各補修範囲の確認（調査報告書作成）
（3）各部補修
（a）クラック補修
1. Uカット（溝内清掃共）
2. プライマー塗布
3. シーリング材充填
4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上
（b）欠損・露筋部補修
1. はつり、下地処理（ケレン、清掃）
2. プライマー・錆止め塗布
3. エポキシ樹脂モルタル充填
（c）浮き部補修
1. 削孔、清掃
2. エポキシ樹脂注入
3. アンカーピン（SUS304）挿入
4. エポキシ樹脂充填
注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

外壁劣化数量表【管理棟・渡り廊下】

記号	名　　称	参考数量
———	クラック	47.7 m
Ⓐ	欠損（大100×300）	12 箇所
Ⓐ	欠損（中100×200）	2 箇所
A	欠損（小100×100）	35 箇所

	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾞｰｽﾄ)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製防球ﾈｯﾄ	SOP塗、ﾈｯﾄ・ﾎﾞﾙﾄ撤去　、枠存置	ﾈｯﾄ・ﾎﾞﾙﾄ取替え、枠は下地調整の上DP塗替
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝（上部ｱﾐ付）共）
排水管・臭気管	硬質塩化ﾋﾞ管φ75撤去（取付金物共）、　鋼管部：取付金物撤去	ｶﾗｰVPφ75新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝共）全数、　鋼管部：掴ﾐ金物新設、ＤＰ塗替
換気ﾊﾞｲﾌﾟ	塩ﾋﾞφ50	ﾊﾞｲﾌﾟ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ（MS-2）の上ＤＰ塗装、欠落部は新設（防虫網付）

－凡例－

- 鋼製設備配管を示す。
- 塩ビ管（黒管）を示す。
- 樹脂被覆設備配管を示す。
- 換気ﾊﾞｲﾌﾟを示す。
- 鋼製防球ネットを示す。

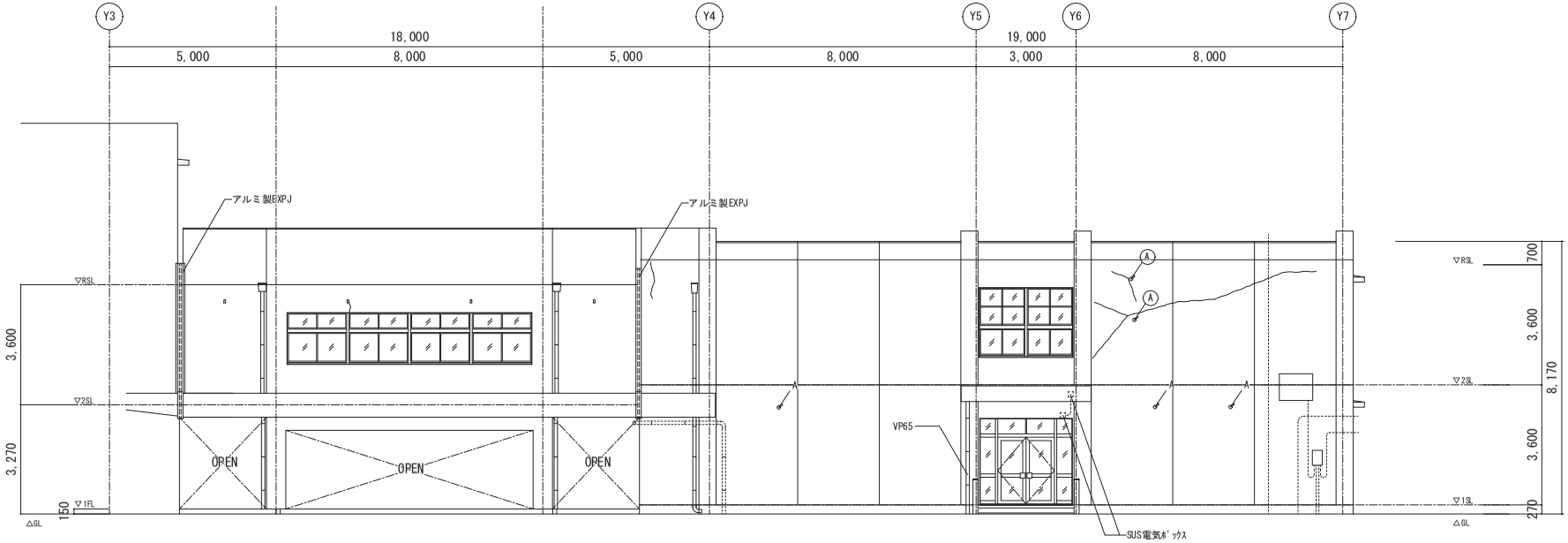
－注意事項－

・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝｸﾞﾘｰﾄﾞ）
・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系
・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
管理棟　北立面図（現況・撤去）			A1－11
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／100
枚方市教育委員会教育環境整備室			



管理棟･渡り廊下棟　東面　立面図　S 1/100

外壁改修工程
（1）高圧水洗、清掃
（2）各補修範囲の確認（調査報告書作成）
（3）各部補修
（a）クラック補修
1. Uカット（溝内清掃共）
2. プライマー塗布
3. シーリング材充填
4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上
（b）欠損・露筋部補修
1. はつり、下地処理（ケレン、清掃）
2. プライマー・錆止め塗布
3. エポキシ樹脂モルタル充填
（c）浮き部補修
1. 削孔、清掃
2. エポキシ樹脂注入
3. アンカーピン（SUS304）挿入
4. エポキシ樹脂充填
注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

外壁劣化数量表【管理棟・渡り廊下】

記号	名　　称	参考数量
———	クラック	47.7 m
Ⓐ	欠損（大100×300）	12 箇所
Ⓐ	欠損（中100×200）	2 箇所
A	欠損（小100×100）	35 箇所

	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾞｰｽﾄ)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製防球ﾈｯﾄ	SOP塗、ﾈｯﾄ・ﾎﾞﾙﾄ撤去　、枠存置	ﾈｯﾄ・ﾎﾞﾙﾄ取替え、枠は下地調整の上DP塗替
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝（上部ｱﾐ付）共）
排水管・臭気管	硬質塩化ﾋﾞ管φ75撤去（取付金物共）、　鋼管部：取付金物撤去	ｶﾗｰVPφ75新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝共）全数、　鋼管部：掴ﾐ金物新設、ＤＰ塗替
換気ﾊﾟｲﾌﾟ	塩ﾋﾞφ50	ﾊﾟｲﾌﾟ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ（MS-2）の上ＤＰ塗装、欠落部は新設（防虫網付）

－凡例－

- 鋼製設備配管を示す。
- 塩ビ管（黒管）を示す。
- 樹脂被覆設備配管を示す。
- 換気ﾊﾟｲﾌﾟを示す。（5箇所新設）

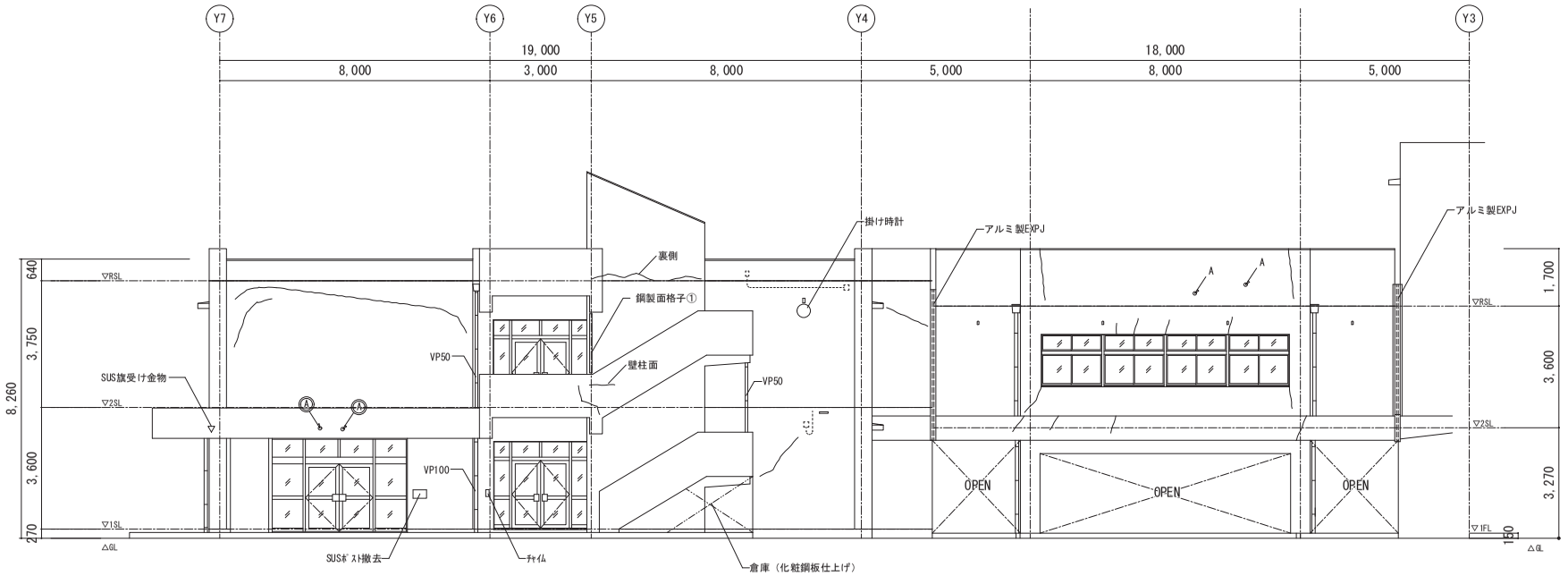
－注意事項－

・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝﾌﾞﾘｰﾄﾞ）
・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系
・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
管理棟・渡り廊下　東立面図（現況・撤去）			A1－12
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／100
枚方市教育委員会教育環境整備室			



管理棟･渡り廊下棟　西面　立面図　S 1/100

外壁改修工程
（1）高圧水洗、清掃
（2）各補修範囲の確認（調査報告書作成）
（3）各部補修
（a）クラック補修
1. Uカット（溝内清掃共）
2. プライマー塗布
3. シーリング材充填
4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上
（b）欠損・露筋部補修
1. はつり、下地処理（ケレン、清掃）
2. プライマー・錆止め塗布
3. エポキシ樹脂モルタル充填
（c）浮き部補修
1. 削孔、清掃
2. エポキシ樹脂注入
3. アンカーピン（SUS304）挿入
4. エポキシ樹脂充填
注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

外壁劣化数量表【管理棟・渡り廊下】

記号	名　　称	参考数量
～～～	クラック	47.7 m
Ⓐ	欠損（大100×300）	12 箇所
Ⓐ	欠損（中100×200）	2 箇所
A	欠損（小100×100）	35 箇所

	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾞｰｽﾄ)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製防球ﾈｯﾄ	SOP塗、ﾈｯﾄ・ﾎﾞﾙﾄ撤去　、枠存置	ﾈｯﾄ・ﾎﾞﾙﾄ取替え、枠は下地調整の上DP塗替
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝（上部ｱﾐ付）共）
排水管・臭気管	硬質塩化ﾋﾞ管φ75撤去（取付金物共）、　鋼管部：取付金物撤去	ｶﾗｰVPφ75新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝共）全数、　鋼管部：掴ﾐ金物新設、ＤＰ塗替
換気ﾊﾟｲﾌﾟ	塩ﾋﾞφ50	ﾊﾟｲﾌﾟ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ（MS-2）の上ＤＰ塗装、欠落部は新設（防虫網付）

－凡例－

鋼製設備配管を示す。

塩ビ管（黒管）を示す。

換気ﾊﾟｲﾌﾟを示す。

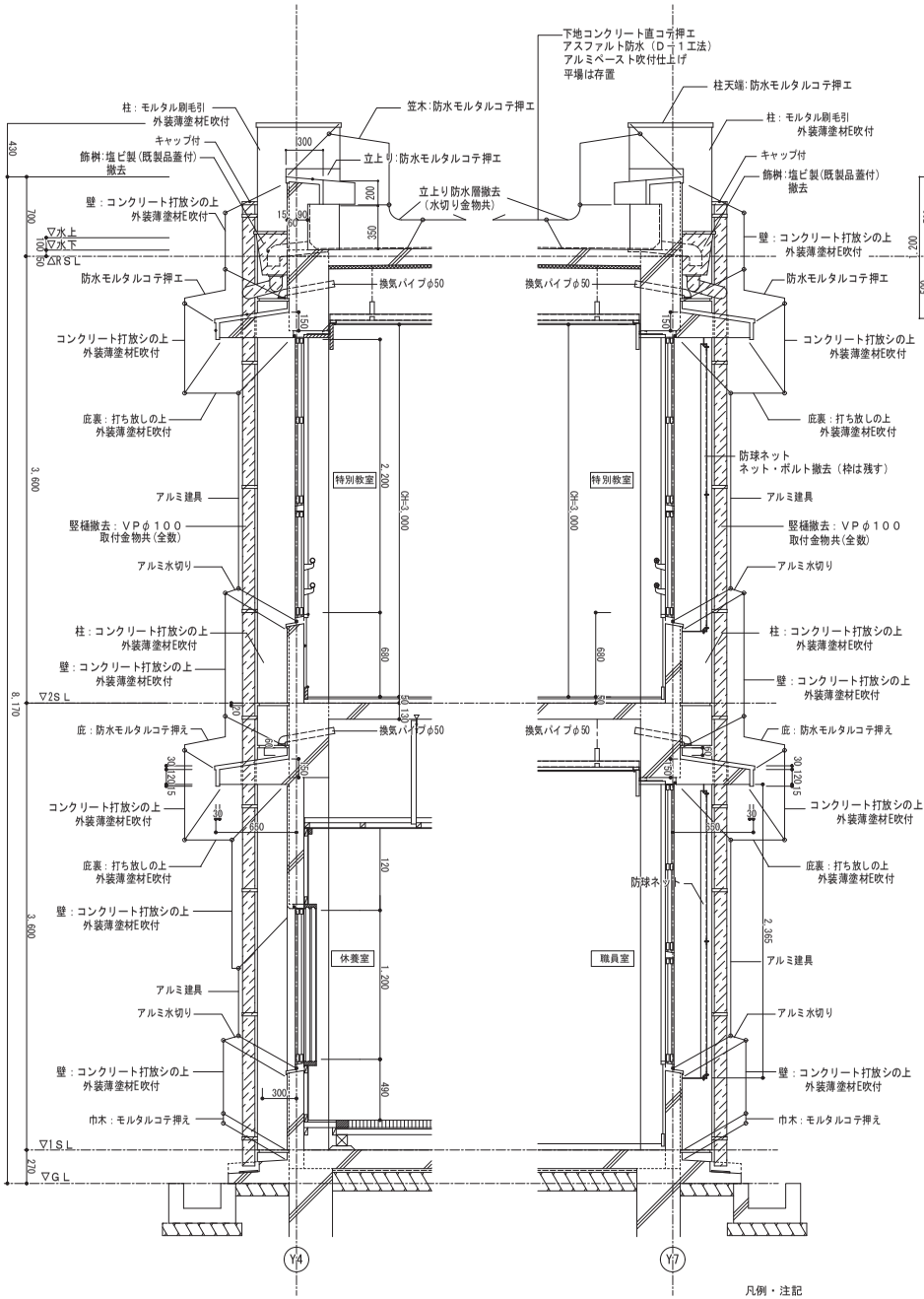
－注意事項－

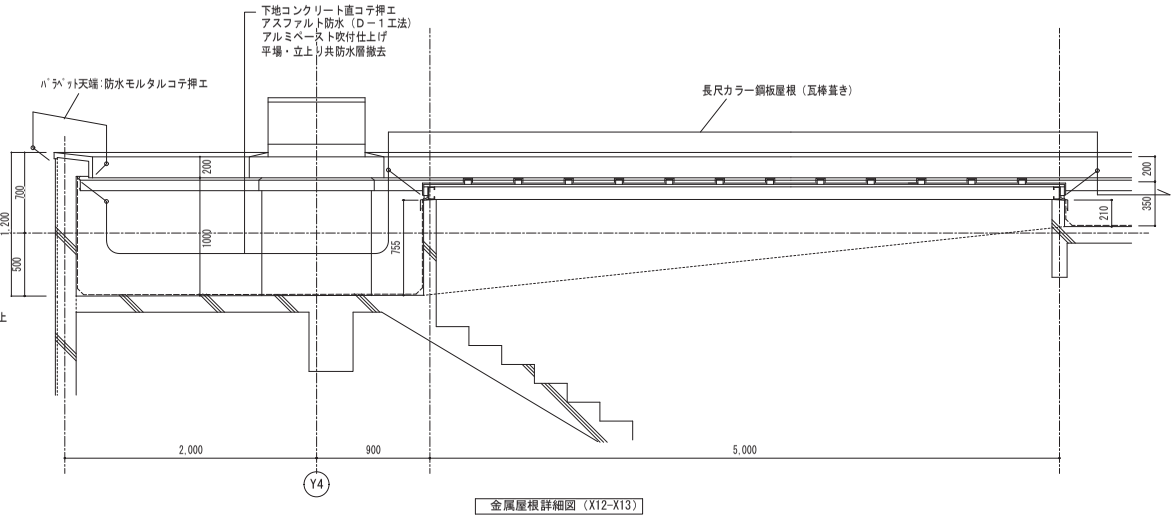
・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝｽﾞﾘｰﾄﾞ）
・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系
・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

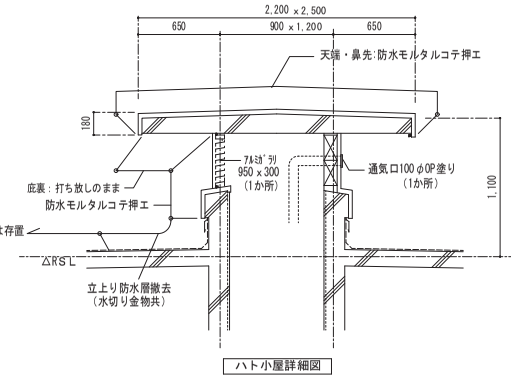
※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
管理棟・渡り廊下　西立面図（現況・撤去）			A1－13
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／100
枚方市教育委員会教育環境整備室			

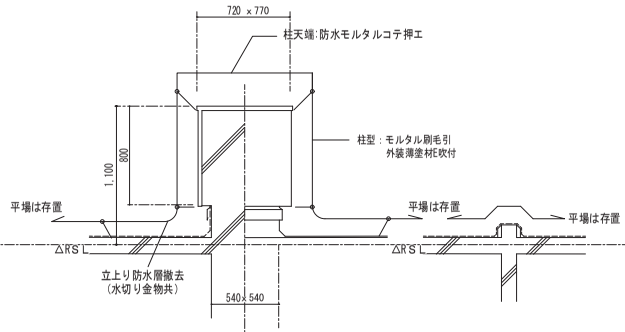




金属屋根詳細図（X12-X13）

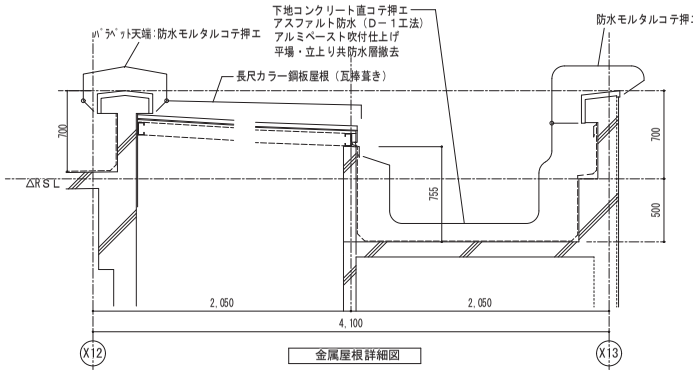


ハト小屋詳細図

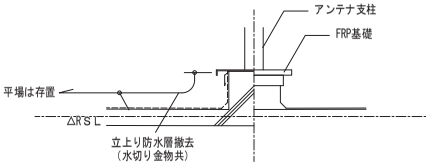


柱突出部詳細図

壁突出部詳細図

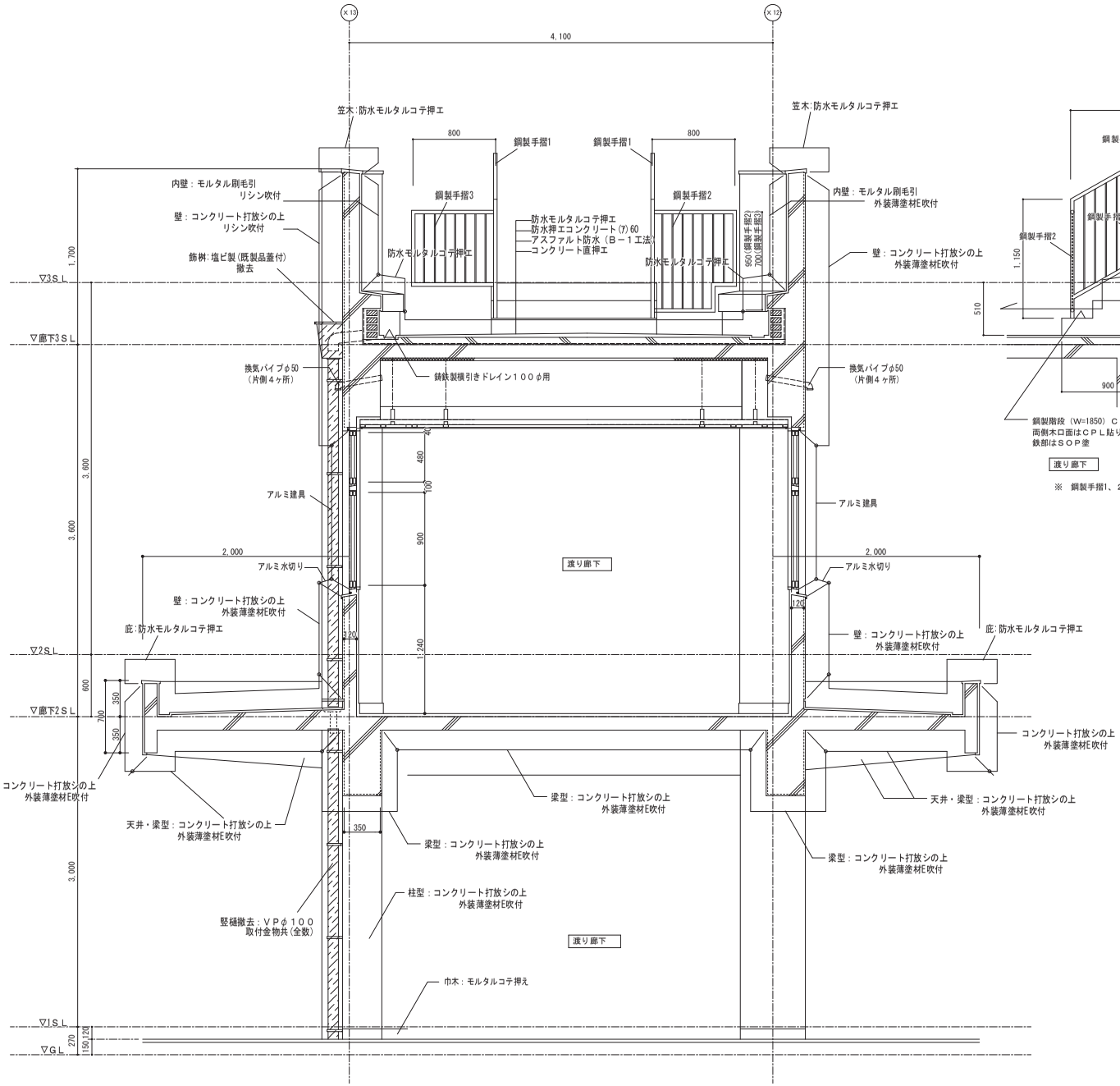


金属屋根詳細図



アンテナ基礎詳細図

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A１－１４
管理棟　矩計詳細図（現況・撤去）			
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			A2 1/30
枚方市教育委員会教育環境整備室			

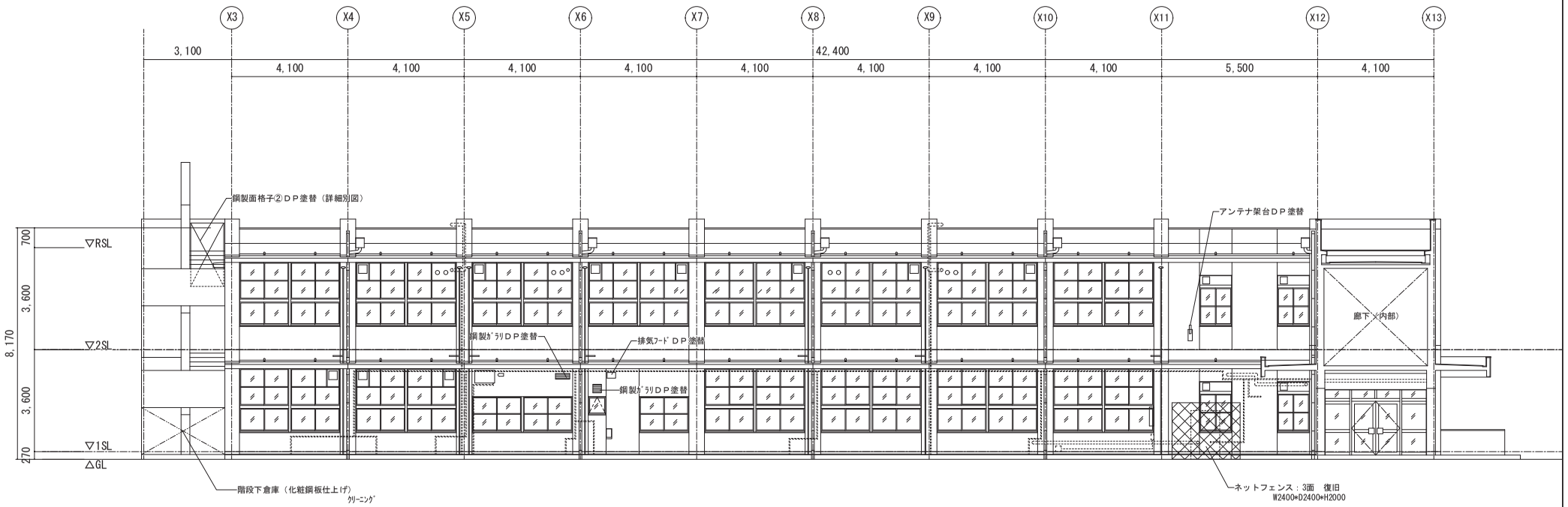


渡り廊下Ｒ階平面図 1/50

凡例・注記

撤去範囲を示す。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. Ａ１－１５
渡り廊下　矩計詳細図（現況・撤去）			
ＤＡＴＥ	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			A2 1/30
枚方市教育委員会教育環境整備室			



管理棟　南面　立面図　S 1/100

外壁改修工程
（1）高圧水洗、清掃 （2）各補修範囲の確認（調査報告書作成） （3）各部補修 （a）クラック補修 1. Uカット（溝内清掃共） 2. プライマー塗布 3. シーリング材充填 4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上 （b）欠損・露筋部補修 1. はつり、下地処理（ケレン、清掃） 2. プライマー・錆止め塗布 3. エポキシ樹脂モルタル充填 （c）浮き部補修 1. 削孔、清掃 2. エポキシ樹脂注入 3. アンカーピン（SUS304）挿入 4. エポキシ樹脂充填 注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾞｰｽﾄ)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製防球ﾈｯﾄ	SOP塗、ﾈｯﾄ・ﾎﾞﾙﾄ撤去　、枠存置	ﾈｯﾄ・ﾎﾞﾙﾄ取替え、枠は下地調整の上DP塗替
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝（上部ｱﾐ付）共）
排水管・臭気管	硬質塩化ﾋﾞ管φ75撤去（取付金物共）、　鋼管部：取付金物撤去	ｶﾗｰVPφ75新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝共）全数、　鋼管部：掴ﾐ金物新設、ＤＰ塗替
換気ﾊﾟｲﾌﾟ	塩ﾋﾞφ50	ﾊﾟｲﾌﾟ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ（MS-2）の上ＤＰ塗装、欠落部は新設（防虫網付）

－凡例－

鋼製設備配管を示す。

塩ビ管（黒管）を示す。

樹脂被覆設備配管を示す。

換気ﾊﾟｲﾌﾟを示す。（5箇所新設）

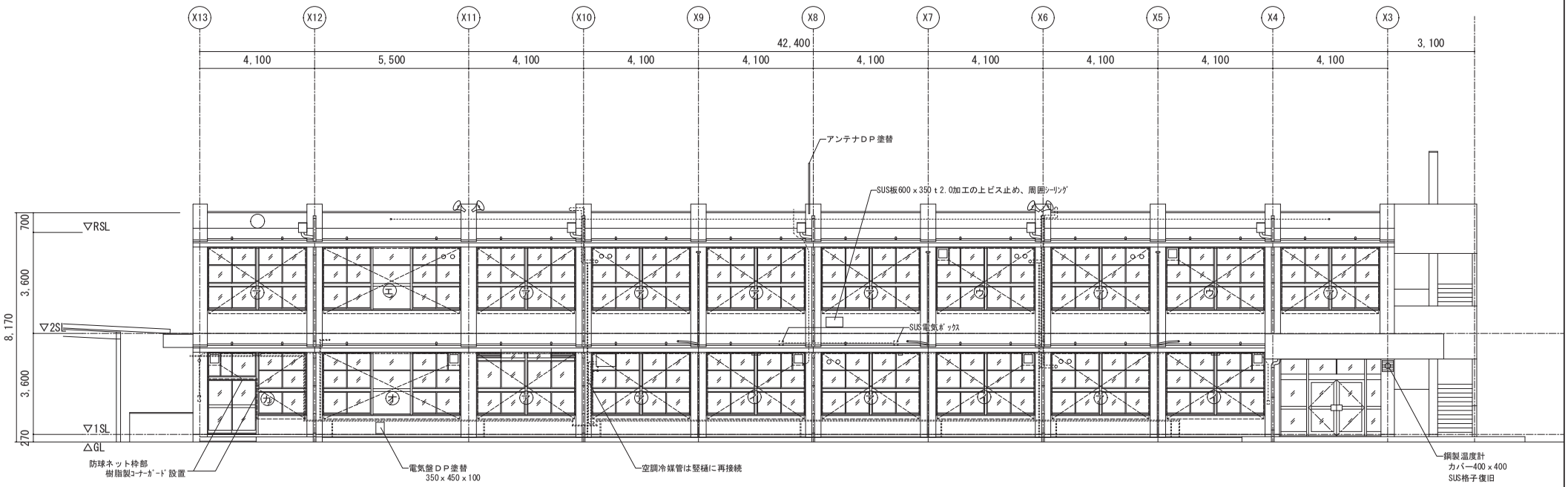
－注意事項－

・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝｽﾞﾘｰﾄﾞ） ・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系 ・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
管理棟　南立面図（改修）			A1－16
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／100
枚方市教育委員会教育環境整備室			



管理棟　北面　立面図　S 1/100

外壁改修工程
（1）高圧水洗、清掃 （2）各補修範囲の確認（調査報告書作成） （3）各部補修 （a）クラック補修 1．Uカット（溝内清掃共） 2．プライマー塗布 3．シーリング材充填 4．エポキシ樹脂モルタル平滑仕上 （b）欠損・露筋部補修 1．はつり、下地処理（ケレン、清掃） 2．プライマー・錆止め塗布 3．エポキシ樹脂モルタル充填 （c）浮き部補修 1．削孔、清掃 2．エポキシ樹脂注入 3．アンカーピン（SUS304）挿入 4．エポキシ樹脂充填 注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾟｰｽﾄ)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製防球ﾈｯﾄ	SOP塗、ﾈｯﾄ・ﾎﾞﾙﾄ撤去　、枠存置	ﾈｯﾄ・ﾎﾞﾙﾄ取替え、枠は下地調整の上DP塗替
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝（上部ｱﾐ付）共）
排水管・臭気管	硬質塩化ﾋﾞ管φ75撤去（取付金物共）、　鋼管部：取付金物撤去	ｶﾗｰVPφ75新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝共）全数、　鋼管部：掴ﾐ金物新設、ＤＰ塗替
換気ﾊﾟｲﾌﾟ	塩ﾋﾞφ50	ﾊﾟｲﾌﾟ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ（MS-2）の上ＤＰ塗装、欠落部は新設（防虫網付）

－凡例－

- 鋼製設備配管を示す。
- 塩ビ管（黒管）を示す。
- 樹脂被覆設備配管を示す。
- 換気ﾊﾟｲﾌﾟを示す。（5箇所新設）
- (ア) 鋼製防球ネットを示す。

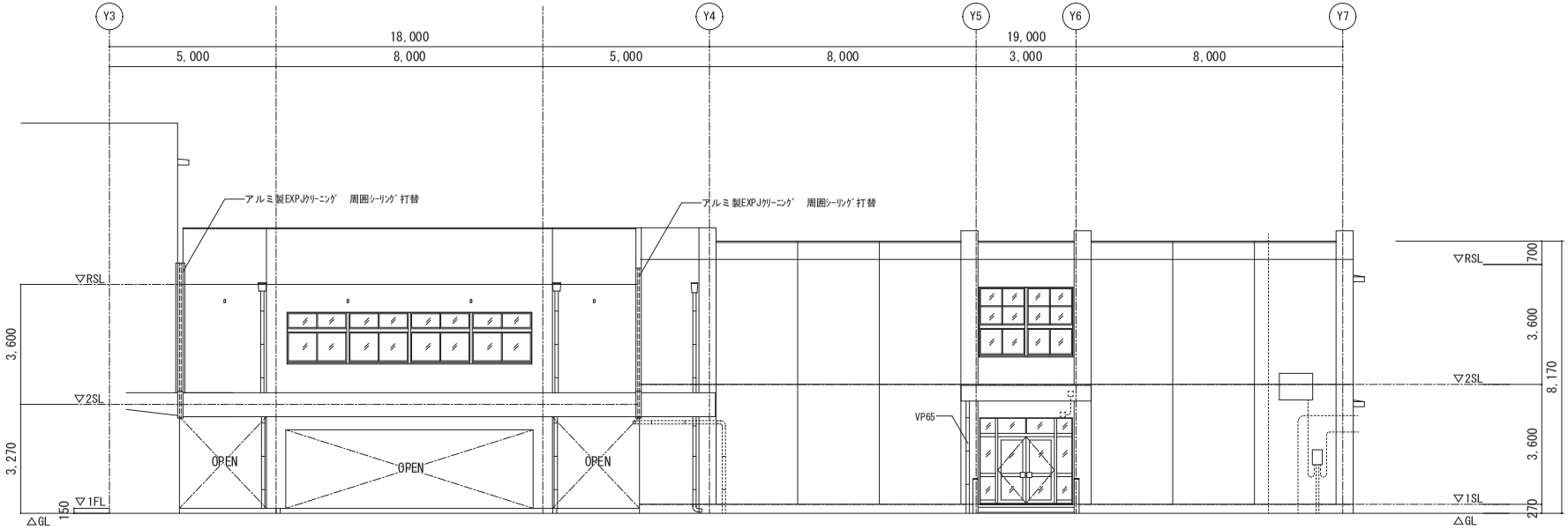
－注意事項－

・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝﾌﾞﾘｰﾄﾞ） ・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系 ・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A１－１７
管理棟　北立面図（改修）			
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／１００
枚方市教育委員会教育環境整備室			



管理棟･渡り廊下棟　東面　立面図　S 1/100

外壁改修工程
（1）高圧水洗、清掃 （2）各補修範囲の確認（調査報告書作成） （3）各部補修 （a）クラック補修 1. Uカット（溝内清掃共） 2. プライマー塗布 3. シーリング材充填 4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上 （b）欠損・露筋部補修 1. はつり、下地処理（ケレン、清掃） 2. プライマー・錆止め塗布 3. エポキシ樹脂モルタル充填 （c）浮き部補修 1. 削孔、清掃 2. エポキシ樹脂注入 3. アンカーピン（SUS304）挿入 4. エポキシ樹脂充填 注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾞｰｽﾄ)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製防球ﾈｯﾄ	SOP塗、ﾈｯﾄ・ﾎﾞﾙﾄ撤去　、枠存置	ﾈｯﾄ・ﾎﾞﾙﾄ取替え、枠は下地調整の上DP塗替
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝（上部ｱﾐ付）共）
排水管・臭気管	硬質塩化ﾋﾞ管φ75撤去（取付金物共）、　鋼管部：取付金物撤去	ｶﾗｰVPφ75新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝共）全数、　鋼管部：掴ﾐ金物新設、ＤＰ塗替
換気ﾊﾟｲﾌﾟ	塩ﾋﾞφ50	ﾊﾟｲﾌﾟ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ（MS-2）の上ＤＰ塗装、欠落部は新設（防虫網付）

－凡例－

- 鋼製設備配管を示す。
- 塩ビ管（黒管）を示す。
- 樹脂被覆設備配管を示す。
- ▫ 換気ﾊﾟｲﾌﾟを示す。（5箇所新設）

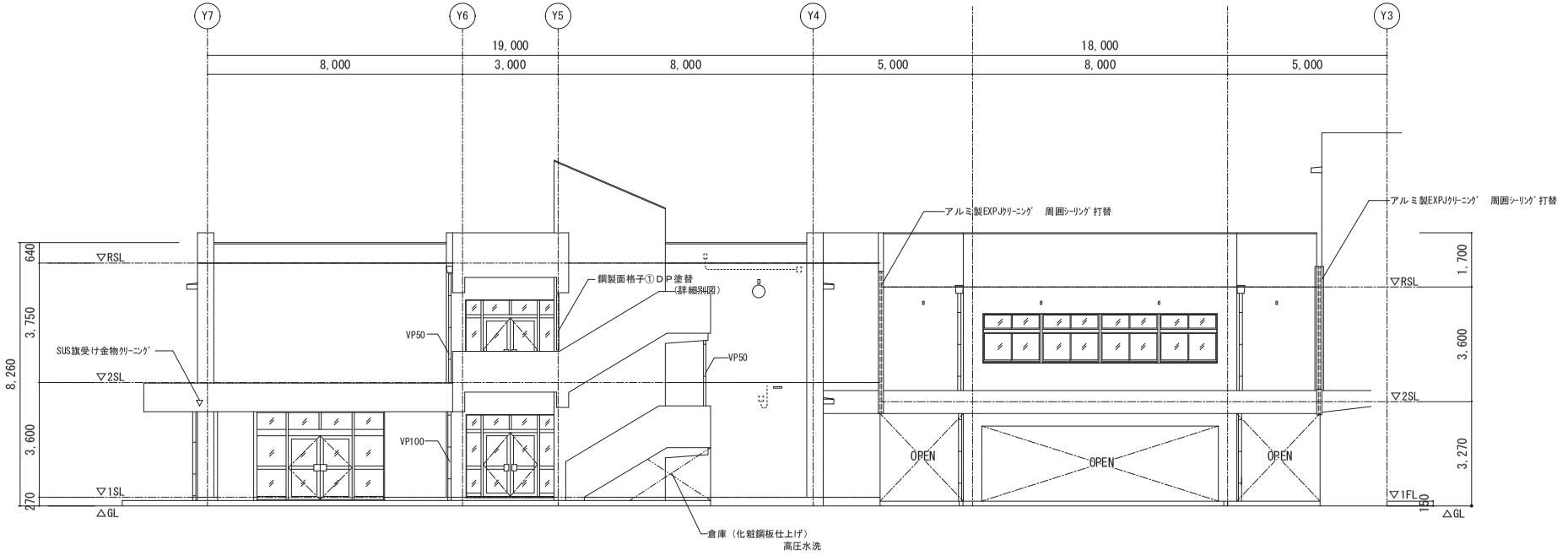
－注意事項－

・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝﾌﾞﾘｰﾄﾞ） ・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系 ・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
管理棟・渡り廊下　東立面図（改修）			A1－18
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／100
枚方市教育委員会教育環境整備室			



管理棟･渡り廊下棟　西面　立面図　S 1/100

外壁改修工程
（1）高圧水洗、清掃 （2）各補修範囲の確認（調査報告書作成） （3）各部補修 （a）クラック補修 1. Uカット（溝内清掃共） 2. プライマー塗布 3. シーリング材充填 4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上 （b）欠損・露筋部補修 1. はつり、下地処理（ケレン、清掃） 2. プライマー・錆止め塗布 3. エポキシ樹脂モルタル充填 （c）浮き部補修 1. 削孔、清掃 2. エポキシ樹脂注入 3. アンカーピン（SUS304）挿入 4. エポキシ樹脂充填 注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾞｰｽﾄ)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製防球ﾈｯﾄ	SOP塗、ﾈｯﾄ・ﾎﾞﾙﾄ撤去　、枠存置	ﾈｯﾄ・ﾎﾞﾙﾄ取替え、枠は下地調整の上DP塗替
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝（上部ｱﾐ付）共）
排水管・臭気管	硬質塩化ﾋﾞ管φ75撤去（取付金物共）、　鋼管部：取付金物撤去	ｶﾗｰVPφ75新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝共）全数、　鋼管部：掴ﾐ金物新設、ＤＰ塗替
換気ﾊﾟｲﾌﾟ	塩ﾋﾞφ50	ﾊﾟｲﾌﾟ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ（MS-2）の上ＤＰ塗装、欠落部は新設（防虫網付）

－凡例－

- 鋼製設備配管を示す。
- 塩ビ管（黒管）を示す。
- ▫ 換気ﾊﾟｲﾌﾟを示す。（5箇所新設）

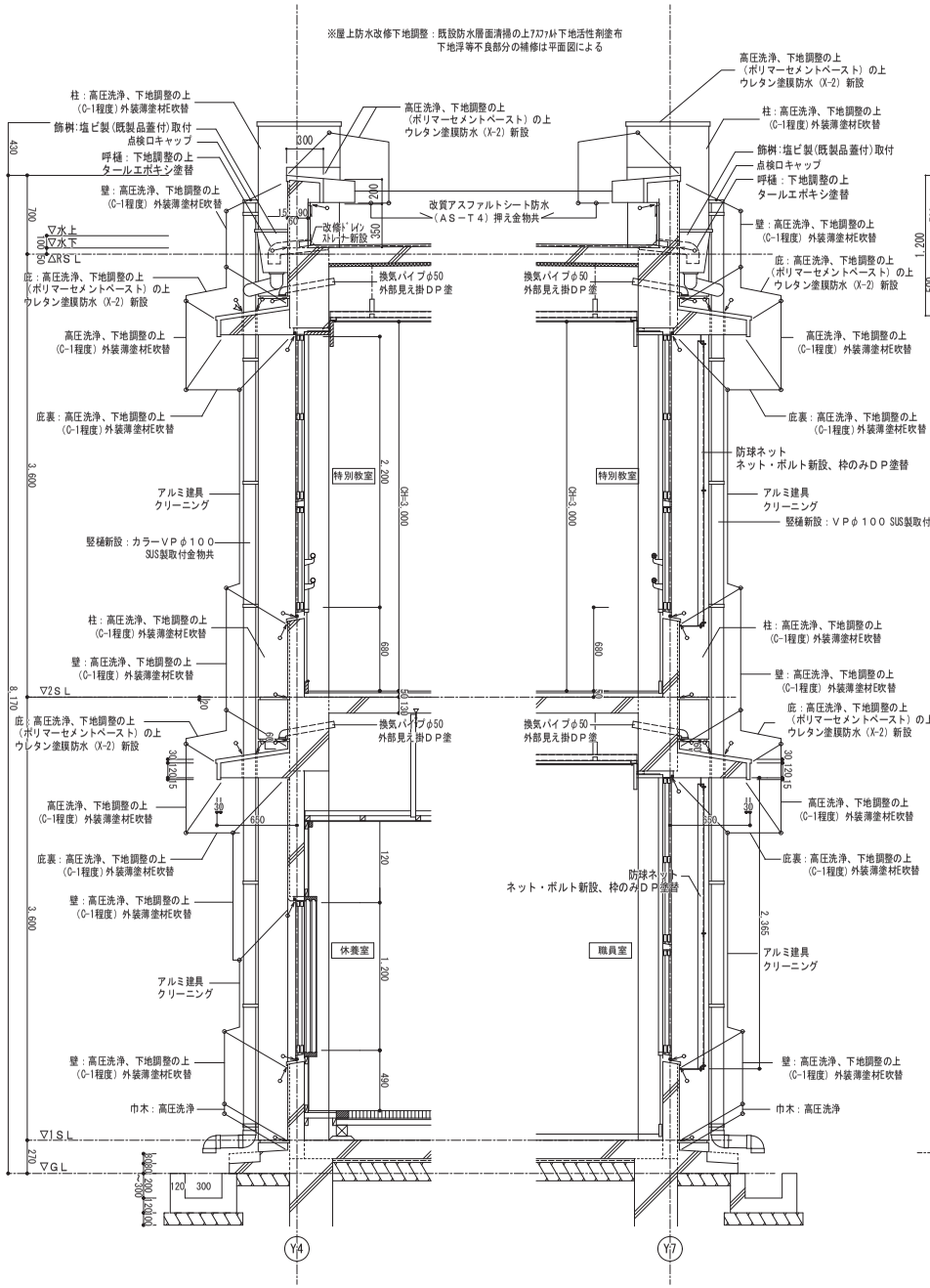
－注意事項－

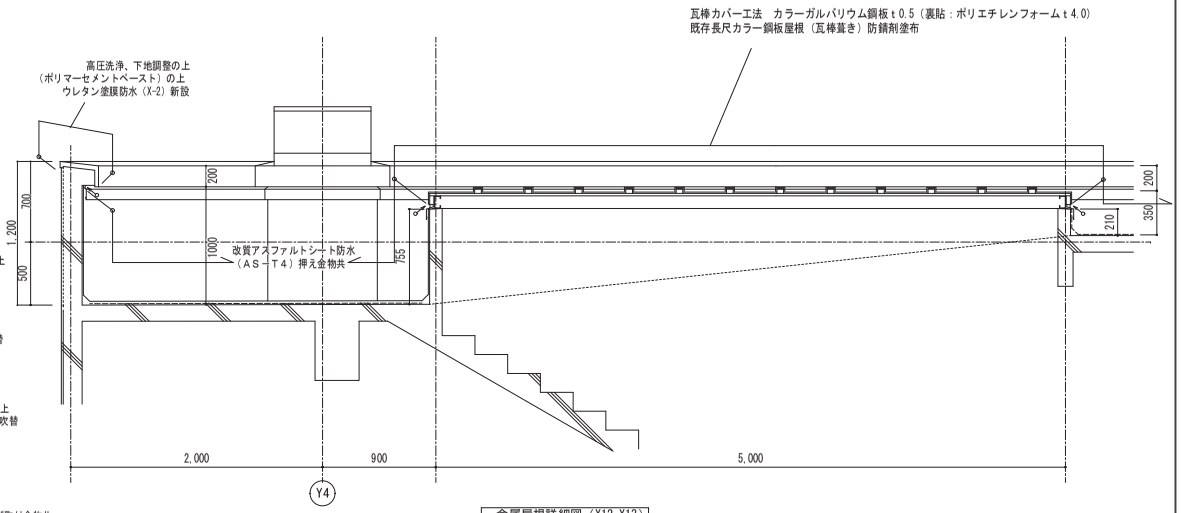
・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝﾌﾞﾘｰﾄﾞ） ・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系 ・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

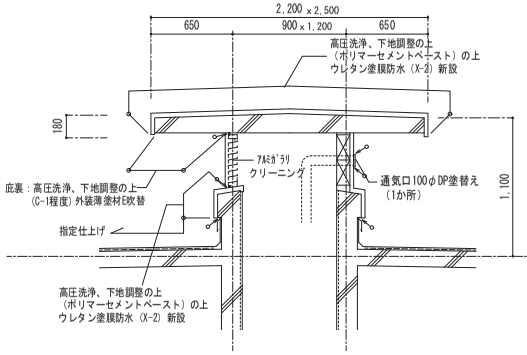
※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
管理棟・渡り廊下　西立面図（改修）			A1－19
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／100
枚方市教育委員会教育環境整備室			

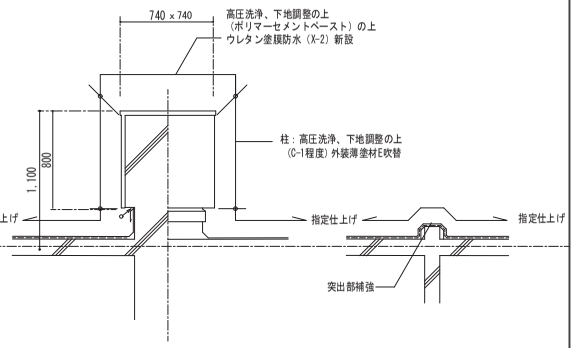




金属屋根詳細図（X12-X13）

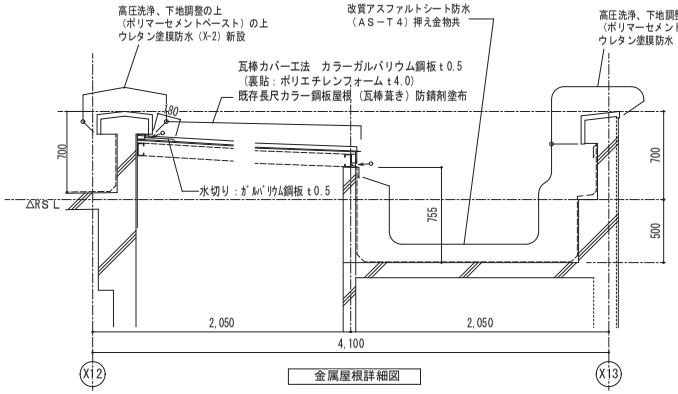


ハト小屋詳細図

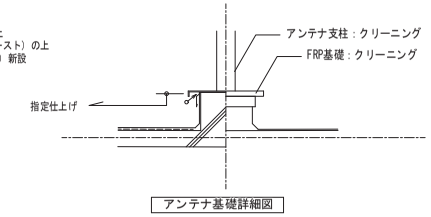


柱突出部詳細図

壁突出部詳細図



金属屋根詳細図



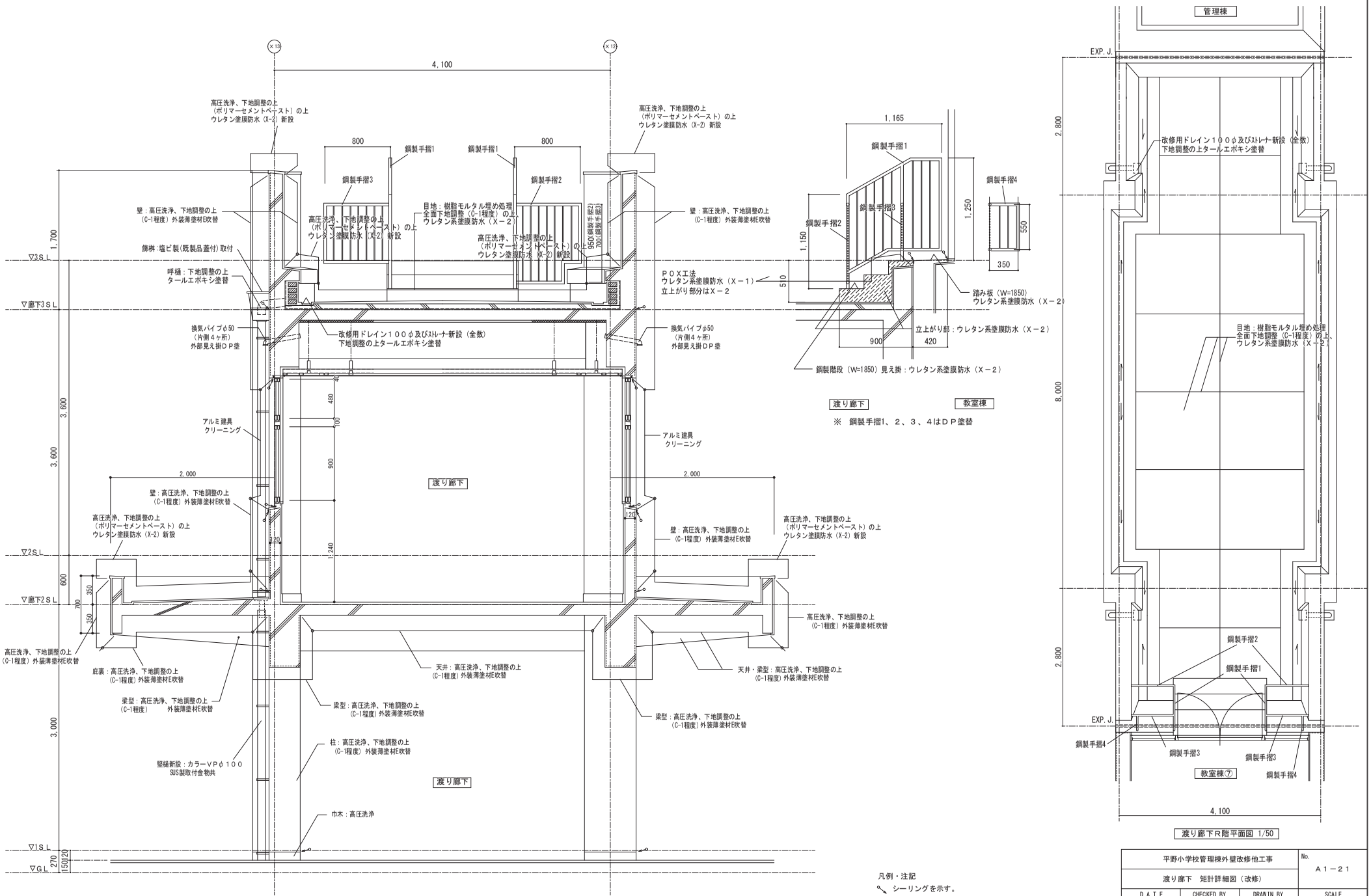
アンテナ基礎詳細図

凡例・注記

シーリングを示す。

※　外部見え掛り鉄部すべてDP塗替え（対象位置は平面図による）

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A１－２０
管理棟　矩計詳細図（改修）			
ＤＡＴＥ	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			A2 1/30
枚方市教育委員会教育環境整備室			



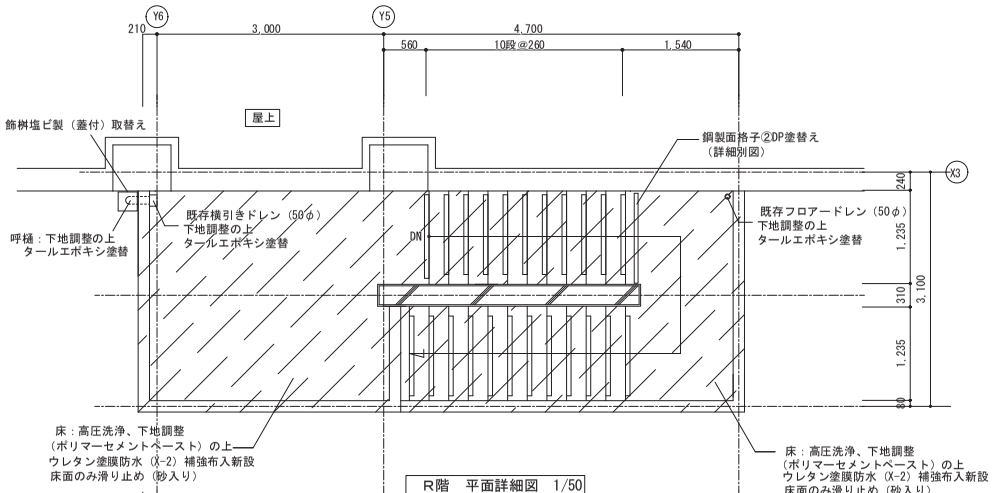
渡り廊下Ｒ階平面図 1/50

凡例・注記

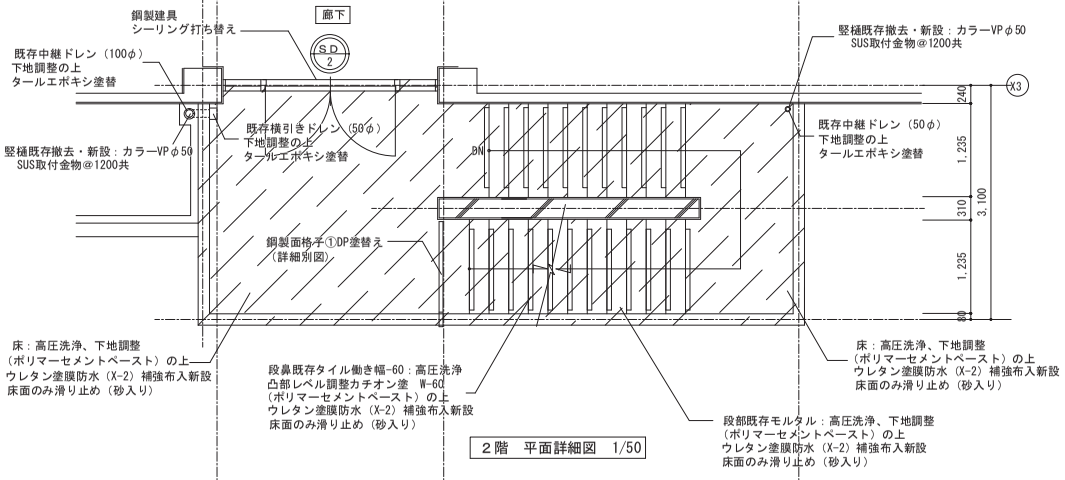
シーリングを示す。

※　外部見え掛り鉄部すべてDP塗替え（対象位置は平面図による）

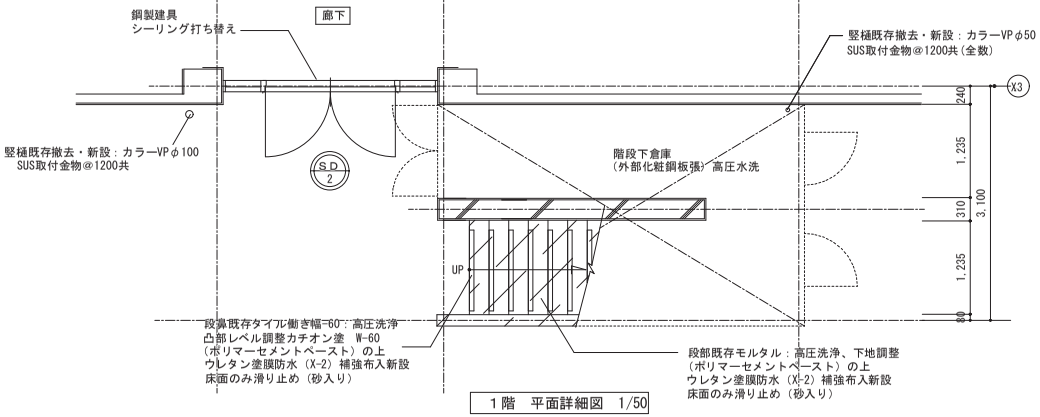
平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A１－２１
渡り廊下　矩計詳細図（改修）			
D A T E	CHECKED BY.	DRAWN BY.	SCALE
			A2 1/30
枚方市教育委員会教育環境整備室			



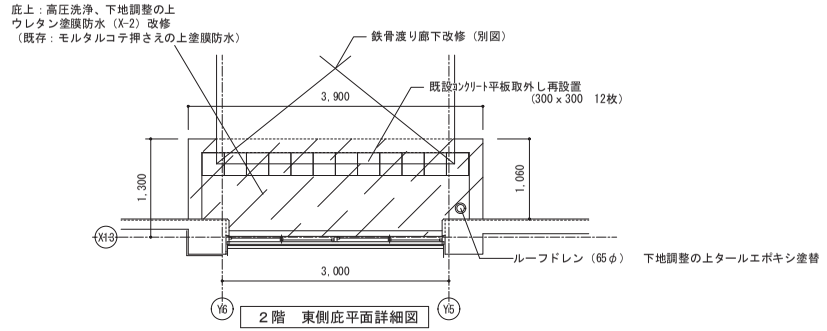
R階　平面詳細図　1/50



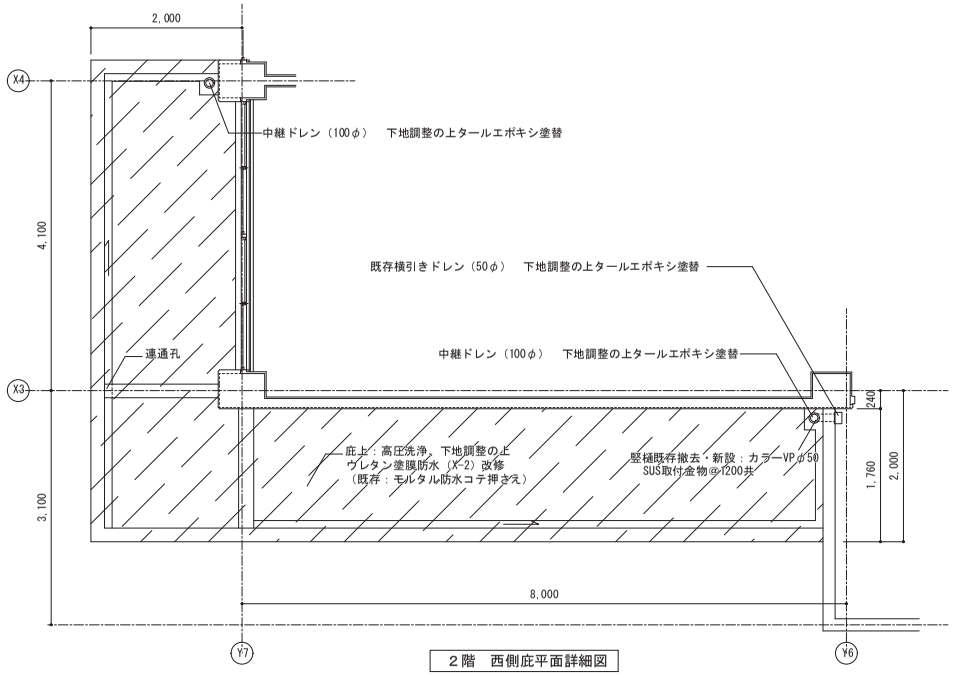
２階　平面詳細図　1/50



１階　平面詳細図　1/50

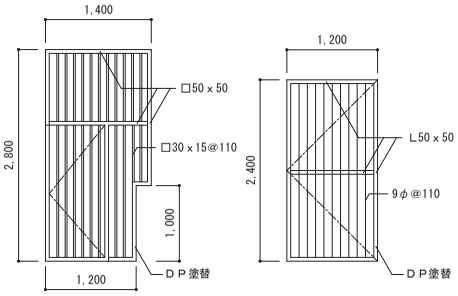


２階　東側庇平面詳細図



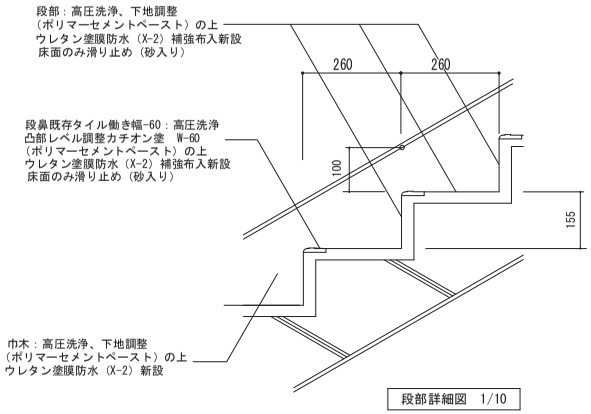
２階　西側庇平面詳細図

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A１－２２
管理棟 屋外階段平面詳細図（現況・撤去・改修）			
D A T E	CHECKED BY.	DRAWN BY.	SCALE
			1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			

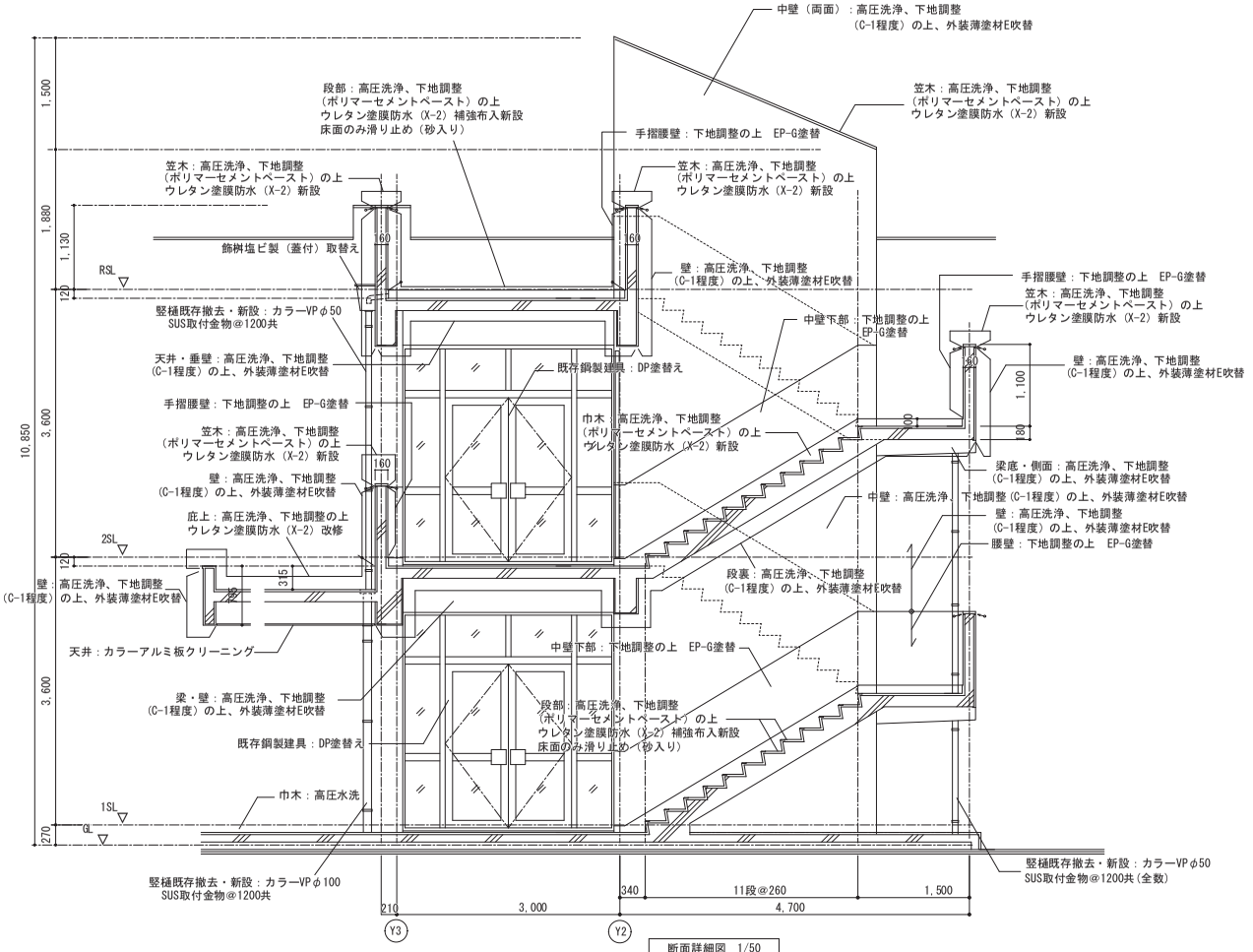


鋼製面格子①姿図

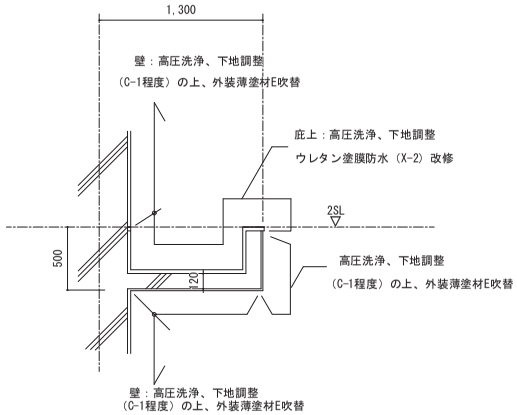
鋼製面格子②姿図



段部詳細図　1/10



断面詳細図　1/50



２階　東側庇平面詳細図

－注意事項－

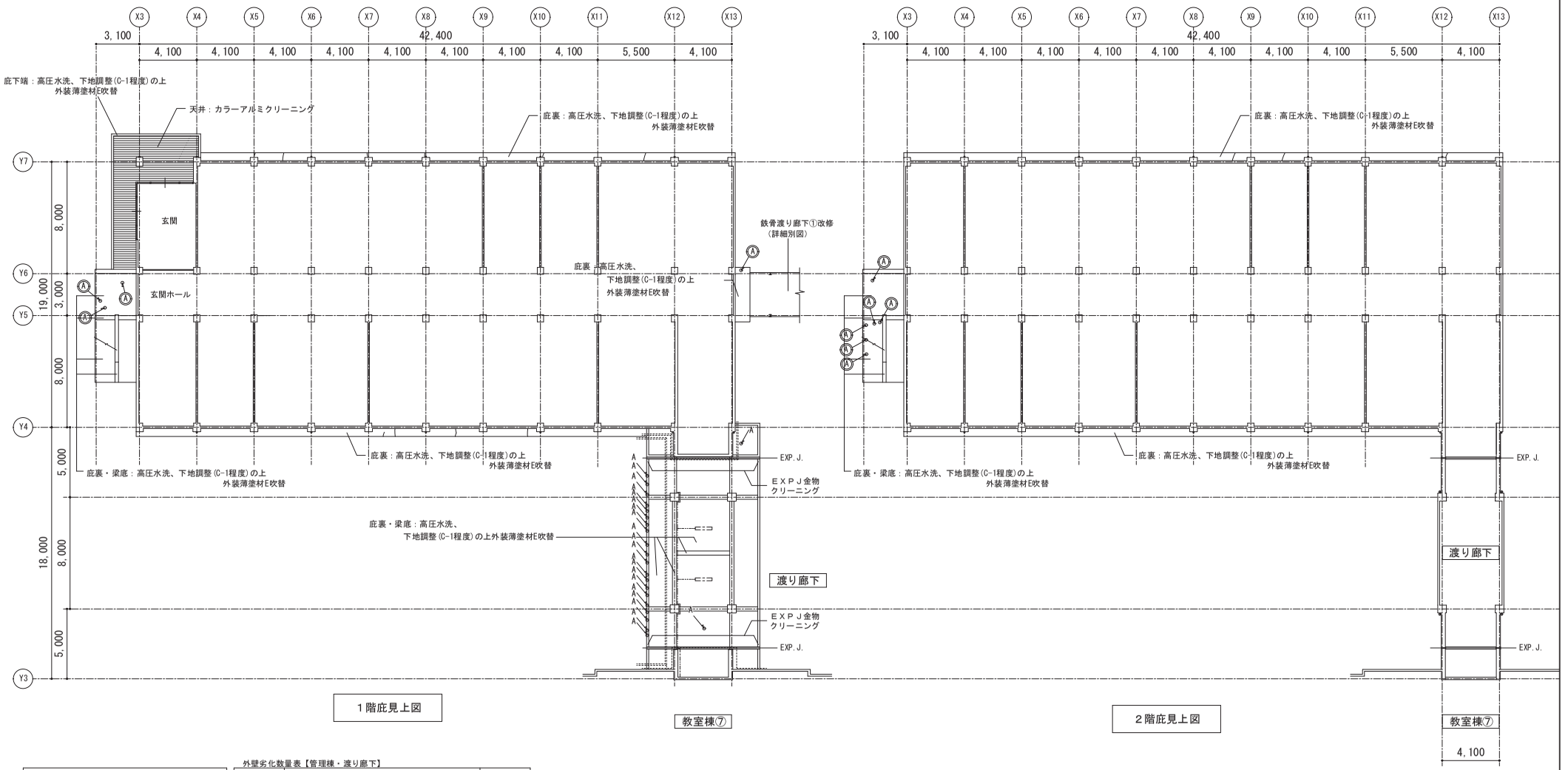
・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

外壁改修工程
（1）高圧水洗、清掃
（2）各補修範囲の確認（調査報告書作成）
（3）各部補修
（a）クラック補修
1．Ｕカット（溝内清掃共）
2．プライマー塗布
3．シーリング材充填
4．エポキシ樹脂モルタル平滑仕上
（b）欠損・露筋部補修
1．はつり、下地処理（ケレン、清掃）
2．プライマー・錆止め塗布
3．エポキシ樹脂モルタル充填
（c）浮き部補修
1．削孔、清掃
2．エポキシ樹脂注入
3．アンカーピン（SUS304）挿入
4．エポキシ樹脂充填
注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝﾌﾞﾘｰﾄﾞ）
・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系
・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
管理棟　屋外階段断面詳細図（現況・撤去・改修）			Ａ１－２３
ＤＡＴＥ	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1/10 1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			



1階庇見上図　　教室棟⑦　　2階庇見上図　　教室棟⑦

外壁改修工程
（1）高圧水洗、清掃
（2）各補修範囲の確認（調査報告書作成）
（3）各部補修
（a）クラック補修
1．Uカット（溝内清掃共）
2．プライマー塗布
3．シーリング材充填
4．エポキシ樹脂モルタル平滑仕上
（b）欠損・露筋部補修
1．はつり、下地処理（ケレン、清掃）
2．プライマー・錆止め塗布
3．エポキシ樹脂モルタル充填
（c）浮き部補修
1．削孔、清掃
2．エポキシ樹脂注入
3．アンカーピン（SUS304）挿入
4．エポキシ樹脂充填
注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

外壁劣化数量表【管理棟・渡り廊下】

記号	名　　称	参考数量
———	クラック	47.7 m
Ⓐ	欠損（大100×300）	12 箇所
(A)	欠損（中100×200）	2 箇所
A	欠損（小100×100）	35 箇所

－注意事項－

・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝﾌﾞﾘｰﾄﾞ）
・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系
・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

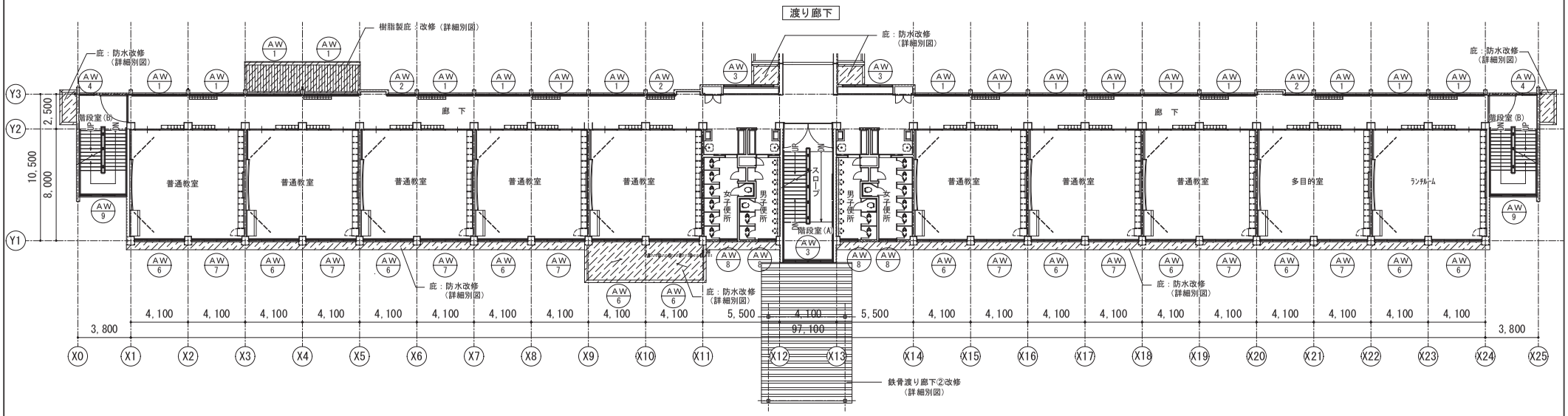
※全て打替えとする。

－凡例－

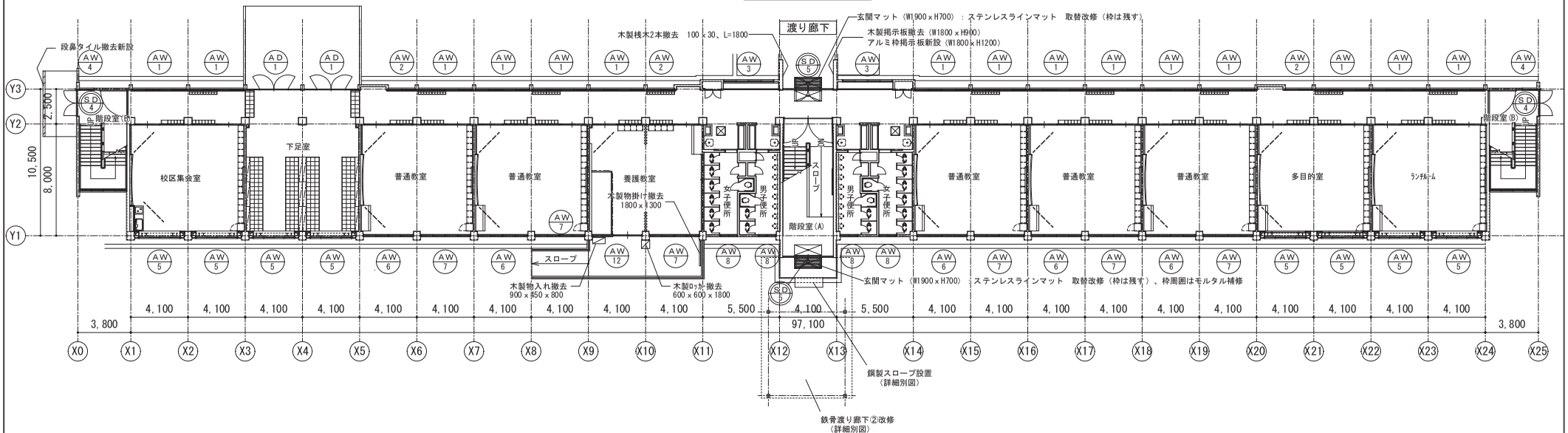
—·—·— 鋼製設備配管を示す。
—··—··— 塩ビ管（黒管）を示す。
::::::::::::: 樹脂被覆設備配管を示す。

N

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
管理棟・渡り廊下　各階見上図（現況・撤去・改修）			A1－24
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／200
枚方市教育委員会教育環境整備室			



2階　平　面　図



1階　平　面　図

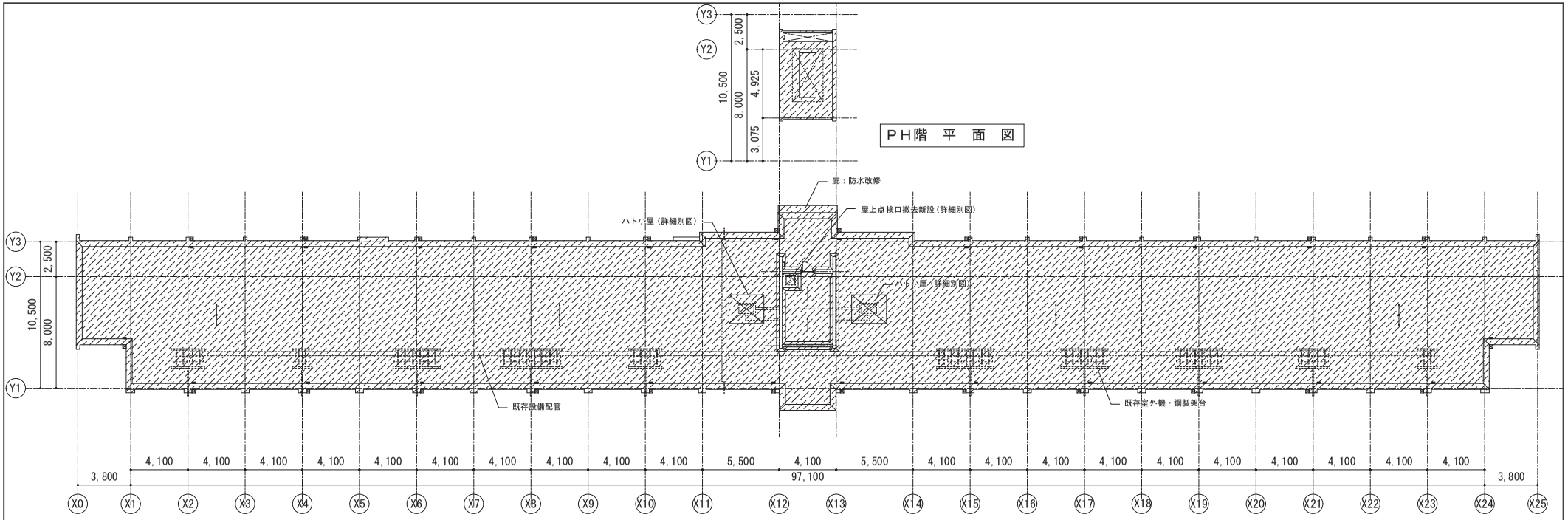
N

AW X　AD X　改修建具を示す（シーリング打替え・クリーニング）

SD X　改修対象建具を示す

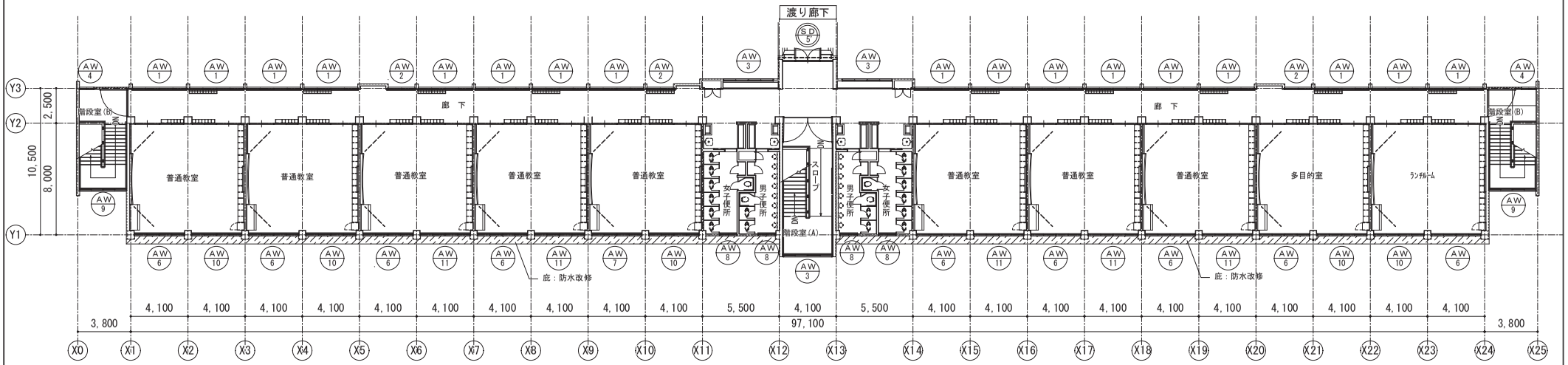
防水改修対象範囲を示す

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A1－25
教室棟⑦　1・2階平面図　（現況・撤去・改修）			
DATE	CHECKED BY.	DRAWN BY.	SCALE
			1／200
枚方市教育委員会教育環境整備室			

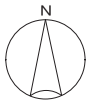


PH階 平 面 図

R階 平 面 図



3階 平 面 図



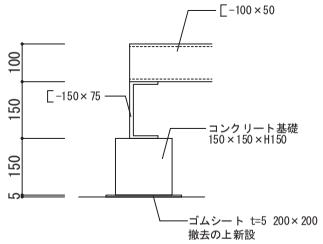
AW X 改修建具を示す（シーリング打替え・クリーニング）

SD X 改修対象建具を示す

防水改修対象範囲を示す

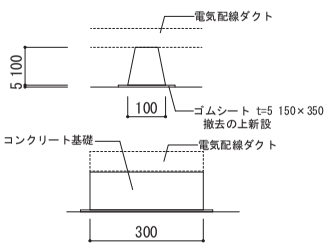
平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A1－26
教室棟⑦ 3・R・PH階平面図（現況・撤去・改修）			
DATE	CHECKED BY.	DRAWN BY.	SCALE
			1／200
枚方市教育委員会教育環境整備室			

空調室外機及び空調手元盤架台 1/10



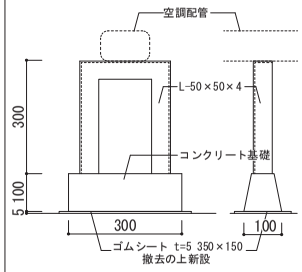
※ 防水施工時ジャッキアップを行う(34か所)

電気配線ﾀﾞｸﾄ架台 1/10



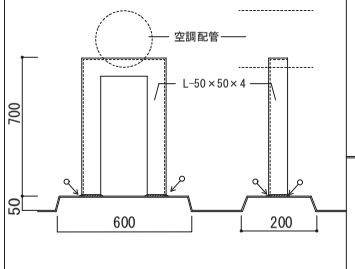
※ 防水施工時ジャッキアップを行う(32か所)

空調配管架台A 1/10



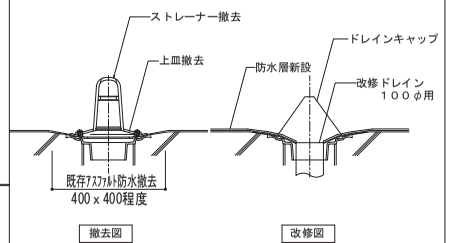
※ 防水施工時ジャッキアップを行う(15か所)

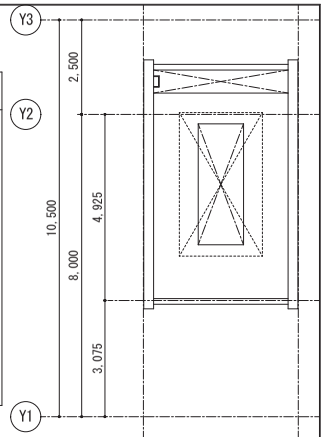
空調配管架台B 1/10

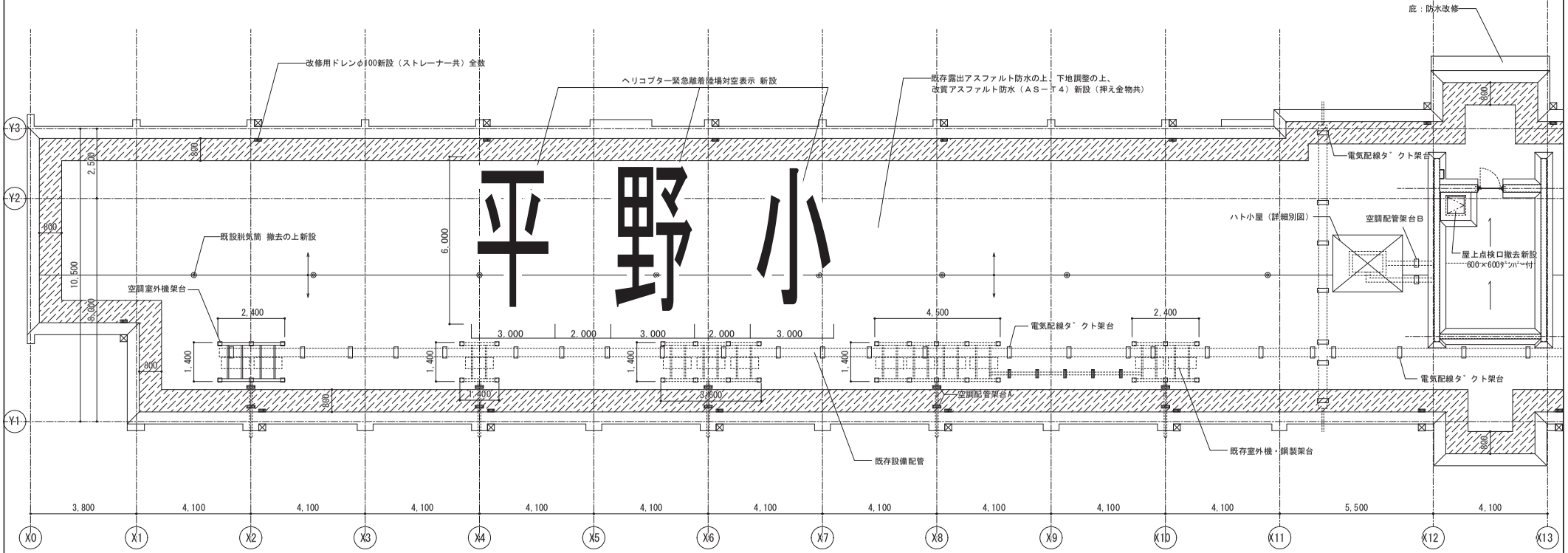


シーリングを示す

改修ドレイン取付 1/10







R階 平面図

(X0～X13)

－凡例－

既存露出ｱｽﾌｧﾙﾄ防水撤去範囲を示す
（立上りより800mmまで）

◎ ＳＵＳ製脱気筒（８か所）を示す

－ 特 記 事 項 －

・平場は溶融ｱｽﾌｧﾙﾄ、ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ立上り部はﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄによる下地調整の上、改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水（AS-T4）新設すること。

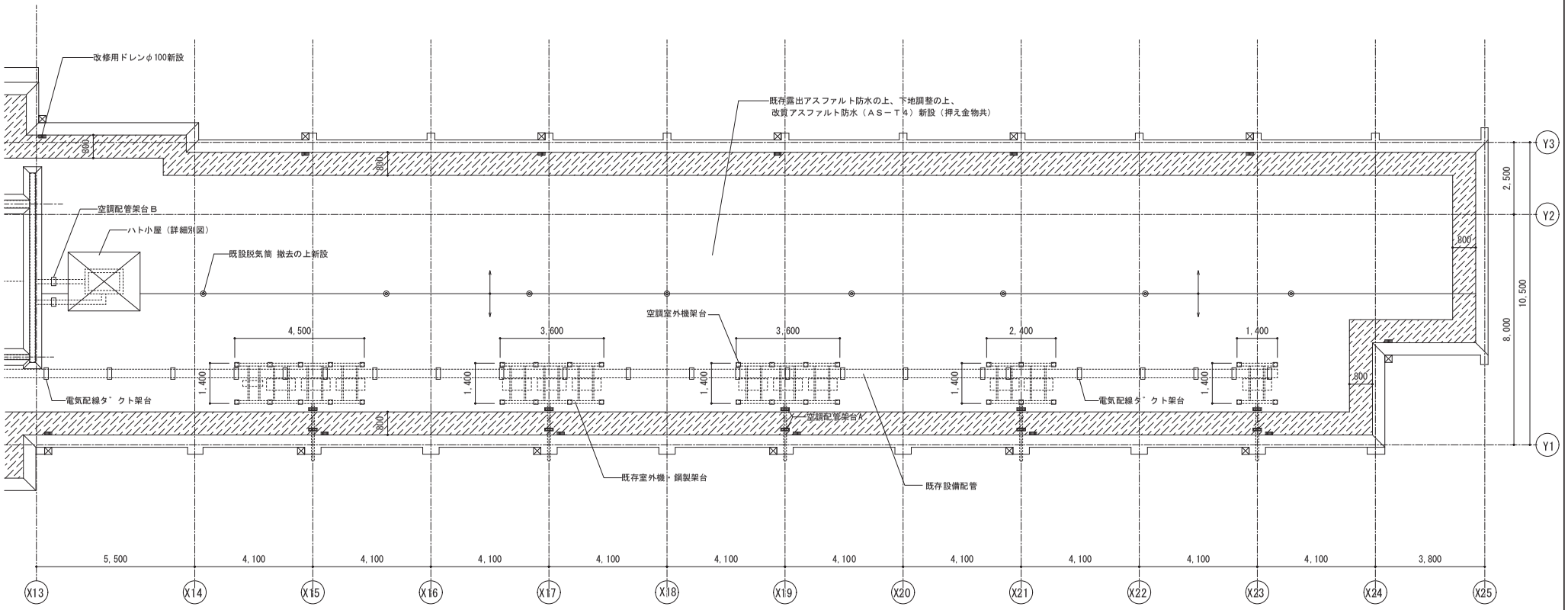
・ドレン周囲に雨水がたまらないよう勾配に注意すること。

※ヘリコプター緊急離着陸場対空表示仕様

文字の線の太さは３０ｃｍ以上、文字間隔は２ｍ以上とする。
材料はビーズ入りトラフィックペイント同等以上とする。

①防水仕上げ面清掃
②下地処理／樹脂モルタル塗り
③蛍光塗料塗り（3回塗）

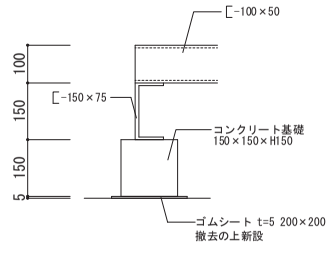
平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A１－２７
教室棟⑦西側 屋根伏図（現況・撤去・改修）			
ＤＡＴＥ	CHECKED BY.	DRAWN BY.	SCALE
			１／１００
枚方市教育委員会教育環境整備室			



R階　平面図

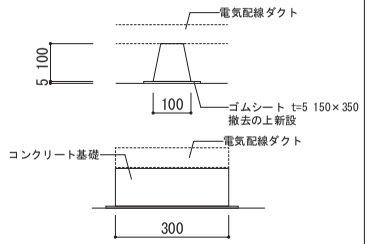
(X13～X25)

空調室外機及び空調手元盤架台　1/10



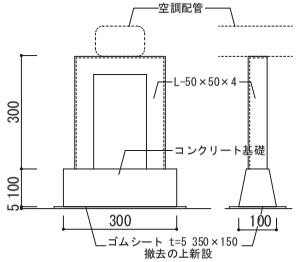
※ 防水施工時ジャッキアップを行う(36か所)

電気配線ﾀﾞｸﾄ架台　1/10



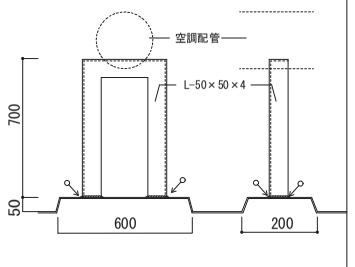
※ 防水施工時ジャッキアップを行う(23か所)

空調配管架台A　1/10



※ 防水施工時ジャッキアップを行う(10か所)

空調配管架台B　1/10



シーリングを示す

－特記事項－

・平場は溶融ｱｽﾌｧﾙﾄ、ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ立上り部はﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄによる下地調整の上、
改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水（AS-T4）新設すること。

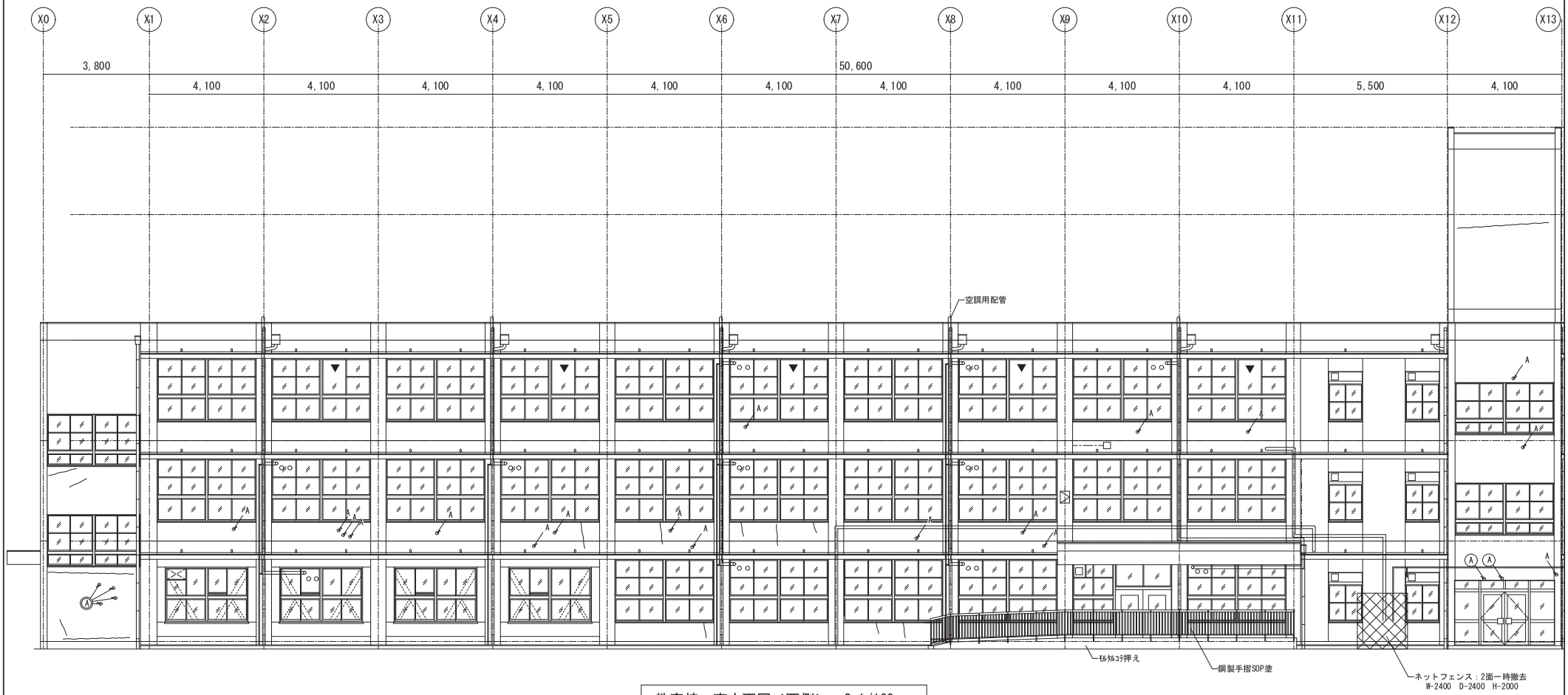
・ドレン周囲に雨水がたまらないよう勾配に注意すること。

－凡例－

既存露出ｱｽﾌｧﾙﾄ防水撤去範囲を示す
（立上りより800mmまで）

◎　ＳＵＳ製脱気筒（８か所）を示す

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
教室棟⑦東側　屋根伏図（現況・撤去・改修）			A１－２８
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／１００
枚方市教育委員会教育環境整備室			



教室棟　南立面図＜西側＞　S 1/100

外壁改修工程
（1）高圧水洗、清掃
（2）各補修範囲の確認（調査報告書作成）
（3）各部補修
（a）クラック補修
1. Uカット（溝内清掃共）
2. プライマー塗布
3. シーリング材充填
4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上
（b）欠損・露筋部補修
1. はつり、下地処理（ケレン、清掃）
2. プライマー・錆止め塗布
3. エポキシ樹脂モルタル充填
（c）浮き部補修
1. 削孔、清掃
2. エポキシ樹脂注入
3. アンカーピン（SUS304）挿入
4. エポキシ樹脂充填
注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

外壁劣化数量表【教室棟】

記号	名　　称	参考数量
～～～	クラック	160　m
Ⓐ	欠損（大100×300）	12　箇所
Ⓐ	欠損（中100×200）	8　箇所
A	欠損（小100×100）	142　箇所

	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整（ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾟｰｽﾄ）の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整（C-1程度）の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝（上部ｱﾐ付）共）
排水管・臭気管	硬質塩化ﾋﾞ管φ75撤去（取付金物共）、　鋼管部：取付金物撤去	ｶﾗｰVPφ75新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝共）全数、　鋼管部：掴ﾐ金物新設、ＤＰ塗替
換気ﾊﾞｲﾌﾟ	塩ﾋﾞφ50	ﾊﾞｲﾌﾟ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ（MS-2）の上ＤＰ塗装、欠落部は新設（防虫網付）

－凡例－

- 鋼製設備配管を示す。
- 塩ビ管（黒管）を示す。
- 樹脂被覆設備配管を示す。
- ▼ 非常用進入口を示す。
- ▫ 換気ﾊﾞｲﾌﾟを示す。

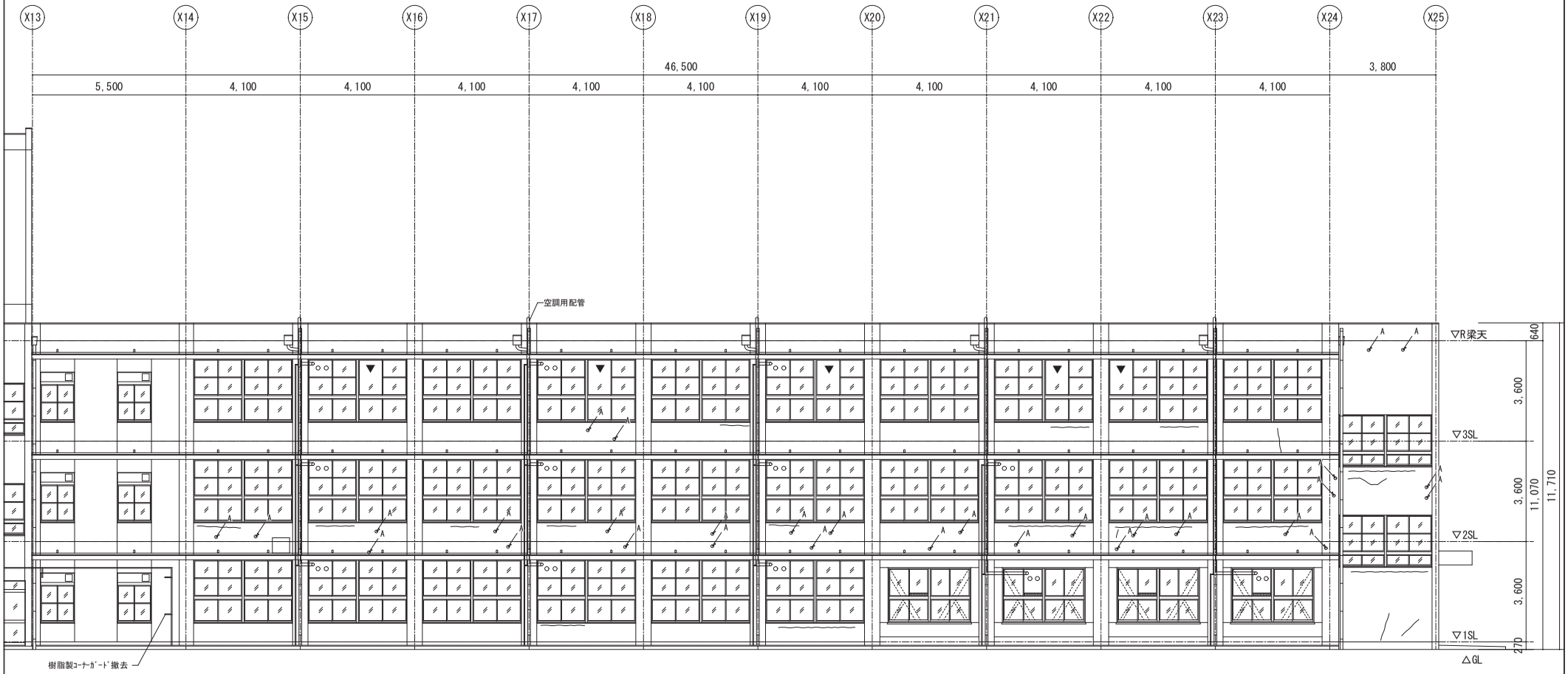
－注意事項－

- 外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
- 今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
- SUSについてはクリーニングを行うこと。
- 外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
- 塗装は下地調整の上、行うこと。

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝﾌﾞﾘｰﾄﾞ）
・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系
・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
教室棟　南立面図＜西側＞（現況・撤去）			A1－29
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／100
枚方市教育委員会教育環境整備室			



教室棟　南立面図＜東側＞　S 1/100

外壁改修工程
（1）高圧水洗、清掃
（2）各補修範囲の確認（調査報告書作成）
（3）各部補修
（a）クラック補修
1. Uカット（溝内清掃共）
2. プライマー塗布
3. シーリング材充填
4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上
（b）欠損・露筋部補修
1. はつり、下地処理（ケレン、清掃）
2. プライマー・錆止め塗布
3. エポキシ樹脂モルタル充填
（c）浮き部補修
1. 削孔、清掃
2. エポキシ樹脂注入
3. アンカーピン（SUS304）挿入
4. エポキシ樹脂充填
注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

外壁劣化数量表【教室棟】

記号	名　　称	参考数量
～～～	クラック	160　m
Ⓐ	欠損（大100×300）	12　箇所
Ⓐ	欠損（中100×200）	8　箇所
A	欠損（小100×100）	142　箇所

	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾟｰｽﾄ)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝（上部ｱﾐ付）共）
排水管・臭気管	硬質塩化ﾋﾞ管φ75撤去（取付金物共）、　鋼管部：取付金物撤去	ｶﾗｰVPφ75新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝共）全数、　鋼管部：掴ﾐ金物新設、ＤＰ塗替
換気ﾊﾞｲﾌﾟ	塩ﾋﾞφ50	ﾊﾞｲﾌﾟ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ（MS-2）の上ＤＰ塗装、欠落部は新設（防虫網付）

－凡例－

鋼製設備配管を示す。
塩ビ管（黒管）を示す。
樹脂被覆設備配管を示す。
▼　非常用進入口を示す。
▫　換気ﾊﾞｲﾌﾟを示す。

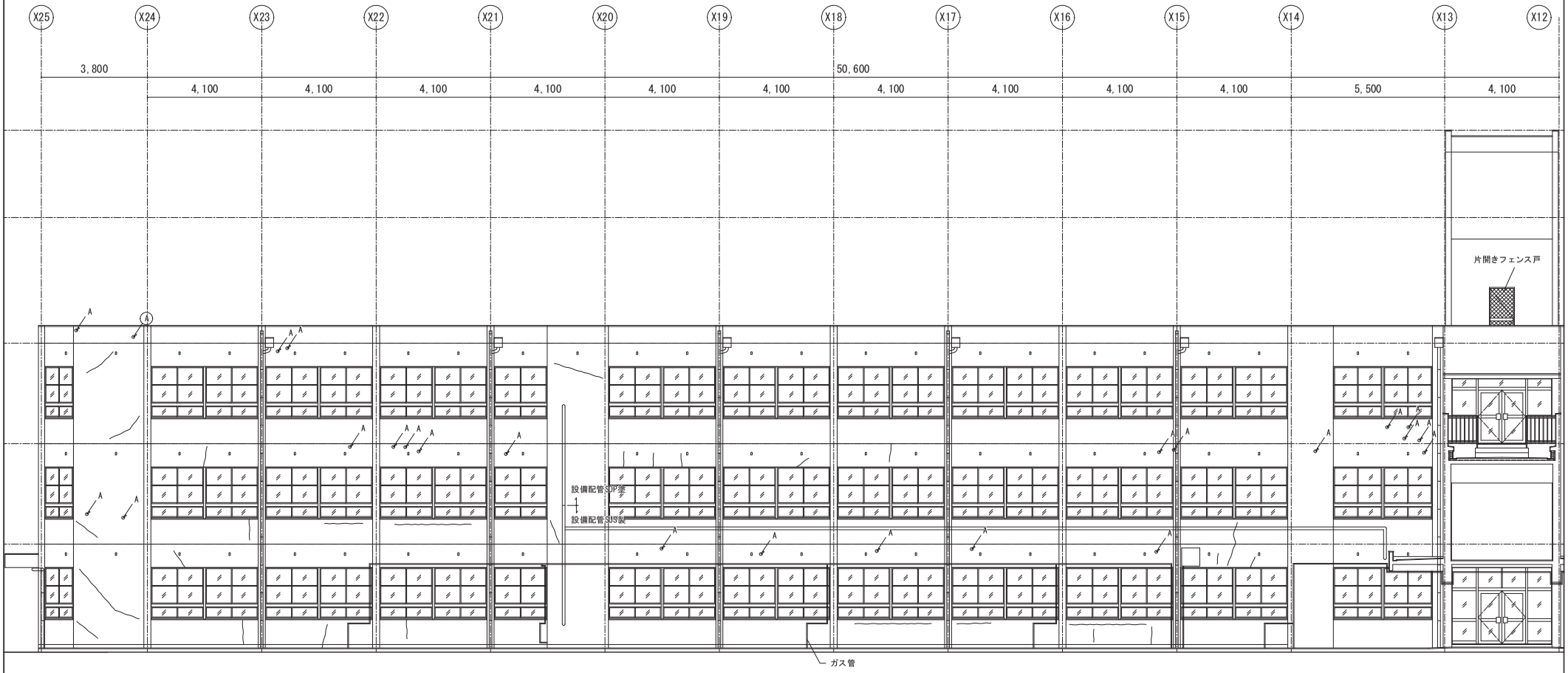
－注意事項－

・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝｽﾞﾘｰﾄﾞ）
・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系
・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
教室棟　南立面図＜東側＞（現況・撤去）			A1－30
D A T E	CHECKED BY.	DRAWN BY.	SCALE
			1／100
枚方市教育委員会教育環境整備室			



教室棟　北立面図＜東側＞　S 1/100

外壁改修工程

（1）高圧水洗、清掃
（2）各補修範囲の確認（調査報告書作成）
（3）各部補修
　（a）クラック補修
　　1. Uカット（溝内清掃共）
　　2. プライマー塗布
　　3. シーリング材充填
　　4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上
　（b）欠損・露筋部補修
　　1. はつり、下地処理（ケレン、清掃）
　　2. プライマー・錆止め塗布
　　3. エポキシ樹脂モルタル充填
　（c）浮き部補修
　　1. 削孔、清掃
　　2. エポキシ樹脂注入
　　3. アンカーピン（SUS304）挿入
　　4. エポキシ樹脂充填
　　注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

外壁劣化数量表【教室棟】

記号	名　　称	参考数量
～～～	クラック	160　m
Ⓐ	欠損（大100×300）	12　箇所
Ⓐ	欠損（中100×200）	8　箇所
A	欠損（小100×100）	142　箇所

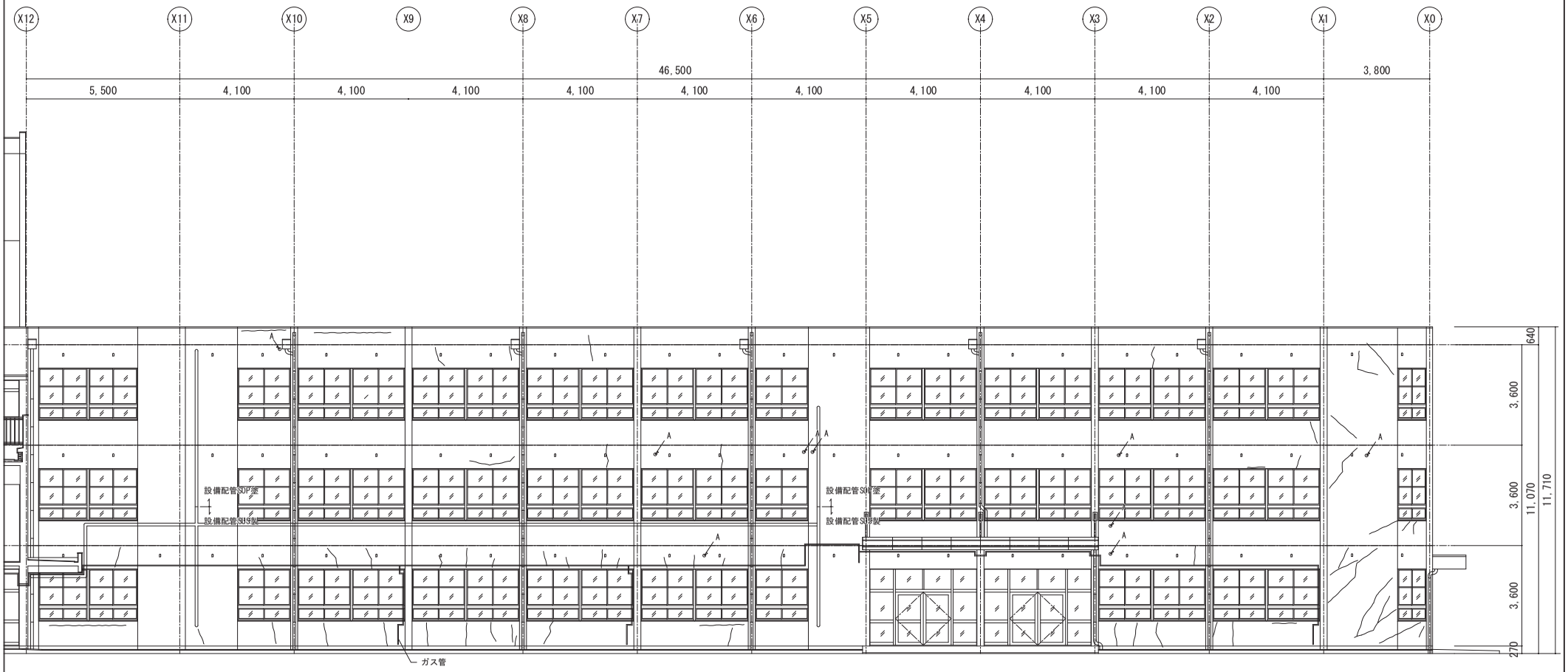
	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾟｰｽﾄ)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝（上部ｱﾐ付）共）
排水管・臭気管	硬質塩化ﾋﾞ管φ75撤去（取付金物共）、　鋼管部：取付金物撤去	ｶﾗｰVPφ75新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝共）全数、　鋼管部：掴ﾐ金物新設、ＤＰ塗替
換気ﾊﾞｲﾌﾟ	塩ﾋﾞφ50	ﾊﾞｲﾌﾟ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ（MS-2）の上ＤＰ塗装、欠落部は新設（防虫網付）

－凡例－
鋼製設備配管を示す。
塩ビ管（黒管）を示す。
樹脂被覆設備配管を示す。
非常用進入口を示す。
換気ﾊﾞｲﾌﾟを示す。

－注意事項－
・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝﾌﾟﾘｰﾄﾞ）
・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系
・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系
※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
教室棟　北立面図＜東側＞（現況・撤去）			A1－31
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／100
枚方市教育委員会教育環境整備室			



教室棟　北立面図＜西側＞　S 1/100

外壁改修工程
（1）高圧水洗、清掃
（2）各補修範囲の確認（調査報告書作成）
（3）各部補修
（a）クラック補修
1. Uカット（溝内清掃共）
2. プライマー塗布
3. シーリング材充填
4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上
（b）欠損・露筋部補修
1. はつり、下地処理（ケレン、清掃）
2. プライマー・錆止め塗布
3. エポキシ樹脂モルタル充填
（c）浮き部補修
1. 削孔、清掃
2. エポキシ樹脂注入
3. アンカーピン（SUS304）挿入
4. エポキシ樹脂充填
注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

外壁劣化数量表【教室棟】

記号	名　　称	参考数量
～～～	クラック	160　m
Ⓐ	欠損（大100×300）	12　箇所
Ⓐ	欠損（中100×200）	8　箇所
A	欠損（小100×100）	142　箇所

	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾟｰｽﾄ)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝（上部ﾌﾀ付）共）
排水管・臭気管	硬質塩化ﾋﾞ管φ75撤去（取付金物共）、　鋼管部：取付金物撤去	ｶﾗｰVPφ75新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝共）全数、　鋼管部：掴ﾐ金物新設、ＤＰ塗替
換気ﾊﾞｲﾌﾟ	塩ﾋﾞφ50	ﾊﾞｲﾌﾟ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ（MS-2）の上ＤＰ塗装、欠落部は新設（防虫網付）

－凡例－

- 鋼製設備配管を示す。
- 塩ビ管（黒管）を示す。
- 樹脂被覆設備配管を示す。
- ▼ 非常用進入口を示す。
- ▫ 換気ﾊﾞｲﾌﾟを示す。

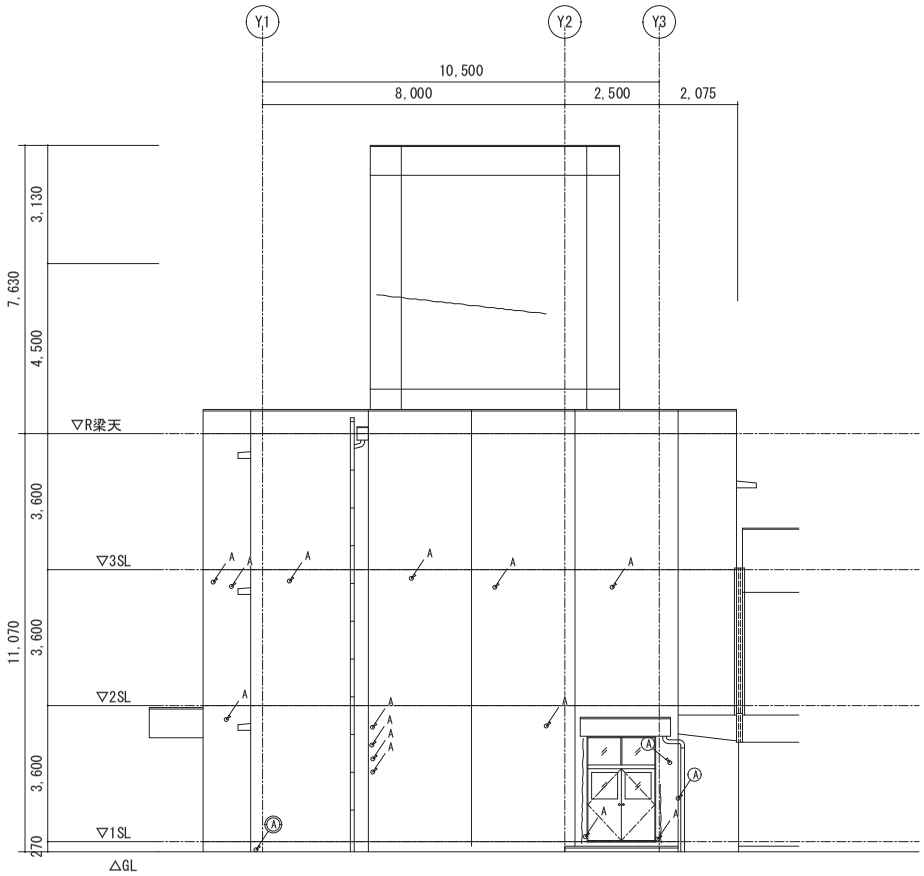
－注意事項－

・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

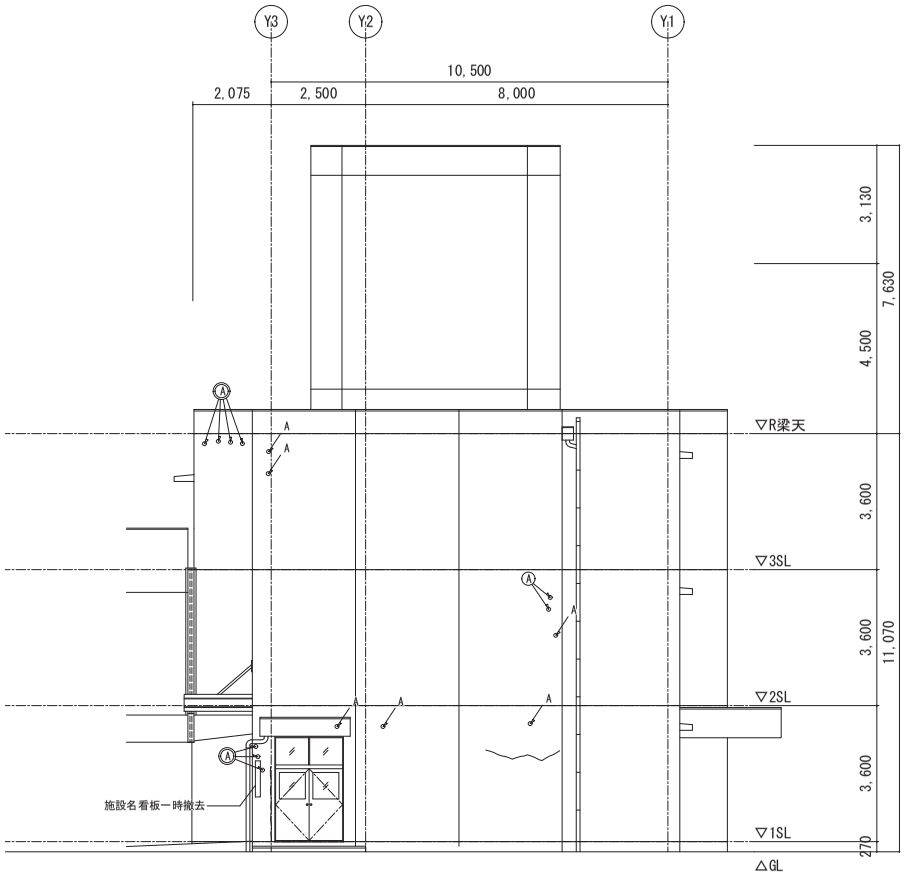
ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝﾌﾞﾘｰﾄﾞ）
・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系
・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
教室棟　北立面図＜西側＞（現況・撤去）			A1－32
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／100
枚方市教育委員会教育環境整備室			



教室棟　東面　立面図　S 1/100



教室棟　西面　立面図　S 1/100

外壁改修工程
（1）高圧水洗、清掃 （2）各補修範囲の確認（調査報告書作成） （3）各部補修 （a）クラック補修 1. Uカット（溝内清掃共） 2. プライマー塗布 3. シーリング材充填 4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上 （b）欠損・露筋部補修 1. はつり、下地処理（ケレン、清掃） 2. プライマー・錆止め塗布 3. エポキシ樹脂モルタル充填 （c）浮き部補修 1. 削孔、清掃 2. エポキシ樹脂注入 3. アンカーピン（SUS304）挿入 4. エポキシ樹脂充填 注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

外壁劣化数量表【教室棟】

記号	名　　称	参考数量
～～～	クラック	160　m
Ⓐ	欠損（大100×300）	12　箇所
Ⓐ	欠損（中100×200）	8　箇所
A	欠損（小100×100）	142　箇所

	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾟｰｽﾄ)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝（上部ﾌﾀ付）共）
排水管・臭気管	硬質塩化ﾋﾞ管φ75撤去（取付金物共）、　鋼管部：取付金物撤去	ｶﾗｰVPφ75新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝共）全数、　鋼管部：掴ﾐ金物新設、ＤＰ塗替
換気ﾊﾟｲﾌﾟ	塩ﾋﾞφ50	ﾊﾟｲﾌﾟ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ（MS-2）の上ＤＰ塗装、欠落部は新設（防虫網付）

－凡例－

鋼製設備配管を示す。

塩ビ管（黒管）を示す。

樹脂被覆設備配管を示す。

▼　非常用進入口を示す。

▫　換気ﾊﾟｲﾌﾟを示す。（5箇所新設）

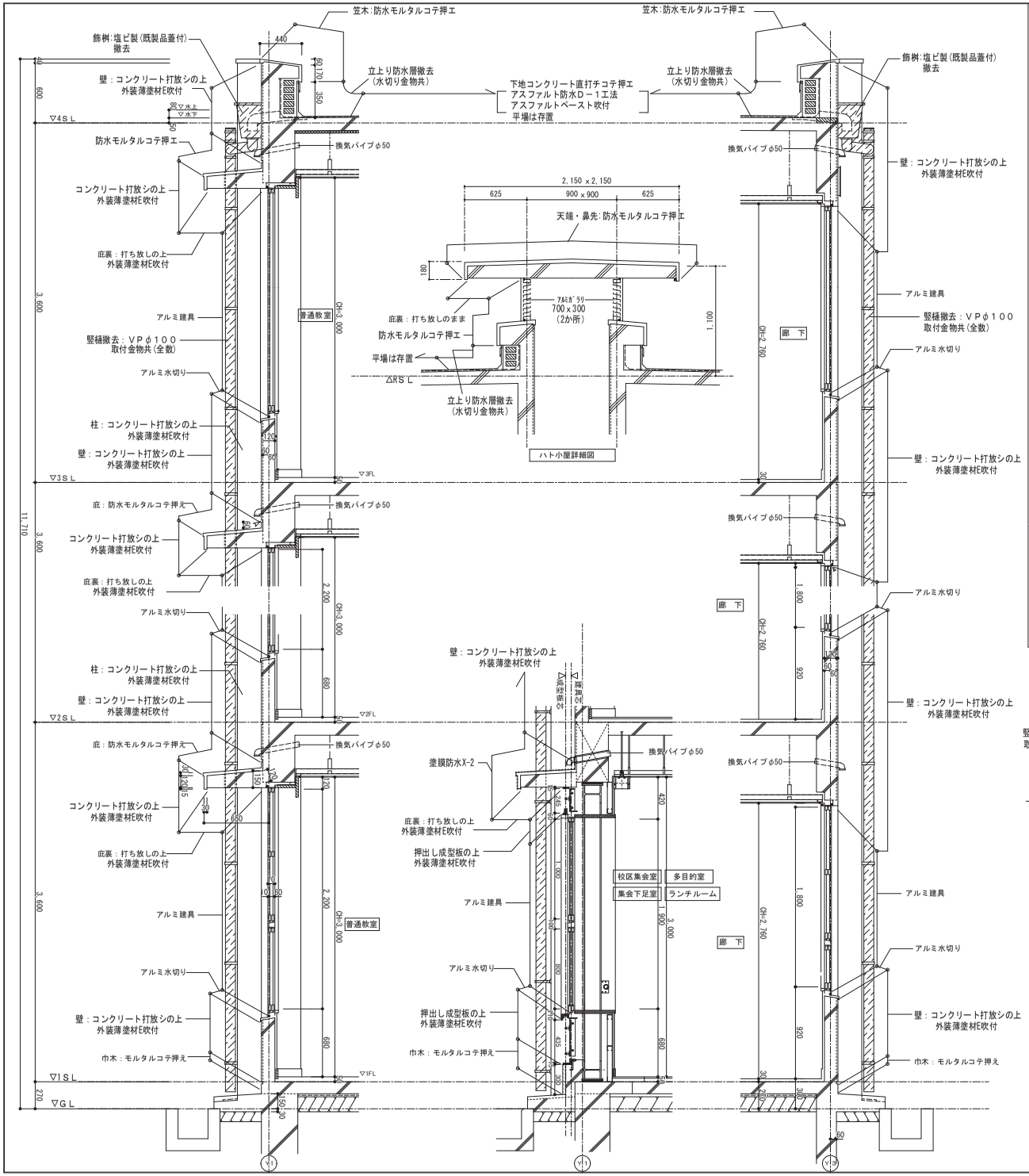
－注意事項－

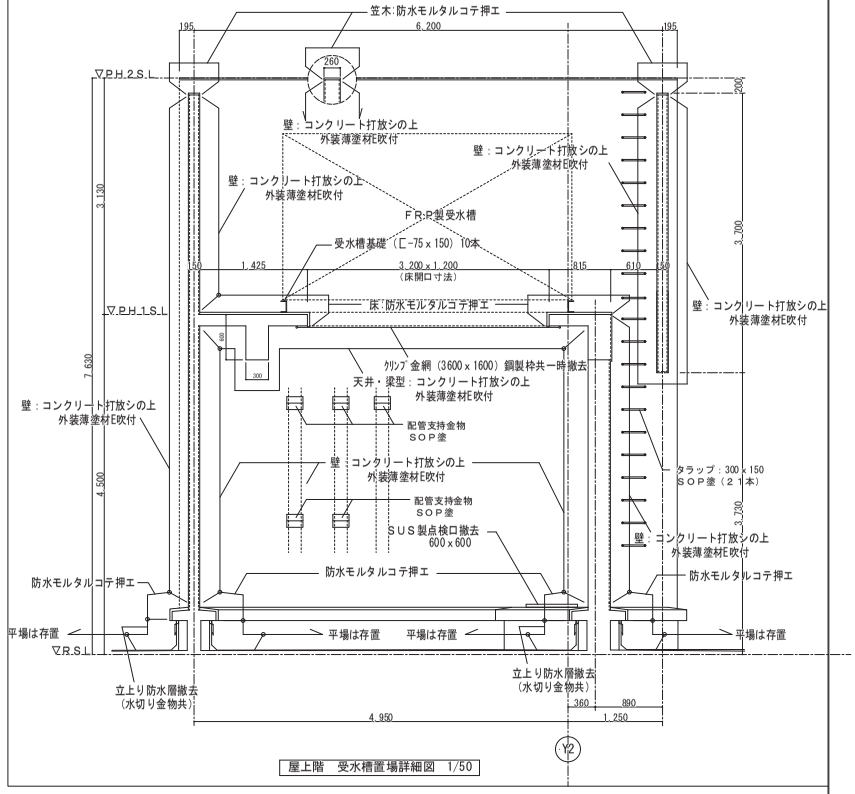
・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝﾌﾞﾘｰﾄﾞ） ・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系 ・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

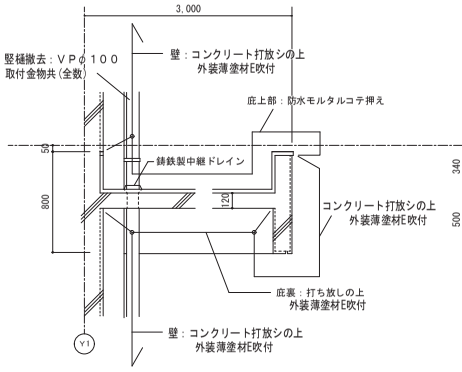
※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
教室棟　東・西立面図（現況・撤去）			A1－33
D A T E	CHECKED BY.	DRAWN BY.	SCALE
			1／100
枚方市教育委員会教育環境整備室			

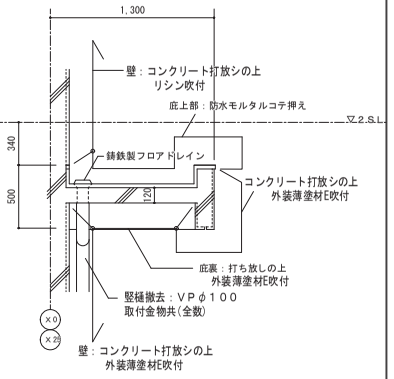




屋上階　受水槽置場詳細図　1/50



2階　南庇断面詳細図 (X9-X11)



2階　東西庇断面詳細図

凡例・注記

撤去範囲を示す。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A1－34
教室棟　矩計詳細図（現況・撤去）			
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1/30　1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			



教室棟　南立面図＜西側＞　S 1/100

外壁改修工程

（1）高圧水洗、清掃
（2）各補修範囲の確認（調査報告書作成）
（3）各部補修
　（a）クラック補修
　　1. Uカット（清内清掃共）
　　2. プライマー塗布
　　3. シーリング材充填
　　4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上
　（b）欠損・露筋部補修
　　1. はつり、下地処理（ケレン、清掃）
　　2. プライマー・錆止め塗布
　　3. エポキシ樹脂モルタル充填
　（c）浮き部補修
　　1. 削孔、清掃
　　2. エポキシ樹脂注入
　　3. アンカーピン（SUS304）挿入
　　4. エポキシ樹脂充填
　　注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾟｰｽﾄ)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝（上部ｱﾐ付）共）
排水管・臭気管	硬質塩化ﾋﾞ管φ75撤去（取付金物共）、　鋼管部：取付金物撤去	ｶﾗｰVPφ75新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝共）全数、　鋼管部：掴ﾐ金物新設、ＤＰ塗替
換気ﾊﾟｲﾌﾟ	塩ﾋﾞφ50	ﾊﾟｲﾌﾟ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ（MS-2）の上ＤＰ塗装、欠落部は新設（防虫網付）

－凡例－
鋼製設備配管を示す。
塩ビ管（黒管）を示す。
樹脂被覆設備配管を示す。
▼　非常用進入口を示す。
▫　換気ﾊﾟｲﾌﾟを示す。（5箇所新設）

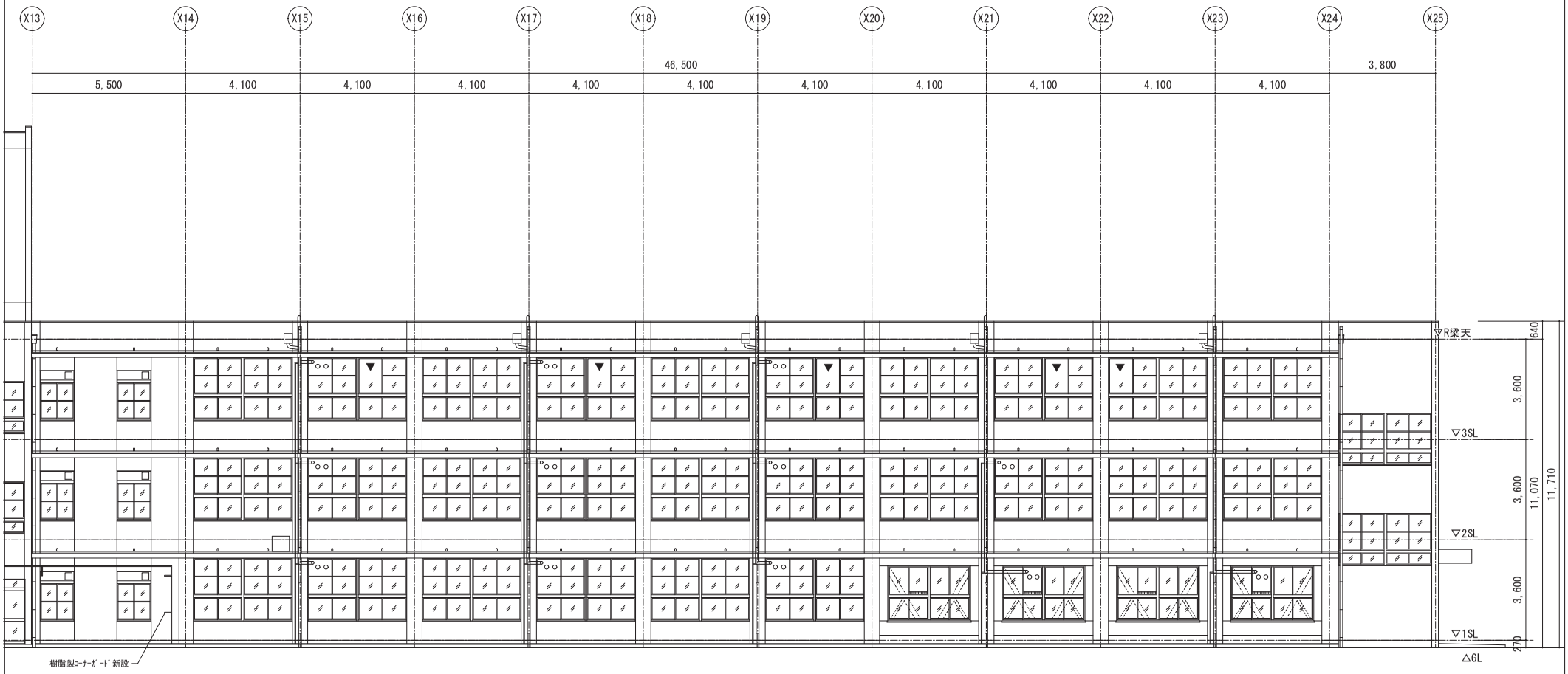
－注意事項－
・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類

・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝﾌﾞﾘｰﾄﾞ）
・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系
・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
教室棟　南立面図＜西側＞（改修）			A１－３５
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			１／１００
枚方市教育委員会教育環境整備室			



教室棟　南立面図＜東側＞　S 1/100

外壁改修工程
（1）高圧水洗、清掃
（2）各補修範囲の確認（調査報告書作成）
（3）各部補修
（a）クラック補修
1. Uカット（溝内清掃共）
2. プライマー塗布
3. シーリング材充填
4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上
（b）欠損・露筋部補修
1. はつり、下地処理（ケレン、清掃）
2. プライマー・錆止め塗布
3. エポキシ樹脂モルタル充填
（c）浮き部補修
1. 削孔、清掃
2. エポキシ樹脂注入
3. アンカーピン（SUS304）挿入
4. エポキシ樹脂充填
注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾟｰｽﾄ)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝（上部ﾌﾀ付）共）
排水管・臭気管	硬質塩化ﾋﾞ管φ75撤去（取付金物共）、　鋼管部：取付金物撤去	ｶﾗｰVPφ75新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝共）全数、　鋼管部：掴ﾐ金物新設、ＤＰ塗替
換気ﾊﾞｲﾌﾟ	塩ﾋﾞφ50	ﾊﾞｲﾌﾟ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ（MS-2）の上ＤＰ塗装、欠落部は新設（防虫網付）

－凡例－

- 鋼製設備配管を示す。
- 塩ビ管（黒管）を示す。
- ▼ 非常用進入口を示す。
- ▫ 換気ﾊﾞｲﾌﾟを示す。（5箇所新設）

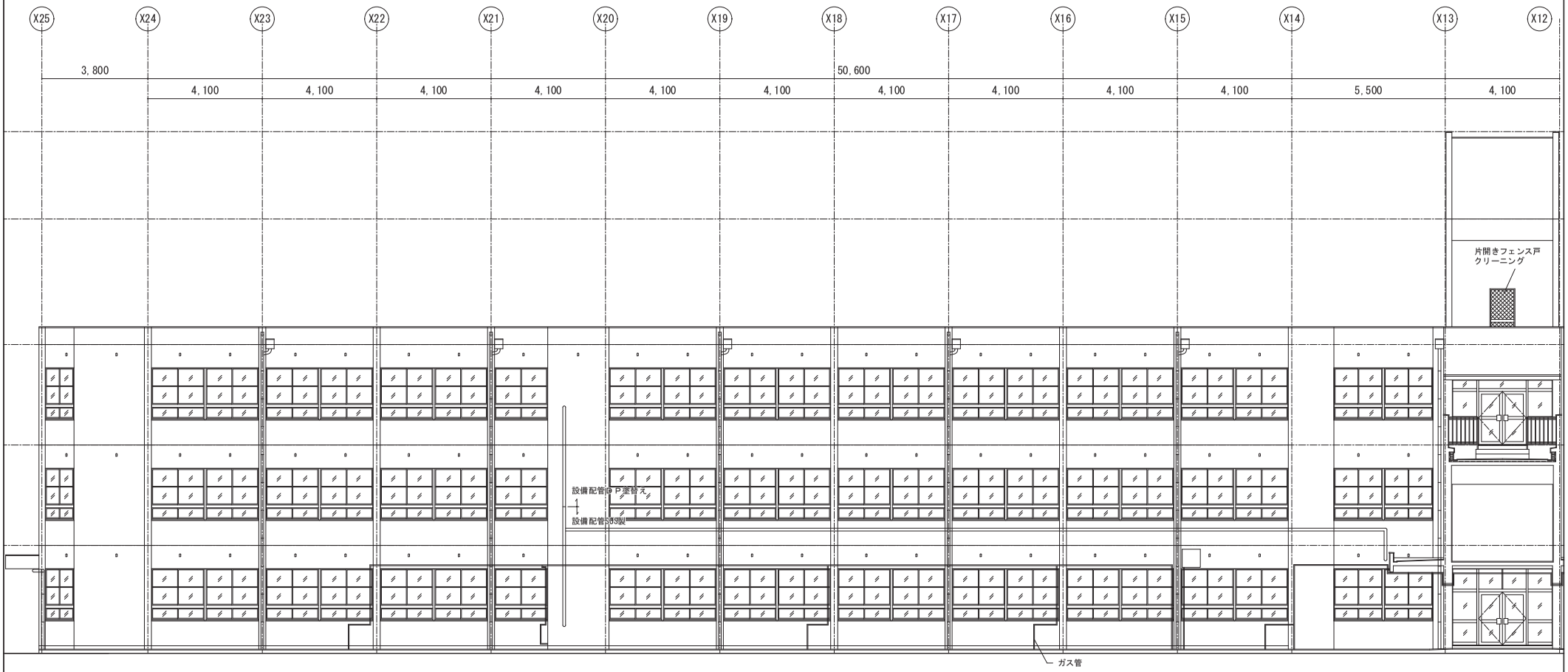
－注意事項－

・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝﾌﾞﾘｰﾄﾞ）
・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系
・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
教室棟　南立面図＜東側＞（改修）			A1－36
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／100
枚方市教育委員会教育環境整備室			



教室棟　北立面図＜東側＞　S 1/100

外壁改修工程

（1）高圧水洗、清掃
（2）各補修範囲の確認（調査報告書作成）
（3）各部補修
　（a）クラック補修
　　1. Uカット（溝内清掃共）
　　2. プライマー塗布
　　3. シーリング材充填
　　4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上
　（b）欠損・露筋部補修
　　1. はつり、下地処理（ケレン、清掃）
　　2. プライマー・錆止め塗布
　　3. エポキシ樹脂モルタル充填
　（c）浮き部補修
　　1. 削孔、清掃
　　2. エポキシ樹脂注入
　　3. アンカーピン（SUS304）挿入
　　4. エポキシ樹脂充填
　　注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾟｰｽﾄ)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝（上部ｱﾐ付）共）
排水管・臭気管	硬質塩化ﾋﾞ管φ75撤去（取付金物共）、　鋼管部：取付金物撤去	ｶﾗｰVPφ75新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝共）全数、　鋼管部：掴ﾐ金物新設、ＤＰ塗替
換気ﾊﾞｲﾌﾟ	塩ﾋﾞφ50	ﾊﾞｲﾌﾟ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ（MS-2）の上ＤＰ塗装、欠落部は新設（防虫網付）

－凡例－

- 鋼製設備配管を示す。
- 塩ビ管（黒管）を示す。
- ▼ 非常用進入口を示す。
- ▫ 換気ﾊﾟｲﾌﾟを示す。（5箇所新設）

－注意事項－

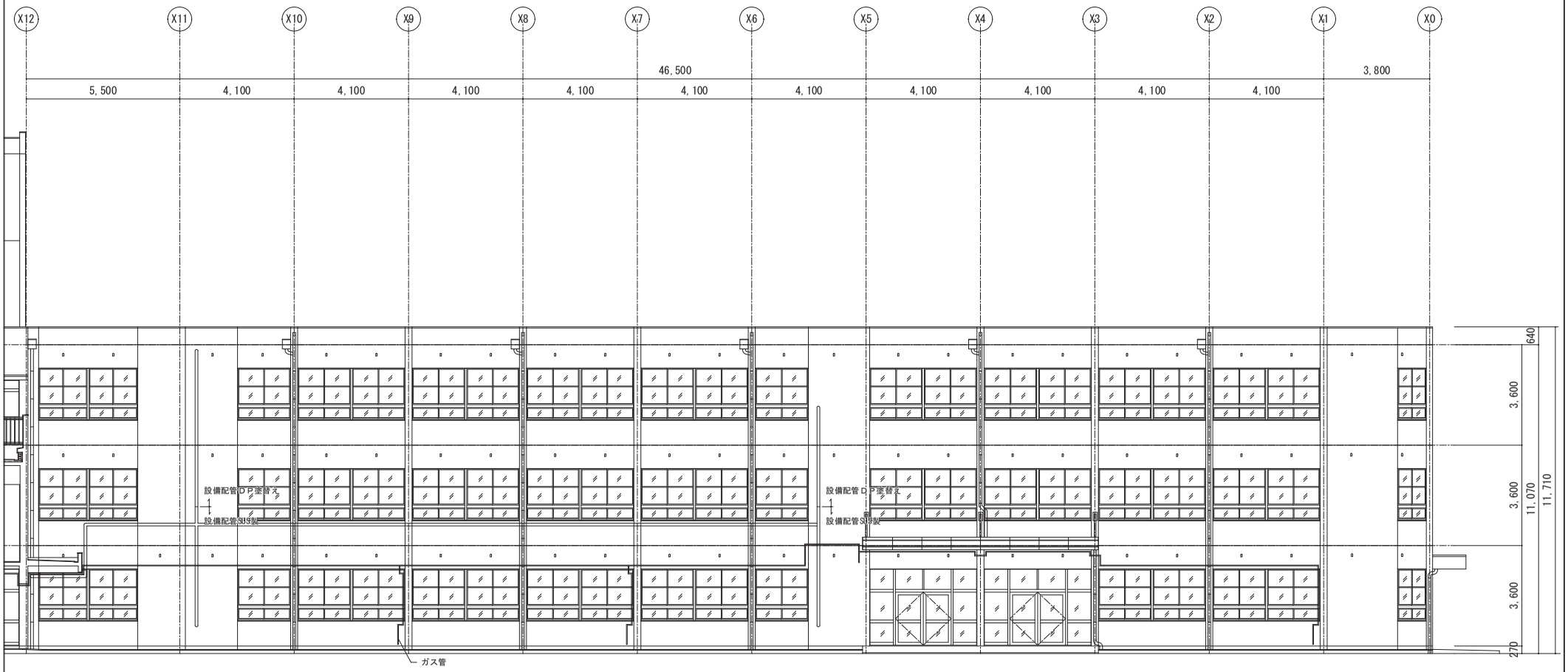
・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類

・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝﾌﾞﾘｰﾄﾞ）
・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系
・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A1－37
教室棟　北立面図＜東側＞（改修）			
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／100
枚方市教育委員会教育環境整備室			



教室棟　北立面図＜西側＞　S 1/100

外壁改修工程
（1）高圧水洗、清掃
（2）各補修範囲の確認（調査報告書作成）
（3）各部補修
（a）クラック補修
1．Uカット（溝内清掃共）
2．プライマー塗布
3．シーリング材充填
4．エポキシ樹脂モルタル平滑仕上
（b）欠損・露筋部補修
1．はつり、下地処理（ケレン、清掃）
2．プライマー・錆止め塗布
3．エポキシ樹脂モルタル充填
（c）浮き部補修
1．削孔、清掃
2．エポキシ樹脂注入
3．アンカーピン（SUS304）挿入
4．エポキシ樹脂充填
注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾟｰｽﾄ)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝（上部ﾌﾀ付）共）
排水管・臭気管	硬質塩化ﾋﾞ管φ75撤去（取付金物共）、　鋼管部：取付金物撤去	ｶﾗｰVPφ75新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝共）全数、　鋼管部：掴ﾐ金物新設、ＤＰ塗替
換気ﾊﾞｲﾌﾟ	塩ﾋﾞφ50	ﾊﾞｲﾌﾟ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ（MS-2）の上ＤＰ塗装、欠落部は新設（防虫網付）

－凡例－

- 鋼製設備配管を示す。
- 塩ビ管（黒管）を示す。
- 樹脂被覆設備配管を示す。
- ▼ 非常用進入口を示す。
- ▫ 換気ﾊﾞｲﾌﾟを示す。（5箇所新設）

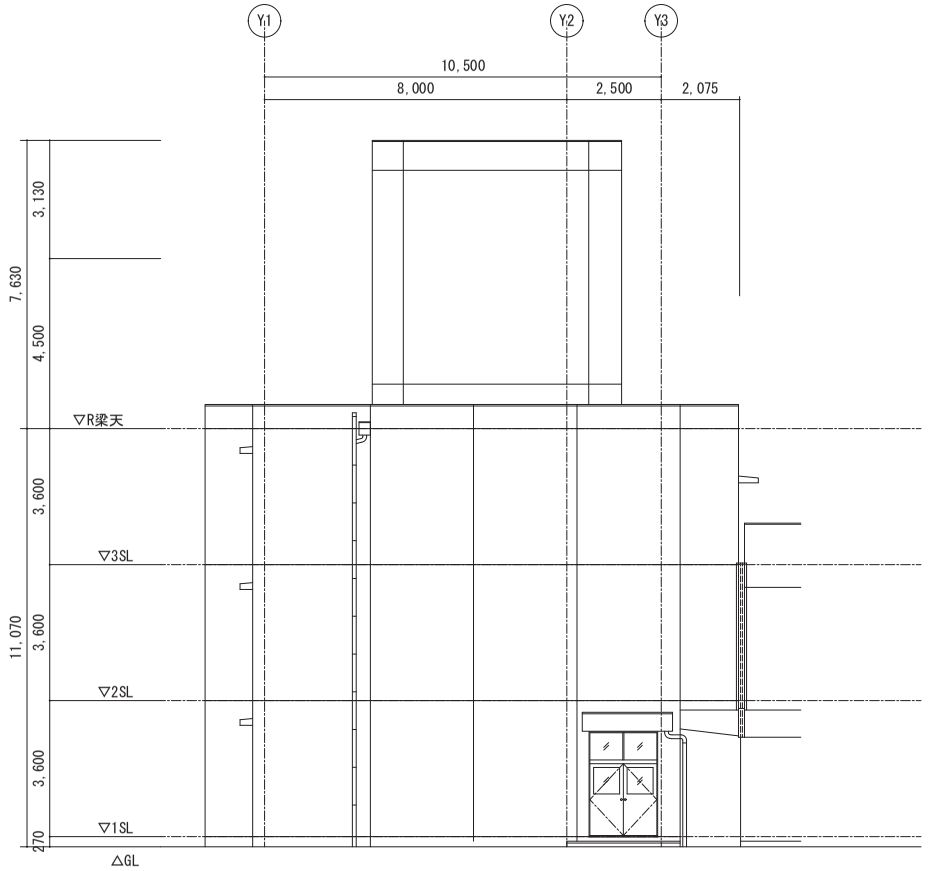
－注意事項－

・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

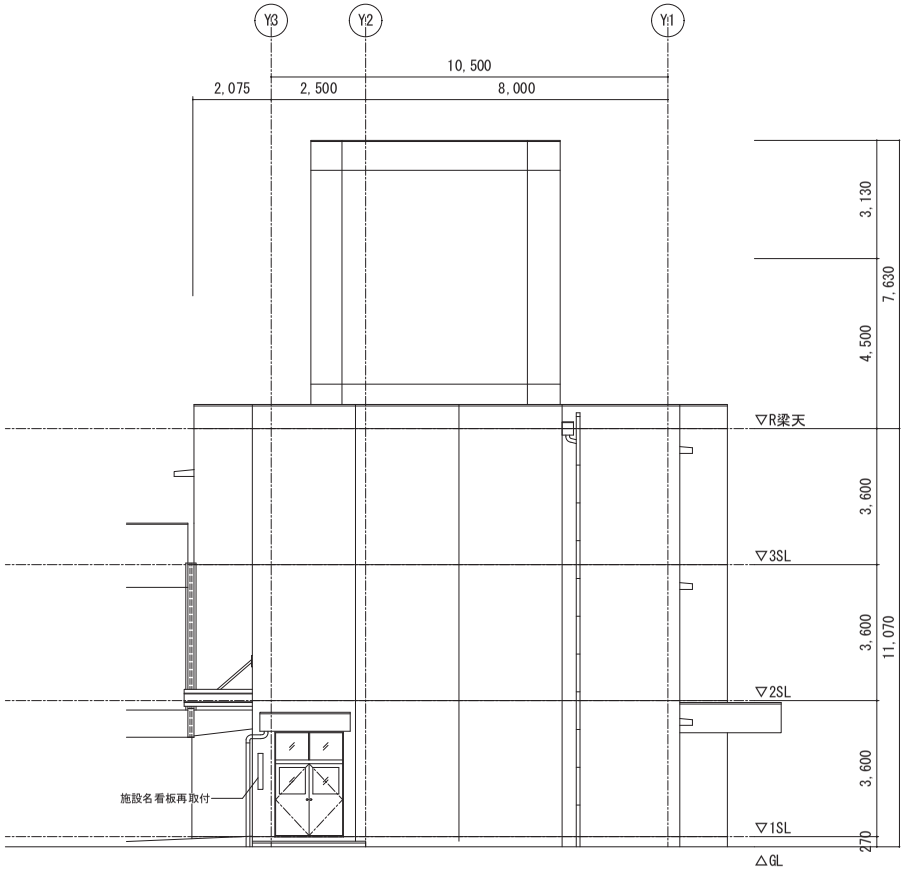
ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝﾌﾞﾘｰﾄﾞ）
・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系
・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
教室棟　北立面図＜西側＞（改修）			A1－38
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／100
枚方市教育委員会教育環境整備室			



教室棟　東面　立面図　S 1/100



教室棟　西面　立面図　S 1/100

外壁改修工程
（1）高圧水洗、清掃
（2）各補修範囲の確認（調査報告書作成）
（3）各部補修
（a）クラック補修
1. Uカット（溝内清掃共）
2. プライマー塗布
3. シーリング材充填
4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上
（b）欠損・露筋部補修
1. はつり、下地処理（ケレン、清掃）
2. プライマー・錆止め塗布
3. エポキシ樹脂モルタル充填
（c）浮き部補修
1. 削孔、清掃
2. エポキシ樹脂注入
3. アンカーピン（SUS304）挿入
4. エポキシ樹脂充填
注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾟｰｽﾄ)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝（上部ｱﾐ付）共）
排水管・臭気管	硬質塩化ﾋﾞ管φ75撤去（取付金物共）、　鋼管部：取付金物撤去	ｶﾗｰVPφ75新設（SUS製掴ﾐ金物、飾り桝共）全数、　鋼管部：掴ﾐ金物新設、ＤＰ塗替
換気ﾊﾞｲﾌﾟ	塩ﾋﾞφ50	ﾊﾞｲﾌﾟ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ（MS-2）の上ＤＰ塗装、欠落部は新設（防虫網付）

－凡例－

- 鋼製設備配管を示す。
- 塩ビ管（黒管）を示す。
- 樹脂被覆設備配管を示す。
- ▼ 非常用進入口を示す。
- ▫ 換気ﾊﾞｲﾌﾟを示す。（5箇所新設）

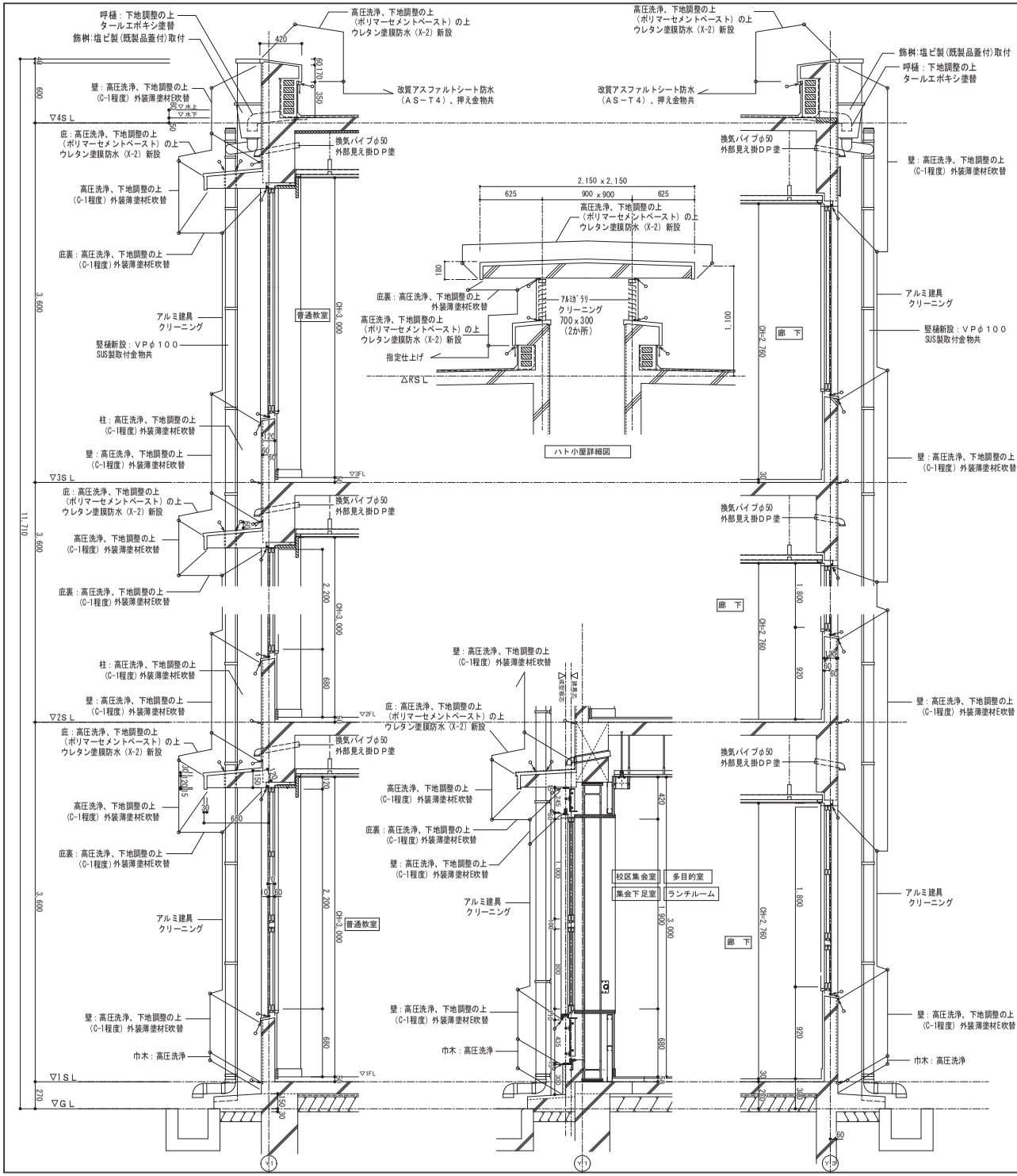
－注意事項－

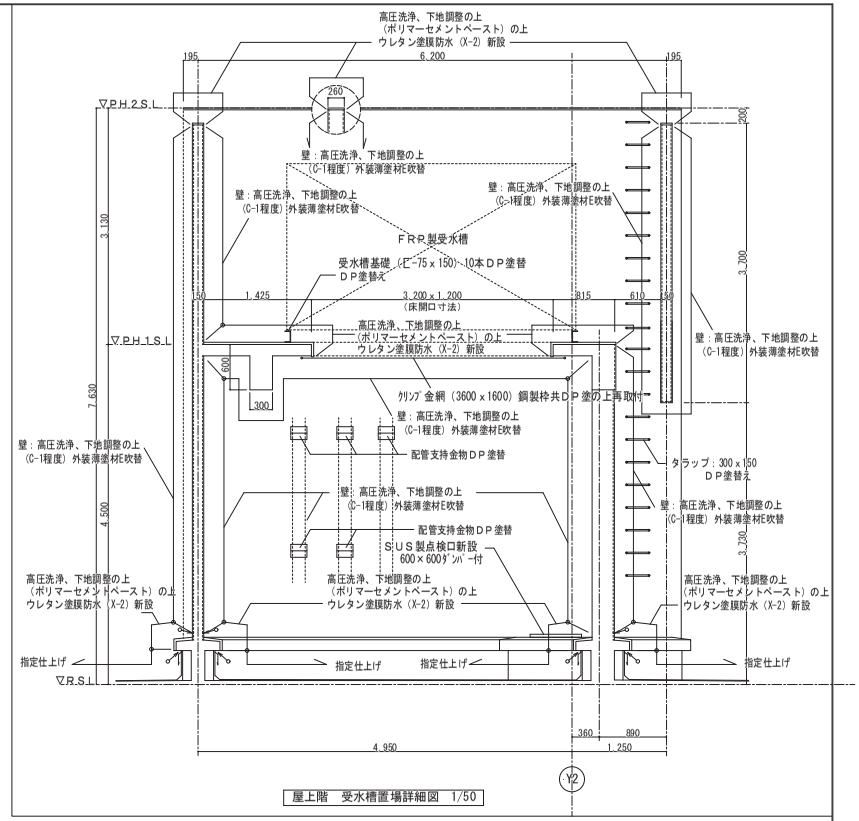
・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝﾌﾞﾘｰﾄﾞ）
・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系
・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

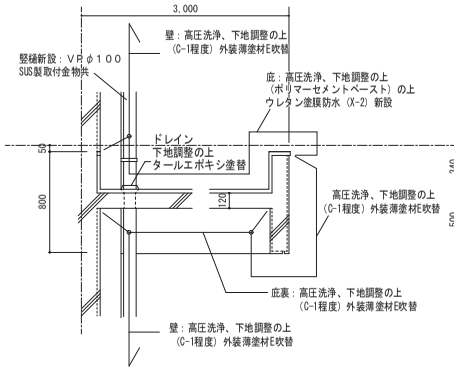
※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
教室棟　東・西立面図（改修）			A1－39
D A T E	CHECKED BY.	DRAWN BY.	SCALE
			1／100
枚方市教育委員会教育環境整備室			

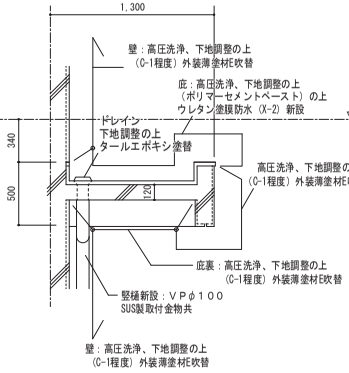




屋上階　受水槽置場詳細図　1/50



２階　南庇断面詳細図（X9-X11）



２階　東西庇断面詳細図

凡例・注記

↘ シーリングを示す。

※　外部見え掛り鉄部すべてDP塗替え（対象位置は平面図による）

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
教室棟　矩計詳細図（改修）			Ａ１－４０
ＤＡＴＥ	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1/30　1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			

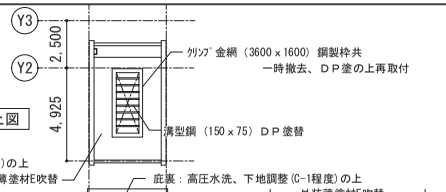
外壁改修工程

（1）高圧水洗、清掃
（2）各補修範囲の確認（調査報告書作成）
（3）各部補修
　（a）クラック補修
　　1. Uカット（溝内清掃共）
　　2. プライマー塗布
　　3. シーリング材充填
　　4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上

（b）欠損・露筋部補修
　1. はつり、下地処理（ケレン、清掃）
　2. プライマー・錆止め塗布
　3. エポキシ樹脂モルタル充填

（c）浮き部補修
　1. 削孔、清掃
　2. エポキシ樹脂注入
　3. アンカーピン（SUS304）挿入
　4. エポキシ樹脂充填
　注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

ＰＨ階庇見上図



外壁劣化数量表【教室棟】

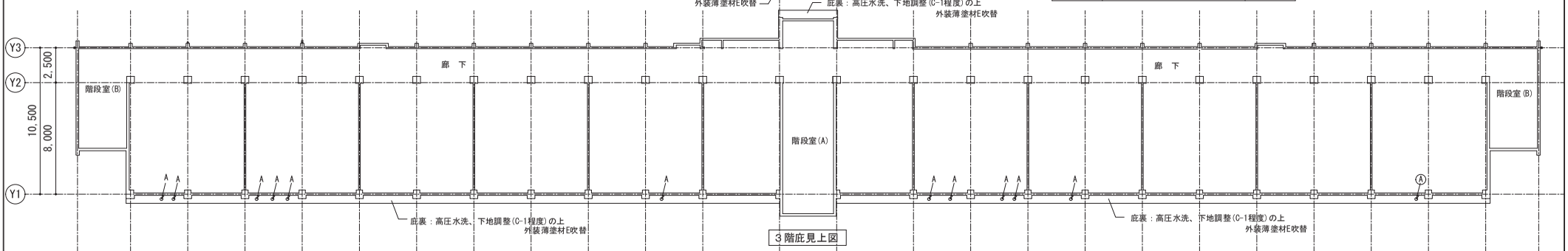
記号	名　　称	参考数量
～～～	クラック	160　m
Ⓐ	欠損（大100×300）	12　箇所
Ⓐ	欠損（中100×200）	8　箇所
A	欠損（小100×100）	142　箇所

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類

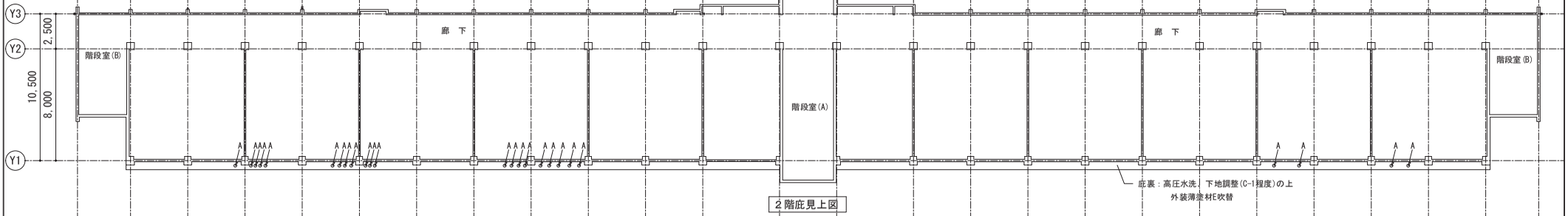
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝﾌﾞﾘｰﾄﾞ）
・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系
・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

※全て打替えとする。

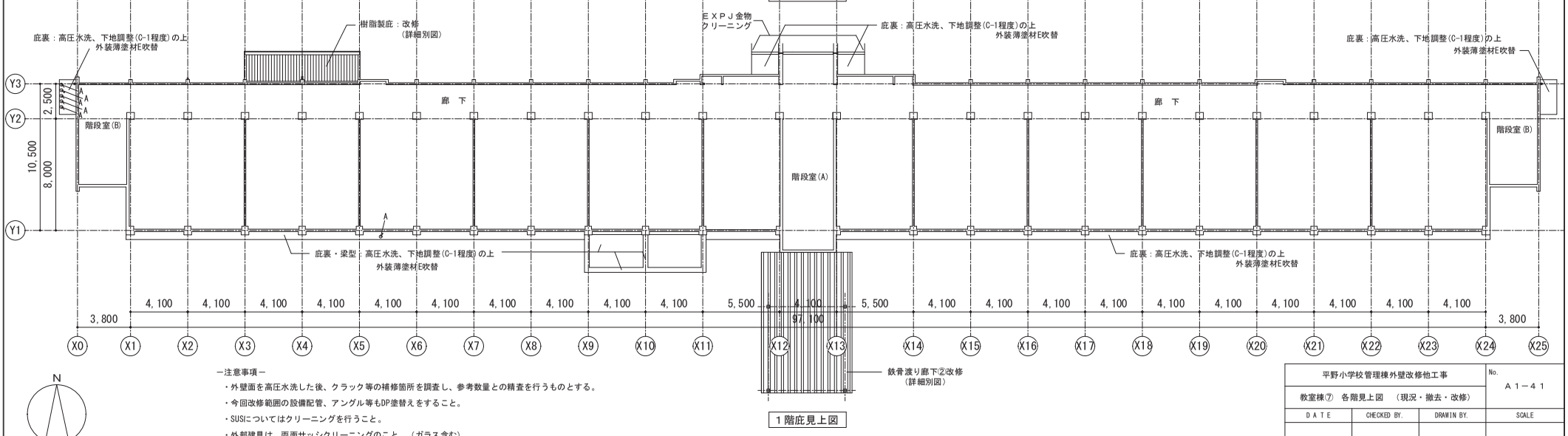
３階庇見上図



２階庇見上図



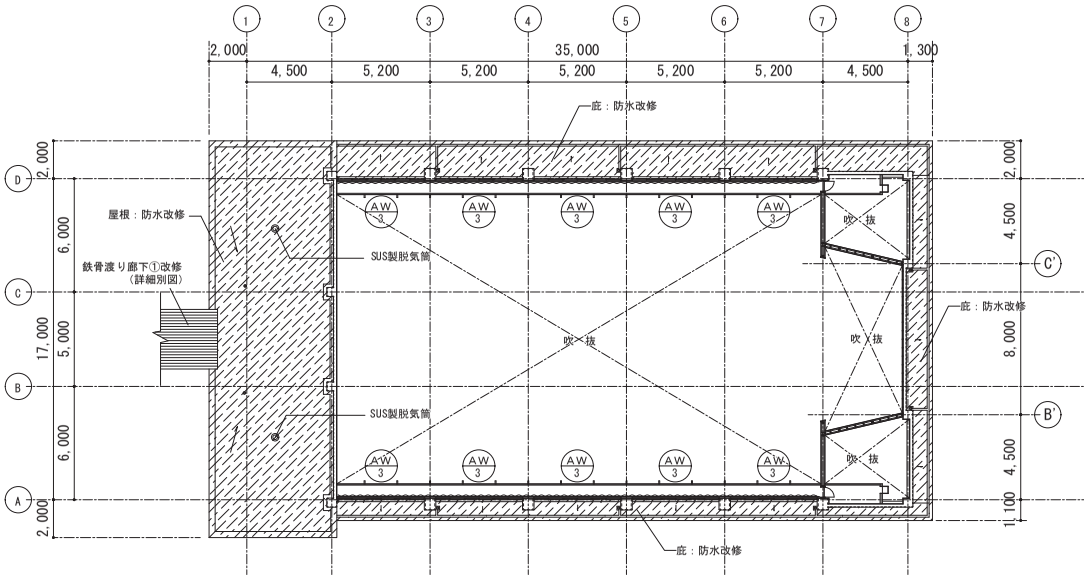
１階庇見上図



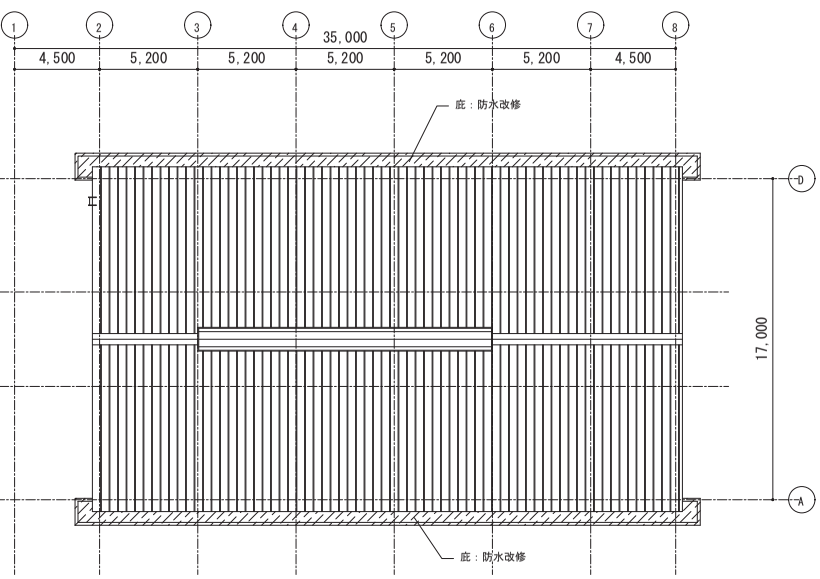
N

－注意事項－
・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

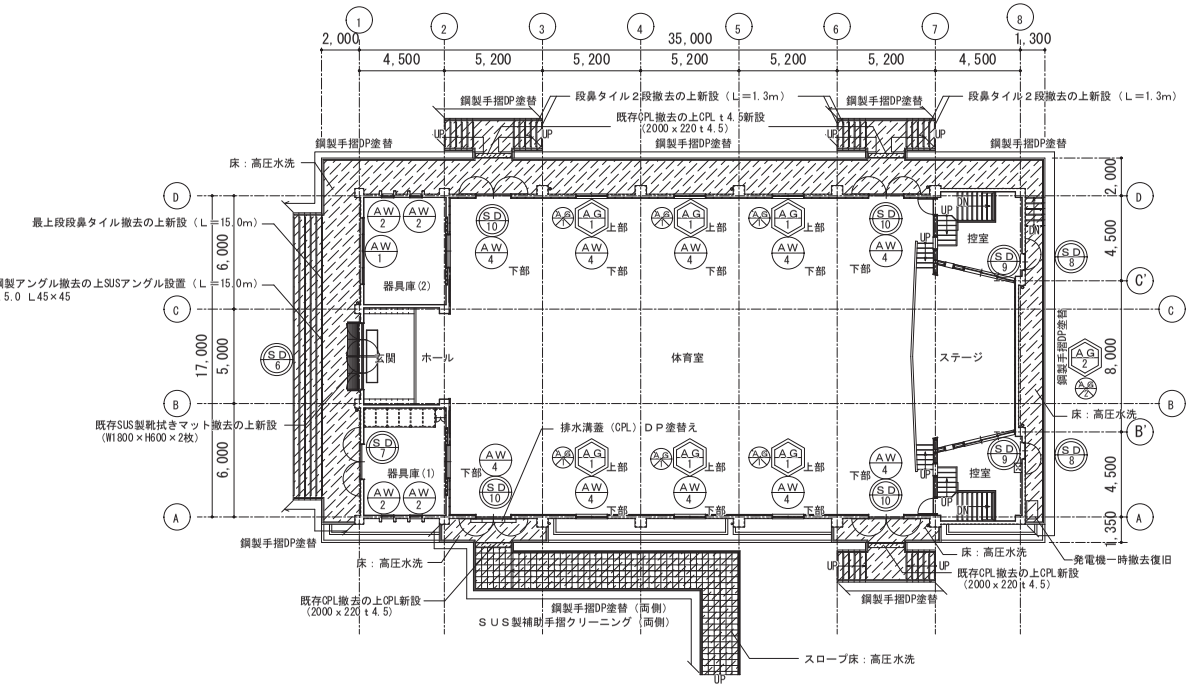
平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
教室棟⑦　各階見上図　（現況・撤去・改修）			Ａ１－４１
ＤＡＴＥ	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			１／２００
枚方市教育委員会教育環境整備室			



2階　平　面　図



R階　平　面　図

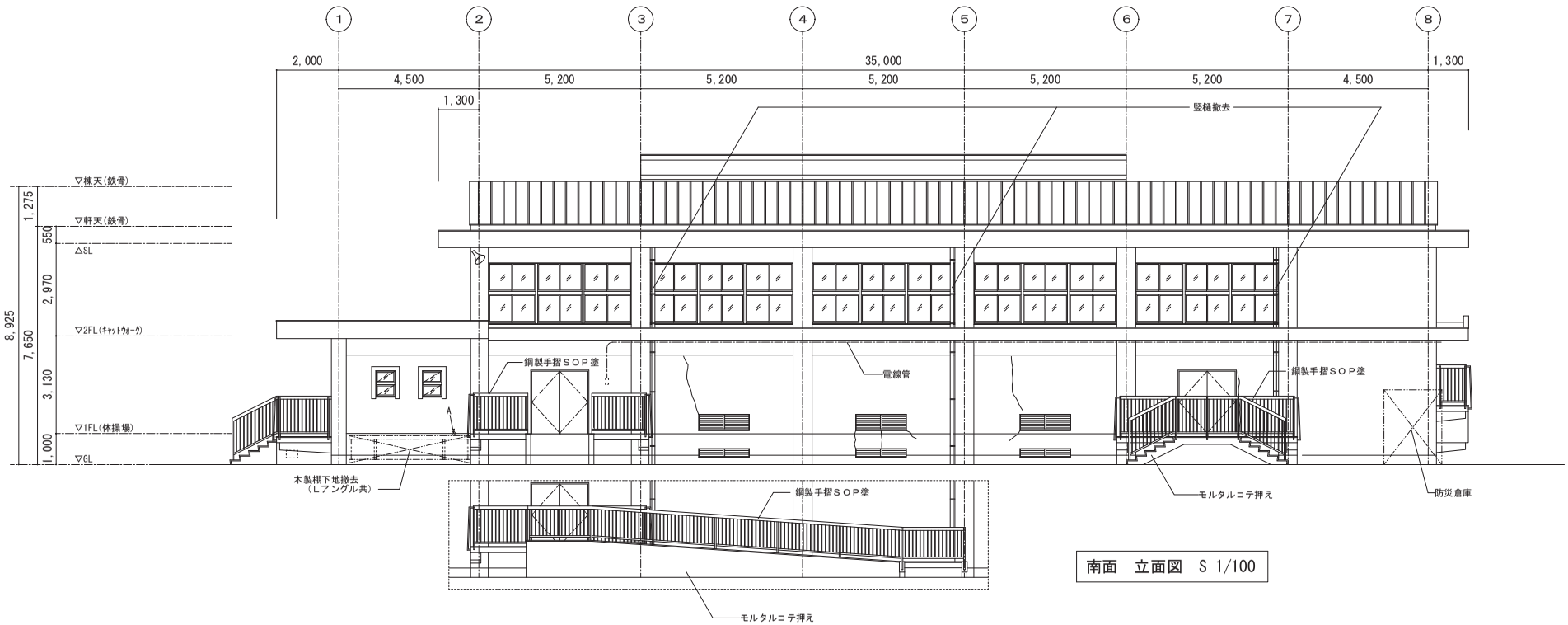


1階　平　面　図

－凡例－

- 改修対象建具を示す
- 撤去対象建具を示す（枠残し）
- 改修建具を示す（カバー工法）
- 改修建具を示す（シーリング打替え・クリーニング）
- 防水等改修対象範囲を示す
- ◎　ＳＵＳ製脱気筒（２か所）を示す

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A１－４２
体育館　各階平面図　（現況・撤去・改修）			
ＤＡＴＥ	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／200
枚方市教育委員会教育環境整備室			



南面　立面図　S 1/100

外壁改修工程
（1）高圧水洗、清掃
（2）各補修範囲の確認（調査報告書作成）
（3）各部補修
（a）クラック補修
1. Uカット（溝内清掃共）
2. プライマー塗布
3. シーリング材充填
4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上
（b）欠損・露筋部補修
1. はつり、下地処理（ケレン、清掃）
2. プライマー・錆止め塗布
3. エポキシ樹脂モルタル充填
（c）浮き部補修
1. 削孔、清掃
2. エポキシ樹脂注入
3. アンカーピン（SUS304）挿入
4. エポキシ樹脂充填
注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

外壁劣化数量表【体育館】

記号	名　　称	参考数量
———	クラック	34　m
Ⓐ	欠損（大100×300）	0　箇所
Ⓐ	欠損（中100×200）	1　箇所
A	欠損（小100×100）	5　箇所

	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾞｰｽﾄ)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製防球ネット	SOP塗、ネット・ボルト撤去　、枠存置	ネット・ボルト取替え(SUS)、枠は下地調整の上DP塗替
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ｷ金物共）
鋼製手摺	SOP塗	下地調整の上DP塗替

－凡例－

鋼製設備配管を示す。

塩ビ管（黒管）を示す。

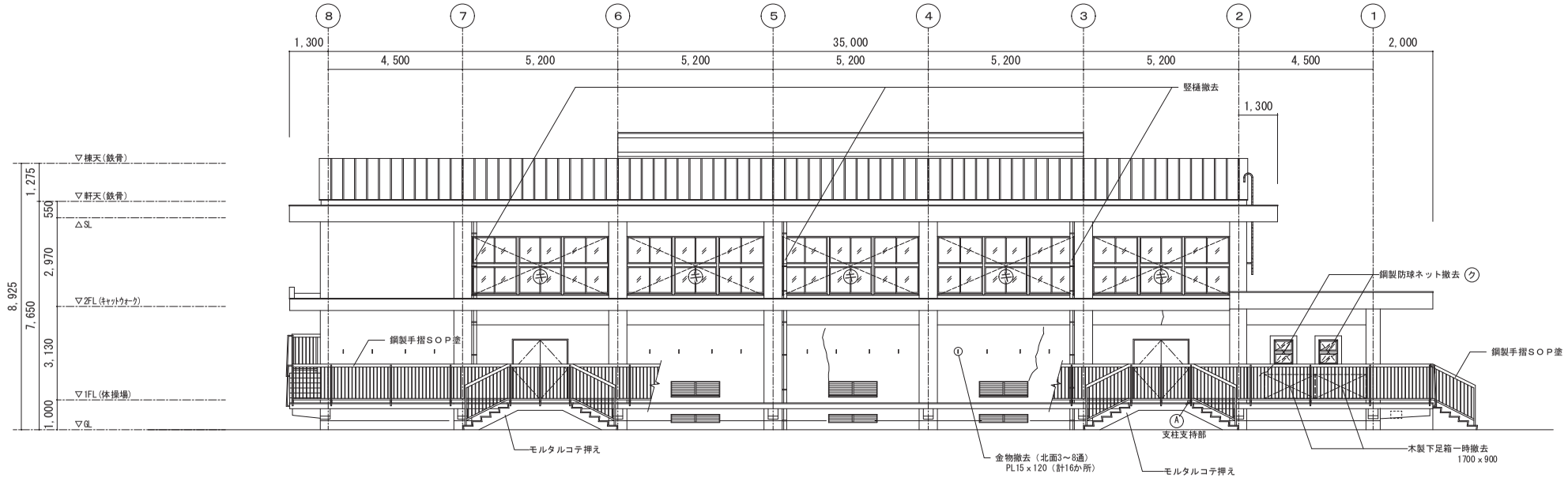
－注意事項－

・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝﾌﾞﾘｰﾄﾞ）
・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系
・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
体育館　南立面図（現況・撤去）			A１－４３
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／100
枚方市教育委員会教育環境整備室			



北面　立面図　S 1/100

外壁改修工程
（1）高圧水洗、清掃
（2）各補修範囲の確認（調査報告書作成）
（3）各部補修
（a）クラック補修
1. Uカット（溝内清掃共）
2. プライマー塗布
3. シーリング材充填
4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上
（b）欠損・露筋部補修
1. はつり、下地処理（ケレン、清掃）
2. プライマー・錆止め塗布
3. エポキシ樹脂モルタル充填
（c）浮き部補修
1. 削孔、清掃
2. エポキシ樹脂注入
3. アンカーピン（SUS304）挿入
4. エポキシ樹脂充填
注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

外壁劣化数量表【体育館】

記号	名　　称	参考数量
———	クラック	34　m
Ⓐ	欠損（大100×300）	0　箇所
Ⓐ	欠損（中100×200）	1　箇所
A	欠損（小100×100）	5　箇所

	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾞｰｽﾄ)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製防球ネット	SOP塗、ネット・ボルト撤去　、枠存置	ネット・ボルト取替え、枠は下地調整の上DP塗替
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ｽ金物共）
鋼製手摺	SOP塗	下地調整の上DP塗替

－凡例－

鋼製設備配管を示す。

塩ビ管（黒管）を示す。

ア　鋼製防球ネットを示す。

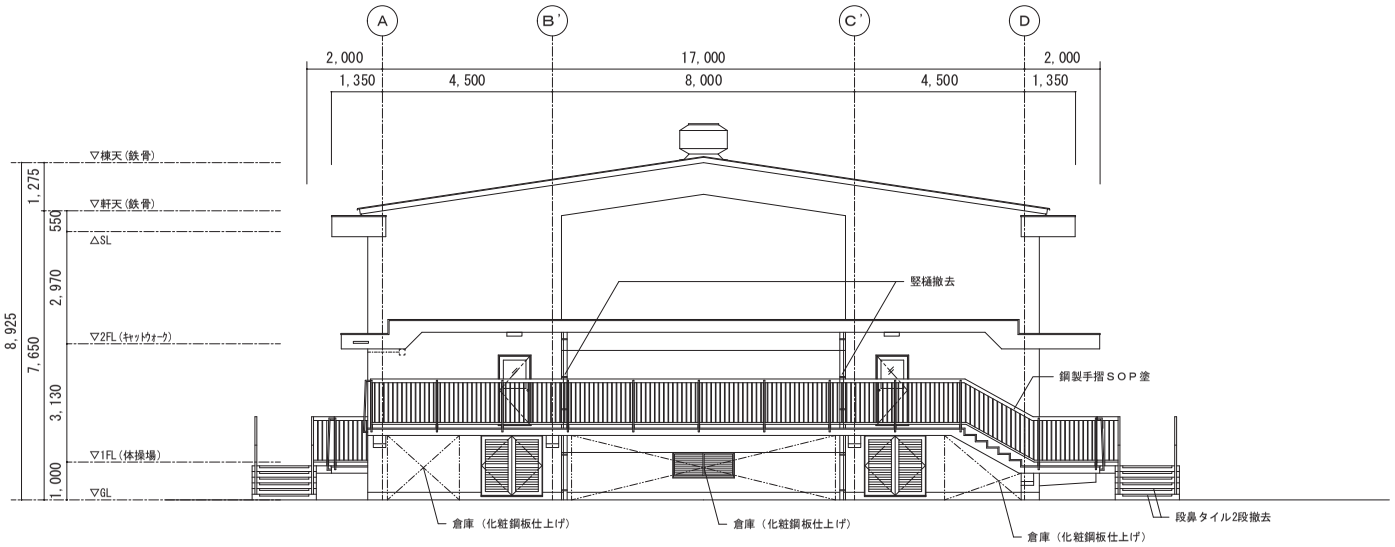
－注意事項－

・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝﾌﾞﾘｰﾄﾞ）
・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系
・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
体育館　北立面図（現況・撤去）			A１－４４
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／100
枚方市教育委員会教育環境整備室			



東面　立面図　S 1/100

外壁改修工程
（1）高圧水洗、清掃 （2）各補修範囲の確認（調査報告書作成） （3）各部補修 （a）クラック補修 1. Uカット（溝内清掃共） 2. プライマー塗布 3. シーリング材充填 4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上 （b）欠損・露筋部補修 1. はつり、下地処理（ケレン、清掃） 2. プライマー・錆止め塗布 3. エポキシ樹脂モルタル充填 （c）浮き部補修 1. 削孔、清掃 2. エポキシ樹脂注入 3. アンカーピン（SUS304）挿入 4. エポキシ樹脂充填 注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

外壁劣化数量表【体育館】

記号	名　　称	参考数量
～～～～	クラック	34　m
Ⓐ	欠損（大100×300）	0　箇所
Ⓐ	欠損（中100×200）	1　箇所
A	欠損（小100×100）	5　箇所

	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾞｰｽﾄ)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製防球ネット	SOP塗、ネット・ボルト撤去　、枠存置	ネット・ボルト取替え、枠は下地調整の上DP塗替
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ﾐ金物共）
鋼製手摺	SOP塗	下地調整の上DP塗替

－凡例－

鋼製設備配管を示す。

塩ビ管（黒管）を示す。

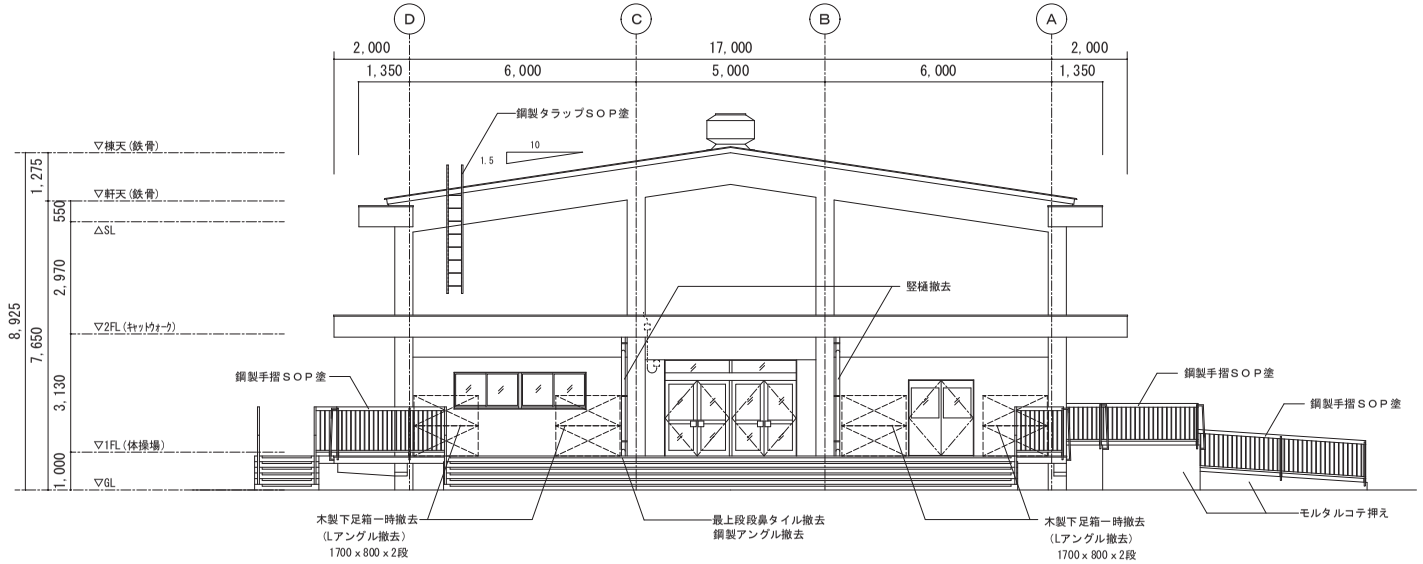
－注意事項－

・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝｽﾞﾘｰﾄﾞ） ・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系 ・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
体育館　東立面図（現況・撤去）			A１－４５
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／100
枚方市教育委員会教育環境整備室			



西面　立面図　S 1/100

外壁改修工程
(1)高圧水洗、清掃
(2)各補修範囲の確認（調査報告書作成）
(3)各部補修
(a)クラック補修
1. Uカット（溝内清掃共）
2. プライマー塗布
3. シーリング材充填
4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上
(b)欠損・露筋部補修
1. はつり、下地処理（ケレン、清掃）
2. プライマー・錆止め塗布
3. エポキシ樹脂モルタル充填
(c)浮き部補修
1. 削孔、清掃
2. エポキシ樹脂注入
3. アンカーピン（SUS304）挿入
4. エポキシ樹脂充填
注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

外壁劣化数量表【体育館】

記号	名　　称	参考数量
———	クラック	34　m
Ⓐ	欠損（大100×300）	0　箇所
Ⓐ	欠損（中100×200）	1　箇所
A	欠損（小100×100）	5　箇所

	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾞｰｽﾄ)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製防球ネット	SOP塗、ネット・ボルト撤去　、枠存置	ネット・ボルト取替え、枠は下地調整の上DP塗替
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ｽ金物共）
鋼製手摺	SOP塗	下地調整の上DP塗替

－凡例－

－・－・－　鋼製設備配管を示す。

－・・－・・－　塩ビ管（黒管）を示す。

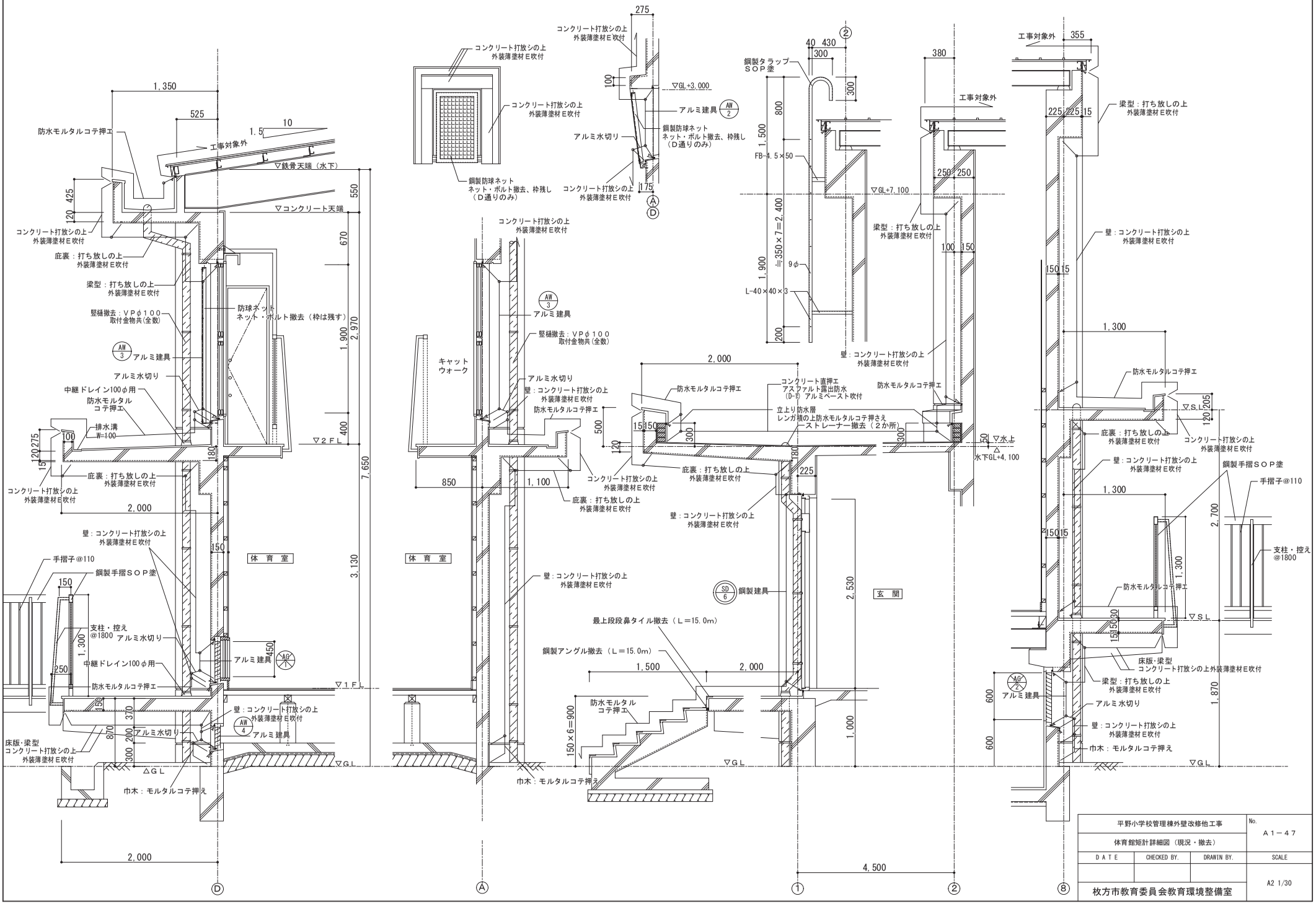
－注意事項－

・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

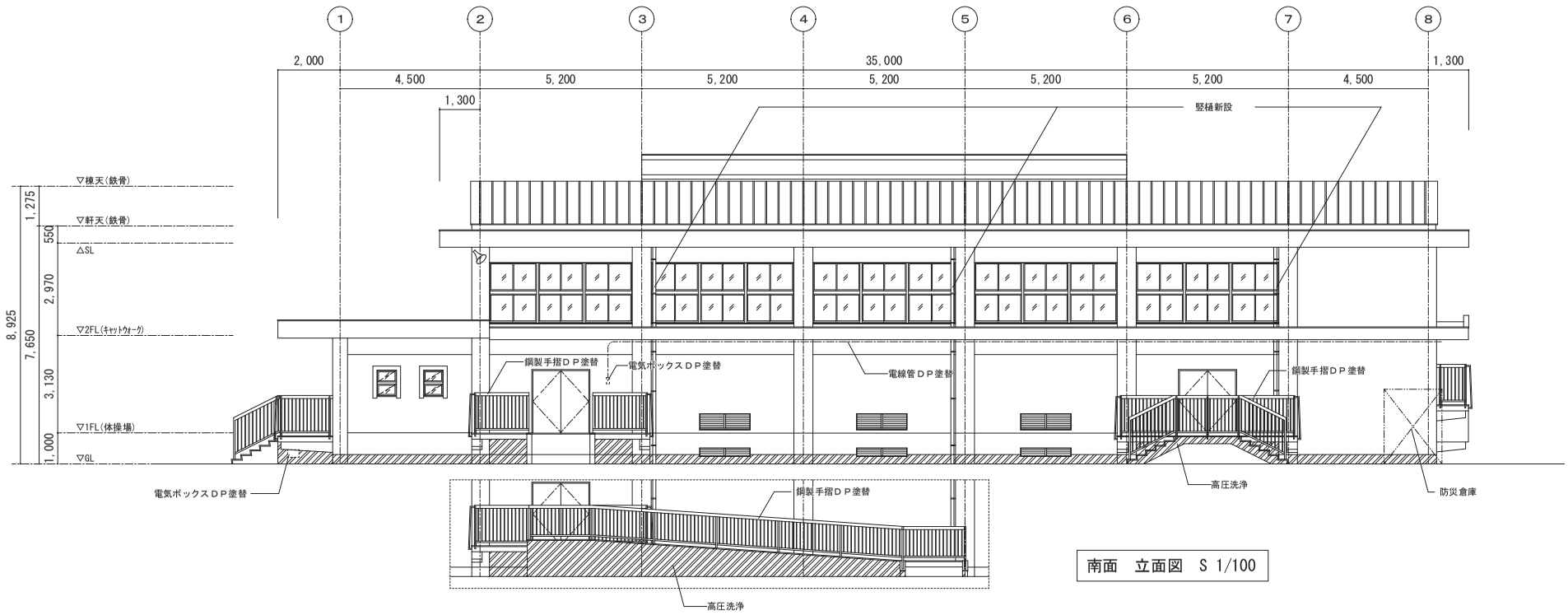
ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝﾌﾞﾘｰﾄﾞ）
・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系
・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
体育館　西立面図（現況・撤去）			A１－４６
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／100
枚方市教育委員会教育環境整備室			



平野小学校管理棟外壁改修他工事		No. A１－４７
体育館矩計詳細図（現況・撤去）		
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.
		SCALE A2 1/30
枚方市教育委員会教育環境整備室		



南面　立面図　S 1/100

外壁改修工程
（1）高圧水洗、清掃 （2）各補修範囲の確認（調査報告書作成） （3）各部補修 （a）クラック補修 1. Uカット（溝内清掃共） 2. プライマー塗布 3. シーリング材充填 4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上 （b）欠損・露筋部補修 1. はつり、下地処理（ケレン、清掃） 2. プライマー・錆止め塗布 3. エポキシ樹脂モルタル充填 （c）浮き部補修 1. 削孔、清掃 2. エポキシ樹脂注入 3. アンカーピン（SUS304）挿入 4. エポキシ樹脂充填 注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾞｰｽﾄ)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製防球ネット	SOP塗、ネット・ボルト撤去　、枠存置	ネット・ボルト取替え、枠は下地調整の上DP塗替
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ｽ金物共）
鋼製手摺	SOP塗	下地調整の上DP塗替

－凡例－

鋼製設備配管を示す。

塩ビ管（黒管）を示す。

既存仕上げの上高圧洗浄のみを示す

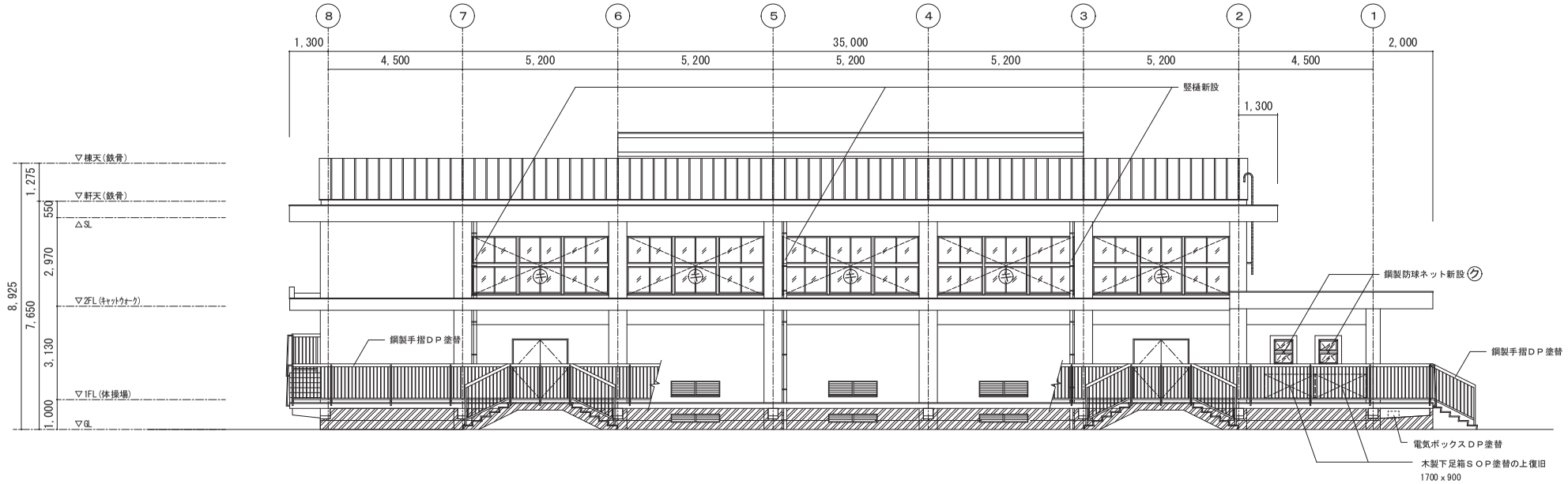
－注意事項－

・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝﾌﾞﾘｰﾄﾞ） ・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系 ・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
体育館　南立面図（改修）			A１－４８
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			A2 1/100 A3 1/150
枚方市教育委員会教育環境整備室			



北面　立面図　S 1/100

外壁改修工程
（1）高圧水洗、清掃 （2）各補修範囲の確認（調査報告書作成） （3）各部補修 （a）クラック補修 1. Uカット（溝内清掃共） 2. プライマー塗布 3. シーリング材充填 4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上 （b）欠損・露筋部補修 1. はつり、下地処理（ケレン、清掃） 2. プライマー・錆止め塗布 3. エポキシ樹脂モルタル充填 （c）浮き部補修 1. 削孔、清掃 2. エポキシ樹脂注入 3. アンカーピン（SUS304）挿入 4. エポキシ樹脂充填 注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾟｰｽﾄ)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製防球ネット	SOP塗、ネット・ボルト撤去　、枠存置	ネット・ボルト取替え、枠は下地調整の上DP塗替
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ﾐ金物共）
鋼製手摺	SOP塗	下地調整の上DP塗替

－凡例－

鋼製設備配管を示す。

塩ビ管（黒管）を示す。

㋐ 鋼製防球ネットを示す。

既存仕上げの上高圧洗浄のみを示す

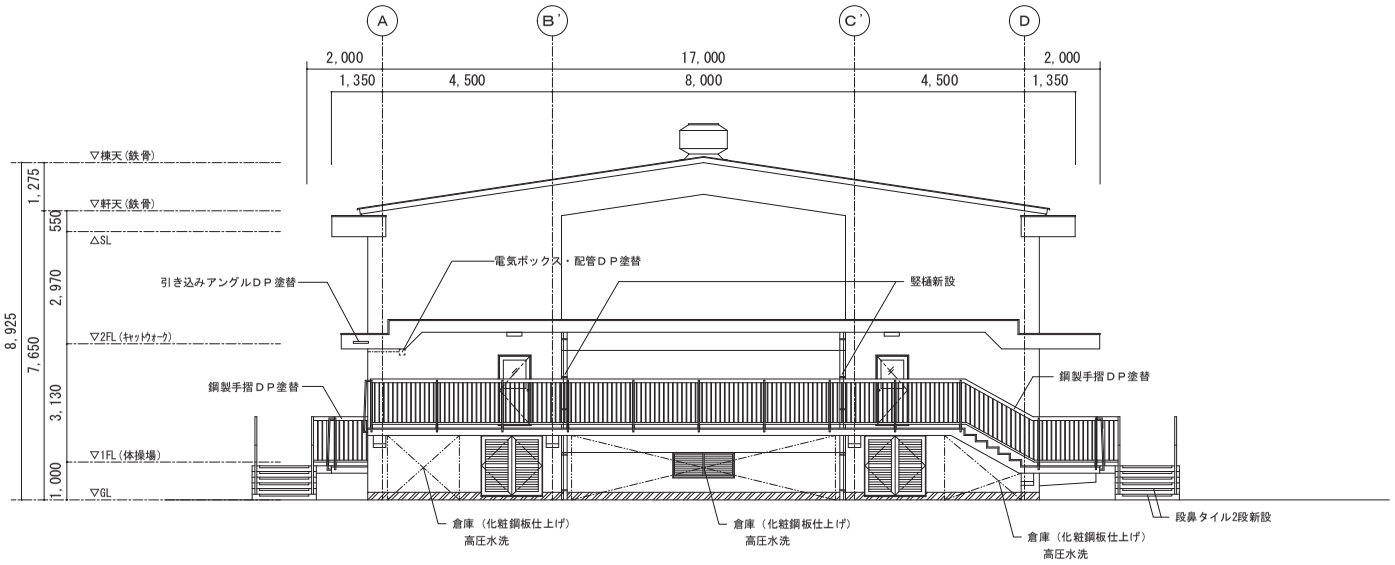
－注意事項－

・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝﾌﾞﾘｰﾄﾞ） ・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系 ・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
体育館　北立面図（改修）			A１－４９
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			A2 1/100 A3 1/150
枚方市教育委員会教育環境整備室			



東面　立面図　S 1/100

外壁改修工程
（1）高圧水洗、清掃 （2）各補修範囲の確認（調査報告書作成） （3）各部補修 （a）クラック補修 1. Uカット（溝内清掃共） 2. プライマー塗布 3. シーリング材充填 4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上 （b）欠損・露筋部補修 1. はつり、下地処理（ケレン、清掃） 2. プライマー・錆止め塗布 3. エポキシ樹脂モルタル充填 （c）浮き部補修 1. 削孔、清掃 2. エポキシ樹脂注入 3. アンカーピン（SUS304）挿入 4. エポキシ樹脂充填 注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾞｰｽﾄ)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製防球ネット	SOP塗、ネット・ボルト撤去　、枠存置	ネット・ボルト取替え、枠は下地調整の上DP塗替
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ｽ金物共）
鋼製手摺	SOP塗	下地調整の上DP塗替

－凡例－

鋼製設備配管を示す。

塩ビ管（黒管）を示す。

既存仕上げの上高圧洗浄のみを示す

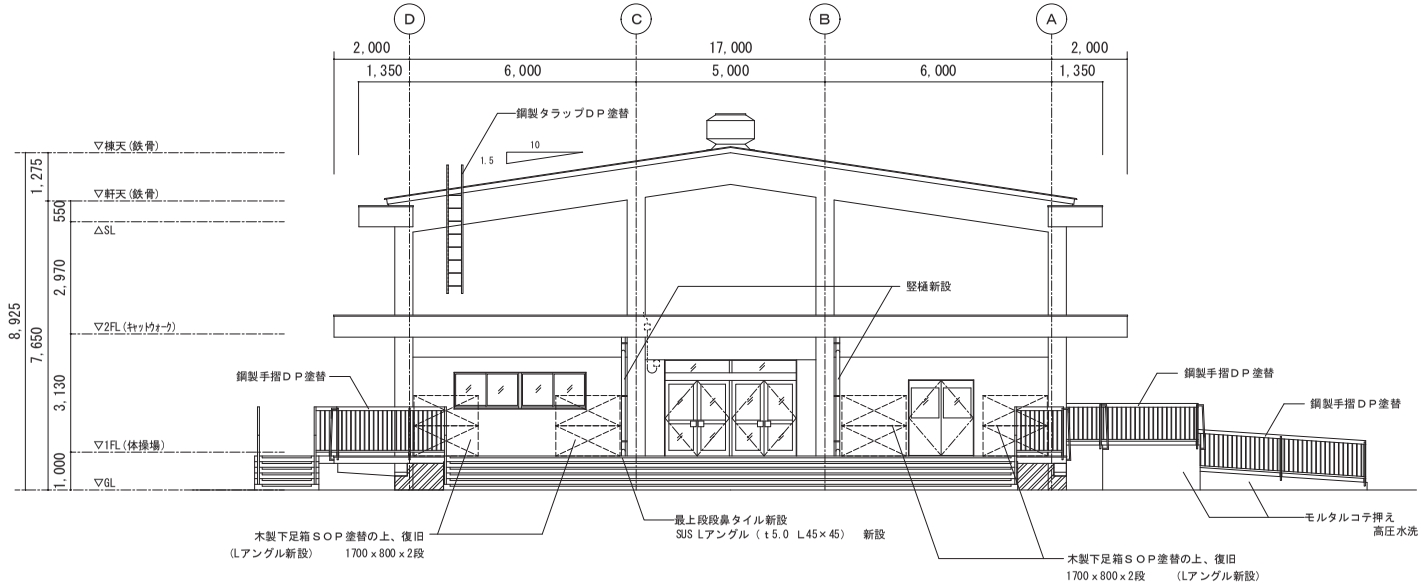
－注意事項－

・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝﾌﾞﾘｰﾄﾞ） ・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系 ・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

※全て打替えとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A１－５０
体育館　東立面図（改修）			
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			A2 1/100 A3 1/150
枚方市教育委員会教育環境整備室			



西面　立面図　S 1/100

外壁改修工程
（1）高圧水洗、清掃 （2）各補修範囲の確認（調査報告書作成） （3）各部補修 （a）クラック補修 1. Uカット（溝内清掃共） 2. プライマー塗布 3. シーリング材充填 4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上 （b）欠損・露筋部補修 1. はつり、下地処理（ケレン、清掃） 2. プライマー・錆止め塗布 3. エポキシ樹脂モルタル充填 （c）浮き部補修 1. 削孔、清掃 2. エポキシ樹脂注入 3. アンカーピン（SUS304）挿入 4. エポキシ樹脂充填 注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

	既設	改修
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付　目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
巾木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗
庇・窓台・梁天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾞｰｽﾄ)の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2） 新設
庇裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放しの上外装薄塗材E吹付	高圧水洗、ｸﾗｯｸ・露筋・欠損補修、下地調整(C-1程度)の上外装薄塗材E吹替
外部建具	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替、ｱﾙﾐ建具：ｻｯｼｸﾘｰﾆﾝｸﾞ（両面）ﾚｰﾙ共、鋼製建具：DP塗替え
鋼製防球ネット	SOP塗、ネット・ボルト撤去 、枠存置	ネット・ボルト取替え、枠は下地調整の上DP塗替
鋼製配管・盤	SOP塗	下地調整の上DP塗替
竪樋	硬質塩化ﾋﾞ管φ100撤去（取付金物共）	ｶﾗｰVPφ100新設（SUS製掴ｼ金物共）
鋼製手摺	SOP塗	下地調整の上DP塗替

－凡例－

鋼製設備配管を示す。

塩ビ管（黒管）を示す。

既存仕上げの上高圧洗浄のみを示す

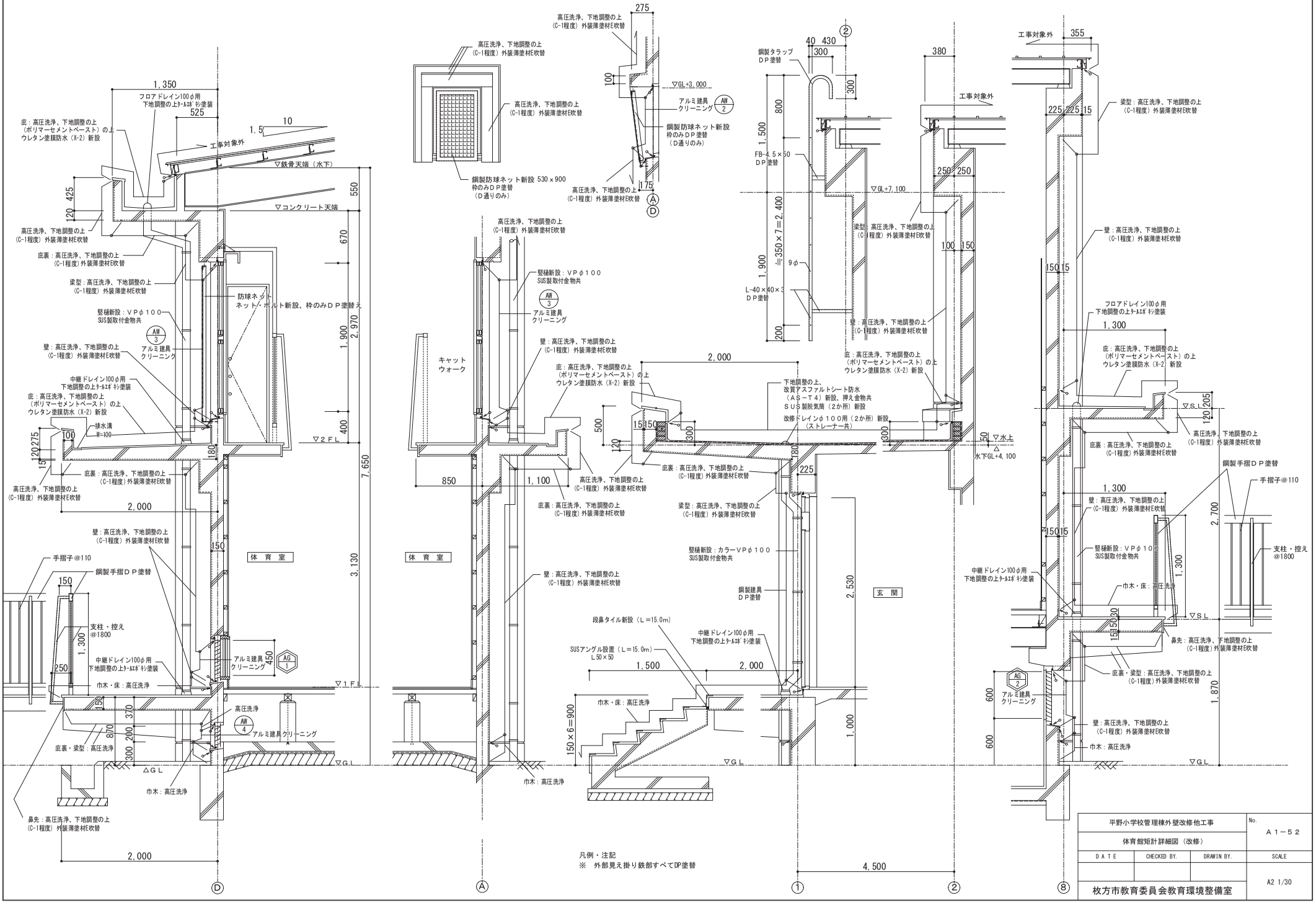
－注意事項－

・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

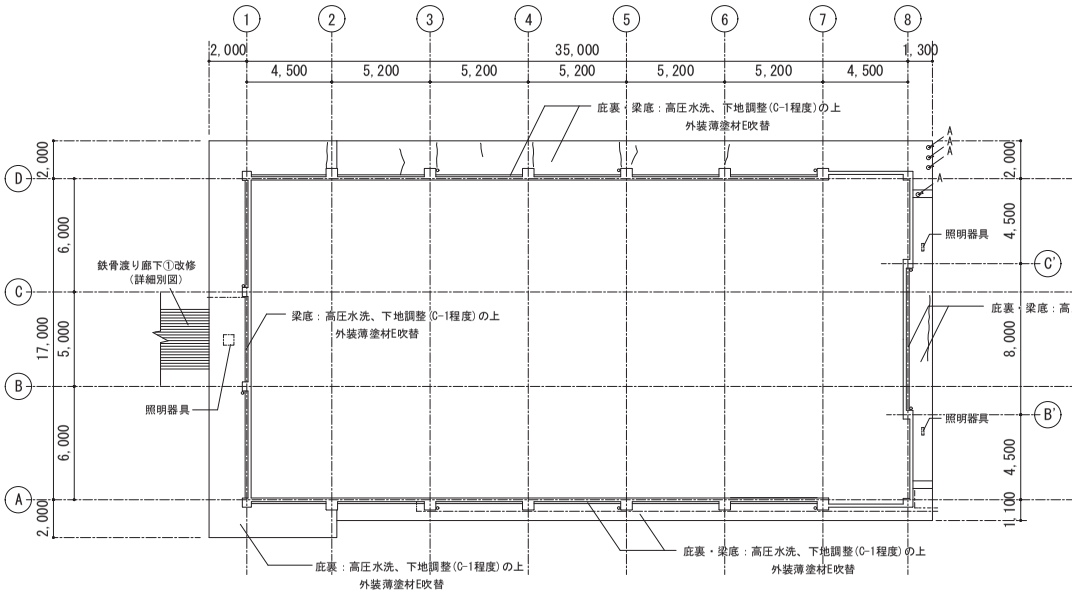
ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝﾌﾞﾘｰﾄﾞ） ・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系 ・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

※全て打替えとする。

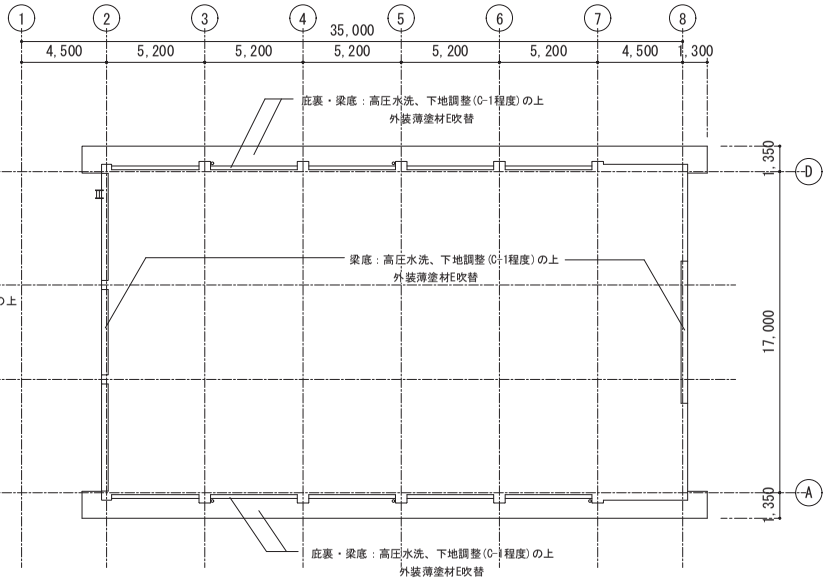
平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
体育館　西立面図（改修）			A１－５１
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			A2 1/100 A3 1/150
枚方市教育委員会教育環境整備室			



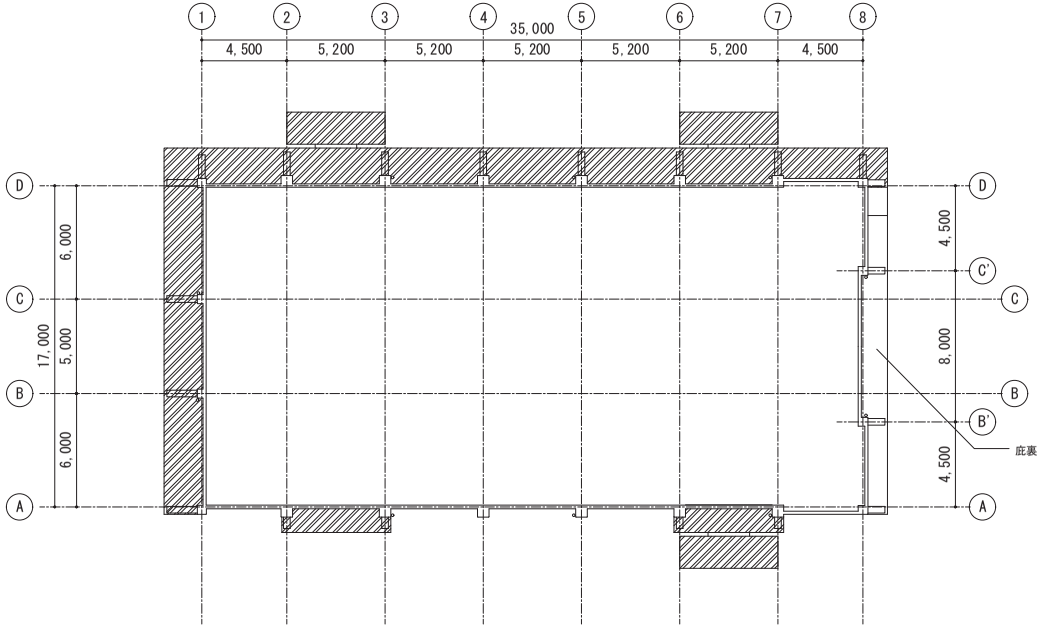
平野小学校管理棟外壁改修他工事		No. A１－５２
体育館矩計詳細図（改修）		
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.
		SCALE A2 1/30
枚方市教育委員会教育環境整備室		



２階庇見上図



大屋根見上図



１階跳出部見上図

外壁改修工程
（1）高圧水洗、清掃 （2）各補修範囲の確認（調査報告書作成） （3）各部補修 （a）クラック補修 1. Uカット（溝内清掃共） 2. プライマー塗布 3. シーリング材充填 4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上 （b）欠損・露筋部補修 1. はつり、下地処理（ケレン、清掃） 2. プライマー・錆止め塗布 3. エポキシ樹脂モルタル充填 （c）浮き部補修 1. 削孔、清掃 2. エポキシ樹脂注入 3. アンカーピン（SUS304）挿入 4. エポキシ樹脂充填 注）アンカーピン本数は16本/㎡とする

外壁劣化数量表

記号	名　　称	参考数量
———	クラック	34 m
Ⓐ	欠損（大100×300）	0 箇所
Ⓐ	欠損（中100×200）	1 箇所
A	欠損（小100×100）	5 箇所

ｼｰﾘﾝｸﾞ種類
・外壁　打継目地、ひび割れ誘発目地：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系（ﾉﾝﾌﾞﾘｰﾄﾞ） ・ｻｯｼ廻り：変成ｼﾘｺｰﾝ系 ・ｻｯｼ水切：変成ｼﾘｺｰﾝ系

※全て打替えとする。

－凡例－

鋼製設備配管を示す。

塩ビ管（黒管）を示す。

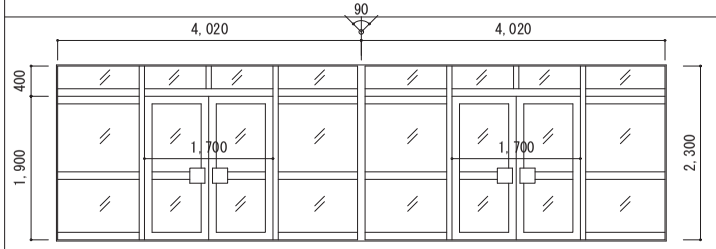
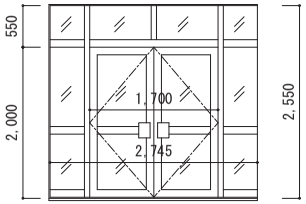
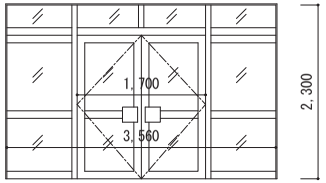
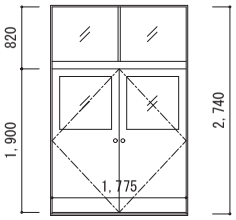
既存仕上げの上高圧洗浄のみを示す

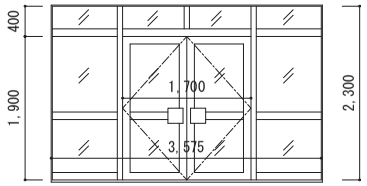
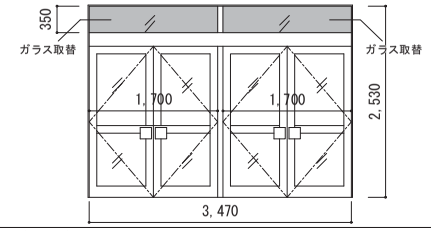
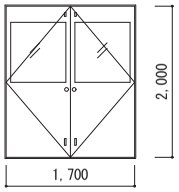
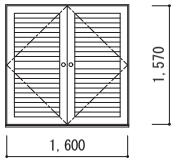
－注意事項－

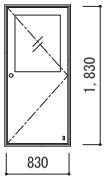
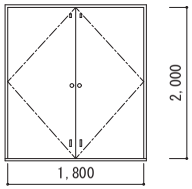
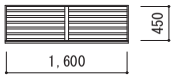
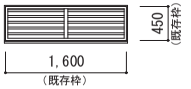
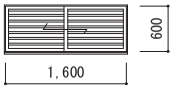
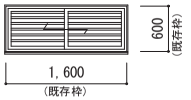
・外壁面を高圧水洗した後、クラック等の補修箇所を調査し、参考数量との精査を行うものとする。
・今回改修範囲の設備配管、アングル等もDP塗替えをすること。
・SUSについてはクリーニングを行うこと。
・外部建具は、両面サッシクリーニングのこと。（ガラス含む）
・塗装は下地調整の上、行うこと。

N

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
体育館　各階見上図　（現況・撤去・改修）			A－５３
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／２００
枚方市教育委員会教育環境整備室			

記号・名称・数量	SD 1 両袖はめころし窓・ランマ付両開き戸	管理棟 北西 1か所	SD 2 両袖はめころし窓・ランマ付両開き戸	管理棟 西面・東面 3か所	SD 3 両袖はめころし窓・ランマ付両開き戸	管理棟 南面 1か所	SD 4 ランマ付両開き戸	教室棟 西面・東面 2か所
改修内容	下地調整の上ＤＰ塗替え、ガラスクリーニング、非常出口表示板取替え		下地調整の上ＤＰ塗替え、ドアクローザー・戸当たり取替え 非常出口表示板取替え		下地調整の上ＤＰ塗替え、ガラスクリーニング、非常出口表示板取替え		下地調整の上ＤＰ塗替え、ドアクローザー・戸当たり取替え ガラスクリーニング	
姿図								
既存仕様 材質・仕上	鋼製　ＯＰ塗		鋼製　ＯＰ塗		鋼製　ＯＰ塗		鋼製　ＯＰ塗	
既存仕様 見込	86		86		86		86	
既存仕様 ガラス	線入磨き板ガラス　厚6.8		網入磨き板ガラス　厚6.8		網入磨き板ガラス　厚6.8		網入磨き板ガラス　厚6.8	
既存仕様 金物	フロアヒンジ、フランス落とし、シリンダー本締錠、押板		丁番、フランス落とし、ドアクローザー、戸当たり シリンダー本締錠、押板		フロアヒンジ、フランス落とし、シリンダー本締錠、押板		丁番、フランス落とし、ドアクローザー、戸当たり シリンダー本締錠、握り玉	
既存仕様 備考	非常出口表示板		非常出口表示板		非常出口表示板			

記号・名称・数量	SD 5 SD 5 両袖はめころし窓・ランマ付両開き戸	教室棟 南面・北面	5 →2か所 5' →1か所	SD 6 両袖はめころし窓・ランマ付両開き戸	体育館 西面 1か所	SD 7 両開き戸	体育館 西面 1か所	SD 8 両開き戸	体育館 東面 2か所
改修内容	下地調整の上ＤＰ塗替え、（5'のみドアクローザー取替え） ガラスクリーニング、非常出口表示板取替え			下地調整の上ＤＰ塗替え・シリンダー本締錠取替え、ガラスクリーニング・一部取替え		下地調整の上ＤＰ塗替え、ガラスクリーニング 金物取替え（ドアクローザー、戸当たり、あおり止め鎖、シリンダー本締錠、握り玉）		下地調整の上ＤＰ塗替え 金物取替え（アームストッパー、SUS製防虫網、シリンダー本締錠、握り玉）	
姿図									
既存仕様 材質・仕上	鋼製　ＯＰ塗			鋼製　ＯＰ塗		鋼製　ＯＰ塗		鋼製　ＯＰ塗	
既存仕様 見込	86			100		100		100	
既存仕様 ガラス	網入磨き板ガラス　厚6.8			網入磨き板ガラス　厚6.8		網入磨き板ガラス　厚6.8		---	
既存仕様 金物	フロアヒンジ（5'のみ丁番ドアクローザー付）、フランス落とし シリンダー本締錠、押板			フロアヒンジ、フランス落とし、シリンダー本締錠、押板		丁番、フランス落とし、ドアクローザー、戸当たり、あおり止め鎖 シリンダー本締錠、握り玉		丁番、アームストッパー、SUS製防虫網、シリンダー本締錠、握り玉	
既存仕様 備考	非常出口表示板								

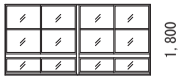
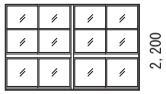
記号・名称・数量	SD 9 片開き戸	体育館 東面 2か所	SD 10 両開き戸	体育館 南面・北面 4か所	AG 1 ガラリ窓	体育館 南面・北面 6か所	AG 1 ガラリ窓	体育館 南面・北面 6か所	AG 2 引違いガラリ窓	体育館 東面 1か所	AG 2 引違いガラリ窓	体育館 東面 1か所
改修内容	下地調整の上ＤＰ塗替え、ガラスクリーニング 金物取替え（ドアクローザー、戸当たり、シリンダー本締錠、握り玉）		下地調整の上ＤＰ塗替え 金物取替え（ドアクローザー、戸当たり、あおり止め鎖、シリンダー本締錠、 握り玉・ケースハンドル）		枠を残して全面撤去（SUS防虫網共）		カバー工法による改修（SUS防虫網共）		枠を残して全面撤去（SUS防虫網共）		カバー工法による改修（SUS防虫網共）	
姿図												
既存仕様 材質・仕上	鋼製　ＯＰ塗		鋼製　ＯＰ塗		アルミ製　シルバー		アルミ製　シルバー		アルミ製　シルバー		アルミ製　シルバー	
既存仕様 見込	100		100		70		70		70		70	
既存仕様 ガラス	網入磨き板ガラス　厚6.8		---		---		---		---		---	
既存仕様 金物	丁番、ドアクローザー、戸当たり、シリンダー本締錠、握り玉		丁番、フランス落とし、ドアクローザー、戸当たり、あおり止め鎖 シリンダー本締錠、握り玉（内部ケースハンドル）		SUS防虫網		SUS防虫網		SUS防虫網		SUS防虫網	
既存仕様 備考												

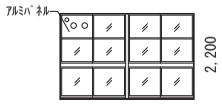
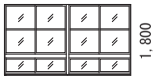
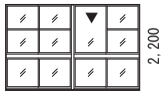
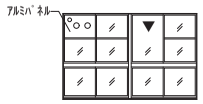
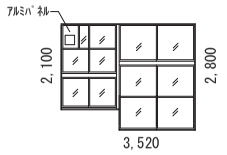
凡例・注記
※　枠周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替
※　見え掛り鉄部すべてDP塗替え

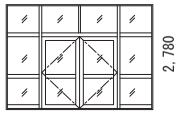
平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A１－５４
建具表１			
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			A2　1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			

【 教室棟 】

※建具改修内容はシーリング打ち替え及びクリーニング（内外）とする

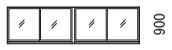
記号・名称・数量	AW-1 引き違いサッシ2連2段	教室棟	49 か所	AW-2 引き違いサッシ2段	教室棟	9 か所	AW-3 引き違いサッシ2連2段	教室棟	8 か所	AW-4 引き違いサッシ2段	教室棟	6 か所	AW-5 引き違いサッシ2連2段	教室棟	8 か所	AW-6 引き違いサッシ2連2段	教室棟	26 か所
姿図																		
既存仕様 材質	ガラス	アルミ	透明ガラス　厚3.0	ガラス	アルミ	透明ガラス　厚3.0	ガラス	アルミ	透明ガラス　厚3.0	ガラス	アルミ	透明ガラス　厚3.0	ガラス	アルミ	透明ガラス　厚3.0	ガラス	アルミ	透明ガラス　厚3.0
既存仕様 備考																		

記号・名称・数量	AW-7 引き違いサッシ2連2段（ﾀﾞｸﾄ取付ﾊﾟﾈﾙ片側付）	教室棟	15 か所	AW-8 上部換気ｶﾞﾗﾘ付引き違いサッシ	教室棟	12 か所	AW-9 引き違いサッシ2連2段	教室棟	4 か所	AW-10 引き違いサッシ2連2段	教室棟	5 か所	AW-11 引き違いサッシ2連2段（ﾀﾞｸﾄ取付ﾊﾟﾈﾙ片側付）	教室棟	5 か所	AW-12 引き違いサッシ2連2段（換気腰板ﾊﾟﾈﾙ片側付）	教室棟	1 か所
姿図																		
既存仕様 材質	ガラス	アルミ	透明ガラス　厚3.0	ガラス	アルミ	透明ガラス　厚3.0	ガラス	アルミ	透明ガラス　厚3.0	ガラス	アルミ	透明ガラス　厚3.0	ガラス	アルミ	透明ガラス　厚3.0	ガラス	アルミ	透明ガラス　厚3.0
既存仕様 備考																		

記号・名称・数量	AD-1 引き違いサッシ2連2段（ﾀﾞｸﾄ取付ﾊﾟﾈﾙ片側付）	教室棟	2 か所
姿図			
既存仕様 材質	ガラス	アルミ	透明ガラス　厚3.0
既存仕様 備考			

【 体育館 】

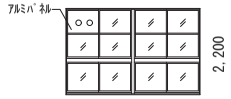
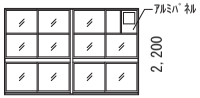
※建具改修内容はシーリング打ち替え及びクリーニング（内外）とする

記号・名称・数量	AW-1 引き違いサッシ2連1段	体育館	1 か所	AW-2 滑り出しサッシ2段	体育館	4 か所	AW-3 引き違いサッシ3連2段	体育館	10 か所	AW-4 ガラリ	体育館	10 か所
姿図												
既存仕様 材質	ガラス	アルミ	透明ガラス　厚3.0	ガラス	アルミ	透明ガラス　厚3.0	ガラス	アルミ	透明ガラス　厚3.0	ガラス	アルミ	――
既存仕様 備考												

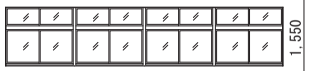
平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A１－５５
建具表２			
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			A2 1/100 A3 1/150
枚方市教育委員会教育環境整備室			

【　管理棟　】

※建具改修内容はシーリング打ち替え及びクリーニング（内外）とする

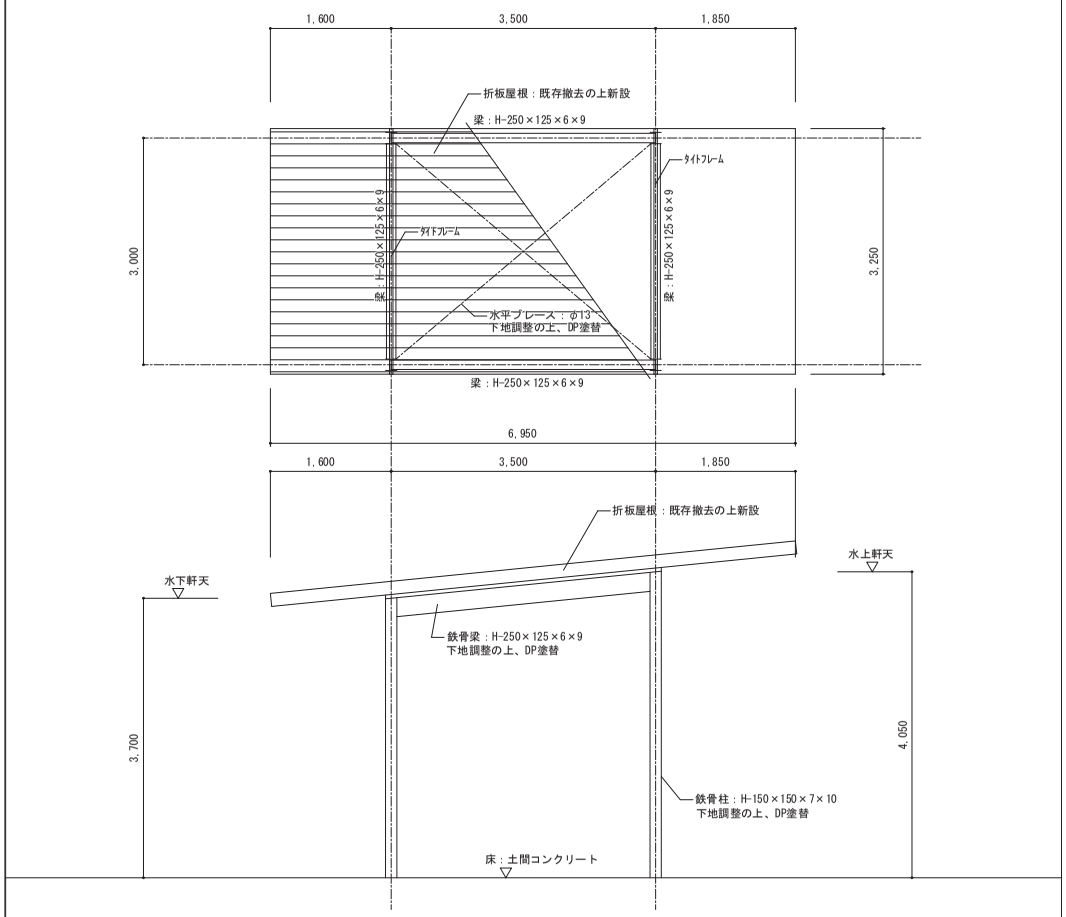
記号・名称・数量	AW1 引き違いサッシ2連2段	管理棟	11 か所	AW2 引き違いサッシ2連2段（ﾀﾞｸﾄ取付ﾊﾟﾈﾙ片側のみ）	管理棟	4 か所	AW3 引き違いサッシ2連2段（換気腰枠片側のみ）	管理棟	6 か所	AW4 引き違いサッシ2連2段（換気腰枠両側）	管理棟	2 か所	AW5 引き違いサッシ2連2段（ﾀﾞｸﾄ取付ﾊﾟﾈﾙ・換気腰枠）	管理棟	5 か所	AW6 上部はめ殺し窓ガラリ付き引き違いサッシ2連2段	管理棟	1 か所
姿図																		
既存仕様 材質	ガラス	アルミ	透明ガラス　厚3.0	アルミ	透明ガラス　厚3.0	アルミ	透明ガラス　厚3.0	アルミ	透明ガラス　厚3.0	アルミ	透明ガラス　厚3.0	アルミ	透明ガラス　厚3.0	アルミ	透明ガラス　厚3.0			
既存仕様 備考																		

記号・名称・数量	AW7 引き違いサッシ2連2段	管理棟	1 か所	AW8 中央はめ殺し2段 引き違い2連2段（換気腰枠付）	管理棟	1 か所	AW9 中央はめ殺し2段 引き違い2連2段（ﾀﾞｸﾄ取付ﾊﾟﾈﾙ付）	管理棟	1 か所	AW10 上部換気ｶﾞﾗﾘ付引き違いサッシ	管理棟	4 か所	AW11 引き違いサッシ	管理棟	1 か所	AW12 滑り出しサッシ	管理棟	1 か所
姿図																		
既存仕様 材質	ガラス	アルミ	透明ガラス　厚3.0	アルミ	透明ガラス　厚3.0	アルミ	透明ガラス　厚3.0	アルミ	透明ガラス　厚3.0	アルミ	透明ガラス　厚3.0	アルミ	透明ガラス　厚3.0	アルミ	透明ガラス　厚3.0			
既存仕様 備考																		

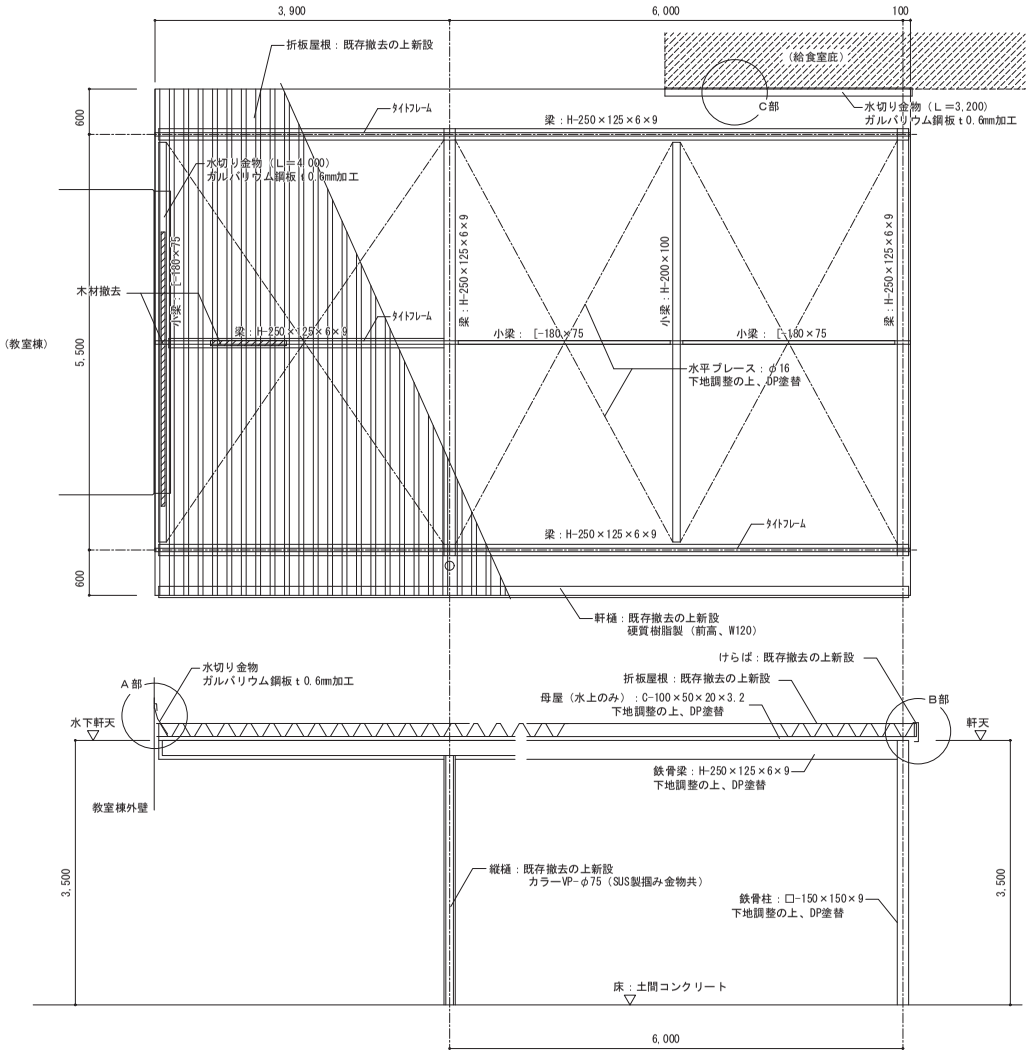
記号・名称・数量	AW13 引き違いサッシ2連	管理棟	1 か所	AW14 引き違いサッシ2連2段	管理棟	1 か所	AW15 引き違いサッシ4連2段	渡り廊下	2 か所
姿図									
既存仕様 材質	ガラス	アルミ	透明ガラス　厚3.0	アルミ	透明ガラス　厚3.0	アルミ	透明ガラス　厚3.0		
既存仕様 備考									

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
建具表３			A１－５６
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			A2 1/100 A3 1/150
枚方市教育委員会教育環境整備室			

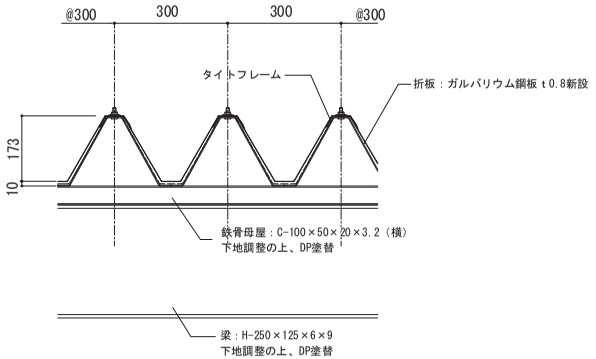
鉄骨渡り廊下①（管理棟-体育館）　S=1/50



鉄骨渡り廊下②（教室棟⑦-給食棟）　S=1/50



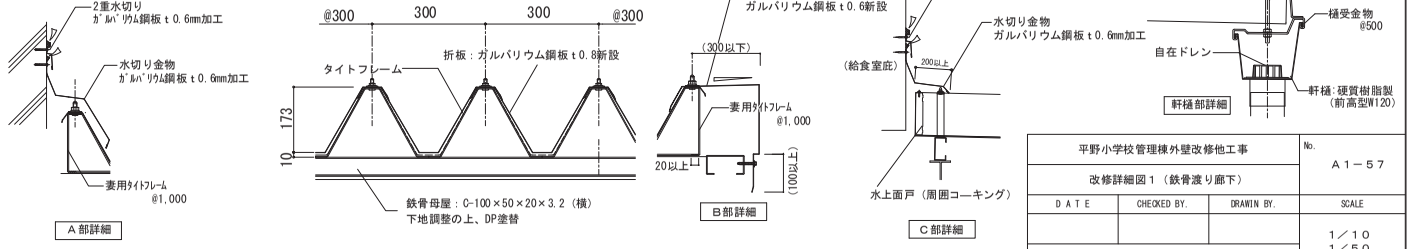
折板 H-173 標準図　S=1/10



凡例・注記

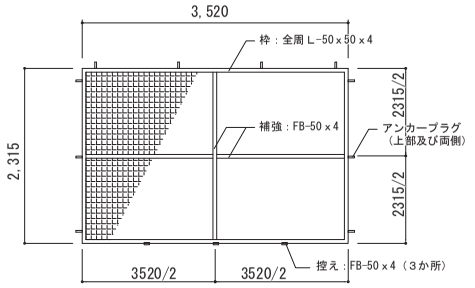
※　既存折板屋根撤去の上折板新設（付属金物含む）
　　母屋・梁・柱は再使用
※　見え掛り鉄部すべてDP塗替
※　軒天ビス止め部はシーリング処理のこと

折板 H-173 標準図 S=1/10

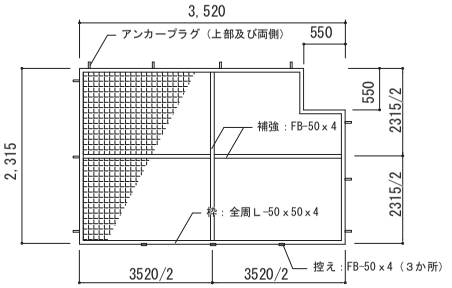


平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A1－57
改修詳細図1（鉄骨渡り廊下）			
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／10 1／50
枚方市教育委員会教育環境整備室			

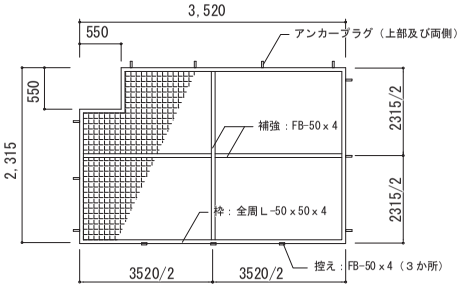
防球ネット　S=1/50



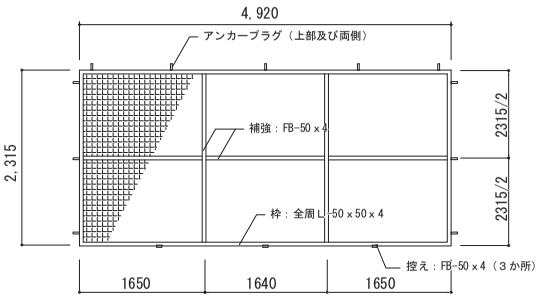
防球ネット ㋐ （管理棟　11か所）



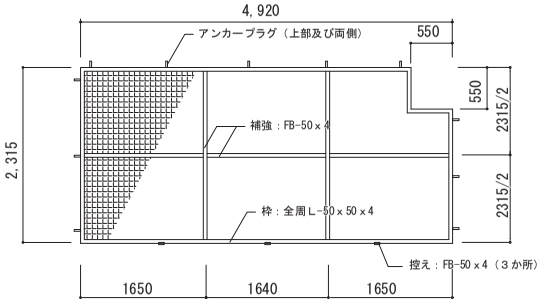
防球ネット ㋑ （管理棟　3か所）



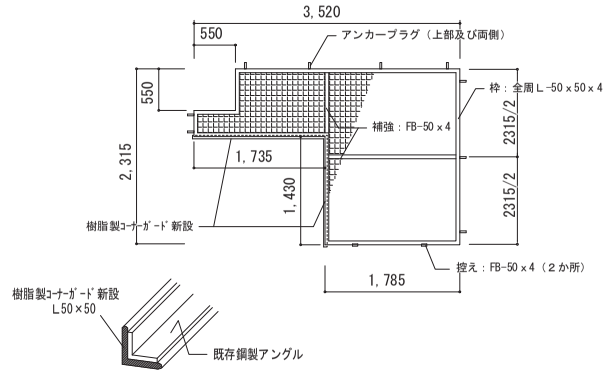
防球ネット ㋒ （管理棟　2か所）



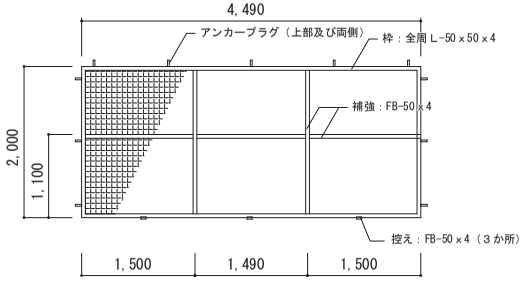
防球ネット ㋓ （管理棟　1か所）



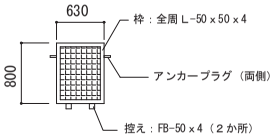
防球ネット ㋔ （管理棟　1か所）



防球ネット ㋕ （管理棟　1か所）

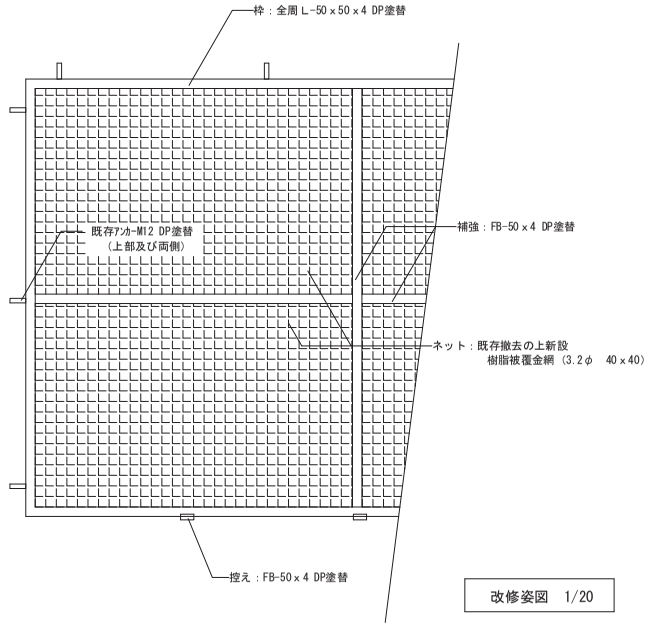


防球ネット ㋖ （体育館　5か所）

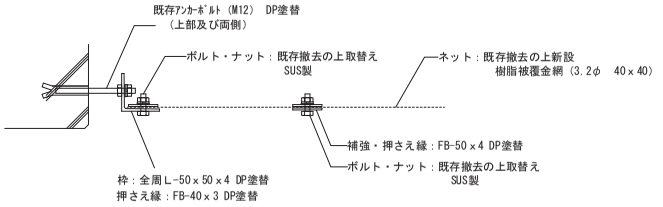


防球ネット ㋗ （体育館　2か所）

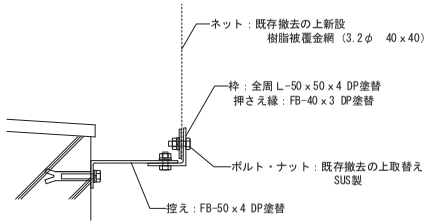
防球ネット改修共通詳細図　S=1/20、1/5



改修姿図　1/20



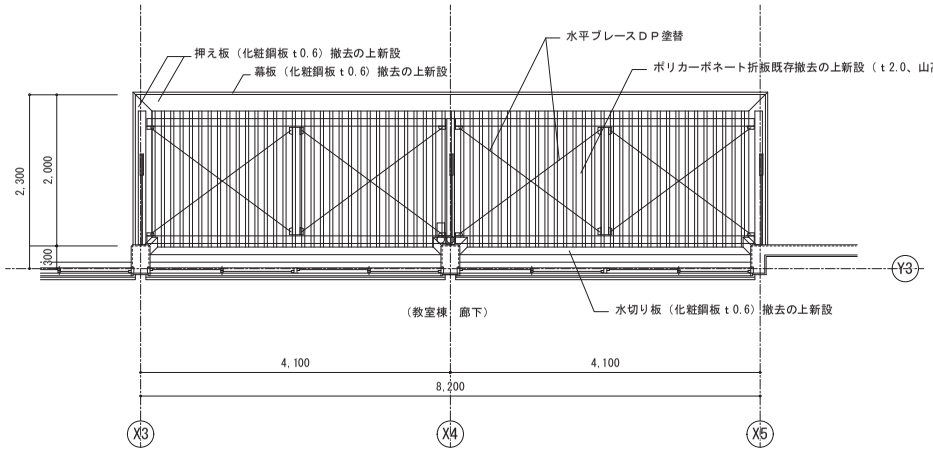
平面詳細図　1/5



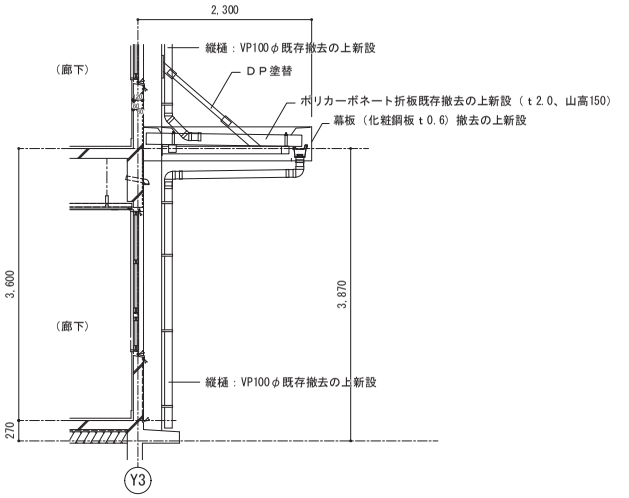
断面詳細図　1/5

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A1－58
改修詳細図２（防球ネット）			
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1／50 1／20 1／5
枚方市教育委員会教育環境整備室			

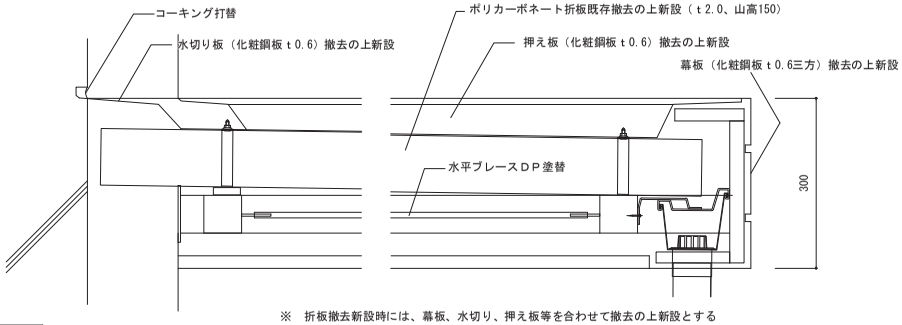
鉄骨昇降口庇（教室棟）　S=1/50



庇平面詳細図　1/50



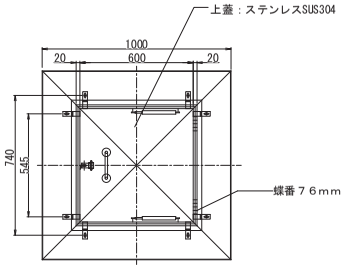
庇断面詳細図　1/50



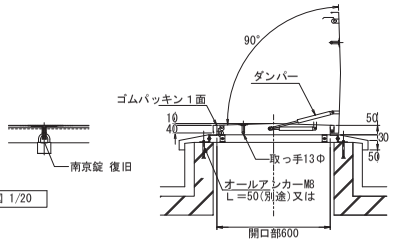
庇断面詳細図　1/10

※　折板撤去新設時には、幕板、水切り、押え板等を合わせて撤去の上新設とする
※　折板取付用のタイトフレームは再使用とする
※　鉄骨下地、ブレースは存置の上ＤＰ塗替とする
※　軒樋（W120前高）、呼び樋、竪樋は取り替えとする

屋上点検口（教室棟）　S=1/20



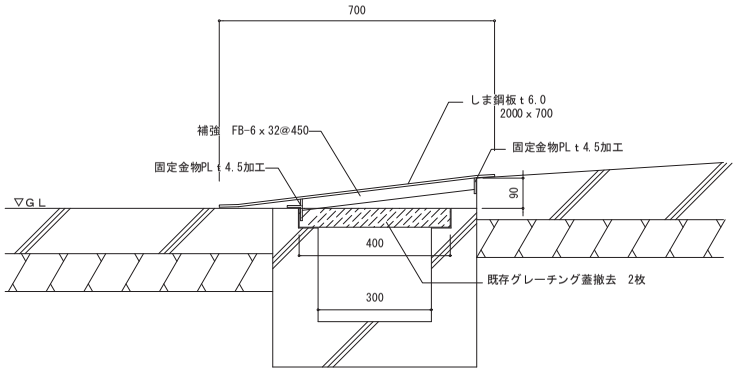
平面図　1/20



開放状態断面図　1/20

※取付方法は製作所の工法による

鋼製スロープ（教室棟南出入り口）　S=1/10

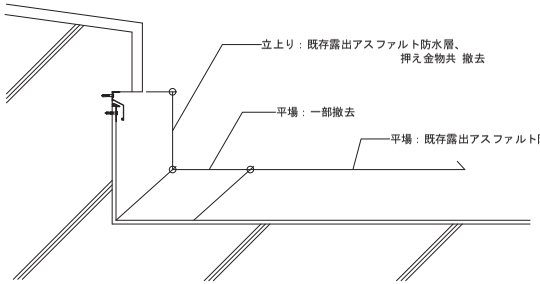


※鋼材は全て溶融亜鉛メッキとする

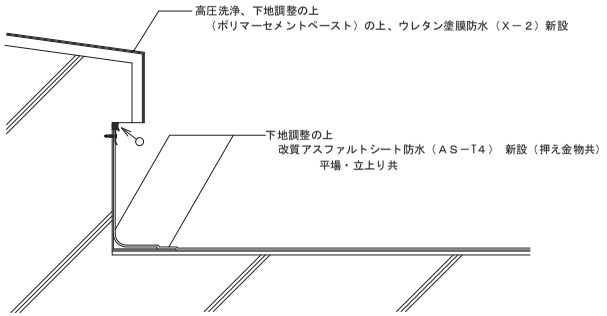
平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. Ａ１－５９
改修詳細図３（その他）			
ＤＡＴＥ	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			１／５０
枚方市教育委員会教育環境整備室			

防水改修納まり図(管理棟 屋上)

現況

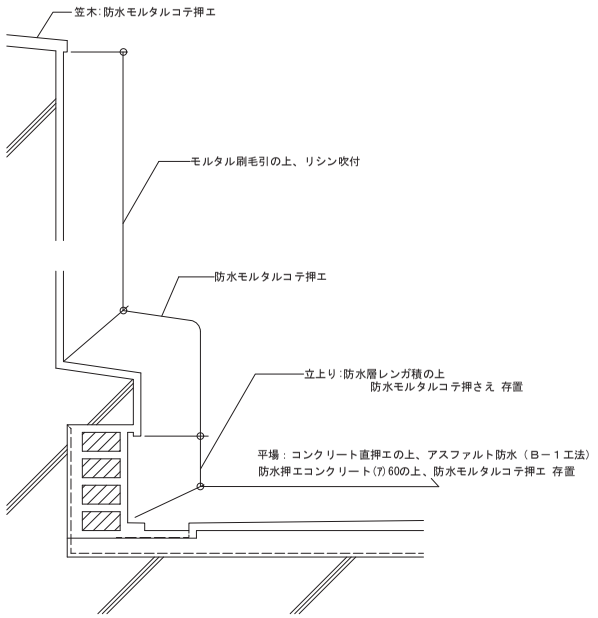


改修後

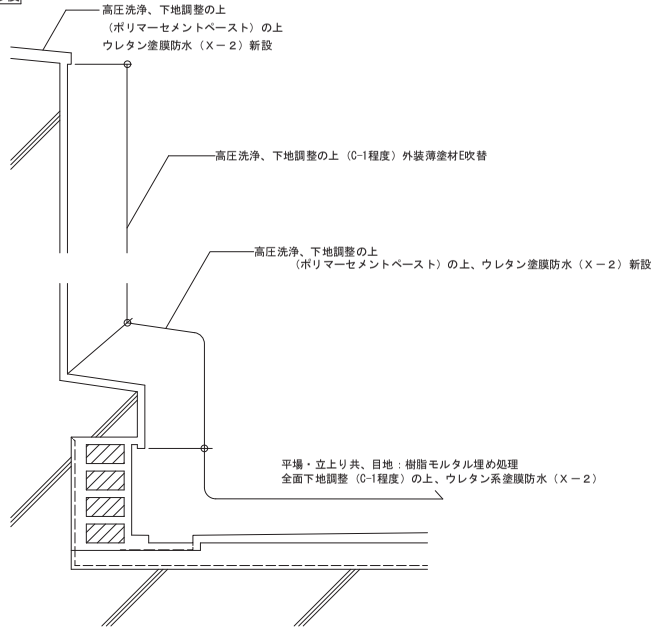


防水改修納まり図(渡り廊下)

現況

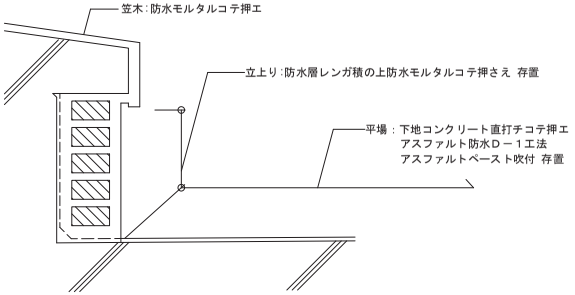


改修後

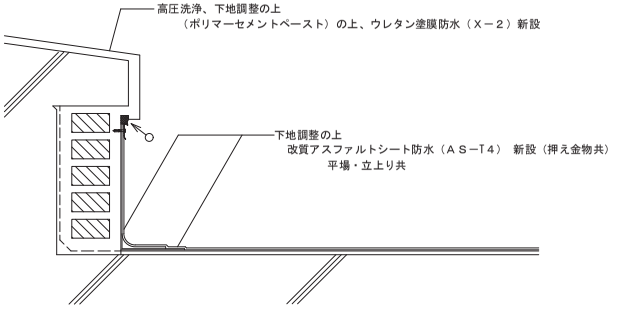


防水改修納まり図(教室棟 屋上)

現況

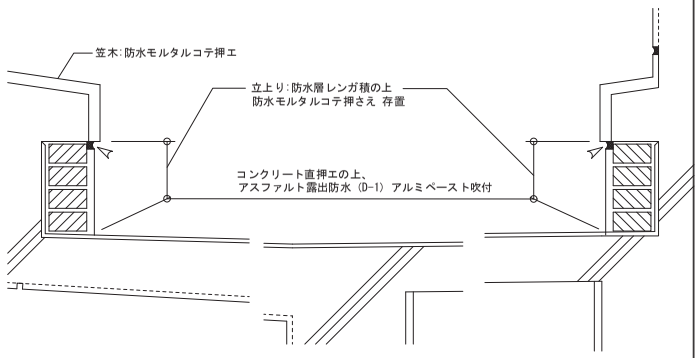


改修後

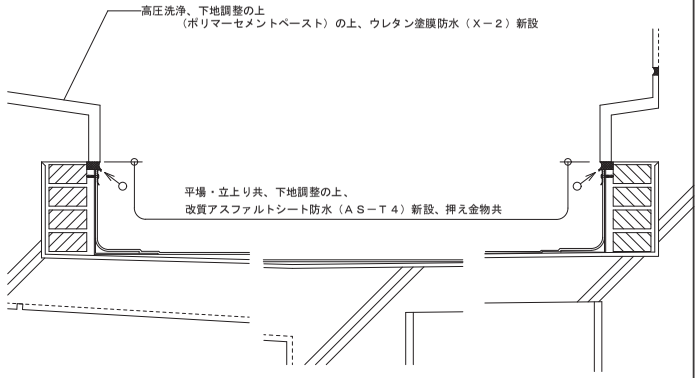


防水改修納まり図(体育館玄関屋根)

現況



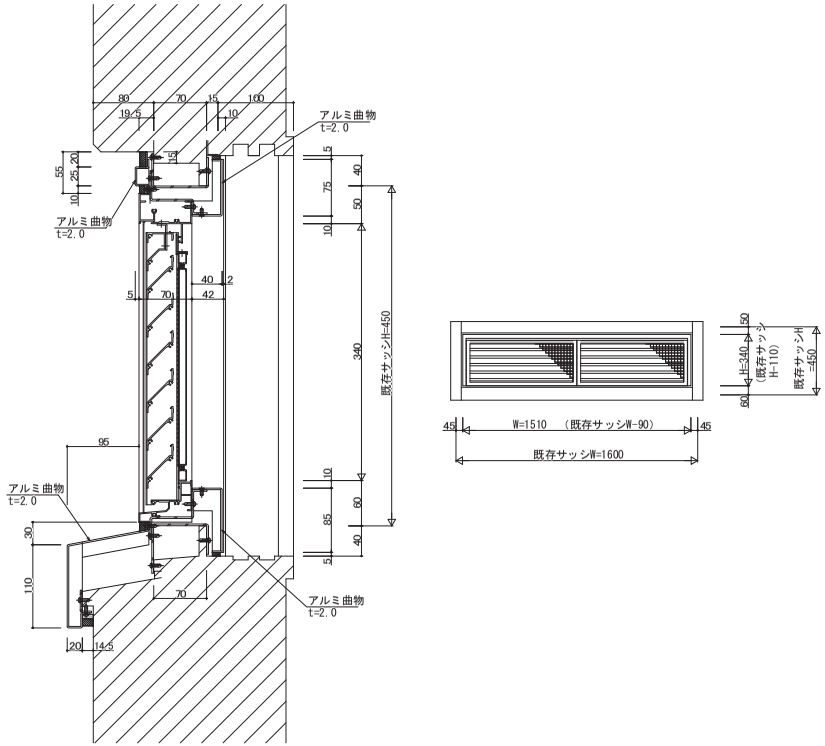
改修後

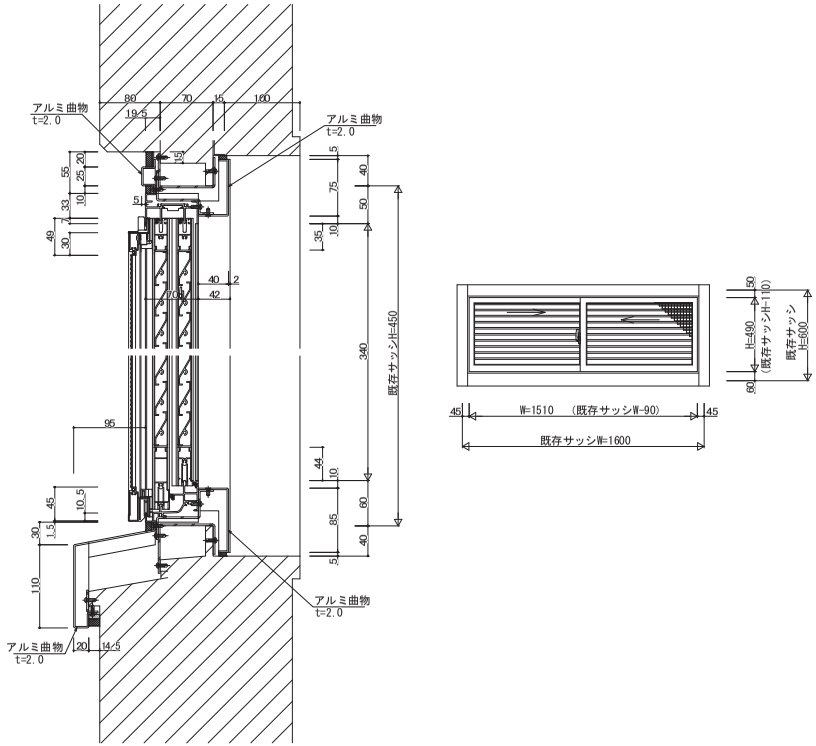


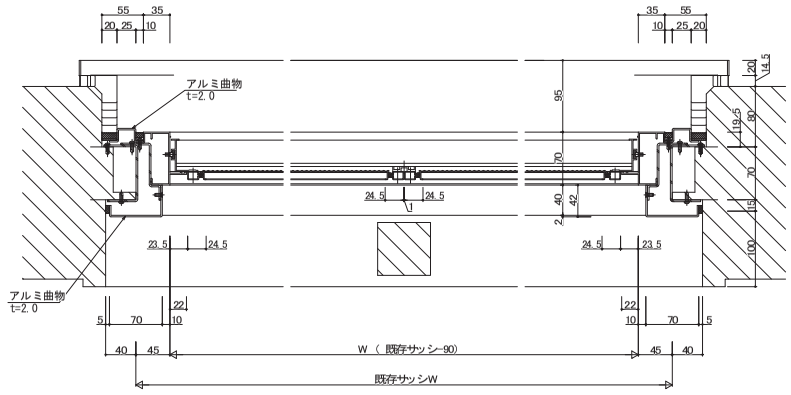
－ 凡 例 －

：シーリングを示す

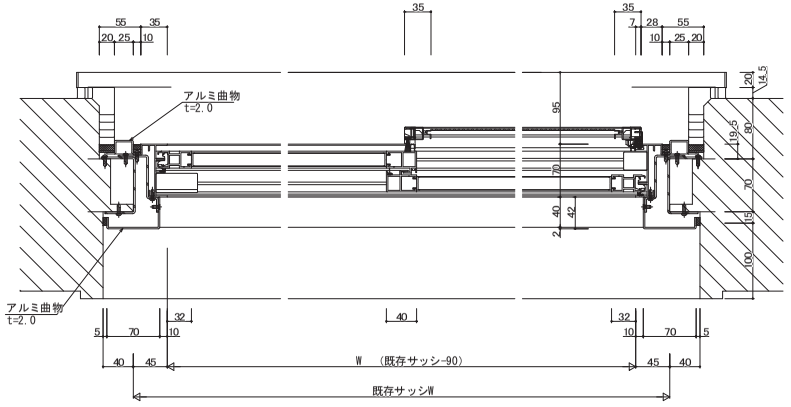
平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A１－６０
改修詳細図４（防水改修）			
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			― ― ―
枚方市教育委員会教育環境整備室			







AG 1 枠廻り詳細図

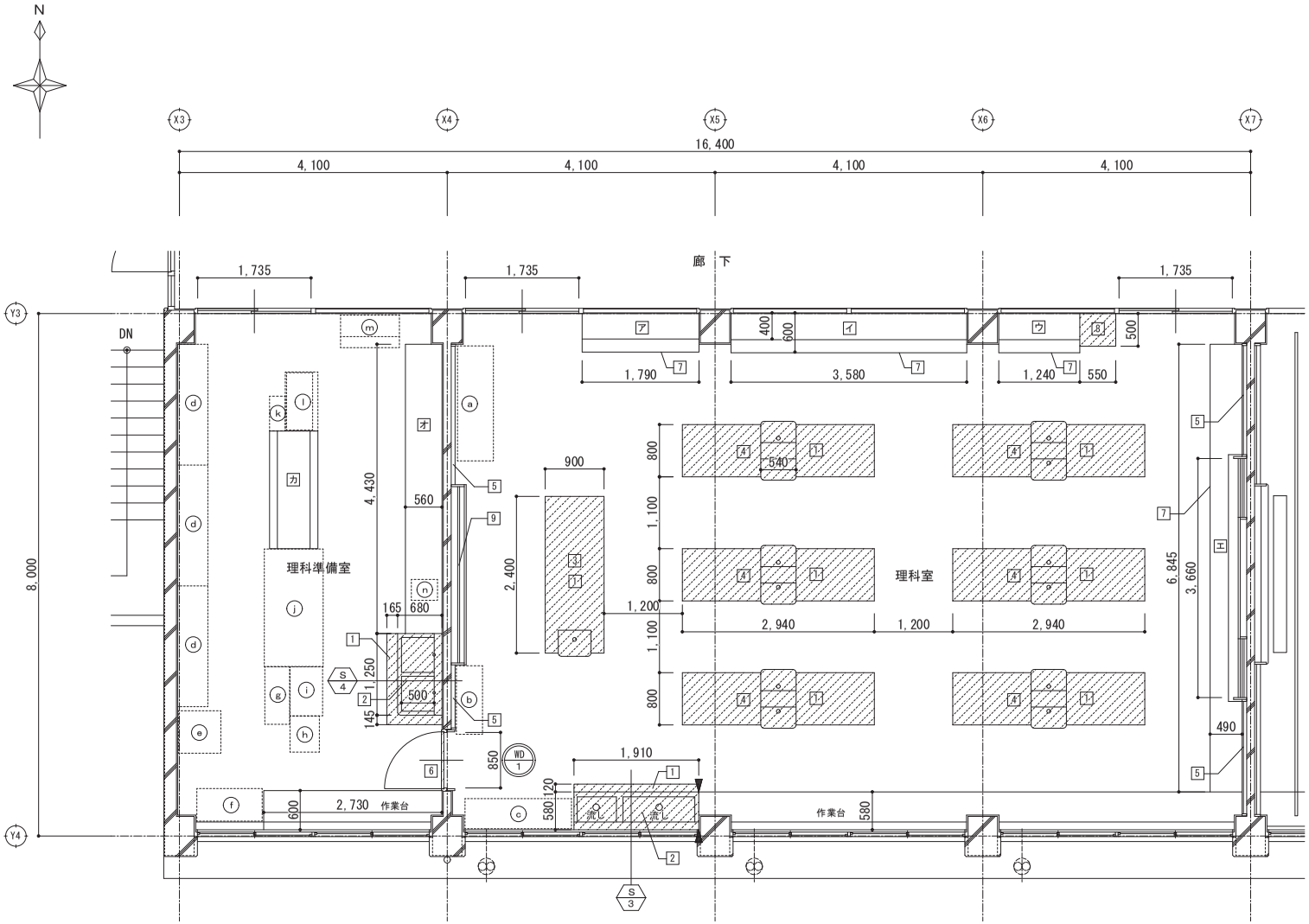


AG 2 枠廻り詳細図

※WH寸法及び障子形状は建具表による

※施工の際には現地調査を行い、詳細寸法を決定すること

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A1－61
改修詳細図５（カバー工法）			
D A T E	CHECKED BY.	DRAWN BY.	SCALE
			A2 1/5
枚方市教育委員会教育環境整備室			



理科室・理科準備室平面詳細図（現況・撤去）　1:50

	現況・撤去　凡例
1	床：フローリングブロック t 15　一部撤去（下地モルタル共） 目地位置に沿ってカッター切りとする
2	人研流し台　撤去
3	教師用実験台　撤去　W2400 * D900 * H850
4	生徒用実験台　撤去　W2940 * D800 * H700
5	掲示板：クロス､押縁　撤去
6	木製片開き戸　撤去　W850 * H1890
7	既存造作家具：扉撤去
8	木製掃除具入れ　撤去　W550 * D500 * H1930
9	上下黒板（レール共）撤去

	造作家具リスト	
ア	木製戸棚	W1790 * D600 * H700 + W1790 * D400 * H1200 扉撤去
イ	木製戸棚	W3580 * D600 * H700 + W3580 * D400 * H1200 扉撤去
ウ	木製戸棚	W1240 * D600 * H700 + W1240 * D400 * H1200 扉撤去
エ	木製戸棚	W6845 * D490 * H800 扉撤去
オ	木製戸棚	W4430 * D560 * H800
カ	木製戸棚	W1800 * D760 * H900 + W1800 * D500 * H900 一時撤去

	仮移動家具等リスト（特記なき限り工事完了後戻し）		
符号	名　称	規格（W*D*H）	箇所数
a	スチール棚	W1760 * D550 * H(1000+845)	1
b	スチール棚	W1050 * D400 * H900	1
c	作業台	W1630 * D460 * H590	1
d	スチール棚	W1850 * D450 * H(1000+1000)	3
e	冷蔵庫	W650 * D650 * H1800	1
f	木製棚	W1000 * D500 * H1600	1
g	スチール棚	W880 * D380 * H1790	1
h	スチール棚	W550 * D450 * H760	1
i	スチールラック	W750 * D500 * H1390	1
j	作業机	W1800 * D900 * H700	1
k	カードケース	W530 * D240 * H880	1
l	スチール棚	上：W880 * D400 * H880 下：W900 * D500 * H900	1 1
m	スチール棚	上：W900 * D330 * H900 下：W900 * D500 * H900	1 1
n	アイスメーカー	W320 * D400 * H1510	1

※家具等の仮置き先は、監督職員の指示による。

S ※ ・・・詳細図番号を示す

WD ※ ・・・撤去木製建具を示す

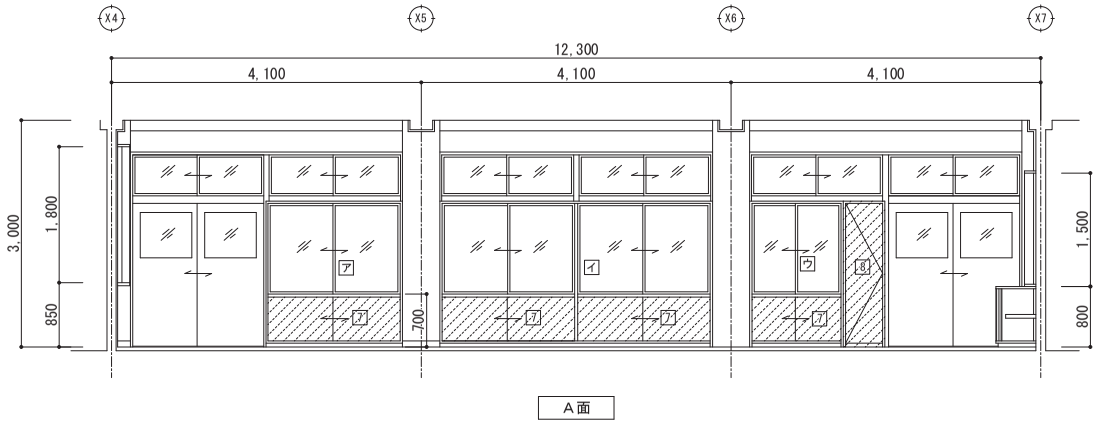
・・・カッター切位置を示す

・・・撤去範囲を示す

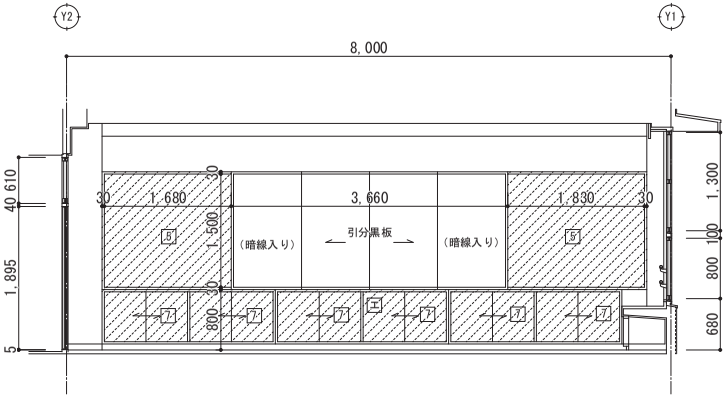
※クラックはパテ処理の上､塗装仕上げとする。

A
D 展開表示 B
C

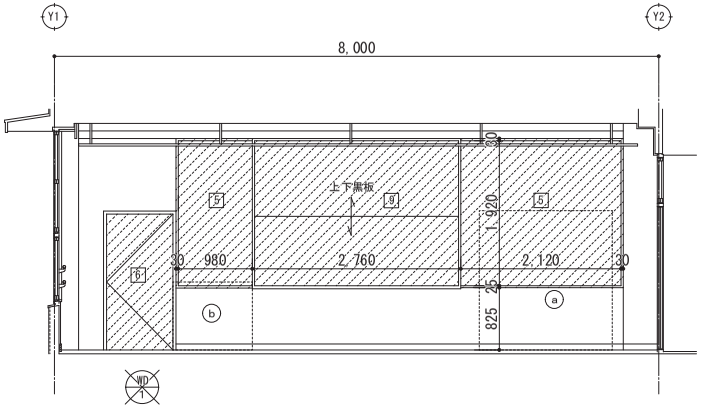
平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
理科室・理科準備室平面詳細図（現況・撤去）			A２－６２
D A T E	CHECKED BY.	DRAWN BY.	SCALE
			1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			



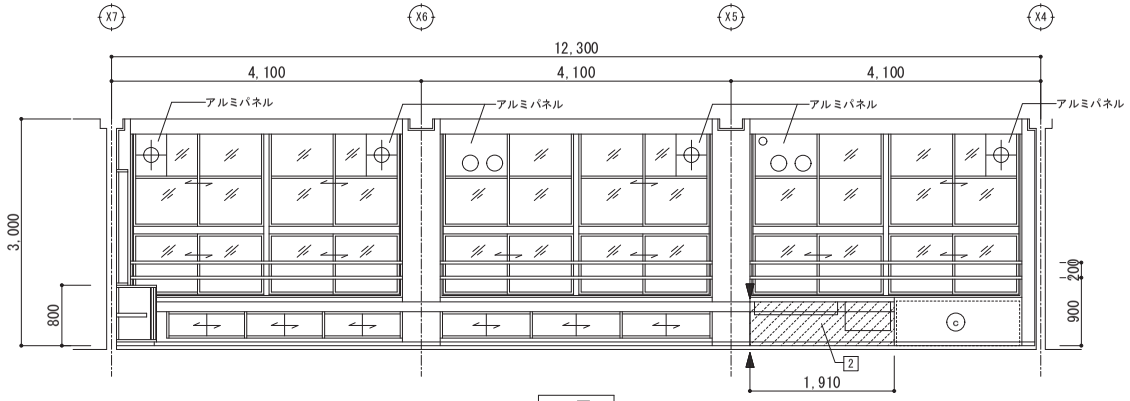
A面



B面



D面



C面

理科室展開図（現況・撤去）　1:50

	現況・撤去　凡例
1	床：フローリングブロック t 15　一部撤去（下地モルタル共） 目地位置に沿ってカッター切りとする
2	人研流し台　撤去
3	教師用実験台　撤去　W2400 * D900 * H850
4	生徒用実験台　撤去　W2940 * D800 * H700
5	掲示板：クロス､押縁　撤去
6	木製片開き戸　撤去　W850 * H1890
7	既存造作家具：扉撤去
8	木製掃除具入れ　撤去　W550 * D500 * H1930
9	上下黒板（レール共）撤去

	造作家具リスト	
ア	木製戸棚	W1790 * D600 * H700 + W1790 * D400 * H1200 扉撤去
イ	木製戸棚	W3580 * D600 * H700 + W3580 * D400 * H1200 扉撤去
ウ	木製戸棚	W1240 * D600 * H700 + W1240 * D400 * H1200 扉撤去
エ	木製戸棚	W6845 * D490 * H800 扉撤去
オ	木製戸棚	W4430 * D560 * H800
カ	木製戸棚	W1800 * D760 * H900 + W1800 * D500 * H900 一時撤去

仮移動家具等リスト（特記なき限り工事完了後戻し）			
符号	名　称	規格（W*D*H）	箇所数
ⓐ	スチール棚	W1760 * D550 * H(1000+845)	1
ⓑ	スチール棚	W1050 * D400 * H900	1
ⓒ	作業台	W1630 * D460 * H590	1

※家具等の仮置き先は、監督職員の指示による。

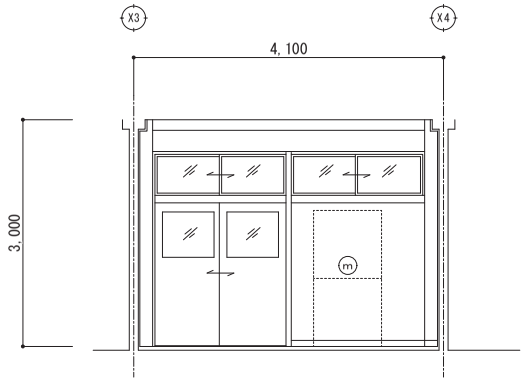
WP ※ ･･･撤去木製建具を示す

･･･カッター切位置を示す

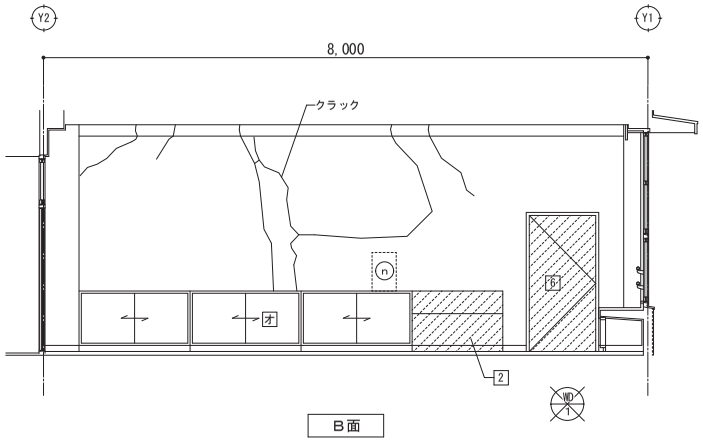
･･･撤去範囲を示す

※クラックはパテ処理の上､塗装仕上げとする。

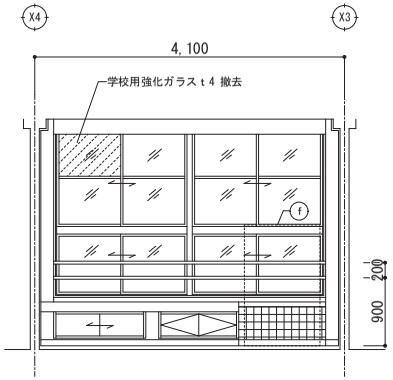
平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
理科室展開図（現況・撤去）			A２－６３
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			



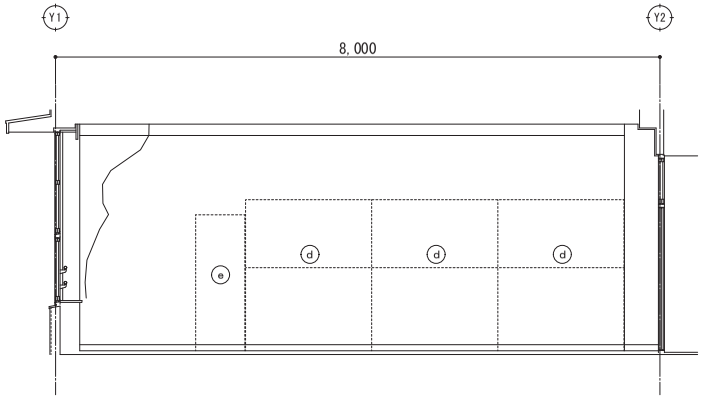
A面



B面



C面



D面

理科準備室展開図（現況・撤去）　1:50

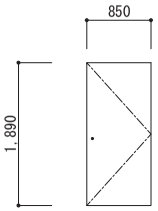
現況・撤去　凡例	
1	床：フローリングブロック t 15　一部撤去（下地モルタル共） 目地位置に沿ってカッター切りとする
2	人研流し台　撤去
3	教師用実験台　撤去　W2400 ＊ D900 ＊ H850
4	生徒用実験台　撤去　W2940 ＊ D800 ＊ H700
5	掲示板：クロス､押縁　撤去
6	木製片開き戸　撤去　W850 ＊ H1890
7	既存造作家具：扉撤去
8	木製掃除具入れ　撤去　W550 ＊ D500 ＊ H1930
9	水栓金具　撤去（機械設備）

造作家具リスト		
ア	木製戸棚	W1790 ＊ D600 ＊ H700 ＋ W1790 ＊ D400 ＊ H1200 扉撤去
イ	木製戸棚	W3580 ＊ D600 ＊ H700 ＋ W3580 ＊ D400 ＊ H1200 扉撤去
ウ	木製戸棚	W1240 ＊ D600 ＊ H700 ＋ W1240 ＊ D400 ＊ H1200 扉撤去
エ	木製戸棚	W6845 ＊ D490 ＊ H800 扉撤去
オ	木製戸棚	W4430 ＊ D560 ＊ H800
カ	木製戸棚	W1800 ＊ D760 ＊ H900 ＋ W1800 ＊ D500 ＊ H900 一時撤去

仮移動家具等リスト（特記なき限り工事完了後戻し）			
符号	名　称	規格（W*D*H）	箇所数
d	スチール棚	W1850 ＊ D450 ＊ H(1000+1000)	3
e	冷蔵庫	W650 ＊ D650 ＊ H1800	1
f	木製棚	W1000 ＊ D500 ＊ H1600	1
g	スチール棚	W880 ＊ D380 ＊ H1790	1
h	スチール棚	W550 ＊ D450 ＊ H760	1
i	スチールラック	W750 ＊ D500 ＊ H1390	1
j	作業机	W1800 ＊ D900 ＊ H700	1
k	カードケース	W530 ＊ D240 ＊ H880	1
l	スチール棚	上：W880 ＊ D400 ＊ H880 下：W900 ＊ D500 ＊ H900	1 1
m	スチール棚	上：W900 ＊ D330 ＊ H900 下：W900 ＊ D500 ＊ H900	1 1
n	アイスメーカー	W320 ＊ D400 ＊ H1510	1

※家具等の仮置き先は、監督職員の指示による。

理科室・理科準備室建具表（現況・撤去）　1:50

記号・名称・数量	WD 木製片開き戸	理科室～理科準備室	1
姿　図			
材質･仕上	シナベニヤフラッシュ　OP塗（枠共）		
見　込	36		
ガ ラ ス	ー		
金　物			
備　考			

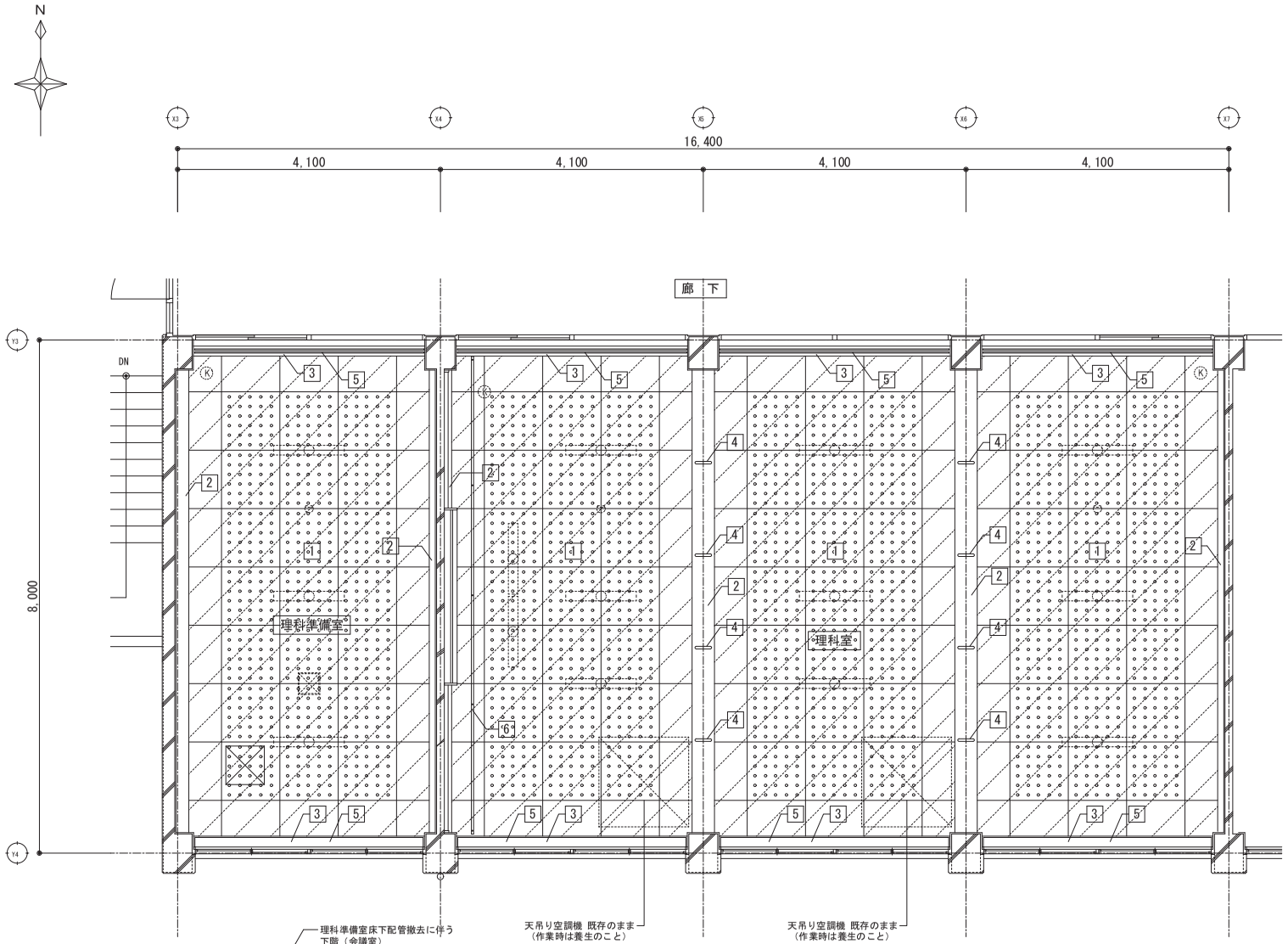
WD ･･･撤去木製建具を示す

･･･カッター切位置を示す

･･･撤去範囲を示す

※クラックはパテ処理の上､塗装仕上げとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
理科準備室展開図（現況・撤去）			A２－６４
D A T E	CHECKED BY.	DRAWN BY.	SCALE
			1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			



理科準備室下階（会議室）　天井伏図（現況・撤去）　1:50

－凡例－

・・・点検口600角を示す　撤去

・・・防犯センサーを示す（電気設備工事）

・・・照明器具を示す（電気設備工事）

・・・感知器を示す　（電気設備工事）

・・・スピーカーを示す（電気設備工事）

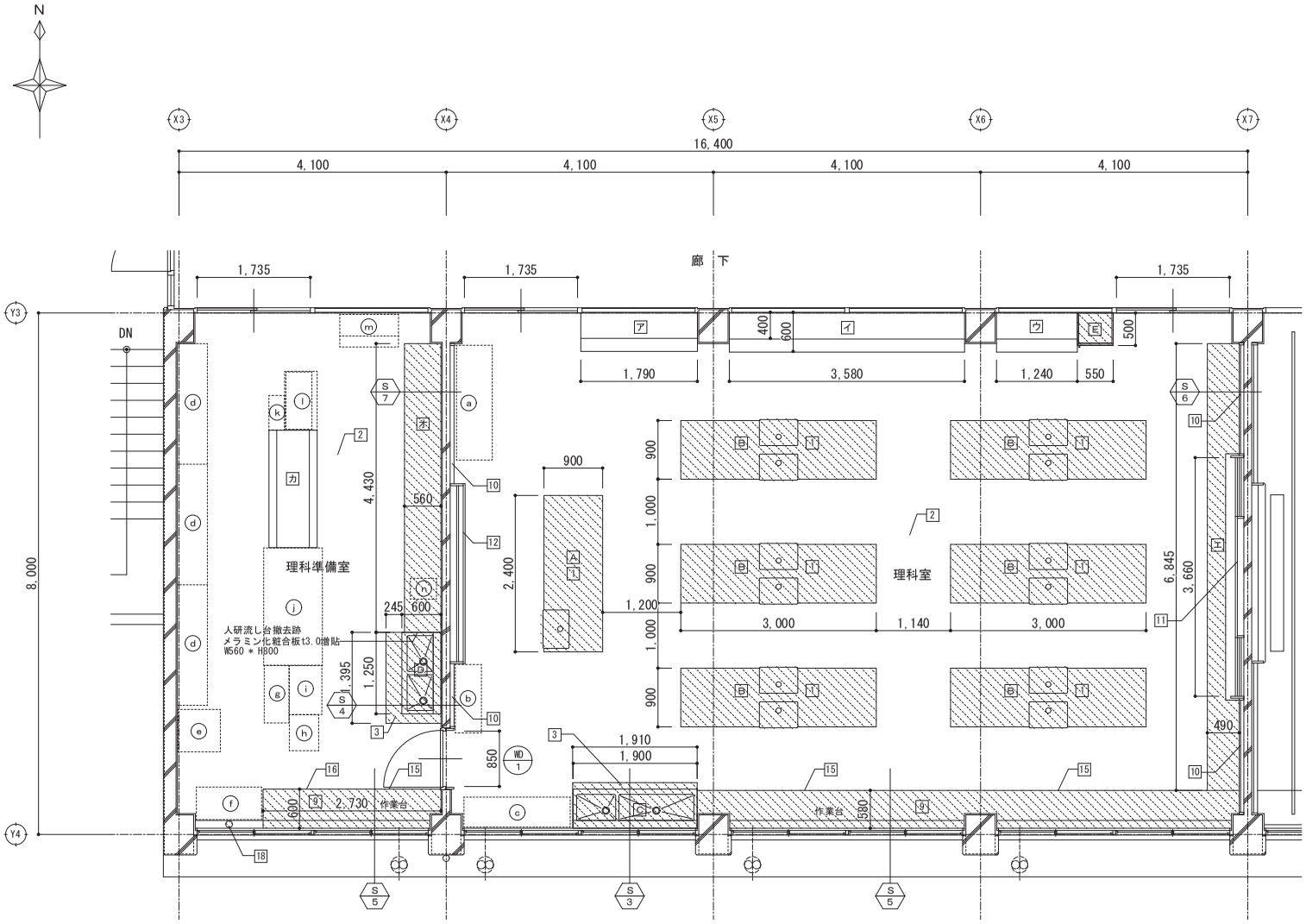
※ 空調機及び空調機冷媒管の移動等は不可とする。
※ 感知器及び防犯センサーは工事中来警戒にならない様にする事。
※ 天井は廻り縁共撤去する事。
※ カーテンフックは撤去する事。

	現況・撤去 凡例
1	天井：石膏ボードｔ9 底目張、廻り縁共　撤去（LGS下地存置）
2	モルタル塗りの上、EP-G塗
3	木製カーテンBox：SOP塗
4	鋼製吊りフック：SOP塗
5	カーテンレール　撤去
6	図表掛けパイプ SUSφ34

撤去範囲を示す。

有孔ボードを示す。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A2－65
理科室・理科準備室　天井伏図（現況・撤去）			
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			S=1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			



理科室・理科準備室平面詳細図（改修）　1:50

	改修・新設　凡例
1	床：フローリングブロックｔ15 ＵＣ(3回)塗 新設(下地モルタル共)
2	床：既存フローリングブロック､サンダー掛の上 ＵＣ(3回)塗 実験台撤去跡、家具一時撤去の部分を含む
3	床：モルタル塗下地、ビニル床シートｔ2　新設 既存床取合部：ＳＵＳ床見切りW=15 ＨＬ 新設
4	壁：モルタル補修の上、ＥＰ-Ｇ塗
5	既存壁・柱：モルタル下地調整の上、ＥＰ-Ｇ塗替
6	既存梁型：モルタル下地調整の上、ＥＰ-Ｇ塗替
7	巾木：木製巾木　H=80　ＳＯＰ塗　新設
8	既存木製巾木：H=80、下地調整の上、ＳＯＰ塗替
9	既存人研作業台の上､ケミサーフ板ｔ5　増貼　（目荒らしの上、凹部ﾓﾙﾀﾙ塗りのこと）
10	掲示板：クロス､押縁　新設
11	引分黒板：スチール製黒板（左右暗線入り）増貼
12	上下黒板：スチール製　新設（ﾚｰﾙ共）ﾏｸﾞﾈｯﾄ使用可ﾀｲﾌﾟ
13	黒板・掲示板：既存木製枠　下地調整の上、ＳＯＰ塗替
14	既存木製建具枠：下地調整の上、ＳＯＰ塗替
15	既存木製引違い戸：下地調整の上、ＳＯＰ塗替（枠共）
16	既存鉄製点検扉：下地調整の上、ＳＯＰ塗替（枠共）
17	カーテンボックス：下地調整の上、ＳＯＰ塗替
18	給水撤去跡、ﾓﾙﾀﾙ処理

	造作家具リスト（見え掛り面は全てSOP塗替、ガラス面クリーニング）	
ア	木製戸棚	W1790 * D600 * H700 + W1790 * D400 * H1200 扉SOP塗　新設（錠、引手、レール共）
イ	木製戸棚	W3580 * D600 * H700 + W3580 * D400 * H1200 扉SOP塗　新設（錠、引手、レール共）
ウ	木製戸棚	W1240 * D600 * H700 + W1240 * D400 * H1200 扉SOP塗　新設（錠、引手、レール共）
エ	木製戸棚	W6845 * D490 * H800 扉SOP塗　新設（錠、引手、レール共）、天板ケミサーフ板ｔ5 増貼
オ	木製戸棚	W4430 * D560 * H800 天板ケミサーフ板ｔ5 増貼
カ	木製戸棚	W1800 * D760 * H900 + W1800 * D500 * H900 復旧

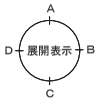
	造作家具リスト（新設）	
A	教師用実験台	W2400 * D900 * H850
B	生徒用実験台	W3000 * D900 * H760
C	SUS製流し台	W1900 * D600 * H870
D	SUS製流し台	W1250 * D600 * H870
E	木製掃除用具入れ	W550 * D500 * H1930

	仮移動家具等　戻しリスト		
符号	名　称	規格（W*D*H）	箇所数
a	スチール棚	W1760 * D550 * H(1000+845)	1
b	スチール棚	W1050 * D400 * H900	1
c	作業台	W1630 * D460 * H590	1
d	スチール棚	W1850 * D450 * H(1000+1000)	3
e	冷蔵庫	W650 * D650 * H1800	1
f	木製棚	W1000 * D500 * H1600	1
g	スチール棚	W880 * D380 * H1790	1
h	スチール棚	W550 * D450 * H760	1
i	スチールラック	W750 * D500 * H1390	1
j	作業机	W1800 * D900 * H700	1
k	カードケース	W530 * D240 * H880	1
l	スチール棚	上：W880 * D400 * H880 下：W900 * D500 * H900	1 1
m	スチール棚	上：W900 * D330 * H900 下：W900 * D500 * H900	1 1
n	アイスメーカー	W320 * D400 * H1510	1

S ※　…詳細図番号を示す

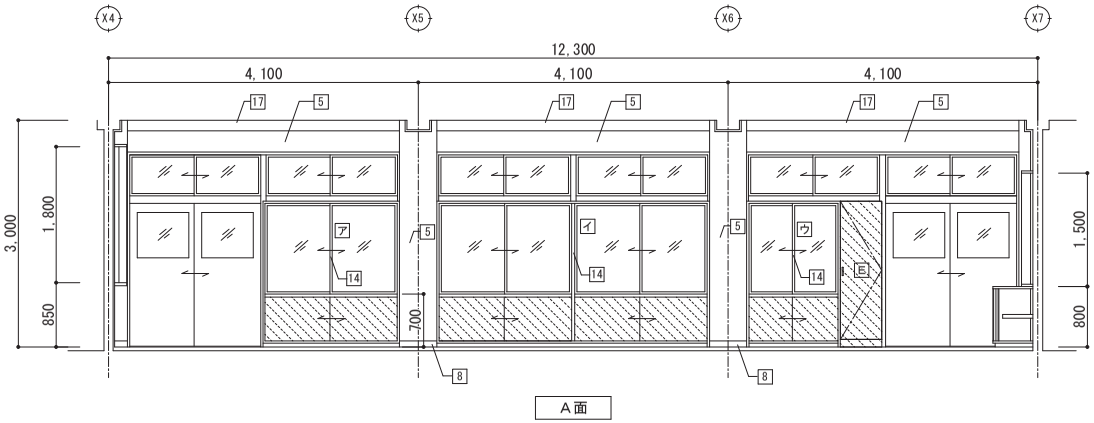
WD ※　…新設建具を示す

…新設範囲を示す

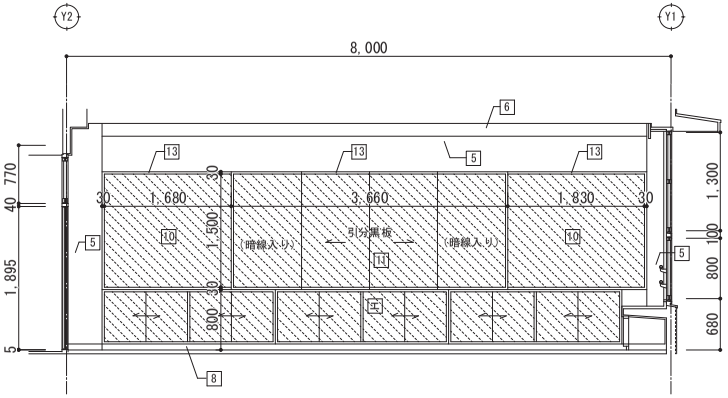


※クラックはパテ処理の上､塗装仕上げとする。
※人研流し台撤去跡の壁面等は、モルタル補修の上 EP-G塗とする。
※内外壁建具は､サッシ及びガラス共クリーニング(両面)とする。

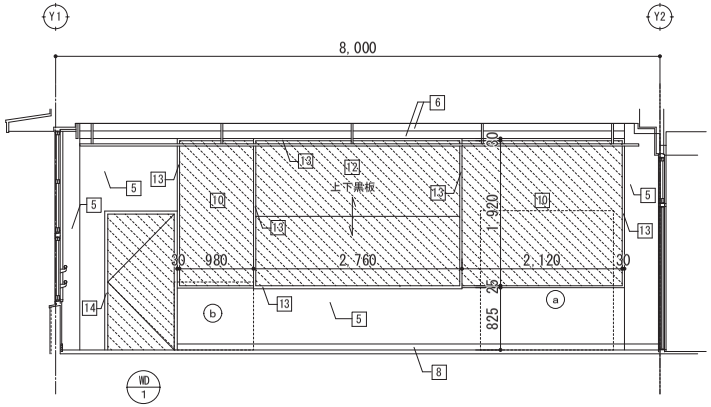
平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A２－６６
理科室・理科準備室平面詳細図（改修）			
D A T E	CHECKED BY.	DRAWN BY.	SCALE
			1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			



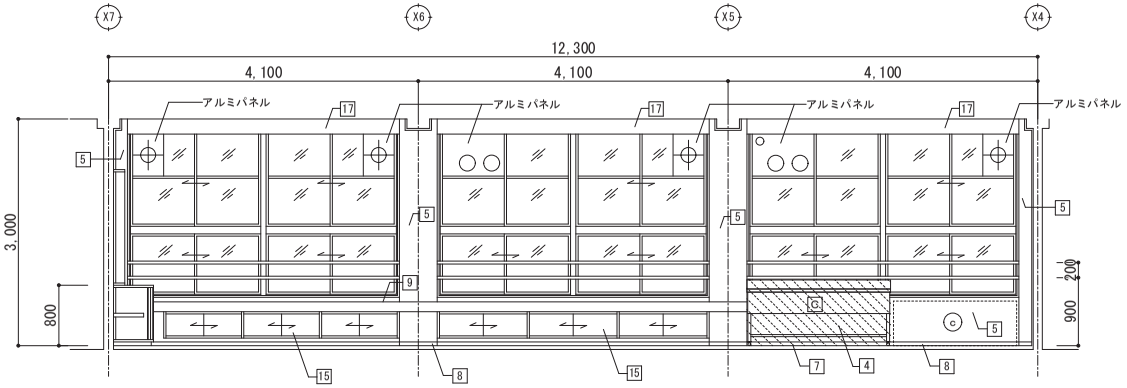
A面



B面



D面



C面

理科室展開図（改修）　1:50

	改修・新設　凡例
1	床：フローリングブロック t15 UC(3回)塗 新設(下地モルタル共)
2	床：既存フローリングブロック、サンダー掛の上 UC(3回)塗 実験台撤去跡、家具一時撤去の部分を含む
3	床：モルタル塗下地、ビニル床シート t2　新設 既存床取合部：SUS床見切りW=15 HL 新設
4	壁：モルタル補修の上、EP-G塗
5	既存壁・柱：モルタル下地調整の上、EP-G塗替
6	既存梁型：モルタル下地調整の上、EP-G塗替
7	巾木：木製巾木　H=80　SOP塗　新設
8	既存木製巾木：H=80、下地調整の上、SOP塗替
9	既存人研作業台の上,ケミサーフ板 t5　増貼　(目荒らしの上、凹部ｴﾎﾟｼﾊﾟﾃ塗りのこと)
10	掲示板：クロス、押縁　新設
11	引分黒板：スチール製黒板（左右暗線入り）増貼
12	上下黒板：スチール製　新設（ﾚｰﾙ共）ﾏｸﾞﾈｯﾄ使用可ﾀｲﾌﾟ
13	黒板・掲示板：既存木製枠　下地調整の上、SOP塗替
14	既存木製建具枠：下地調整の上、SOP塗替
15	既存木製引違い戸：下地調整の上、SOP塗替（枠共）
16	既存鉄製点検扉：下地調整の上、SOP塗替（枠共）
17	カーテンボックス：下地調整の上、SOP塗替
18	給水撤去跡、ﾓﾙﾀﾙ処理

	造作家具リスト（見え掛り面は全てSOP塗替、ガラス面クリーニング）	
ア	木製戸棚	W1790 * D600 * H700 + W1790 * D400 * H1200 扉SOP塗　新設（錠、引手、レール共）
イ	木製戸棚	W3580 * D600 * H700 + W3580 * D400 * H1200 扉SOP塗　新設（錠、引手、レール共）
ウ	木製戸棚	W1240 * D600 * H700 + W1240 * D400 * H1200 扉SOP塗　新設（錠、引手、レール共）
エ	木製戸棚	W6845 * D490 * H800 扉SOP塗　新設（錠、引手、レール共）、天板ケミサーフ板 t5 増貼
オ	木製戸棚	W4430 * D560 * H800 天板ケミサーフ板 t5 増貼
カ	木製戸棚	W1800 * D760 * H900 + W1800 * D500 * H900 復旧

	造作家具リスト（新設）	
A	教師用実験台	W2400 * D900 * H850
B	生徒用実験台	W3000 * D900 * H760
C	SUS製流し台	W1900 * D600 * H870
D	SUS製流し台	W1250 * D600 * H870
E	木製掃除用具入れ	W550 * D500 * H1930

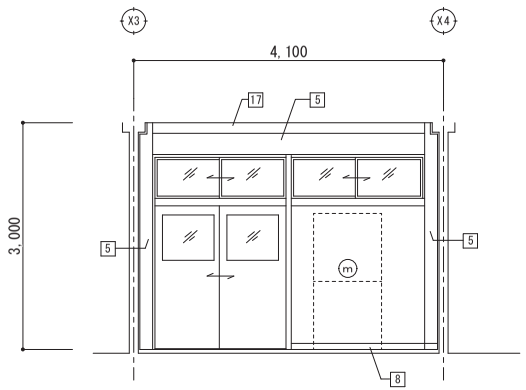
	仮移動家具等　戻しリスト		
符号	名　称	規格（W*D*H）	箇所数
a	スチール棚	W1760 * D550 * H(1000+845)	1
b	スチール棚	W1050 * D400 * H900	1
c	作業台	W1630 * D460 * H590	1

WD ※ ･･･新設建具を示す

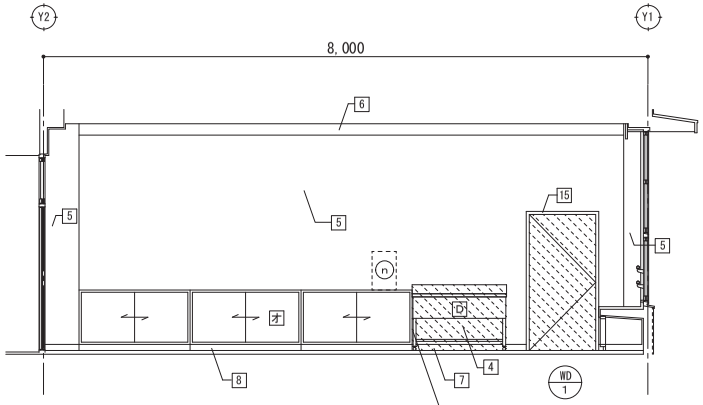
･･･新設範囲を示す

※クラックはパテ処理の上,塗装仕上げとする。
※人研流し台撤去跡の壁面等は、モルタル補修の上 EP-G塗とする。
※内外壁建具は、サッシ及びガラス共クリーニング(両面)とする。

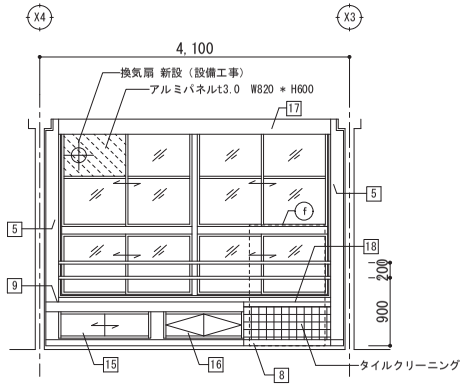
平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A２－６７
理科室展開図（改修）			
DATE	CHECKED BY.	DRAWN BY.	SCALE
			1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			



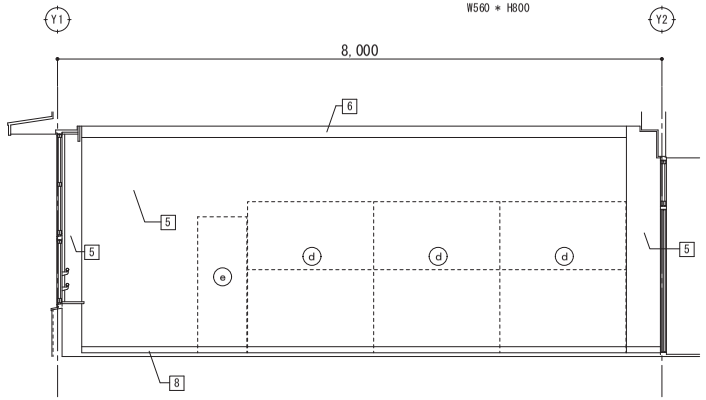
A面



B面



C面



D面

理科準備室展開図（改修） 1:50

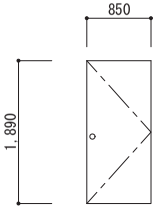
	改修・新設　凡例
1	床：フローリングブロックｔ15 ＵＣ(3回)塗 新設(下地モルタル共)
2	床：既存フローリングブロック､サンダー掛の上 ＵＣ(3回)塗 実験台撤去跡、家具一時撤去の部分を含む
3	床：モルタル塗下地、ビニル床シートｔ2 新設 既存床取合部：ＳＵＳ床見切りW=15 ＨＬ 新設
4	壁：モルタル補修の上、ＥＰ-Ｇ塗
5	既存壁・柱：モルタル下地調整の上、ＥＰ-Ｇ塗替
6	既存梁型：モルタル下地調整の上、ＥＰ-Ｇ塗替
7	巾木：木製巾木 H=80 ＳＯＰ塗 新設
8	既存木製巾木：H=80、下地調整の上、ＳＯＰ塗替
9	既存人研作業台の上､ケミサーフ板ｔ5 増貼 （目荒らしの上、凹部ﾓﾙﾀﾙ塗りのこと）
10	掲示板：クロス､押縁 新設
11	引分黒板：スチール製黒板（左右暗線入り）増貼
12	上下黒板：スチール製ボード増貼
13	黒板・掲示板：既存木製枠 下地調整の上、ＳＯＰ塗替
14	既存木製建具枠：下地調整の上、ＳＯＰ塗替
15	既存木製引違い戸：下地調整の上、ＳＯＰ塗替（枠共）
16	既存鉄製点検扉：下地調整の上、ＳＯＰ塗替（枠共）
17	カーテンボックス：下地調整の上、ＳＯＰ塗替
18	給水撤去跡、ﾓﾙﾀﾙ処理

	造作家具リスト（見え掛り面は全てSOP塗替、ガラス面クリーニング）	
ア	木製戸棚	W1790 ＊ D600 ＊ H700 + W1790 ＊ D400 ＊ H1200 扉SOP塗 新設（錠、引手、レール共）
イ	木製戸棚	W3580 ＊ D600 ＊ H700 + W3580 ＊ D400 ＊ H1200 扉SOP塗 新設（錠、引手、レール共）
ウ	木製戸棚	W1240 ＊ D600 ＊ H700 + W1240 ＊ D400 ＊ H1200 扉SOP塗 新設（錠、引手、レール共）
エ	木製戸棚	W6845 ＊ D490 ＊ H800 扉SOP塗 新設（錠、引手、レール共）、天板ケミサーフ板ｔ5 増貼
オ	木製戸棚	W4430 ＊ D560 ＊ H800 天板ケミサーフ板ｔ5 増貼
カ	木製戸棚	W1800 ＊ D760 ＊ H900 + W1800 ＊ D500 ＊ H900 復旧

	造作家具リスト（新設）	
A	教師用実験台	W2400 ＊ D900 ＊ H850
B	生徒用実験台	W3000 ＊ D900 ＊ H760
C	SUS製流し台	W1900 ＊ D600 ＊ H870
D	SUS製流し台	W1250 ＊ D600 ＊ H870
E	木製掃除用具入れ	W550 ＊ D500 ＊ H1930

	仮移動家具等 戻しリスト		
符号	名 称	規格 (W*D*H)	箇所数
a	スチール棚	W1760 ＊ D550 ＊ H(1000+845)	1
b	スチール棚	W1050 ＊ D400 ＊ H900	1
c	作業台	W1630 ＊ D460 ＊ H590	1

理科室・理科準備室建具表（改修） 1:50

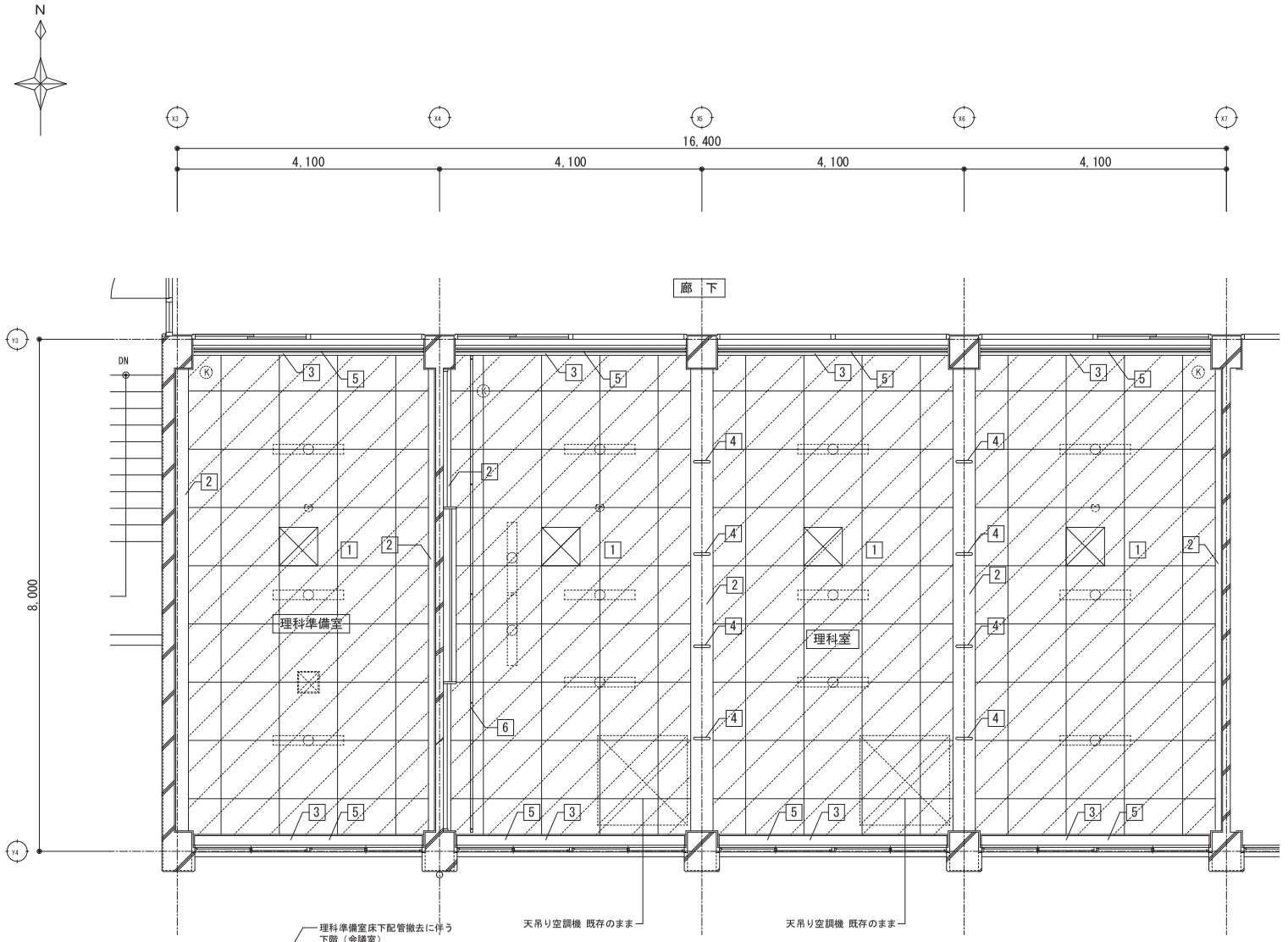
記号・名称・数量	WD 1 木製片開き戸	理科室～理科準備室	1
姿 図			
材質･仕上	シナベニヤフラッシュ SOP塗（枠共）		
見 込	36		
ガ ラ ス	ー		
金 物	シリンダー錠、ＳＵＳ握り玉、ドアクローザー、丁番、戸当り、その他付属金物一式		
備 考			

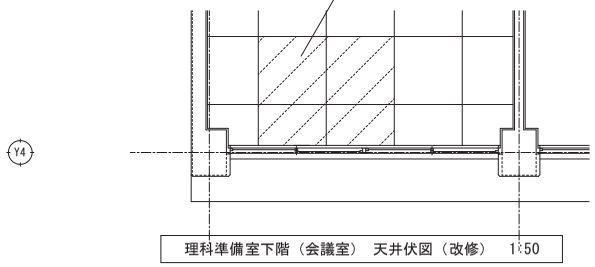
WD ※ ･･･新設建具を示す

･･･新設範囲を示す

※クラックはパテ処理の上､塗装仕上げとする。
※人研流し台撤去跡の壁面等は､モルタル補修の上 EP-G塗とする。
※内外壁建具は､サッシ及びガラス共クリーニング(両面)とする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A２－６８
理科準備室展開図（改修）			
D A T E	CHECKED BY.	DRAWN BY.	SCALE
			1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			





理科準備室下階（会議室）　天井伏図（改修）　1:50

－凡例－

・・・点検口600角を示す 新設（開口補強共）

・・・防犯センサーを示す（電気設備工事）

・・・照明器具を示す（電気設備工事）

・・・感知器を示す　（電気設備工事）

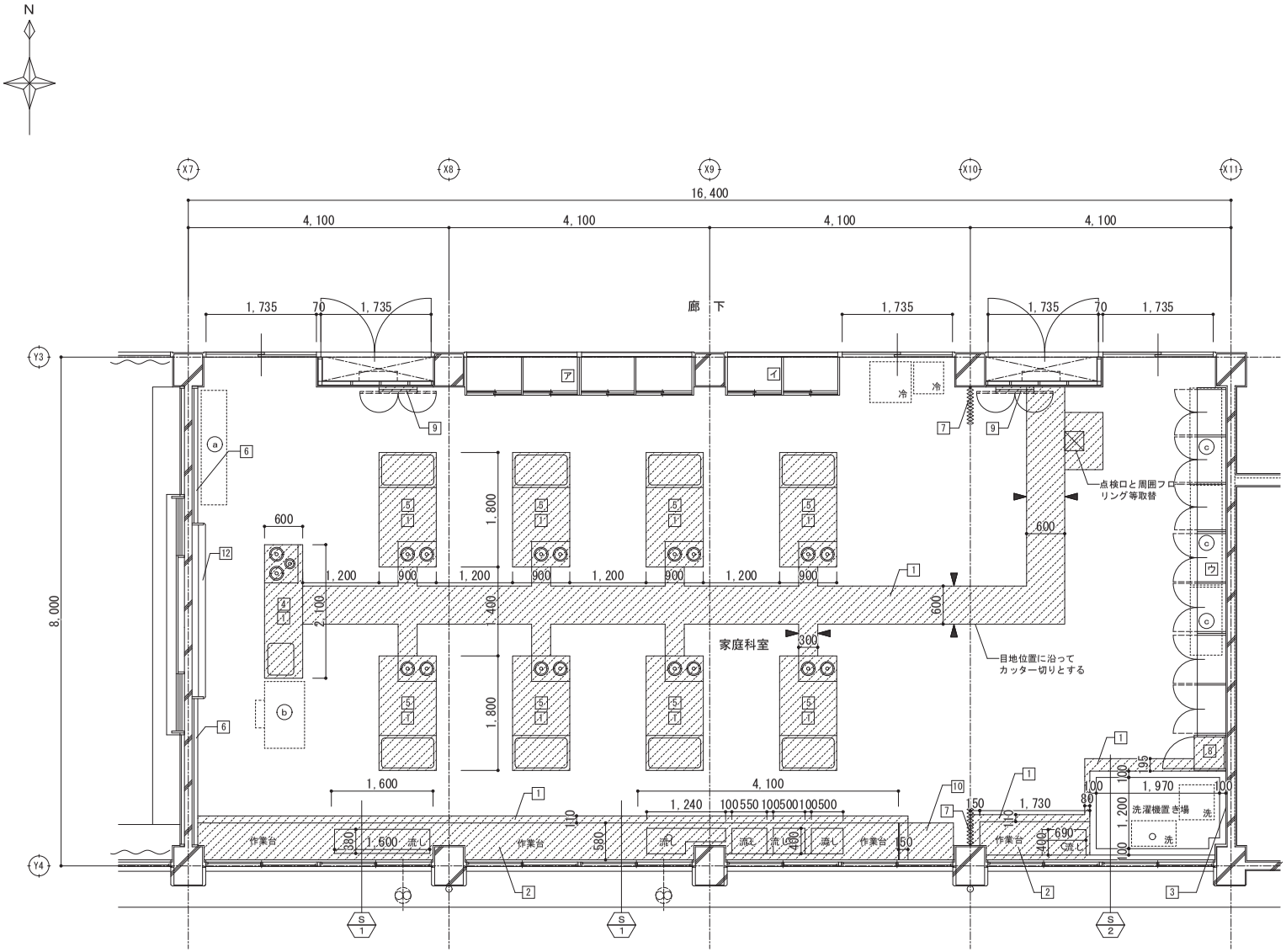
・・・スピーカーを示す（電気設備工事）

※ 空調機及び空調機冷媒管の移動等は不可とする。
※ 感知器及び防犯センサーは工事中未警戒にならない様にする事。
※ 新設塩ビ廻縁形状は ⌐¬ とする。
※ カーテンフックは新設する事。
※ 点検口位置については、監督員と協議の上決定すること。

	新設　凡例
1	天井：化粧石膏ボードｔ9.5　廻り縁共　新設
2	既存モルタル面：下地調整の上,EP-G塗替
3	既存木製カーテンBox：下地調整の上,SOP塗替
4	鋼製吊りフック：下地調整の上,SOP塗替
5	カーテンレール　新設
6	図表掛けパイプ SUSφ34：クリーニング（吊り金物共）

新設範囲を示す。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
理科室・理科準備室　天井伏図（改修）			A2－69
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			S=1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			



家庭科室平面詳細図（現況・撤去）　1:50

	現況・撤去　凡例
1	床：フローリングブロックｔ15　一部撤去（下地モルタル共）
2	人研流し台及び作業台　撤去
3	壁：タイル貼り　一部撤去
4	教師用調理台　撤去　W2100 ＊ D600 ＊ H800
5	生徒用調理台　撤去　W1800 ＊ D900 ＊ H700
6	掲示板：クロス､押縁　撤去
7	アコーディオンドア　撤去（枠、レール共）H=2700
8	木製掃除用具入れ　撤去　W550 ＊ D500 ＊ H2000
9	木製三面鏡　撤去　W660 ＊ H1560
10	木製物入れ　撤去　W850 ＊ D540 ＊ H1250
11	カーテンレール　撤去
12	上下黒板　撤去（ﾚｰﾙ共）

	造作家具リスト	
ア	木製戸棚	W3580 ＊ D600 ＊ H(975+950)
イ	木製戸棚	W1790 ＊ D600 ＊ H(975+950)
ウ	木製戸棚	W5460 ＊ D460 ＊ H2000

仮移動家具等リスト（特記なき限り工事完了後戻し）

符号	名　称	規格（W*D*H）	箇所数
a	木製食器棚	W1800 ＊ D400 ＊ H(900+900)	1
b	鋼製机	W1050 ＊ D630 ＊ H740	1
c	ミシン台	W(1510､1570､1070) ＊ D500 ＊ H520	各1
冷	冷蔵庫	大：W650 ＊ D640 ＊ H1800 小：W470 ＊ D500 ＊ H1120	1 1
洗	洗濯機	全自動：W550 ＊ D550 ＊ H850 二層式：W700 ＊ D400 ＊ H850	1 1
	丸イス		38

※家具等の仮置き先は、監督職員の指示による。

▼…カッター切位置を示す

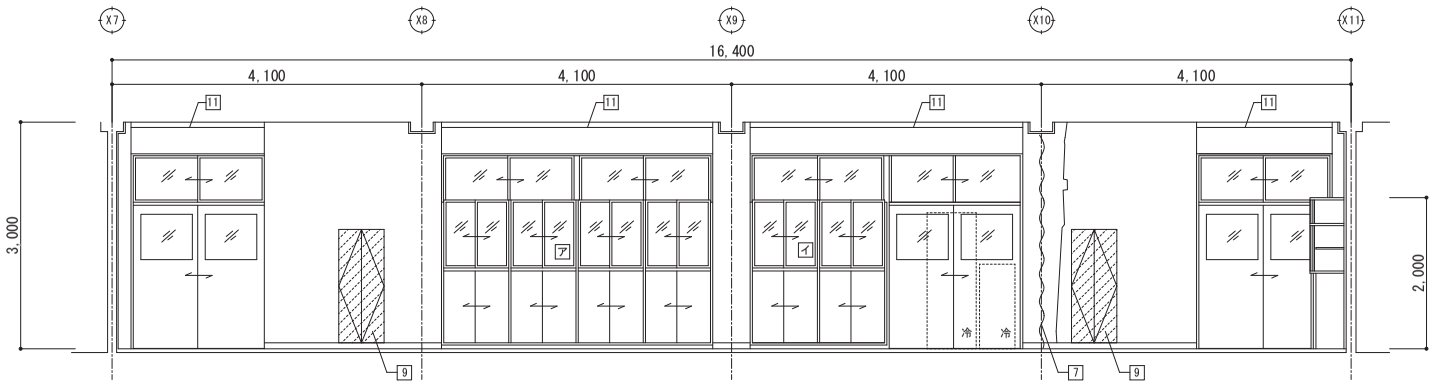
S ※ …詳細図番号を示す

…撤去範囲を示す

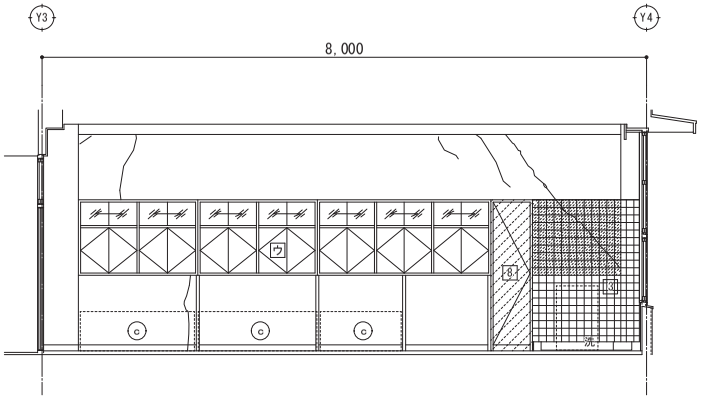
A 展開表示 B C D

※クラックはパテ処理の上､塗装仕上げとする。

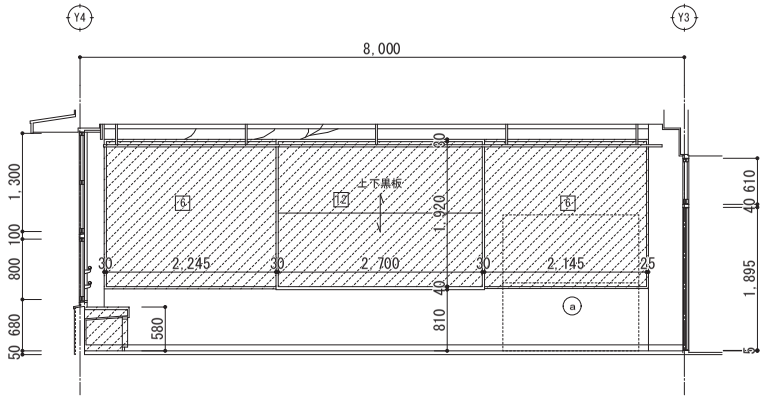
平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A３－７０
家庭科室平面詳細図（現況・撤去）			
D A T E	CHECKED BY.	DRAWN BY.	SCALE
			1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			



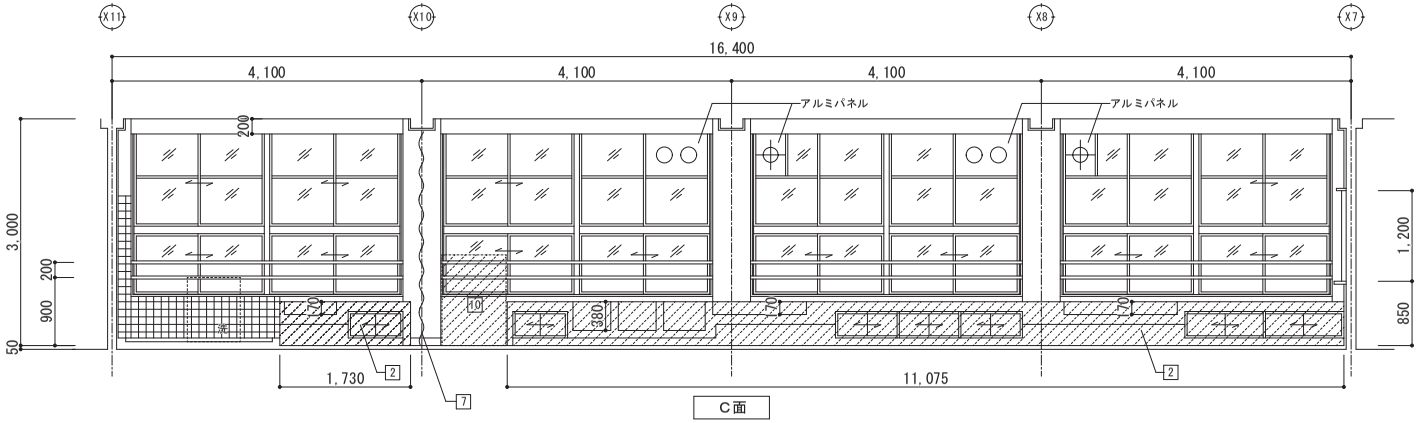
A面



B面



D面



C面

家庭科室展開図（現況・撤去）　1:50

	現況・撤去　凡例
1	床：フローリングブロック t 15　一部撤去（下地モルタル共）
2	人研流し台及び作業台　撤去
3	壁：タイル貼り　一部撤去
4	教師用調理台　撤去　W2100 ＊ D600 ＊ H800
5	生徒用調理台　撤去　W1800 ＊ D900 ＊ H700
6	掲示板：クロス､押縁　撤去
7	アコーディオンドア　撤去（枠、レール共）H=2700
8	木製掃除用具入れ　撤去　W550 ＊ D500 ＊ H2000
9	木製三面鏡　撤去　W660 ＊ H1560
10	木製物入れ　撤去　W850 ＊ D540 ＊ H1250
11	カーテンレール　撤去
12	上下黒板　撤去（レール共）

	造作家具リスト	
ア	木製戸棚	W3580 ＊ D600 ＊ H(975+950)
イ	木製戸棚	W1790 ＊ D600 ＊ H(975+950)
ウ	木製戸棚	W5460 ＊ D460 ＊ H2000

仮移動家具等リスト（特記なき限り工事完了後戻し）

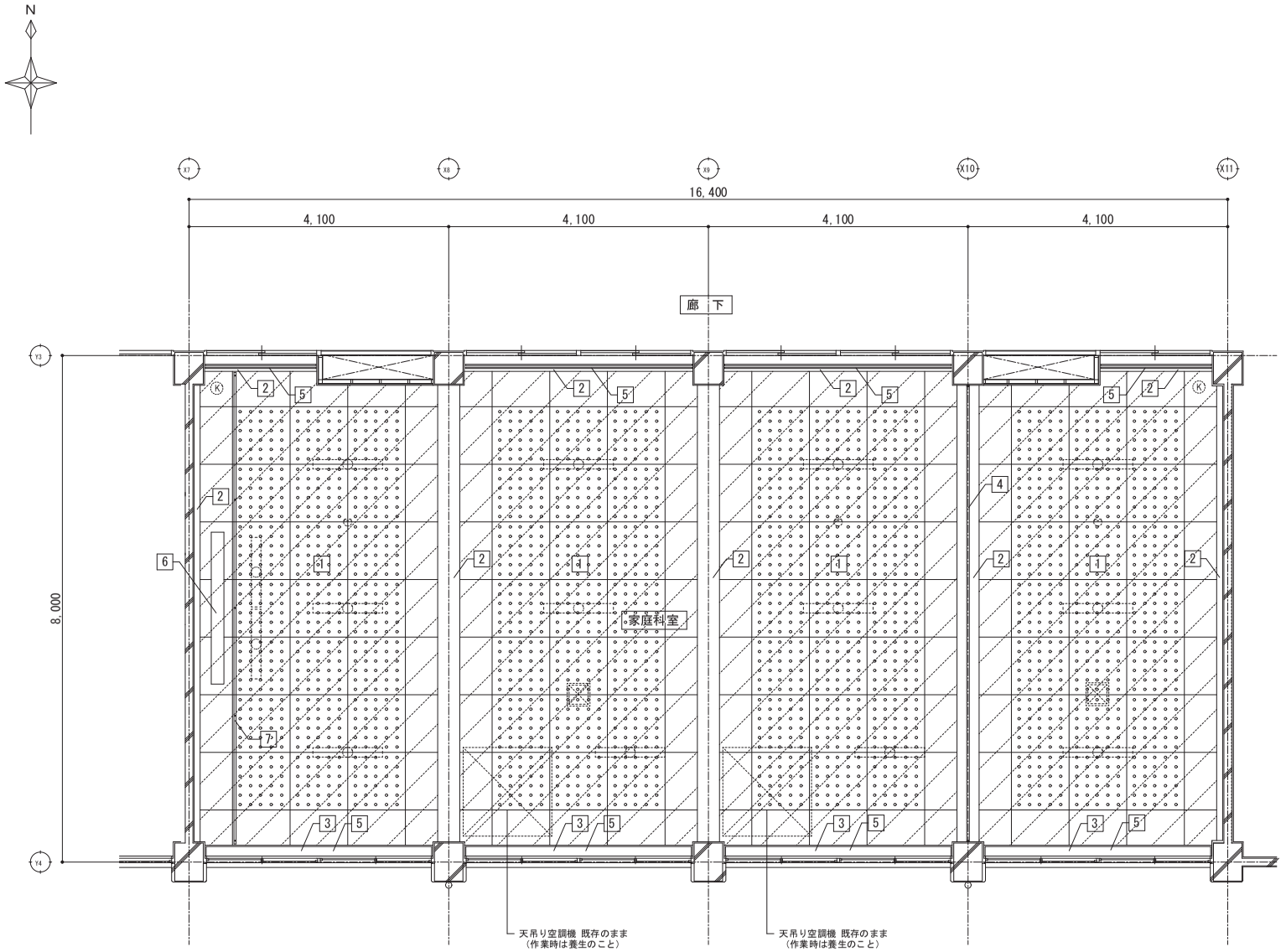
符号	名　称	規格（W*D*H）	箇所数
a	木製食器棚	W1800 ＊ D400 ＊ H(900+900)	1
b	鋼製机	W1050 ＊ D630 ＊ H740	1
c	ミシン台	W(1510､1570､1070) ＊ D500 ＊ H520	各1
冷	冷蔵庫	大：W650 ＊ D640 ＊ H1800 小：W470 ＊ D500 ＊ H1120	1 1
洗	洗濯機	全自動：W550 ＊ D550 ＊ H850 二層式：W700 ＊ D400 ＊ H850	1 1
	丸イス		38

※家具等の仮置き先は、監督職員の指示による。

･･･撤去範囲を示す

※クラックはパテ処理の上､塗装仕上げとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事		No. A３－７１
家庭科室展開図（現況・撤去）		
D A T E	CHECKED BY.	DRAWN BY.
枚方市教育委員会教育環境整備室		SCALE 1/50



－凡例－

Ⓚ　・・・防犯センサーを示す（電気設備工事）

・・・照明器具を示す（電気設備工事）

・・・感知器を示す　（電気設備工事）

・・・スピーカーを示す（電気設備工事）

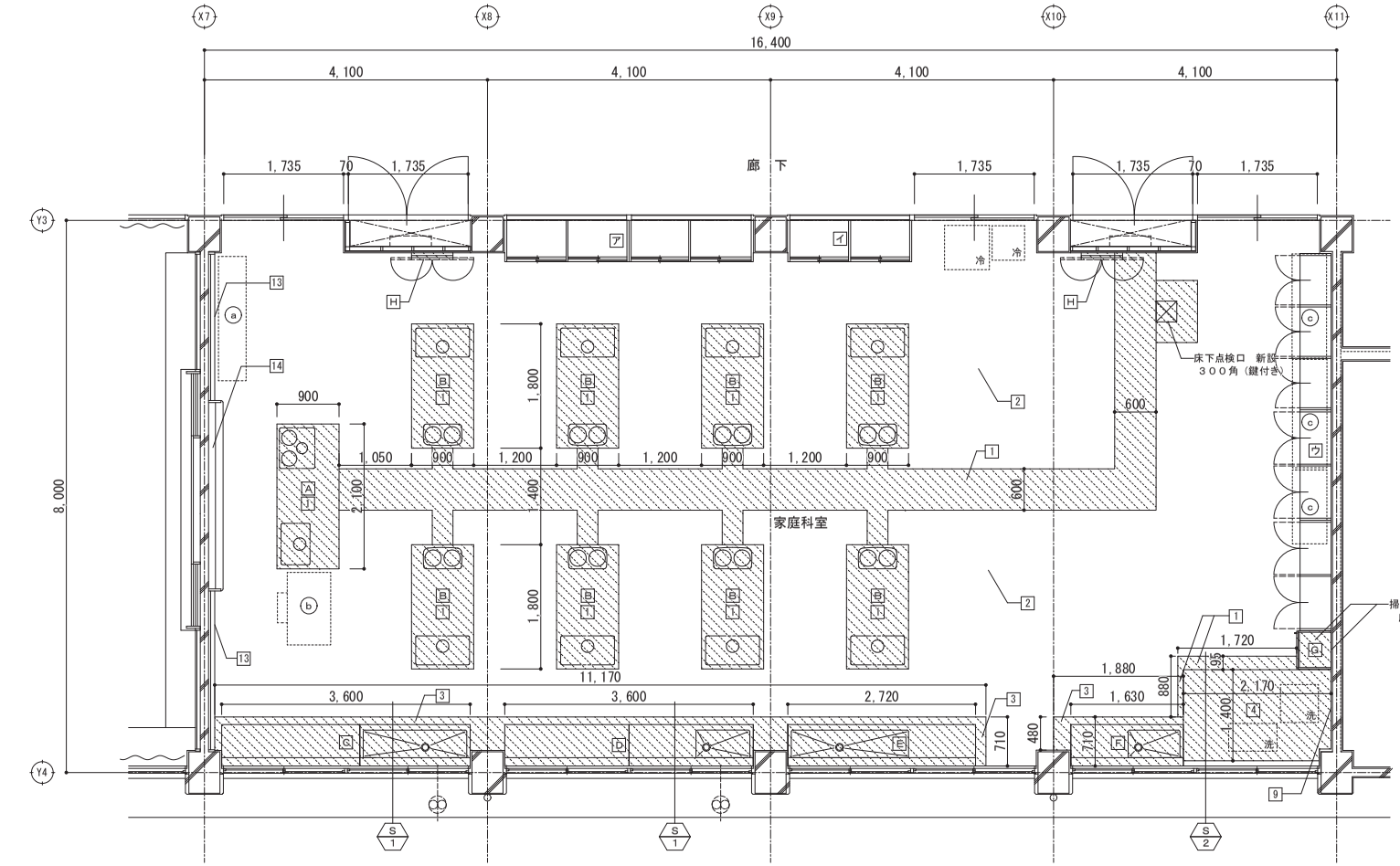
※ 空調機及び空調機冷媒管の移動等は不可とする。
※ 感知器及び防犯センサーは工事中未警戒にならない様にする事。
※ 天井は廻り縁共撤去する事。
※ カーテンフックは撤去する事。

	現況・撤去 凡例
1	天井：石膏ボード t 9 底目張、廻り縁共　撤去 (LGS下地存置)
2	モルタル塗りの上、EP-G塗
3	木製カーテンBox：SOP塗
4	アコーディオンドア：枠、レール共　撤去　H=2700
5	カーテンレール　撤去
6	天井付けスクリーン：一時撤去(吊り金物・木製Box共)
7	図表掛けパイプ SUSφ34

撤去範囲を示す。

有孔ボードを示す。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A３－７２
家庭科室・家庭科準備室　天井伏図（現況・撤去）			
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	S C A L E
			S=1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			



家庭科室平面詳細図（改修）　1:50

	改修・新設　凡例
1	床：フローリングブロックｔ15　ＵＣ(3回)塗 新設(下地モルタル共)
2	床：既存フローリングブロック、サンダー掛の上　ＵＣ(3回)塗 家具一時撤去の部分を含む
3	床：モルタル塗下地、ビニル床シートｔ2　新設 既存床取合部：ＳＵＳ床見切りW=15　ＨＬ　新設
4	洗濯機置場：既存床タイル貼の上、二重床下地 ビニル床シートｔ2
5	壁：モルタル補修の上、ＥＰ-Ｇ塗
6	既存壁・柱：モルタル下地調整の上、ＥＰ-Ｇ塗替
7	既存壁：シナ合板下地調整の上、ＳＯＰ塗替
8	既存梁型：モルタル下地調整の上、ＥＰ-Ｇ塗替
9	壁：カラータイル100角貼り、既存面クリーニング
10	巾木：木製巾木　H=80　ＳＯＰ塗　新設
11	既存木製巾木：H=80、下地調整の上、ＳＯＰ塗替
12	アコーディオンドア撤去跡、モルタル下地補修の上、ＥＰ-Ｇ塗 W=40
13	掲示板：クロス、押縁　新設
14	上下ホワイトボード　新設（ﾚｰﾙ、白板消し共）ﾏｸﾞﾈｯﾄ使用可ﾀｲﾌﾟ
15	黒板・掲示板：既存木製枠　下地調整の上、ＳＯＰ塗替
16	既存木製建具枠：下地調整の上、ＳＯＰ塗替
17	カーテンボックス：下地調整の上、ＳＯＰ塗替(カーテンレール新設)

	造作家具リスト（見え掛り面は全てSOP塗替、ガラス面クリーニング）
ア	木製戸棚　W3580 ＊ D600 ＊ H(975+950)
イ	木製戸棚　W1790 ＊ D600 ＊ H(975+950)
ウ	木製戸棚　W5460 ＊ D460 ＊ H2000

	造作家具リスト（新設）
A	教師用調理台　W2100 ＊ D900 ＊ H800
B	生徒用調理台　W1800 ＊ D900 ＊ H750
C	SUS製流し台　W3600 ＊ D600 ＊ H870
D	SUS製流し台　W3600 ＊ D600 ＊ H870
E	SUS製流し台　W2720 ＊ D600 ＊ H870
F	SUS製流し台　W1630 ＊ D600 ＊ H870
G	木製掃除用具入れ W550 ＊ D500 ＊ H2000
H	木製三面鏡　W660 ＊ D80 ＊ H1560

	仮移動家具等　戻しリスト		
符号	名　称	規格（W*D*H）	箇所数
a	木製食器棚	W1800 ＊ D400 ＊ H(900+900)	1
b	鋼製机	W1050 ＊ D630 ＊ H740	1
c	ミシン台	W(1510,1570,1070) ＊ D500 ＊ H520	各1
冷	冷蔵庫	大：W650 ＊ D640 ＊ H1800 小：W470 ＊ D500 ＊ H1120	1 1
洗	洗濯機	全自動：W550 ＊ D550 ＊ H850 二層式：W700 ＊ D400 ＊ H850	1 1
	丸イス		38

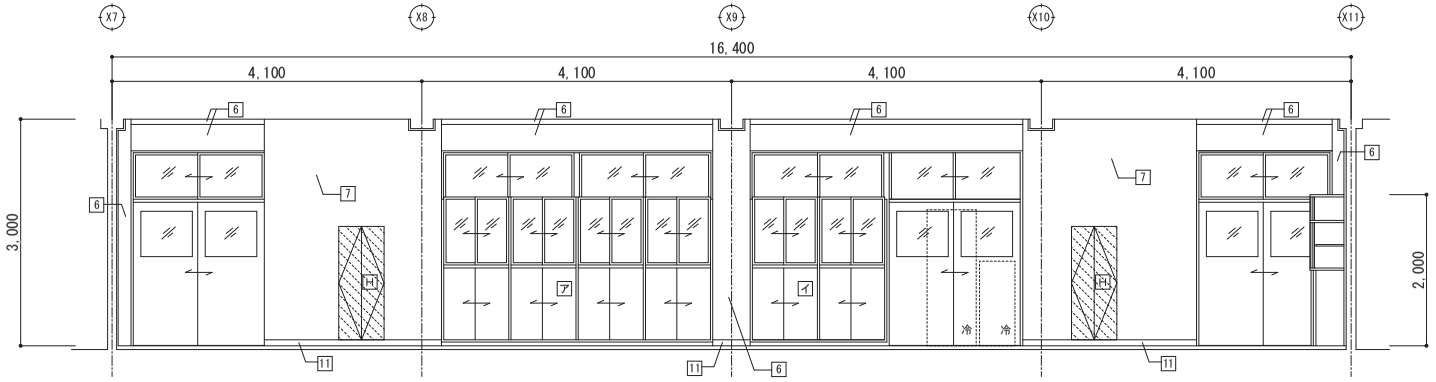
S ※　・・・詳細図番号を示す

・・・新設範囲を示す

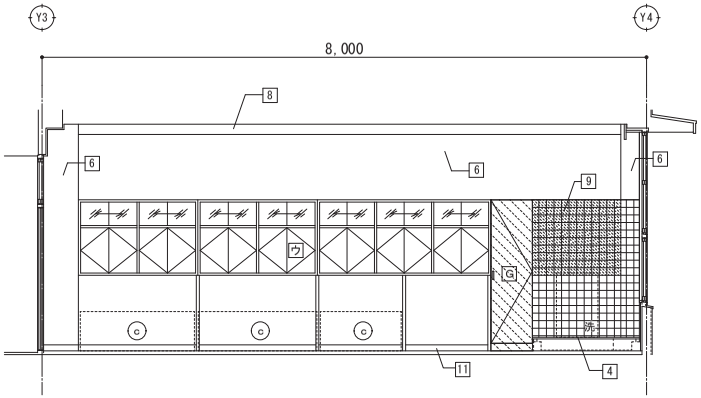
A
D 展開表示 B
C

※クラックはパテ処理の上,塗装仕上げとする。
※人研流し台撤去跡の壁面等は、モルタル補修の上 EP-G塗とする。
※内外壁建具は、サッシ及びガラス共クリーニング(両面)とする。

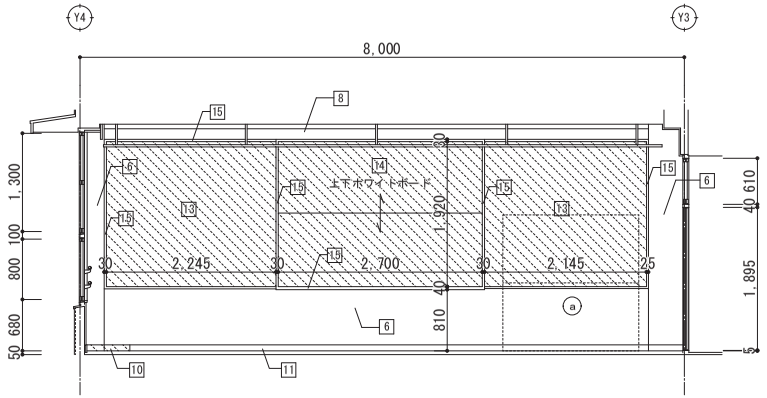
平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A３－７３
家庭科室平面詳細図（改修）			
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			



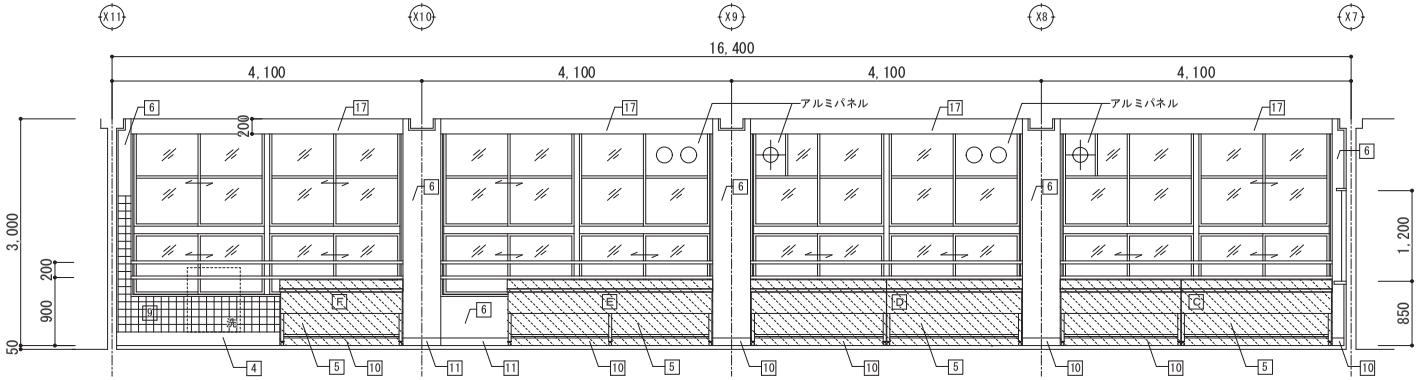
A面



B面



D面



C面

家庭科室展開図（改修）　1:50

	改修・新設　凡例
1	床：フローリングブロック t 15　UC(3回)塗 新設(下地モルタル共)
2	床：既存フローリングブロック、サンダー掛の上　UC(3回)塗 家具一時撤去の部分を含む
3	床：モルタル塗下地、ビニル床シート t 2　新設 既存床取合部：SUS床見切りW=15　HL　新設
4	洗濯機置場：既存床タイル貼の上、二重床下地　ビニル床シート t 2
5	壁：モルタル補修の上、EP-G塗
6	既存壁・柱：モルタル下地調整の上、EP-G塗替
7	既存壁：シナ合板下地調整の上、SOP塗替
8	既存梁型：モルタル下地調整の上、EP-G塗替
9	壁：カラータイル100角貼り、既存面クリーニング
10	巾木：木製巾木　H=80　SOP塗　新設
11	既存木製巾木：H=80、下地調整の上、SOP塗替
12	アコーディオンドア撤去跡、モルタル下地補修の上、EP-G塗 W=40
13	掲示板：クロス、押縁　新設
14	上下ホワイトボード　新設（レール、白板消し共）ﾏｸﾞﾈｯﾄ使用可ﾀｲﾌﾟ
15	黒板・掲示板：既存木製枠　下地調整の上、SOP塗替
16	既存木製建具枠：下地調整の上、SOP塗替
17	カーテンボックス：下地調整の上、SOP塗替(カーテンレール新設)

	造作家具リスト（見え掛り面は全てSOP塗替、ガラス面クリーニング）	
ア	木製戸棚	W3580 * D600 * H(975+950)
イ	木製戸棚	W1790 * D600 * H(975+950)
ウ	木製戸棚	W5460 * D460 * H2000

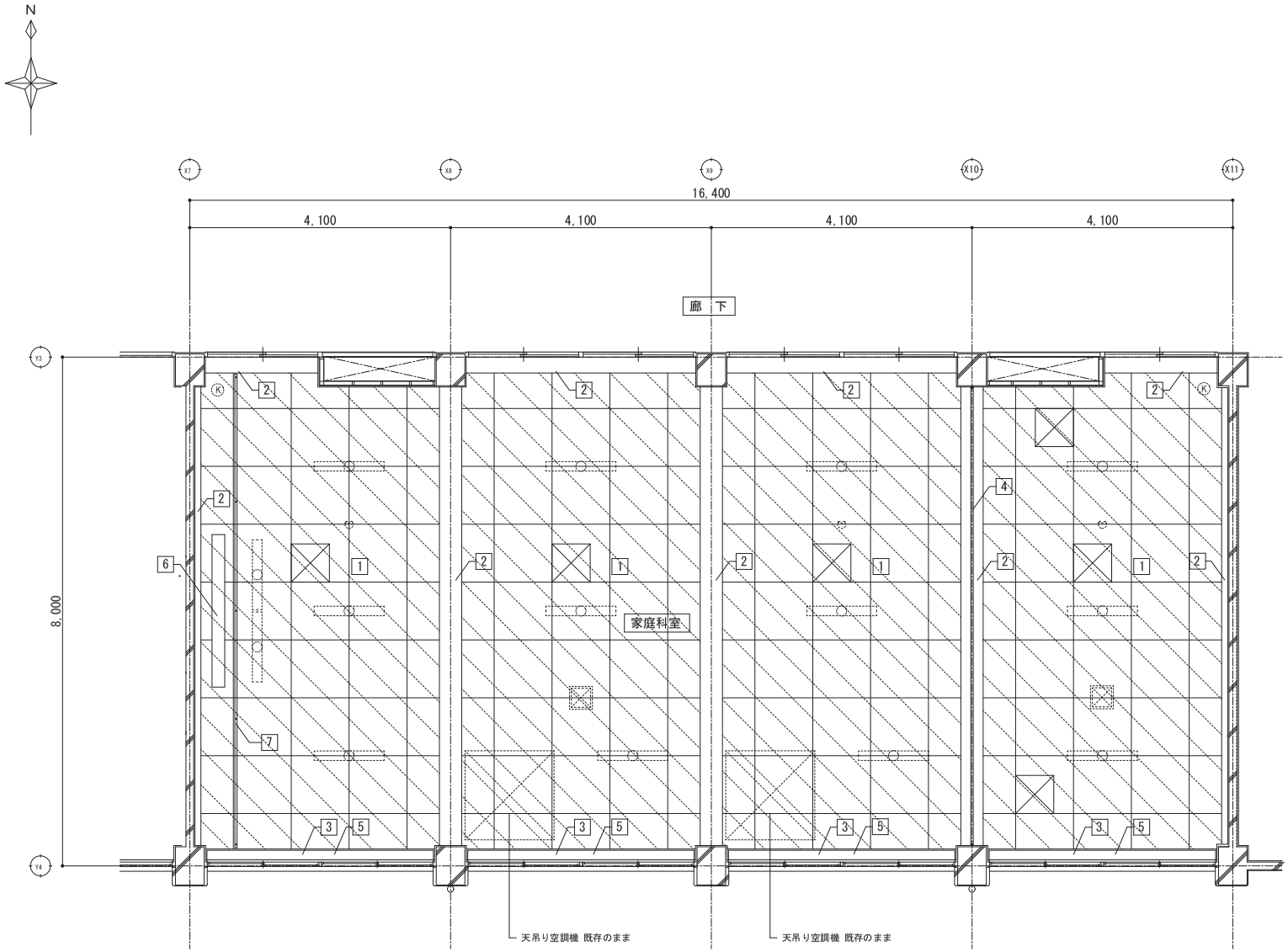
	造作家具リスト（新設）	
A	教師用調理台	W2100 * D900 * H800
B	生徒用調理台	W1800 * D900 * H750
C	SUS製流し台	W3600 * D600 * H870
D	SUS製流し台	W3600 * D600 * H870
E	SUS製流し台	W2720 * D600 * H870
F	SUS製流し台	W1630 * D600 * H870
G	木製掃除用具入れ	W550 * D500 * H2000
H	木製三面鏡	W660 * D80 * H1560

	仮移動家具等　戻しリスト		
符号	名　称	規格（W*D*H）	箇所数
ⓐ	木製食器棚	W1800 * D400 * H(900+900)	1
ⓑ	鋼製机	W1050 * D630 * H740	1
ⓒ	ミシン台	W(1510,1570,1070) * D500 * H520	各1
冷	冷蔵庫	大：W650 * D640 * H1800 小：W470 * D500 * H1120	1 1
洗	洗濯機	全自動：W550 * D550 * H850 二層式：W700 * D400 * H850	1 1
	丸イス		38

…新設範囲を示す

※クラックはパテ処理の上,塗装仕上げとする。
※人研流し台撤去跡の壁面等は、モルタル補修の上 EP-G塗とする。
※内外壁建具は、サッシ及びガラス共クリーニング(両面)とする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A３－７４
家庭科室展開図（改修）			
DATE	CHECKED BY.	DRAWN BY.	SCALE
			1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			



－凡例－

・・・点検口600角を示す 新設（開口補強共）

・・・防犯センサーを示す（電気設備工事）

・・・照明器具を示す（電気設備工事）

・・・感知器を示す　（電気設備工事）

・・・スピーカーを示す（電気設備工事）

※ 空調機及び空調機冷媒管の移動等は不可とする。
※ 感知器及び防犯センサーは工事中未警戒にならない様にする事。
※ 新設塩ビ廻縁形状は ⌐¬ とする。
※ カーテンフックは新設する事。
※ 点検口位置については、監督員と協議の上決定すること。

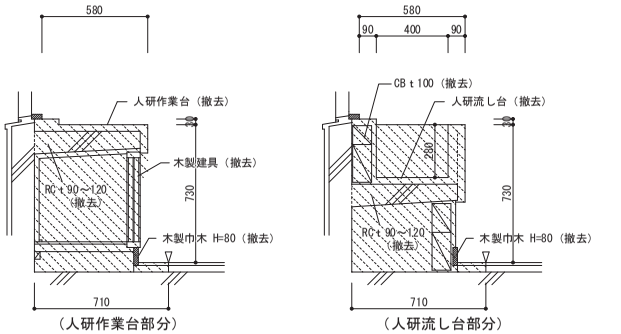
現況・撤去 凡例	
1	天井：化粧石膏ボードｔ9.5　廻り縁共　新設
2	既存モルタル面：下地調整の上､EP-G塗替
3	既存木製カーテンBox：下地調整の上､SOP塗替
4	アコーディオンドア枠撤去跡：モルタル下地補修の上 EP-G塗 W=40
5	カーテンレール　新設
6	天井付けスクリーン：クリーニングの上、復旧（Box：下地調整の上､SOP塗替）
7	図表掛けパイプ SUSφ34：クリーニング（吊り金物共）

新設範囲を示す。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A３－７５
家庭科室・家庭科準備室　天井伏図（改修）			
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			S=1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			

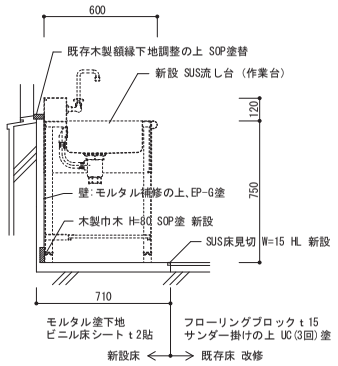
S1 家庭科室　流し台廻り詳細図　1/20

現況・撤去



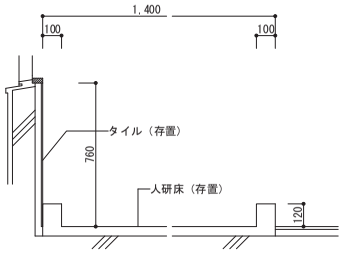
▽ カッター切断位置を示す。

改修

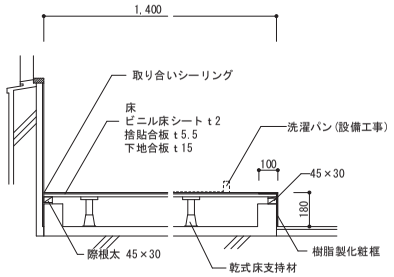


S2 家庭科室　洗濯機置場詳細図　1/20

現況・撤去

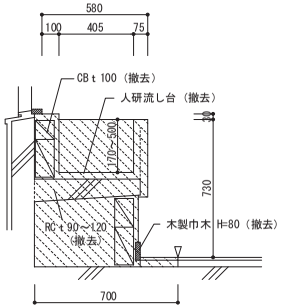


改修



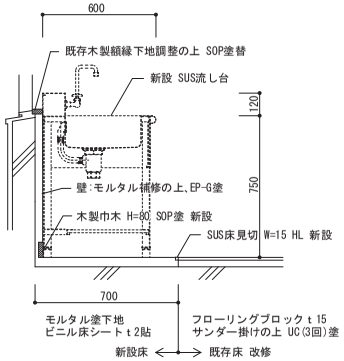
S3 理科室　流し台廻り詳細図　1/20

現況・撤去



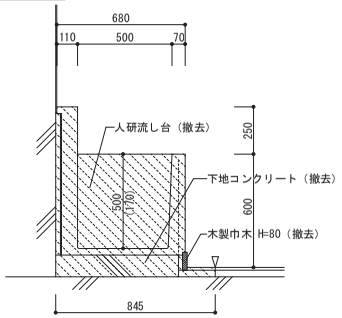
▽ カッター切断位置を示す。

改修



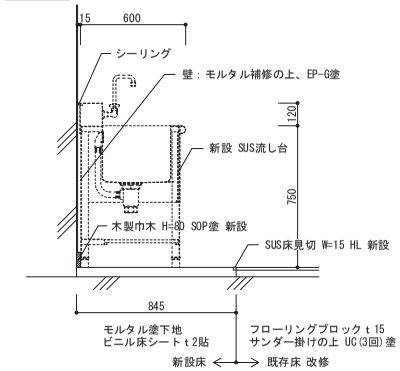
S4 理科準備室　流し台廻り詳細図　1/20

現況・撤去

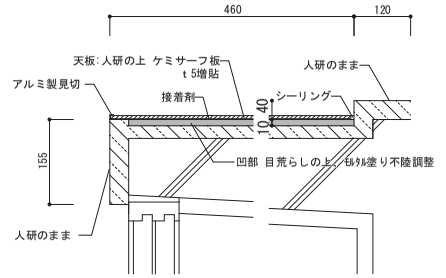


▽ カッター切断位置を示す。

改修

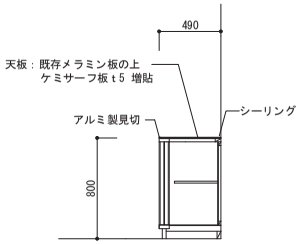


S5 理科室・準備室　人研作業台廻り 改修詳細図　1/6



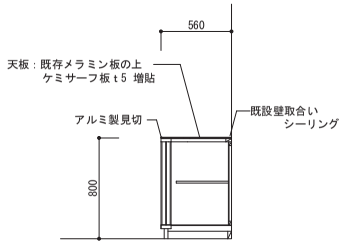
S6 既存家具改修詳細図　1/30

（理科室）



S7 既存家具改修詳細図　1/30

（理科準備室）



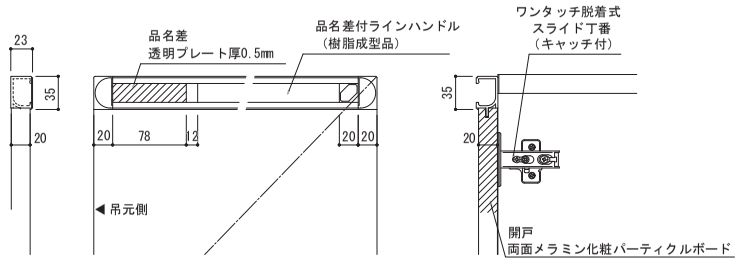
平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A３－７６
部分詳細図（現況・撤去・改修）			
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1/20、1/30、1/6
枚方市教育委員会教育環境整備室			

木製家具標準仕様　『特記無き場合は下記の仕様とする』

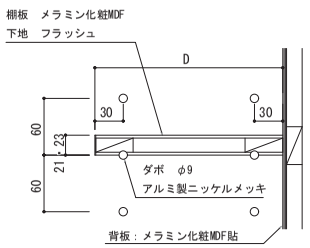
地球環境問題（リサイクル、温暖化等）に配慮し、かつ室内におけるホルムアルデヒドの気中濃度を下げる事に
主眼を置き、各種有機溶剤や可塑剤等の有害物質についてもその残留、放散を極力抑制する為に以下の仕様とする。

両面メラミン化粧パーティクルボード（ECOボード）	ホルムアルデヒド放散量「0.04mg/l」以下とする。 マテリアルリサイクル可能品（メラミン樹脂含浸の低圧メラミン等は使用不可） 表面材は汚染除去性能を有する。　「JIS A5908」適合品の国内生産品とする。
メラミン化粧MDF（NEOボード）	JIS-F☆☆☆☆適合品 「間伐材マーク」、「木づかいサイクルマーク」取得品
ポリエステル化粧合板	JAS-F☆☆☆☆適合品
各種合板	JAS-F☆☆☆☆適合品
接着剤	厚生労働省のＶＯＣ指定13物質を含んでいないものを使用する。　F☆☆☆☆適合品
本体	主材：両面メラミン化粧パーティクルボードｔ20（ECOボード） 背板、地板取外し部：メラミン化粧MDF（NEOボード）t4mm
実験台、作業台天板（ケミサーフ）	ケミサーフ：耐薬品性フェノール樹脂板（黒） MDFフラッシュ下地、ダイスコア芯、木口：ABS樹脂エッジ巻（チャコールグレー） ※　ウィルソナート社製ケミサーフ、又は同等品以上とする。
開戸（板戸）	両面メラミン化粧パーティクルボードｔ20（ECOボード）、木口：非塩ビ化粧樹脂シートt0.45貼 ワンタッチ取外し式スライド丁番（キャッチ機能付）　105°開き
引出	口板：両面メラミン化粧パーティクルボードｔ20（ECOボード）、木口：非塩ビ化粧樹脂シートt0.45貼 側板、向板：両面メラミン化粧パーティクルボードｔ15（ECOボード） 底板：メラミン化粧MDFt4mm（NEOボード） 品名差付ラインハンドル、スライドレール付（粉体塗装）
可動式棚板	両面メラミン化粧MDFフラッシュ（NEOボード） 棚板底面にずれ止めのダボジャクリを施すこと。 ※W600以上の棚板は強度を考慮し、パーティクルボードの使用は不可とする。 　また、フラッシュ芯材にもパーティクルボードの使用は不可とする。 棚受けダボ：φ９mmネジ込式（W1/4）　アルミ製ニッケルメッキ　P=60mm　3段
台輪	ポリエステル化粧合板貼　　下地：ランバーコア合板ｔ15（四方組）
SUS天板	ＳＵＳ304及びＳＵＳ430　ｔ1.0　表面仕上：＃400　　低温アルゴン溶接加工品　下地：合板ｔ9mm
シンク	ＳＵＳ304及びＳＵＳ430　ｔ1.0　表面仕上：＃400　　低温アルゴン溶接加工品 ※板厚が薄くなるため、プレス加工品は使用不可とする。
排水トラップ	N-14BPs：樹脂製（ステンレスプレート、大型ゴミカゴ付）、MT-50ヨコ：樹脂製（オーバーフロー付） トラップ接続径：40A　　※給排水管、及び接続は設備工事とする。
共　通	※「日本家具保証協会」認定企業の生産製品、及び監理製品とする。 ※施工承認時に製作家具の施工図を提出し、監理者へ確認をおこなうこと。

開戸　詳細図

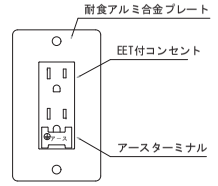


可動棚板　詳細図

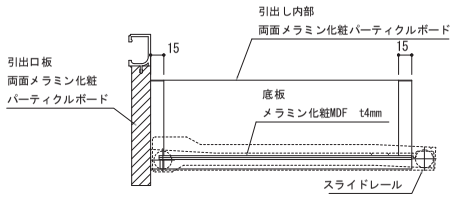


※W600以上の棚板は強度を考慮し、
　パーティクルボードの使用は不可とする。
　また、フラッシュ芯材にもパーティクルボードの使用は不可とする。

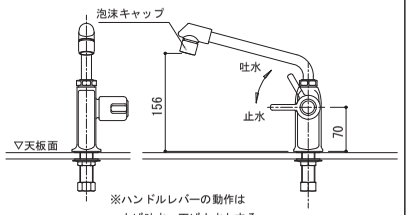
実験台、調理台　コンセント詳細図



引出　詳細図

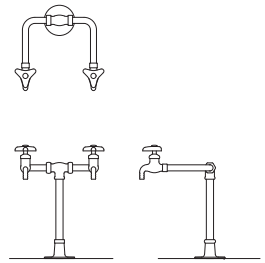


調理台　給水栓（レバー式泡沫給水栓）NA572DU



※ハンドルレバーの動作は
　上げ吐水、下げ止水とする。

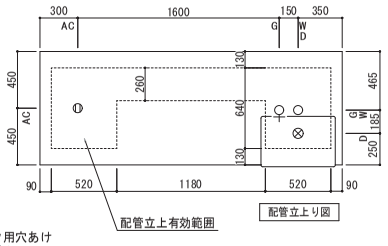
実験台　化学水栓



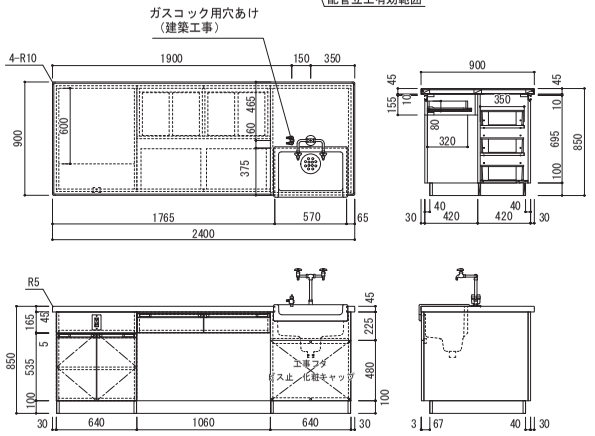
A　2階　理科室　教師用実験台　1 台

略記号	給水 φ13mm	給湯 φ13mm	排水 φ40mm	ガス φ13mm	電気 AC 100V
	○	○	⊗	○	◫

床立上は、FL+100以下としてください。



配管立上り図

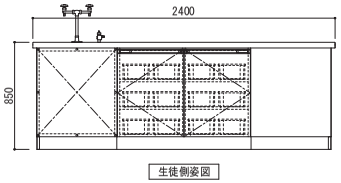


教師用実験台

仕様	
天板	C　ケミサーフ 木口：ABS樹脂エッジ巻（チャコールグレー）
本体主材	両面メラミン化粧パーティクルボード コーナー部：ABSエッジｔ3.0mm貼　面取り加工
開戸	両面メラミン化粧パーティクルボード　木口：シート貼 スライド丁番（キャッチ付）、品名差付ラインハンドル
引出	口板：両面メラミン化粧パーティクルボード　木口：シート貼 内部：両面メラミン化粧パーティクルボード 底板：メラミン化粧MDFt4mm スライドレール、品名差付ラインハンドル
棚板	両面メラミン化粧パーティクルボード　木口：シート貼 棚ダボφ9（3段）
台輪	ポリ合板貼（樹脂製コーナーガード付）

附属器具

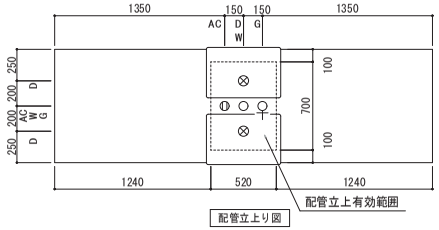
2ッ口化学水栓	N-42B	1
陶製流司	NT-146	1
AC電気コンセント	AC-2P・接地極・接地端子付(WN1329)	1
ガスコック	機械設備工事	
樹脂製コンテナ	C-7 340x213x120（グレー）	12



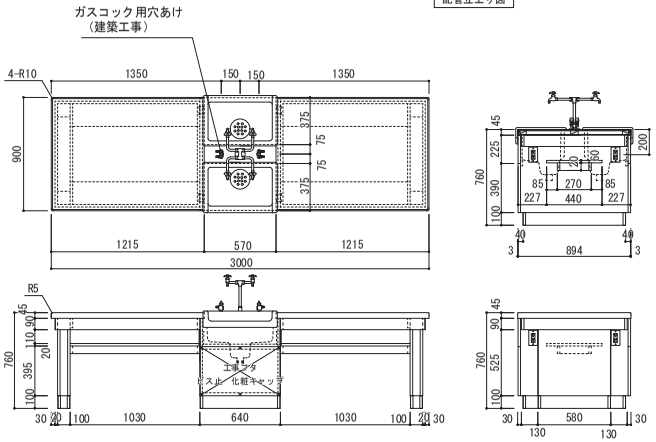
B　2階　理科室　生徒用実験台　6 台

略記号	給水 φ13mm	給湯 φ13mm	排水 φ40mm	ガス φ13mm	電気 AC 100V
	○	○	⊗	○	◫

床立上は、FL+100以下としてください。



配管立上り図



生徒用実験台

仕様	
天板	C　ケミサーフ 木口：ABS樹脂エッジ巻(チャコールグレー)
本体主材	両面メラミン化粧パーティクルボード コーナー部：ABSエッジｔ3.0mm貼　面取り加工
棚板	両面メラミン化粧パーティクルボード 木口：シート貼
台輪	ポリ合板貼(樹脂製コーナーガード付)

附属器具

4ッ口化学水栓	N-43D	1
陶製流司	NT-146	2
AC電気コンセント	AC-2P・接地極・接地端子付(WN1329)	4
ガスコック	機械設備工事	

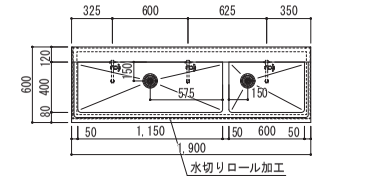
平野小学校管理棟外壁改修他工事		No. A4－77
家具詳細図 1		
DATE	CHECKED BY. / DRAWN BY.	SCALE
		1/30
枚方市教育委員会教育環境整備室		

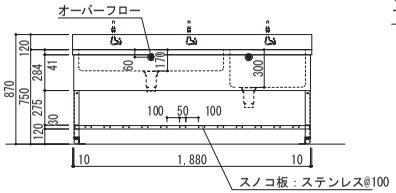
C　2階　理科室　ステンレス流し台（2槽）　1ヶ所

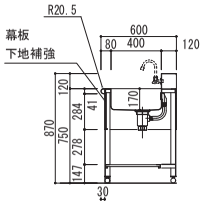
品名：ステンレス流し台(2槽)

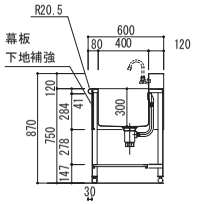
仕　様	
天　板	ステンレス　SUS304 t 1.0mm（R付） 表面仕上：#400　水切りロール加工
シンク	ステンレス　SUS304 t 1.2mm　表面仕上#400
幕板	ステンレス　SUS304 t 1.0mm　表面仕上#400
脚部	ステンレスLアングル　40×40×t3mm アジャスターボール
付属品	
給水栓	機械設備工事
ステンレス排水トラップ	MT－50ヨコ、11/4A ＯＦ－Ｓ（Ｓ）/丸ー （フタ・オーバーフロー付、40A）　・・・ 2

※前脚は固定金物にて固定。
※寸法は現場実測の上決定とする。







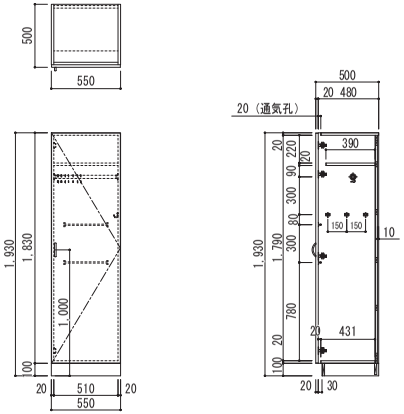


E　2階　理科室　掃除用具入　1 台

品名：掃除用具入れ

仕　様	
本体主材	両面メラミン化粧パーティクルボード 木口：樹脂シート t 1.0mm貼 *地板 ステンレス板貼 SUS430　t 1.0mm
開 戸	両面メラミン化粧パーティクルボード　木口：シート貼 スライド丁番、ABS樹脂製ハンドル(白) マグネットキャッチ
棚 板	両面メラミン化粧パーティクルボード
台 輪	ポリ合板貼

附属品		
ハンガーパイプ	ステンレス巻パイプ φ25(Sカン9ヶ付)	1
フック	玉付回転フック(TK-30)	3
雑巾掛け(戸裏)	ステンレス巻パイプ φ9.5(L350)	2

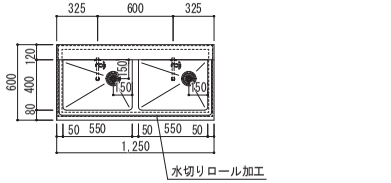


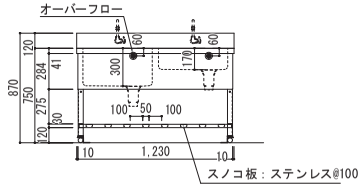
D　2階　理科準備室　ステンレス流し台　1ヶ所

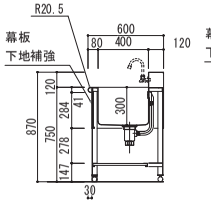
品名：ステンレス流し台(2槽)

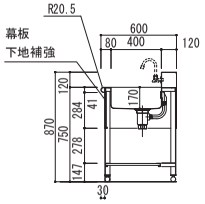
仕　様	
天　板	ステンレス　SUS304 t 1.0mm（R付） 表面仕上：#400　水切りロール加工
シンク	ステンレス　SUS304 t 1.2mm　表面仕上#400
幕板	ステンレス　SUS304 t 1.0mm　表面仕上#400
脚部	ステンレスLアングル　40×40×t3mm アジャスターボール
付属品	
給水栓	機械設備工事
ステンレス排水トラップ	MT－50ヨコ、11/4A ＯＦ－Ｓ（Ｓ）/丸ー （フタ・オーバーフロー付、40A）　・・・ 2

※前脚は固定金物にて固定。
※寸法は現場実測の上決定とする。

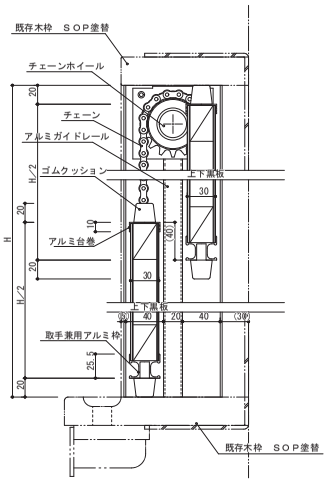




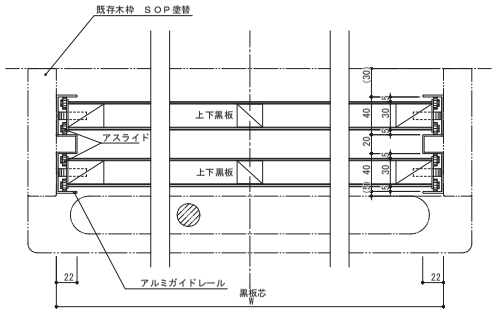




8　理科室　上下黒板　1ヶ所



縦断面図



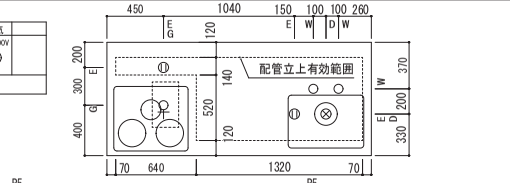
横断面図

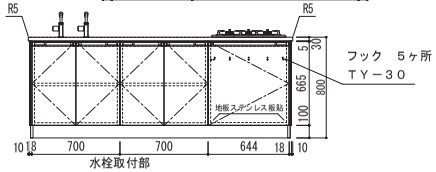
平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A４－７８
家具詳細図 2			
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1/30
枚方市教育委員会教育環境整備室			

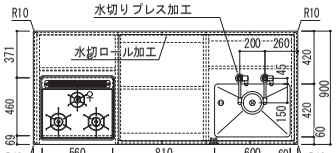
A　2階　家庭科室　教師用調理台　　1 台

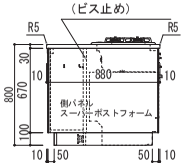
略記号	給水 φ13mm	給湯 φ13mm	排水 φ40mm	ガス φ13mm	電気 AC 100V
	○	●	⊗	⚲	◍

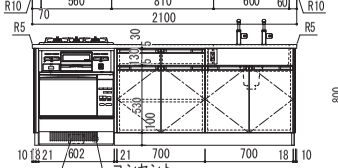
床立上は、FL+100以下としてください。

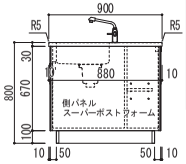










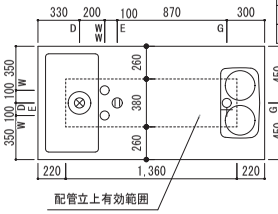


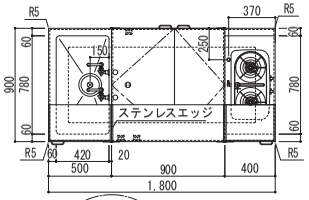
品名	教師用調理台	
仕　様		
天　板	ステンレス　SUS430　t 1.0mm (R付)　表面仕上：#400 水切りロール加工、下地合板　t 9mm	
シンク	ステンレス　SUS430　t 1.0mm 表面仕上：#400　(D=170)	
本体主材	側パネル：スーパーポストフォーム加工 (R8mm) 内部：メラミン化粧MDF貼　外部：メラミン化粧MDF貼 取外し式地板：メラミン化粧MDF t 4mm(ビス止) *コンロ背面：防火ライト(ケイカル板) t 5mm貼	
開　戸	両面メラミン化粧パーティクルボード　木口：シート貼 スライド丁番(キャッチ付)、品名差付ラインハンドル	
引　出	口板：両面メラミン化粧パーティクルボード　木口：シート貼 内部：両面メラミン化粧パーティクルボード（奥行=370mm） 底板：メラミン化粧MDF t 4mm スライドレール、品名差付ラインハンドル	
棚　板	メラミン化粧MDFフラッシュ　木口：シート貼 （奥行=350mm、200mm） 棚ダボ φ9（3段）	
台　輪	ポリ合板貼（樹脂製コーナーガード付）	
附属器具		
3ッロガスビルトインコンロ	DG32N2SQ1SVR（ハーマン）	1
ガス消費量	都市ガス(13A)　8.72kW LPガス　8.58kW	
ガス高速オーブン	DR320C（ハーマン）	1
ガス消費量 消費電力	都市ガス(13A)　5.00kW LPガス　5.02kW 90W	
シングルレバー単水栓	NA-572DU	2
大型ゴミカゴ付排水トラップ	N-14BPs	1
AC電気コンセント	AC-2P・接地極・接地端子付(WN11329)	1
オーブン用コンセント	AC-1P・接地極・接地端子付(WKS216)	1

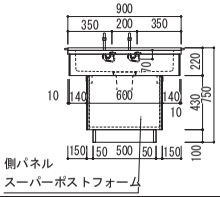
B　2階　家庭科室　生徒用調理台　　8 台

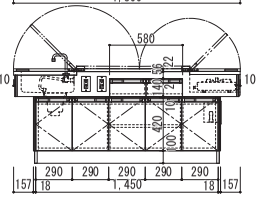
略記号	給水 φ13mm	給湯 φ13mm	排水 φ40mm	ガス φ13mm	電気 AC 100V
	○	●	⊗	⚲	◍

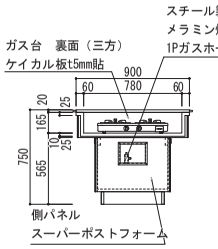
床立上は、FL+100以下としてください。







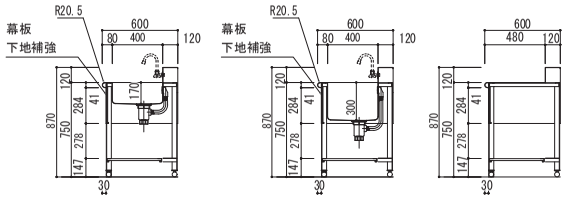


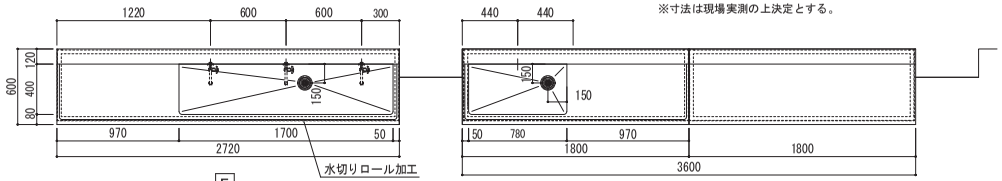


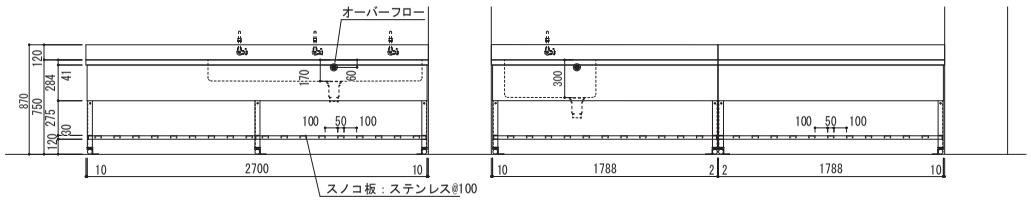
附属器具		
2ッロガステーブルコンロ	PA-28F（パロマ）	1
ガス消費量	都市ガス(13A)　5.80kW LPガス　5.40kW	
二重首振り泡沫単水栓	NS-201	2
大型ゴミカゴ付排水トラップ	N-14BPs	1
AC電気コンセント	AC-2P・接地極・接地端子付(WN11329)	3
1Pガスホースコック	機械設備工事	

品名	生徒用調理台
仕　様	
天　板	メラミン化粧板貼（下地合板） 木口：ABSエッジｔ2.0mm貼（グレー色）
天フタ（回転式）	表面：メラミン化粧板貼（下地フラッシュ） 裏面：ステンレスSUS430　t 1.0mm(木口巻込み) 表面仕上：#400　SUS回転丁番、引手金物
シンク	ステンレス　SUS430　t 1.0mm 表面仕上：#400　(D=170)
ガス台	ステンレス　SUS430　t 1.0mm 表面仕上：#400
本体主材	側パネル：スーパーポストフォーム加工 (R8mm) 内部：メラミン化粧MDF貼　外部：メラミン化粧MDF貼 取外し式地板：メラミン化粧MDF t 4mm(ビス止) *ガス台裏面（三方）：防火ライト(ケイカル板) t 5mm貼
開　戸	両面メラミン化粧パーティクルボード　木口：シート貼 スライド丁番(キャッチ付)、品名差付ラインハンドル
引　出	口板：両面メラミン化粧パーティクルボード　木口：シート貼 内部：両面メラミン化粧パーティクルボード（奥行=370mm） 底板：メラミン化粧MDF t 4mm スライドレール、品名差付ラインハンドル
棚　板	メラミン化粧MDFフラッシュ　木口：シート貼（奥行=450mm） 棚ダボ φ9（3段）
台　輪	ポリ合板貼（樹脂製コーナーガード付）

D・E　2階　家庭科室　ステンレス流し台・作業台　　1ヶ所



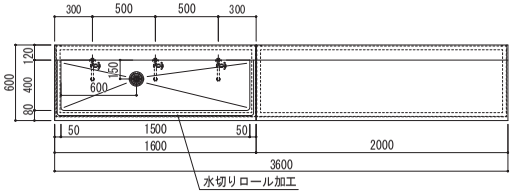


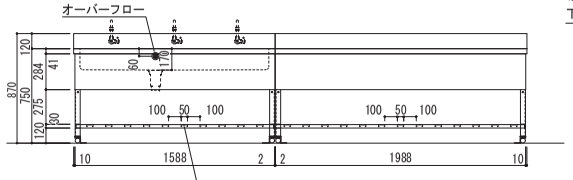


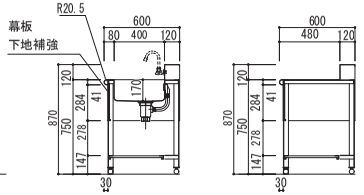
品名	ステンレス流し台・作業台	
仕　様		
天　板	ステンレス　SUS304 t 1.0mm（R付） 表面仕上：#400　水切りロール加工	
シンク	ステンレス　SUS304 t 1.2mm　表面仕上 #400	
幕板	ステンレス　SUS304 t 1.0mm　表面仕上 #400	
脚部	ステンレスLアングル　40×40×t3mm アジャスターポール	
付属品		
給水栓	機械設備工事	
ステンレス排水トラップ	MT－50ヨコ、11/4AOF－S（S）/丸ー （フタ・オーバーフロー付、40A）	・・・ 2

※前脚は固定金物にて固定。
※寸法は現場実測の上決定とする。

C　2階　家庭科室　ステンレス流し台・作業台　　1ヶ所





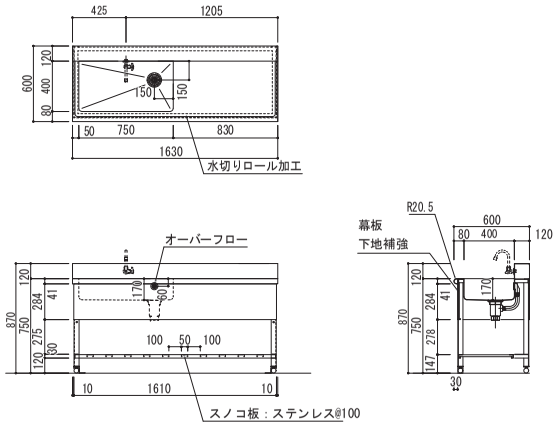


品名	ステンレス流し台・作業台	
仕　様		
天　板	ステンレス　SUS304 t 1.0mm（R付） 表面仕上：#400　水切りロール加工	
シンク	ステンレス　SUS304 t 1.2mm　表面仕上 #400	
幕板	ステンレス　SUS304 t 1.0mm　表面仕上 #400	
脚部	ステンレスLアングル　40×40×t3mm アジャスターポール	
付属品		
給水栓	機械設備（T131AUN13）	・・・ 3
ステンレス排水トラップ	MT－50ヨコ、11/4AOF－S（S）/丸ー （フタ・オーバーフロー付、40A）	・・・ 1

※前脚は固定金物にて固定。
※寸法は現場実測の上決定とする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. A４－７９
家具詳細図 3			
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1/30
枚方市教育委員会教育環境整備室			

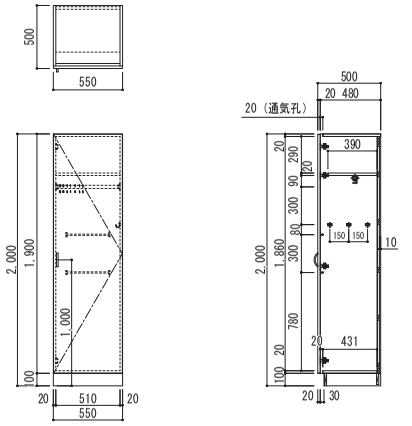
F　2階　家庭科室　ステンレス流し台　1ヶ所



品名	ステンレス流し台	
仕　様		
天　板	ステンレス　SUS304ｔ1.0mm（R付） 表面仕上：#400　水切りロール加工	
シンク	ステンレス　SUS304ｔ1.2mm　表面仕上#400	
幕板	ステンレス　SUS304ｔ1.0mm　表面仕上#400	
脚部	ステンレスLアングル　40×40×t3mm アジャスターボール	
付属品		
給水栓	機械設備工事	
ステンレス排水トラップ	MT－50ヨコ、11/4ＡＯＦ－Ｓ（Ｓ）/丸ー （フタ・オーバーフロー付、40A）　・・・	1

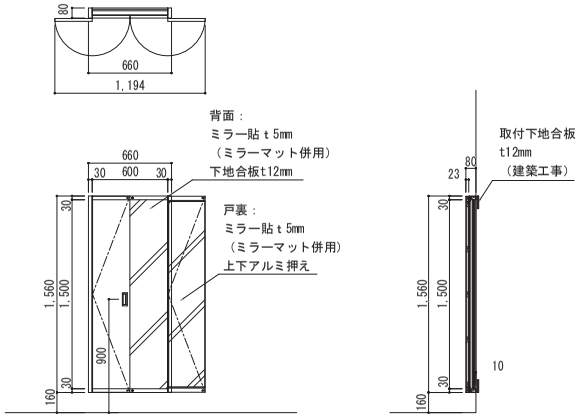
※前脚は固定金物にて固定。
※寸法は現場実測の上決定とする。

G　2階　家庭科室　掃除用具入　1 台



品名	掃除用具入れ	
仕　様		
本体主材	両面メラミン化粧パーティクルボード 木口：樹脂シートｔ1.0mm貼 *地板 ステンレス板貼 SUS430 ｔ1.0mm	
開 戸	両面メラミン化粧パーティクルボード　木口：シート貼 スライド丁番、ABS樹脂製ハンドル(白) マグネットキャッチ	
棚 板	両面メラミン化粧パーティクルボード	
台 輪	ポリ合板貼	
附属品		
ハンガーパイプ	ステンレス巻パイプφ25(Sカン9ヶ付)	1
フック	玉付回転フック(TK-30)	3
雑巾掛け(戸裏)	ステンレス巻パイプφ9.5(L350)	2

H　2階　家庭科室　三面鏡　2ヶ所



品名	三面鏡
仕　様	
本体主材	メラミン化粧MDFフラッシュ　木口：ｔ2mm樹脂面貼　R面取 背面：ミラー貼ｔ5mm（ミラーマット併用）下地合板ｔ12mm
開　戸	メラミン化粧MDFフラッシュ　木口：t2mm樹脂面貼　R面取 ステンレス長丁番、マグネットキャッチ（1S-4F上下） 掘込引手：ｶｸｷ　130BS　105mm　HL 裏面：ミラー貼ｔ5mm　アルミ押え（ミラーマット併用）

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
家具詳細図 4			A４－８０
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			1/30
枚方市教育委員会教育環境整備室			

機械設備工事　特記仕様書

Ⅰ 工事概要

1. 工事名　平野小学校管理棟外壁改修他工事
2. 工事場所　枚方市招提中町一丁目５３－１
3. 建物概要

建物名	構造	階数	延面積（㎡）	備考
管理棟	RC	2階建		

4. 工事種目

	今回工事				屋外
空気調和設備	○	○	○	○	
換気設備	○	○	○	○	
排煙設備	○	○	○	○	
自動制御設備	○	○	○	○	
衛生器具設備	●	○	○	○	
給水設備	●	○	○	○	
排水設備	●	○	○	○	
給湯設備	●	○	○	○	
消火設備	○	○	○	○	
ガス設備	●	○	○	○	
浄化槽設備	○	○	○	○	
厨房機器設備	○	○	○	○	
昇降機設備工事	○	○	○	○	
電気工事	○	○	○	○	
敷地工事	●	○	○	○	

●印をつけたものを適用し、各一式とする。

5. 工期　　※契約締結の日から、平成　年　月　日まで
（但し、上記工事種目のうち、下記工事については平成　年　月　日完成）

なお、作業可能期間は平成　年　月　日から、平成　年　月　日までとする。
●建築工事に準ずる

Ⅱ 工事仕様

1. 共通仕様
本仕様書及び図面に記載されていない事項は、下記による。
（1）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）最新版
（2）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）最新版
（3）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修・環境調査部　公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）最新版

2. 特記仕様
（1）　項目及び特記事項は、●印がついたもの全本工事に適用する。ただし●印のない場合は※印を適用する。
（2）　工事種目に電気工事及び建築工事を含む場合、その仕様書は当該図面による。
（3）　本工事の施工業者は、原則として枚方市工事請負資格業者（※営工事　○機械種別設置工事）とする。
（4）　電気工事及び建築工事の施工業者は、原則として枚方市内有資格業者（電気工事及び建築工事）とする。
（5）　改修工事の場合は、※業務並び改修　とする。

章	項目	特記事項
一般事項	● 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。 但し、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
	● 機材の承認	機材の承諾に際しては、原則として国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の機械設備工事機材承諾図書式集に従うものとする。
	● 機材の品質 性能証明	使用する機材が、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿（最新版）」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書 第１編１．４．２（ｅ）の品質及び性能に関する資料の提出を省略することができる。 但し、※標準仕様書に規定される製作図、試験成績書は除く。 ○改修標準仕様書に規定される製作図、試験成績書は除く。
	● 機材・施工等の検査及び試験	※検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書第１編の当該事項による。 ●検査及び試験を行うべき機材等は、改修標準仕様書第１編の当該事項による。 各種配管の試験は新設配管に適用し、既設配管と接続前に行うこと。報告書提出のこと。 ○次に指定する機材について試験を行うこと（　　） （標仕１．３．４）
	○ 電気保安技術者	※適用しない　○適用する
	○ 主技術者等の資格	建設業法第7条第2号、第15条第2項による。
	● 書類等の書式	枚方市総合契約検査室ホームページより、「建設工事請負契約様式集」の最新版をダウンロードし、必要書類を提出すること。 また、上記の他、各種保険成立等し、納入仕様書、工事打ち合わせ簿、使用材料機器等試験成績表、現場試験測定成績書、マニュフェストの等しなどを提出すること。 施工計画書には、工期、使用機材、施工方法、仮設計画、安全管理・環境対策、工程計画、品質計画、廃棄物処理等を記載すること。発注材処理方法や運搬経路等を記載すること。
	● 品質管理	1）施工計画書による品質計画に基づき、適切な時期に、必要な管理を行うこと。 2）必要に応じて、監督職員の検査を受けること。 （標仕１．３．４）
	● 施工中の安全管理	3）品質管理の結果、結果が生じた場合は、監督職員と協議すること。 1）建築基準法、労働安全衛生法その他関係法令等に定めるところによる他か、「建設工事公衆災害防止対策要綱　建築工事編」に従うとともに、「建築工事安全施工技術指針」を参考に常に工事の安全に留意して現場管理を行い、施工に伴う災害及び事故の防止に努めること。 2）第一臨時子気知の現場工事が行われる場合で、監督職員により労働安全衛生法に基づく指名を受けたときは、関法に基づく必要な措置を講ずること。 3）気象予報又は警報等について、常に注意を払い、災害の予防に努めること。 4）工事の施工にあたっては、工事箇所及びにその周辺にある地上及び地下の既設構造物、既設配管等に対して、支障をきたさないような施工方法等を定めること。ただし、これにより難い場合は監督職員と協議すること。 5）工事の施工にあたっての近隣等との折衝は、次による。また、その経過の記録に努めること。 ア）地域住民等と工事の施工上必要な折衝を行うものとし、予め、その概要を監督職員に報告する。 イ）工事に関して、第三者から説明の要求又は苦情があった場合、直ちに誠意をもって対応する。 （標仕１．３．８）
	● 火気の取扱い	1）建築基準法、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（「建設リサイクル法」）、環境基本法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、廉業物の処理及び清掃に関する法律（「廃棄物処理法」）、土壌汚染対策法、資源有効利用の促進に関する法律（「資源有効利用促進法」）その他関係法令等に定めるところによるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い、工事の施工の合理化において、騒音、振動、粉塵、臭気、大気汚染、水質汚濁の影響が生じないよう、周辺環境の保全に努めること。 2）塗料、シーリング材、接着剤その他の化学製品の取り扱いに当たっては、当該製品の製造所が作成した「ＪＩＳＺ７２５３（ラベル、作業所内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）を常備し、施工時内容の表示及び安全管理及び１０Ｋ外ねじ仕切弁又は同等以上とし、所轄消防署の承認した場合の下記の限りではない。 （標仕１．３．８）
	○ 既存部分への処置	3）建設現場及び建設業のイメージアップのために、作業環境の改善、作業現場の美化等に努めること。 （改修仕様1.3.10）
	● 後片付け	1）作業終了時には、適切な後片付け及び清掃を行うこと。 （改修仕様1.3.11）
	○ 再使用品	2）工事の完成に際しては、当該工事に関する部分の後片付け及び清掃を行うこと。 1）取外し前に状態や性能・機能の確認を行い、機材に損傷を与えないように取り外すこと。 2）取外し後、機器を清掃、洗浄等を行い、再取り付け後、機能の確認を行うこと。 3）機器取外し後、再取り付けまでの期間は、機器の性能・機能に支障の無い様な適切に養生を行い、保管すること。 4）既存の機器に配管を接続する場合は、機器の清掃を行ってから取り付けること。 5）必要に応じ、下記等について、監督員と協議すること。 ア）取外し前の機器の状態や性能・機能の確認 イ）機能の確認で修理等の必要が生じた場合 ウ）取外し後に実施する清掃内容について エ）保管場所 オ）再使用できない機器類の処置 カ）その他 （改修仕様1.4.3）
	○ 技能士	○配管（配管工事）　●建築板金（ダクト製作及び取付け） ○熱絶縁工（保温工事） （標仕１．５．２）
	○ 冷凍空気調和機器施工	○冷凍空気調和機器施工（チリングユニット、パッケージ形空気調和機の据付及び整備）
	● 事前調査	事前調査は改修標準仕様書第１編１．５．２による。
	● 工法等の提案	設計図書に定められた工法等以外で、所要の品質、性能の確保が可能な方法、環境の保全に有効な工法等の提案があるときは、監督職員と協議すること。 （標仕１．５．７）
	○ 化学物質の濃度測定	※実施しない　○実施する　なお、測定した場合は結果を主まとめ、報告書として提出すること。 測定対象化学物質、測定方法、測定対象室及び測定箇所数は、下記による。 1）測定対象化学物質（　　） 2）測定方法（　　） 3）測定対象室（　　） 4）測定箇所数（　　） （標仕１．５．８）
	● 設備機能上の協議	図面において機能上疑義を生じた場合、検討したのち監督員と協議する。 又、設計図書に明記なきものでも、当然必要と認められるものについては、施工すること。
	● 工事用電力その他	※本工事に必要な工事用電力・水及び諸手続き等の費用は、すべて請負業者の負担とする。 ●構内既存の設備を使用できる。ただし、使用機器リスト（電力量記入）を事前に提出すること。 １００Ｖの使用は監督員の指示するコンセントにとること。同時使用は１．５ｋＷ以下とする。 ２００Ｖの使用は認めない。
	○ 工事用仮設物	構内につくること　※できる　○できない
	○ 監督職員事務所	○設ける（　　号）　●設けない

章	項目	特記事項
一般事項	● 業所作業	※※別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。 ○本工事で定置する。 ○改修標準仕様書第１編２．２．１による。 ※業所作業の当工主する場合の仮設工事は散地の状況、工期等に応じ、安全かつ施工に適したものを選定し関係法令に従い築造に設置すること。 改修仕様2.2.1
	○ 仮設間仕切り	屋内に仮設間仕切りを設ける場合は、改修標準仕様書第１編２．２．３による。
	○ 官公署その他への手続き	工事の施工に必要な官公署その他への手続きは、費用も含め、全て請負業者の負担とし、速やかに行い、写しを提出すること。届出内容について、予め監督職員に報告すること。
	○ 工事実績情報の登録	登録内容について、あらかじめ担当監督職員の確認を受けた後に、次に示す期間内に登録の手続きを行うこと。なお、登録完了後、一部、日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」を印刷し、書ちに監督職員へ提出すること。 請負代金額　　期間 500万円未満　　契約締結後10日以内 500万円以上1億円未満　　2,500万円以上 1）工事受注時　　契約締結後10日以内　　不要　　必要　　必要 2）請負内容の変更時　　変更契約締結後10日以内　　不要　　必要　　必要 3）工事完成時　　工事完成後10日以内　　不要　　必要　　必要 ただし、期間には土日祝日は含まない。 （標仕１．４．４）　なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。
	○ 保険等	1）組立保険、土木保険等及びその他第三者損害賠償を担保する「請負業者賠償責任保険」に加入し、工事にかかる事故及び第三者への損害について、速やかに対処すること。 2）保険の成立後、速やかにその写しを監督職員に提出すること。 3）上記保険について、賃貸借者は、発注者・受注者及びその全下請人を被保すること。 また、保険金額は請負代金全額（支給材料又は貸与品がある場合には、その全額を加える）とし、保険期間は、工事着手日から工期末に１４日を加えた期間とすること。
	● 養生	養生を行う場合は、改修標準仕様書第１編３による。
	● 撤去	撤去を行う場合は、改修標準仕様書第１編４による。
	○ 発生材の処理等	引き渡しを要するもの　※なし　○あり（　　） 再生資源化を図るもの　※なし　○あり（薬栄木種） ・ありの場合は「建築工事に係わる資材の再資源化等に関する法律」等に基づき適切に処理する事。 上記以外のものは、※標準仕様書第１編１．３．ロにより構外搬出適切処理する。 ○改修標準仕様書第１編５により構外搬出適切処理する。
	○ 残土処分	1）「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づきその処理責任は元請業者にある。 産業廃棄物の処理及び収集・運搬を他人に委託する場合は、処理業者及び収集・運搬業者の許可を有するもの（許可証の写しを提出）に限る。また、処分業者の受入れ承諾書及び処理証明書提出のこと。また、建設副産物は適正に処理すること。 2）コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊処分については上記１）を準用して処分 指定処分地（敢方市内）とする。また、都合により処分場を変更する場合は承諾を得ること。 ※：種内指示の場所に廃棄なし　○：構内指示の場所にたい積 ○構外搬出適切処理（処分地　　）
	○ 営繕工事電子納品要領（案）	※適用する　○適用しない
	● 工事写真	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真の撮り方　建築設備編」による。 工事に際しては、施工前後の状況を記録した工事写真の提出を行うこと。 見えなくなってしまう部分など、内容が分かるような留意し、黒れなく経過が把握できるよう撮影すること。 工事材料検査時は種別を分けて、整理、記号などを付けてまとめるように撮影すること。 工事アルバムには縮小平面図を添付して撮影箇所を明示し、施工順序に従い、系統だてて整理すること。 デジタルカメラ写真を用いた場合は、サービス版サイズでアルバム整理するものとCD－Rを提出すること。
	● 完成図書式	※※別紙工事完成図等見本図番（案）による。　※Ａタイプ　○Ｂタイプ ○下記による。　●建築に準ずる。 名称　種別　サイズ　部数 竣工図（図面ケース入り）　原図　Ａ１版　１部 竣工図　青焼製本　Ａ１版２つ折り　３部 竣工縮小原図　全文字製本　Ａ３版　１部 竣工縮小図　青焼製本　Ａ３版２つ折り　３部 諸官庁提出書類（写）　○全文字製本　※ファイルとじ　Ａ４版　３部 機器完成図　取扱い説明書（保証書共）　○全文字製本　※ファイルとじ　Ａ４版　３部 各種試験、検査報告書　○全文字製本　※ファイルとじ　Ａ４版　３部 施工図　青焼製本　１部 工事写真（カラーネガ又はＣＤ－ＲＯＭ共）　アルバム整理　サービス版　１部 設計図（図面修正前の元設計図）　製２原図　Ａ２版　１部 注）竣工図は元設計原図を作より増入し、第二原図をより元設計図を修正及び、屋内外の埋設（暗渠内）の寄り寸法、埋設深さを記入したものとする。又、ＣＤ－ＲでＰＤＦ化も可とする。 化粧ケース等に入れて提出すること。
	● 施工図等	施工図等を提出し、監督職員の承諾を得て施工すること。 施工図等提出部数　○１部　●２部　○その他（　　） 当該建築の取得する施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に帰属するものとする。
	○ 完成写真	○不要　●要（監督職員の指示による）
	● 総合調整	※本工事　○別途工事 総合調整を行う場合は下記による。 ○風量調整（測定共）　●水量調整（測定共）　○室内外空気の温湿度測定　●機器の運転調整 ○室内気流及びじん気の測定　○騒音の測定　●ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の検査
	● 付属品及び予備品	付属品及び予備品は、特記のない限り、本仕様書による。
	● 環境への配慮	本市では、「枚方市環境基本条例」を制定して良好な環境の保全と創造に取り組んでいるため、 その基本方針（環境方針）を理解し、環境に配慮した工事の取り組みを行うこと。
共通適用項目	○ 配管材料	※個管を使用する場合、配管材料は標準仕様書第２編第２章による。 ライニング鋼管を使用する場合、配管材料は改修標準仕様書第２編２．１．１による。
	○ 管端防食継手	塩ビライニング鋼管及びポリ粉体鋼管で、ねじ接合をする場合の継手は管端防食継手とし、 ポリブデンフィルム管端防食継手用ハイブリッシュカバー（ロングシールド）記録し、 ポリブデンフィルム管端防食継手用ポリブデンカバー（ロングシールド）記録し、
	● 一般用弁	1）給水管に取り付ける場合、接水部が銅鋳製の弁はライニング弁とする。 2）塩ビライニング鋼管及びポリ粉体鋼管に取付ける ねじ込み式の弁は、ＪＩＳ（管端防食ねじ込み形弁）の給水用とする。 3）耐熱性ライニング鋼管の配管に取付ける場合、ねじ込み式の弁は ＪＩＳ（管端防食ねじ込み形弁）の給湯用、フランジ形の弁は ＪＩＳＢ１０１（一般配管用ステンレス鋼鋼管）とする。 4）高気圧の場合、給気用は玉形弁、蒸気用は仕切弁とする。ただし、ゲージ圧力０．１ＭＰａ未満の給気用は、仕切弁としてもよい。 5）高温水用、仕切弁又は玉形弁とする。 6）油用は、仕切弁又はコックとする。 7）プラント蒸気は、仕切弁とする。 8）青銅弁の弁種は、耐熱青銅製弁相当品とする。 9）屋内オイルタンク及びオイルサービスタンクの最高液面以下に設ける元バルブ及びドレンバルブは ＪＩＳＢ２００７（鋼製弁）における１０Ｋ外ねじ仕切弁又は同等以上とし、所轄消防署の承認した場合の下記の限りではない。 10）ライニング弁は、ＪＩＳＢ２０３１（ねずみ鋳鉄弁）によるナイロン１１又はナイロン１２による加熱流動浸漬粉体ライニングを施したもので、意匠は、ピンホール皆無のものとする。 11）揚水ポンプ、清火ポンプ、冷却水ポンプ及び冷温水ポンプの逆止弁は、次による。 ア）使用する口径が８０Ａ以上の場合は、緩閉型吸収式とする。 イ）弁の呼び径６５Ａ以上の場合は、バイパス弁内蔵形とする。 ウ）弁の創定及び据れ試験圧力は、ＪＩＳで規定する技術基準による。 12）本工事に使用する弁は、原則として、ＪＩＳ、ＪＷＷＡ、ＪＰＩＡ、５０Ａ以上はバタフライ弁（ギヤ式、ＳＵＳ）とする。以外は図面による。
	○ フレキシブルジョイント	機器据切り取付けるフレキシブルジョイントは、銅板に対しては ●ローズ形、ＦＲＰに対しては 合成ゴム製とする。
	○ 伸縮管継手	排管用伸縮継手は下記による。 ※ベローズ形　○スリーブ形
	● 管の接合	既設配管の再生を行う場合は、改修標準仕様書第２編２．２．１３による。 ※：標準仕様書第２編２．５の当該事項による。 ○改修標準仕様書第２編２．３の当該事項による。
	○ 異種管の接合	各管の接合要領は、適付の標準図（施工３）による。 1）銅管と鋳鉄管を接合する場合は、ＧＳ継手を用いるものとし、ＧＳ継手と鋳鉄管はメカニカル接合、ＧＳ継手と銅管はろう付接合とする。 2）給管と銅管を接合する場合は、異銅製ねじ付用ニップルを使用する。 異銅製ねじ付用ニップルを使用する。 3）銅管とステンレス鋼、銅管と銅管は絶縁フランジ接合とする。 （標仕２編２．５．１７）
	○ 溶接接合	本項は、鋼管及びステンレス鋼管に適用する。材料や施工等については、標準仕様書の当該事項による。 1）溶接接合方法は、突合せ溶接又はすみ肉溶接によって行う。 2）突合せ溶接に当たっては、開先加工又は直取りを適正に行うとともに、ルート間隔を保持するごとにより、十分な溶け込みを確保すること。 3）突合せ溶接部は、母材の溶接による引張強さの最小値以上の強度を有するものとする。 4）すみ肉溶接部は、母材の溶接による引張強さの最小値の１／２以上の強度を有するものとする。 5）溶接棒は、溶け込みが十分で、かつ、割れ、アンダーカット、オーバーラップ、クレーター、スラグ巻込み、プローホで有害な欠陥のつとはならない。 6）溶接を行う者は十分な技量を有する者とし、有資格者名簿等を提出すること。 7）溶接作業について、漏電、電撃、アーク等による人身事故及び火災防止の処置を十分に行うこと。 また、保護具を着用するとともに十分な換気をすること。 8）検査について ア）溶接部は、溶接部全線にわたり目視検査を行い、上記５）項の有害な欠陥が無いものとする。 イ）溶接部の管外面の余盛りの高さは、３ｍｍ以下とする。 ウ）溶接部の非破壊検査 ※適用しない ○適用する（○放射線透過検査　○浸透探傷検査又は磁粉探傷検査） （標仕２編２．５．１６）
	○ 区画貫通部の処理	建築基準法施行令（昭和２５年政令第３３８号）第１１２条第１５項に規定する準耐火構造等の防火区画等を不燃材料の配管が貫通する場合は、その隙間をモルタル または ロックウール保温材で充てんする。 また、不燃材料以外の配管が防災区画等を貫通する場合は、建築基準法令に適合する工法とする。 （標仕２編２．８．１）

章	項目	特記事項
共通適用項目	● 配管の吊り及び支持	1）機器回りの配管は地震時等に加わる過大な力、機器の振動及び管内流体の脈動等による力を抑えるための固定又は支持を行う。施工要領は、原付の標準図（施工１０、１１）による。 ア）冷凍機、ポンプ等に接続する呼び径１００Ａ以上の配管は、床より鋼製で固定する。 イ）呼び径８０Ａ以下の配管、空気調和機及びタンク回りに接続する配管は、制振振れ止めを支持とする。 2）ステンレス鋼管及び銅管の支持及び固定に鋼製又は鋳鉄製の金物を使用する場合は、合成樹脂を被覆した支持及び固定金具を用いるか、ゴムシート又は合成樹脂の絶縁テープ等を介して取りけ付ける。 合成樹脂が破損しないように締め付けること。 3）屋上配管の支持は、防水層に支障のないように施工すること。 4）インサート金物は、吊りボルトに対し、適正なサイズのものを選定する。 5）配管の吊り、支持及び振れ止め配管に取りけ付ける場合は、原則として吊り金物による吊り及び制振振れ止め支持、立て管にあっては制振振れ止め支持及び固定とし、下表により行うものとする。 なお、施工基準は、添付の標準図（施工１３～１５）による。 分類　呼び径　15　20　25　32　40　50　65　80　100　125　150　200　250　300 吊り金物による吊り　鋼管及びステンレス鋼管　3．0ｍ以下 ビニル管、耐火二層管及びポリエチレン管　1．０ｍ以下　2．０ｍ以下 銅管　1．０ｍ以下　2．０ｍ以下 制振振れ止め支持　ポリブデン管　1．０ｍ以下　2．０ｍ以下　— 鋼管、鋳鉄管及びステンレス鋼管　—　8．０ｍ以下　12ｍ以下 ビニル管、耐火二層管、ポリエチレン管及びポリブデン管　—　6．０ｍ以下　8．０ｍ以下　12ｍ以下 銅管、冷媒用銅管　—　6．０ｍ以下　8．０ｍ以下　12ｍ以下 （標仕２編２．６．１ （標仕２編２．６．３）
	○ ダクトの吊り及び支持	1）横走りダクトは、下表による吊り間隔で、扇付の標準図（施工１７）による吊り金物。 2）吊り金物に用いる山形鋼の長さは、接合フランジの横幅以上とする。また、ダクトと吊り金物の結合せ寸法による。 3）横走りエダクトは、１２ｍ以下ごとに、標準図（施工１７）による振れ止め支持を行う。 なお、１階間毎に、又は、建築構造上支障なく施工できる場合は、直接振れ止め吊りとすることもよしとする。 4）立てダクトには、各階１ヶ所以上に、標準図（施工１７）による振れ止め支持（固定）を行う。 5）ダクトの振動伝播を防ぐ必要がある場合は、防振材を介して吊り又は支持を行う。 6）スパイラルダクトの場合は、標準図（施工１７）に準じた吊り、振れ止め支持とする。 7）スパイラルダクトの呼称寸法７５０以下の場合は、厚さ０．６ｍｍ以上の亜鉛めっきを施した鋼板を円形に加工した吊りバンドと吊り用ボルトとの組合せによるものとしてもよい。 なお、小口径（呼称寸法３００以下）のものにあっては、吊り金物については、厚さ０．６ｍｍの亜鉛鋼板を帯状に加工したものを使用してもよい。ただしこれによる場合は垂所に振止支持を行うこと。 8）吊り用ボルトの有効長さ寸法は下表による。 ダクト　アングルフランジ　コーナーボルト工法ダクト　スパイラルダクト 分類　工法ダクト　ｱﾝｸﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ工法ﾀﾞｸﾄ　共板ﾌﾗﾝｼﾞ工法ﾀﾞｸﾄ 横走りダクトの吊り間隔　３，６４０ｍｍ以下　３，０００ｍｍ以下　２，０００ｍｍ以下　４，０００ｍｍ以下 —　２，０００ｍｍ以下（機械室、倉庫４５０ｍｍ以下）　— （標仕３編２．２．５ （標仕３編２．２．６ （標仕３編２．４．２
	○ 土中埋設の管表し土	地中埋設する場合は塗ダクト及び鉄筋樹脂に鋼板を与えるという厚制土の中の指首土で要の厚前を様の厚さとする。 （標仕２編２．７．１）
	● 地中埋設標示シート埋設標示用テープ	1）給水管　地中埋設標（※要　○不要）　埋設表示用テープ（※要　○不要） 2）消火管　地中埋設標（※要　○不要）　埋設表示用テープ（※要　○不要） 3）ガス管　地中埋設標（※要　○不要）　埋設表示用テープ（※要　○不要） 4）油　管　地中埋設標（※要　○不要）　埋設表示用テープ（※要　○不要） 地中埋設標は埋設１箇・分岐箇に入れること。 コンクリートやアスファルト等に設置する場合は、掘かないよう留一に仕上ること。
	○ 埋設部の処理	弁・継等のまわりや、配管の体かつ、配管の体かつ部分などにコンクリート巻とする。
	○ 防蝕処置	配管の防食処置は、下記を除き※標準仕様書第２編２．７．３の当該事項による。 ○改修標準仕様書第２編２．５．３の当該事項による。 土中埋設の排水用塩ビ管については、防食処置を行う。
共通適用項目	● 保温	また、鋼板製タンク、冷温水ヘッダー等の筋鋼は、標準仕様書第２編３．２．２による。 1）標準仕様書及びに改修標準仕様書の当該事項による。 種別　仕様 給水管、排水管　横横室・便所　保温筒＋粘着テープ＋ｱﾙﾐ ｶﾞﾗｽｸﾛｽ 清水管　床下・暗渠　保温筒＋粘着テープ＋ｱﾙﾐ箔＋着色ｶﾞﾗｽｸﾛｽ ※ダクトカバー　天井内・区内　ｶﾞﾗｽｸﾛｽ保温保温筒＋ｶﾞﾗｽｸﾛｽ粘着ﾃｰﾌﾟ ダクトカバー　屋内露出　保温筒＋粘着テープ＋ガラスクロス仕上げ 屋外、浴室等　保温筒＋粘着テープ＋ｱﾙﾐ箔＋ｶﾞﾗｽｸﾛｽ　○ｶﾗｰ亜鉛鋼板 ○給排水で地中埋設管 ○保温付配管・耐火二層管 ○排水管で暗渠・ピット内 屋外露出配管 ○ダクト 多層断熱 厨房内外気取入ダクト 外気取入チャンバー 第３種機械換気方式のダクト ○その他は、特記による 給湯管（膨張管共）　天井・内ピット　保温筒＋ｶﾞﾗｽｸﾛｽ粘着ﾃｰﾌﾟ ダクトカバー　屋内露出　保温筒＋粘着テープ＋ｱﾙﾐ箔＋着色ｶﾞﾗｽｸﾛｽ 屋外　保温筒＋粘着テープ＋ｱﾙﾐ箔＋ｶﾞﾗｽｸﾛｽ　○ｶﾗｰ亜鉛鋼板 冷媒管　天井・内ピット　※冷媒材質　○　（　　） 屋内露出　※ビニルケース（合成樹脂製）参考：四幡電工㈱タイプ　○ステンレス鋼板 屋外　※ビニルケース（合成樹脂製）参考：四幡電工㈱タイプ　○ステンレス鋼板 ○アルミ合金板　○溶融亜鉛メッキ鋼板製　●高耐候鋼板 排水管　横横室・便所　保温筒＋粘着テープ＋ｱﾙﾐ箔＋着色ｶﾞﾗｽｸﾛｽ ダクトカバー　天井内・区内　ｶﾞﾗｽｸﾛｽ保温保温筒＋ｶﾞﾗｽｸﾛｽ粘着ﾃｰﾌﾟ 屋内露出　保温筒＋鋼板＋ｱﾙﾐ箔＋着色ｶﾞﾗｽｸﾛｽ 屋外　保温筒＋鋼板＋ｱﾙﾐ箔＋着色ｶﾞﾗｽｸﾛｽ 冷温水管　機械室・倉庫　保温筒＋鋼板＋ｱﾙﾐ箔＋ｶﾞﾗｽｸﾛｽ ダクトカバー　天井内・区内　ｶﾞﾗｽｸﾛｽ保温保温筒＋ｶﾞﾗｽｸﾛｽ 屋外露出　保温筒＋鋼板＋ｱﾙﾐ箔＋着色ｶﾞﾗｽｸﾛｽ 屋外、浴室等　保温筒＋鋼板＋ｱﾙﾐ箔＋ｶﾞﾗｽｸﾛｽ　○ｶﾗｰ亜鉛鋼板 ダクトカバー　屋内露出　保温筒＋鋼板＋ｱﾙﾐ箔＋ｶﾞﾗｽｸﾛｽ 屋外　保温筒＋鋼板＋ｱﾙﾐ箔＋ｶﾞﾗｽｸﾛｽ　○ｶﾗｰ亜鉛鋼板 機械室、倉庫　ｶﾞﾗｽｸﾛｽ亜鉛鋼板＋ｶﾞﾗｽｸﾛｽ粘着ﾃｰﾌﾟ 天井内・区内　ｶﾞﾗｽｸﾛｽ亜鉛鋼板＋ｶﾞﾗｽｸﾛｽ粘着ﾃｰﾌﾟ 屋外露出　※ステンレス鋼板　○ｶﾗｰ亜鉛鋼板 厨房内給湯　ｶﾞﾗｽｸﾛｽ　鋼板＋着色ｶﾞﾗｽｸﾛｽ ダクトカバー　鋼板＋ｱﾙﾐ箔＋ｶﾞﾗｽｸﾛｽ 保温のたり・補修　鋼板＋ｱﾙﾐ箔＋ｶﾞﾗｽｸﾛｽ 保温　ｶﾞﾗｽｸﾛｽ ｶﾞﾗｽﾛｽ 鋼板　ｶﾞﾗｽｸﾛｽ 鋼板＋ｱﾙﾐ箔＋

空気調和設備

項目	仕様
○ 方式	○空気調和　ダクト方式（○中央　○各階ユニット） ○ファンコイル・ダクト併用方式 ○個別方式 ○冷暖房　○パッケージ形空気調和機
○ 主要熱源機器 グリーン購入法適合品を優先的に使用すること 能力・台数・仕様は図示による	○直だき吸収冷温水機　○小型吸収冷温水機ユニット ○鋳鉄製ボイラー　○温風暖房機 ○チリングユニット　○空気熱源ヒートポンプユニット ○電気式パッケージ形空気調和機　○温水発生機 ○ガスエンジン式パッケージ形空気調和機　○氷蓄熱ユニット ○コージェネレーション装置
○ ダクトの種別	※低圧ダクト　○高圧１ダクト　○高圧２ダクト
○ ダクトの工法	※アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法（○共板フランジ工法　○スライドオンフランジ工法）
○ ダクトの分岐方法	給気用ダクト　○割込み方式　○直付け方式 排気用ダクト　○割込み方式　○直付け方式
○ ダクトの板厚等 機監3編2.3.1	調理室、洗浄室排気ダクトはステンレス製（シール貼）、それ以外は亜鉛鉄板製とし、板厚は下記による。

角型ダクトの長辺	板厚（ステンレス）	板厚（亜鉛鉄板）	備考
３００mm以下	０．５mm以上	０．５mm以上	注1
３００mmを超え、４５０mm以下	０．５mm以上	０．６mm以上	—
４５０mmを超え、１２００mm以下	０．６mm以上	０．８mm以上	—
１２００mmを超え、１８００mm以下	０．８mm以上	１．０mm以上	—
１８００mmを超えるもの	０．８mm以上	１．２mm以上	注1
１８００mmを超えるもの	１．０mm以上	１．２mm以上	—

注１：入力合計１８，０００kcal/h以下の場合（角型ダクト）
注２：排気フード板厚は上表による。入力合計１８，０００kcal/h以下かつ使用頻度が低い場合は、一般のレンジフードでよい。

円形ダクトの材質は、厨房用はステンレス製、空調・換気用は亜鉛鉄板製とする。

円形ダクトの呼び径	板厚（ステンレス）	板厚（亜鉛鉄板）	備考
３００mm以下	０．５mm以上	０．５mm以上	—
３００mm以下	０．５mm以上	０．６mm以上	注3
３００mmを超え、７５０mm以下	０．５mm以上	０．６mm以上	—
７５０mmを超え、１０００mm以下	０．６mm以上	０．８mm以上	—
１０００mmを超え、１２５０mm以下	０．８mm以上	１．０mm以上	—
１２５０mmを超えるもの	０．８mm以上	１．２mm以上	—

注３：入力合計１８，０００kcal/hを超える場合

項目	仕様
○ 吹出口等	吹出口、吸込口　○樹脂製　○ＳＵＳ製　○アルミ製　指定色仕上 給排気ガラリ　○樹脂製　○ＳＵＳ製　○アルミ製　指定色仕上 ウェザーカバー　○樹脂製　※ＳＵＳ製　○アルミ製　指定色仕上 カセット式ファンコイル用パネル　※天井建材組込形指定色仕上　○標準品 天井扇、ロスナイ用インテリアパネル　※天井建材組込形指定色仕上　○標準品 天井扇、エアコン用パネル　※天井建材組込形指定色仕上　○標準品 吹出口及び吸込ロボックス　※亜鉛鉄板製　○グラスウール製
○ 配管材料 （図面特記部分は除く）	１）冷温水管・膨張管・エア抜き管・膨張タンクよりボイラー等への補給水管　※配管用炭素鋼鋼管（白） ２）冷却水管　○配管用炭素鋼鋼管（白）　※塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＡ、ＳＧＰ－ＦＶＡ） ３）冷温水管　※配管用炭素鋼鋼管（白）　○塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＡ、ＳＧＰ－ＦＶＡ）（○ねじ接合　○ＭＤジョイントによる接合） ４）蒸気給気管　※配管用炭素鋼鋼管（黒）　○圧力配管用炭素鋼鋼管（黒） ５）蒸気還管　※圧力配管用炭素鋼鋼管（黒） ６）油管　一次配管　※配管用炭素鋼鋼管（黒）、トラフ内共 地中配管（屋内及び屋外）　※ポリエチレン被覆鋼管 ７）空調給水管　※水道用耐衝撃性硬質塩化ビニール管（ＨＩＶＰ） ○ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４）、６０Φ以下は拡管式、７５Φ以上は溶接接合 ○ポリ粉体鋼管（ＳＧＰ－ＰＡ、ＳＧＰ－ＦＰＡ） ○塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＡ、ＳＧＰ－ＦＶＡ） ８）空調用排水管　※硬質塩化ビニール管（ＶＰ）　○排水用塩ビライニング鋼管 ○配管用炭素鋼鋼管（白）（○ねじ接合　※ＭＤジョイントによる接合） ９）ｴｱｺﾝ用ﾄﾞﾚﾝ管　天井内部分　※断熱ドレンパイプ　○断熱ドレンホース 屋内露出部分　※断熱ドレンパイプ　○硬質塩化ビニール管 屋外露出部分　※カラーＶＰ　○硬質塩化ビニール管 屋内外露出部分（化粧ダクト内）　※カラーＶＰ　○硬質塩化ビニール管 １０）冷媒管　○銅管　○鋼管　※冷媒用被覆銅管（下記による） Φ6.35×ｔ0.8　保温厚（ｶﾞｽ･液管共　ｔ8） Φ9.52×ｔ0.8　保温厚（ｶﾞｽ･液管共　ｔ8） Φ12.70×ｔ0.8　保温厚（ｶﾞｽ･液管共　ｔ10） Φ15.88×ｔ1.0　保温厚（ｶﾞｽ･液管共　ｔ10） Φ19.05×ｔ1.05　保温厚（ｶﾞｽ･液管共　ｔ10） Φ22.22×ｔ1.2　保温厚（ｶﾞｽ･液管共　ｔ10） Φ25.40×ｔ1.35　保温厚（ｶﾞｽ･液管共　ｔ10） Φ28.58×ｔ1.55　保温厚（ｶﾞｽ･液管共　ｔ10） ただし、冷凍・冷蔵室等の場合は、ガス管の保温厚をｔ２０とすること。 また、２４時間運転の場合も、保温厚をｔ２０とすること。 １１）セパレート形空気調和機の２次側配管配線の仕様は製造者の標準仕様とする。
○ フレキシブルダクト	断熱材付のものとする（第３種機械換気方式のダクトは除く）。
○ 弁類	１）冷却水配管の６５Ａ以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁と　※する　○しない ２）冷却水配管の鋳鉄製ストレーナは、ライニングを　※する　○しない
○ メンテナンス等	ｶﾞｽｴﾝｼﾞﾝ式については引渡し後平成　年　月末まで保守点検契約を行い結果報告すること。
○ リモコンスイッチ	※ワイヤレス　○ワイヤード
○ 使用冷媒	※Ｒ４１０Ａ　又は　Ｒ３２　○その他（　）
○ 制御線	○ＣＶＶＳ○ ＥＭ－ＣＥＥ－Ｓ○　ＥＭ－ＣＥ　○その他（　（化粧ﾀﾞｸﾄ内共）
○ 天井点検口	○４５０角　※６００角
○ 吊金物・防振架台	室内機は防振吊金物を使用すること。室外機は図示による。
○ 試験	○ 気密試験 ○ 点火試験 運転試験結果報告書提出すること 気密試験は設計圧力以上でおこなうこと。
○ ドレン抜き	外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー類に設けること。
○ 取付枠	防火区画部に取り付ける吹出口、吸込口等で取付枠を必要とするものは鋼枠を使用する。
○ 防煙ダンパー及び防火防煙ダンパー	復帰方式は、　※遠方復帰式（電気式　定格入力　ＤＣ２４Ｖ０．６Ａ以下） ○手動復帰式
○ 冷媒の回収 改標仕3編2.4.3	１）業務用冷凍空調機器（第１種特定製品）は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（平成２７年４月１日施行）の定めに従って行うこと。 ２）特定家庭用機器再商品化法（平成１０年法律第９７号）の対象となっているものは同法の定めに従って行うこと。 ３）フロン回収行程管理票、充填・回収・引取・破壊等証明書を提出すること。 ４）冷媒の初期充填量を書面にて報告すること。
○ 予備フィルター	１００％
○ 煙道	材質はステンレスとし、厚さは、※3.2mm以上○　（　）mm　とする。
○ ばい煙濃度計 標仕3編1.1.10	１）構成は、投光器、受光器、指示計等とする。 ２）投光器から発した平行光線を受光器で検出し、煙の光透過率濃度を測定する構造とする。 また、投光器及び受光器は、送風機付とする。 ３）指示計は、光透過率濃度を表示し、かつ、設定値以上の場合に警報を発報する構造とする。
○ ばいじん量測定口	煙道に８０Φ以上のフランジ付検査口を設ける。
○ 温度計	※工業用バイメタル式温度計 ○　ガラス製棒状温度計　○ガラス製二重管温度計
○ 瞬間流量計	○固定形　個 ○着脱可能形（測定用タッピング　個　本体　個）
○ 空調用ポンプ	材質は、※ＦＣ２００以上　○ＳＵＳ３０４　○ＳＣＳ１３　とする。
○ 防火ダンパー	温度ヒューズの公称作動温度は下記の通りとする。 １）一般ダクト　７２℃ ２）排煙ダクト　２８０℃ ３）厨房排気ダクト　１２０℃
○ 省エネルギー法届出関係	下記の届け出書類を工事着手の２１日前までに提出すること。 １）省エネルギー措置届出書（エネルギーの使用の合理化に関する法律第十五条の二第一項の規定に基づく建築物に係る届出等に関する省令第一号様式） ２）省エネルギー計画書（仕様規定：機器表・系統図・平面図等） ３）省エネルギー計画書（性能規定：ＣＥＣ／ＡＣ計算書等）

衛生器具設備

項目	仕様
○ 小便器用節水装置	※要（図示による）　○不要
○ 自動水栓	電源供給方式は　※ＡＣ電源　○乾電池
○ 水石けん入れ	○衛生陶器取付形　○壁取付形　○カウンター取付形
○ 身障者用器具	１）大便器洗浄弁は　※タッチスイッチ式　○光電式感知洗浄弁　○くつべら　○一般形 ２）洗面器の水洗は（※自動水栓　○レバー式）、手洗器の水栓は（※自動水栓　○レバー式）とする。 ３）便座は　※暖房便座（○温水洗浄機能　○温風乾燥機能　○脱臭機能　○左記機能無）　○普通便座
○ 大便器耐火カバー	※設ける（ピット内は除く）　○設けない

給水設備

項目	仕様
● 給水方式	○水道直結方式　○高置タンク方式　○圧力タンク方式　○ポンプ直送方式
● 配管材料 （図面特記部分は除く）	１）一般配管　※ビニル管（ＨＩＶＰ）　○塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＡ，ＳＧＰ－ＦＶＡ） ○ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４）（６０φ以下は拡管式、７５φ以上は溶接接合） ２）地中配管 ［屋内］　※ビニル管（ＨＩＶＰ）　○ポリエチレン管（５０φ以下）（※２種　○1種） ○ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６）（６０φ以下は拡管式、７５φ以上は溶接部分） ○ポリ粉体鋼管（ＳＧＰ－ＰＤ，ＳＧＰ－ＦＰＤ） ○塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＤ，ＳＧＰ－ＦＶＤ） ［屋外］　※ビニル管（ＨＩＶＰ）　○ポリエチレン管（５０φ以下）（※２種　○1種） ○ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６）（６０φ以下は拡管式、７５φ以上は溶接接合） ○塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＤ，ＳＧＰ－ＦＶＤ）
○ 水栓柱	※合成樹脂製　（※７０×７０×９００Ｈ　○７０×７０×１３００Ｈ） ○ステンレス製　（　）○人造石とぎ出し製（　） 水栓の取付け高さは　※約６００mm　○約１１００mmとする。
○ 管の埋設深さ	１）一般敷地　※３００mm　○６００mm　２）構内車両通路　※６００mm　○９００mm
○ 分担金等	※不要　○要（○本工事　○別途工事）
● 水圧試験	直圧部　１．７５ＭＰａ　その他配管　０．７５ＭＰａ　保持時間　６０分 水圧試験が困難な場合は、目視にて漏水確認すること。
● 施工業者	枚方市指定給水装置工事事業者

排水設備

項目	仕様
● 排水方式	１）汚水と雑排水　屋内　※分流式　○合流式 ２）汚水・雑排水　屋外　○分流式　※合流式 ３）ポンプ排水　○あり（○雑排水　○汚水　○湧水）　○なし
● 放流先	１）汚水　※直放流下水管　○し尿浄化槽 ２）雑排水　※直放流下水管　○し尿浄化槽　○側溝　○別途桝（建築工事）
● 配管材料 （図面特記部分は除く）	１）屋内汚水管　※硬質塩化ビニール管（○ＶＰ　○ＲＦ－ＶＰ　○耐火二層管＝ﾋﾟｯﾄ内は除く） ２）屋内雑排水管　※硬質塩化ビニール管（○ＶＰ　○ＲＦ－ＶＰ　○耐火二層管＝ﾋﾟｯﾄ内は除く） ○配管用炭素鋼鋼管（白）（○ねじ接合　○ＭＤジョイントによる接合） ３）屋外汚水・雑排水管　硬質塩化ビニール管（※ＶＵ　○ＶＰ　○ＲＦ－ＶＰ） ４）通気管　※硬質塩化ビニール管（※ＶＰ　○ＲＦ－ＶＰ） ○排水用塩ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　○配管用炭素鋼鋼管(白)（○ねじ接合　○MDｼﾞｮｲﾝﾄによる接合） ５）鋼管類のポンプアップ排水用の配管は コーティング鋼管とし、継手は、ねじ接合、フランジ接合又は、ハウジング形管継手とする。 ６）枚方市下水道条例施行規程に定めるところにより、排水設備の勾配は下記による（屋内外共）。 ただし、これにより難い場合は監督職員と協議すること。

配管内径	１００ﾐﾘﾒｰﾄﾙ以上	１２５ﾐﾘﾒｰﾄﾙ以上	１５０ﾐﾘﾒｰﾄﾙ以上	２００ﾐﾘﾒｰﾄﾙ以上
勾配	１００分の２以上	１００分の１．７以上	１００分の１．５以上	１００分の１以上

項目	仕様
● 継手類	※雑排水・汚水の継手類は全て大曲りを使用すること。
● 煙試験	※不要（但し、通水試験を実施すること）　○要
○ 負担金	※不要　○要（※本工事　○別途工事）
○ 施工業者	枚方市指定排水工事業者

給湯設備

項目	仕様
● 給湯方式	※中央式　●局所式
○ 配管材料	※被覆銅管（Ｍタイプ）　○ステンレス鋼管 ○耐熱性硬質塩化ビニール管　○保温付被覆銅管　○鋼管
○ 保温 標仕2編表2.3.5(h)イ	１）膨張管・補給水管の保温は冷温水管に準ずる。 ２）ガス湯沸器の排気筒の隠ぺい箇所の保温は、ﾛｯｸｳｰﾙ保温帯+鉄線+ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ+金網
● 給湯器	※都市ガス　○プロパン　○電気 ※瞬間式　○貯湯式

消火設備

項目	仕様
○ 消火設備の種類	○屋内消火栓　○スプリンクラー　○泡消火　○ガス系消火（　） ○連結送水管　○連結散水装置　○フード等用簡易自動消火装置　○屋外消火栓 ○消防用採水口　○消防用水　○消火器（ＡＢＣ１０型保管箱、取扱説明標示板共）
○ 屋内消火栓箱 標仕5編1.5	※総合形（○1号消火栓　○易操作性１号消火栓　○屋内２号） （○ＨＢ－１Ａ　○ＨＢ－１Ｂ　○ＨＢ－１ＡＴ　○ＨＢ－１ＢＴ　○ＨＢ－４Ａ　○ＨＢ－４Ｂ） ○屋内消火栓箱（○ＨＢ－２Ａ　○ＨＢ－２Ｂ） ○消火器箱併設形（Ｓ） 屋内消火栓箱には、消火ポンプ運転表示灯取付用口を設けること。 また、取扱説明標示板を取り付けること。
○ 配管材料 （図面特記部分は除く）	１）一般配管　※配管用炭素鋼鋼管（白）　○圧力配管用炭素鋼鋼管（白） ２）地中配管（屋内及び屋外）　※外面被覆鋼管（※ＳＧＰ－ＶＳ　○ＳＴＰＧ３７０ＶＳ） ○硬質塩化ビニール管（ＨＩＶＰ）
○ 保温	消火用充水タンクの保温を　※施工する（膨張タンクによる）　○施工しない 消火用呼水タンクの保温を　○施工する（膨張タンクによる）　※施工しない 消火配管は給水管に準じる。
○ 試験	当該ポンプ締切圧力の１．５倍　保持時間６０分

ガス設備

項目	仕様
● ガスの種類	※都市ガス１３Ａ　発熱量　４６MJ/m3　（Ｎ）　ガス供給事業者名：大阪ガス ○液化石油ガス（※５０kg　○２０kg）　ガス供給事業者名：○○○
● 配管材料 （図面特記部分は除く）	※大阪ガス指定材料（但し、屋内外露出に関してはＥＬＰとする。） 但し、地中埋設管、屋外露出配管の支持金物等は、ＳＵＳ製のものを使用すること。
○ ピット内施工法	※溶接工法
○ 負担金	※不要　○要
○ ガスメーター	※借用　○買取
● 試験	※気密試験、点火試験を実施し、報告書提出すること。

換気設備

項目	仕様
○ 換気方式	○第１種（給排気）　○第２種（吸気）　○第３種（排気）
○ スパイラルダクト	※亜鉛鉄板　○ステンレス
○ ベンドキャップ	低圧損形　※ステンレス　○アルミニウム
○ フレキシブルダクト	不燃材料で可とう性と耐圧強度及び耐食性を有するもの、アルミ製は２重ダクトとする。
○ ２４時間換気	リモコン部に「２４時間換気」と表示すること。
○ 消音ボックス付送風機 標仕3編1.11.3	１）消音ボックス付き送風機は、小形の遠心送風機（呼び番号２未満）又は斜流送風機（呼び番号３以下を消音ボックスに納めた構造とする。 ２）消音ボックスは、外装に消音内貼りを施した箱形または円筒形とする。 ３）外装は、内部の点検が可能な構造とし、材質は厚さ０．８mm以上の塗装又は防錆処理を施した鋼板（亜鉛鉄板等を含む）とする。 ４）消音内貼りは、ＪＩＳＡ６３０１（吸音材料）のグラスウール吸音ボード（４０Ｋ　厚さ２５mm）又は同等以上の吸音性能を有する材料を、ガラス繊維等の飛散防止処置を施し、鋲、座金、接着材等で貼り付けたものとする。 ５）電動機は、製造者の標準仕様とする。ただし、電動機直動形の場合、極数は４極以上とする。 ６）付属品は次による。 ア）相フランジ（フランジ接続の場合に限る）　一式 イ）電源用端子台又は電源用コード（約１ｍ）　一式 ウ）銘板　一式
○ 排気フード	１）排気フードの補強、支持金物、接合材等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は下記による。 ※ステンレス鋼板（補強共） ２）排気フード回りに取り付ける幕板は、上記フードと同材質とする。 ※本工事　○別途工事 ３）グリスフィルターの予備　※不要　○要

ろ過設備

項目	仕様
○ 形式	※ユニット形　○現場施工形
○ 処理方法	○珪藻土方式　○砂ろ過式　○フィルター式　○膜ろ過式
○ 処理能力	○15.0m3/h以上

タンク設備

項目	仕様
○ 受水槽・高架水槽 標仕5編1.4	※ＦＲＰ製パネルタンク　○ＦＲＰ製一体形タンク ○鋼板製一体形タンク ○ステンレス鋼板製パネルタンク（溶接組立形）　○ステンレス鋼板製パネルタンク（ボルト組立形） １）ＦＲＰ製一体形タンクは、不飽和ポリエステル樹脂とガラス繊維とを用いて作られたガラス繊維強化ポリエステル（ＦＲＰ）を面材とし、合成樹脂発泡体を心材としたサンドイッチ構造のものとする。 ２）ＦＲＰ製パネルタンクは、単板パネル（ＦＲＰで成形したパネル）と合成樹脂発泡体を組み合わせた複合板パネルをボルト締結により組み立てた複合板形パネルタンク（６面共、サンドイッチ構造のものを含む）。 ただし、屋内設置の複合板形パネルタンクの天井部は、単板パネルタンクとしてもよい。 ３）天井部蓋には、南京錠（４０＃）を取付けること。

昇降機設備

項目	仕様
○ 仕様	方式　ロープ式（機械室レス、詳細については図面参照のこと） 用途　※車いす兼用　○一般乗用　○貨物用 定員　※１３人　○（　）人 積載質量　※９００ｋｇ　○（　）ｋｇ 定格速度　※４５m/min　○（　）m/min 運転方式　※乗合全自動方式　○群乗合全自動方式 停止箇所　ヶ所（　階～　階） 耐震クラス　※Ａ０９　○Ｓ０９
○ 遠隔操作等	専用回線（ＰＨＳ、有線など）で、遠隔メンテナンスできること。 専用回線の使用料は、メンテナンス費用に含む。 三者通話ができること（市役所・学校等、かご、メーカ）
○ かご室	かご室内に備えるものや付加仕様は、標準仕様書第９編２．２．３の当該事項によるものとし、適用は図面による。 １）かご内の鏡は割れにくく飛散しにくい材質（※金属製等　○合わせガラス）とする。 ２）操作盤（乗場含む）　※ステンレス製　○樹脂製 ３）ボタン（乗場含む）　○ステンレス製　※樹脂製 ４）かごの窓　○要　○不要 ５）各階案内表示板　※要　○不要

その他

項目	仕様
○ 備品	
○ 注意事項	１）許容騒音値は、敷地境界線上で当該地域の騒音に係る規制基準値を遵守すること。 ２）雑排水管が汚水管と合流するところは、トラップ等で封水すること。

メーカーリスト（参考）

分類	機材名	適用範囲	社名他
管	ビニール管	硬質塩化ビニール管 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニール管	JISマーク表示品 JISマーク表示品
管	鋼管	被覆鋼管	JISマーク表示品
管	ライニング鋼管	水道用硬質塩化ライニングビニール鋼管	JISマーク表示品
管	鋼管	配管用炭素鋼鋼管 水道用亜鉛メッキ鋼管	JISマーク表示品
弁	青銅弁	仕切弁　玉形弁　逆止弁　ボール弁	JISマーク表示品
弁	バタフライ弁		キッツ 東洋バルブ 栗本鉄工所
保温筒	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温筒 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ保温筒		JISマーク表示品 JISマーク表示品
衛生器具	衛生器具・付属品 水栓類		JISマーク表示品 ＴＯＴＯ ＬＩＸＩＬ
排水金物	排水器具		ダイドレ カネソウ 福西鋳物 長谷川鋳工所
マンホール等	マンホール蓋 弁きょう		ダイドレ カネソウ 福西鋳物 長谷川鋳工所 北勢工業
塩ビ桝	塩化ビニール製桝	小口径桝	アロン化成 前澤化成工業
換気扇	天井扇		三菱電機 パナソニックエコシステムズ 東芝ライテック
消火栓	消火栓類		横井製作所 立売堀製作所 北浦製作所
水槽類	受水槽 高架水槽 消火水槽		積水アクアシステム 三菱樹脂 ブリヂストン ベルテクノ
ガス機器	ガス機器		大阪ガス ノーリツ リンナイ
空調機器	空調機器		ダイキン工業 ダイキンアプライドシステムズ 三菱電機住環境システムズ 東芝キヤリア 日立アプライアンス 三洋電機販売 荏原冷熱システム 矢崎総業 木村工機 三菱重工業 パナソニック電工 荏原製作所 パナソニック
ポンプ	ポンプ		川本製作所 荏原製作所 クボタ 日立アプライアンス テラル 新明和工業 鶴見製作所 相互ポンプ
温水ボイラー	温水ボイラー		大阪ガス 昭和鉄工 ダイキン工業

枚方市環境方針

<基本理念>

枚方市は大阪と京都の中間に位置し、東部に生駒山地から男山丘陵に伸びる森林等が広がり、西部は古くからの交通の要衝として、人と自然がかかわる長い歴史の中で豊かな自然と文化を育んできました。

私たちの日常生活や経済活動は、こうした身近な環境だけでなく、地球温暖化をはじめとする地球環境にも大きな影響を及ぼしており、可能な限り環境負荷を低減し、持続可能な社会を実現することが重要な課題となっています。

本市は、多くの先人たちによって築き上げ、守られてきた恵み豊かな環境を将来の世代に引き継ぐために、第２次枚方市環境基本計画のめざすべき環境像「みんなでつくる、環境を守りはぐくむまち　枚方」の実現に向けて、市民・事業者と連携・協力を図りながら、積極的に環境保全の取り組みを進めていきます。

<基本方針>

1. 本市独自の環境マネジメントシステムの運用により、環境負荷の継続的な低減を図ります。
2. 第２次枚方市環境基本計画に基づき、環境の保全と創造に関する施策を総合的計画的に推進します。
3. 事業活動のあらゆる面において、環境に配慮を行い、すべての組織で率先した環境保全の取り組みを追求していきます。
4. 環境に関連する法令や協定等を遵守し、環境汚染の予防に努めます。
5. 職員の環境意識を高め、自ら考え、環境に配慮した行動が実践できるように研修を実施します。
6. 環境方針は、すべての職員に周知するとともに、市民等に公表します。

平成27年　10月1日
枚方市長　伏見　隆

工事名称	平野小学校管理棟外壁改修他工事		
図面名称	機械設備　特記仕様書（２）	縮尺	図面番号
		－	Ｍ－０２
枚方市教育委員会教育環境整備室			日付

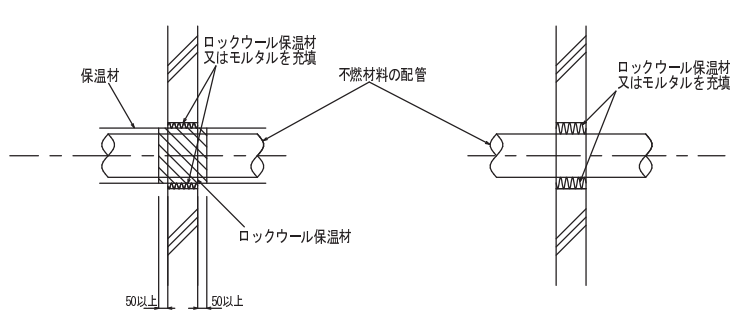
施 工1 配管の防火区画貫通部施工要領

単位 mm

不燃材料の配管が、「建築基準法施工令第112条第15項」に規定する防火区画を貫通する場合

(a) 貫通部において保温が必要な配管

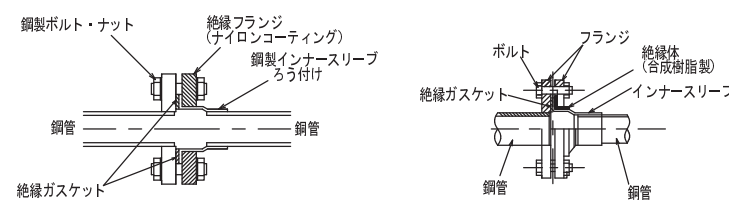
(b) 貫通部において保温が必要ない配管



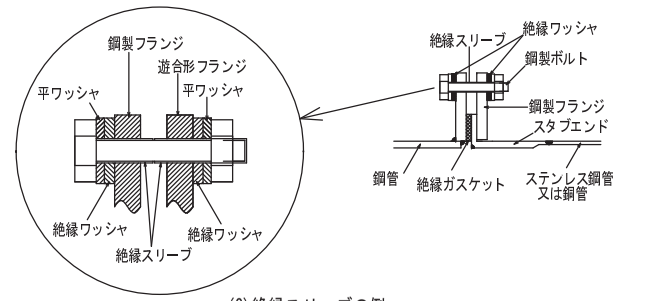
注 (イ) 不燃材料以外の配管が防火区画を貫通する場合は、建築基準法令に適合する工法とする。
(ロ) 貫通部周囲の充填材は、必要に応じて脱落防止措置を施す。
(ハ) 不燃材料以外のスリーブ材（紙製仮枠等）を使用した場合は、配管前に必ず取り除く。

104

施 工3 異種管の接合要領



(1)絶縁フランジの例　(2)絶縁シートの例

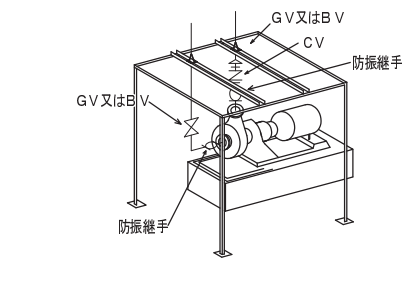


(3)絶縁スリーブの例

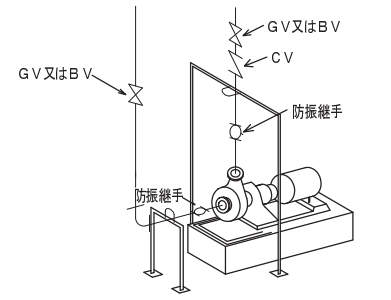
106

施 工10 機器廻り配管吊り及び支持要領（一）

(a) 防振継手を使用した機器



固定の例

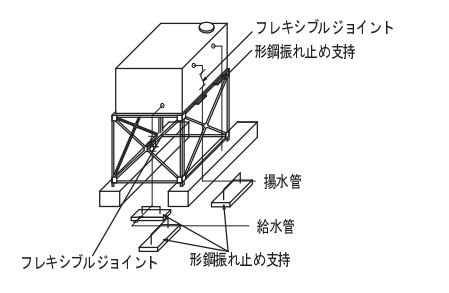


形鋼振れ止め支持の例

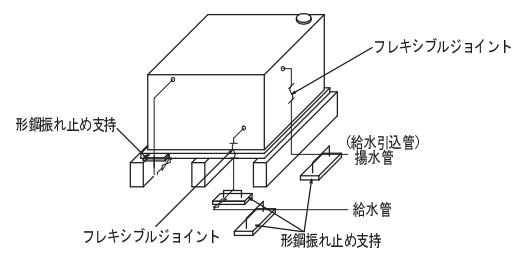
113

施 工11 機器廻り配管吊り及び支持要領（二）

(b) 高置タンク、受水タンク



高架台の場合



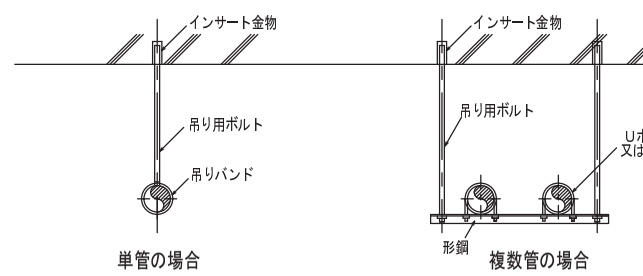
平架台の場合

注 (イ) フレキシブルジョイントは、最大変位量を吸収できる位置に取付ける
(ロ) FRP製タンクのオーバーフロー管は、硬質ポリ塩化ビニル管とする。

114

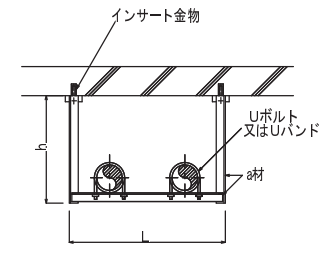
施 工13 配管の吊り金物・形鋼振れ止め支持要領（一）

(a) 横走り管
(1)吊り金物

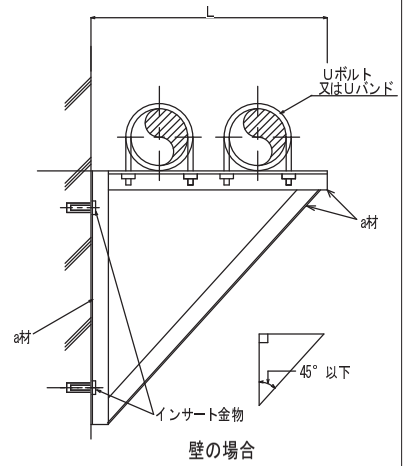


単管の場合　複数管の場合

(2) 形鋼振れ止め支持



床の場合



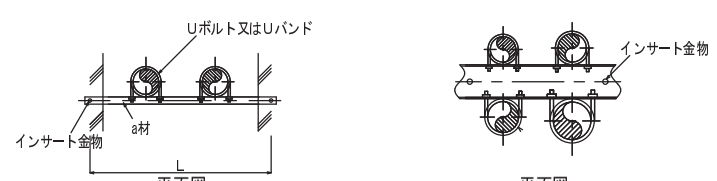
壁の場合

注 (イ) (1)のインサート金物及び吊り用ボルトは、施工19（形鋼振れ止め支持部材選定表（二）の(e)(f)(g)による。
(ロ) (2)のa材及びインサート金物は、施工18（形鋼振れ止め支持部材選定表（一）の(c)による。
なお、接合は全周すみ肉溶接とする。

116

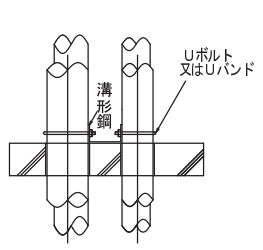
施 工14 配管の吊り金物・形鋼振れ止め支持要領（二）

(a) 立て管（形鋼振れ止め支持）

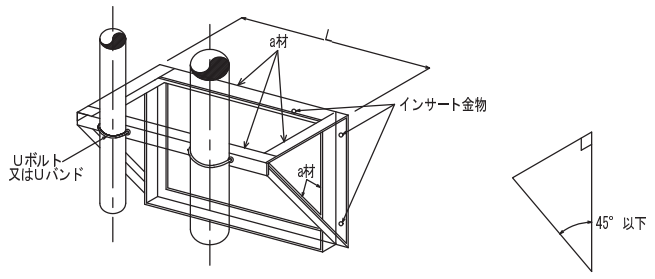


平面図　平面図

注 (イ) a材及びインサート金物は、施工19（形鋼振れ止め支持部材選定表（二））の(d)による。



床の場合　立面図



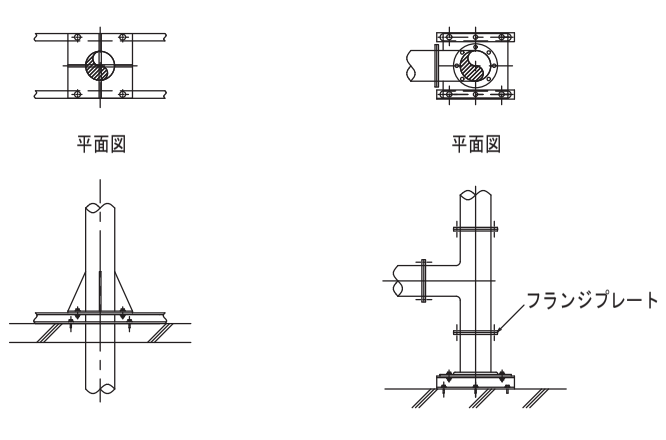
壁の場合

注 (イ) 壁の場合のa材及びインサート金物は、施工19（形鋼振れ止め支持部材選定表（二）の(d)による。
なお、接合は全周すみ肉溶接とする。

117

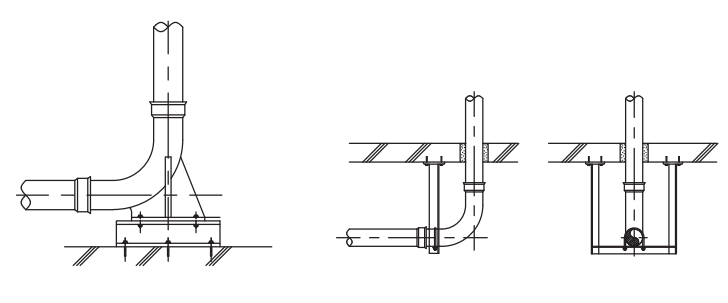
施 工15 立て管の固定要領

(a) 鋼管



平面図　平面図
立面図　立面図

(b) 鋳鉄管



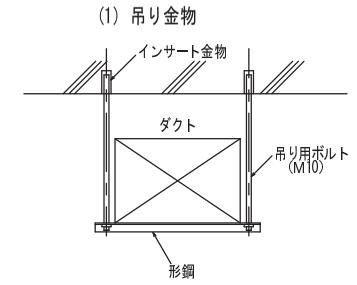
曲り部　垂直部と曲り部

注 (イ) 床貫通部は、配管の振れを防止できる構造とする。

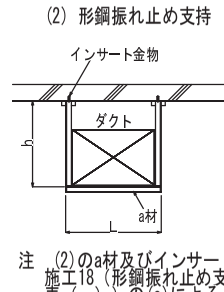
118

施 工17 ダクトの吊り金物・形鋼振れ止め支持要領

(a) 横走りダクト
(1) 吊り金物

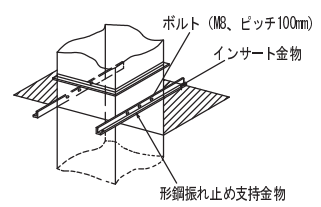


(2) 形鋼振れ止め支持

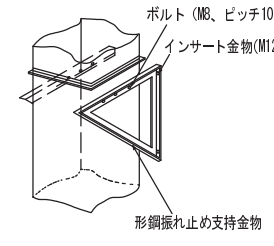


注 (2)のa材及びインサート金物は、施工18（形鋼振れ止め支持部材選定表（一））の(c)による。
なお、接合は全周すみ肉溶接とする。

(a) 立てダクト（形鋼振れ止め支持）



床の場合



壁の場合

注(イ) 壁の場合の形鋼振れ止め支持金物の部材は、保温無ダクトにのみ適用する。
(ロ) 接合は、全周すみ肉溶接とする。

120

施 工18 形鋼振れ止め支持部材選定表（一）

(a) 配管質量表　単位 Kg/m

管 径	40	50	65	80	100
質 量	10	15	20	25	40
管 径	125	150	200	250	300
質 量	50	65	110	150	180

注 配管質量は、満水状態で保温（外装はカラー亜鉛鉄板）を施した鋼管１ｍ当たりの数値である。

(b) ダクト質量表
(1) アングル工法の場合　単位 Kg/m

ダクトの周長(m)	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4.0
保温無	5	10	20	25	30	35	45
保温有	30	45	65	85	90	115	140

(2) コーナーボルト工法の場合　単位 Kg/m

ダクトの周長(m)	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4
保温無	6	9	13	17	26	30	34
保温有	31	44	58	77	86	110	129

注 保温有りのダクト質量は、ロックウール保温材を使用し、カラー亜鉛鉄板の外装を施した数値である。

(c) 形鋼振れ止め支持部材選定表（横走り管及びダクトの場合）

支持質量 Kg	支持部材寸法(mm) L	h	部材仕様 床支持の場合 a材（形鋼）	インサート金物	壁支持の場合 a材（形鋼）	インサート金物
60 (240)	500	1000	L-65X65X6	M12X2	L-40X40X3	M12X2
		1500	L-75X75X9	M12X4		
	1000	1000	L-65X65X6	M12X2	L-40X40X5	M12X2
		1500	L-75X75X9	M12X4		
125 (500)	500	1000	L-75X75X9	M12X4	L-40X40X5	M12X2
		1500	[-75X40X5X7	M12X4		
	1000	1000	L-75X75X9	M12X4	L-50X50X6	M12X2
		1500	[-75X40X5X7	M12X4		
250 (1000)	1000	1000	[-100X50X5X7.5	M12X4	L-65X65X6	M12X2
		1500	[-100X50X5X7.5	M12X4		
	1500	1000	[-100X50X5X7.5	M12X4	L-75X75X6	M12X2
		1500	[-100X50X5X7.5	M16X4		
375 (1500)	1000	1000	[-100X50X5X7.5	M12X4	L-75X75X6	M16X2
		1500	[-125X65X6X8	M16X4		
	1500	1000	[-100X50X5X7.5	M12X4	L-90X90X7	M16X2
		1500	[-125X65X6X8	M16X4		

注 (イ) 支持質量とは、吊り支持部材が受け持つ配管又はダクト自重とする。支持質量の（ ）書きは、形鋼振れ止め支持間隔内の配管又はダクト自重を示す。
(ロ)インサート金物は(e)による。

121

施 工19 形鋼振れ止め支持部材選定表（二）

単位 mm

(d) 形鋼振れ止め支持（立て管の場合）

支持質量 Kg	支持部材寸法 L(mm)	部材仕様 a材（形鋼）	インサート金物 床の場合	インサート金物 壁の場合	支持質量 Kg	支持部材寸法 L(mm)	部材仕様 a材（形鋼）	インサート金物 床の場合	インサート金物 壁の場合
60 (240)	1,000	L-50X50X6	M10 X2	M12 X4	250 (1,000)	1,000	L-90X90X10	M10 X2	M12 X6
	1,500	L-65X65X6				1,500	L-90X90X13		
125 (500)	1,000	L-65X65X8	M10 X2	M12 X4	375 (1,500)	1,000	L-90X90X13	M10 X2	M12 X6
	1,500	L-75X75X9				1,500	L-130X130X9		

注 (イ) 支持質量とは、吊り支持部材が受け持つ配管又はダクト自重とする。支持質量の（ ）書きは、形鋼振れ止め支持間隔内の配管又はダクト自重を示す。
(ロ) インサート金物は、(e)による。

(e) インサート金物は、鋼製インサート金物又はおねじ形メカニカルアンカーとし、次によるものとする。

呼 び 径		M10	M12	M16
鋼製インサート金物	埋込深さ	28mm	45mm	56mm
	許容引抜荷重（長期）	2,000N	4,400N	6,500N
おねじ形メカニカルアンカー	埋込深さ	45mm	60mm	70mm
	許容引抜荷重（長期）	2,500N	4,500N	6,100N

注 重要な機器等を取付ける場合は、試験施工により耐力を確認の上、施工する。

(f) 接着系アンカーを使用する場合は、次によるものとする。　コンクリート圧縮強度18N/㎟

呼 び 径	M10	M12	M16
接着系アンカーの埋込深さ	80mm	90mm	110mm
許容引抜荷重（長期）	5,000N	6,100N	8,000N

注 重要な機器等を取付ける場合は、試験施工により耐力を確認の上、施工する。

(g) 吊り用ボルトは、次によるものとする。

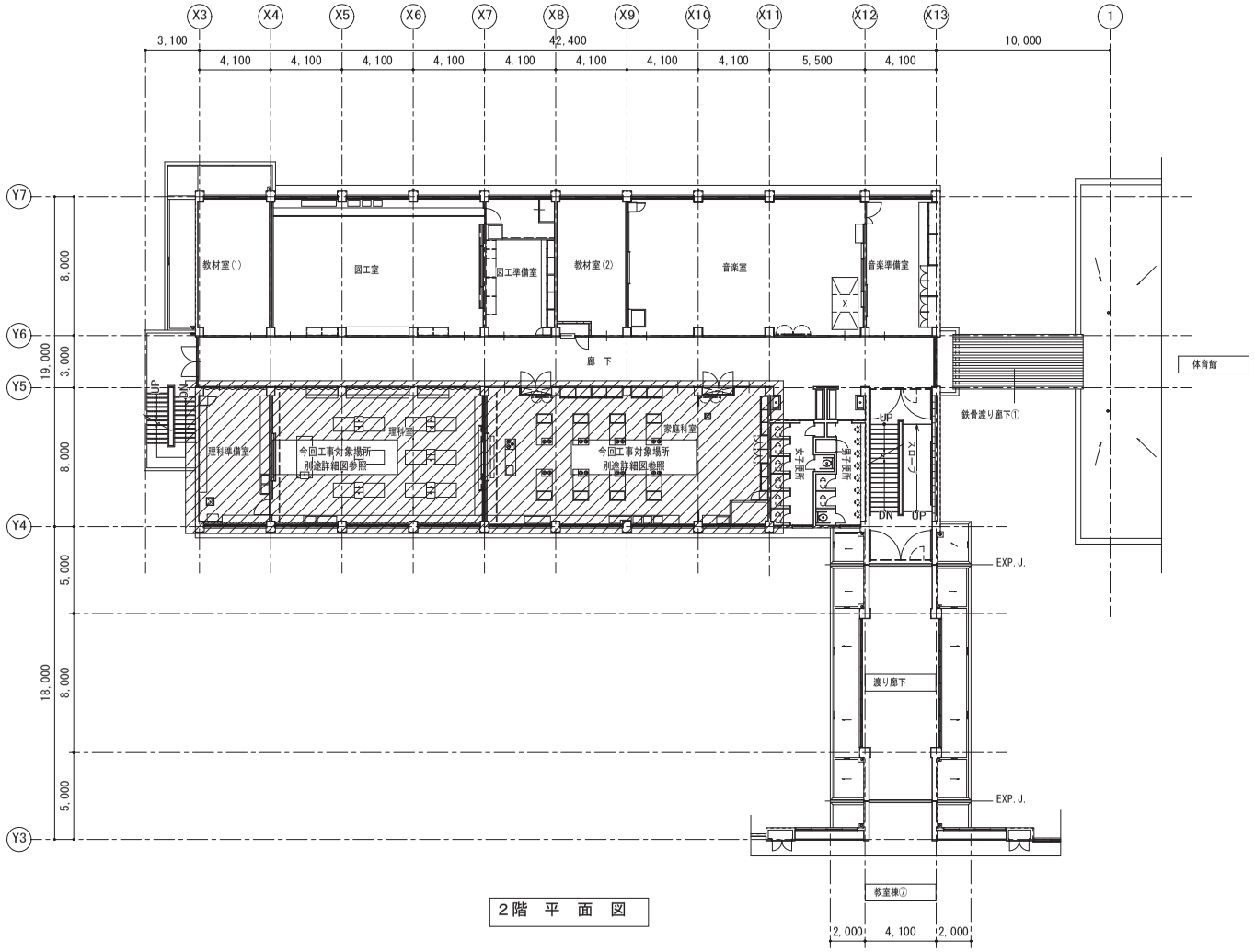
呼 び 径	メートルねじ有効径	ウィットねじ有効径
M10又は 9mm	9.03mm以上	8.51mm以上
M12又は12mm	10.87mm以上	11.35mm以上
M16又は16mm	14.70mm以上	14.40mm以上

注 吊り用ボルトは、棒鋼を転造ねじ加工したものとする。
吊り用ボルトとインサート金物は、ねじ規格が同一のものとする。

122

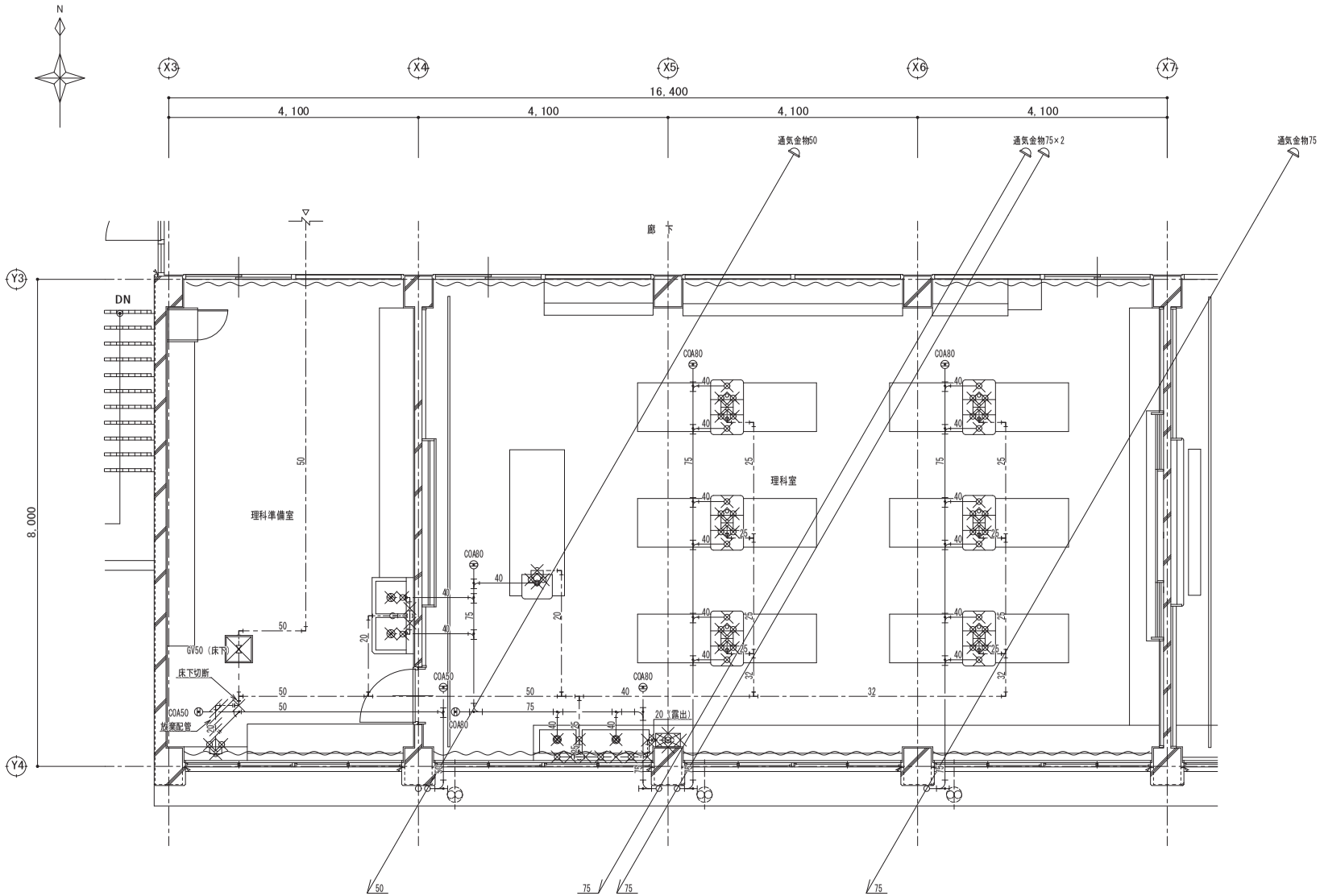
工事名称	平野小学校管理棟外壁改修他工事
図面名称	機械設備 特記仕様書（３）
縮 尺	-
図面番号	Ｍ－０３
日 付	

枚方市教育委員会教育環境整備室



2階 平 面 図

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. M－０４
管理棟２階平面図			
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			S=1/200
枚方市教育委員会教育環境整備室			



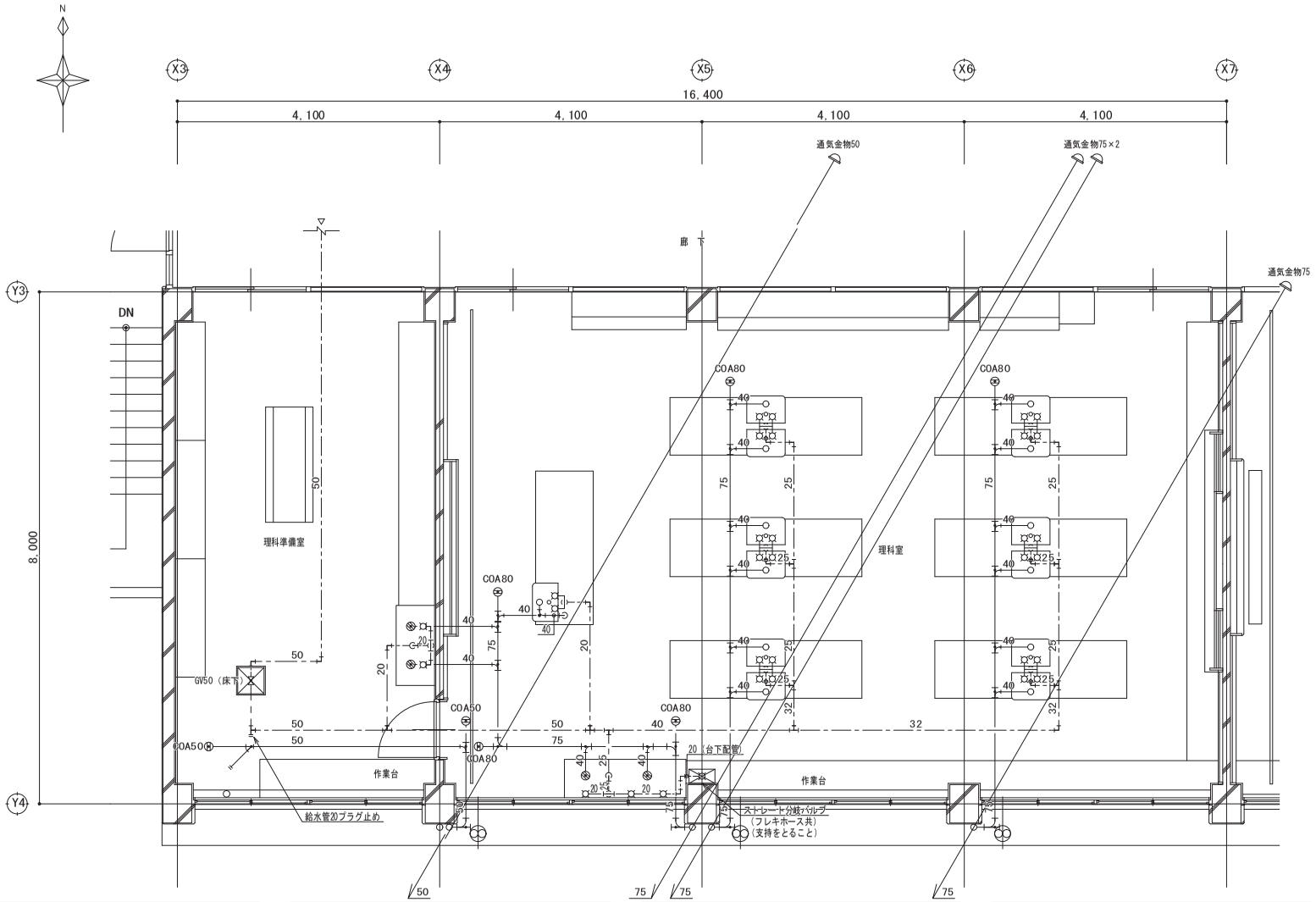
凡 例

記 号	名称・仕様	撤去の有無	備 考
	水栓	撤去	1口
	水栓	撤去	2口（GV20,ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎｰｽ200L共）
	水栓	撤去	4口（GV25,ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎｰｽ200L共）
	床排水金物	撤去	トラップ付き
	ガス湯沸器	撤去	5号　元止め　止水栓共
— — —	給水管		VLP
———	排水管		VP
	配管・器具撤去を示す		
	給水管切断部分を示す		
	排水管切断部分を示す		

特 記 事 項

1. 特記なき、配管切断部のレベルは、フロアラインとする。
2. 床下配管撤去に伴う天井ボード（下階）取外し・復旧は建築工事とする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. M1－05
給排水設備　2階理科室・理科準備室平面詳細図（撤去）			
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			S=1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			



凡例

記号	名称・仕様	備考
	水栓	1口
	水栓	2口
	水栓	4口
	床排水金物	トラップ付き
	ガス湯沸器	5号 元止め
	給水管	HIVP
	排水管	VP
	既設を示す	
	給水管接続部分を示す	
	排水管接続部分を示す	

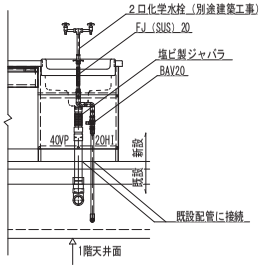
理科室

名称	品番	数量	備考
横形泡沫自在水栓	T131AUN13	3	TOTO相当品
2口化学水栓	N-42B	1	別途建築工事
4口化学水栓	N-43D	6	別途建築工事
陶製流し	NT-146	13	別途建築工事
ステンレス排水トラップ	N-14AS	2	別途建築工事
ストレート分岐バルブ	B4121	1	三栄相当品
瞬間湯沸器	5号、元止め	1	ロングホース
ボールバルブ	BAV20A	1	
ボールバルブ	BAV25A	7	

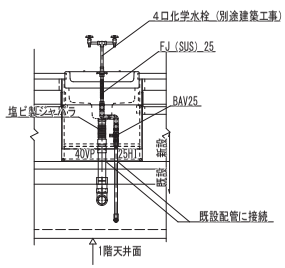
理科準備室

名称	品番	数量	備考
横形泡沫自在水栓	T131AUN13	2	TOTO相当品
ステンレス排水トラップ	N-14AS	2	別途建築工事
ボールバルブ	BAV20A	1	

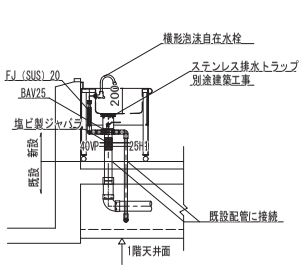
教師用実験台参考図 1／30 1台



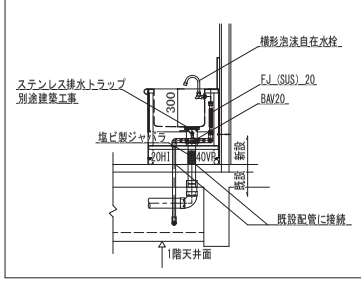
児童用実験台参考図 1／30 6台



理科室流し台参考図 1／30 2台



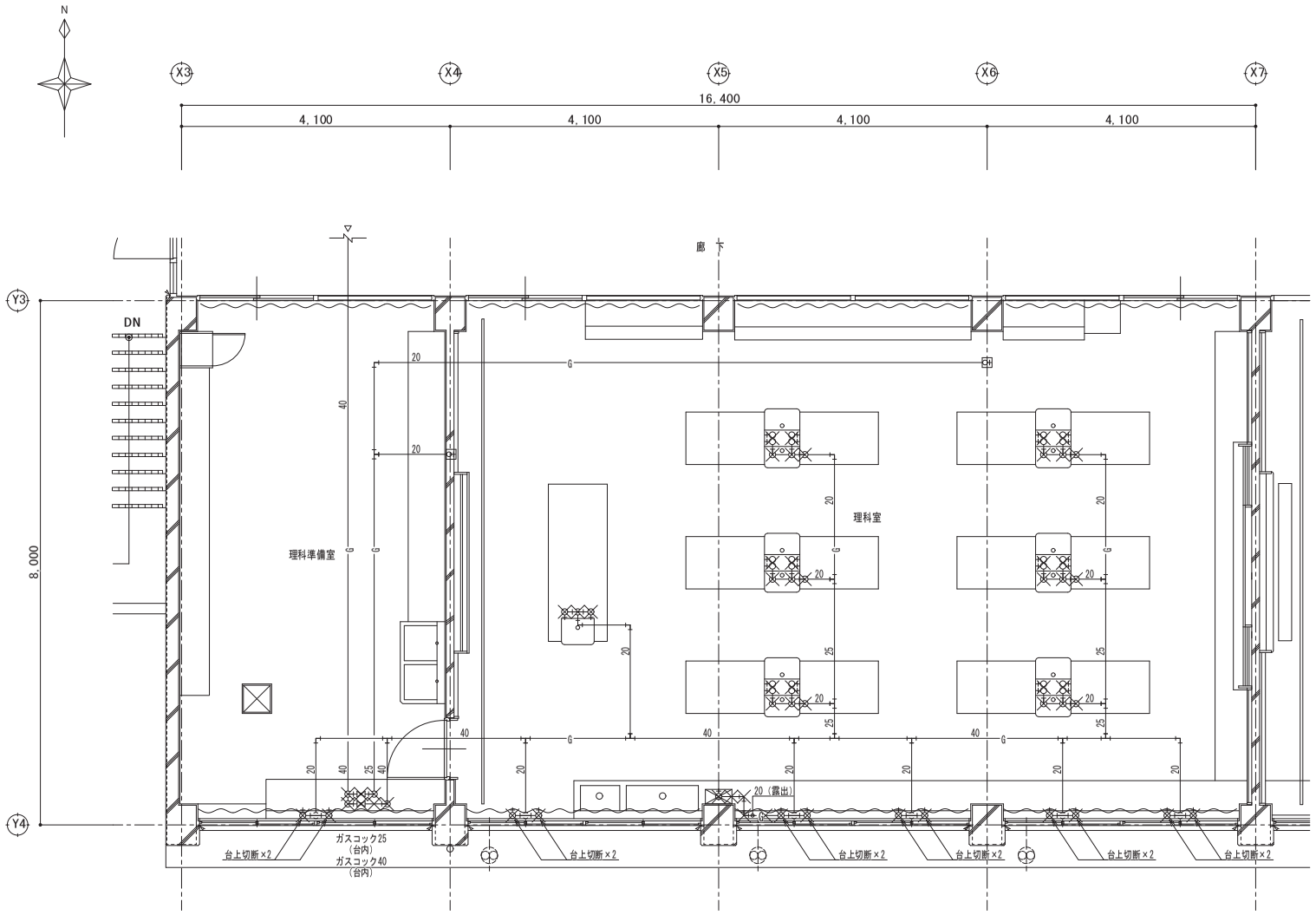
理科準備室流し台参考図 1／30 2台



特記事項

1. 特記なき、配管接続部のレベルはフロアラインとし、太線を新設とする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. M1－06
給排水設備 2階理科室・理科準備室平面詳細図（改修）			
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			S=1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			



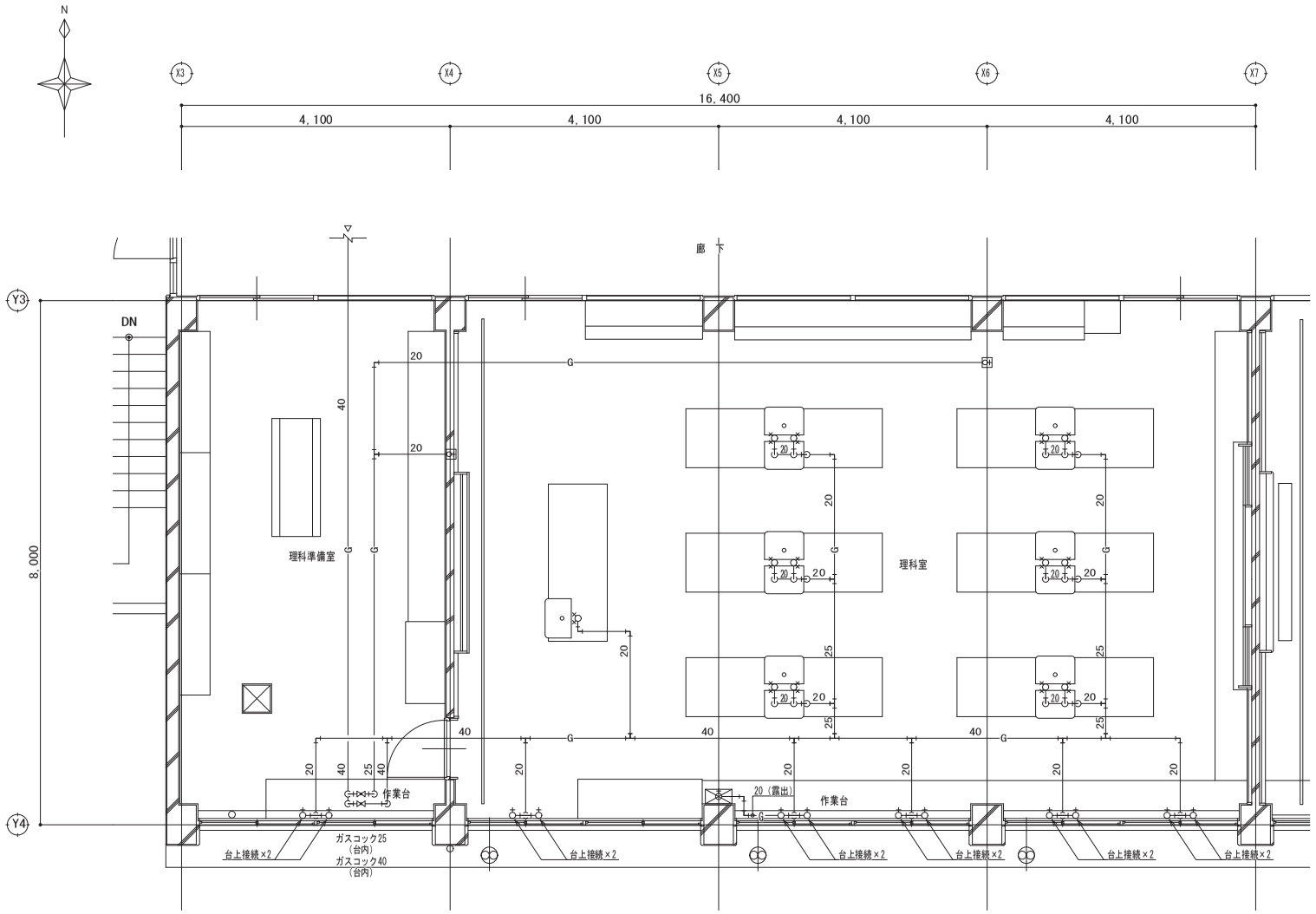
凡 例

記 号	名称・仕様	備 考
	ガスコック	1口
	ガスコック	2口
	ガスコンセント	1口 埋込型
	ガスサービスコック	
	ガス湯沸器	5号 元止め ガスコック共 ※ガス湯沸器の撤去は給湯設備工事
——G——	ガス管	SGP
	配管・器具撤去を示す	
	ガス管切断部分を示す	

特 記 事 項

1. 特記なき、配管切断部のレベルは、フロアラインとする。

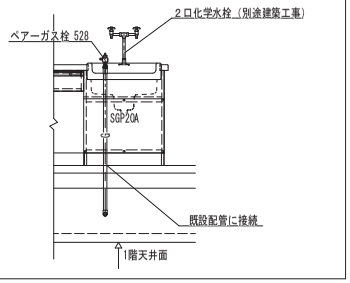
平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. M1－07
ガス設備 2階理科室・理科準備室平面詳細図（撤去）			
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			S=1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			



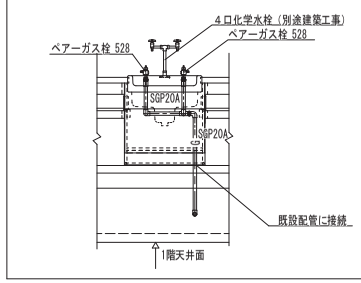
理科室			
名　　称	品　　番	数量	備　　考
ペアーガス栓	５２８	１３	
可とう管コック（強化ゴムホース共）６２８		1	
コンセントガス栓	５４４	１０	

理科準備室			
名　　称	品　　番	数量	備　　考
ガスコック	２５Ａ	1	
ガスコック	４０Ａ	1	
コンセントガス栓	５４４	2	

教師用実験台参考図　１／３０	１台



児童用実験台参考図　１／３０	６台



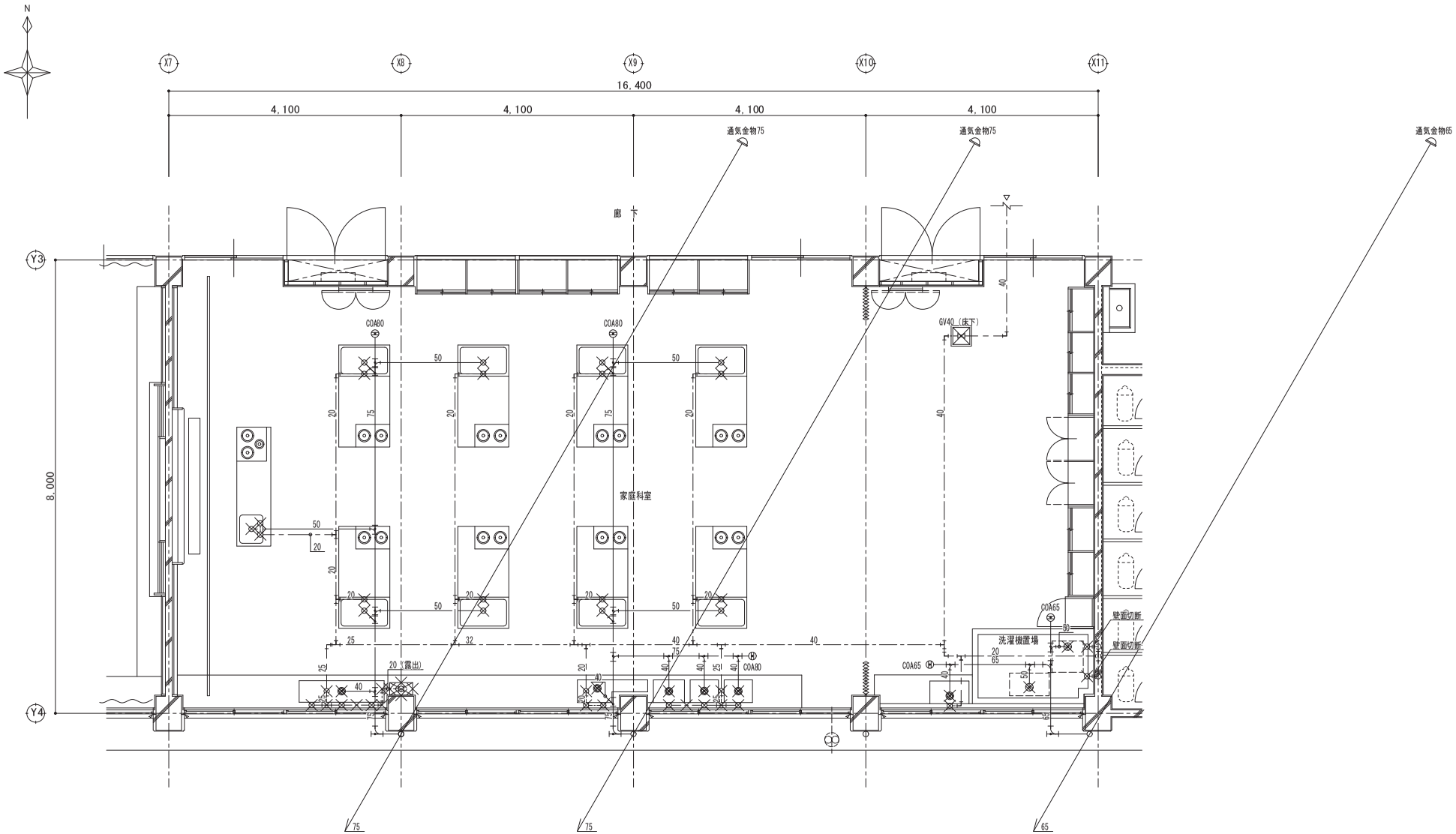
凡例

記　号	名称・仕様	備　考
	ガスコック	1口
	ガスコック	2口
	ガスコンセント	1口　埋込型
	ガスサービスコック	
	ガス湯沸器	5号　元止め　ガスコック共　※ガス湯沸器の新設は給湯設備工事
——G——	ガス管	ELP（露出部）、SGP（隠蔽部）
	既設を示す	
——//——G——	ガス管接続部分を示す	

特記事項

1. 特記なき、配管接続部のレベルはフロアラインとし、太線を新設する。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. M１－０８
ガス設備　2階理科室・理科準備室平面詳細図（改修）			
ＤＡＴＥ	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	ＳＣＡＬＥ
			S=1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			



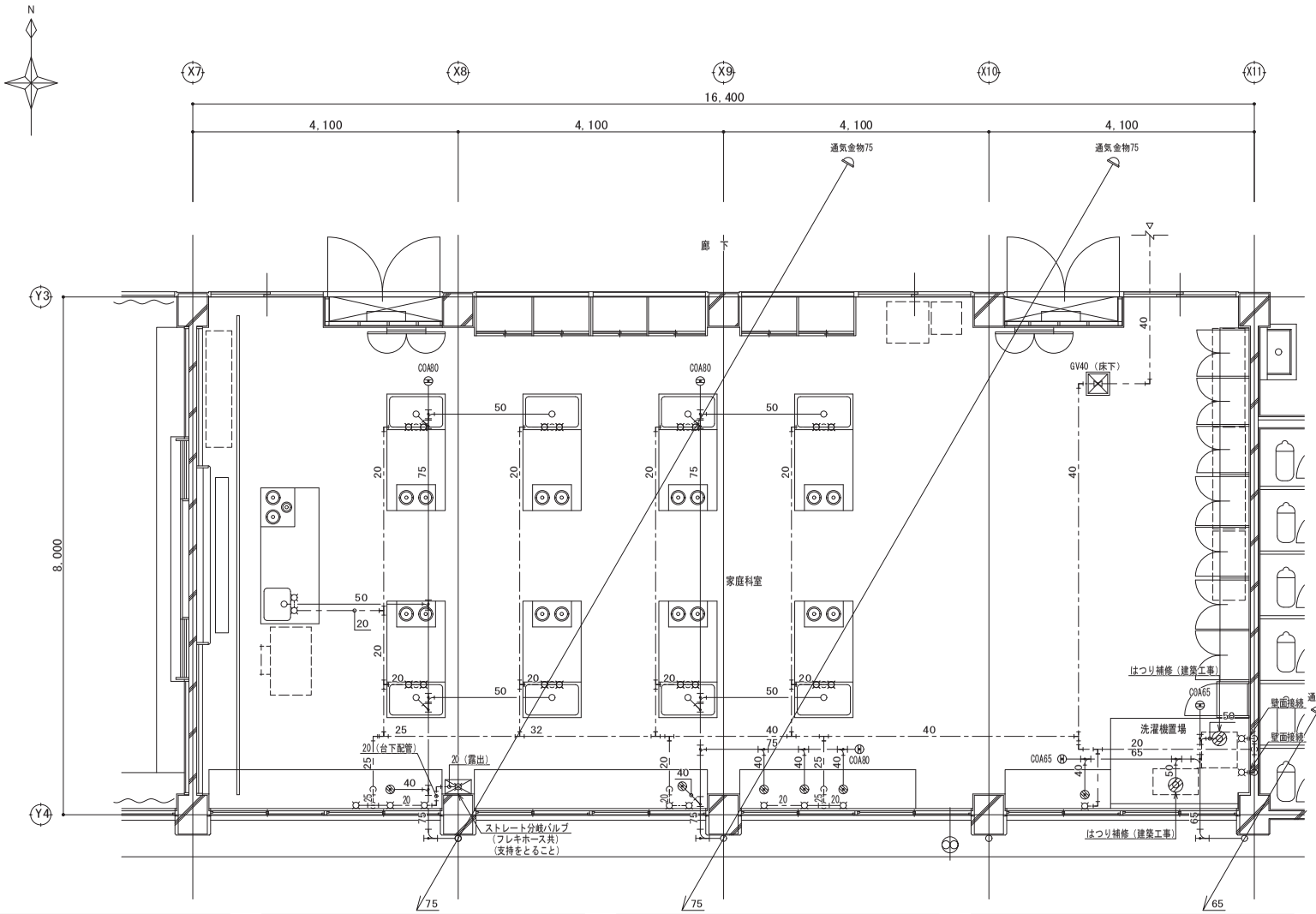
凡 例

記 号	名称・仕様	撤去の有無	備 考
	水栓	撤去	1口
	床排水金物	撤去	トラップ付き
	ガス湯沸器	撤去	5号 元止め 止水栓共
	給水管		VLP
	排水管		VP
	配管・器具撤去を示す		
	給水管切断部分を示す		
	排水管切断部分を示す		

特 記 事 項

1. 特記なき、配管切断部のレベルは、フロアラインとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. M2－09
給排水設備 2階家庭科教室平面詳細図（撤去）			
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			S=1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			



凡 例

記 号	名称・仕様	備 考
	水栓	1口
	床排水金物	トラップ付き
	ガス湯沸器	5号 元止め
	給水管	HIVP
	排水管	VP
	既設を示す	
	給水管接続部分を示す	
	排水管接続部分を示す	

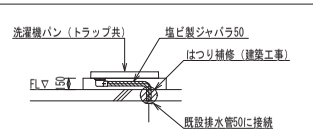
家庭科室

名 称	品 番	数量	備 考
調理台（水栓・トラップ共）		9	別途建築工事
ステンレス流し（トラップ共）		5	別途建築工事
横形泡沫自在水栓	T131AUN13	8	TOTO相当品
ストレート分岐バルブ	B4121	1	三栄相当品
瞬間湯沸器	5号、元止め	1	ロングホース
ボールバルブ	BAV20A	10	
ボールバルブ	BAV25A	2	

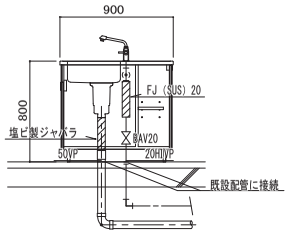
家庭科準備室

名 称	品 番	数量	備 考
ステンレス流し（トラップ共）		1	別途建築工事
横形泡沫自在水栓	T131AUN13	1	TOTO相当品
洗濯機パン（トラップ共）	PWP900NW	2	TOTO相当品
洗濯機用水栓	TW11R	2	TOTO相当品
ボールバルブ	BAV20A	1	

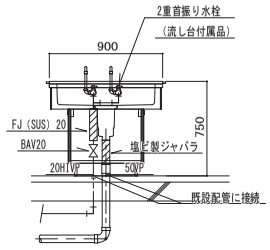
洗濯機置場断面要領図 1／50



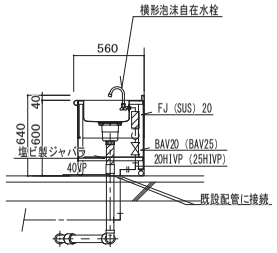
教師用調理台参考図 1／30 1台



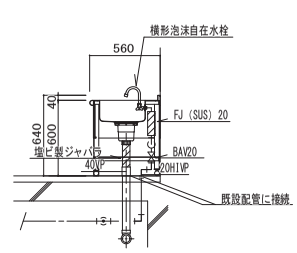
児童用調理台参考図 1／30 8台



家庭科室流し台参考図 1／30 3台



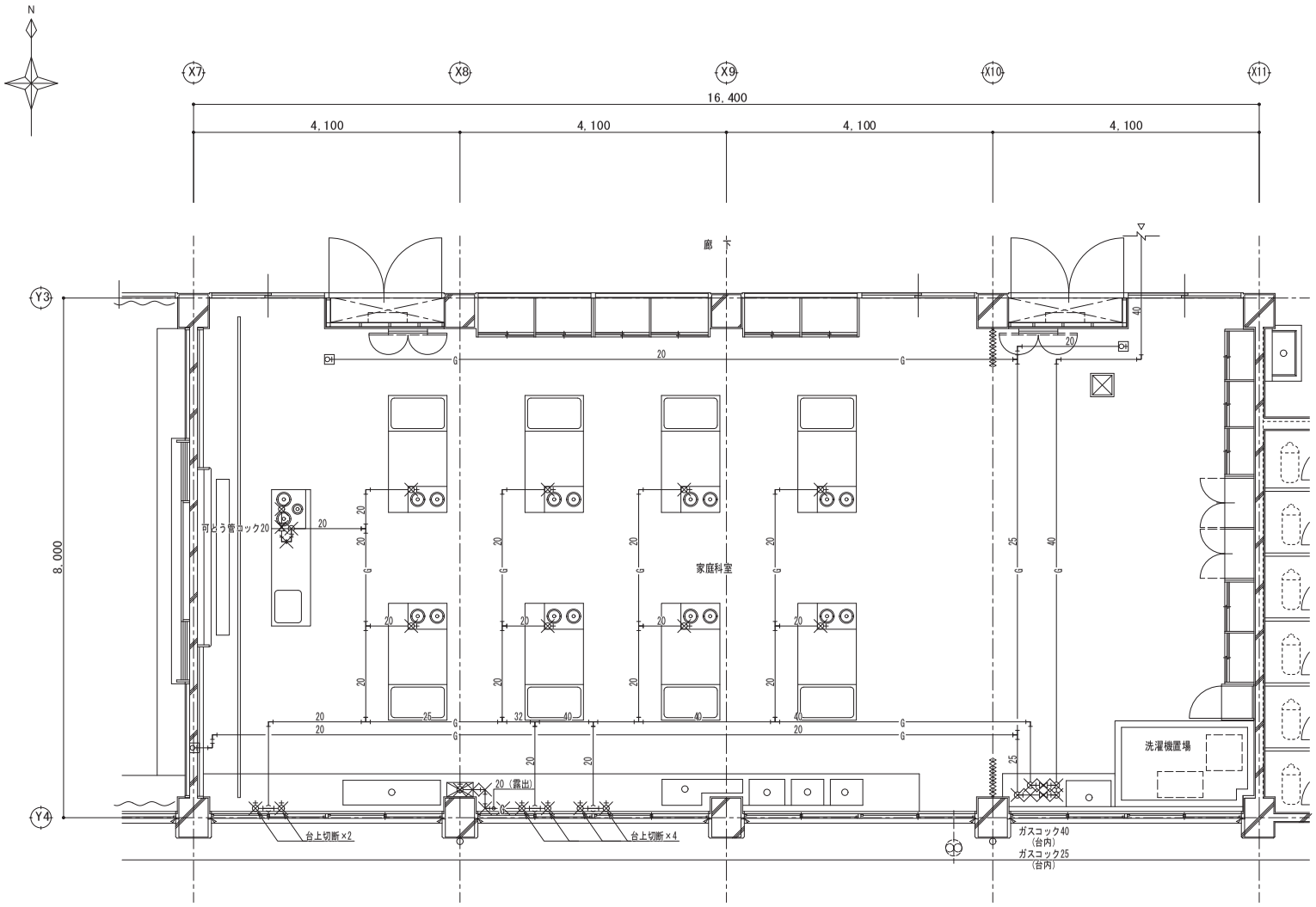
家庭科準備室流し台参考図 1／30 1台



特 記 事 項

1. 特記なき、配管接続部のレベルはフロアラインとし、太線は新設とする。
2. 新設洗濯機パンから既設洗濯機置場排水口への接続は、塩ビ製ジャバラにて接続とする（要領図参照）。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. M2－10
給排水設備 2階家庭科教室平面詳細図（改修）			
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			S=1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			



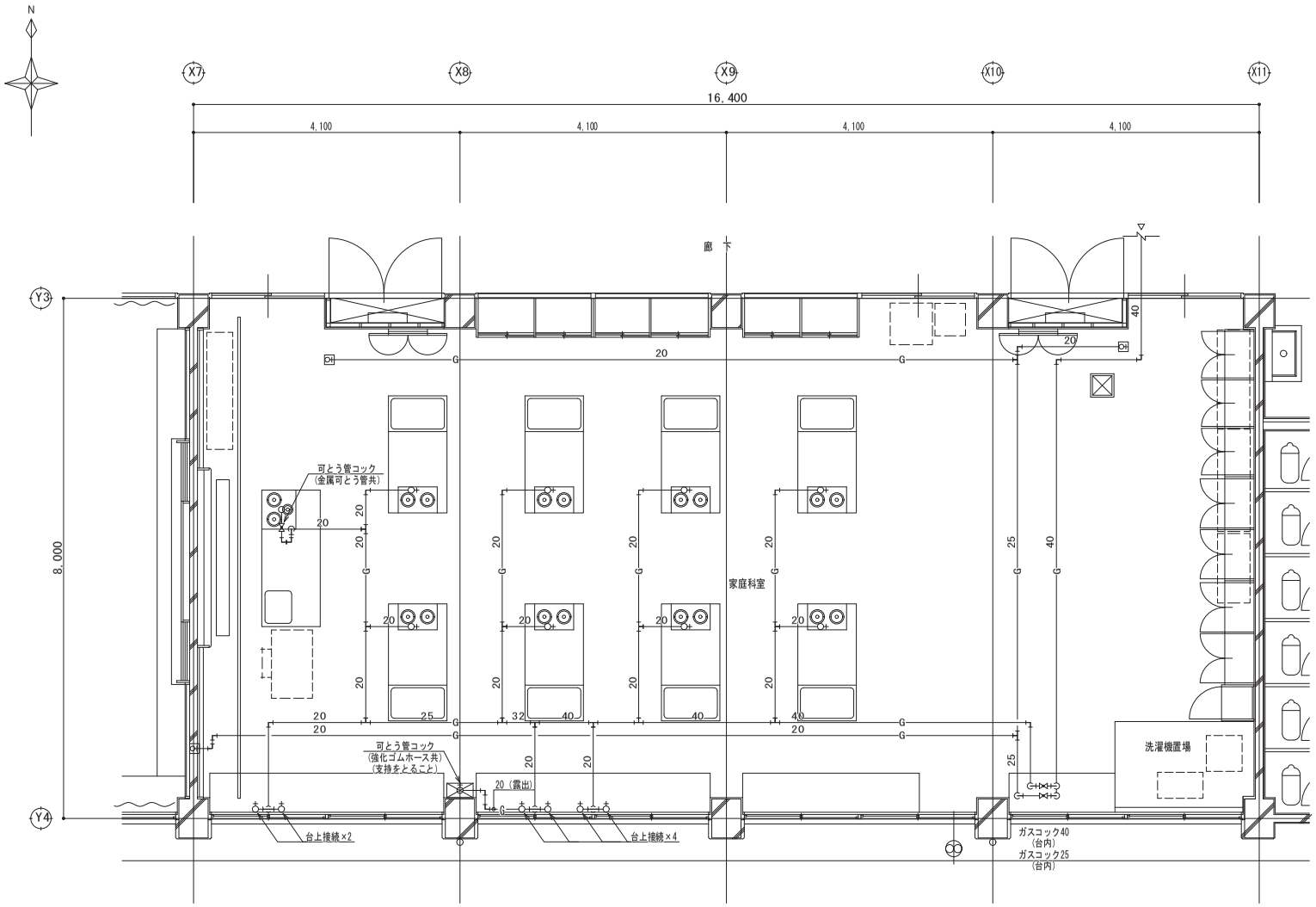
凡例

記号	名称・仕様	備考
	ガスコック	1口
	ガスコック	2口
	ガスコンセント	1口 埋込型
	ガスサービスコック	
	ガス湯沸器	5号 元止め ガスコック共 ※ガス湯沸器の撤去は給湯設備工事
—G—	ガス管	SGP
	配管・器具撤去を示す	
	ガス管切断部分を示す	

特記事項

1. 特記なき、配管切断部のレベルは、フロアラインとする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. M２－１１
ガス設備 2階家庭科教室平面詳細図（撤去）			
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			S=1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			



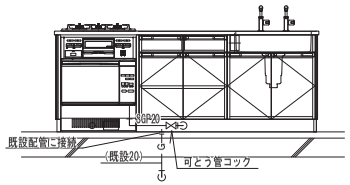
家庭科室

名称	品番	数量	備考
1口ホースコック（強化ゴムホース共）		8	
可とう管コック（金属可とう管共）６２８		1	
コンセントガス栓	５４４	6	
可とう管コック（強化ゴムホース共）６２８		1	

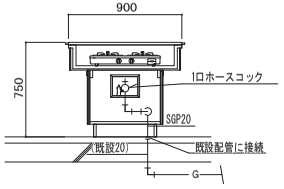
家庭科準備室

名称	品番	数量	備考
ガスコック	２５Ａ	1	
ガスコック	４０Ａ	1	

教師用調理台参考図　１／３０　1台



児童用調理台参考図　１／３０　8台



凡例

記号	名称・仕様	備考
	ガスコック	1口
	ガスコック	2口
	ガスコンセント	1口　埋込型
	ガスサービスコック	
	ガス湯沸器	5号　元止め　ガスコック共　※ガス湯沸器の新設は給湯設備工事
——G——	ガス管	ELP（露出部）、SGP（隠蔽部）
———	既設を示す	
——×—G—	ガス管接続部分を示す	

特記事項

1. 特記なき、配管接続部のレベルはフロアラインとし、太線は新設とする。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. M２－１２
ガス設備　2階家庭科教室平面詳細図（改修）			
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			S=1/50
枚方市教育委員会教育環境整備室			

平野小学校管理棟外壁改修他工事　　特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事場所　　枚方市招提中町一丁目５３－１

2．建物概要

建物名	構造	階数	建築基準法による延べ面積（㎡）	敷地面積（㎡）	消防法別行令別表第１の区分	備考
平野小学校					7項	

3．工事種目（●印を適用し、各一式とする。）

工事種目	建物及び屋外	管理棟	渡り廊下	体育館			屋外
電灯設備		●	○	●	○	○	
動力設備		○	○	○	○	○	
電熱設備		○	○	○	○	○	○
雷保護設備		○	○	○	○	○	
受変電設備		○	○	○	○	○	●
電力貯蔵設備		○	○	○	○	○	
発電設備		○	○	○	○	○	
構内情報通信網設備		●	○	○	○	○	○
構内交換設備		○	○	○	○	○	
情報表示設備		●	○	○	○	○	
映像音響設備		○	○	○	○	○	
拡声設備		●	○	●	○	○	
誘導支援設備		○	○	○	○	○	
テレビ共同受信設備		●	○	○	○	○	
テレビ電波障害防除設備		○	○	○	○	○	○
監視カメラ設備		●	○	○	○	○	
駐車場管制設備		○	○	○	○	○	
防犯・入退室管理設備		○	○	○	○	○	
火災報知設備		●	○	○	○	○	
中央監視制御設備		○	○	○	○	○	
撤去工事		● 殺	●	●	○	○	●
仮設備工事		○ 仮	○	○	○	○	
構内配電線路	（外灯設備も含む）						○
構内通信線路							○
建築工事		●					
機械設備工事		○					

4．工　期　　建設工事に準ずる
（他に予算に関連する特別の事情については考慮　有　・　無　　日を含む）
指定期分

Ⅱ．工事仕様書

1．共通仕様
特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の次の仕様書等のうち、●印のついたものを適用する。
●「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成２８年版）」（以下、「標準仕様書」という。）
●「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成２８年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）
ただし、改修標準仕様書に記載されていない事項は「標準仕様書」による。
●「公共建築協同組工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成２８年版）」（以下、「標準図」という。）

2．特記仕様
１）項目及び特記事項は、●印のついたものを本工事に適用する。ただし●印のない場合は※印を適用する。
２）工事種目に建築工事及び機械設備工事を含む場合、その仕様は当該図面による。
３）仕様書は他工事（●建築工事　○機械設備工事等）が主体の場合、重複する項目は、その仕様書を優先する。
４）本工事に関する関係諸官庁への申請手続きは発注者がその業務を代行し、費用は総て発注者の負担とする。
５）図面等に記載が無くとも技術上、関係法令上、又は美観上当然必要と認められる変更は、その費用とも発注者の負担とする。

種目	項目	特記事項
共通	●設備機材等	本工事に使用する機材等は、設備機材等指定表、設計図書によるもの又はこれらと同等品以上とする。 ただし、同等品以上とする場合は、監督職員の承諾を受ける。
	●電気工作物の種類	※非事用電気工作物　○一般用電気工作物
	●主任技術者等の資格	建築物の許可を受けている者は必要。
	●電気保安技術者	●非事用電気工作物に係る工事の場所保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者、又はこれと同等の知識を有する者とする。 ○一般用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第一種及び第二種電気工事士の資格を有する者とする。
	●電気工事士	※最大電力５００ｋＷ未満の自家用電気工作物及び一般用電気工作物の電気工事は定められた有資格者により施工を行う ○最大電力５００ｋＷ以上の需要設備の電気工事は第１種電気工事士により施工を行う
	●工事用電力設備の保安責任者	工事用電力設備の保安責任者として、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。
	●工事実績情報の登録	保安責任者は、適切な保安業務を行う。 工事請負代金が５００万以上の場合は、工事実績情報（ＣＯＲＩＮＳ）の登録を行う。 登録内容について、あらかじめ監督職員の確認を受けたのちに、次に示す期間内に登録機関へ登録申請を行う。ただし、期間には、土曜日、日曜日、国民の祝日等は含まない。 ①工事受注時　　契約締結１０日以内 ②登録内容の変更時　　変更契約締結１０日以内 ③工事完成時　　工事完成後１０日以内 国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「建設工事等実績情報登録要領（平成２８年版）」による他か、監督職員の指示による。
	●工事写真	
	●工事用電力、水	※本工事に必要な工事用電力、水等の費用は、受注者の負担とする。 ●本工事に必要な工事用電力、水等は有償可能とする（ただし場合は１００Ｖコンセントのみとする）
	○工事用仮設物	機内につくることが（○できる　○できない）
	○監督職員事務所	設ける（規模　　程度）
	○足場・作業機台組	別紙約の関係発注者が定置したものは、無償で使用できる。
	○交通整理員	設ける（延べ　　人・日）
	●発生材の処理等	a）工事に伴って発生した建築廃棄物は「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、その処理責任については施工者にある。また その処理は産業廃棄物の処理及び運搬業の許可を有するものに限る。なお、施工者は廃棄物の処理方法を記載した施工計画書・許可書の写し及び処理証明書を提出する。 b）「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」の規定に基づき、適正に分別解体・再資源化を図るものとする。 c）特別管理産業廃棄物についても、確認されれば、法に従い適切に保管処理を行うこと。
	○建設発生土の処分	○構内指示の場所に敷きならし　○構内指示の場所にたい積 ○構外搬出適切処理（※建築・処分受け注物　○処分地　　）
	○副産物	
	○仮設工事	設備機器の設置は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針２００５年版」による。 ※設計用水平地震力は、次に示す設計用標準水平震度に、機器の重量（ｋＮ）を乗じたものとする。 また、設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の１／２とする。 ○図赤による 設計用標準水平震度 ○特定の施設：重要 ２．０／一般 １．５（１．０）／※一般の施設：重要 １．５／一般 １．０（０．６） 設置場所：機器：上階、屋上及び塔屋／水槽類：機器／水槽類：機器 上階、屋上及び塔屋：２．０（１．０）／１．５（１．０）／１．５／１．０（０．６） 中間階：１．０（１．０）／１．５／１．０（１．０）／１．０／０．６（０．６） １階及び地下階：１．０（１．０）／１．５／０．６（１．０）／１．０／０．６（０．６） 注．（　）内の数値は、防振支持の機器の場合に適用する。 重要機器（水槽類）は、下記による。（水槽類には オイルタンク等を含む。） ○配電盤　○直流電源装置　○非常用発電装置　○受変機　○ ○電算用電源　○中央監視装置　○ＵＰＳ装置　○自動火災報知装置　○ 上階階の定義は、次による。 ６階建以下の場合は最上階、７～９階建の場合は上部２階、１０～１２階建の場合は上部３階、 １３階建以上の場合は上部４階
	○他工事との工事区分	図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。
	●化学物質を放散させる建築材料等	本工事の建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するとともに、次の（１）から（４）を満たすものとする。 （１）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード ド、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗装、仕上 塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 （２）接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 （３）接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有し ない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。

種目	項目	特記事項
共通	化学物質を放散させる建築材料等（続き）	（４）（１）の材料を使用して作られた家具、書架、黒板など、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない材料を使用したものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次の左りとする。 規制対象外 ①　建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②　建築基準法施行令２０条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 第三種 ①　建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ②　建築基準法施行令第２０条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
	○室内空気中の化学物質の濃度測定及び建築	○　８時間測定　　箇所（　　） ※２４時間測定　　箇所（　　） １）測定対象室および各室測定箇所数　※任上書による　○国井 ２）測定対象物質　※室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン 測定はパッシブ型採取機器により行う。測定条件等は、監督職員の指示による。 測定対象物質の濃度を測定し、報告すること。
	●廃　　棄　　物	既存部分の廃生　　※行う　　廃生の方法（※ビ・ユ・ハ、会様等　○　　）○行わない 固定された備品、机、ロッカー等移動・復旧　○行う　数量等（　　）　※行わない
	●地中埋設物等	施工前に、当該工事に係わる地中埋設物等（建物内又は既設コンクリート内の既設・配管配線も含む）について事前調査を行う。既設機器物の位置及び既設環境型番の銘柄等が不明な場合は、探査方法及び試験配方法を監督職員と協議する。
	●影響環境検査	はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工に あたり、埋設物の事前調査を行う。 施工場所を鉄筋探査機により探査し、鉄筋・配管類の位置に 出しを行う。 既材調査過程並については監督職員の指示によるものとし、費用は別途とする。
	●はつり	既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部のあ けは、原則として ダイヤモンドカッターによる。 鳴、復旧はモルタル補修とする。
	●電線類	ＥＭ電線、ＥＭケーブルの使用を原則とする。ＥＭ電線、ＥＭケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。
	●電線管	合成樹脂製可とう管（以下ＰＦ管という）は一種タイプとする。 露出部分（ＰＳ内を除く）は鋼製電線管とする。特記なき場合、屋外露出配管は厚鋼電線管（溶融亜鉛メッキ）とする。 防火区画は、鋼製電線管を壁厚等よ り１ｍ以上突出して施工する等、適切な工法で行なうこと。 電線の収容率 数を考慮すること。
	●電線本数、管路等	地中電線路には堅ろう な不燃性又は自消性のある難燃性の管を使用すること。
	●電線本数、管路等	分電盤、制御盤、端子盤等の２次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督職員の承認を受けて変更することができる。
	●ボックス	ＰＦ管で配管する場合は、合成樹脂製ボックスを使用する。 （耐火関仕切は（軽量鋼等下地）内の場合は図面特記による。） 屋外形の手元開閉器及びプルボックスは、ステンレス製又は、溶融亜鉛メッキとし、指定色塗装とする。 プルボックスのねじはアブセットねじとする。
	●塗装	パイプスペース等以外での露出配管は、全て塗装を行う。（ＰＥＯ管、厚膜亜鉛管、合成樹脂管は除く） 前等の環境汚染物質を含まないものを選定すること。
	●予備配管	分電盤の予備の配線用遮断器が４個以下の場合（２５）を１本、５個以上の場合（２５）を２本天井内並で立上げる。 ケーブルラックの防火区画貫通部に、（５１）を１本以上設ける。 長さ１ｍ以上の通線しない管路には、１．２ｍｍ以上の樹脂被覆鉄線を挿入する。
	●フラッシュプレート	※金属製（ステンレス、新金属も含む）　○樹脂製
	○フロアプレート・ベース	水平高低調整式（塗転防止付リング付、ＯＡフロア一部分を除く） ※樹金製　　アルミ製
	●機器取付高さ	図面に特記なき場合は、「機器標準取付高さ表」による。
	●寸法	量その他機器類について図示したり寸法は、約寸法とする。
	○制御盤塗装色	屋内配置盤、機械室、パイプスペース内等に取付ける制御盤、分電盤等の仕上げ塗装色は、原則として マンセル記号７．５Ｙ９／１とする。 ○屋外形の機係盤は防錆処理及びプルボックスは溶融亜鉛メッキとし、指定色塗装とする。
	●機器内配線等	下記の機器内配線及びケーブルには、ＥＭ電線及びＥＭケーブルを使用する。 ただし、高圧主回路配線はこの限りでない。 ●分電盤　　○ＡＶ盤　　○実験盤　　○開閉器箱　　○制御盤 ○キュービクル式配電盤　　○直流電源装置　　○定無停電電源装置（ＵＰＳ）
	●再使用機材	取外した再使用する機材は、清掃を行い、絶縁状態を確認後に取付ける。なお照明器具等の見えがかり部分は、洗剤を使用するなどして十分に清掃を行うこと。
	●設備機能上の協議	図面上において機能上疑義が生じた場合、検討した後、監督職員と協議する。
	●施工図	施工図、製作図、製作仕様書は必ず作成し、見本等は必要に応じ適やかに監督職員に提出のうえ承認を うけた後、 施工に着手のこと
	●検査	配管等で施工後に検査が容易に出来ない場所は隠蔽前に監督職員の検査を受けること。 ＣＤ管は埋に ※行う検査を行い確認等の正常に動作する事を確認し、その記録を作成するとともに官公署等必要な検査を受け、その記録も作成すること。
	○火災・損害保険	工事原作と同時に組立保険等（火災、機器損害・第三者）に加入し、その写しを提出する。 加入期間は、契約工期より１４日延長した月日とすること。 被保険者に発注者、全下請け業者を含めたものとすること。
	●環境への配慮	「秋方市環境基本条例 の基本方針（環境方針）を理解し、環境に配慮した工事の取り組みを行うこと。
	●ＰＣＢの取扱い	照明器具安定器、受変電設備機器の絶含油にＰＣＢが入っているかを確認し、書面で監督職員に報告すること。また、ＰＣＢが入っている場合は監督職員と対応方法を協議すること。
	●その他	一構内に既設棟のある新設工事は、既設設備の機能が損なわれないよう充分に注意を払い、設備切換を計ったうえ施工のこと。 制御盤、開閉器箱等で前面扉裏側に充電部分が露出する場合は、感電防止用保護カバーを取付ける。 電線ジョイント部分に用いるテープは原則として自己融着テープ巻きの うえ、ビニル絶縁テープ巻きを仕上げとする。又、監督職員に適つきヨネクタイを使用しても良い。 電線接続に用いるスリーブはＰＳＬ－ＵＴＰＳＬ－ａ（ＣＥＰ　２０ｍｍ（片端６角ＣＥＰスリーブ（ＪＩＳ　 強電（１００Ｖ以上）回路には接地を施すこと。これによりがたい場合は打合せによる。 電動機などの機器への接続は本工事とする。尚、電線をターミナルラグにより機器に接続する場合は締付け確認の表示を行うこと。 支持金具類は屋外（開放部分も含む）では、ＳＵＳ製を使用すること。 露出配管の支持はハンガを使用し強固に固定すること。 電線の途中接続は、原則として行ってはならない。 電線の識別は、これを行うことはならない。
	●竣工図等	ａ）すべての設計変更及び現場変更後の状態を明確に記載する。 ｂ）地中関係管路等の位置、深さなどは、基準となる位置からの寸法を正確に記載する。 ※※工事完了後下記の書類を提出のこと。 ●提出部分の修正 ●図面（ＣＡＤデータで提出）　　一部 ●原図（ポリイラー（原図及びＢ４版マイクロフィルム）　　一部 ○竣工図　Ａ２製本（見開き Ａ１）　　一部 ○竣工図　Ａ３製本（見開き Ａ２）　　一部 ○竣工図　Ａ４製本（見開き Ａ３）　　一部 ○施工図　竣工図と一緒に製本 ●完成図書　●Ａ４　黒表紙、金文字製本　　一部 ●Ａ４　ファイルとじ　　２部
	●電子データの提出等	電子媒体を提出する。 ただし、電子納品の対象とする電子データの範囲及び作成要領は、監督職員の指示による。
	●著作権等	当該建物において取得する、施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に帰属するものとする。

目次	規格
竣工図表	Ａ４綴じ引
機器完成図	Ａ４製本
試験成績表	Ａ　４
取扱説明書	Ａ　４
許可書類	Ａ　５
保証書	Ａ　４
付属品、予備品リスト	Ａ　４

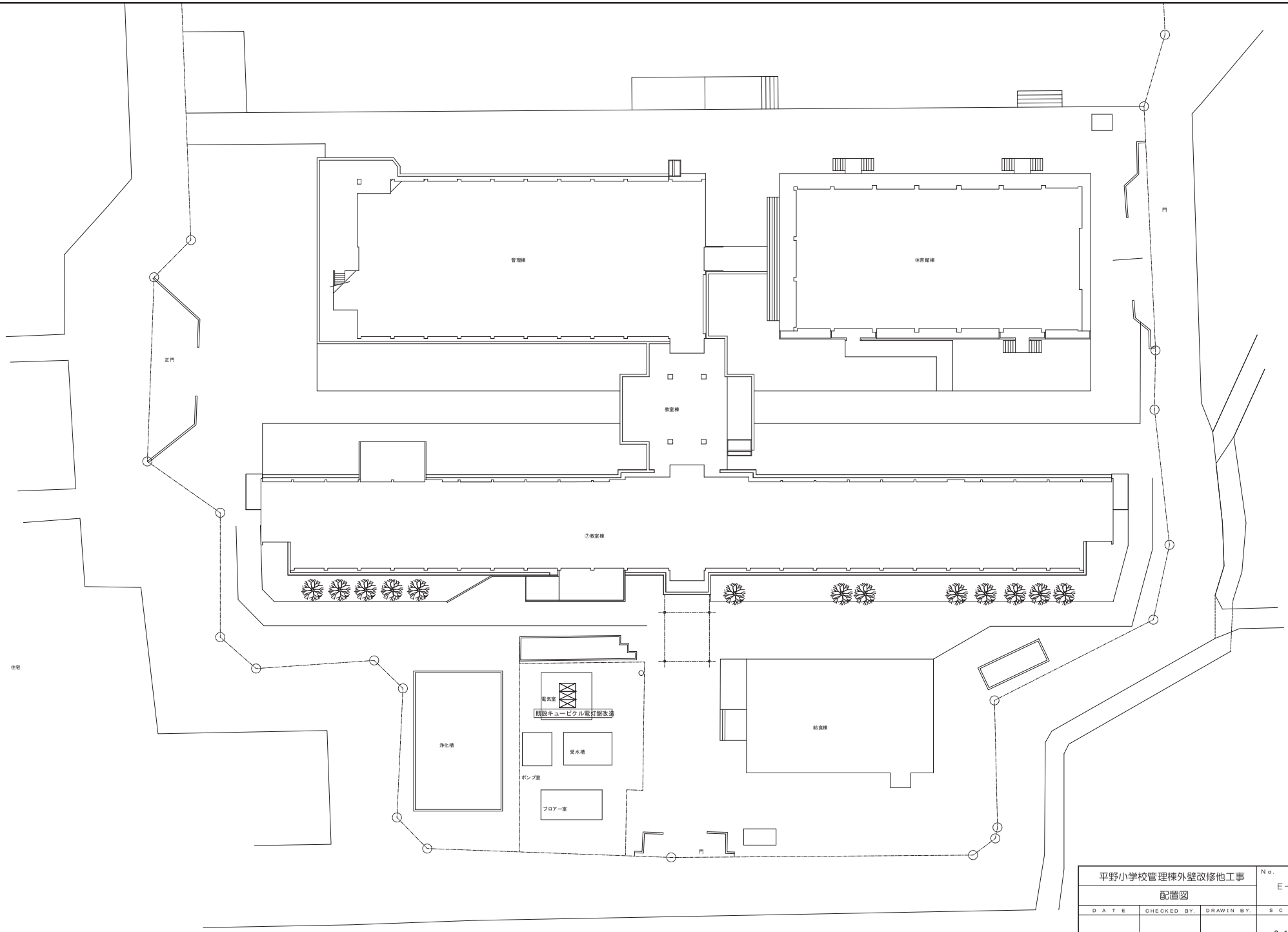
※工事竣等は保管用ケースに入れて提出すること

種目	項目	特記事項
電灯設備	●工事範囲	●配管　●配線　●機器取付　●機器移設・改造　●取り外し再取付
	●照明器具	照明器具は表別とて公共施設用照明器具とする。
	○照明制御装置	照明制御装置の告センサー設置は、監督職員の指示による。
	○センサー	○センサー設定器を　個　附属すること。
	○多重伝送制御システム	多重伝送制御システムの設定は、監督職員の指示による。
	○システム設定器を	個　附属すること。
	●ＬＥＤ制御装置及び蛍光灯安定器の種類	ＬＥＤ制御装置及び蛍光灯安定器の種類・電圧は、標準図及びＪＩＬ５５０４－２０１５「公共施設用照明器具」に指定のあるもの、図面特記があるもの を除き下記による。 器具の種類：安定器等の種類：電圧（Ｖ） ＬＥＤ灯：ＬＮ：○１００　Ｏ２００ 直管形蛍光灯：ＦＨＦ１６形、ＦＨＦ３２形：ＰＨ：○１００　Ｏ２００ ＦＨＦ１６形、ＦＨＦ３２形：ＯＰＮ　ＯＰＨ：○１００　Ｏ２００ 避難口誘導灯・通路誘導灯：ＬＮ：１００ ＬＥＤ灯及び蛍光灯はユニバーサル電圧（１００～２４２Ｖ等）対応品でもよい。
	○ＲＰ又はＭＰ形照明器具	標準仕様書で求める防水性能 を有するものとする。又構造図において、防雨形または防湿型の器具本体の材質に、ＳＵＳ鋼板を含む機器の材料が適用されている場合は、ＳＵＳを適用する。
	○非常用照明灯	○電源内蔵形　○電源別置形
	○測定	○受修対象室の照度測定（○改修前　○改修後）を行う。 ○改修対象回路の電流値の測定を行う。　　）
	○フロアコンセント	○引出し形　○開ぶた形
	●分電盤等	本工事の分電盤、ＯＡ盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器及び漏電遮断器の寸法は、 ＪＩＳ Ｃ８２０１－２－１「頂踏遮断器」、同付属書Ｊ「電灯分電盤用協約形頂踏遮断器」による。 特記なき場合、分岐に用いる２極の配線用遮断器及び漏電遮断器は、１極サイズのものとする。 低圧用ＳＰＤの電源側に設ける遮断器は警報機能付きとする。
	○分電盤の様式	○Ａ盤の端子盤詳に：○通気口　○外部用ファン）を設ける
	○工事範囲	○配管　○配線　○機器取付　○機器移設・改造　○取り外し再取付
	○制御盤	単位ユニットの電源計は負荷端子の手前に接続する。制御回路に用いる変圧器は絶縁変圧器とする。
	○インターロック	自動火災報知設備の受信機、遠隔制御装置及び次項の火災警報受信機と連動して電源停止する。
	○インバータ装置の最的効率	可変速運転用インバータ装置の最的効率は、次の値以上とする。 電動機出力（ｋＷ）：０．４／０．７５／１．５／２．２／３．７／５．５／７．５／１１／１５／１８．５／２２／３０／３７／４５ 最的効率（％）：６４．０／６８．０／７４．０／７６．０／７８．０／８４．０／８４．５／８５．０／８５．５／８６．０／８６．５／８６．５／８６．５／８６．５ 備考（１）最的効率は、ＪＩＳＣ４６０３（汎用インバータ）による。 （２）最的効率は、ＪＩＳＣ４２１０（高効率低圧三相かご形誘導電動機）の定格電圧２００Ｖ、 ＩＰ４４、６極、５０Ｈｚの電動機を駆動した とき の値とする。
	○保護協調電器	制御盤始端の保護協調電器で２主は、熱動形過負荷単相運転防止端電器とする。
	○電流計	電流計を装備するものは、原則として指針形とする。
電熱設備	○工事範囲	○配管　○配線　○機器取付　○機器移設・改造　○取り外し再取付
雷保護設備	○工事範囲	○配管　○配線　○機器取付　○機器移設・改造　○取り外し再取付
	○雷保護システム	○外部雷保護システム　○内部雷保護システム
	○保護レベル	○Ⅰ　○Ⅱ　○Ⅲ　○Ⅳ
	○その他	大地抵抗率測定用補助接地極を構造体下部に設ける。
受変電設備	●工事範囲	○配管　○配線　●機器取付　○機器移設・改造　○取り外し再取付
	●変圧器	※モールド　●油入
	●変圧器の規格	変圧器の規格は次による。 ただし、スコット結線変圧器、モールド変圧器でＨ絶縁材料を使用するものは除く。 油入変圧器：単相：※ＪＩＳＣ ４３０４-２０１３（ＪＥＭ １９００）：○ＥＭ 三相： モールド変圧器：単相：※ＪＩＳＣ ４３０６-２０１３（ＪＥＭ １９０１）：○ＥＭ （絶縁種 Ｆ）　三相：
	○高圧遮相コンデンサ	※油入　○モールド　○ガス絶縁式　○放電装置内蔵形
	○基礎	○本工事　※別途工事　○既設
	○サーモスタット	盤内にサーモスタット（３０℃～４０℃　可変設とし、３５℃にセット）及び切替スイッチ（自動　手動・断）を設ける。 外気換気扇のある場合は、外気換気扇運転（※端子　○スイッチ）を設け、サーモスタットと連動する。
	○付属品等	盤内に予備保護ヒューズ６個を納する。
	○その他	○低圧配電盤の配線用遮断器は取付け引板組込形で埋込形とする。 ○低圧配電盤の裏面に負荷側引出し用端子を設ける。 ○充電構作表は、断路器の１次側の適切な場所に設ける。
電力貯蔵設備	○工事範囲	○配管　○配線　●機器取付　○機器移設・改造　○取り外し再取付
	○工事種別	○直流電源装置　○交流無停電電源装置（直流平定電圧維電器）の設定電圧は、９０Ｖとする。
	○その他	特別電源装置の直流電圧及び維持等の正常に動作する事を確認し、その記録を作成するとともに官公署等必要な検査を受け、その記録も作成すること。
発電設備	○工事範囲	○配管　○配線　●機器取付　○機器移設・改造　○取り外し再取付
	○工事種別	○ディーゼル発電装置　○ガスエンジン発電装置　○ガスタービン発電装置　○太陽光発電装置
	○太陽光発電装置	架台の材質や個材の場合は、ＪＩＳ Ｃ８９５５（結晶系太陽電池モジュール用フレームの設計荷重）（ＪＩＳ Ｃ８９５５）以上の強度基準の一つを満たしたもの又は同等以上の耐食性を有するものとする。 ○屋上に設置する接続箱とパワーコンディショナの間の配管等に太陽光直流配線注意喚の注意喚示を行う。
構内情報通信網設備	○工事範囲	○配管　○配線　●機器取付　○機器移設・改造　●取り外し再取付
構内交換設備	○工事範囲	○配管　●配線　○機器取付　○機器移設・改造　○取り外し再取付
	○形式	○交換装置　○ボタン電話装置
	○電話機への配線	電話機１台につき以下を見込む。 ＯＥＭ－ＴＩＥＦ　０．６－２Ｃ　２０ｍ（片端６極２心モジュラーローゼット付） ＯＥＭ－ＢＴＩＥＥ　０．４－２Ｐ　２０ｍ（片端８極４心モジュラーローゼット付） ＯＥＭ－ＵＴＰ５Ｅ－ａ－ＣＥＰ　２０ｍ（片端８極８心モジュラーローゼット付） ２点ﾌｫｰｸﾏﾙﾁｱｸﾀ　１．５ｍ
	○ローテンションクロージャ	○Ｈ形固定形　○Ｈ形調整形　○回転形まただ上下動形
	○屋外鉄骨用接地	※本工事　○別途工事
情報表示設備	●工事範囲	○配管　○配線　●機器取付　○機器移設・改造　●取り外し再取付
	●工事種別	○マルチサイン装置　○出退表示盤　○時刻表示盤
	●子時計	特記なき子時計は、ＳＷＲ３０－６ｐ型 とする。
映像音響設備	○工事範囲	○配管　○配線　●機器取付　○機器移設・改造　●取り外し再取付
拡声設備	●工事範囲	○配管　○配線　●機器取付　○機器移設・改造　●取り外し再取付
	○増幅器	○全館放送用（※一般放送　○非常放送）　○ローカル放送用　○自動放送はアッテネーターを経由した回路とする。
	●スピーカ	特記なきスピーカは、（※８Ω：３Ｗ－Ｍ　○８Ω：３Ｗ）とする。
誘導支援設備	○工事範囲	○配管　○配線　●機器取付　○機器移設・改造　○取り外し再取付
	○工事種別	○ナースコール　○インターホン　○トイレ等呼出装置　○受付呼出装置
	○テレビインターホン	○機器図は来訪者を確認でき機器とする。
		○操発調整を調整する機器を有すること。
	○トイレ等呼出装置	○ブルスイッチのひもの長さは０．２ｍ程度とする。
共同受信設備		○握り ボタンのコードの長さは１．２ｍ程度とする。
テレビ共聴設備	●工事範囲	○配管　○配線　●機器取付　○機器移設・改造　○取り外し再取付
	○受信端末	測定チャンネルは、監督職員と協議する。
電力保安通信設備	●工事範囲	○配管　○配線　●機器取付　○機器移設・改造　●取り外し再取付
構内通信線路	●工事種別	○機械室調理配線　●防災装置　○入退室管理制御装置
	●工事範囲	○配管　○配線　●機器取付　○機器移設・改造　○取り外し再取付
	●工事種別	●自動火災報知装置　○非常用照明装置　○ガス漏れ火災警報装置
	○受信機・副受信機	※Ｐ型（○１級　○２級　）　○新設品　○既設品
	○発信機	押しボタンは押した状態を保持するもの
	●感知器	作動表示装置、送り配線接続端子を設けること。（分岐形、防水形を除く）
	○その他の機器	○総合する感知器にイオンまた式感知器が含まれる場合は、監督職員に報告するとともに法に従い適切に処理を行うこと。
火災報知設備	○消火ポンプの始動	仕置表示灯は、発光ダイオードとする。
		○開閉押開型（直接作性１号消火栓及び２号消火栓）　○消火栓箱内押ボタン（１号消火栓）
		○発信機と連動（総合型に始動表示灯を設ける。）
	○遠隔制御器	○補助　○火報受信機と一体
		○ダンパ等（全数）復信用の予備電源容量をもつこと。
	○自動閉鎖装置	○防火戸用（ＤＣ２４Ｖ　０．６Ａ以下　電磁式または ラッチ式）
		○防煙ダンパ用　（別途工事　鋼鈑遮電式または 電動式ＤＣ２４Ｖ　０．６Ａ以下、 遠方復帰機構（電動）ＤＣ２４Ｖ　０．７Ａ以下）
		○防火シャッタ用（別途工事　ＤＣ２４Ｖ　０．６Ａ以下　警報盤内）
	○ガス漏れ火災警報装置	○補助　○火報受信機と一体 ガスの種類　※種市ガス（１３Ａ）　○都化 石油ガス

種目	項目	特記事項
構内情報通信網設備	○工事範囲	○配管　●配線　○機器取付　○機器移設・改造　○取り外し再取付
	○端末	○引込開閉器・警報盤　　床上～中心　１，５００ ○操子盤　　床上～中心　１，５００
共通	分電盤	床上～中心　１，５００（上端１，９００以下）
電灯	スイッチ（一般）	〃　１，３００
	（浴室用）	〃　１，１００
	コンセント（一般）	〃　３００
	（和室）	〃　１５０
	（台上）	台上～中心　１５０
	（厨車）	床上～中心　４００
	ブラケット（一般）	〃　２，１００
	（誘導）	〃　２，５００
動力	壁掛形制御盤	床上～中心　１，５００（上端１，９００以下）
	開閉器箱	〃　１，５００
電話・情報設備	モジュラジャック（一般）	床上～中心　３００
	（和室）	〃　１５０
拡声設備	子時計・壁掛形スピーカー	床上～中心　（天井高）×０．９
	アッテネーター	〃　１，３００
誘導支援設備	テレビ端子（一般）	床上～中心　３００
	（和室）	〃　１５０
自動火報	受信機・副受信機	床上～操作部　８００～１，５００
	警報表示盤・発信機	床上～中心　８００～１，５００

設備機材等指定表

品目	製作所名
電線・ケーブル	
金属管及び付属品	ＪＩＳ等表示品
合成樹脂管及び付属品	
高圧圧架電製・分電盤	（検）関電機製作所　（特）下平電機製作所　日高電気（株）　加川製作所（株）　パナソニック電工（株）
制御盤・端子盤	河村電器産業（株）　内外電機（株）　日東工業（株）
高圧気中開閉器	（検）同上電機製作所　エナジーサポート（株）　（検）日立製作所　富士電機（株）　三菱電機（株）
高圧遮断器	（検）戸上電機製作所　（検）日立製作所　富士電機（株）　三菱電機（株）
配線用遮断器	寺崎電気産業　（検）東芝　富士電機（株）　三菱電機（株）
接続器類	オムロン（株）　（検）東芝　（検）戸上電機製作所　富士電機（株）　三菱電機（株）
計　器	（検）東芝　東洋計器（株）　（検）日立製作所　三菱電機（株）　横河電気（株）
変圧器	（検）ダイヘン　（検）東芝　（検）日立製作所　三菱電機（株）
コンデンサー	（検）指月電機　（検）東芝　ニチコン（株）　日新電機（株）　三菱電機（株）
避雷器	東洋電機工業　（検）東芝　（検）日立製作所　三菱電機（株）
照明器具（防災用含む）	パナソニック電工（株）　東芝ライテック（株）　三菱電機（株）　岩崎電気（株）
誘導器具	パナソニック電工（株）　東芝ライテック（株）　三菱電機（株）　神保電器（株）
放送設備（非常放送含む）	（検）ＪＶＣケンウッド　ＴＯＡ（株）　パナソニック電工（株）　ユニペックス（株）
テレビ共聴設備	ＤＸアンテナ（株）　（検）東芝　マスプロ電工（株）　パナソニック電工（株）　八木アンテナ（株）
自動火災報知設備（防災設備含む）	ホーチキ（株）　（検）ニッタン　能美防災（株）　パナソニック電工（株）　日信防災（株）
ハンドホール及び蓋	ケイコン（株）　（検）戸上電機製作所　（検）東芝　（検）日立製作所　富士電機（株）　三菱電機（株）　（検）東芝　（検）日立製作所　三菱電機（株）　（検）東芝　（検）日立製作所　三菱電機（株）　（検）東芝　ニチコン（株）　日新電機（株）　三菱電機（株）　東芝ライテック（株）　三菱電機（株）　岩崎電気（株）　パナソニック電工（株）　神保電器（株）　三菱電機（株）　パナソニック電工（株）　ユニペックス（株）　東芝ライテック（株）　マスプロ電工（株）　パナソニック電工（株）　八木アンテナ（株）　パナソニック電工（株）　日信防災（株）　ニッタン　能美防災（株）　パナソニック電工（株）　日信防災

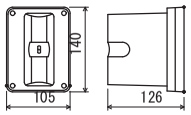


配　置　図

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
配置図			E－02
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	S C A L E
			S=1/300
枚方市教育委員会教育環境整備室			

（改修）

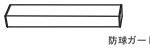
壁取付用ワイヤレスアンテナ



電源	ＤＣ７～１２ Ｖ（本体より供給）
消費電流	１５ ｍＡ（９ Ｖ時）
受信周波数	８００ ＭＨｚ帯
ダイポール比相対利得	約＋８ ｄＢ
アッテネーター	０，－１０，－２０ ｄＢ
その他	防水性能：ＩＰＸ２
	壁取付用

照明器具姿図

LED20　ＬＥＤウォールライト　２０形



防球ガード付

防湿型・防雨型
５０００Ｋ、Ｒａ８３
器具光束７４０１ｍ、消費電力１２Ｗ、電圧１００～２４２Ｖ
本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白）
天井直付型・壁直付型
光源寿命４０００時間（光束維持率８５%）

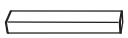
ＬＢＦ３ＭＰ／ＲＰ－６５０ＬＭ－２ＬＥＪ

管理棟　北面　立面図　Ｓ１/１００

（撤去）

照明器具姿図

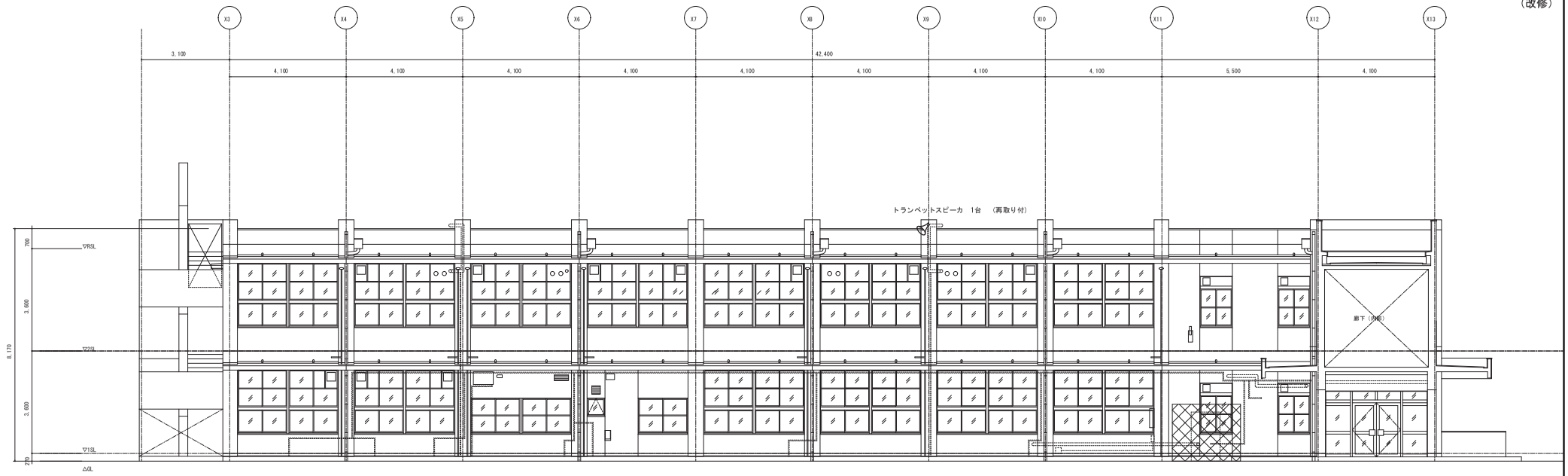
C21　ＦＬ２０Ｗｘ１ カバー付き



管理棟　北面　立面図　Ｓ１/１００

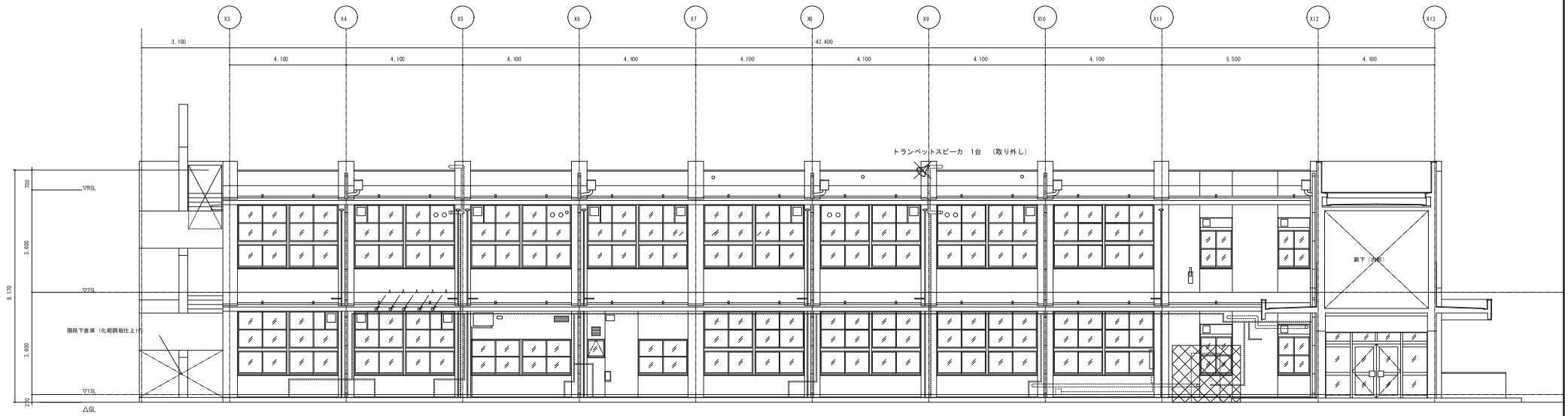
平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
電気設備　屋外外壁改修立面図（1）			E１−０３
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			S=1/100
枚方市教育委員会教育環境整備室			

（改修）



管理棟　南面　立面図　S 1/100

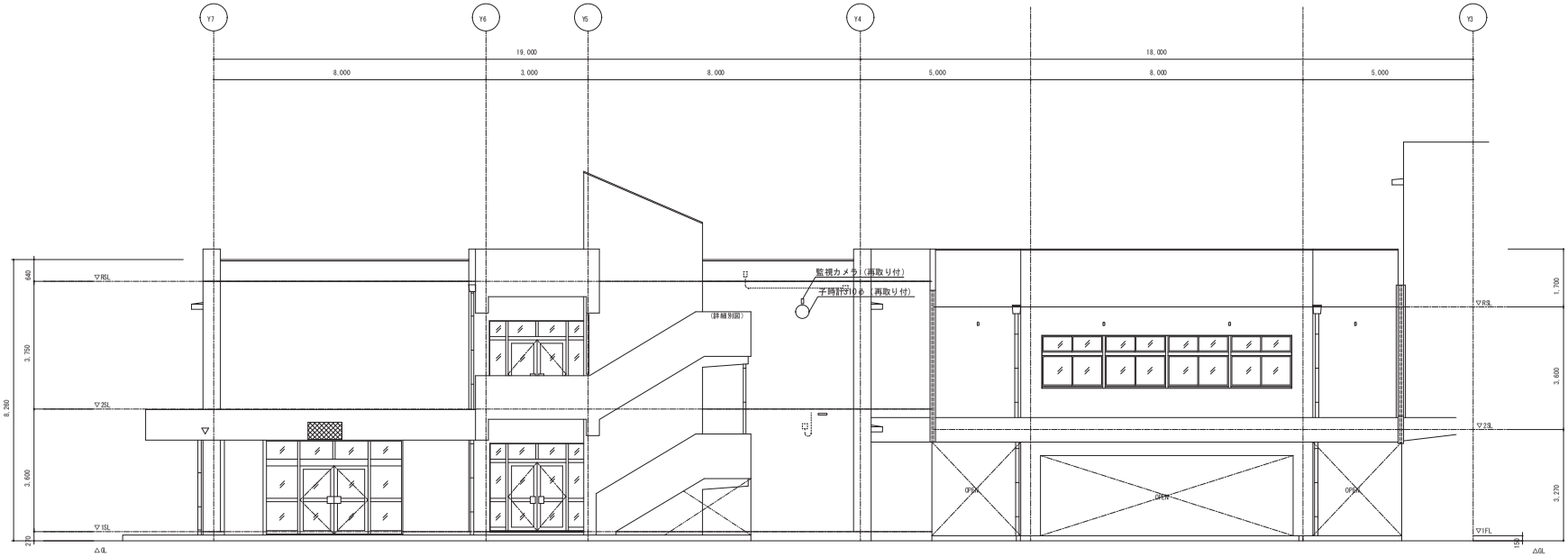
（撤去）



管理棟　南面　立面図　S 1/100

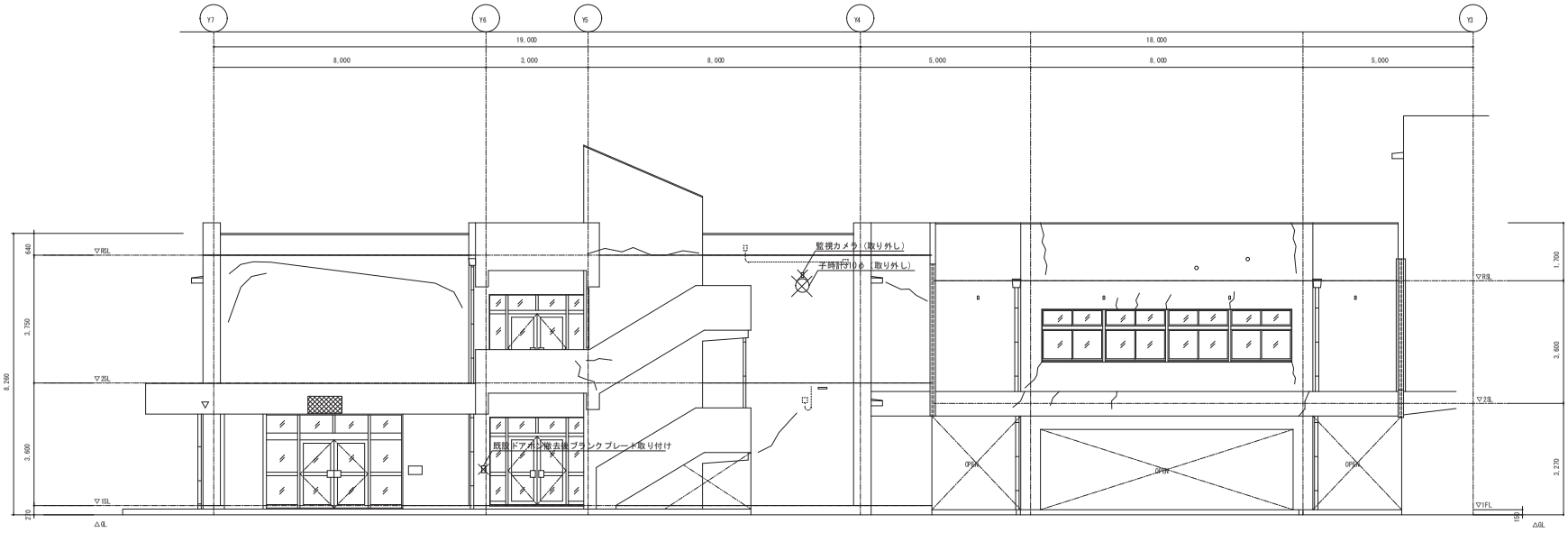
平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. E1−04
電気設備　屋外外壁改修立面図（2）			
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			S=1/100
枚方市教育委員会教育環境整備室			

（改修）



管理棟・渡り廊下棟　西面　立面図　S 1/100

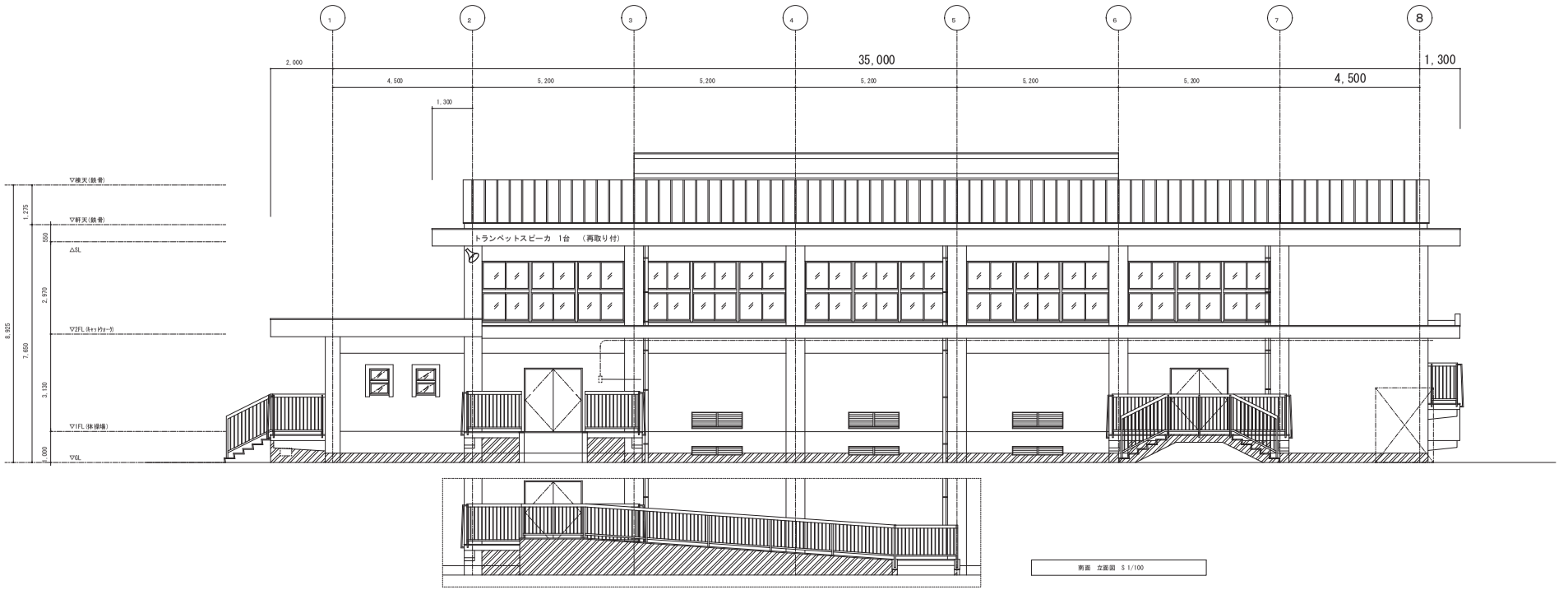
（撤去）



管理棟・渡り廊下棟　西面　立面図　S 1/100

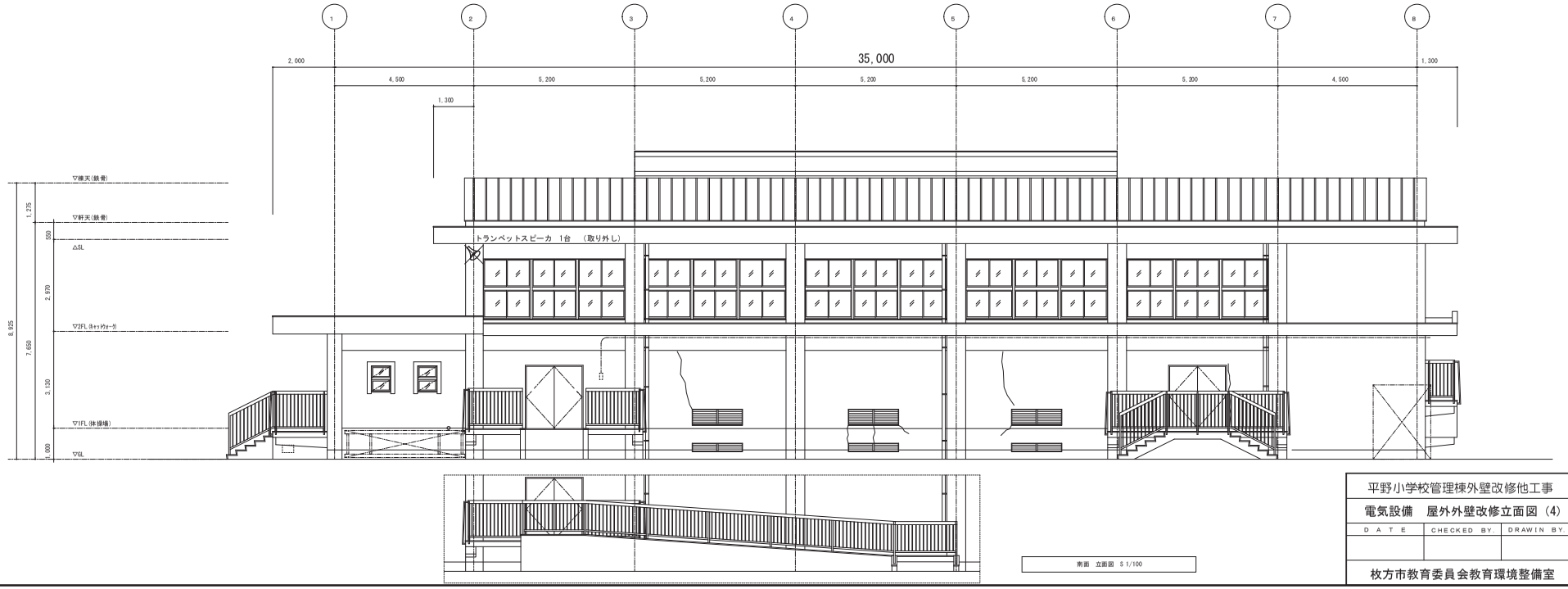
平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. E1－05
電気設備　屋外外壁改修立面図（3）			
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			S=1/100
枚方市教育委員会教育環境整備室			

（改修）



南面 立面図 S 1/100

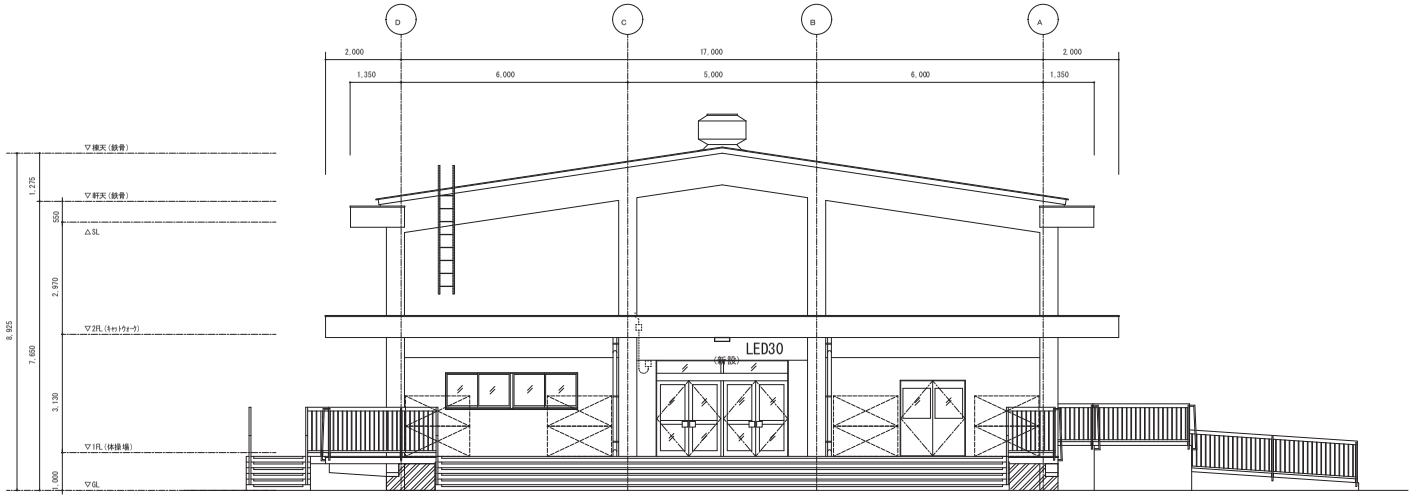
（撤去）



南面 立面図 S 1/100

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. E1−06
電気設備 屋外外壁改修立面図（4）			
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			S=1/100
枚方市教育委員会教育環境整備室			

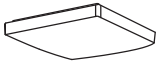
（改修）



西面　立面図　S 1/100

照明器具姿図

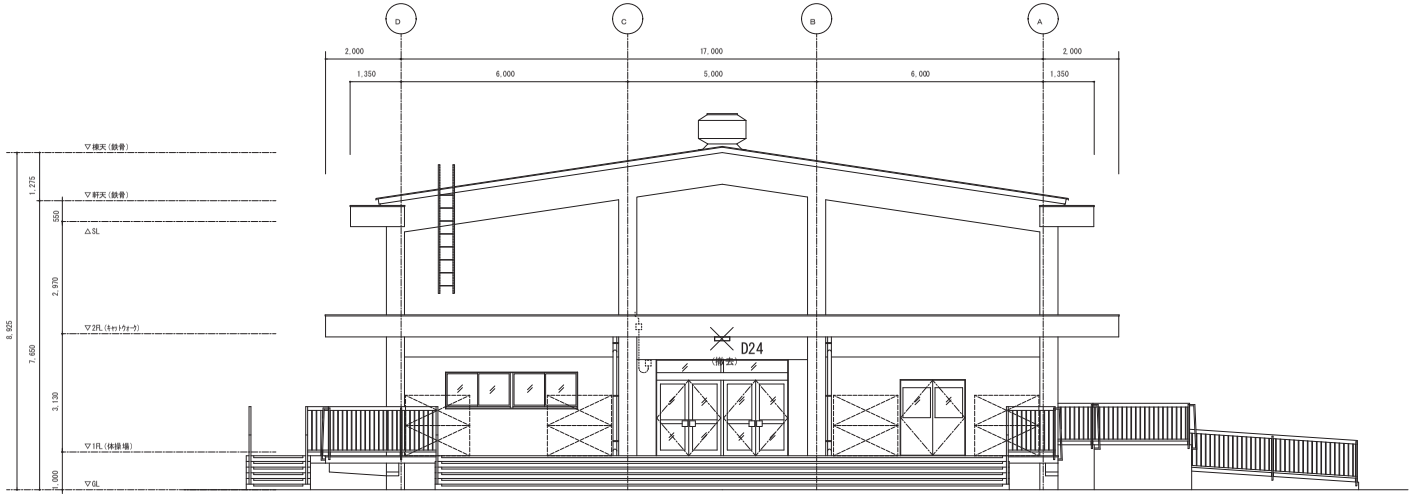
LED30	ＬＥＤシーリングライト



昼光色（６５００Ｋ）、Ｒａ８３／電球色（２７００Ｋ）、Ｒａ８３
器具光束４２００ｌｍ、消費電力３５Ｗ、電圧１００Ｖ
天井直付型、ソフトターン方式、カチットＦ
竿縁天井取付アダプタ対応
カバー：アクリル（乳白つや消し＋模様入り）
リモコンで（１００％～５％）調光

（参考型番）パナソニック　ＬＧＢＺ２８０５

（撤去）



西面　立面図　S 1/100

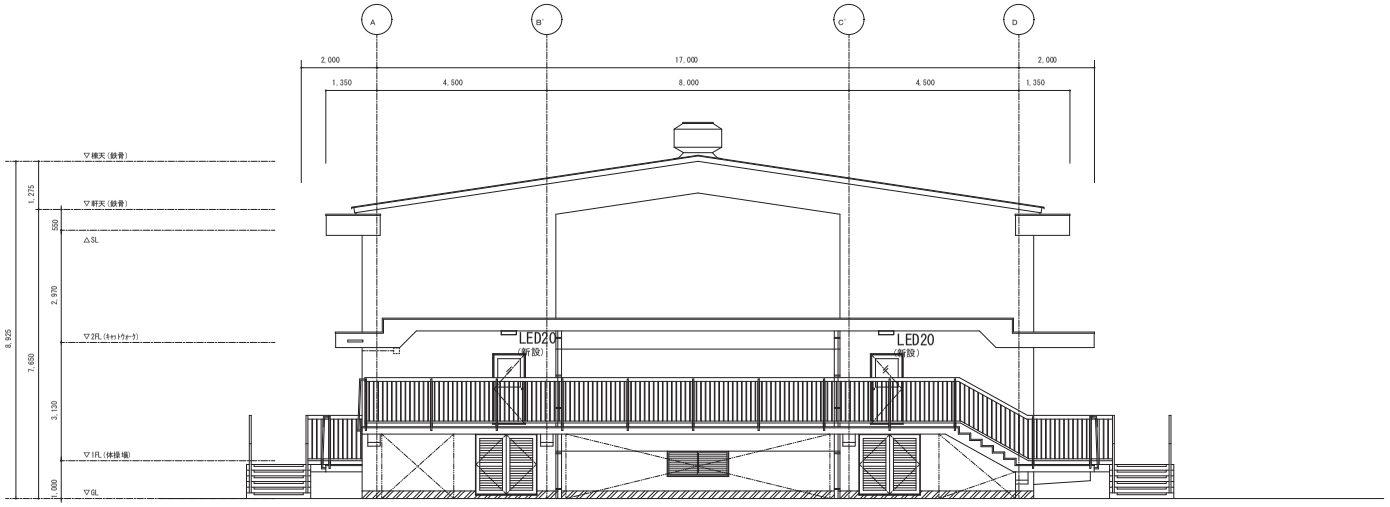
照明器具姿図

D24	FL20W×4　シーリングライト



平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
電気設備　屋外外壁改修立面図（5）			E1－07
D A T E	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	S C A L E
			S=1/100
枚方市教育委員会教育環境整備室			

（改修）



東面　立面図　S 1/100

照明器具姿図

LED20	ＬＥＤウォールライト　２０形

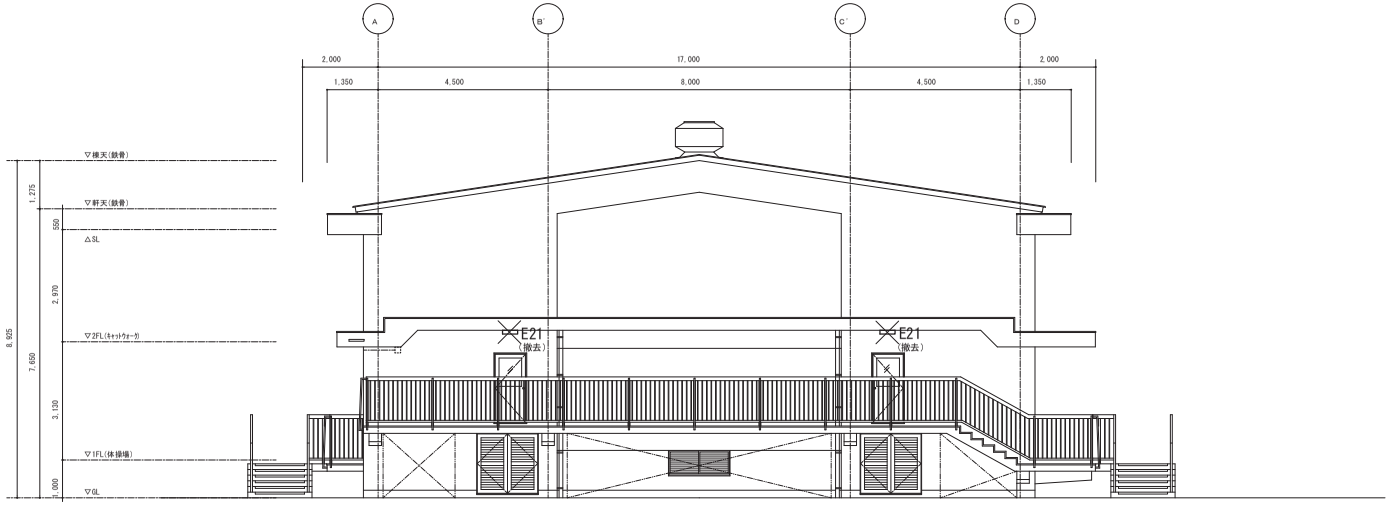


防球ガード付

防湿型・防雨型
５０００Ｋ、Ｒａ８３
器具光束７４０１ｍ、消費電力１２Ｗ、電圧１００～２４２Ｖ
本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白）
天井直付型・壁直付型
光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）

ＬＢＦ３ＭＰ／ＲＰ－６５０ＬＭ－２ＬＥ９

（撤去）



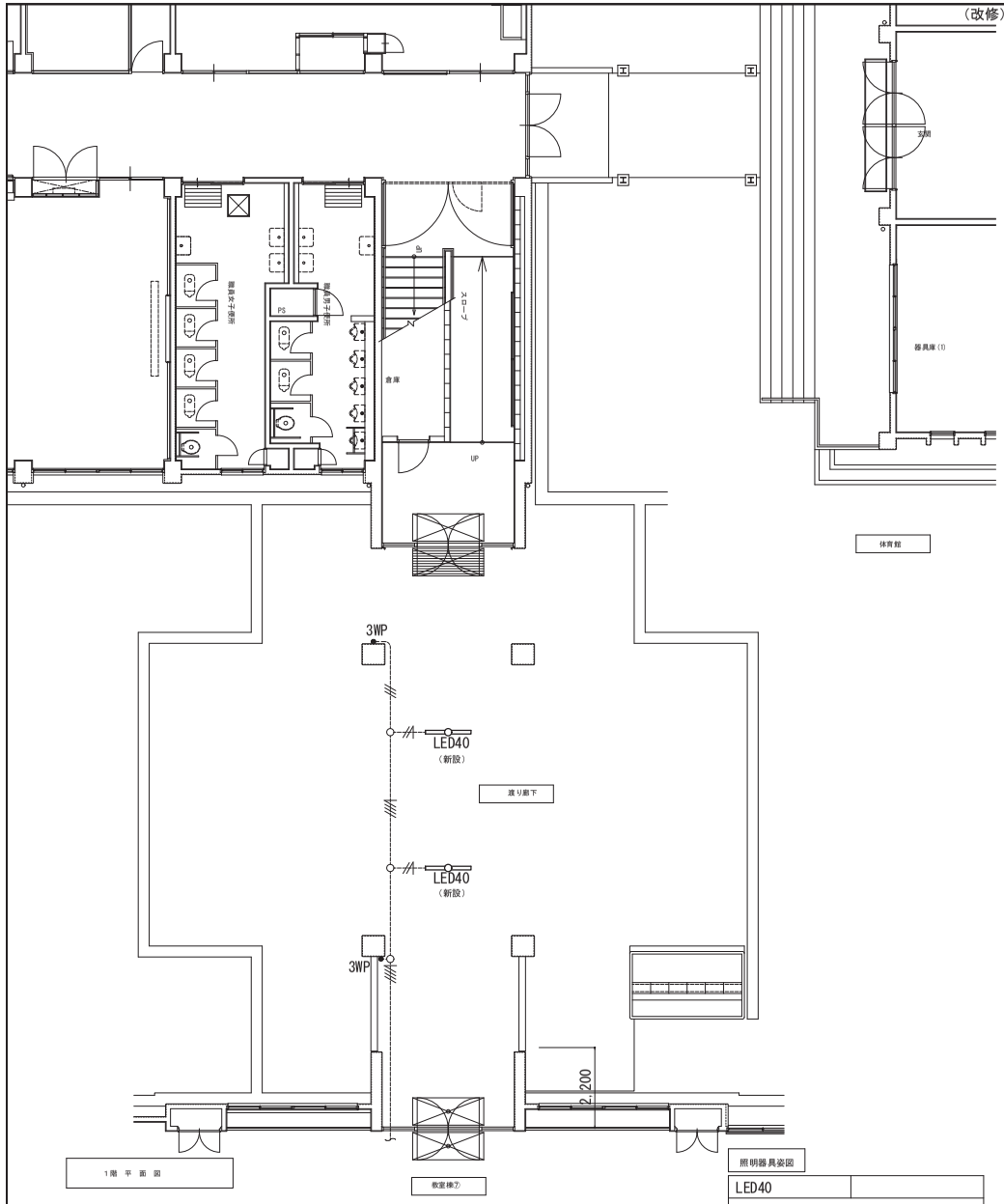
東面　立面図　S 1/100

照明器具姿図

E21	ＦＬ20Ｗ×１　富士型(ガード付)



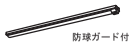
平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
電気設備　屋外外壁改修立面図（6）			E１－０８
ＤＡＴＥ	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	ＳＣＡＬＥ
			S=1/100
枚方市教育委員会教育環境整備室			



1階 平面図

照明器具姿図

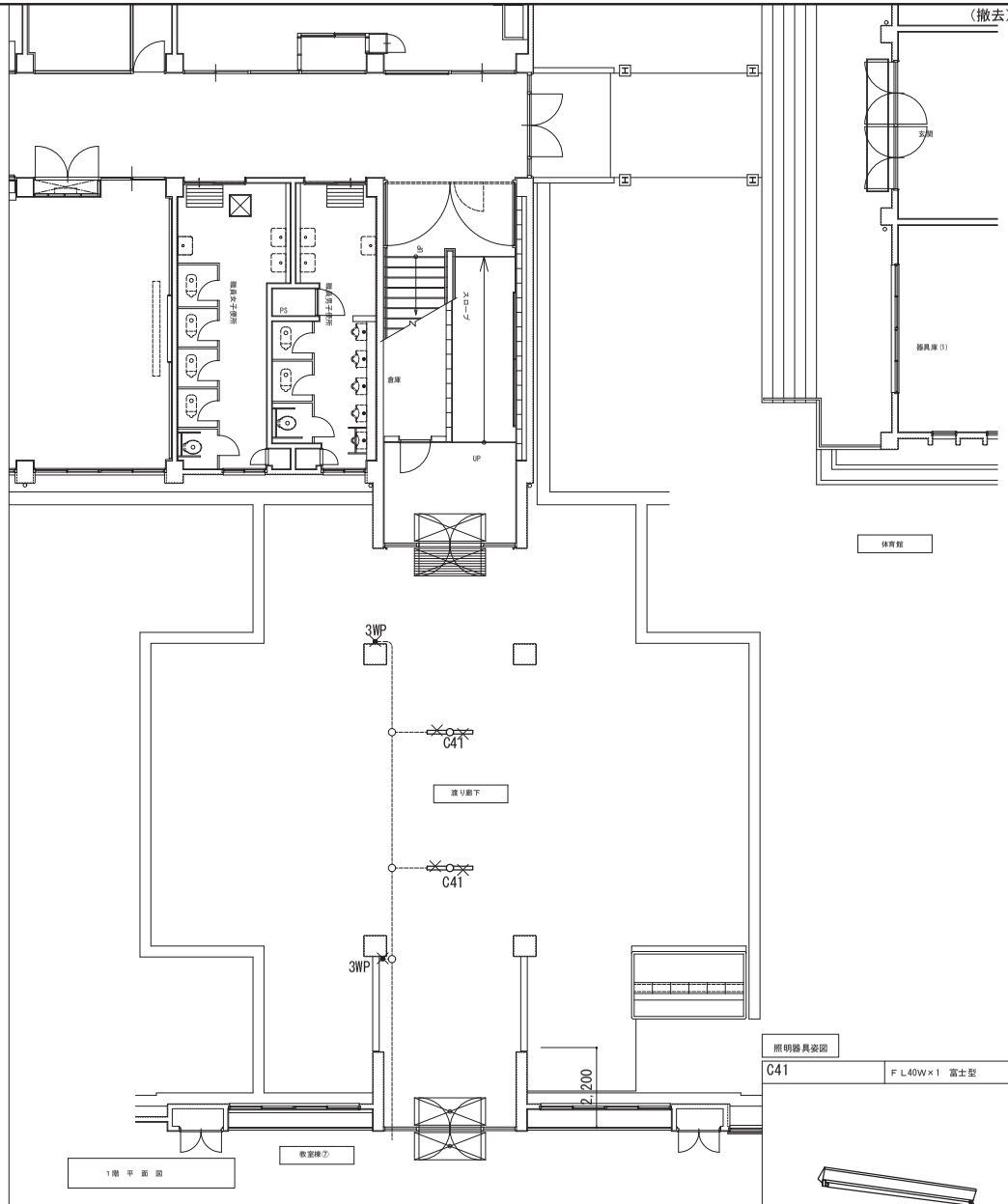
LED40	



LDS1−LSS1−2950LMLE9

渡り廊下 改修図 凡例

記号	名称・仕様	新設の有無	備考
	直付け型蛍光灯器具	新設	姿図参照
● 3WP	埋込スイッチ	新設	3W15Ax1 防水型
○	丸型露出ボックス	存置	
———	配管配線	存置	EM-IE1.6x2 (GP16)



1階 平面図

照明器具姿図

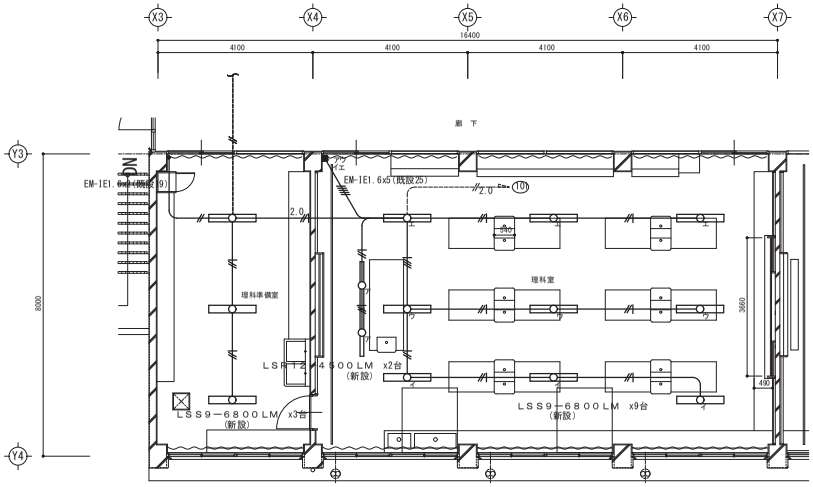
C41	FL40W×1 富士型

渡り廊下 撤去図 凡例

記号	名称・仕様	新設の有無	備考
	直付け型蛍光灯器具	撤去	姿図参照
● 3WP	埋込スイッチ	撤去	3W15Ax1 防水型
○	丸型露出ボックス	存置	
———	配管配線	存置	EM-IE1.6x2 (GP16)

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. E1−09
電灯設備 渡り廊下平面図			
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			S=1/100
枚方市教育委員会教育環境整備室			

（改修）



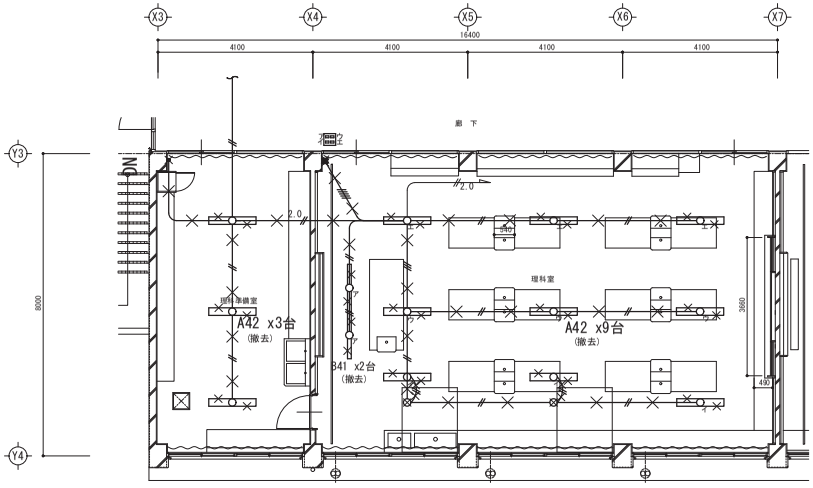
照明器具姿図

LSS9－6800LM	LED直付型器具	LSR12－4500LM	直付型４０形 黒板灯
			
定格出力型、ポルトフリー（１００～２４２Ｖ） 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート 光源寿命：４００００時間 昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３、		定格出力型、ポルトフリー（１００～２４２Ｖ） 本体：鋼板（白色粉体塗装） 光源寿命：４００００時間 昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３	

理科室 準備室改修図 凡例

記 号	名称・仕様	新設の有無	備 考
	直付け型蛍光灯器具	新設	姿図参照
	直付け型蛍光灯器具	新設	姿図参照
	埋込スイッチ	新設	1P15Ax1
	埋込スイッチ	新設	1P15Ax4
	配管配線	新設	EM-EEF1.6-3C（1E）
	配管配線	新設	EM-EEF1.6-2C x 2（1E）
2.0	配管配線	新設	EM-EEF2.0-3C（1E）
2.0	配管配線 器具	既存	IV2.0x2(19)
	配管配線 器具	新設	
	配管配線 器具	既存	

（撤去）



照明器具姿図

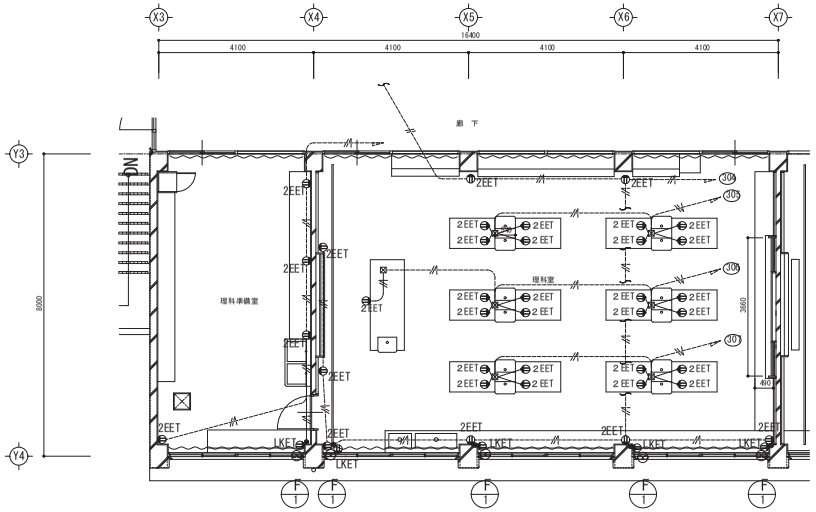
A42	FHF40W×2 富士型	B41	FHF40W×1 黒板灯
			

理科室 準備室撤去図 凡例

記 号	名称・仕様	新設の有無	備 考
	直付け型蛍光灯器具	撤去	姿図参照
	直付け型蛍光灯器具	撤去	姿図参照
	埋込スイッチ	撤去	1P15Ax1
	埋込スイッチ	撤去	1P15Ax4
	アウトレットボックス	撤去	
	配管配線	撤去	IV1.6x2(19)
	配管配線	撤去	IV1.6x3(19)
	配管配線	撤去	IV1.6x5(25)
2.0	配管配線	撤去	IV2.0x2(19)
	配管配線 器具	既存	
	配管配線 器具	撤去	

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No.
照明設備 理科室・準備室平面詳細図			E2－10
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			S=1/100
枚方市教育委員会教育環境整備室			

（改修）



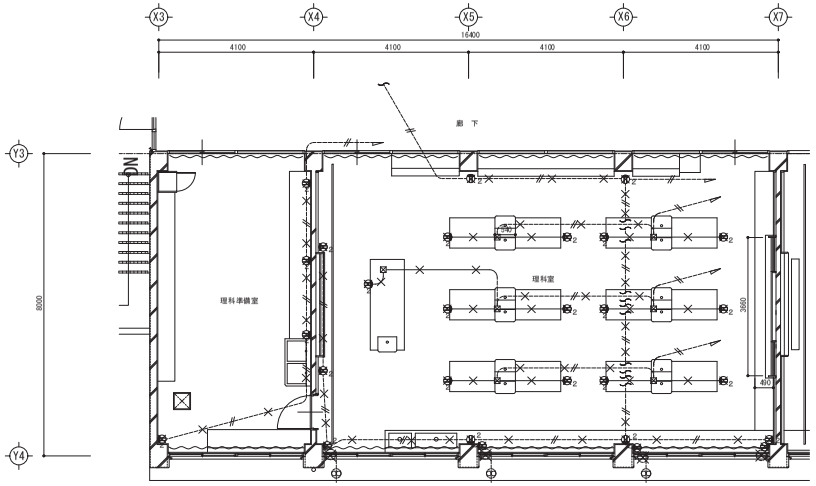
理科室　準備室改修図 凡例

記　号	名称・仕様	新設の有無	備　考
●	埋込スイッチ	新設	1P15Ax1
LKET	埋込コンセント	新設	2P15Ax1　抜け止め防止接地端子付
2EET	埋込コンセント	新設	2P15Ax2　接地極接地端子付
2EET	埋込コンセント（家具設置）	家具工事（接続のみ）	2P15Ax2　接地極接地端子付
	換気扇	新設	
⊠	アウトレットボックス	新設	VE102x102x44　CV共
----//----	配管配線	新設	EM-IE2.0x3（1E）(既設19)
——//——	ケーブル配線	新設	EM-EEF2.0-3C（1E）
----------	配管配線　器具	既存	
————	配管配線　器具	新設	

換気機器リスト

記号	機器名	仕様	台数	設置場所	備考
F 1	換気扇	窓枠据え付け格子タイプ電気式シャッター　250φ　1φ100V ステンレス製ウエザーカバー（防鳥網付）　アルミパネルに取り付け	5	理科室　理科準備室	

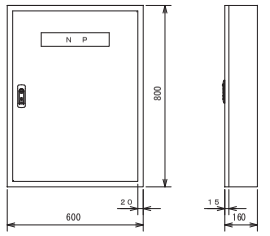
（撤去）



分電盤リスト　（撤去）

（注）特記無きは鋼板製　露出型　扉錠付とする

盤名称 主開閉器	分岐開閉器 特記外はMCCB2P コンパクトブレーカー	電圧（V） 200V	 100V	回路 番号	負荷名称	負荷容量（VA） 1相	 2相	備　考
LA-2								
盤形式：T（一般・露出型）								
AC1φ3W　200/100V	MCCB 2P 50/20	○		101	理科室～教材室（1）　照明			
15	MCCB 2P 50/20	○		102	図工室～教材室（2）　照明			
MCCB 3P 50/50	MCCB 1P 50/20		○	301	図工準備室　コンセント			
CVT 22sq	MCCB 1P 50/20		○	302	理科準備室　コンセント			
	MCCB 1P 50/20		○	303	理科室教材（1）（2）　コンセント			
	MCCB 1P 50/20		○	304	図工室準備室F　コンセント			
	MCCB 1P 50/20		○	305	生徒用台　コンセント			
	MCCB 1P 50/20		○	306	生徒用教師用台　コンセント			
	MCCB 1P 50/20		○	307	生徒用台　コンセント			
	MCCB 1P 50/20		○	308				
ED（ELB）　ED								
					合　計			



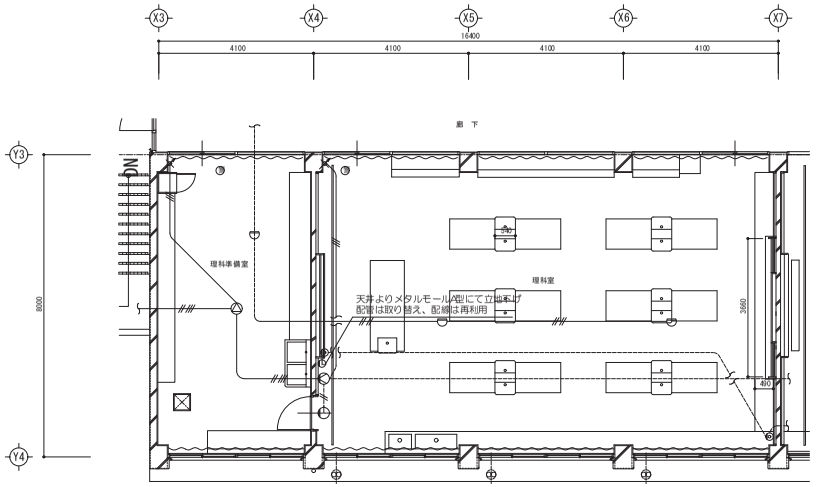
家庭科室電灯分電盤　LA-2　参考寸法

理科室　準備室撤去図 凡例

記　号	名称・仕様	新設の有無	備　考
●	埋込スイッチ	撤去	1P15Ax1
	埋込コンセント	撤去	2P15Ax1
2	埋込コンセント	撤去	2P15Ax2
	換気扇	撤去	換気扇　25ｃｍ
⊠	アウトレットボックス	既存	
----//----	配管配線	撤去	IV2.0x2(19)　配線抜き取り
——//——	ケーブル配線	撤去	VVF2.0-2C
————	配管配線　器具	既存	
×——×	配管配線　器具	撤去	

平野小学校管理棟外壁改修他工事		No. E2－11
コンセント設備　理科室・準備室平面詳細図		
DATE	CHECKED BY. DRAWIN BY.	SCALE
枚方市教育委員会教育環境整備室		S=1/100

（改修）



理科室　準備室改修図 凡例

記　号	名称・仕様	新設の有無	備　考
	壁かけ型スピーカ	新設	3W
	天井埋込型スピーカ	新設	3W
	アッテネータ	新設	0.5-6W
	壁掛け型時計	新設	310φ
	テレビ共聴用受け口	新設	端末
	差動式スポット型感知器	再取付	2種
	機械警備用センサー	再取付	
	LAN用受け口	新設	

記　号	名称・仕様	新設の有無	備　考
----///----	配管配線（自火報）	既存	IV1.2x4(19)
----//----	配管配線　（時計）	既存	IV1.2x2(19)
----///----	配管配線　（拡声）	既存	HIV1.2x3(19)
----///-/----	配管配線　（拡声・時計）	既存	IV1.2x2,HIV1.2x3(19)
----///-///----	配管配線　（拡声・時計）	既存	IV1.2x2,HIV1.2x4(19)
----/----	配管配線　（テレビ）	既存	5C-BVF(19)
————	配管配線　器具	新設	
————	配管配線　器具	既存	

弱電機器姿図

天井埋込型 スピーカー

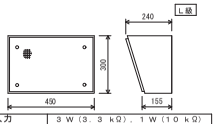
L級



埋込穴：１５０φ

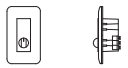
定格入力	３Ｗ、１Ｗ
スピーカ	１２ｃｍコーン型
仕上げ	スピーカー カバー一体型
枠	樹脂製 オフホワイト
パネル	パネル：アルミ

木製壁掛型スピーカー



定格入力	３Ｗ（３３ｋΩ）、１Ｗ（１０ｋΩ）
出力音圧レベル	９２ｄＢ（１Ｗ、１ｍ）
周波数特性	１２０Ｈｚ～１３ｋＨｚ
スピーカー	１６ｃｍコーン型
仕上	本体：木製　オフホワイト
	ネット：ジャージ　オフホワイト

アッテネーター



入力容量	０．５～６Ｗ
音量切替	５段階切替
仕上げ	プレート：金属製

φ３１０　壁掛型子時計（屋内用）

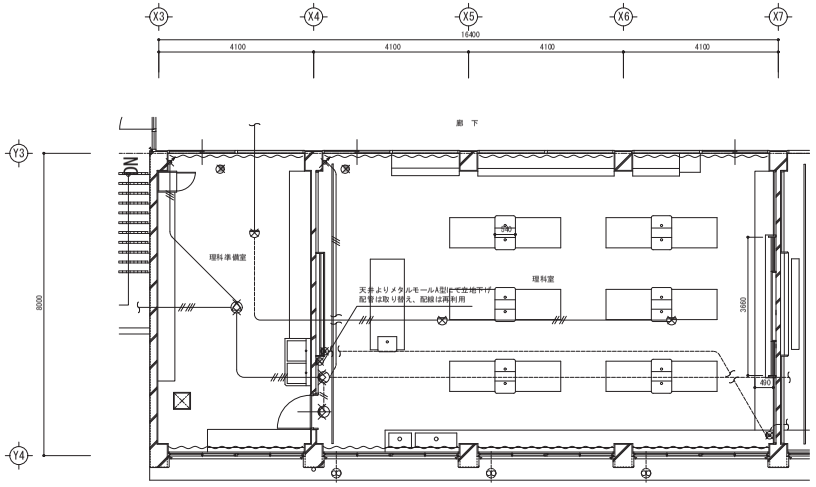


φ３１０

※事前調査の上、必ずメーカーの確認を行う事

定格	ＤＣ２４Ｖ有極３０秒パルス
ケース	鋼板
文字板	鋼板　白色塗装　文字黒色印刷
指針	アルミ　黒色塗装
ガラス	ガラス　透明　ｔ＝２．０

（撤去）



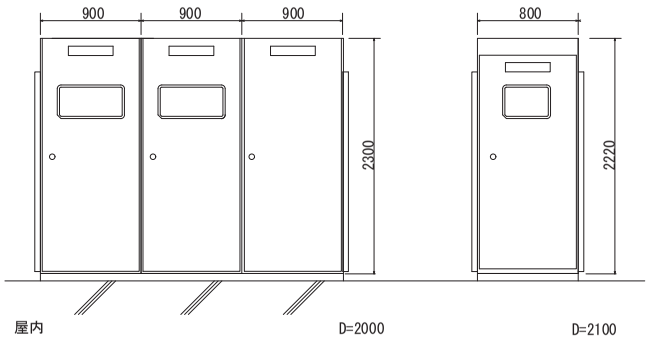
理科室　準備室撤去図 凡例

記　号	名称・仕様	新設の有無	備　考
	壁かけ型スピーカ	撤去	3W
	天井埋込型スピーカ	撤去	3W
	アッテネータ	撤去	0.5-6W
	壁掛け型時計	撤去	310φ
	テレビ共聴用受け口	撤去	端末
	差動式スポット型感知器	取り外し	2種
	機械警備用センサー	取り外し	
	LAN用受け口	撤去	

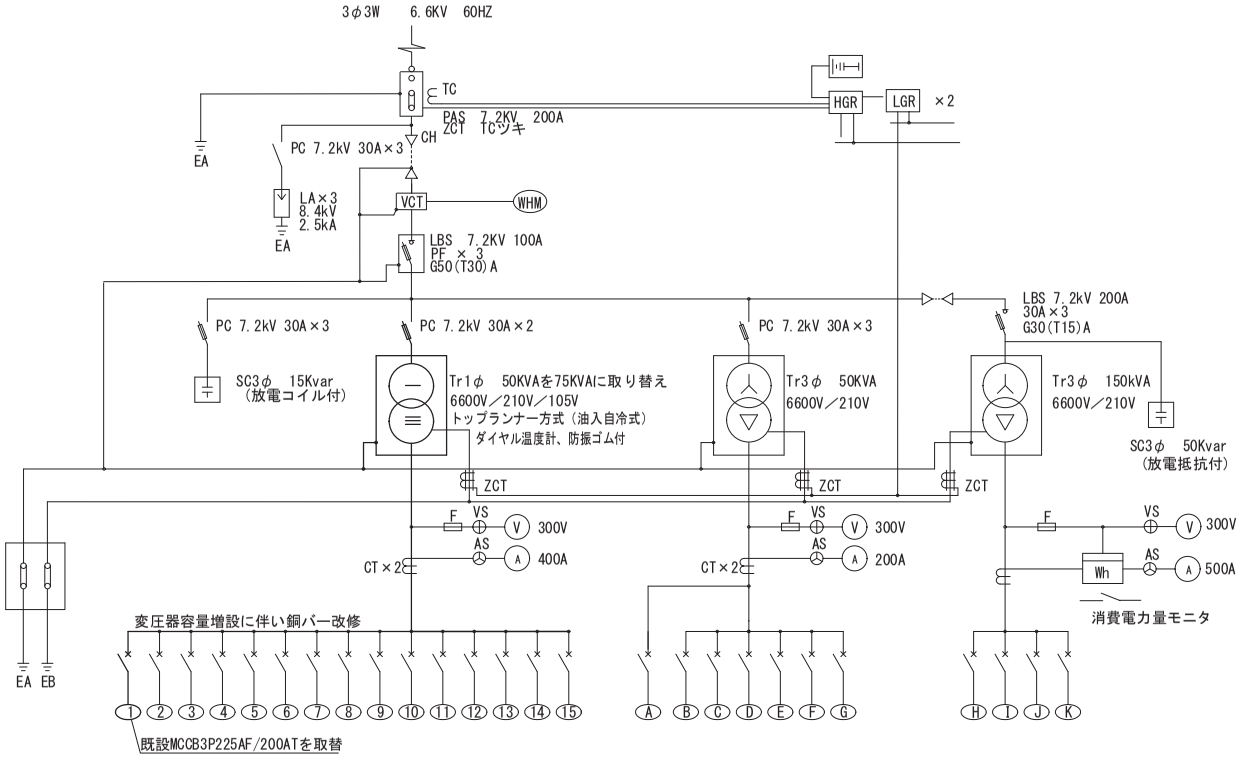
記　号	名称・仕様	新設の有無	備　考
----///----	配管配線（自火報）	既存	IV1.2x4(19)
----//----	配管配線　（時計）	既存	IV1.2x2(19)
----///----	配管配線　（拡声）	既存	HIV1.2x3(19)
----///-/----	配管配線　（拡声・時計）	既存	IV1.2x2,HIV1.2x3(19)
----///-///----	配管配線　（拡声・時計）	既存	IV1.2x2,HIV1.2x4(19)
----/----	配管配線　（テレビ）	既存	5C-BVF(19)
————	配管配線　器具	既存	
×———×	配管配線　器具	撤去	

※　機械警備用センサーについては機械警備会社にて工事を実施すること。
その費用については本工事に含む。

平野小学校管理棟外壁改修他工事		No. E2－12
弱電設備　理科室・準備室平面詳細図		
DATE	CHECKED BY. DRAWIN BY.	SCALE
		S=1/100
枚方市教育委員会教育環境整備室		



既設キュービクル参考姿図



既設キュービクル単線結線図

改修部分を示す。
既設部分を示す。

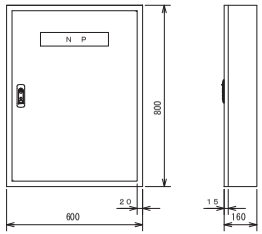
相　別	幹線NO	遮断器容量AF／AT	サイズ	負荷名称(行先)	容　量
三　相	A	MCCB 3P 100AF／100AT		M-1消火ポンプ(ポンプ室)	
三　相	B	MCCB 3P 100AF／ 75AT		M-1揚水ポンプ(ポンプ室)	
三　相	C	MCCB 3P 100AF／100AT		M-2合併処理	
三　相	D	MCCB 3P 50AF／ 50AT		M-3プール	
三　相	E	MCCB 3P 225AF／200AT		給食棟	
三　相	F	MCCB 3P 50AF／ 20AT		教室棟保冷庫	
三　相	G	MCCB 3P 100AF／ 50AT		保健室空調機(S-1)	
三　相	H	MCCB 3P 225AF／200AT		空調手元盤(1)	
三　相	I	MCCB 3P 225AF／225AT		空調手元盤(2)	
三　相	J	MCCB 3P 225AF／175AT		空調手元盤(3)	
三　相	K	MCCB 2P 50AF／ 20AT		通信アダプター	
単　相	1	MCCB 3P 225AF／225ATに取替		LA-1,2,3,4管理棟	
単　相	2	MCCB 3P 225AF／150AT		LB-1,2,3教室棟	
単　相	3	MCCB 3P 100AF／100AT		LC-1体育棟	
単　相	4	MCCB 3P 50AF／ 20AT		L-1ポンプ室	
単　相	5	MCCB 3P 50AF／ 50AT		L-2プール	
単　相	6	MCCB 3P 100AF／ 75AT		L-D給食棟	
単　相	7	MCCB 2P 50AF／ 20AT		M-2合併処理	
単　相	8	MCCB 2P 50AF／ 20AT		電気室照明	
単　相	9	MCCB 2P 50AF／ 20AT		火災報知受信機	
単　相	10	MCCB 2P 50AF／ 20AT		防災アンプ	
単　相	11	MCCB 2P 50AF／ 20AT		HGR,LGR警報盤	
単　相	12	MCCB 2P 50AF／ 20AT		保安協会漏電メモリ	
単　相	13	MCCB 2P 50AF／ 20AT		盤内電源	
単　相	14	MCCB 2P 50AF／ 20AT		盤内電源	
単　相	15	MCCB 2P 50AF／ 20AT		盤内電源	

※　停電作業については電気主任技術者立ち合いのもと作業を実施すること。
　　立ち合い費用については本工事に含む。

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. E3－13
キュービクル改修結線図			
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			NS
枚方市教育委員会教育環境整備室			

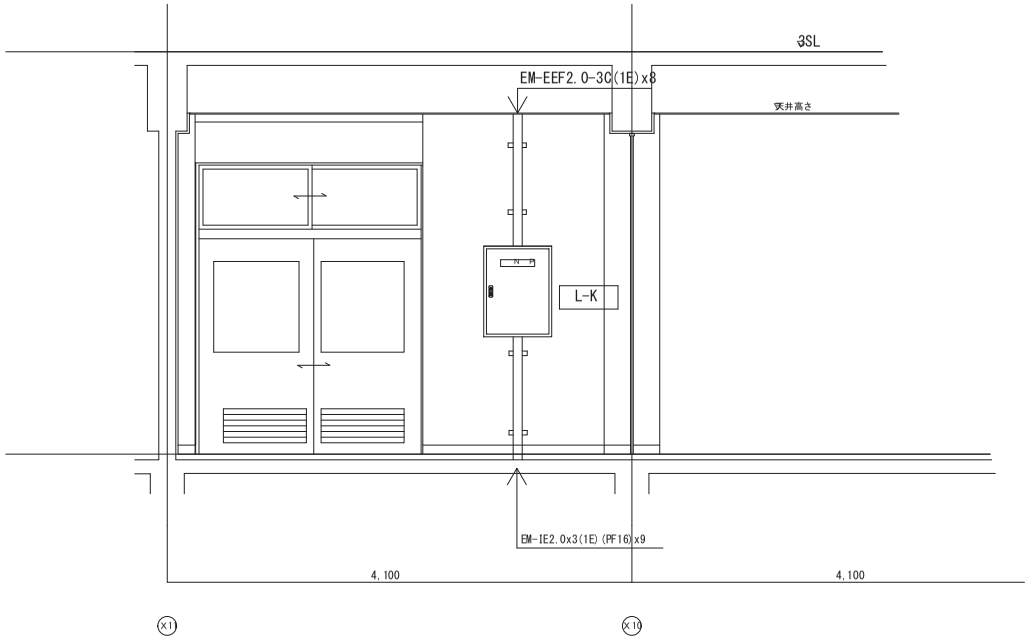
分電盤リスト （新設）

盤名称 / 主開閉器	分岐開閉器 特記外はMCCB 2P コンパクトブレーカー	電圧（V） 200V	電圧（V） 100V	回路番号	負荷名称	負荷容量（VA） 1相	負荷容量（VA） 2相	備考
L-K								
盤形式：T（一般・露出型）								
AC1φ3W 200/100V	MCCB 2P 50/20	○		101	家庭科室 照明			
	MCCB 2P 50/20	○		102	音楽室準備室 照明			
	MCCB 2P 50/20		○	301	廊下 照明			
MCCB 3P 100/100	MCCB 2P 50/20		○	302	家庭科室 コンセント			
IV38sq	MCCB 2P 50/20		○	303	音楽室 コンセント			
	MCCB 2P 50/20		○	304	音楽室準備室 コンセント			
	ELCB 2P 50/20		○	305	教師用調理台 コンセント	1500		
	ELCB 2P 50/20		○	306	生徒用調理台 コンセント		1500	
	ELCB 2P 50/20		○	307	生徒用調理台 コンセント	1500		
	ELCB 2P 50/20		○	308	生徒用調理台 コンセント		1500	
	ELCB 2P 50/20		○	309	生徒用調理台 コンセント	1500		
	ELCB 2P 50/20		○	310	生徒用調理台 コンセント		1500	
	ELCB 2P 50/20		○	311	生徒用調理台 コンセント	1500		
	ELCB 2P 50/20		○	312	生徒用調理台 コンセント		1500	
	ELCB 2P 50/20		○	313	生徒用調理台 コンセント	1500		
	MCCB 2P 50/20		○	314	防災行政無線			
	MCCB 2P 50/20		○	315	予備			
	ELCB 2P 50/20		○	313	正門外灯			
ED（ELB） ED								
					合 計			

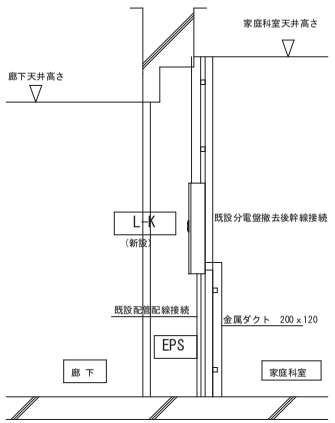


家庭科室電灯分電盤 L－K 参考寸法

家庭科室展開図

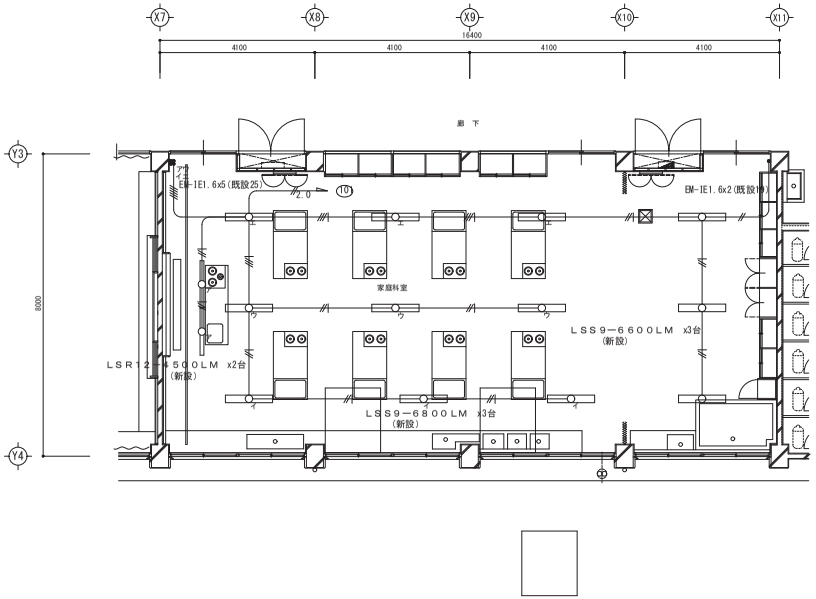


家庭科室断面図



平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. E3－14
電灯分電盤結線図 姿図			
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			NS
枚方市教育委員会教育環境整備室			

（改修）



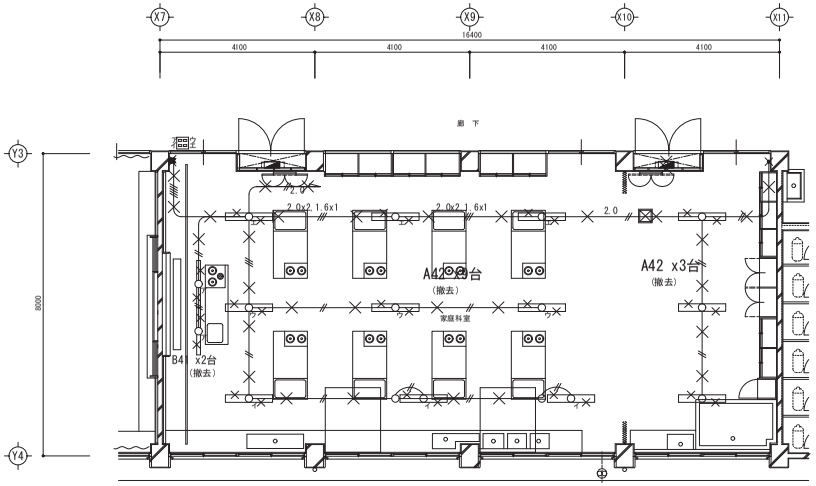
照明器具姿図

LSS9−6800LM	LED直付型器具	LSR12−4500LM	直付型４０形 黒板灯
			
定格出力型、ポルトフリー（１００～２４２Ｖ） 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート 光源寿命：４００００時間 昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３、		定格出力型、ポルトフリー（１００～２４２Ｖ） 本体：鋼板（白色粉体塗装） 光源寿命：４００００時間 昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３	

家庭科教室　準備室改修図 凡例

記　号	名称・仕様	新設の有無	備　考
	電灯分電盤	新設	
	直付け型蛍光灯器具	新設	姿図参照
	直付け型蛍光灯器具	新設	姿図参照
	埋込スイッチ	新設	1P15Ax1
	埋込スイッチ	新設	1P15Ax4
	配管配線	新設	EM-EEF1.6-3C(1E)
	配管配線	新設	EM-EEF1.6-2Cx2(1E)
2.0	配管配線	新設	EM-EEF2.0-3C(1E)
2.0	配管配線	新設	EM-EEF2.0-2Cx2(1E)
	配管配線　器具	新設	
	配管配線　器具	既存	

（撤去）



照明器具姿図

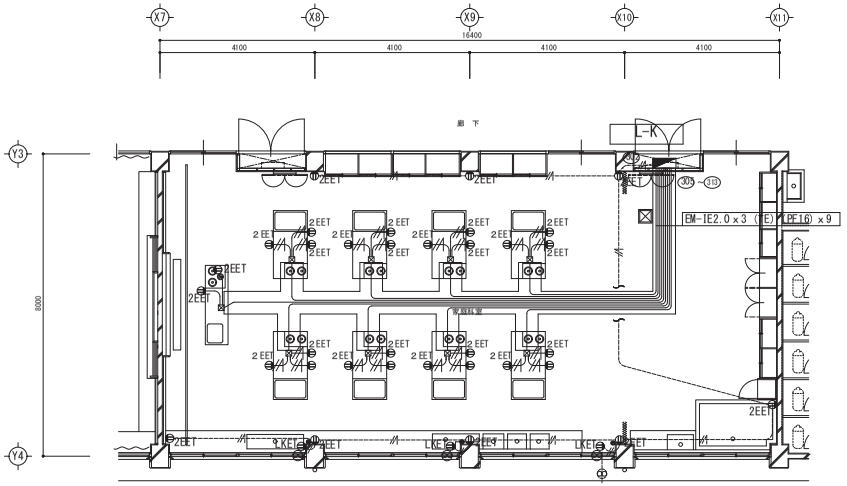
A42	ＦＬ40Ｗ×2　富士型	B41	ＦＬ40Ｗ×1　黒板灯
			

家庭科教室　準備室撤去図 凡例

記　号	名称・仕様	新設の有無	備　考
	電灯分電盤	撤去	
	直付け型蛍光灯器具	撤去	姿図参照
	直付け型蛍光灯器具	撤去	姿図参照
	埋込スイッチ	撤去	1P15Ax1
	埋込スイッチ	撤去	1P15Ax4
	アウトレットボックス	撤去	
	配管配線	撤去	IV1.6x2(19)
	配管配線	撤去	IV1.6x3(19)
	配管配線	撤去	IV1.6x5(25)
2.0	配管配線	撤去	IV2.0x2(19)
2.0x2.1.6x	配管配線	撤去	IV2.0x2,1.6x1(19)
	配管配線　器具	既存	
	配管配線　器具	撤去	

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. E3−15
照明設備　家庭科室平面詳細図			
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			S=1/100
枚方市教育委員会教育環境整備室			

（改修）



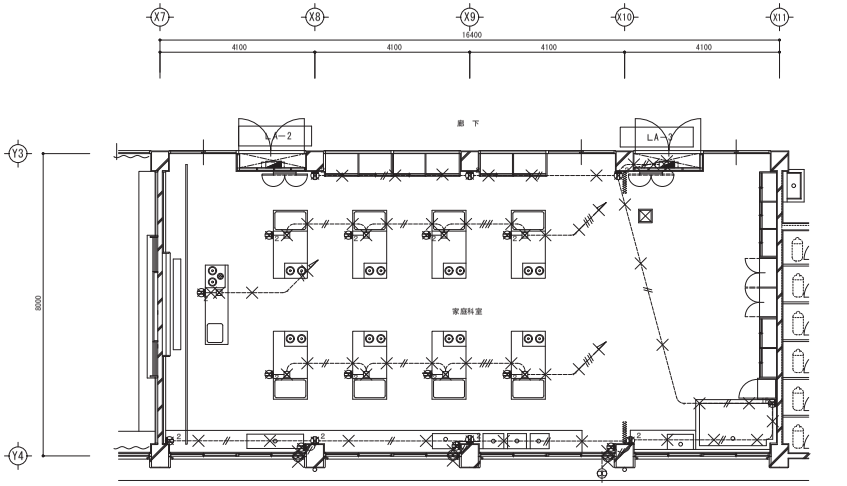
家庭科教室　準備室改修図　凡例

記　号	名称・仕様	新設の有無	備　考
◢	電灯分電盤	新設	
●	埋込スイッチ	新設	1P15Ax1
LKET	埋込コンセント	新設	2P15Ax1　抜け止め防止接地端子付
2EET	埋込コンセント	新設	2P15Ax2　接地極接地端子付
2EET	埋込コンセント（家具設置）	家具工事（接続のみ）	2P15Ax2　接地極接地端子付
⊗	換気扇	新設	
⊠	アウトレットボックス	新設	VE102x102x44　CV共
----//----	配管配線	新設	EM-IE2.0x3（1E)(既設19)
——//——	ケーブル配線	新設	EM-EEF2.0-3C（1E）

換気機器リスト

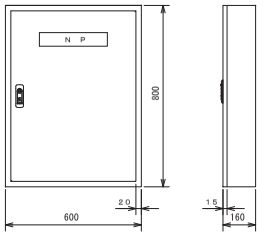
記号	機器名	仕様	台数	設置場所	備考
F	換気扇	窓枠据え付け格子タイプ電気式シャッター・連調付　250φ　1φ100V ステンレス製ウエザーカバー（防鳥網付）　アルミパネルに取り付け	3	家庭科教室	

（撤去）



分電盤リスト　（撤去）

盤名称 主開閉器	分岐開閉器 特記外はMCCB2P コンパクトブレーカー	電圧（V） 200V	 100V	回路 番号	負荷名称	負荷容量（VA） 1相	 2相	備　考
LA-3								
盤形式：T（一般・露出型）								
AC1φ3W　200/100V	MCCB 2P 50/20	○		101	家庭科室　コンセント			
	MCCB 2P 50/20	○		102	音楽室準備室　コンセント			
MCCB 3P 50/50 IV38sq	MCCB 1P 50/20		○	301	廊下　コンセント			
	MCCB 1P 50/20		○	302	家庭科室　コンセント			
	MCCB 1P 50/20		○	303	音楽室　コンセント			
	MCCB 1P 50/20		○	304	音楽室準備室　コンセント			
	MCCB 1P 50/20		○	305	音楽室準備室　コンセント			
	MCCB 1P 50/20		○	306	家庭科教師台（イ）　コンセント			
	MCCB 1P 50/20		○	307	家庭科生徒台（ロ）　コンセント			
	MCCB 1P 50/20		○	308	家庭科生徒台（ハ）　コンセント			
	MCCB 1P 50/20		○	309	家庭科生徒台（ニ）　コンセント			
	MCCB 1P 50/20		○	310	家庭科生徒台（ホ）　コンセント			
	MCCB 1P 50/20		○	311	防災行政無線			
	MCCB 1P 50/20		○	312	予備			
ED　ED	MCCB 1P 50/20		○	313	正門外灯			
					合　計			



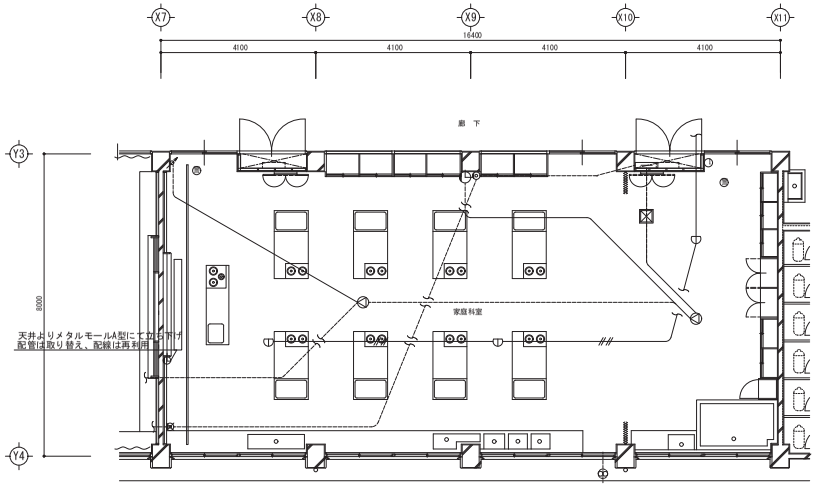
家庭科室電灯分電盤　LA-3　参考寸法

家庭科教室　準備室撤去図　凡例

記　号	名称・仕様	新設の有無	備　考
◢	電灯分電盤	撤去	
●	埋込スイッチ	撤去	1P15Ax1
	埋込コンセント	撤去	2P15Ax1
2	埋込コンセント	撤去	2P15Ax2
⊗	換気扇	撤去	換気扇　25ｃｍ
⊠	アウトレットボックス	撤去	
----//----	配管配線	撤去	IV2.0x2(19)　配線のみ引き抜き
——//——	ケーブル配線	撤去	VVF2.0-2C
———	配管配線　器具	既存	
×——×	配管配線　器具	撤去	

平野小学校管理棟外壁改修他工事			No. E3−16
コンセント設備　家庭科室平面詳細図			
DATE	CHECKED BY.	DRAWIN BY.	SCALE
			S=1/100
枚方市教育委員会教育環境整備室			

（改修）



家庭科教室　準備室改修図 凡例

記　号	名称・仕様	新設の有無	備　考
	壁かけ型スピーカ	新設	3W
	天井埋込型スピーカ	新設	3W
	アッテネータ	新設	0.5-6W
	壁掛け型時計	新設	310φ
	テレビ共聴用受けロ	新設	中間、端末
	定温式スポット型感知器	再取付	1種　防水型
警	機械警備用センサー	再取付	
	LAN用受けロ	新設	
	インターホン	再取付	

記　号	名称・仕様	新設の有無	備　考
------//------	配管配線（自火報）	既存	IV1.2x4(19)
------/------	配管配線　（時計）	既存	IV1.2x2(19)
------///------	配管配線　（拡声）	既存	HIV1.2x3(19)
------///------	配管配線　（拡声・時計）	既存	IV1.2x2,HIV1.2x3(19)
------////------	配管配線　（拡声・時計）	既存	IV1.2x2,HIV1.2x4(19)
------/------	配管配線　（テレビ）	既存	5C-BVF(19)
----------	配管配線　器具	新設	
----------	配管配線　器具	既存	

弱電機器姿図

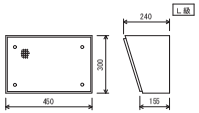
天井埋込型 スピーカー



埋込穴：１５０φ

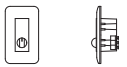
定格入力	3W、1W
スピーカ	１２ｃｍコーン型
仕上げ	スピーカー カバー一体型
枠	樹脂製 オフホワイト
パネル	パネル：アルミ

木製壁掛型スピーカー



定格入力	３Ｗ（３．３ｋΩ）、１Ｗ（１０ｋΩ）
出力音圧レベル	９２ｄＢ（１Ｗ、１ｍ）
周波数特性	１２０Ｈｚ～１３ｋＨｚ
スピーカー	１６ｃｍコーン型
仕上	本体：木製　オフホワイト
	ネット：ジャージ　オフホワイト

アッテネーター



入力容量	０．５～６Ｗ
音量切替	５段階切替
仕上げ	プレート：金属製

φ３１０　壁掛型子時計（屋内用）

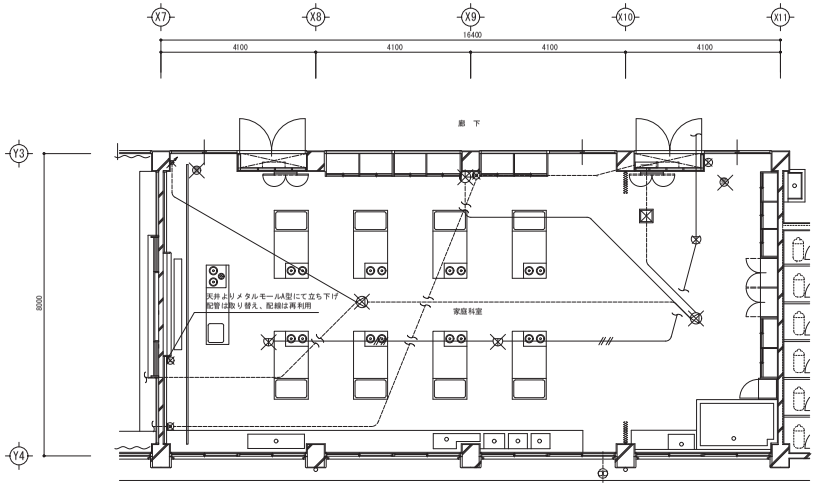


φ３１０

※事前調査の上、必ずメーカーの確認を行う事

定格	ＤＣ２４Ｖ有極３０秒パルス
ケース	鋼板
文字板	鋼板　白色塗装　文字黒色印刷
指針	アルミ　黒色塗装
ガラス	ガラス　透明　ｔ＝２．０

（撤去）



家庭科教室　準備室撤去図 凡例

記　号	名称・仕様	新設の有無	備　考
	壁かけ型スピーカ	撤去	3W
	天井埋込型スピーカ	撤去	3W
	アッテネータ	撤去	0.5-6W
	壁掛け型時計	撤去	310φ
	テレビ共聴用受けロ	撤去	中間、端末
	定温式スポット型感知器	取り外し	1種　防水型
警	機械警備用センサー	取り外し	
	LAN用受けロ	撤去	
	インターホン	取り外し	

記　号	名称・仕様	新設の有無	備　考
------//------	配管配線（自火報）	既存	IV1.2x4(19)
------/------	配管配線　（時計）	既存	IV1.2x2(19)
------///------	配管配線　（拡声）	既存	HIV1.2x3(19)
------///------	配管配線　（拡声・時計）	既存	IV1.2x2,HIV1.2x3(19)
------////------	配管配線　（拡声・時計）	既存	IV1.2x2,HIV1.2x4(19)
------/------	配管配線　（テレビ）	既存	5C-BVF(19)
----------	配管配線　器具	既存	
----------×----------	配管配線　器具	撤去	

※　機械警備用センサーについては機械警備会社にて工事を実施すること。
その費用については本工事に含む。

平野小学校管理棟外壁改修他工事		No. E3－17
弱電設備　家庭科室平面詳細図		
DATE	CHECKED BY. / DRAWIN BY.	SCALE
		S=1/100
枚方市教育委員会教育環境整備室		

資料④－１

予定価格の事前公表・事後公表の経緯（国）

＜事前公表・事後公表双方のデメリットの指摘＞

「公共工事に関する入札・契約制度の改革について」

平成 5 年 12 月 21 日　中央建設業審議会建議

・予定価格の事前公表は談合の助長、見積努力の低下、落札率の上昇等をもたらす可能性あり

・予定価格の事後公表は以降の同種工事の予定価格を類推させ事前公表と同様の弊害を誘発する等の問題有

＜事前公表可＞

「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」

平成 13 年 3 月 9 日　閣議決定

・予定価格については、国は事後の契約において予定価格を類推させるおそれがないと認められる場合において、契約締結後に公表、地方公共団体は入札前においても予定価格の公表可。

※平成 17 年「公共工事品質確保法」施行

＜事後公表への推進＞

「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」

従前の適正化指針の改正　平成 18 年 5 月 23 日　閣議決定

・予定価格及び最低制限価格の事前公表については、弊害が生じないように取り扱うこととし、事後公表を推進

＜事後公表への移行＞

「公共工事の入札及び契約の適正化の推進について」

平成 20 年 3 月 31 日付　総務省自治行政局長、国土交通省大臣官房建設流通政策審議官からの各都道府県知事あて

・予定価格の事前公表は、取りやめ等の対応（適正な競争が行われにくくなる、見積努力を損なわせる、談合行為が一層容易に行われる等々の弊害）。事前公表を行う場合には、その理由を公表。

・最低制限価格についても同様

＜事後公表への移行＞

「公共工事の入札及び契約手続きの更なる改善等について」

平成21年4月3日付　総務省自治行政局長、国土交通省建設流通政策審議官からの各都道府県知事あて

・予定価格の事前公表の取りやめ等の対応

・最低制限価格についても同様

＜事後公表への移行＞

「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」

従前の適正化指針の改正　平成23年8月9日　閣議決定

従前の適正化指針の改正　平成26年9月30日　閣議決定

・予定価格の事後公表の取りやめを含む適切な対応（入札価格が同額の入札者間のくじ引きによる落札者等が増加する結果、適切な積算を行わずに入札を行った建設業者が受注する事態が生じるなど、建設業者の真の技術力・経営力による競争を損ねる弊害が生じうることから、入札の前には公表しないものとする。）

・最低制限価格についても同様

＜事前公表の見直し＞

「公共工事の入札及び契約の適正化の推進について」

平成23年8月25日付　総務大臣、国土交通大臣から各都道府県知事あて

・予定価格の事前公表の見直し。

・最低制限価格の事前公表についても同様

＜事前公表の見直し＞

「公共工事の円滑な施工確保について」

平成27年2月6日付、平成28年1月22日付、平成28年10月14日付

総務省自治行政局長、国土交通省土地・建設産業局長から各都道府県知事あて

・予定価格等の事前公表の見直し

・最低制限価格についても同様

過去から現在に至るまで地方公共団体における予定価格の事前公表については、法令上の制約がないことから、地域の実情に応じ、地方公共団体の判断により行われています。

資料④－２

枚方市の入札・契約制度の変遷

平成6年度

・制限付き一般競争入札の試行実施（1億円以上）

・意向確認型指名競争入札の試行（3千万円以上）

平成7年度

・制限付き一般競争入札の試行実施（1億5千万円以上）

・意向確認型指名競争入札の試行（6千万円以上）

平成8年度

・意向確認型指名競争入札を公募型指名競争入札に変えて試行

・「枚方市談合情報対応マニュアル」を制定

平成 10 年度

・制限付き一般競争入札本格実施

・制限付き一般競争入札の建設工事について、予定価格及び最低制限価格の事前公表を試行

・公募型指名競争入札本格実施

平成 11 年度

・制限付き一般競争入札の建設工事について、予定価格及び最低制限価格の事前公表を本格実施

・公募型指名競争入札の建設工事について、予定価格及び最低制限価格の事前公表を試行

平成 12 年度

・工事希望型指名競争入札を試行

・低入札価格調査制度の導入

平成 13 年度

・工事契約約款の改正

（談合その他不正行為による解除（新設・第 44 条関係）、賠償の予定（新設・第 47 条関係））

・入札監視員の設置

枚方市入札監視員設置要綱を制定。監視員3名を委嘱

平成 14 年度

・郵便入札の実施

電子入札を導入するまでの間、工事希望型以上の公募型競争入札を郵便入札で実施。

平成 15 年度

・工事成績評定結果の公表〔2000 万円以上〕の実施

平成 16 年度

・契約事務の一元化（総合契約室設置）

教育委員会、水道局及び市民病院の契約事務の一元化

・歩切の廃止

・市内業者・準市内業者に対する格付けの廃止

・制限付き一般競争入札への市内業者の参加

・入札後資格確認型郵便入札の実施

・電子入札の導入

制限付き一般競争入札【土木】2億円以上 【建築】4億円以上

公募型指名競争入札 【土木】1億円以上 【建築】1億5千万円以上に適用

平成 17 年度

・不落随契の廃止

・電子入札適用の拡大

工事希望型指名競争入札 【土木】3千万円以上 【建築】2千万円以上

・小規模修繕契約希望者登録制度の試行実施

平成 18 年度

・低入札価格調査制度の適用範囲の拡大

5000万円以上の工事希望型指名競争入札についても適用

・電子入札適用の拡大

工事希望型指名競争入札 【土木】3千万円以上 ⇒ 250 万円以上

【建築】2千万円以上 ⇒ 250 万円以上

平成 19 年度

・工事検査業務の一元化（総合契約検査室設置）

教育委員会、水道局及び市民病院の検査事務の一元化

・低入札価格調査制度の見直し

数値的判断基準の設定方法を入札額の平均を基に算出する方法に見直し

・入札方法の名称変更

公募型指名競争入札 ⇒ 制限付き一般競争入札（公募型）

工事希望型指名競争入札 ⇒ 制限付き一般競争入札（工事希望型）

・小規模修繕契約希望者登録制度の本格実施

・第2清掃工場建設工場に係る談合事件

平成 20 年度

・「入札契約制度検討会議」を設置

「第2清掃工場建設工事に関する調査・談合防止対策委員会」の検証結果報告（平成 20 年 2 月 25 日）及び「談合防止対策等検討委員会」の報告（平成 20 年 4 月 10 日）に基づき、談合防止対策等の構築に向けた11課題の改善案を検討するために関係課長で構成

・「枚方市談合情報マニュアル」の改正（市長通達）

公取や警察への通報を明記、庁内関係部署との連携強化

・入札監視員会議の審査対象範囲の拡大

契約金額 3000 万円以上 ⇒ 250 万円以上に拡大

・賠償金の率を引き上げ

契約金額の 10% ⇒ 20%

・入札参加資格の停止期間の見直し

入札参加、指名停止期間の上限 24 月 ⇒ 36 月

平成 21 年度

・「枚方市建設工事総合評価一般競争入札（簡易型）試行実施要綱」制定

・「枚方市建設工事総合評価一般競争入札（簡易型）評価員設置要綱」制定

・「枚方市低入札価格調査実施要綱」の制定

・電子入札の対象案件拡大

建設工事（130 万円以上 250 万円未満）の指名競争入札に対象拡大（5月以降発注分から）

平成 22 年度

・建設工事における最低制限価格の事後公表の試行実施

対象案件数の10%程度に試行導入

平成 23 年度

・低入札価格調査制度の改正

対象金額を予定価格5，000万円以上から予定価格1億円以上に引き上げ

調査基準価格を事後公表（予定価格は事前公表）

・最低制限価格制度の要綱制定

・建設工事における最低制限価格の事後公表の拡大

最低制限価格の事後公表を、対象案件数の10%程度から50%程度に拡大

・入札・契約に関する不適正行為の記録・報告手続きの新設

平成 24 年度

・予定価格1億円以上のすべての建設工事において、予定価格の事後公表を試行。

平成 25 年度

・建設工事における予定価格及び最低制限価格の事後公表の拡大

最低制限価格の事後公表については、発注案件の 50%程度から全て事後公表

予定価格の事後公表は、発注案件（予定価格 250 万円以上1億円未満）の 20%程度を対象

総合評価一般競争入札については、予定価格・調査基準価格とも事後公表

平成 26 年度

・建設工事における予定価格の事後公表の拡大

予定価格の事後公表は、発注案件（予定価格 250 万円以上1億円未満）の 50%程度に拡大

・不落随契の廃止撤廃

再発注案件については不落随契を行うことができる取扱いに変更

平成 27 年度

・建設事業者の社会保険（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）の未加入対策の実施

各発注案件の入札参加時に社会保険の加入を資格要件とする

平成 28 年度

・ 建設工事における予定価格の事後公表化（本格実施）

・建設工事における再度入札の実施

・低入札価格調査制度対象工事の変更

対象工事を「制限付き一般競争入札（標準型）」で発注する案件に変更

平成 30 年度

・ 請負工事下請業者に対する社会保険（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）加入の義務化

資料④－３

枚方市最低制限価格の設定に関する要綱

制定　平成 27 年 3 月 31 日枚方市要綱第 13 号
最終改正　平成 29 年 3 月 28 日枚方市要綱第 18 号

（趣旨）

第１条　この要綱は、一般競争入札又は指名競争入札（以下「競争入札」という。）において、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号。以下「施行令」という。）第167条の10第２項（施行令第167条の13において準用する場合を含む。）の規定により設定する最低制限価格に関し、必要な事項を定めるものとする。

（対象とする契約）

第２条　この要綱の規定は、競争入札により次に掲げる契約（枚方市低入札価格調査実施要綱の規定が適用される契約を除く。）を締結しようとする場合について適用する。

⑴　予定価格が130万円を超える建設工事の契約

⑵　予定価格が50万円を超える委託業務の契約

⑶　前２号に掲げるもののほか、市長が特に認めるもの

（建設工事に係る最低制限価格の算定方法）

第３条　建設工事に係る最低制限価格は、次に掲げる額とする。ただし、当該額に1,000円未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとする。

⑴　予定価格の算出の基礎となった次に掲げる額の合計額。ただし、当該額が予定価格に100分の90を乗じて得た額を超える場合にあっては当該100分の90を乗じて得た額とし、その額が予定価格に100分の80を乗じて得た額に満たない場合にあっては当該100分の80を乗じて得た額とする。

イ　直接工事費の額に100分の97を乗じて得た額

ロ　共通仮設費の額に100分の90を乗じて得た額

ハ　現場管理費の額に100分の90を乗じて得た額

ニ　一般管理費の額に100分の55を乗じて得た額

⑵　建設工事の性質上前号の規定により難いものにあっては、同号の規定にかかわらず、予定価格に100分の80を乗じて得た額から予定価格に100分の90を乗じて得た額までの範囲内で市長が定める額とする。

（委託業務に係る最低制限価格の算定方法）

第４条　委託業務に係る最低制限価格は、次に掲げる額とする。ただし、当該額に１円未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとする。

⑴　土木設計業務、測量業務、地質調査業務その他の委託業務（建築設計業務を除く。）にあっては、予定価格に100分の60を乗じて得た額

⑵　建築設計業務にあっては、予定価格に100分の67を乗じて得た額

⑶　委託業務の性質上前２号の規定により難いものにあっては、これらの規定にかかわらず、予

定価格に100分の60を乗じて得た額から予定価格に100分の90を乗じて得た額までの範囲内で市長が定める額とする。

（入札参加者への周知）

第５条　市長は、最低制限価格を設定したときは、入札の公告、入札の説明書、指名通知書等に最低制限価格を設定した旨を記載し、入札参加者へ周知するものとする。

（補則）

第６条　この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附　則

１　この要綱は、平成27年４月１日から施行する。

２　枚方市最低制限価格の設定に関する要綱（平成25年枚方市要綱第63号）は、廃止する。

附　則［平成28年3月29日枚方市要綱第18号］

この要綱は、平成28年４月１日から施行する。

附　則［平成29年3月28日枚方市要綱第18号］

この要綱は、平成29年４月１日から施行する。

最低制限価格の公表について

・落札決定後、本市ホームページにて公表しています。
（次頁の備考欄を参照）

入札結果情報

・前画面へ戻るには、戻るボタンをクリックしてください。
・メニューへ戻るには、メニューボタンをクリックしてください。

発注案件番号　02100101010002017004 7
発注案件名称　平野小学校管理棟外壁改修他工事
入札方式詳細　制限付き一般競争入札（工事希望型）
開札日　2017/05/11
入札結果　落札者決定

入札結果一覧（**赤色**で表示されているのは落札業者です。）

業者名	第 1 回 金額	摘要
（株）昌栄工務店	114,760,000	
（株）古川工務店	103,690,000	
（株）ウェルテック	108,108,000	
（株）太平洋建設	93,200,000	落札

備考

上記金額は、入札書に記載された金額で消費税及び地方消費税の額を含まない金額です。
入札記載金額　93,200,000　円で　（株）太平洋建設　に決定
・予定価格　103,413,000　円 ・最低制限価格　93,071,000　円

入札価格の最も高い者から上位３者については、予定価格超過。

契約情報

契約業者名　（株）太平洋建設
契約業者所在地　枚方市山之上西町６－２０
契約金額（税込み）　100,656,000　円
工期または履行期限　2017/05/25 から 2017/10/13 まで

資料⑤

（問５－１）メール、データ等へのアクセス・閲覧・プリントアウト・コピー等を行った履歴が記録に残るのですか

＜回答＞

・外部へのＥメール、ＬＧＷＡＮメールに関してはログ管理をしているため履歴管理ができています。しかしながら庁内向けメールに関してはログ管理をしていないため履歴管理ができていません。

・データ等へのアクセス・閲覧・プリントアウトに関しては、資産管理ソフトによりログ管理ができています。各課が導入している業務システムでのログ管理は、各システムの調達条件としてログ管理を仕様としており、できています。しかしながら調達時期が１０年以上前のシステムに関しては、ログ管理している項目が少ない場合や情報保持期間が短いものが存在しています。
コピー機に関しては現行機種ではログ管理はできておりません。

（問５－２）履歴が記録されるようなシステムとすることは可能でしょうか？

＜回答＞

データ等のアクセス等履歴管理は現在も行っており、継続して管理を行ってまいります。コピー機に関しても個人認証を行った上で履歴管理できる機器が存在するため、そのような機器を導入することで可能となります。

資料⑥－１

入札方式別落札率(建設工事)

	枚方市								
	平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率
総合評価方式	0 件	－ %	0.00%	0 件	－ %	0.00%	0 件	－ %	0.00%
一般競争入札（総合評価方式を除く。）	249 件	87.52 %	66.22%	238 件	91.04 %	63.30%	244 件	91.49 %	66.30%
指名競争入札	45 件	90.8 %	11.97%	58 件	90.46 %	15.43%	31 件	92.19 %	8.42%
随意契約（特命随契）	65 件	94.61 %	17.29%	66 件	96.61 %	17.55%	77 件	96.58 %	20.92%
その他（見積り合わせ等）	17 件	74.12 %	4.52%	14 件	82.18 %	3.72%	16 件	82.20 %	4.35%
合計	376 件	86.76 %	100.00%	376 件	90.07 %	100.00%	368 件	90.62 %	100.00%

資料⑥－２

【建設工事について】

設問		回答		備考
契約実績等について				
設問1	平成28年度及び平成29年度の入札方法別契約件数及び落札率について	（平成28年度及び平成29年度） 入札方法別契約件数及び落札率：	40市	「【集計】調査票・別紙」参照
総合評価方式による入札について				
設問3	総合評価方式による入札について			
(1)	総合評価方式の実施について	本格実施	20市	A市、B市、C市、F市、G市、H市、I市、J市、L市、N市、M市、N市、O市、P市、R市、T市、V市、X市、AF市、AB市、AJ市
		試行実施	14市	D市、E市、I市、S市、U市、W市、Z市、Y市、AC市、AE市、AG市、AH市、AM市、AP市
		実施していない	7市	K市、AA市、AI市、AK市、AL市、AN市、AO市
		計	41市	（複数回答含む）
(2)	総合評価方式の型式及び件数（平成29年度実績）について ＜上記(1)において、「本格実施」又は「試行実施」している場合にお伺いします。＞	高度技術提案型	2市	N市、AJ市
		標準型	9市	E市、L市、M市、O市、P市、S市、T市、U市、AC市
		簡易型	23市	A市、B市、C市、E市、F市、G市、H市、I市、L市、M市、N市、O市、P市、R市、S市、T市、U市、V市、X市、AE市、AG市、AH市、AM市
		特別簡易型	25市	A市、B市、C市、D市、F市、H市、I市、J市、L市、M市、N市、O市、P市、R市、S市、T市、U市、V市、W市、X市、Z市、AB市、AF市、AM市、AP市
		その他	2市	H市、AJ市
		計	61市	（複数回答含む）
(3)	総合評価方式における対象案件について（適用金額、範囲等について、ご教示願います。） ＜上記(1)において、「本格実施」又は「試行実施」している場合にお伺いします。＞	対象金額の設定あり	18市	A市、C市、H市、I市、J市、M市、N市、O市、P市、R市、T市、U市、V市、AB市、AE市、AF市、AH市、AJ市
		対象金額の設定なし	12市	B市、D市、E市、F市、G市、L市、W市、X市、Z市、AG市、AM市、AP市
		計	30市	
第三者機関（入札監視委員会等）について				
設問12	第三者機関（入札監視委員会等）について			（AJ市を除く。）
(1)	設置状況について	設置している	27市	A市、B市、C市、E市、F市、H市、I市、K市、L市、M市、N市、O市、P市、S市、T市、U市、V市、W市、X市、AA市、AB市、AC市、AE市、AF市、AG市、AH市、AI市
		設置してない	12市	D市、G市、J市、R市、Y市、Z市、AK市、AL市、AM市、AN市、AO市、AP市
		計	39市	
	＜以下(2)～(5)については、上記(1)において、「設置している」場合にお伺いします。＞			
(2)	名称について	名称：	26市	A市、B市、E市、F市、H市、J市、K市、L市、M市、N市、O市、P市、S市、T市、U市、V市、W市、X市、AA市、AB市、AC市、AE市、AF市、AG市、AH市、AI市

(3)	運営方法について	独任制	10市	A市、B市、K市、P市、S市、W市、X市、AA市、AF市、AH市
		合議制	17市	C市、E市、F市、H市、I市、L市、M市、N市、O市、T市、U市、V市、AB市、AC市、AE市、AG市、AI市
		その他	0市	
		計	27市	((3)の集計)
(4)	委員の人数について	人数:	27市	A市、B市、C市、E市、F市、H市、I市、K市、L市、M市、N市、O市、P市、T市、S市、U市、V市、W市、X市、AA市、AB市、AC市、AE市、AF市、AG市、AH市、AI市
(5)	委員の構成について	大学教授	26市	A市、B市、C市、E市、F市、I市、K市、L市、M市、N市、O市、P市、S市、T市、U市、V市、W市、X市、AA市、AB市、AC市、AE市、AF市、AG市、AH市、AI市
		弁護士	24市	A市、B市、C市、E市、F市、I市、K市、L市、M市、N市、O市、P市、S市、T市、U市、W市、X市、AB市、AC市、AE市、AF市、AG市、AH市、AI市
		税理士	8市	A市、C市、K市、F市、N市、P市、U市、AI市
		その他	19市	B市、C市、E市、H市、L市、N市、O市、P市、S市、T市、V市、W市、X市、AB市、AC市、AE市、AF市、AG市、AH市
		計	77市	(複数回答含む)((5)の集計)
(6)	担任事務について	担任事務:	26市	A市、B市、C市、E市、F市、H市、I市、K市、L市、M市、N市、O市、P市、S市、T市、U市、V市、W市、X市、AA市、AB市、AC市、AE市、AG市、AH市、AI市

平成30年11月14日現在

(照会日:平成30年10月18日
回答期限:平成30年11月2日)

回答市	40市	A市、B市、C市、D市、E市、F市、G市、H市、I市、J市、K市、L市、M市、N市、O市、P市、R市、S市、T市、U市、V市、W市、X市、Y市、Z市、AA市、AB市、AC市、AE市、AF市、AG市、AH市、AI市、AJ市(設問1及び3)、AK市、AL市、AM市、AN市、AO市、AP市

「設問1」別紙

【全体】

	枚方市			A市			B市			C市			D市			E市			F市			G市			H市			I市		
	平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度		
	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率
総合評価方式	0 件	― %	0.00%	31 件	93.05 %	10.16%	31 件	90.26 %	3.98%	21 件	98.7 %	2.56%	0 件	― %	0.00%	7 件	97.35 %	0.80%	5 件	90.48 %	2.94%	13 件	96.76 %	2.77%	154 件	91.53 %	28.79%	件	91.73 %	0.00%
一般競争入札（総合評価方式を除く。）	238 件	91.04 %	63.30%	62 件	90.89 %	20.33%	744 件	90.86 %	95.51%	27 件	92.56 %	3.29%	26 件	97.07 %	8.58%	516 件	88.06 %	59.31%	148 件	88.61 %	87.06%	133 件	92.62 %	28.36%	265 件	90.19 %	49.53%	420 件	91.00 %	92.11%
指名競争入札	58 件	90.46 %	15.43%	195 件	90.78 %	63.93%	1 件	90.34 %	0.13%	738 件	94.89 %	89.89%	254 件	96.15 %	83.83%	320 件	88.60 %	36.78%	5 件	88.91 %	2.94%	117 件	95.66 %	24.95%	96 件	90.47 %	17.94%	0 件	― %	0.00%
随意契約（特命随契）	66 件	96.61 %	17.55%	17 件	95.81 %	5.57%	3 件	97.2 %	0.39%	35 件	96.81 %	4.26%	23 件	97.52 %	7.59%	5 件	96.44 %	0.57%	12 件	97.6 %	7.06%	64 件	97.29 %	13.65%	20 件	88.53 %	3.74%	34 件	98.51 %	7.46%
その他（見積り合わせ等）	14 件	82.18 %	3.72%	0 件	－ %	0.00%	0 件	－ %	0.00%	0 件	0 %	0.00%	0 件	― %	0.00%	22 件	86.36 %	2.53%	0 件	－ %	0.00%	142 件	96.18 %	30.28%	0 件	－ %	0.00%	2 件	98.67 %	0.44%
合計	376 件	90.07 %	100.00%	305 件	92.63 %	100.00%	779 件	92.17 %	100.00%	821 件	76.59 %	100.00%	303 件	96.91 %	100.00%	870 件	91.36 %	100.00%	170 件	91.4 %	100.00%	469 件	95.7 %	100.00%	535 件	90.18 %	100.00%	456 件	94.98 %	100.00%
	平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度		
	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率
総合評価方式	0 件	― %	0.00%	16 件	88.97 %	5.57%	25 件	90.05 %	3.47%	9 件	97.25 %	1.23%	0 件	― %	0.00%	7 件	91.28 %	0.83%	5 件	89.39 %	3.50%	13 件	94.93 %	2.74%	132 件	91.37 %	26.19%	12 件	93.10 %	2.47%
一般競争入札（総合評価方式を除く。）	244 件	91.49 %	66.30%	53 件	89.47 %	18.47%	686 件	90.81 %	95.28%	20 件	96.33 %	2.74%	15 件	97.9 %	4.31%	463 件	89.77 %	54.60%	121 件	90.12 %	84.62%	95 件	90.3 %	20.00%	239 件	90.00 %	47.42%	445 件	92.21 %	91.56%
指名競争入札	31 件	92.19 %	8.42%	207 件	88.77 %	72.13%	0 件	－ %	0.00%	674 件	95.44 %	92.20%	309 件	96.71 %	88.79%	352 件	88.35 %	41.51%	2 件	89.75 %	1.40%	139 件	95.75 %	29.26%	109 件	91.56 %	21.63%	0 件	― %	0.00%
随意契約（特命随契）	77 件	96.58 %	20.92%	11 件	94.39 %	3.83%	9 件	95.49 %	1.25%	28 件	95.98 %	3.83%	24 件	97.48 %	6.90%	2 件	95.36 %	0.24%	15 件	98.7 %	10.49%	71 件	96.1 %	14.95%	24 件	90.43 %	4.76%	29 件	98.96 %	5.97%
その他（見積り合わせ等）	16 件	82.20 %	4.35%	0 件	－ %	0.00%	0 件	－ %	0.00%	0 件	0 %	0.00%	0 件	― %	0.00%	24 件	93.85 %	2.83%	0 件	－ %	0.00%	157 件	96.13 %	33.05%	0 件	－ %	0.00%	0 件	― %	0.00%
合計	368 件	90.62 %	100.00%	287 件	90.4 %	100.00%	720 件	92.12 %	100.00%	731 件	77 %	100.00%	348 件	97.36 %	100.00%	848 件	91.72 %	100.00%	143 件	91.99 %	100.00%	475 件	94.64 %	100.00%	504 件	90.84 %	100.00%	486 件	94.76 %	100.00%

【大阪府及び近隣市】

	枚方市			AJ市			AK市			AL市			AM市			AN市			AO市			AP市		
	平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度		
	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率
総合評価方式	0 件	― %	0.00%	22 件	87.97 %	1.97%	0 件	%	0.00%	0 件	0 %	0.00%	0 件	― %	0.00%	0 件	― %	0.00%	0 件	0 %	0.00%	0 件	－ %	0.00%
一般競争入札（総合評価方式を除く。）	238 件	91.04 %	63.30%	1,095 件	88.11 %	98.03%	12 件	90.58 %	12.24%	56 件	81.37 %	76.71%	150 件	82.98 %	95.54%	55 件	79.28 %	24.23%	39 件	79.9 %	50.65%	16 件	80.8 %	8.12%
指名競争入札	58 件	90.46 %	15.43%	0 件	－ %	0.00%	68 件	91.61 %	69.39%	3 件	86.28 %	4.11%	0 件	― %	0.00%	0 件	― %	0.00%	13 件	76.8 %	16.88%	28 件	82.11 %	14.21%
随意契約（特命随契）	66 件	96.61 %	17.55%	件	－ %	0.00%	18 件	93.05 %	18.37%	9 件	97.93 %	12.33%	1 件	80.37 %	0.64%	172 件	95.87 %	75.77%	8 件	93.7 %	10.39%	6 件	※ %	3.05%
その他（見積り合わせ等）	14 件	82.18 %	3.72%	件	－ %	0.00%	0 件	%	0.00%	5 件	54.3 %	6.85%	6 件	86.29 %	3.82%	0 件	― %	0.00%	17 件	88.2 %	22.08%	147 件	※ %	74.62%
合計	376 件	90.07 %	100.00%	1,117 件	88.04 %	100.00%	98 件	91.75 %	100.00%	73 件	63.98 %	100.00%	157 件	83.21 %	100.00%	227 件	87.58 %	100.00%	77 件	67.72 %	100.00%	197 件	81.46 %	100.00%
	平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度		
	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率
総合評価方式	0 件	― %	0.00%	40 件	86.66 %	3.75%	0 件	%	0.00%	0 件	0 %	0.00%	0 件	― %	0.00%	0 件	― %	0.00%	0 件	0 %	0.00%	0 件	－ %	0.00%
一般競争入札（総合評価方式を除く。）	244 件	91.49 %	66.30%	1,027 件	88.54 %	96.25%	52 件	90.09 %	74.29%	19 件	84.63 %	52.78%	238 件	91.04 %	63.30%	63 件	89.22 %	28.38%	20 件	78.3 %	35.71%	21 件	80.63 %	12.21%
指名競争入札	31 件	92.19 %	8.42%	0 件	－ %	0.00%	0 件	%	0.00%	2 件	82.9 %	5.56%	58 件	90.46 %	15.43%	0 件	― %	0.00%	7 件	85 %	12.50%	12 件	87.06 %	6.98%
随意契約（特命随契）	77 件	96.58 %	20.92%	－ 件	－ %		18 件	97.42 %	25.71%	12 件	94.91 %	33.33%	66 件	96.61 %	17.55%	159 件	96.07 %	71.62%	10 件	91 %	17.86%	2 件	100 %	1.16%
その他（見積り合わせ等）	16 件	82.20 %	4.35%	－ 件	－ %		0 件	%	0.00%	3 件	59.03 %	8.33%	14 件	82.18 %	3.72%	0 件	― %	0.00%	19 件	92.9 %	33.93%	137 件	89.44 %	79.65%
合計	368 件	90.62 %	100.00%	1,067 件	87.60 %	100.00%	70 件	93.76 %	100.00%	36 件	64.29 %	100.00%	376 件	90.07 %	100.00%	222 件	92.65 %	100.00%	56 件	69.44 %	100.00%	172 件	89.28 %	100.00%

J市			K市			L市			M市			N市			O市			P市			R市			S市			T市			U市		
平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度		
件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率
38 件	88.88 %	13.87%	0 件	－ %	0.00%	118 件		4.18%	82 件	%	7.17%	22 件	88.05 %	7.80%	262 件	89.39 %	35.17%	242 件	92.17 %	24.52%	22 件	96.23 %	6.57%	138 件	91.31 %	42.99%	51 件	95 %	10.52%	32 件	90.88 %	5.42%
190 件	93.13 %	69.34%	412 件	89.68 %	83.23%	2,393 件	91.8 %	84.77%	664 件	92.66 %	58.04%	197 件	87.56 %	69.86%	353 件	89.95 %	47.38%	318 件	89.66 %	32.22%	300 件	92.69 %	89.55%	173 件	90.4 %	53.89%	431 件	93.7 %	88.87%	130 件	90.63 %	22.03%
1 件	94.49 %	0.36%	0 件	－ %	0.00%	10 件		0.35%	341 件	91.17 %	29.81%	60 件	90.85 %	21.28%	130 件	92.53 %	17.45%	293 件	94.35 %	29.69%	3 件	97.57 %	0.90%	4 件	95.29 %	1.25%	3 件	93.4 %	0.62%	400 件	90.76 %	67.80%
16 件	95.17 %	5.84%	83 件	94.41 %	16.77%	302 件	未集計 %	10.70%	57 件	96.91 %	4.98%	3 件	97.15 %	1.06%	0 件	%	0.00%	132 件	98.31 %	13.37%	10 件	99.01 %	2.99%	6 件	99.71 %	1.87%	未集計 件	－ %		20 件	95.91 %	3.39%
29 件	98.9 %	10.58%	0 件	－ %	0.00%	0 件	－ %	0.00%	件	%	0.00%	0 件	0 %	0.00%	件	%	0.00%	2 件	97.89 %	0.20%	0 件	0 %	0.00%	0 件	－ %	0.00%	未集計 件	－ %		8 件	92.64 %	1.36%
274 件	94.11 %	100.00%	495 件	92.05 %	100.00%	2,823 件	91.8 %	100.00%	1,144 件	93.58 %	100.00%	282 件	72.72 %	100.00%	745 件	90.62 %	100.00%	987 件	94.48 %	100.00%	335 件	77.1 %	100.00%	321 件	94.18 %	100.00%	485 件	94.03 %	100.00%	590 件	92.16 %	100.00%
平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度		
件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率
25 件	87.61 %	9.84%	0 件	－ %	0.00%	135 件		4.79%	57 件	%	5.51%	38 件	91.68 %	13.97%	253 件	91.31 %	36.35%	271 件	94.39 %	30.69%	53 件	94.99 %	15.23%	114 件	92.18 %	45.06%	46 件	95 %	9.26%	33 件	90.25 %	6.31%
180 件	93.59 %	70.87%	385 件	90.75 %	79.55%	2,402 件	92.1 %	85.27%	617 件	92.84 %	59.67%	177 件	88.47 %	65.07%	336 件	89.93 %	48.28%	269 件	92.92 %	30.46%	283 件	93.69 %	81.32%	136 件	91.33 %	53.75%	450 件	93.2 %	90.54%	105 件	90.95 %	20.08%
0 件	%	0.00%	0 件	－ %	0.00%	7 件		0.25%	295 件	91.12 %	28.53%	41 件	91.4 %	15.07%	101 件	93.35 %	14.51%	232 件	95.68 %	26.27%	5 件	97 %	1.44%	0 件	－ %	0.00%	1 件	94.9 %	0.20%	365 件	91.01 %	69.79%
18 件	96.69 %	7.09%	99 件	95.34 %	20.45%	273 件	未集計 %	9.69%	65 件	95.71 %	6.29%	13 件	93.88 %	4.78%	6 件	99.26 %	0.86%	0 件	0 %	0.00%	7 件	98.67 %	2.01%	3 件	97.95 %	1.19%	未集計 件	－ %		16 件	95.56 %	3.06%
31 件	99.24 %	12.20%	0 件	－ %	0.00%	0 件	－ %	0.00%	件	%	0.00%	3 件	94.08 %	1.10%	件	%	0.00%	111 件	98.52 %	12.57%	0 件	0 %	0.00%	0 件	－ %	0.00%	未集計 件	－ %		4 件	90.39 %	0.76%
254 件	94.28 %	100.00%	484 件	93.05 %	100.00%	2,817 件	92.1 %	100.00%	1,034 件	93.22 %	100.00%	272 件	91.9 %	100.00%	696 件	93.46 %	100.00%	883 件	76.3 %	100.00%	348 件	76.87 %	100.00%	253 件	93.82 %	100.00%	497 件	94.37 %	100.00%	523 件	91.63 %	100.00%

V市			W市			X市			Y市			Z市			AA市			AB市			AC市			AE市			AF市			AG市		
平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度		
件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率
10 件	93.17 %	1.92%	0 件	%	0.00%	1 件	72.66 %	0.37%	0 件	%	0.00%	8 件	91.06 %	2.35%	0 件	ー %	0.00%	46 件	79.41 %	8.24%	3 件	93.77 %	0.22%	0 件	ー %	0.00%	3 件	90.03 %	0.85%	4 件	87 %	0.55%
512 件	90.39 %	98.08%	1 件	87.7 %	0.58%	147 件	83.91 %	54.04%	128 件	86.07 %	26.78%	66 件	90.84 %	19.35%	193 件	90.67 %	43.96%	460 件	86.42 %	82.44%	1,193 件	89.86 %	87.34%	87 件	92.74 %	36.55%	117 件	91.44 %	33.33%	273 件	88.8 %	37.50%
0 件	ー %	0.00%	149 件	88.3 %	86.13%	117 件	82.5 %	43.01%	264 件	89.05 %	55.23%	220 件	90.39 %	64.52%	167 件	92.02 %	38.04%	0 件	ー %	0.00%	0 件	%	0.00%	94 件	91.50 %	39.50%	140 件	88.64 %	39.89%	429 件	90.9 %	58.93%
件	%	0.00%	23 件	96.68 %	13.29%	7 件	99.08 %	2.57%	48 件	95.54 %	10.04%	47 件	98.4 %	13.78%	79 件	94.12 %	18.00%	52 件	96.01 %	9.32%	170 件	98.16 %	12.45%	57 件	98.10 %	23.95%	75 件	98.99 %	21.37%	22 件	96.8 %	3.02%
件	%	0.00%	0 件	%	0.00%	0 件	ー %	0.00%	38 件	89.81 %	7.95%	0 件	ー %	0.00%	0 件	ー %	0.00%	0 件	ー %	0.00%	0 件	%	0.00%	0 件	- %	0.00%	16 件	80.38 %	4.56%	件	%	0.00%
522 件	90.45 %	100.00%	173 件	90.89 %	100.00%	272 件	84.54 %	100.00%	478 件	90.12 %	100.00%	341 件	92.67 %	100.00%	439 件	92.27 %	100.00%	558 件	87.28 %	100.00%	1,366 件	93.93 %	100.00%	238 件	94.11 %	100.00%	351 件	89.9 %	100.00%	728 件	90.88 %	100.00%
平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度		
件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率
13 件	93.77 %	2.44%	1 件	90 %	0.63%	0 件	ー %	0.00%	0 件	%	0.00%	2 件	89.68 %	0.57%	0 件	ー %	0.00%	32 件	81.64 %	7.13%	1 件	49.25 %	0.07%	0 件	ー %	0.00%	3 件	91.96 %	0.77%	5 件	88.8 %	0.75%
520 件	90.51 %	97.56%	0 件	%	0.00%	150 件	83.6 %	58.37%	157 件	84.49 %	42.66%	79 件	91.07 %	22.51%	215 件	91.8 %	48.75%	378 件	88.06 %	84.19%	1,207 件	90.8 %	88.62%	72 件	94.19 %	30.13%	127 件	92.71 %	32.73%	292 件	90.1 %	43.58%
0 件	ー %	0.00%	121 件	88.89 %	76.10%	101 件	84.19 %	39.30%	147 件	88.48 %	39.95%	215 件	90.53 %	61.25%	160 件	91 %	36.28%	1 件	89.16 %	0.22%	0 件	0 %	0.00%	114 件	91.59 %	47.70%	172 件	89.68 %	44.33%	341 件	91.7 %	50.90%
件	%	0.00%	37 件	96.94 %	23.27%	6 件	97.12 %	2.33%	23 件	93.52 %	6.25%	55 件	997.6 %	15.67%	66 件	95.05 %	14.97%	38 件	96.12 %	8.46%	154 件	98..32 %	11.31%	53 件	97.61 %	22.18%	79 件	98.69 %	20.36%	32 件	97.4 %	4.78%
件	%	0.00%	0 件	%	0.00%	0 件	ー %	0.00%	41 件	87.31 %	11.14%	0 件	0 %	0.00%	0 件	ー %	0.00%	0 件	ー %	0.00%	0 件	%	0.00%	0 件	ー %	0.00%	7 件	81.41 %	1.80%	件	%	0.00%
533 件	90.59 %	100.00%	159 件	91.94 %	100.00%	257 件	88.3 %	100.00%	368 件	88.45 %	100.00%	351 件	253.8 %	100.00%	441 件	92.62 %	100.00%	449 件	88.75 %	100.00%	1,362 件	46.68 %	100.00%	239 件	94.46 %	100.00%	388 件	90.89 %	100.00%	670 件	92 %	100.00%

未集計
未集計

AH市			AI市			AJ市			AK市			AL市			AM市			AN市			AO市			AP市		
平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度			平成28年度		
件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率
0 件	－ %	0.00%	0 件	－ %	0.00%	22 件	87.97 %	1.97%	0 件	%	0.00%	0 件	0 %	0.00%	0 件	－ %	0.00%	0 件	－ %	0.00%	0 件	0 %	0.00%	0 件	－ %	0.00%
338 件	84.49 %	93.11%	270 件	88.9 %	98.54%	1,095 件	88.11 %	98.03%	12 件	90.58 %	12.24%	56 件	81.37 %	76.71%	150 件	82.98 %	95.54%	55 件	79.28 %	24.23%	39 件	79.9 %	50.65%	16 件	80.8 %	8.12%
22 件	81.63 %	6.06%	0 件	－ %	0.00%	0 件	－ %	0.00%	68 件	91.61 %	69.39%	3 件	86.28 %	4.11%	0 件	－ %	0.00%	0 件	－ %	0.00%	13 件	76.8 %	16.88%	28 件	82.11 %	14.21%
3 件	－ %	0.83%	4 件	98.85 %	1.46%	件	－ %	0.00%	18 件	93.05 %	18.37%	9 件	97.93 %	12.33%	1 件	80.37 %	0.64%	172 件	95.87 %	75.77%	8 件	93.7 %	10.39%	6 件	※ %	3.05%
－ 件	－ %		0 件	－ %	0.00%	件	－ %	0.00%	0 件	%	0.00%	5 件	54.3 %	6.85%	6 件	86.29 %	3.82%	0 件	－ %	0.00%	17 件	88.2 %	22.08%	147 件	※ %	74.62%
363 件	83.06 %	100.00%	274 件	93.88 %	100.00%	1,117 件	88.04 %	100.00%	98 件	91.75 %	100.00%	73 件	63.98 %	100.00%	157 件	83.21 %	100.00%	227 件	87.58 %	100.00%	77 件	67.72 %	100.00%	197 件	81.46 %	100.00%
平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度			平成29年度		
件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率	件数	落札率	比率
0 件	－ %	0.00%	0 件	－ %	0.00%	40 件	86.66 %	3.75%	0 件	%	0.00%	0 件	0 %	0.00%	0 件	－ %	0.00%	0 件	－ %	0.00%	0 件	0 %	0.00%	0 件	－ %	0.00%
359 件	80.96 %	91.58%	278 件	88.94 %	97.20%	1,027 件	88.54 %	96.25%	52 件	90.09 %	74.29%	19 件	84.63 %	52.78%	238 件	91.04 %	63.30%	63 件	89.22 %	28.38%	20 件	78.3 %	35.71%	21 件	80.63 %	12.21%
24 件	80.42 %	6.12%	0 件	－ %	0.00%	0 件	－ %	0.00%	0 件	%	0.00%	2 件	82.9 %	5.56%	58 件	90.46 %	15.43%	0 件	－ %	0.00%	7 件	85 %	12.50%	12 件	87.06 %	6.98%
9 件	－ %	2.30%	8 件	91.23 %	2.80%	－ 件	－ %		18 件	97.42 %	25.71%	12 件	94.91 %	33.33%	66 件	96.61 %	17.55%	159 件	96.07 %	71.62%	10 件	91 %	17.86%	2 件	100 %	1.16%
－ 件	－ %		0 件	－ %	0.00%	－ 件	－ %		0 件	%	0.00%	3 件	59.03 %	8.33%	14 件	82.18 %	3.72%	0 件	－ %	0.00%	19 件	92.9 %	33.93%	137 件	89.44 %	79.65%
392 件	80.69 %	100.00%	286 件	90.09 %	100.00%	1,067 件	87.60 %	100.00%	70 件	93.76 %	100.00%	36 件	64.29 %	100.00%	376 件	90.07 %	100.00%	222 件	92.65 %	100.00%	56 件	69.44 %	100.00%	172 件	89.28 %	100.00%

回答内容詳細

「総合評価方式による入札について」関連

詳細3. …「設問3(2) 総合評価方式の型式及び件数（平成29年度実績）について」

枚方市	簡易型 0件
A市	簡易型 0件、特別簡易型 16件
B市	簡易型 5件、特別簡易型 20件
C市	簡易型 2件、特別簡易型 7件
D市	特別簡易型 0件
E市	標準型 1件、簡易型 6件
F市	簡易型 3件、特別簡易型 5件
G市	簡易型 13件
H市	簡易型 12件、特別簡易型 83件、その他 37件（その他は全件「特別簡易型（実績育成タイプ）」となります。）
I市	簡易型 1件、特別簡易型 11件
J市	特別簡易型 25件
K市	―
L市	標準型 0件、簡易型 9件、特別簡易型 138件
M市	標準型 2件、簡易型 8件、特別簡易型 47件
N市	高度技術提案型 1件、簡易型 1件、特別簡易型 36件
O市	標準型 8件、簡易型 198件、特別簡易型 47件
P市	標準型 1件、簡易型 3件、特別簡易型 278件
Q市	
R市	簡易型 1件、特別簡易型 52件
S市	標準型 7件、簡易型 6件、特別簡易型 117件 （不調・不落を含む）
T市	標準型 2件、簡易型 1件、特別簡易型 43件
U市	標準型 1件、簡易型 14件、特別簡易型 18件
V市	簡易型 13件、特別簡易型 8件
W市	特別簡易型 1件
X市	簡易型 0件、特別簡易型 0件
Y市	―
Z市	特別簡易型 2件
AA市	―
AB市	特別簡易型 32件
AC市	標準型 1件
AD市	
AE市	簡易型 0件
AF市	特別簡易型 3件
AG市	簡易型 5件
AH市	―
AI市	―
AJ市	高度技術提案型 0件、その他（技術審査型） 40件
AK市	―

AL市	ー
AM市	簡易型　0件、特別簡易型　0件
AN市	ー
AO市	ー
AP市	特別簡易型　0件

回答内容詳細

「総合評価方式による入札について」関連

詳細4. …「設問3(3)　総合評価方式における対象案件について」

枚方市	対象工事、対象金額については適宜設定している。
A市	【工事成績評価型（特別簡易型）】 建築9,000万円以上、土木、舗装、水道・下水道施設、河川、橋りょう、造園5,000万円以上、設備等工事4,000万円以上 【施工能力評価型（簡易型）】 上記工事2億円以上
B市	工事の特性や難易度等を把握し，案件の選定を適宜実施している。
C市	設計金額1億円以上
D市	対象工事、対象金額については適宜設定している。
E市	技術的な工夫が十分可能な工事を対象としている。
F市	総合評価方式に相応しい工事を適宜選定している。
G市	対象工事は、G市建設工事等請負業者指名委員会の審議を経て、市長が選定する。
H市	①設計金額2千万円以上の一般競争入札による工事 ②設計金額2千万円未満の一般競争入札による工事のうち、技術審査会が特に必要と定める工事（ただし、緊急性を要する工事や技術的工夫の余地が特に小さい工事は除く）
I市	・簡易型は予定価格が概ね1億円以上 ・特別簡易型は予定価格が概ね5,000万円以上
J市	5000万円以上
K市	ー
L市	対象工事、対象金額については適宜設定している。
M市	設計額1億8千万円以上（業種：建築は3億5千万以上）が対象
N市	1億円以上
O市	別紙「総合評価方式の選定フロー」のとおり
P市	原則、設計金額3000万円以上の工事
Q市	
R市	原則6,000万円以上
S市	ー
T市	土木一式・建築一式工事は8,000万円以上、その他の工事は6,000万円以上の案件
U市	設計金額5,000万円以上
V市	別紙「V市総合評価競争入札の実施に関する要領」第2条をご参照ください。
W市	対象工事、対象金額については適宜設定している。
X市	入札者の施工能力、工事成績、施工計画等と入札価格を一体として評価することが妥当と認められる工事およびその他市長が必要と認める工事を対象とする。
Y市	ー
Z市	市内業者の参加見込数が少数である工事。
AA市	ー
AB市	低入札価格調査制度の対象工事(予定価格が9千万円以上の工事）の中から公共工事の特性(規模、技術的な工夫の余地等）に応じて選定
AC市	ー
AD市	
AE市	予定価格8,000万円以上の工事
AF市	1億5千万円以上

AG市	対象工事については適宜設定している。
AH市	土木1．5億円以上、建築・電気・機械2億円以上
AI市	ー
AJ市	別添ガイドライン等のとおり
AK市	ー
AL市	ー
AM市	対象工事、対象金額については適宜設定している。
AN市	ー
AO市	ー
AP市	要綱上、対象案件は「市長が指定するものとする」と規定しており、適宜設定することにしている。

回答内容詳細

「第三者機関（入札監視委員会等）について」関連

詳細31. …「設問12(2)　名称について」

枚方市	枚方市入札監視員
A市	A市入札監理評議会
B市	入札適正化委員会
C市	C市入札監視委員会
D市	ー
E市	E市入札監視・苦情検討委員会
F市	F市入札監視委員会
G市	ー
H市	入札適正化・苦情検討委員会
I市	I市入札監視委員会
J市	J市公正入札調査委員会
K市	K市入札監視委員会
L市	L市入札等監視委員会
M市	M市入札監視委員会
N市	N市入札監視委員会
O市	O市入札監視委員会
P市	P市入札監視委員会
Q市	
R市	ー
S市	S市入札監視委員会
T市	T市入札監視委員会
U市	U市入札監視委員会
V市	V市公契約審査委員会
W市	W市入札監視委員会
X市	X市入札等監視委員会
Y市	ー
Z市	ー
AA市	AA市入札等監視委員会
AB市	AB市入札監視等委員会
AC市	AC市入札等監視委員会
AD市	
AE市	AE市入札監視委員会
AF市	AF市入札監視委員会
AG市	AG市入札監視会議
AH市	AH市入札監視委員会
AI市	AI市入札監視委員会
AJ市	
AK市	ー

AL市	ー
AM市	ー
AN市	ー
AO市	ー
AP市	ー

回答内容詳細

「第三者機関（入札監視委員会等）について」関連

詳細33. …「設問12(4)　委員の人数について」

枚方市	3人
A市	3人
B市	4人
C市	5人
D市	ー
E市	5人
F市	3人
G市	ー
H市	5人以内
I市	3人
J市	ー
K市	4人
L市	5人
M市	3人
N市	5人以内
O市	5人
P市	5人以内
Q市	
R市	ー
S市	4人以内
T市	4人
U市	5人
V市	10人
W市	5人
X市	3人
Y市	ー
Z市	ー
AA市	3人
AB市	3人
AC市	4人
AD市	
AE市	4人
AF市	3人
AG市	4人
AH市	3人
AI市	5人
AJ市	
AK市	ー

AL市	ー
AM市	ー
AN市	ー
AO市	ー
AP市	ー

回答内容詳細

「第三者機関（入札監視委員会等）について」関連

詳細34. …「設問12(5)　委員の構成について」

枚方市	大学教授　1人、弁護士　1人、税理士　1人
A市	大学教授　1人、弁護士　1人、税理士　1人
B市	大学教授　1人、弁護士　1人、公認会計士　1人、銀行役員　1人
C市	大学教授　1人、弁護士　1人、税理士　1人、社会保険労務士　1人、会社相談役（商工会議所副会頭）　1人
D市	
E市	大学教授　1人、弁護士　2人、公認会計士　1人、地方行政経験者　1人
F市	（元）大学教授　1人、弁護士　1人、税理士　1人
G市	ー
H市	中立かつ公正の立場で客観的に入札及び契約についての審議を行うことができる学識経験等を有する者のうちから、市長が任命する者
I市	大学教授　2人、弁護士　1人
J市	ー
K市	大学教授　2人、弁護士　1人、税理士　1人
L市	大学教授等　2人、弁護士　2人、元公正取引委員会事務総局経済取引局長　1人
M市	大学教授　1人、弁護士　2人
N市	大学教授　2人、弁護士　1人、公認会計士・税理士　1人、学識経験者（工学博士）　1人
O市	大学教授　2人、弁護士　1人、公認会計士　1人、市民団体　1人
P市	大学教授　2人、弁護士　1人、税理士　1人、公認会計士　1人
Q市	
R市	ー
S市	学識経験者2人、弁護士1名、公認会計士1名
T市	大学教授　1人、弁護士　1人、公認会計士　1人、大学学長　1人
U市	大学教授　3人、弁護士　1人、税理士　1人
V市	大学教授（准教授を含む。）　5人、公認会計士　1人、NPO法人代表　1人、事業者団体代表　1人、労働組合団体　1人、市民公募　1人
W市	大学教授　1人、弁護士　2人、公認会計士　1人、元警察官　1人
X市	大学教授　1人、弁護士　1人、警察OB　1人
Y市	ー
Z市	ー
AA市	大学教授　3人
AB市	大学教授　1人、弁護士　1人、報道関係者　1人
AC市	大学教授　1人、弁護士　1人、行政経験者　1人、報道関係者　1人
AD市	
AE市	大学教授　2人、弁護士　1人、公認会計士　1人
AF市	大学教授　1人、弁護士　1人、公認会計士　1人
AG市	大学教授　2人、弁護士　1人、公認会計士　1人
AH市	大学教授　1人、弁護士　1人、公認会計士　1人
AI市	大学教授　3人、弁護士　1人、税理士　1人
AJ市	

AK市	—
AL市	—
AM市	—
AN市	—
AO市	—
AP市	—

回答内容詳細

「第三者機関（入札監視委員会等）について」関連

詳細35. …「設問12(6)　担任事務について」

枚方市	別紙「枚方市入札監視員設置要綱」第2条をご参照下さい。
A市	別添のA市入札監理評議会開催要綱及び運営要領をご参照ください。
B市	別紙「B市入札適正化委員会規則」参照
C市	別紙「C市入札監視委員会設置要綱」第2条をご参照ください。
D市	ー
E市	入札及び契約の過程並びに契約の内容についての調査審議及び建議並びに政府調達に関する協定の対象となる調達に係る苦情についての調査審議に関する事務
F市	別紙「F市入札監視委員会運営要綱」第3条を参照
G市	ー
H市	別紙「H市入札適正化・苦情検討委員会運営条例」及び同要綱を参照下さい。
I市	別添「I市入札監視委員会設置要綱」第2条参照。
J市	ー
K市	全ての案件を対象。委員改選時に抽出対象を決定し、ランダムに抽出している。
L市	L市入札等監視委員会運営要綱第2条参照
M市	別添要綱をご参照ください。
N市	入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性及び公平性の確保並びに公正な競争の促進に関する事項について、市長の諮問に応じて調査審議し、その結果を答申し、又は意見を建議すること。
O市	O市入札監視委員会運営要領のとおり
P市	別紙「P市入札監視委員会条例」第2条をご参照下さい。
Q市	
R市	ー
S市	別紙「S市入札監視員設置要綱」第2条をご参照下さい。
T市	T市入札監視委員会運営要領の第3条を御覧ください。
U市	別紙「U市入札監視委員会要領」第2条をご参照下さい。
V市	別紙「V市公契約審査委員会要綱」第2条をご参照ください。
W市	別紙「W市入札監視委員会規則」参照
X市	「X市入札等監視委員会設置要綱」のとおり
Y市	ー
Z市	ー
AA市	別紙「AA市入札等監視委員会規則」第2条をご参照ください。
AB市	別添「AB市入札監視等委員会規則」第2条をご参照下さい。
AC市	別紙「AC市入札等監視委員会開催運営要領」第3をご参照下さい。
AD市	
AE市	別紙「AE市入札監視委員会条例」第2条をご参照下さい。
AF市	ー
AG市	別紙「AG市入札監視会議要綱」第2条をご参照ください。
AH市	AH市入札監視委員会規則（第2条参照）
AI市	別紙「AI市入札監視委員会条例」第2条参照
AJ市	

AK市	—
AL市	—
AM市	—
AN市	—
AO市	—
AP市	—

資料⑦－２

７．設計金額及び予定価格についての情報にアクセス可能な職員の範囲（契約課）

○組織の変遷

平成 27 年度

財務部　総合契約検査室（契約担当、工事検査担当）

平成 28 年度～平成 29 年度

財務部　総合契約検査室　契約課

財務部　総合契約検査室　工事監理課　←※平成 28 年度まで当該元職員在籍

（総合契約検査室内に契約課と工事監理課が設置）

平成 30 年度（総合契約検査室が廃止）

財務部　契約課

財務部　工事検査課

○共有ドライブ（P ドライブ）へのアクセス状況

設計金額及び予定価格が含まれたデータは共有の P ドライブに保存されており、平成 29 年度までは、総合契約検査室の全職員（21 人～22 人）が P ドライブにアクセス出来る状況であった。平成 30 年度より総合契約検査室が廃止され、契約課職員（14 人）のみが P ドライブにアクセス出来る状況になった。

職員が自らの業務に必要ではない機密情報に無断でアクセスすることは、違法とは言い難いが、不適切な行為であると考える。

○財務会計システムの権限について

財務会計システムにおいて、「契約権限」が付与されていれば、工事担当課が入力した設計金額及び予定価格に関する情報にアクセス可能である。この「契約権限」は、総合契約検査室が存在した当時からに当室に所属する職員全員（21 人～22 人）に付与されており、平成 30 年度の室廃止された現在も、契約課（14 人）及び工事検査課（6 人）全職員に付与されている状況である。

職員が自らの業務に必要ではない機密情報に無断でアクセスすることは、違法とは言い難いが、不適切な行為であると考える。

○機密情報の保管

紙ベースでの設計金額及び予定価格等の機密情報については、平成 28 年度夏以降からは契約課の各グループ毎（工事・委託・物品）に施錠のできるロッカーで保管・管理を行っていることから、他のグループ職員がそれらの情報を閲覧できない環境となっている。他のグループ職員が自らの業務に必要ではない情報を無断で閲覧することは、違法とは言い難いが、不適切な行為であると考える。

資料⑦－１

【まなび舎整備室回答】

①契約関係の紙書類については、各担当者が自席の本棚や引出しに保管していたことから、室の全職員が見ることができた。

⇒（改善）各グループ毎に施錠できるロッカーを割り当て保管している。鍵は、各グループの課長代理が持ち、施錠等の管理をしている。

②電磁的記録については、共有ドライブ（P ドライブ）に保存しており、室の全職員がアクセスできた。

⇒（改善）共有ドライブに保存している設計金額がわかる電磁的記録データは、秘文機密ファイルを作成し、担当者しか閲覧できないようにすることを室内職員全員に周知し、実施している。

③設計金額が入力されている財務会計システムには、室内の全職員がアクセスできる。

資料⑧

【建設工事について】

設問		回答		備考
工事担当課から契約担当課への契約依頼手続きについて				
設問13	工事担当課から契約担当課への契約依頼手続きについて			（AJ市を除く。）
(1)	契約依頼手続き方法について（工事担当課から契約担当課への契約依頼手続きにおいて、金入り設計書、その他設計金額が表示された関係書類等（価格情報が記載された書類を含む。）の送付方法等について、ご教示願います。）	契約担当課への持参	39市	A市、B市、C市、D市、E市、F市、G市、H市、I市、J市、K市、L市、M市、N市、O市、P市、R市、S市、T市、U市、V市、W市、X市、Y市、Z市、AA市、AB市、AC市、AE市、AF市、AG市、AH市、AI市、AK市、AL市、AM市、AN市、AO市、AP市
		電子メール（庁内メール）	10市	B市、C市、M市、N市、P市、T市、W市、Y市、AK市、AN市
		庁内連絡便等による送付	5市	D市、AA市、AC市、AF市、AO市
		設計金額が表示された関係書類等の送付はない	0市	
		その他	3市	AC市、AH市、AL市
		計	57市	（複数回答含む）
(2)	上記(1)の送付手続きにおける**工事担当課内での**設計金額等の価格情報の取り扱いについて	担当職員個人以外は閲覧できない	3市	C市、H市、L市
		一部職員のみ閲覧できる	4市	K市、P市、AC市、AG市
		課内職員等の同組織内職員であれば閲覧できる	26市	A市、B市、D市、E市、F市、G市、I市、J市、N市、O市、S市、T市、W市、X市、Y市、Z市、AA市、AB市、AF市、AH市、AI市、AK市、AM市、AN市、AO市、AP市
		その他	7市	M市、R市、U市、V市、AE市、AL市、AP市
		計	40市	（複数回答含む）
(3)	上記(1)の送付過程における**契約担当課内での**設計金額等の価格情報の取り扱いについて	担当職員個人以外は閲覧できない	3市	C市、H市、AE市
		一部職員のみ閲覧できる	8市	K市、L市、M市、P市、R市、X市、AB市、AG市
		課内職員等の同組織内職員であれば閲覧できる	26市	A市、B市、D市、E市、F市、G市、I市、J市、N市、O市、S市、T市、V市、W市、Y市、Z市、AA市、AC市、AF市、AH市、AI市、AK市、AM市、AN市、AO市、AP市
		その他	2市	U市、AL市
		計	39市	
(4)	金入り設計書、その他設計金額が表示された関係書類等を用いた施行関係決裁手続等について、決裁回付方法に係る統一的な取り扱いについて	取り扱いを定めている	11市	B市、H市、J市、K市、L市、N市、R市、S市、V市、W市、AB市
		取り扱いを定めていない	26市	A市、C市、D市、E市、F市、G市、I市、M市、O市、P市、T市、U市、X市、Y市、Z市、AA市、AC市、AE市、AF市、AH市、AI市、AK市、AL市、AM市、AO市、AP市
		その他	2市	AG市、AN市
		計	39市	
契約に係る機密文書の取扱いについて				

設問14	契約に係る機密文書の取扱いについて			（AJ市を除く。）
(1)	契約に係る機密文書（金入り設計書、工事台帳、公告前の入札公告の内容、設計単価がわかるもの等）の**工事担当課内での**取扱いについて	課内職員等の同組織内職員であれば閲覧できる。	21市	A市、B市、D市、E市、F市、G市、I市、J市、N市、O市、S市、T市、W市、Z市、AA市、AF市、AH市、AI市、AK市、AN市、AP市
		起案者から決裁権者までのライン上の職員のみ閲覧できる。	7市	K市、L市、P市、V市、AM市、AO市、AP市
		その他	14市	C市、D市、H市、M市、R市、U市、X市、Y市、AB市、AC市、AE市、AG市、AL市、AP市
		計	42市	（複数回答含む）
(2)	契約に係る機密文書（金入り設計書、予定価格調書、最低制限価格調書、公告前の入札公告の内容、設計単価がわかるもの等）の**契約担当課内での**取扱いについて	課内職員等の同組織内職員であれば閲覧できる。	21市	A市、B市、F市、G市、I市、N市、S市、T市、V市、W市、X市、Z市、AA市、AC市、AE市、AH市、AI市、AK市、AN市、AO市、AP市
		起案者から決裁権者までのライン上の職員のみ閲覧できる。	5市	M市、K市、R市、AG市、AM市
		その他	14市	C市、D市、E市、H市、J市、L市、O市、P市、U市、Y市、AB市、AC市、AF市、AL市
		計	40市	（複数回答含む）

平成30年11月14日現在

（照会日：平成30年10月18日
回答期限：平成30年11月２日）

回答市	40市	A市、B市、C市、D市、E市、F市、G市、H市、I市、J市、K市、L市、M市、N市、O市、P市、R市、S市、T市、U市、V市、W市、X市、Y市、Z市、AA市、AB市、AC市、AE市、AF市、AG市、AH市、AI市、AJ市（設問1及び3）、AK市、AL市、AM市、AN市、AO市、AP市

回答内容詳細

「工事担当課から契約担当課への契約依頼手続きについて」関連

詳細36. …「設問13(1)　契約依頼手続き方法について」

枚方市	本市においては、金入り設計書については契約課への直接持参としていますが、設計金額が表示された契約依頼書（依頼時の所定様式）については、組織宛電子メールでの送付としています。
A市	ー
B市	ー
C市	契約依頼書（設計金額記載なし）は、担当職員あて電子メールで送付としている。契約依頼書以外については、契約監理課担当職員へ直接持参及び担当職員あて電子メールで送付としている。
D市	ー
E市	金入り設計書については設計金額と工事概要が記載された金入り設計書の頭紙のみ預かっております。
F市	ー
G市	ー
H市	ー
I市	ー
J市	ー
K市	ー
L市	ー
M市	ー
N市	ー
O市	ー
P市	ー
Q市	
R市	ー
S市	ー
T市	ー
U市	ー
V市	ー
W市	金入り設計書は持参のみ
X市	ー
Y市	ー
Z市	ー
AA市	ー
AB市	ー
AC市	金入り設計書については、工事担当課にて封筒に封入され、提出されるため、契約担当課では開札時まで確認することはできない。また、その他設計金額が表示された書類については、記号化した予定価格帯を記載することにより、情報の漏洩を防止している。
AD市	
AE市	ー
AF市	ー
AG市	ー
AH市	工事担当課から持参で入札依頼を受け、入札執行後に関係書類一式を返却の上、契約は各工事担当課で行う。
AI市	ー

AJ市	
AK市	ー
AL市	金入り設計書については総務課へ直接持参としています。設計金額が表示された契約依頼書（依頼時の所定様式）のデータについては、受渡しフォルダでの受渡しとしているため、庁内全職員が閲覧できます。
AM市	ー
AN市	設計金額が表示された契約依頼書（依頼時の所定様式）については契約課への直接持参、金抜き設計図書等の資料については組織宛電子メールでも送付するとしています。
AO市	ー
AP市	ー

回答内容詳細

「工事担当課から契約担当課への契約依頼手続きについて」関連

詳細37. …「設問13(2)　工事担当課内での設計金額等の価格情報の取り扱いについて」

枚方市	上記(1)における設計金額が表示された契約依頼書（依頼時の所定様式）については、組織宛電子メールでの送付のため、送付側、受領側とも課内職員であれば閲覧できる。
A市	ー
B市	ー
C市	ー
D市	ー
E市	ー
F市	ー
G市	ー
H市	ー
I市	ー
J市	ー
K市	ー
L市	ー
M市	設計部局による
N市	ー
O市	ー
P市	ー
Q市	
R市	ー
S市	ー
T市	ー
U市	庁内統一のルールがあるわけではないので不明であるが、持参する職員及び工事担当課内で適切に取り扱われていると考える。
V市	ライン上の職員及び会計の担当者のみ閲覧できる。
W市	ー
X市	ー
Y市	ー
Z市	ー
AA市	ー
AB市	ー
AC市	ー
AD市	
AE市	特にルール等を定めていないため、所管課により取り扱いは異なるが、漏えい等がないよう適切に管理している。
AF市	ー
AG市	ー
AH市	ー
AI市	ー
AJ市	

AK市	ー
AL市	【土木工事】金入り設計書のデータは担当課の他に同積算システムを使用している課（他3課）も閲覧できます。 【建築工事】金入り設計書のデータは担当課内の職員のみ閲覧できます。 設計金額が表示された契約依頼書（依頼時の所定様式）のデータについては、受渡しフォルダでの受渡しとしているため、庁内全職員が閲覧できます。
AM市	ー
AN市	ー
AO市	ー
AP市	部署によって取り扱いが異なる。一部の部署において、データ上は積算用PCのIDを取得している職員であれば部・課を問わず閲覧可能。また、紙ベースでは決裁ライン上の職員のみ閲覧可能。

回答内容詳細

「工事担当課から契約担当課への契約依頼手続きについて」関連

詳細38. …「設問13(3)　契約担当課内での設計金額等の価格情報の取り扱いについて」

枚方市	上記(1)における設計金額が表示された契約依頼書（依頼時の所定様式）については、組織宛電子メールでの送付のため、送付側、受領側とも課内職員であれば閲覧できる。
A市	―
B市	―
C市	―
D市	―
E市	―
F市	―
G市	―
H市	―
I市	―
J市	―
K市	―
L市	―
M市	―
N市	―
O市	―
P市	―
Q市	
R市	―
S市	―
T市	―
U市	ルールはないが、工事担当課から持参された書類を受理する職員及び契約担当課内で適切に取り扱っている。
V市	―
W市	―
X市	―
Y市	―
Z市	―
AA市	―
AB市	―
AC市	―
AD市	
AE市	―
AF市	―
AG市	―
AH市	―
AI市	―
AJ市	
AK市	―

AL市	金入り設計書については、担当課が原本を持参後、保管場所を知っている課内の職員であれば閲覧できます。 （データはありません） 上記⑴における設計金額が表示された契約依頼書（依頼時の所定様式）のデータについては、受渡しフォルダでの受渡しとしているため、庁内全職員が閲覧できます。
AM市	ー
AN市	ー
AO市	ー
AP市	ー

回答内容詳細

「工事担当課から契約担当課への契約依頼手続きについて」関連

詳細39. …「設問13(4)　金入り設計書、その他設計金額が表示された関係書類等を用いた施行関係決裁手続等について、決裁回付方法に係る統一的な取り扱いについて」

枚方市	ー
A市	ー
B市	ー
C市	建設工事における決裁回付方法は定めていない。事務決裁規程の定めにより決裁手続きを行っている。
D市	ー
E市	ー
F市	ー
G市	ー
H市	別紙「平成30年度建設工事等入札参加資格等審査会の開催及び建設工事等の入札契約締結事務手続きについて（通知）」のとおり庁内通知している。
I市	ー
J市	ー
K市	ー
L市	別紙「財務会計システムの稼働に伴う予算執行関係文書の取扱いについて（通知）」の「４　金入り設計書の決裁方法」参照
M市	ー
N市	事務連絡「契約課執行の工事等に係る注意事項について（通知）」にて周知している。
O市	ー
P市	ー
Q市	
R市	ー
S市	S市建設工事契約事務細則
T市	ー
U市	ー
V市	「V市局長等専決規定」による。
W市	ー
X市	ー
Y市	ー
Z市	ー
AA市	ー
AB市	取り扱いを定めているが、内部規定は定めていない。
AC市	ー
AD市	
AE市	ー
AF市	ー
AG市	規程等は特に定めていないが、運用により設計価格の決定決裁に執行伺を持ち回りにより決裁している。
AH市	ー
AI市	ー
AJ市	

AK市	ー
AL市	ー
AM市	ー
AN市	決裁者不在の時は回付しない。また、公告前の書類は施錠可能なロッカーで管理している。
AO市	ー
AP市	ー

回答内容詳細

「契約に係る機密文書の取扱いについて」関連

詳細40. …「設問14(1) 契約に係る機密文書（金入り設計書、工事台帳、公告前の入札公告の内容、設計単価がわかるもの等）の工事担当課内での取扱いについて」

枚方市	データ上は、課内職員等の同組織内職員であれば閲覧できる。紙ベースでは、起案者から決裁権者までのライン上の職員のみ閲覧できる。
A市	ー
B市	ー
C市	データ上は、課内職員であれば閲覧できる。紙ベースでは、起案者から決裁権者までのライン上の職員のみ閲覧できる。
D市	ー
E市	ー
F市	ー
G市	ー
H市	データ上は、課内職員等の同組織内職員であれば閲覧できる。紙ベースでは、起案者から決裁権者までのライン上の職員のみ閲覧できる。
I市	ー
J市	ー
K市	ー
L市	ー
M市	設計部局による
N市	ー
O市	ー
P市	ー
Q市	
R市	一部の書類は閲覧不可
S市	ー
T市	ー
U市	庁内統一のルールがあるわけではないので不明であるが、工事担当課内で適切に取り扱われていると考える。
V市	ー
W市	ー
X市	紙ベースは、課内職員等の同組織内職員であれば閲覧できる。データ上も、課内職員等の同組織内職員であれば閲覧可能だが、積算システム等はログイン可能な一部職員に限り閲覧可能。
Y市	データ上は、課内職員等の同組織内職員であれば閲覧できる。紙ベースでは、起案者から決裁権者までのライン上の職員のみ閲覧できる。
Z市	ー
AA市	ー
AB市	データ上は、課内職員等の同組織内職員であれば閲覧できる。紙ベースでは、起案者から決裁権者までのライン上の職員のみ閲覧できる。
AC市	各所属に対しては、金入設計書等の取扱いについては、必要最小限の職員が行うものとし、守秘義務を徹底するよう周知しているが、詳細な事務の取扱いについては把握していない。
AD市	
AE市	特にルール等を定めていないため、所管課により取り扱いは異なるが、漏えい等がないよう適切に管理している。
AF市	ー
AG市	起案者から担当課長までのライン上の職員のみ閲覧できる。入札依頼後は、入札終了まで金入り設計書を契約課で一括保管している。

AH市	ー
AI市	ー
AJ市	
AK市	ー
AL市	【土木工事】金入り設計書のデータは担当課の他に同積算システムを使用している課（他3課）も閲覧できます。 【建築工事】金入り設計書のデータは担当課内の職員のみ閲覧できます。 紙ベースでは、起案者から決裁権者までのライン上の職員のみ閲覧できます。
AM市	ー
AN市	ー
AO市	ー
AP市	部署によって取り扱いが異なる。一部の部署において、データ上は積算用PCのIDを取得している職員であれば部・課を問わず閲覧可能。

回答内容詳細

「契約に係る機密文書の取扱いについて」関連

詳細41. …「設問14(2) 契約に係る機密文書（金入り設計書、予定価格調書、最低制限価格調書、公告前の入札公告の内容、設計単価がわかるもの等）の契約担当課内での取扱いについて」

枚方市	データ上は、課内職員等の同組織内職員であれば閲覧できる。紙ベースでは、起案者から決裁権者までのライン上の職員のみ閲覧できる。
A市	ー
B市	ー
C市	データ上は、課内職員であれば閲覧できる。紙ベースでは、起案者から決裁権者までのライン上の職員のみ閲覧できる。
D市	金入り設計書や公告前の入札公告の内容等は、課内職員等の同組織内職員であれば閲覧できる。 予定価格及び最低制限価格、調査基準価格の調書は、起案者から決裁権者までのライン上の職員が閲覧できる。ただし、予定価格はデータ上で、課内職員等の同組織内職員であれば閲覧できる。
E市	公告の内容のみ、課内職員であれば閲覧できる。
F市	ー
G市	ー
H市	データ上は、課内職員等の同組織内職員であれば閲覧できる。紙ベースでは、起案者から決裁権者までのライン上の職員のみ閲覧できる。
I市	ー
J市	データ上，紙ベース上ともに課内職員等の同組織内職員であれば閲覧できるが，予定価格調書，最低制限価格調書は課長が管理している。
K市	ー
L市	データ上は、課内職員等の同組織内職員であれば閲覧できる。紙ベースでは、担当者から決裁権者までのライン上の職員のみ閲覧できる。
M市	ー
N市	ー
O市	最低制限価格調書については課長のみ。上記以外は、(1)と同様。
P市	ー
Q市	
R市	ー
S市	ー
T市	ー
U市	ルールはないが、契約担当課内で適切に取り扱っている。
V市	ー
W市	ー
X市	ー
Y市	データ上は、課内職員等の同組織内職員であれば閲覧できる。紙ベースでは、起案者から決裁権者までのライン上の職員のみ閲覧できる。
Z市	ー
AA市	ー
AB市	公告前の入札公告の内容については、紙ベースでは起案者から決裁権者までのライン上の職員が閲覧できる。 データ上は、課内職員等の同組織内職員であれば閲覧できる。金入り設計書、予定価格調書、最低制限価格調書、設計単価が分かるものについては、紙ベースは、担当係長級職員と決裁権者のみ閲覧できる。データ上は、パスワードをかけており、担当係長級職員のみ閲覧できる。
AC市	(1)により封入された金入り設計書は、契約担当課に提出後、開札まで金庫にて保管している。予定価格・最低制限価格については、開札日当日に金入れ設計図書を開封し、システムにて自動算出する。金入り設計図書は合計金額のみの記載とし、単価等の情報はない。
AD市	

AE市	ー
AF市	データ上は、課内職員等の同組織内職員であれば閲覧できる。紙ベースでは、起案者から決裁権者までのライン上の職員のみ閲覧できる。
AG市	ー
AH市	ー
AI市	ー
AJ市	
AK市	ー
AL市	・金入り設計書 担当課が原本を持参後、保管場所を知っている課内の職員であれば閲覧できます。（データはありません） ・予定価格調書 データは課内の職員であれば閲覧できます。紙ベースは決裁権者までのライン上の職員のみ閲覧できます。 ・最低制限価格調書（事前公表案件） データは課内の職員であれば閲覧できます。紙ベースは決裁権者までのライン上の職員のみ閲覧できます。 ・最低制限価格調書（事後公表案件） データは総務課契約グループの職員及び総務課長のみ閲覧できます。（その中でも案件ごとにパスワードを設定しています）紙ベースは決裁権者（総務課長）までのライン上の職員のみ閲覧できます。 ・実施要領等 データは課内の職員であれば閲覧できます。紙ベースは決裁権者までのライン上の職員及び工事担当課（合議）のみ閲覧できます。 ・告示 データは課内の職員であれば閲覧できます。紙ベースは決裁権者（総務部長）までのライン上の職員のみ閲覧できます。
AM市	ー
AN市	ー
AO市	ー
AP市	ー

資料⑨

入札監視員会議

（最低制限価格に近似値で応札があった案件についての指摘）

【平成 25 年度】

第 1 回入札監視員会議（平成 25 年 5 月 23 日）

入札監視員からの指摘及び意見

・「内野雨水支線築造工事」と「茄子作 1 丁目口径 75㎜以下排水管改良工事」について落札額が最低制限価格に極めて近い金額である（3 千円～5 千円の差）であるが、どの業者も入札価格が最低制限価格に近い金額で応札されている。また、最低制限価格の設定も妥当であると考える。最低制限価格を目指して入札した結果であろう。

【平成 29 年度】

第 2 回入札監視員会議（平成 29 年 7 月 25 日）

入札監視員からの指摘及び意見

〇A 者について

・A 社ついては、今年度、既に 4 件も落札している。

・「A 工事」と「B 工事」において、最低制限価格に近い金額で落札している。
当該業者について、以前別件で談合の話題に上がったとき、ヒアリングは行ったのか。

事務局回答 ⇒ 平成 27 年度に、今回逮捕された本市元職員に対する談合疑義情報が寄せられ、本事業者に対してもヒアリングを行っている。それ以降は注視していくということで対応した。

〇B 者について

・B 社については、今年度 2 件の工事を落札しているが、いずれも最低制限価格に近い金額で落札している。※2

事務局回答 ⇒本件については、匿名で当該事業者を含めた談合疑義情報が寄せられている。談合情報の内容は、1 億円を超える B 社が最低制限価格に数千円の差で落札しており、市長と組織ぐるみの官製談合の疑いがあるといった内容であり、入札監視員の意見を踏まえ、庁内の談合情報対応緊急会議で対応している。

談合疑義情報に対する入札監視員意見

⇒具体性もなく、このような内容で事情聴取まで必要ないと考える・

⇒最低制限価格を目指して業者も努力しているため、これまでの経験値も積み重なり、最低制限価格に近付くのは不思議ではないと考える。

平成 29 年第 3 回入札監視員会議（平成 29 年 11 月 15 日）

入札監視員からの指摘及び意見

・「枚方小学校相談室等増築工事」と「磯島留守家庭児童会室増築工事」について、他の業者が予定価格を上回る中、B 社が最低制限価格に近い金額で落札している。過去にも同様のことで投書が寄せられたこともあり、他の事業者からの指摘が予想される。

事務局回答⇒落札結果だけでは直ちに不正があったとは言い難く、これまで事情聴取等は行っていない。

・過去に A 社について投書が寄せられたときにはヒアリングは行ったのか。

事務局回答⇒入札結果以外に疑義情報があったので、通報に基づき、ヒアリングを行った。今後、談合についての新たな情報があれば、警察と公正取引委員会に通報することとしている。